

(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団発掘調査報告書第167集

元総社寺田遺跡Ⅱ

一級河川牛池川河川改修工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書第2集

《木器編》

1994

財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

資料	財團法人吳運璽文化財 全國保管	01-353
No. 94-1082	平成 6 年 8 月 12 日	522
		(6)

もと そう じゃ てら だ
元 総 社 寺 田 遺 跡 II

一級河川牛池川河川改修工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書第2集

《木 器 編》

1994

財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

序

前橋市元総社町に鎮座する上野国総社神社周辺は、奈良・平安時代に上野国府があった地であり官人たちで大いに栄えました。その総社神社のすぐ東を流れる牛池川は、大雨が降ると川があふれ周辺の住民に度々被害を与えました。

群馬県土木部は、牛池川周辺に住む人々を水害から守るために、昭和63年度より同川の河川改修事業を始めました。そして、それに伴い、川の周辺が上野国府であったことから埋蔵文化財の調査も併せて行うことになりました。

埋蔵文化財の調査は、工事計画にあわせて当事業団が行っていますが、調査した成果を一日も早く公開するために、平成4年度から発掘調査と併行して報告書刊行のための整理作業も始めました。既に整理作業が完了した昭和63年から平成3年度の前半期まで調査した遺構・遺物のうち木製品を除いては、「元総社寺田遺跡Ⅰ」として調査報告書を刊行しました。これに続いて今年度木製品の整理作業が完了しましたので、ここに「元総社寺田遺跡Ⅱ」の調査報告書を刊行することにしました。

本報告には、上野国府のあった奈良・平安時代の木製品は勿論ですが、それ以前にこの地域で生活した人々が使用した弥生・古墳時代の弓・木鏃・鋤・鍬等の木製品も報告されています。

発掘調査から報告書刊行に至るまで群馬県土木部河川課、前橋土木事務所、前橋市区画整理課、前橋市教育委員会、群馬県教育委員会、地元関係者等には、種々お世話になりました。今回報告書を上梓するに際して、これら関係者の皆様に衷心より感謝の意を表し、併せて本報告書が上野国府を解明するための資料の一助として活用されることを願い序とします。

平成6年3月

財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

理事長

小寺弘之

例 言

1. 本書は、一級河川牛池川河川改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書の第2集『元総社寺田遺跡II』《木器編》である。第1集《遺構・遺物編》(1993・4刊行)ではI区からV区までの遺構・遺物を中心に報告した。このため遺構・遺物については第1集を参照されたい。
2. 元総社寺田遺跡は、群馬県前橋市元総社町字閑泉明神北・屋敷・寺田地内に所在する。遺跡名は、大字に相当する「元総社」と調査区占有面積が最大の小字名「寺田」にちなんで『元総社寺田遺跡』とした。
3. 発掘調査は、群馬県(土木部河川課)の委託により、財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が実施した。
4. 整理期間 平成5年4月1日～平成6年3月31日
調査体制・期間および担当者は『元総社寺田遺跡I』例言を参照されたい。
5. 本書作成の整理事業体制は以下のとおりである。
事務担当 中村英一 近藤 功 佐藤 勉 神保侑史 齋藤俊一 巾 隆之 国定 均 笠原秀樹
須田朋子 吉田有光 柳岡良宏 船津 茂 高橋定義 松下 登
事務補助員 並木綾子 今井もと子 吉田恵子 吉田笑子 角田みづほ 松井美智代 塩浦ひろみ
角田正子 内山佳子
6. 整理・編集担当者 主任調査研究員 友廣哲也
木器実測指導およびII区木器観察 専門員 下城 正
7. 整理補助員 浅井良子(嘱託員) 岩淵フミ子 神谷順子 高梨房江 田中暁美 生巢由美子
深代初子 渡辺フサ枝
8. 木器保存処理 主任技師 関 邦一 非常勤嘱託員 土橋まり子 補助員 小材浩一 樋口一之
木器実測 補助員 五十嵐由美子 伊東博子 小池 縁 鈴木加津枝 高橋真樹子 高橋節子
9. 木器写真撮影 主任技師 佐藤元彦
10. 本書の作成にあたり、下記の諸機関、諸氏にご教授、ご協力をいただいた。記して感謝いたします。
(敬称略)
飯島静雄 小島達夫 茂木 晃 根岸 仁
11. 本書の執筆
下城 正 II区木器観察表
藤根 久・鈴木 茂 元総社寺田遺跡出土材の樹種同定と周辺植生
(株式会社パレオ・ラボ)
友廣哲也 上記以外
12. 出土遺物は一括して、群馬県埋蔵文化財調査センターの収蔵庫に保管してある。

凡 例

1. 本書掲載の木器の縮尺率は遺物の性格上一定にはできなかった、そのため各々の縮率は遺物実測図中の右下に記載した。おおまかには $1/4$ 、 $1/8$ 、 $1/16$ の3種類である。
2. 遺物写真の縮尺は実測図と同様の縮尺率であるが実測側面と写真撮影面とは同一ではない。木器写真の順序は基本的に実測図と同じであるがレイアウトの都合上前後したものがある。
3. 本書の各区の図は基本的に木器出土状態を示したため各調査区全体を網羅している訳ではない。このため全体図との照合は『元総社寺田遺跡Ⅰ』を参照されたい

目 次

序

例 言

凡 例

抄 録

第1章 出土木器..... 1

第2章 木器観察表..... 109

第3章 理科学分析..... 135

写真図版

報告書抄録

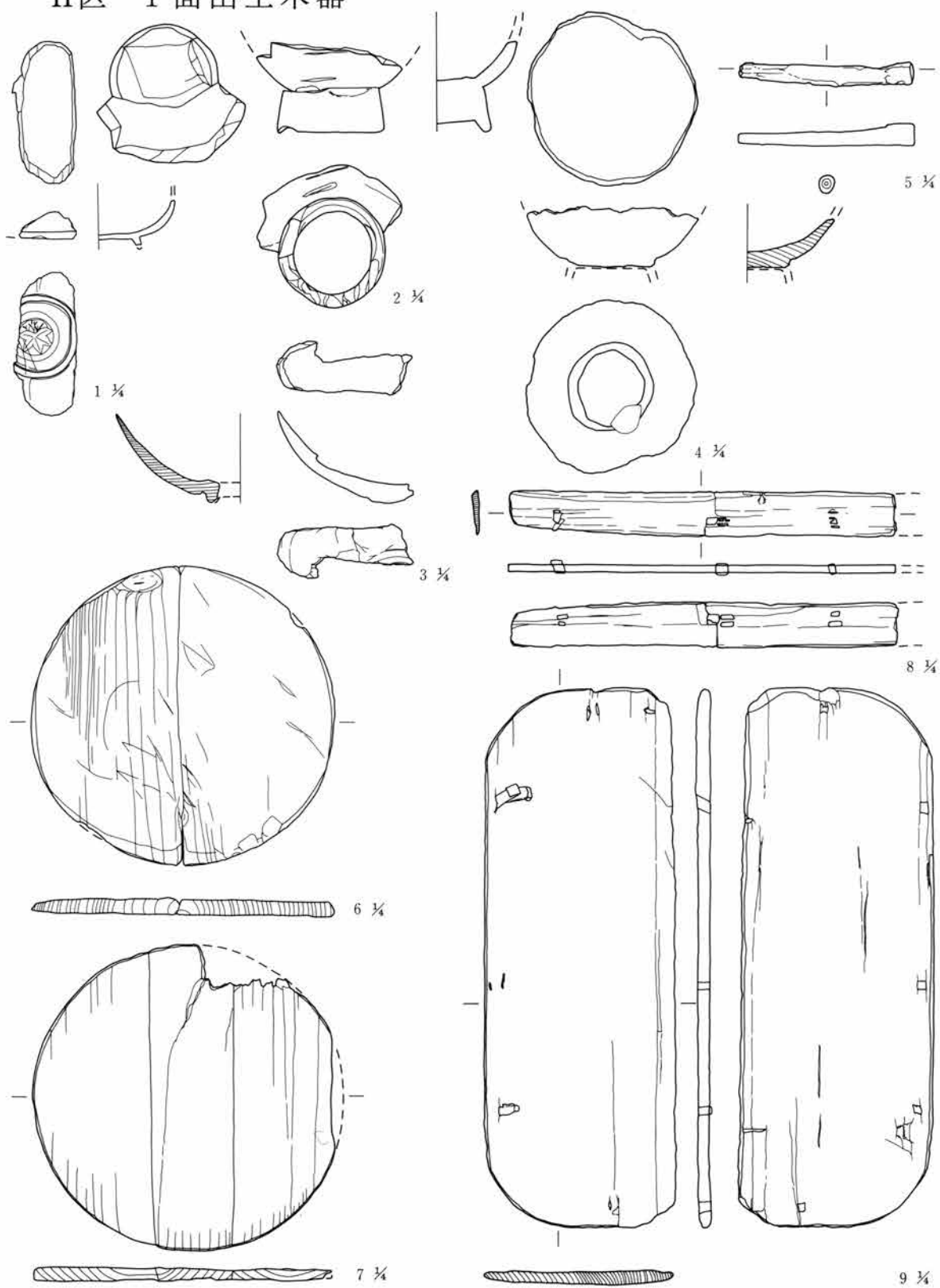
フリガナ	モトソウジャテラダイセキ2
書名	元総社寺田遺跡II
副書名	一級河川牛池川河川改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	第2集《木器編》
シリーズ名	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団発掘報告
シリーズ番号	第167集
編著者名	友 廣 哲 也
編集機関	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
編集機関所在地	〒377 群馬県勢多郡北橋村大字下箱田784-2
発行年	1994年3月25日

フリガナ 所収遺跡	フリガナ 所在地	コード		北緯 '''	東経 '''	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡 番号					
モトソウジャテ ラダイセキ2 元総社寺田遺跡 II	マエバシシモトソ ウジャマチアザカ ンセンミョウジン キタ・オオヤシキ テラダ 前橋市元総社町字 閑泉明神北・大屋 敷・寺田	102016	00323	362301	1390250	19880101～ 19890331	1.200m ²	河川改修 工事
						19890410～ 19891228	4.200m ²	同 上
						19901201～ 19910331	4.180m ²	同 上
						19910401～ 19910531	2.120m ²	同 上
						19911101～ 19920331	2.180m ²	同 上

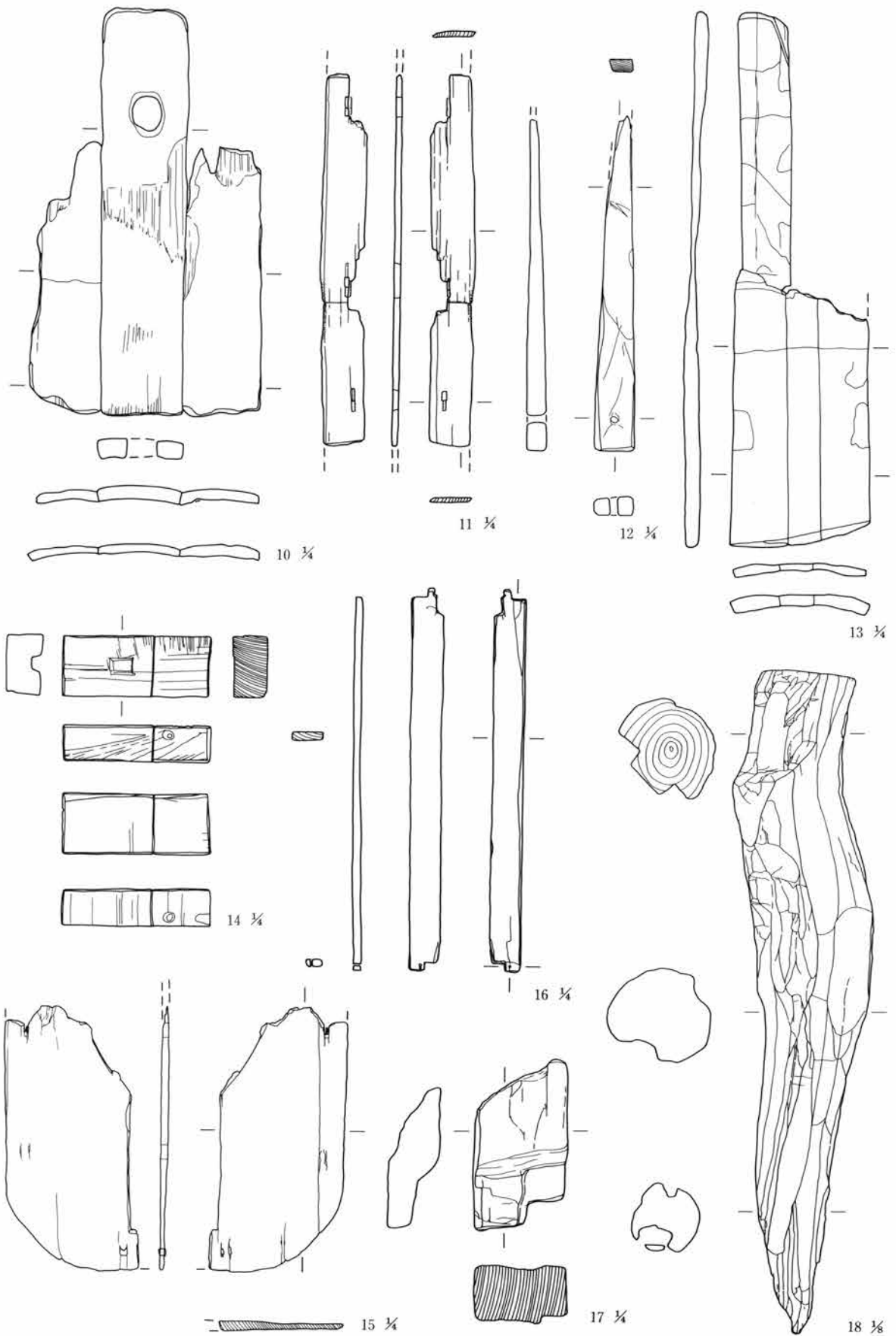
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
元総社寺田遺跡		弥生時代～中・近世	溝・旧河川	木器	

第1章 出土木器

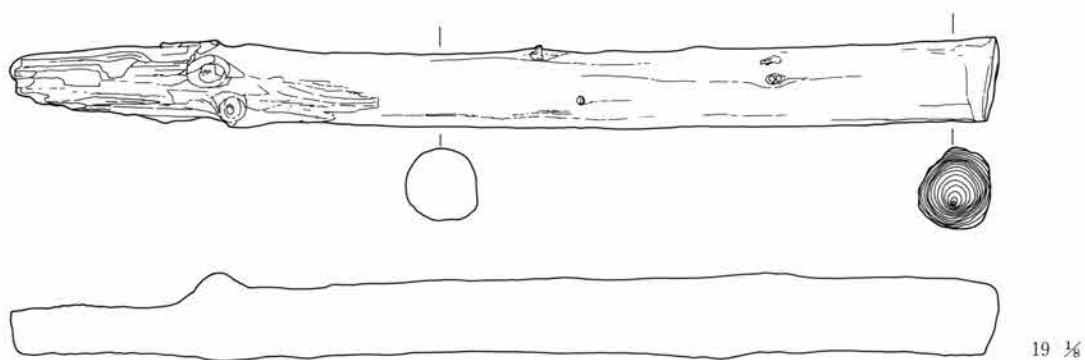
II区 1面出土木器



第1图 出土木器(1)

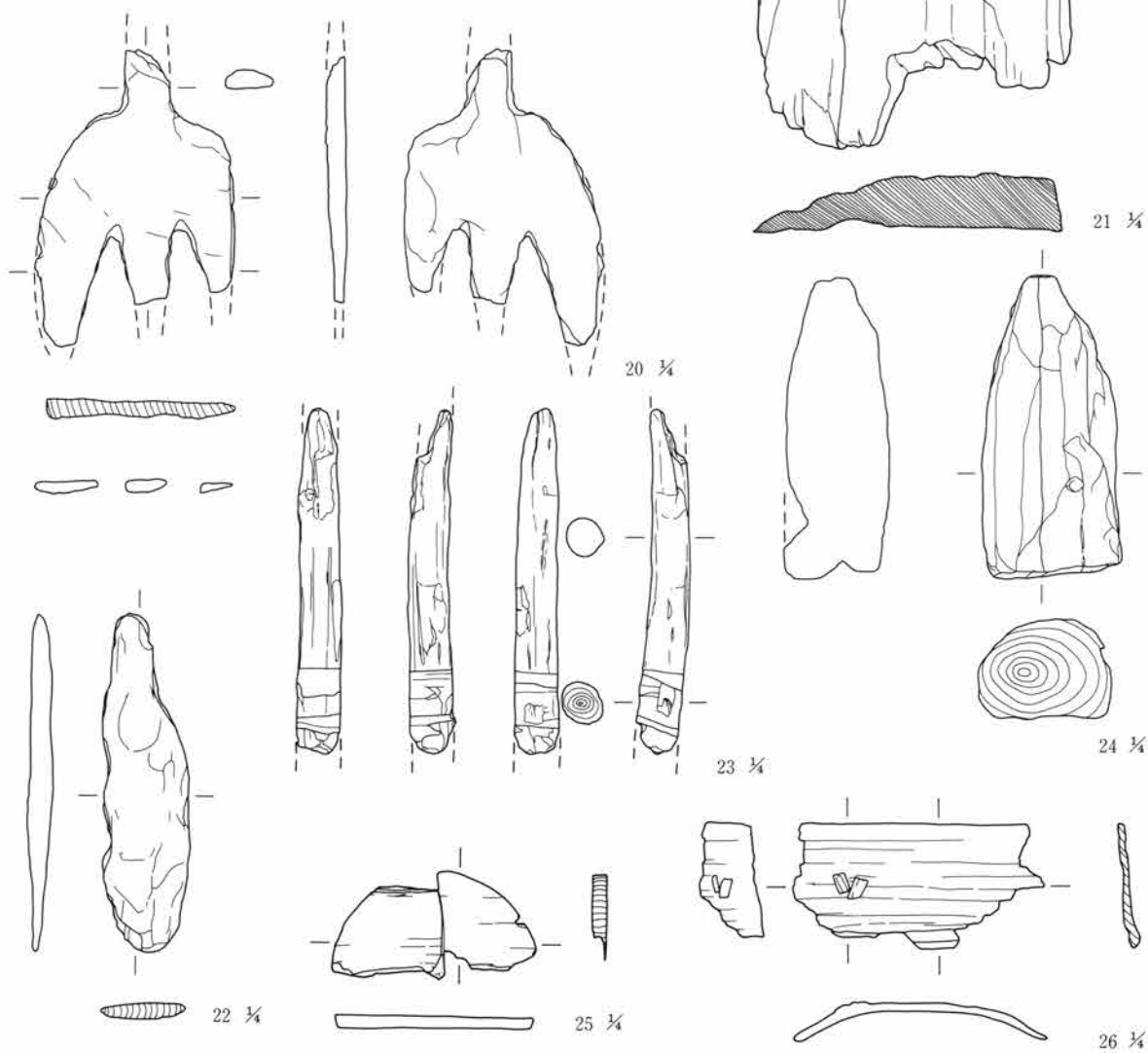


第2図 出土木器(2)

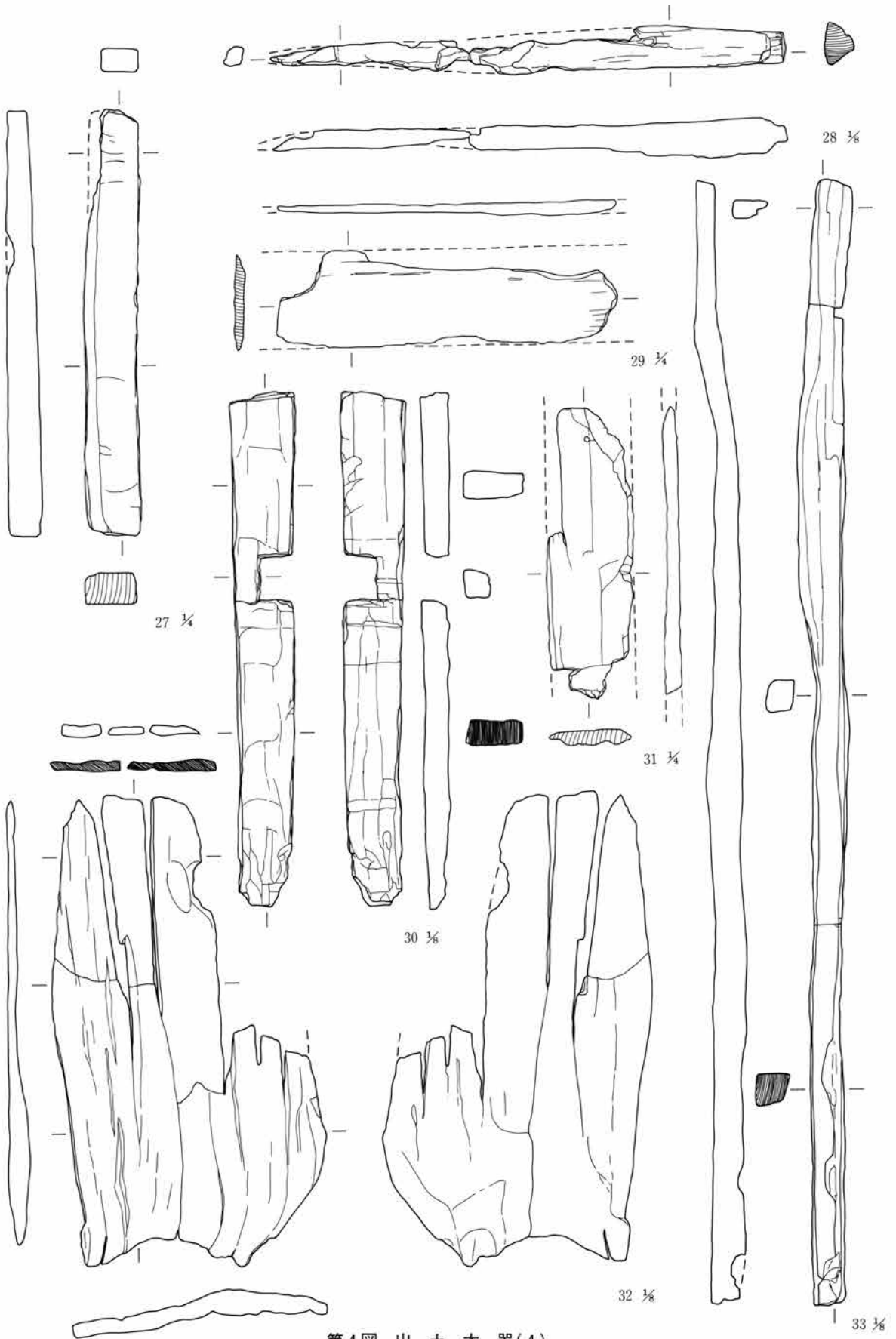


19 ¼

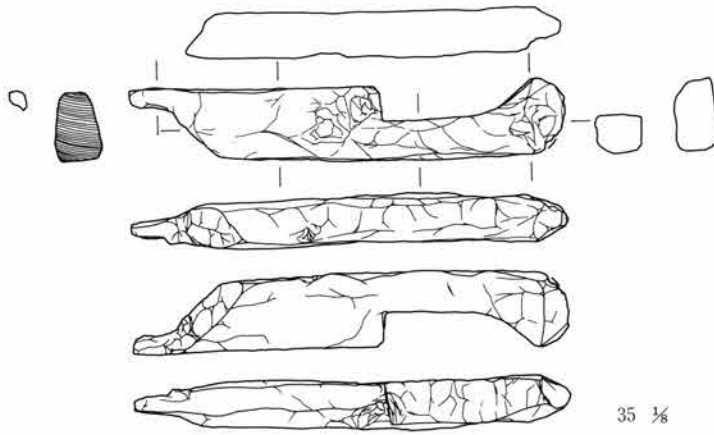
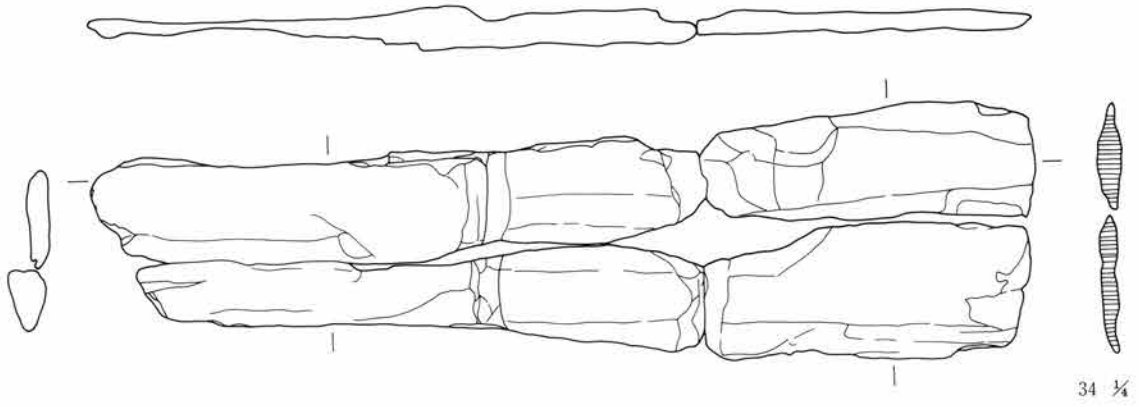
II区 3·4面出土木器



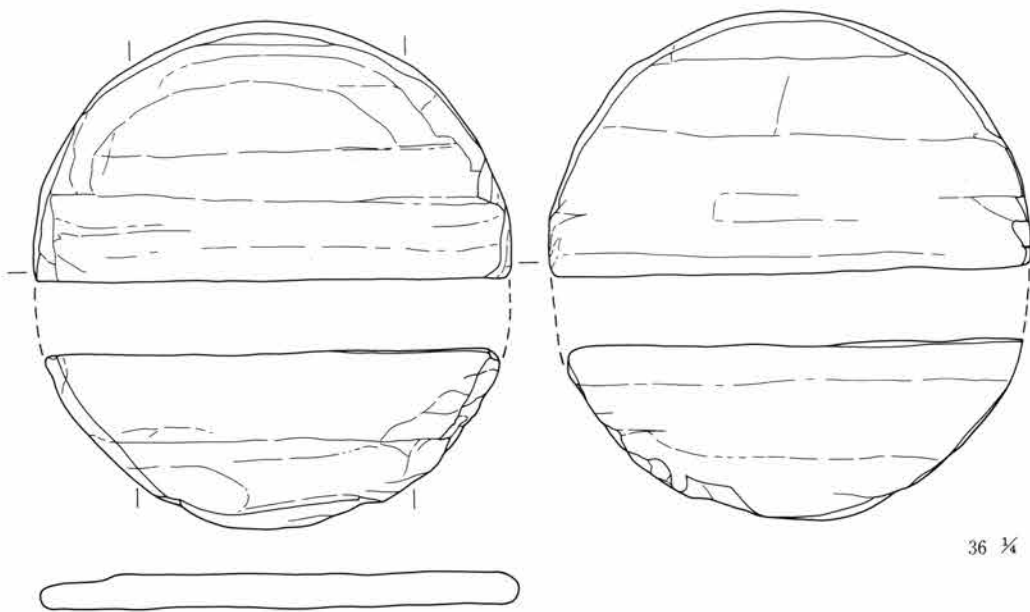
第3图 出土木器(3)



第4図 出土木器(4)

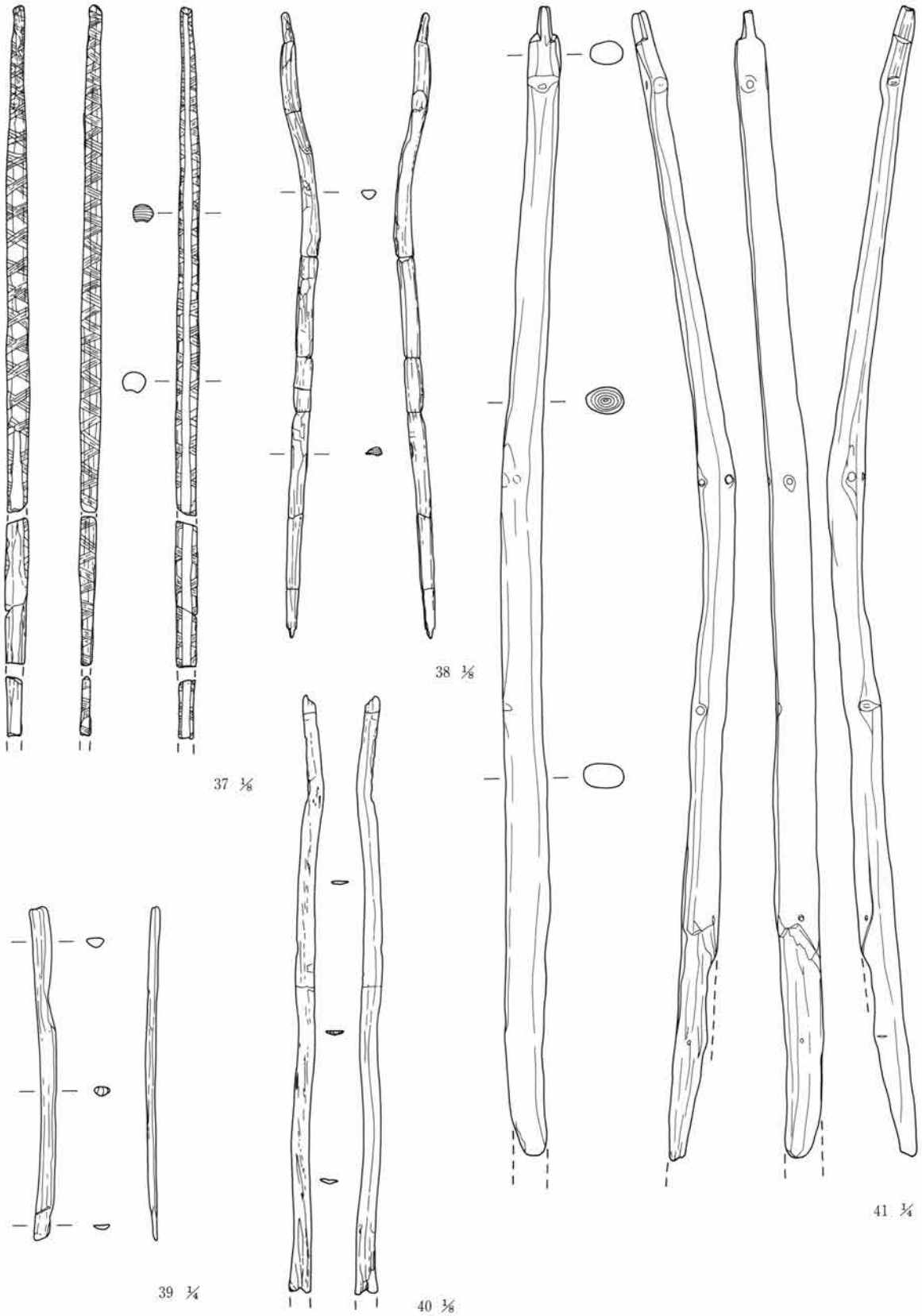


III区 1面出土木器

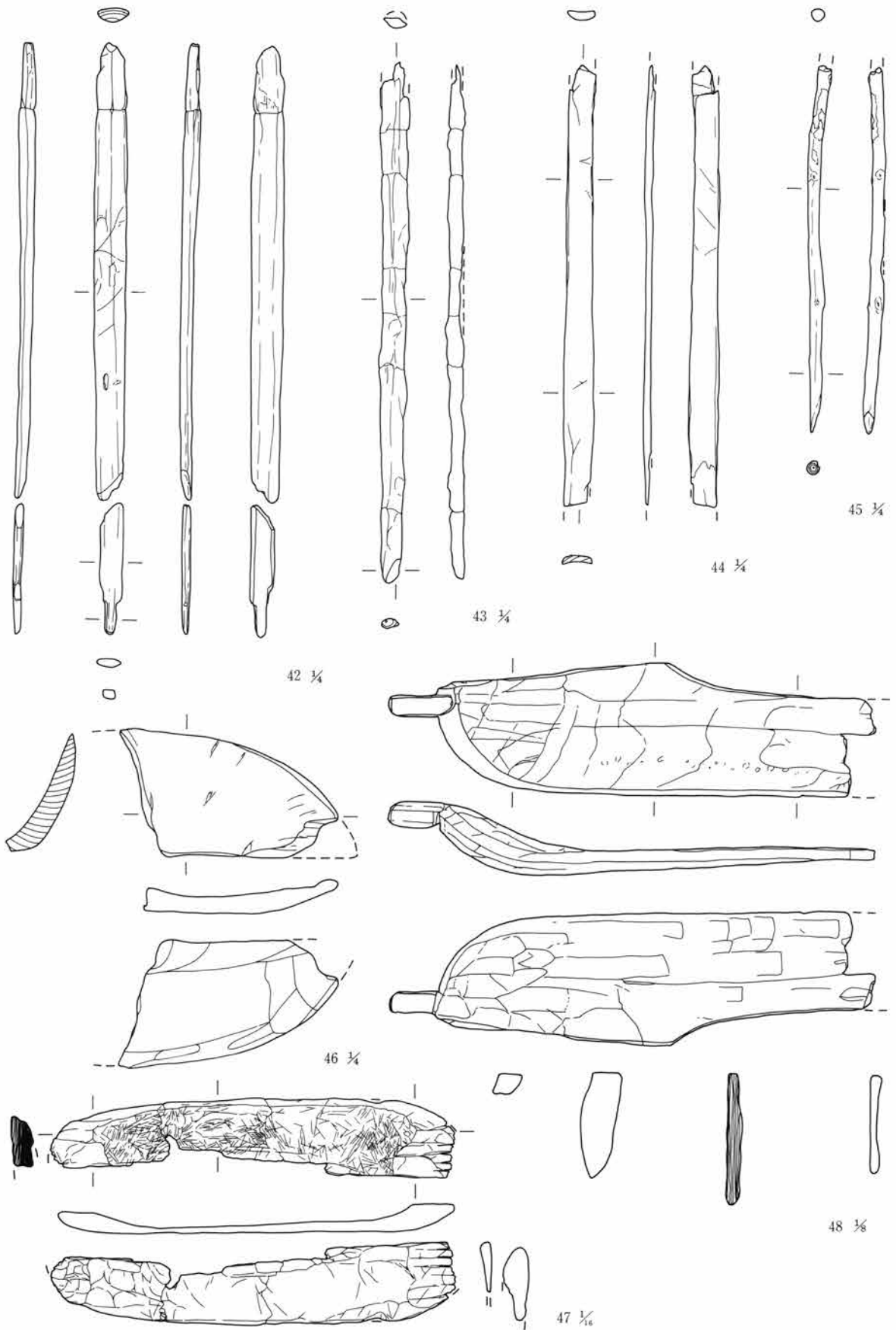


第5图 出土木器(5)

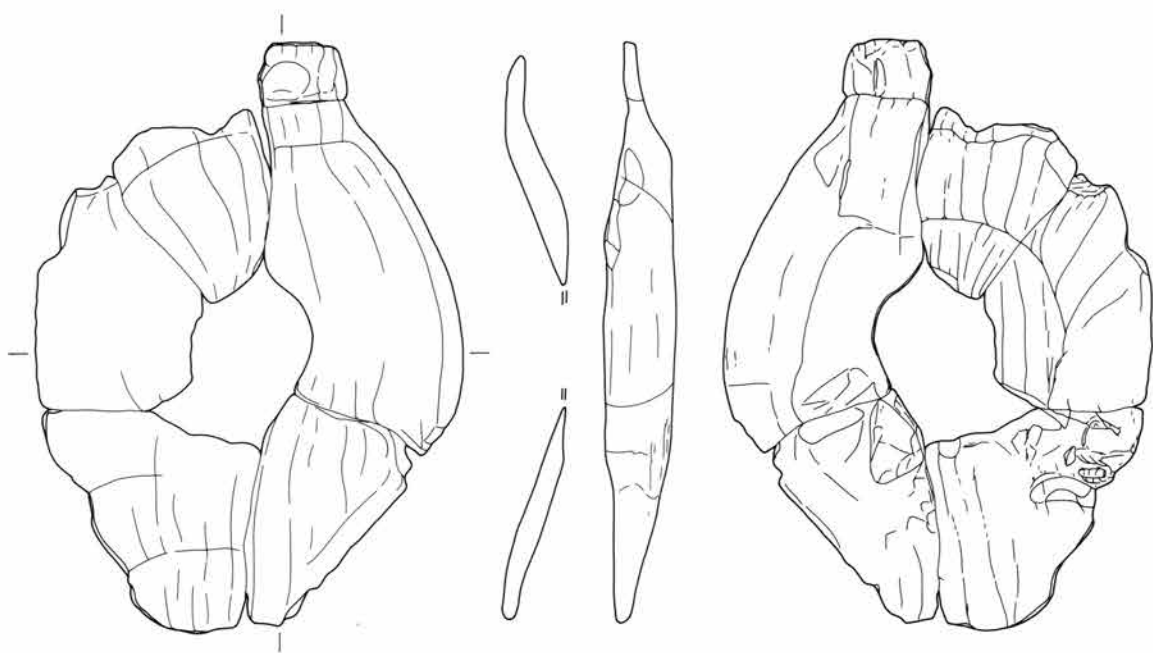
Ⅲ区 3·4面(FA下水田面)出土木器



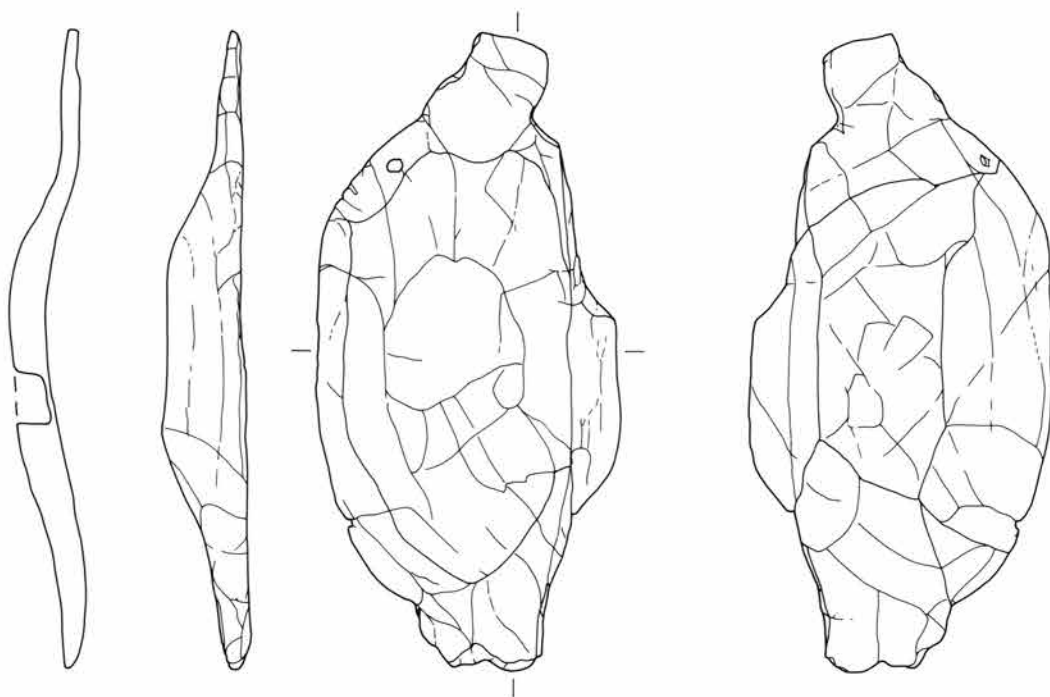
第6图 出土木器(6)



第7图 出土木器(7)

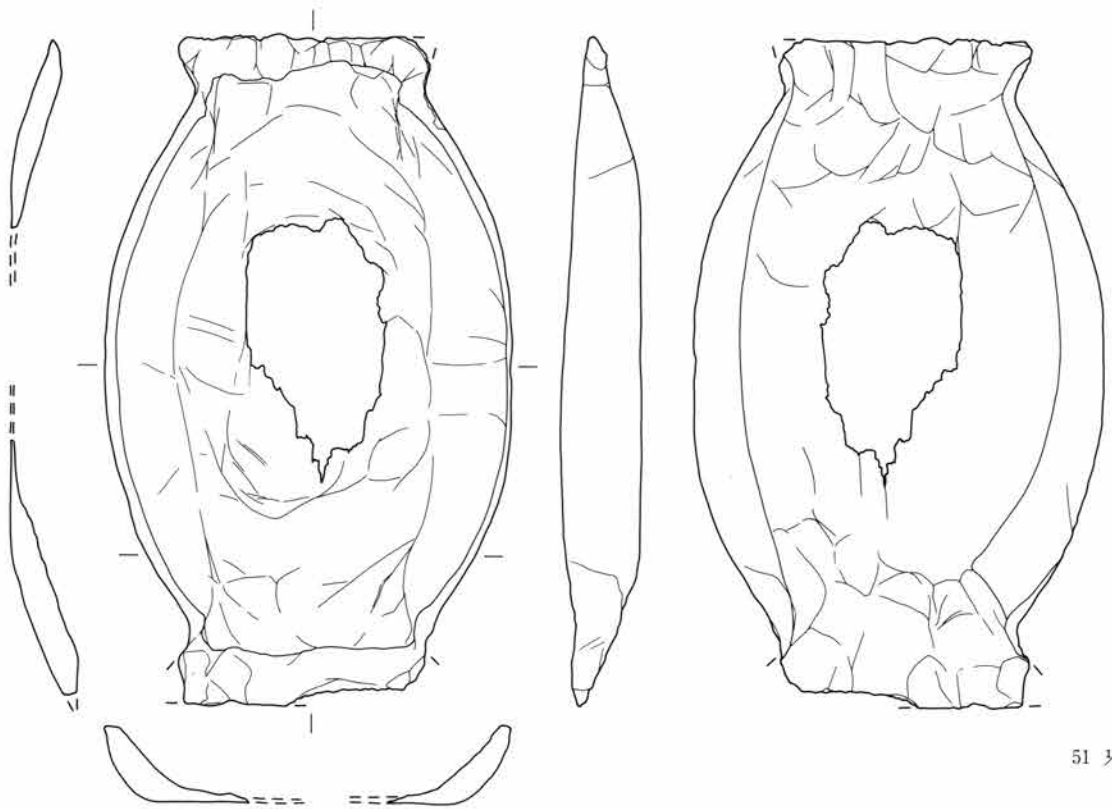


49 ¼

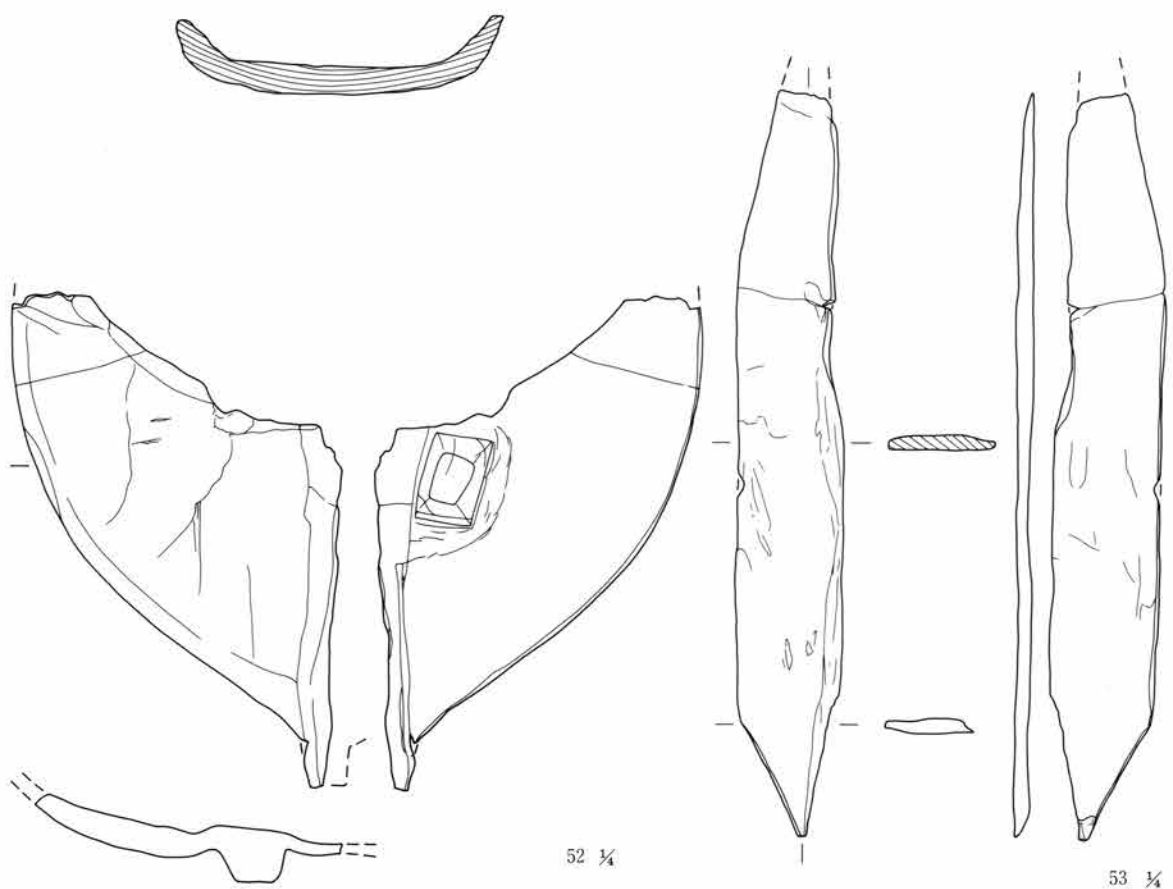


50 ¼

第8图 出土木器(8)



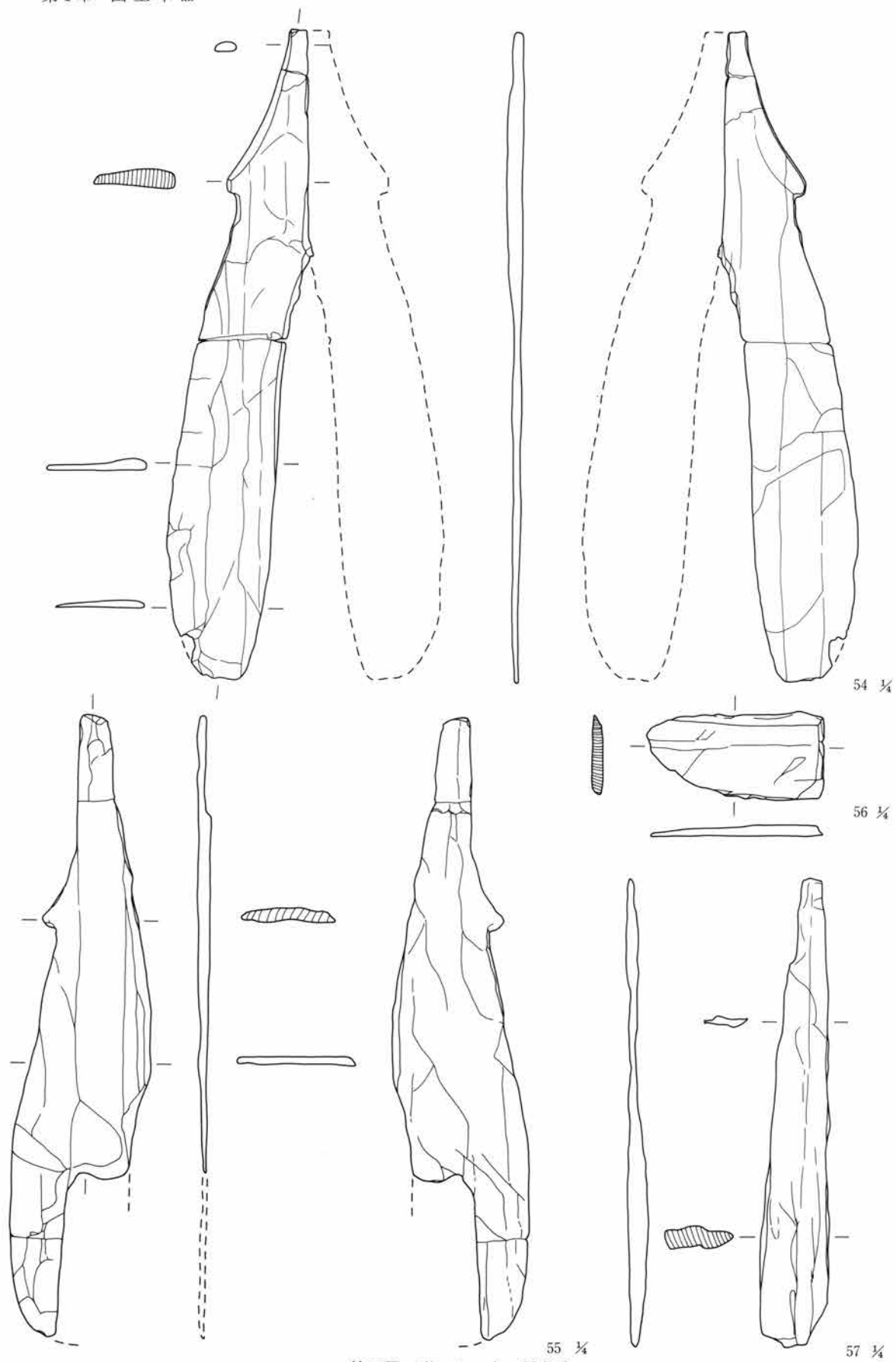
51 ¼



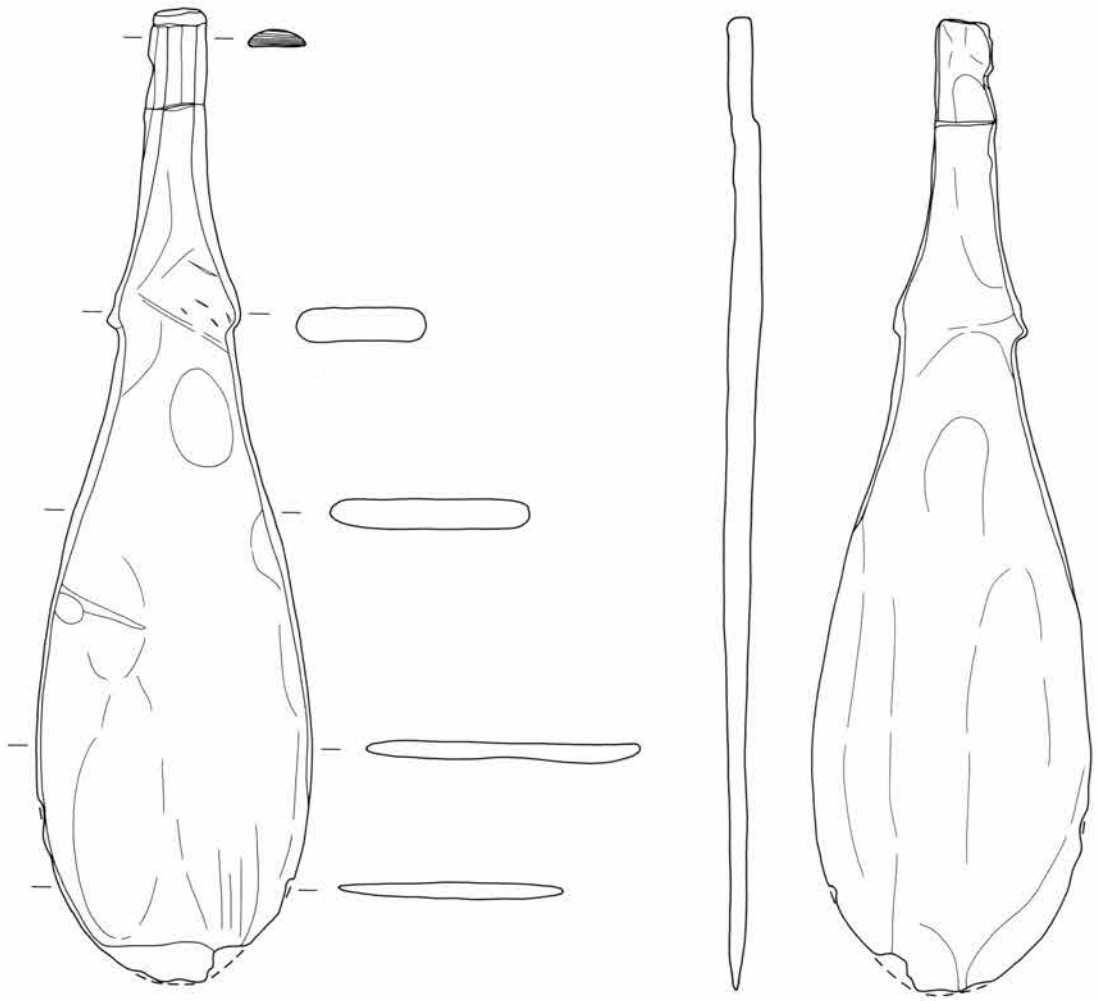
52 ¼

53 ¼

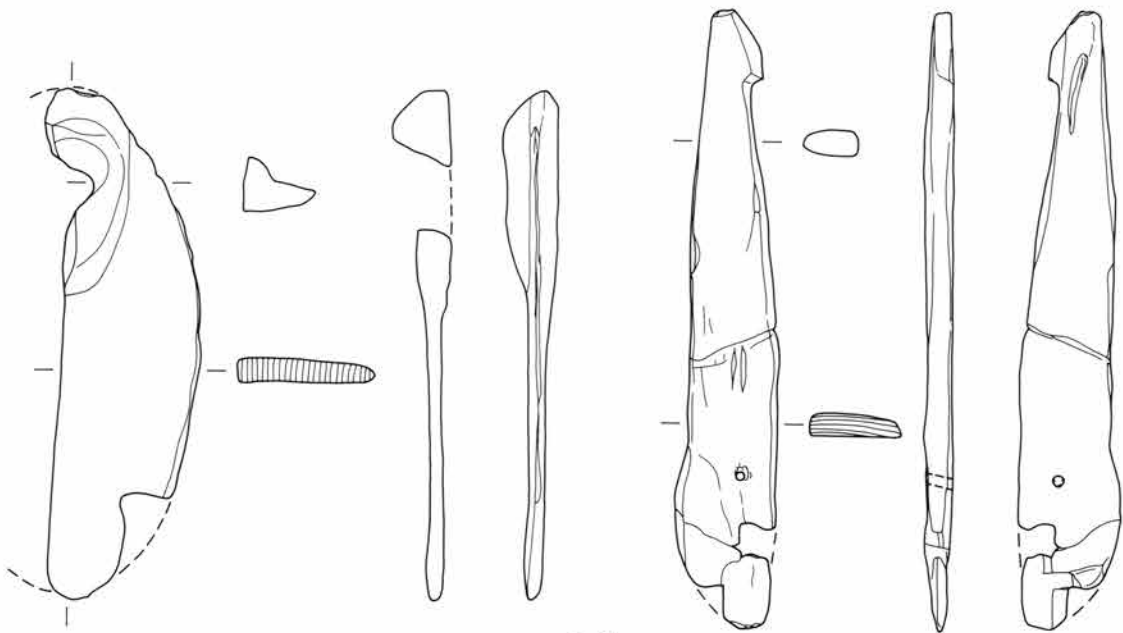
第9图 出土木器(9)



第10图 出土木器(10)



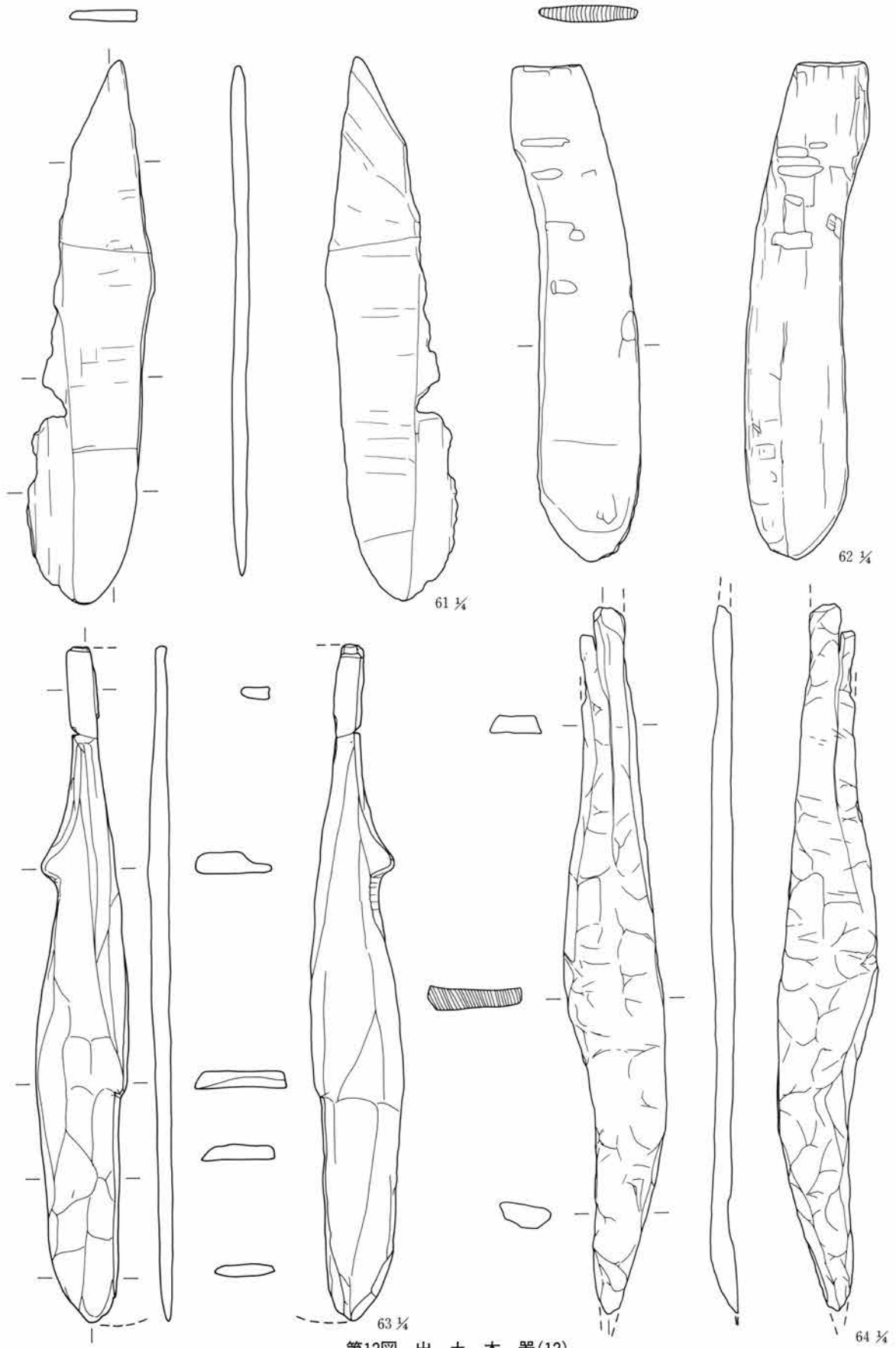
58 ¼



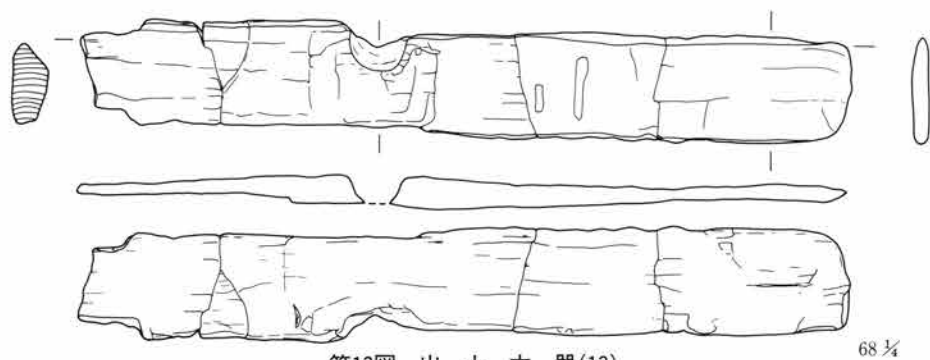
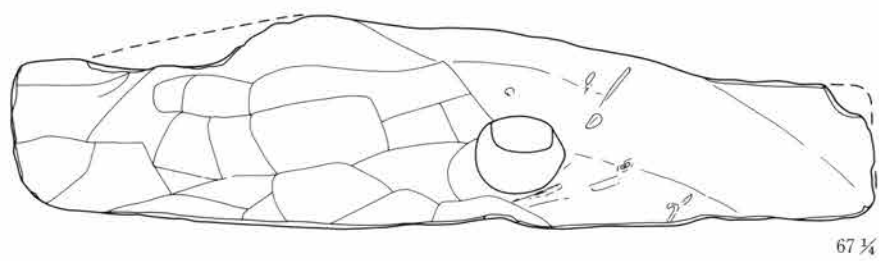
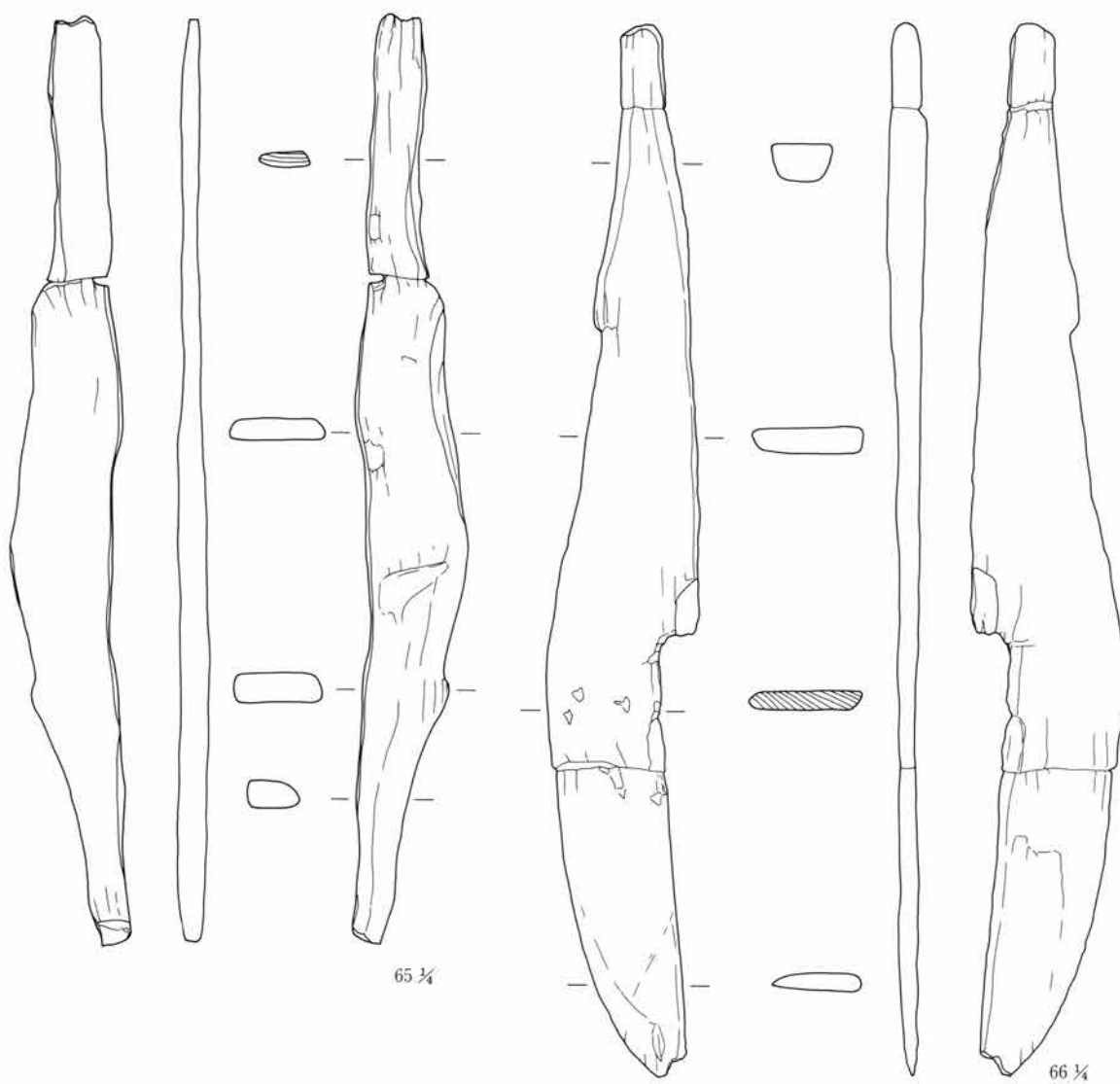
59 ¼

60 ¼

第11图 出土木器(11)

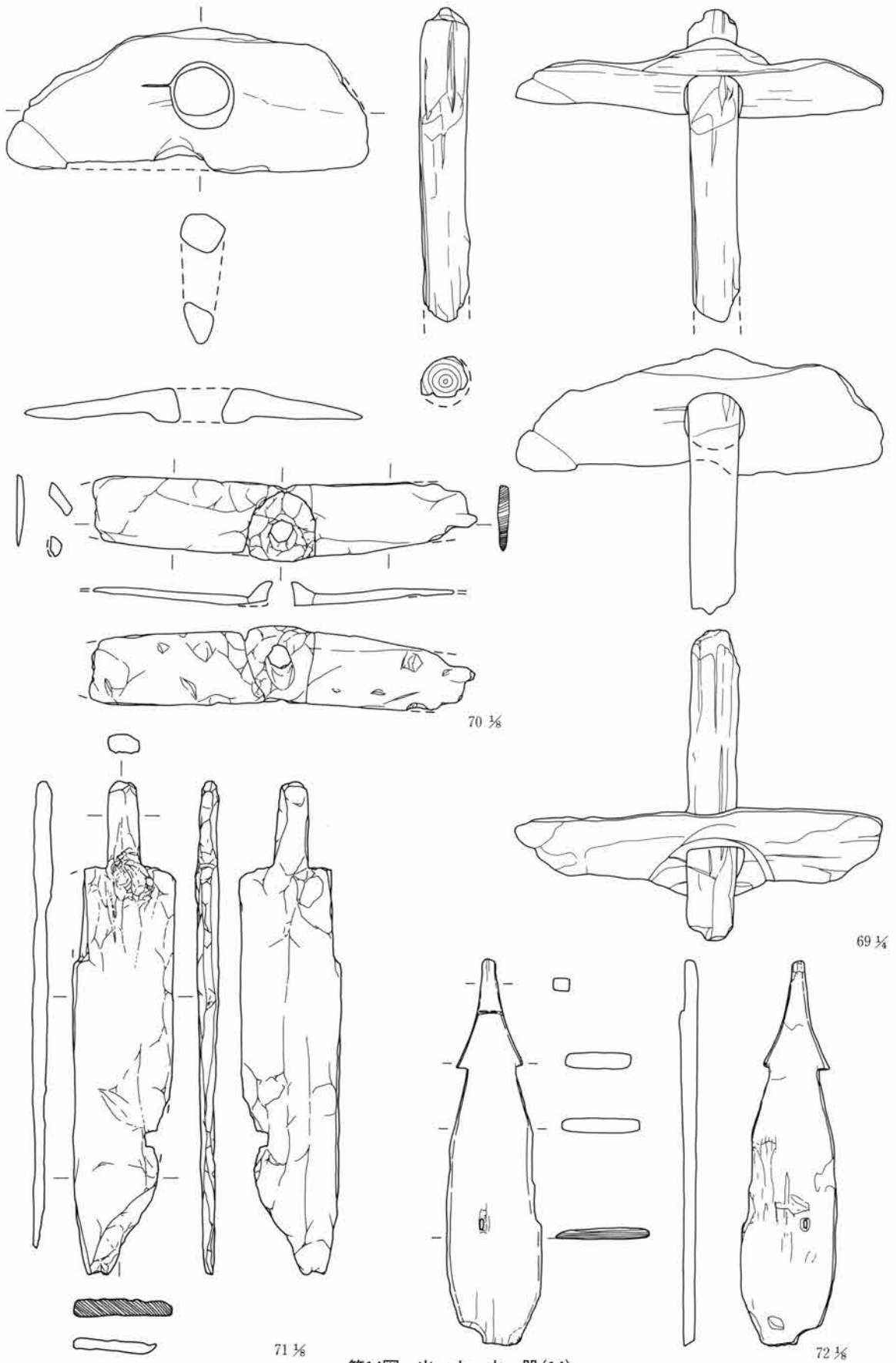


第12图 出土木器(12)

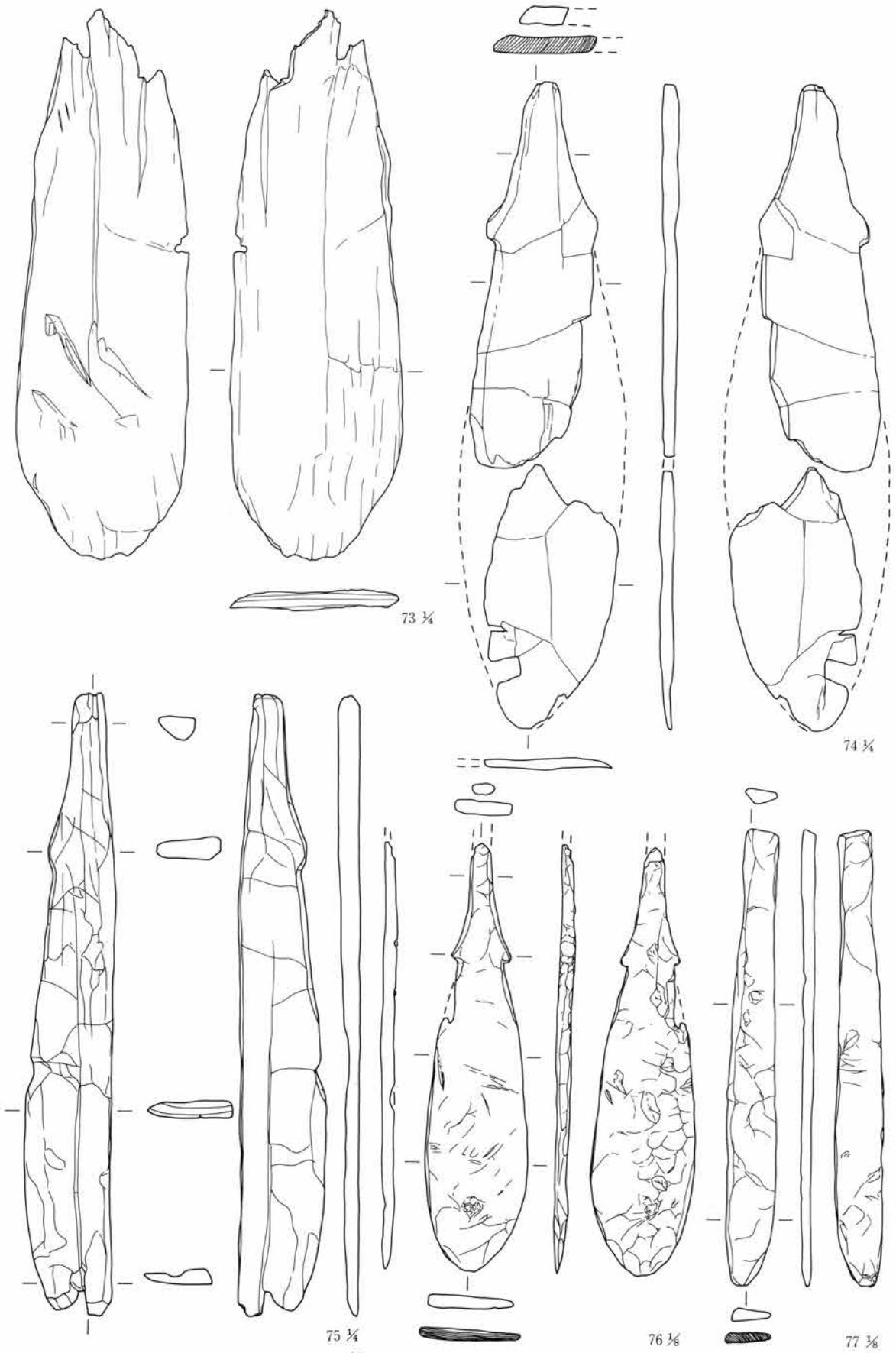


第13图 出土木器(13)

第1章 出土木器

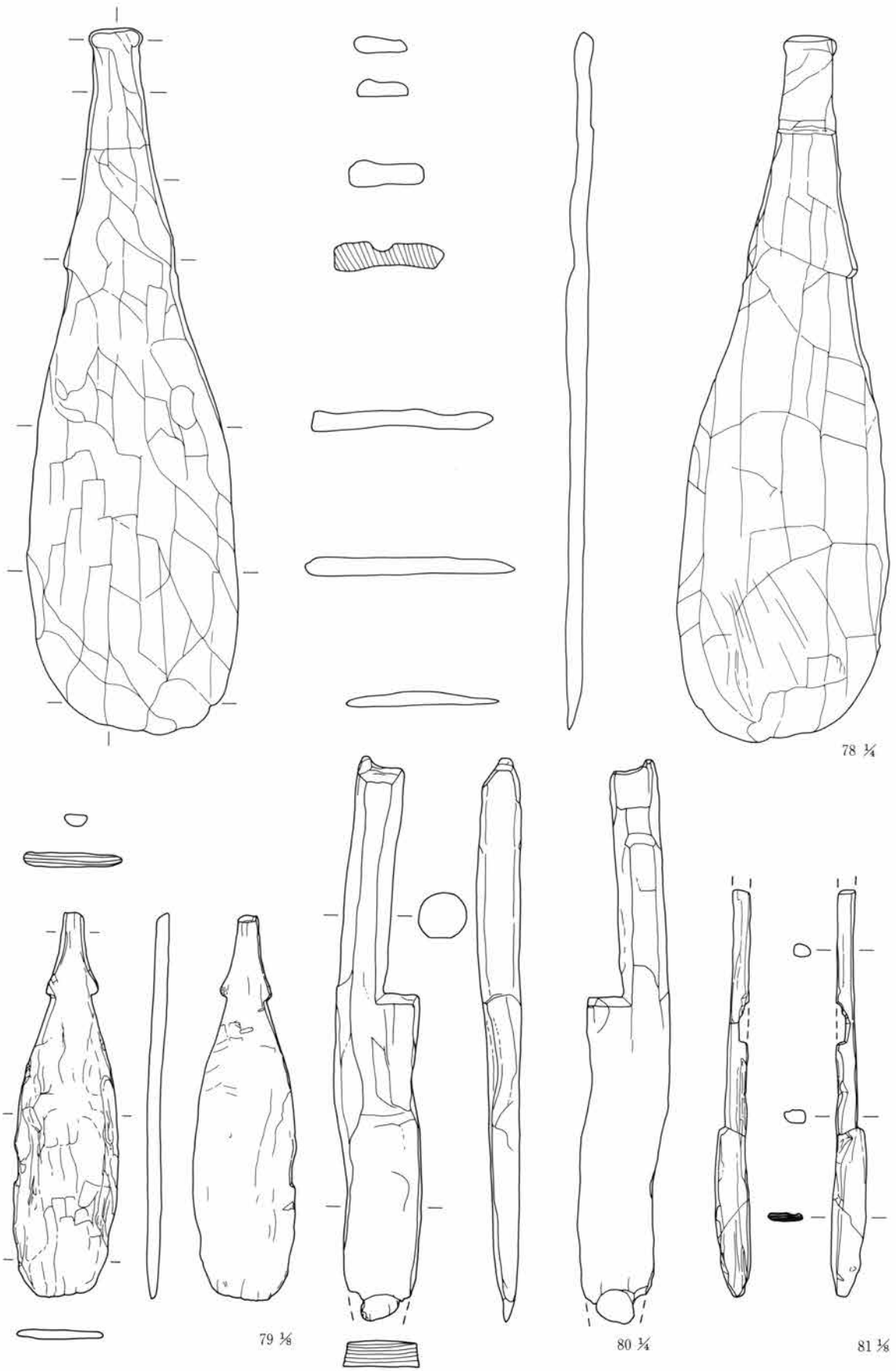


第14图 出土木器(14)

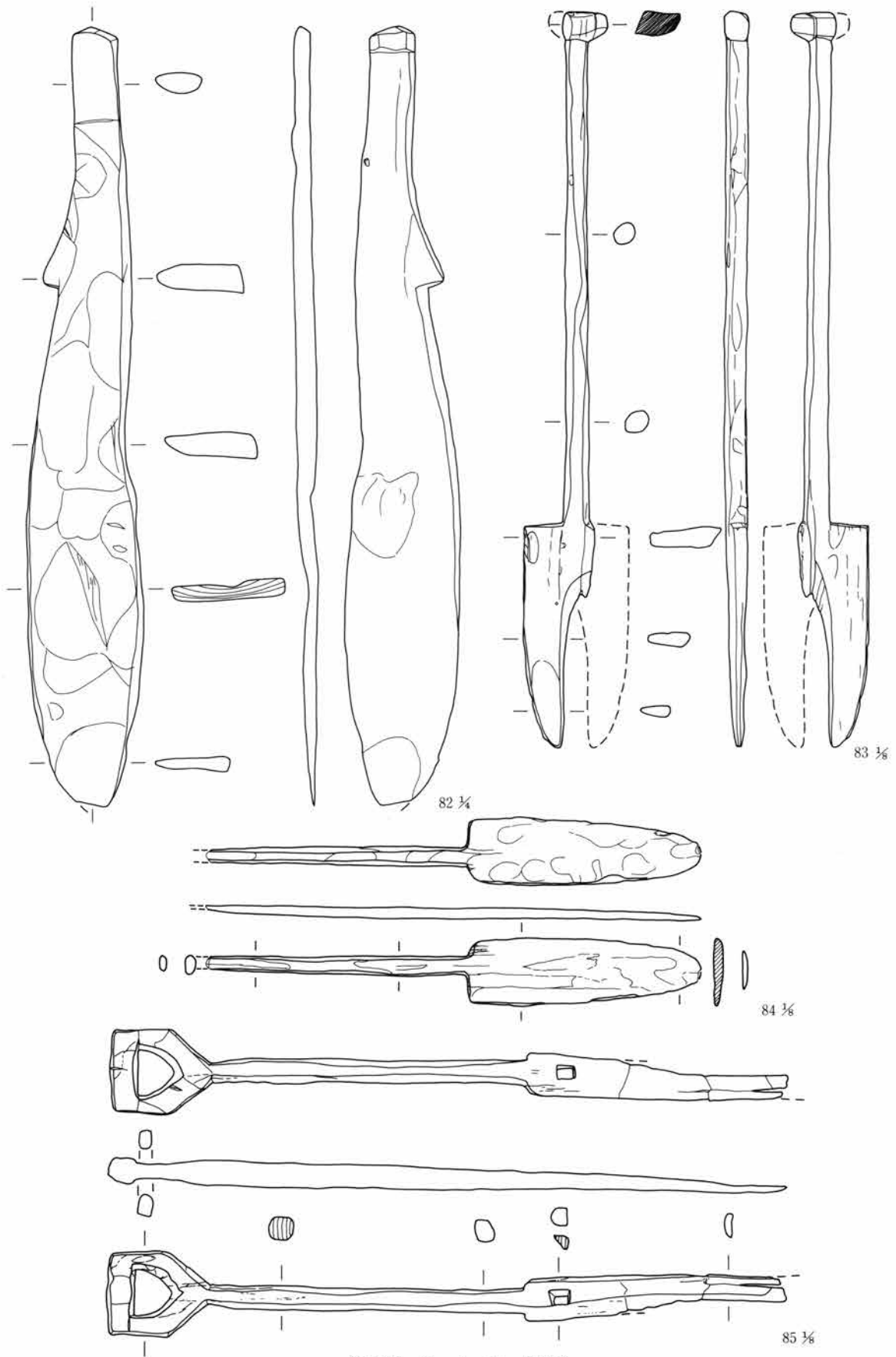


第15图 出土木器(15)

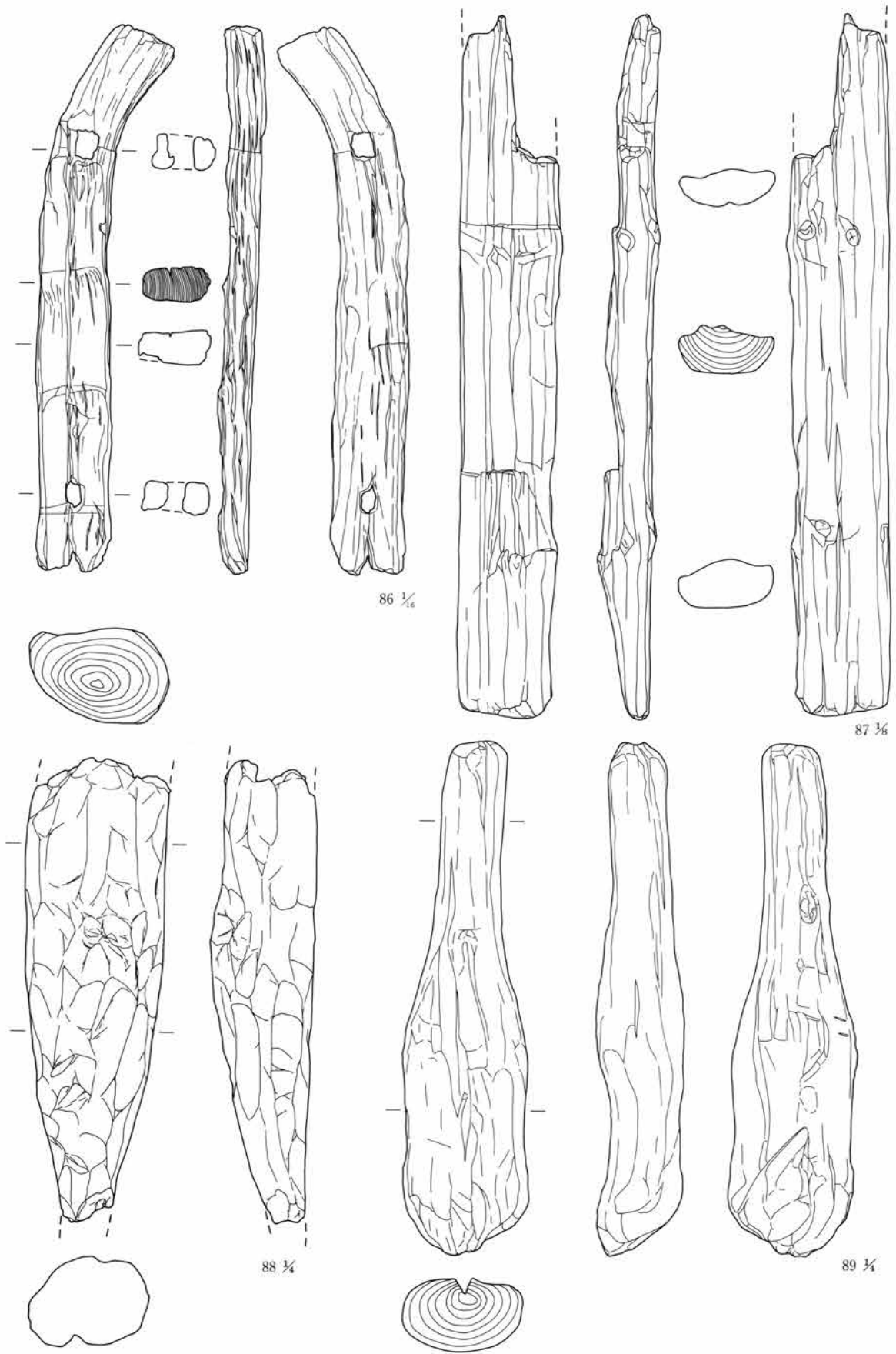
第1章 出土木器



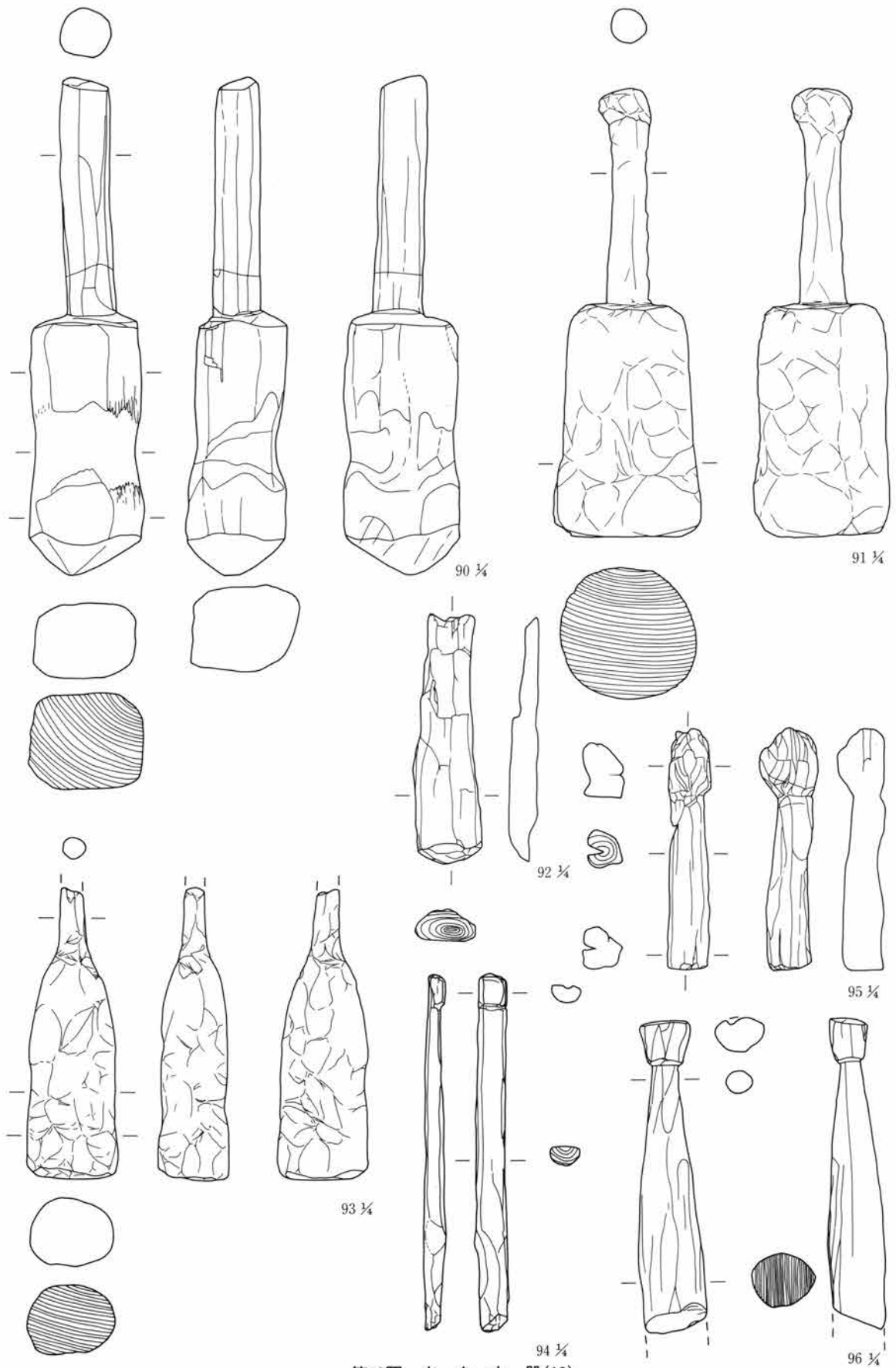
第16图 出土木器(16)



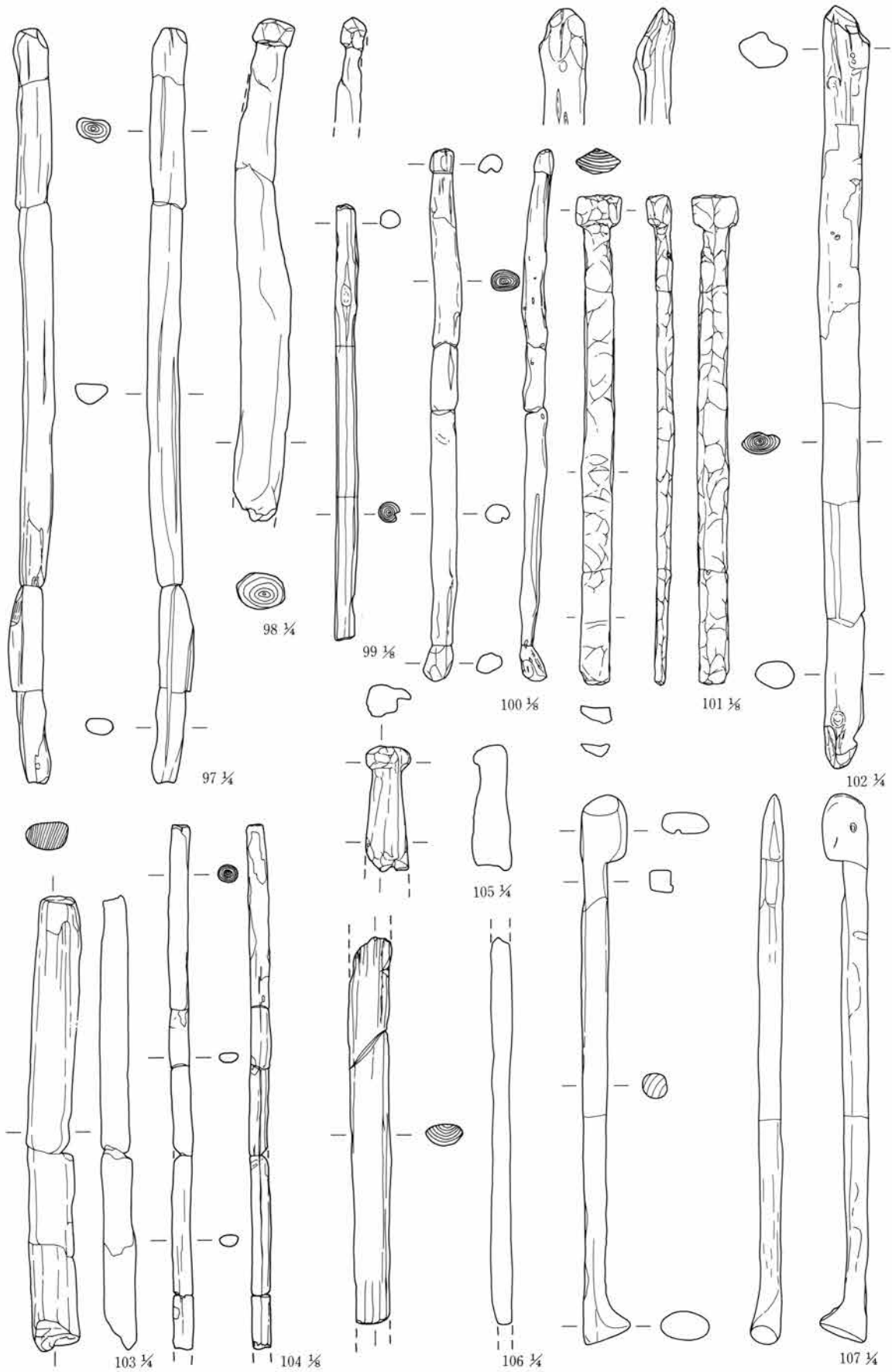
第17图 出土木器(17)



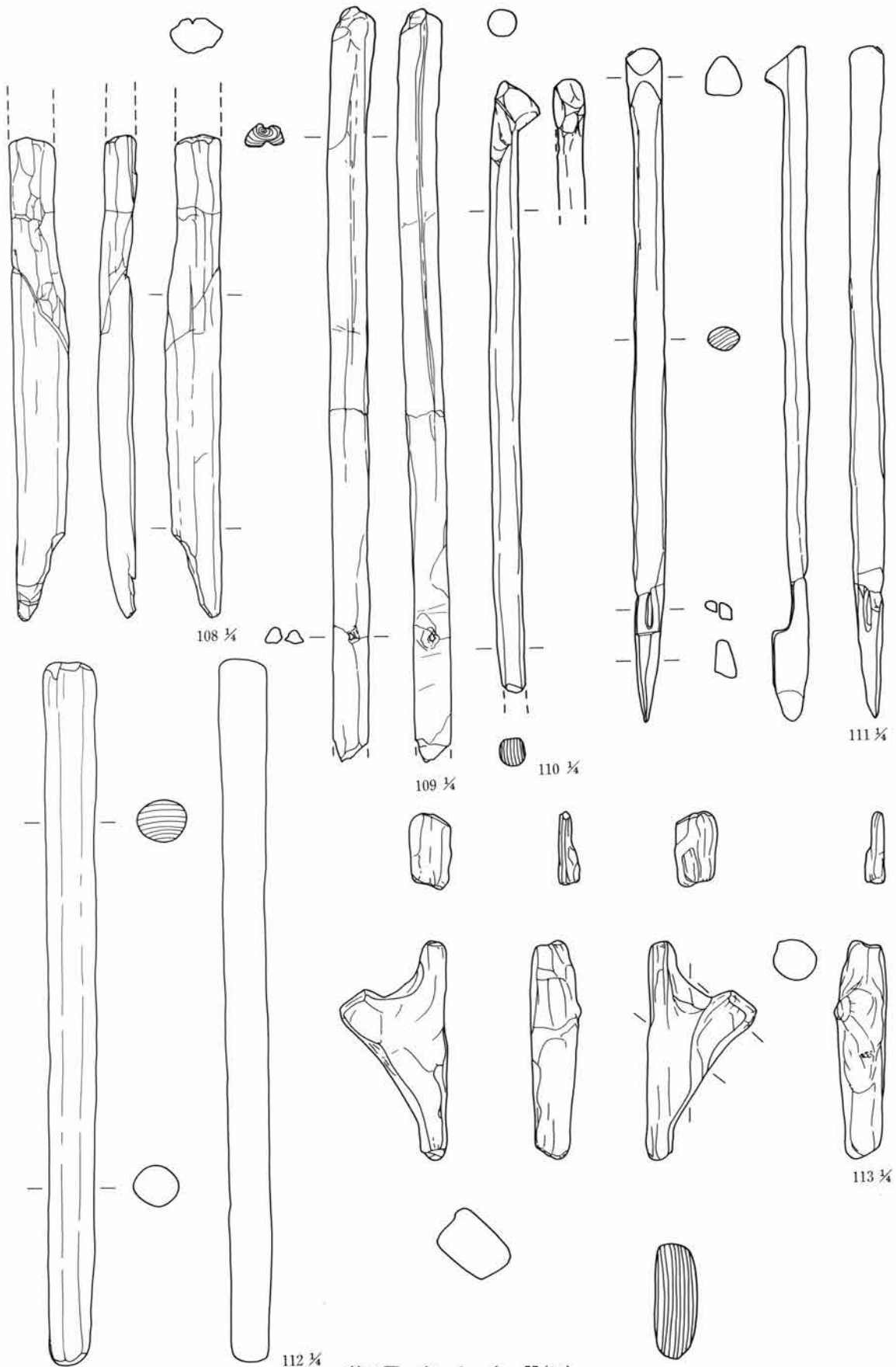
第18图 出土木器(18)



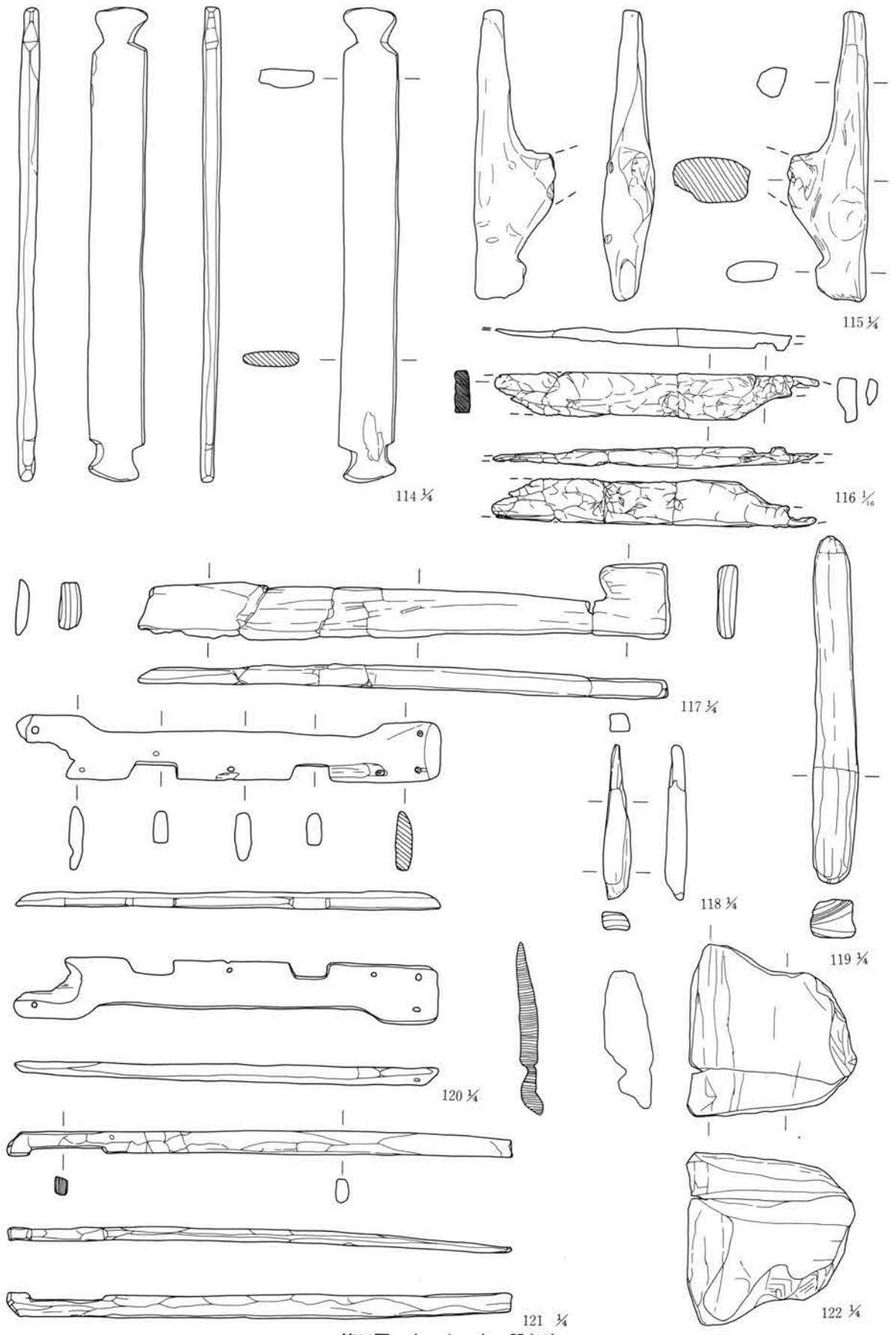
第19图 出土木器(19)



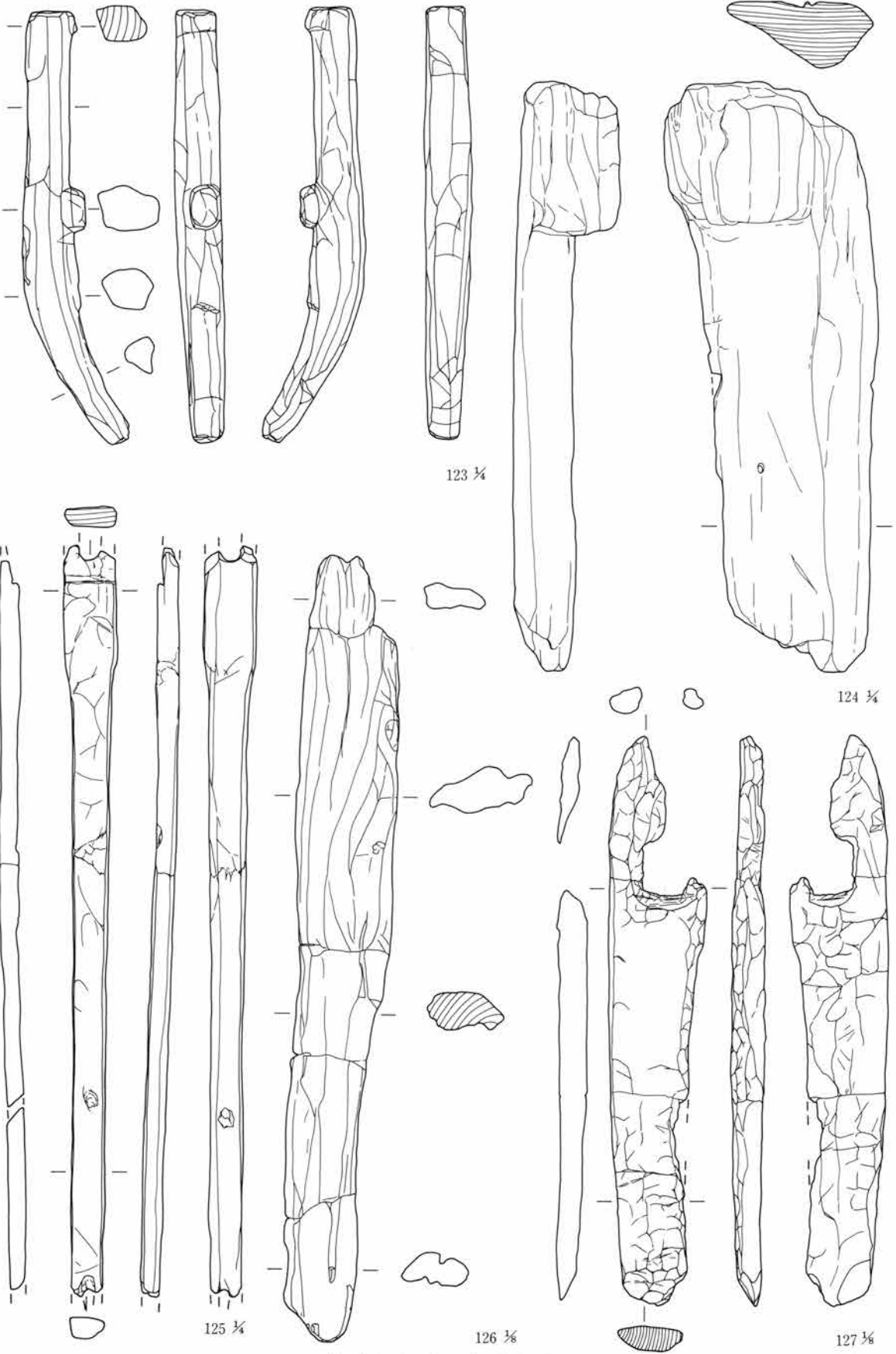
第20图 出土木器(20)



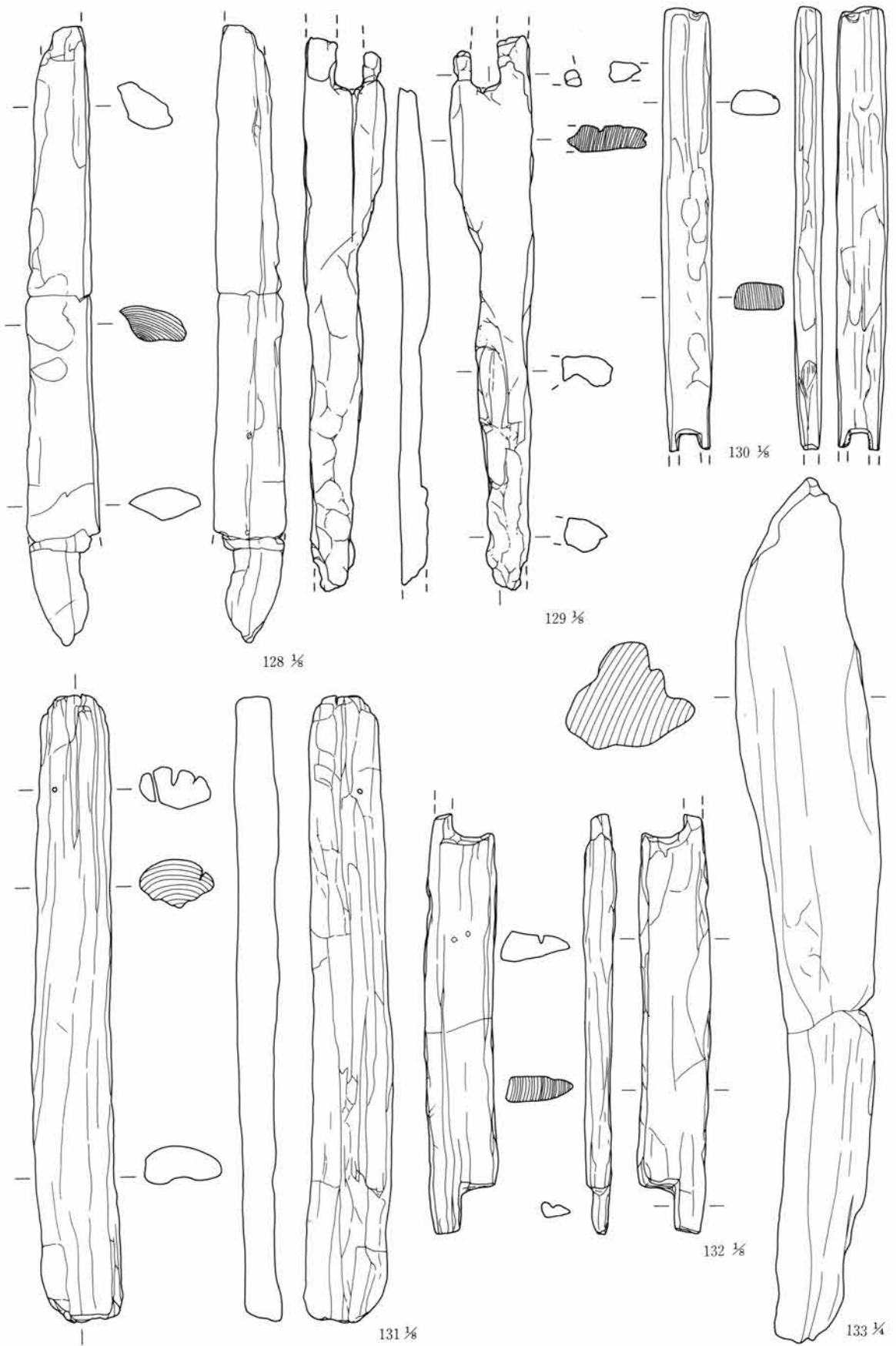
第21图 出土木器(21)



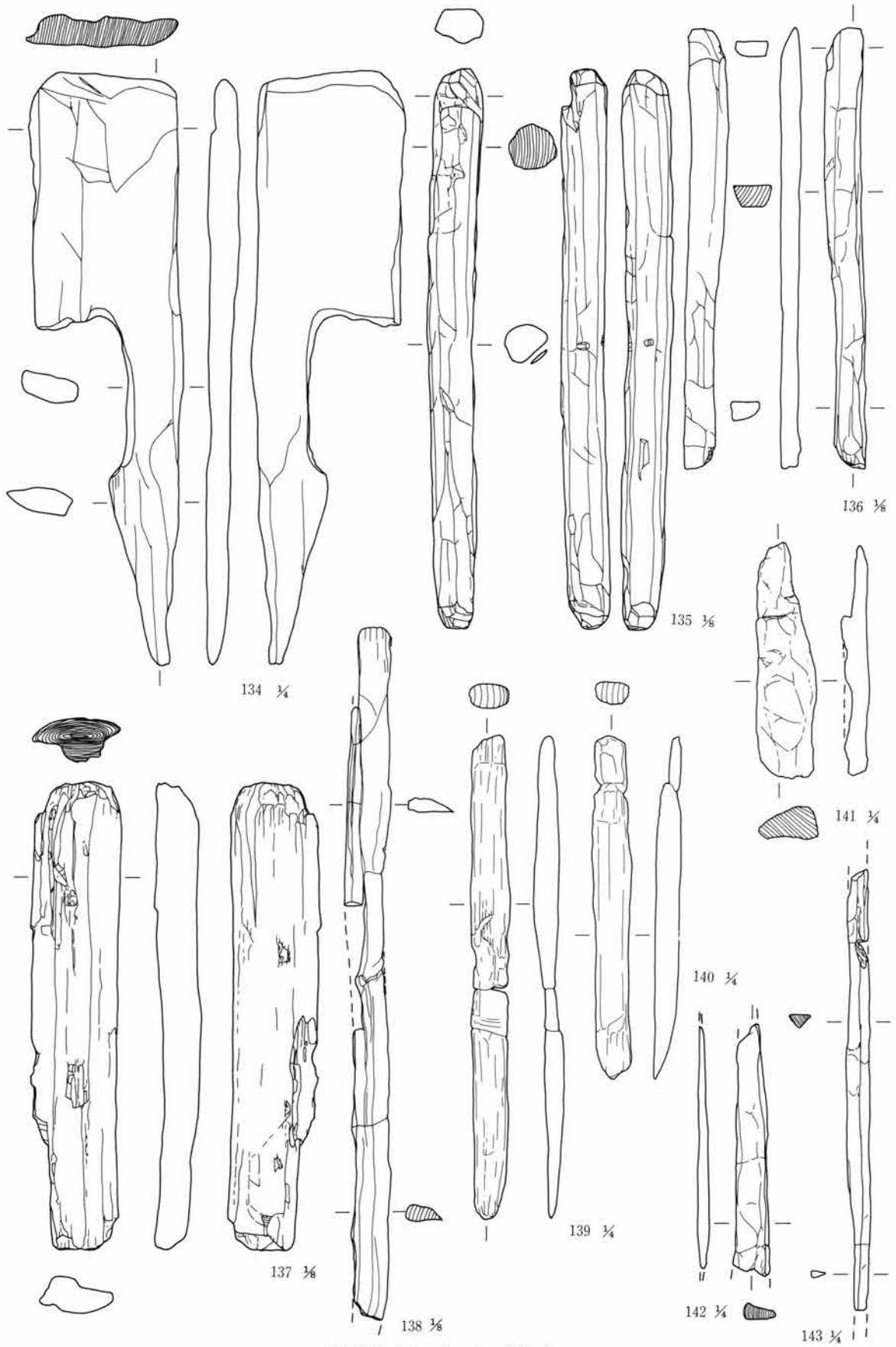
第22图 出土木器(22)



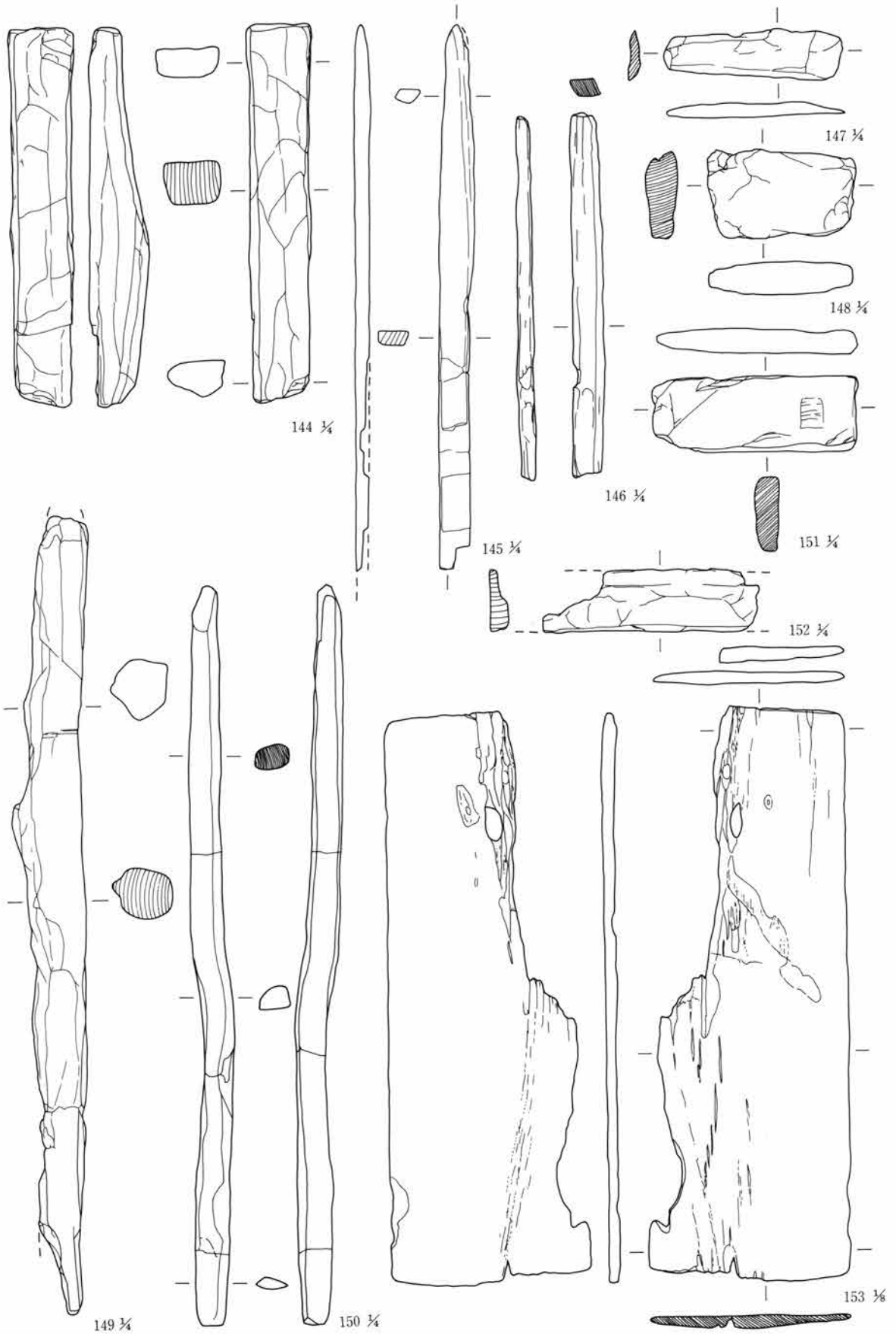
第23图 出土木器(23)



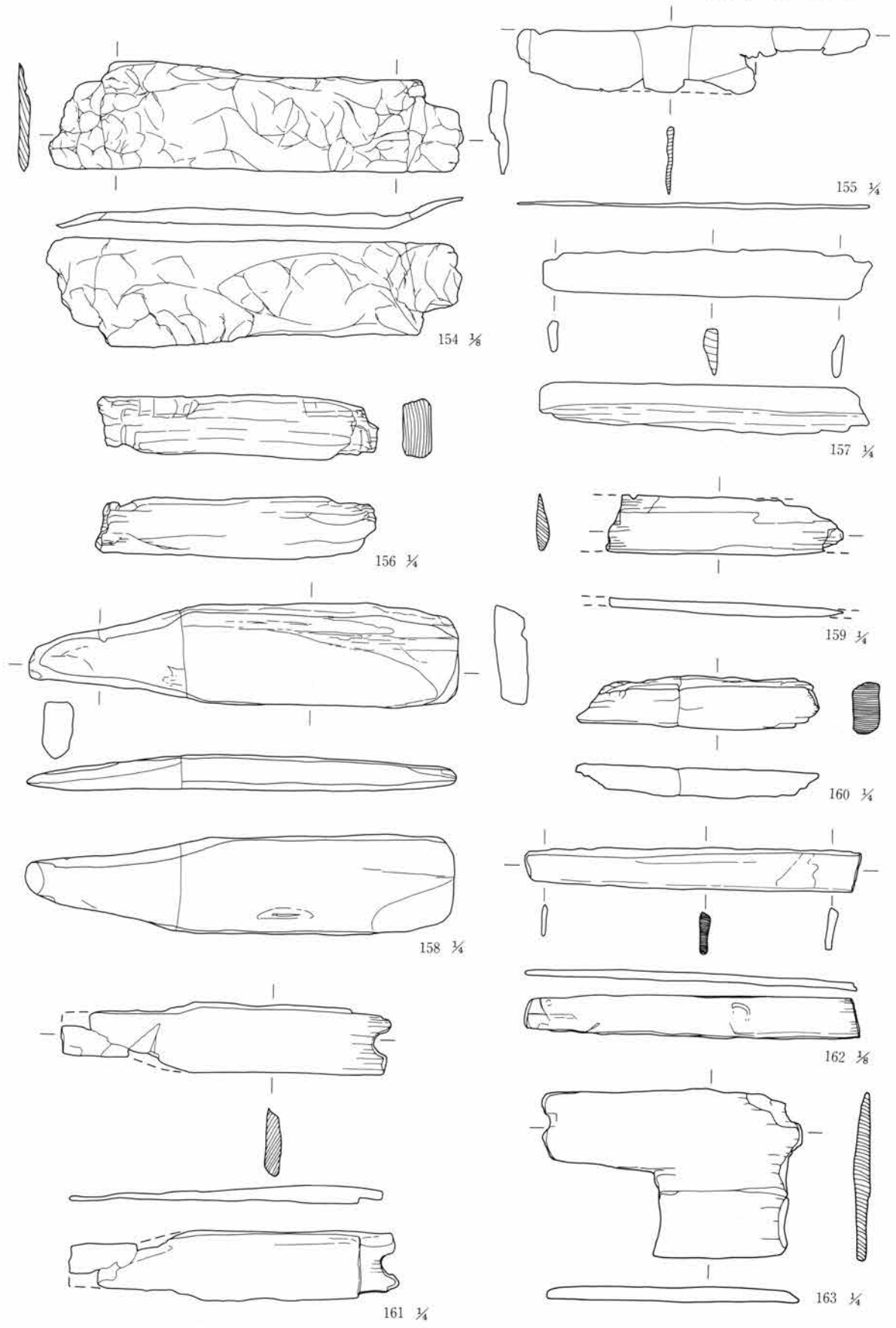
第24图 出土木器(24)



第25图 出土木器(25)

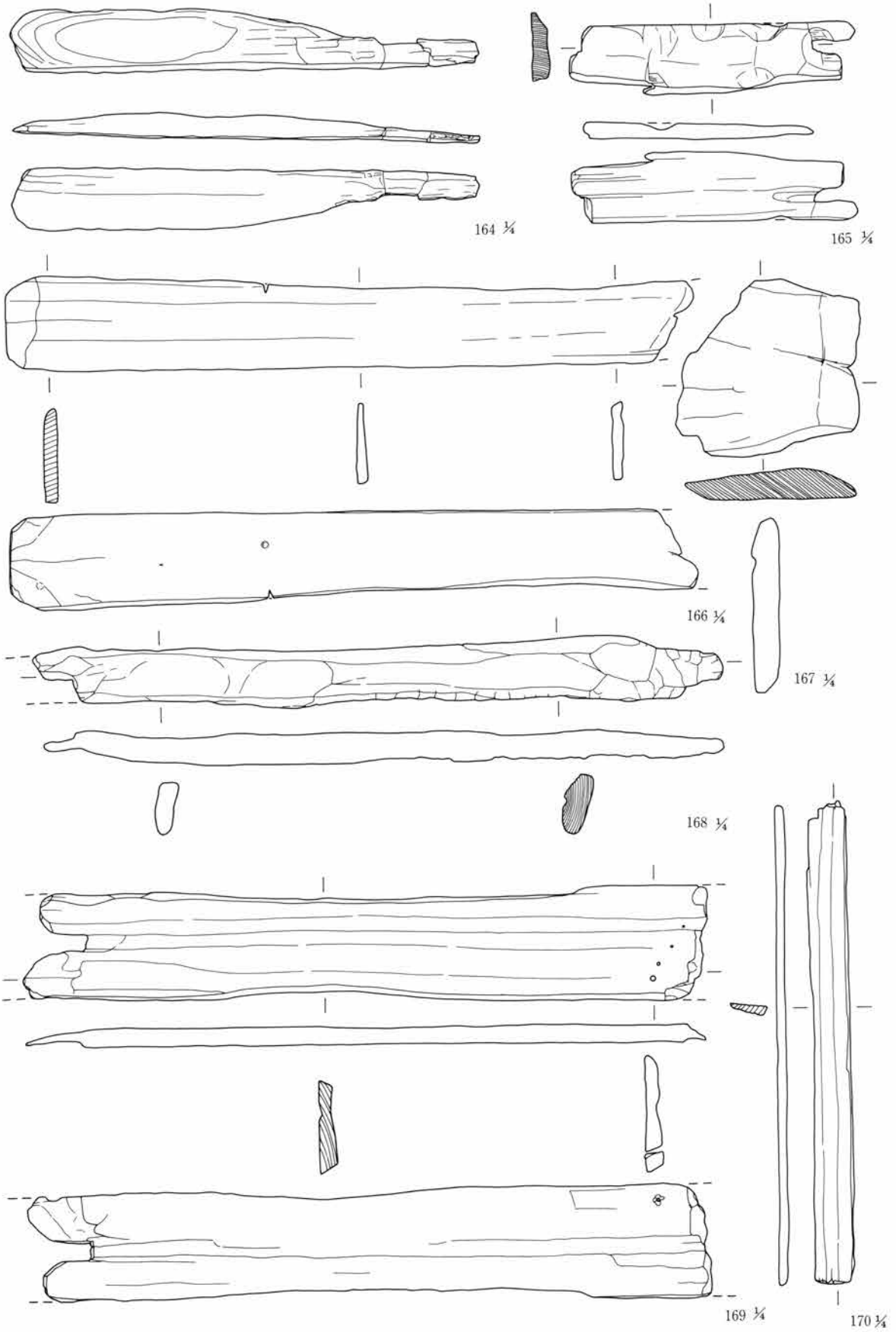


第26图 出土木器(26)

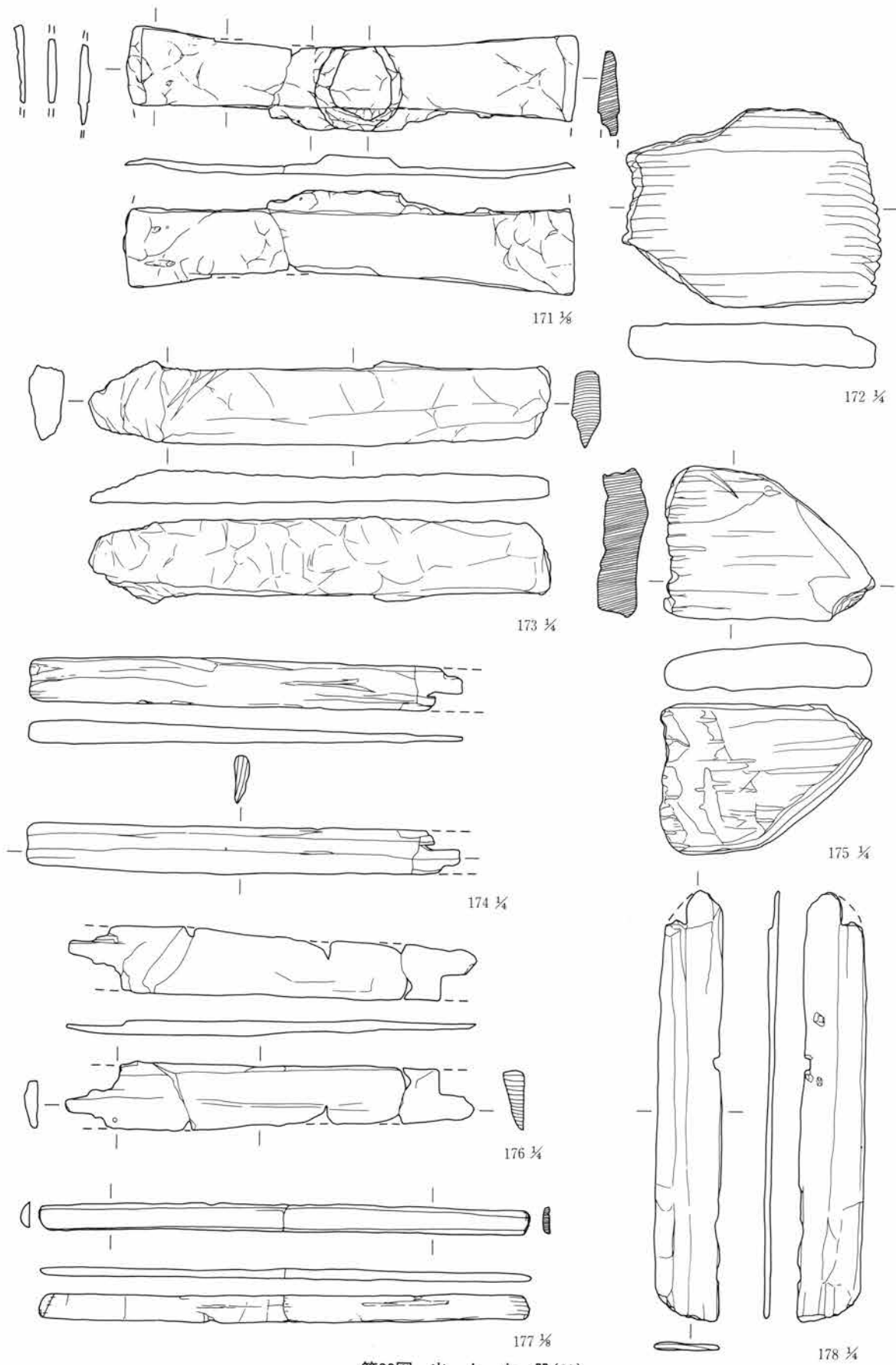


第27图 出土木器(27)

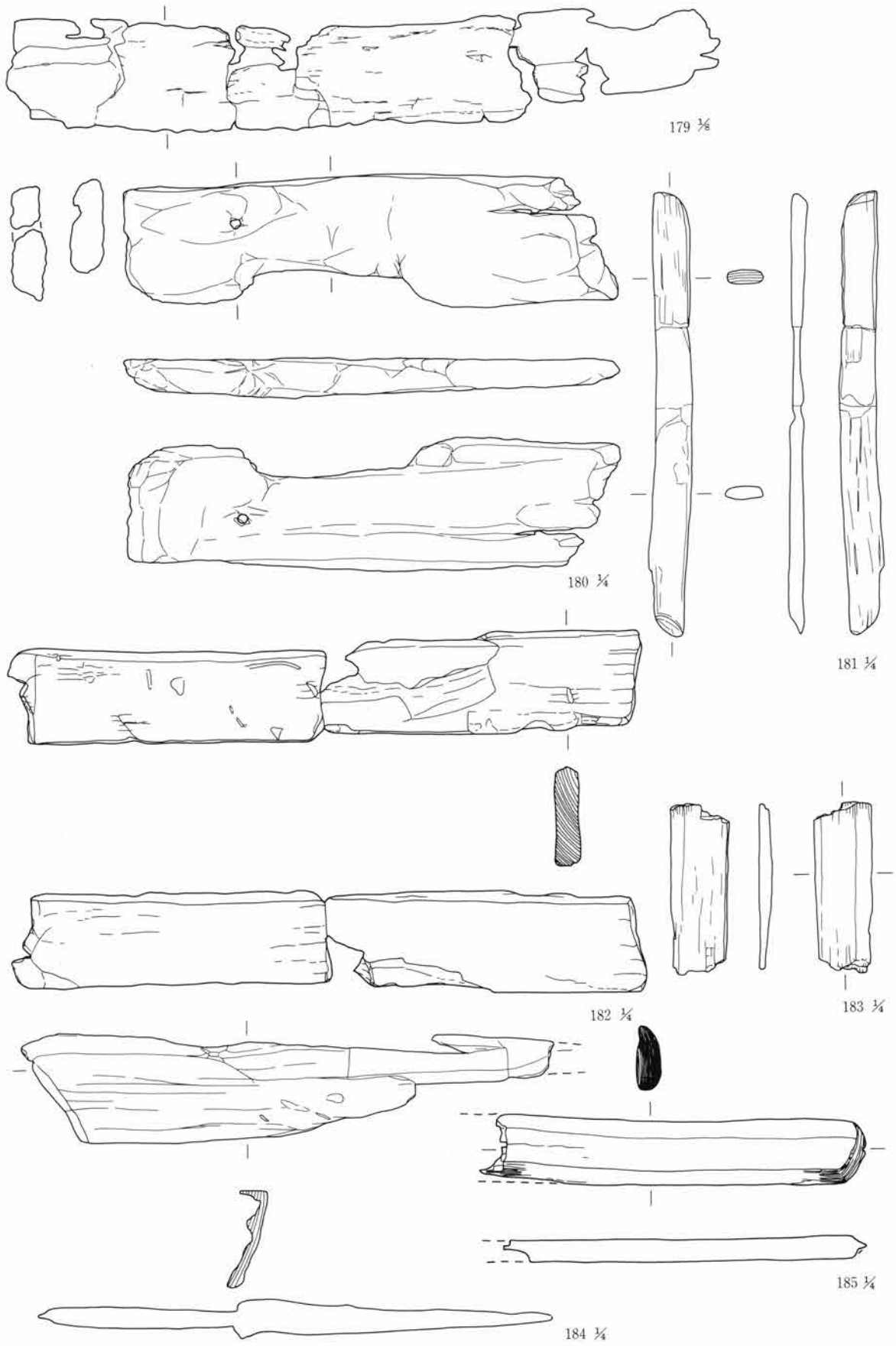
第1章 出土木器



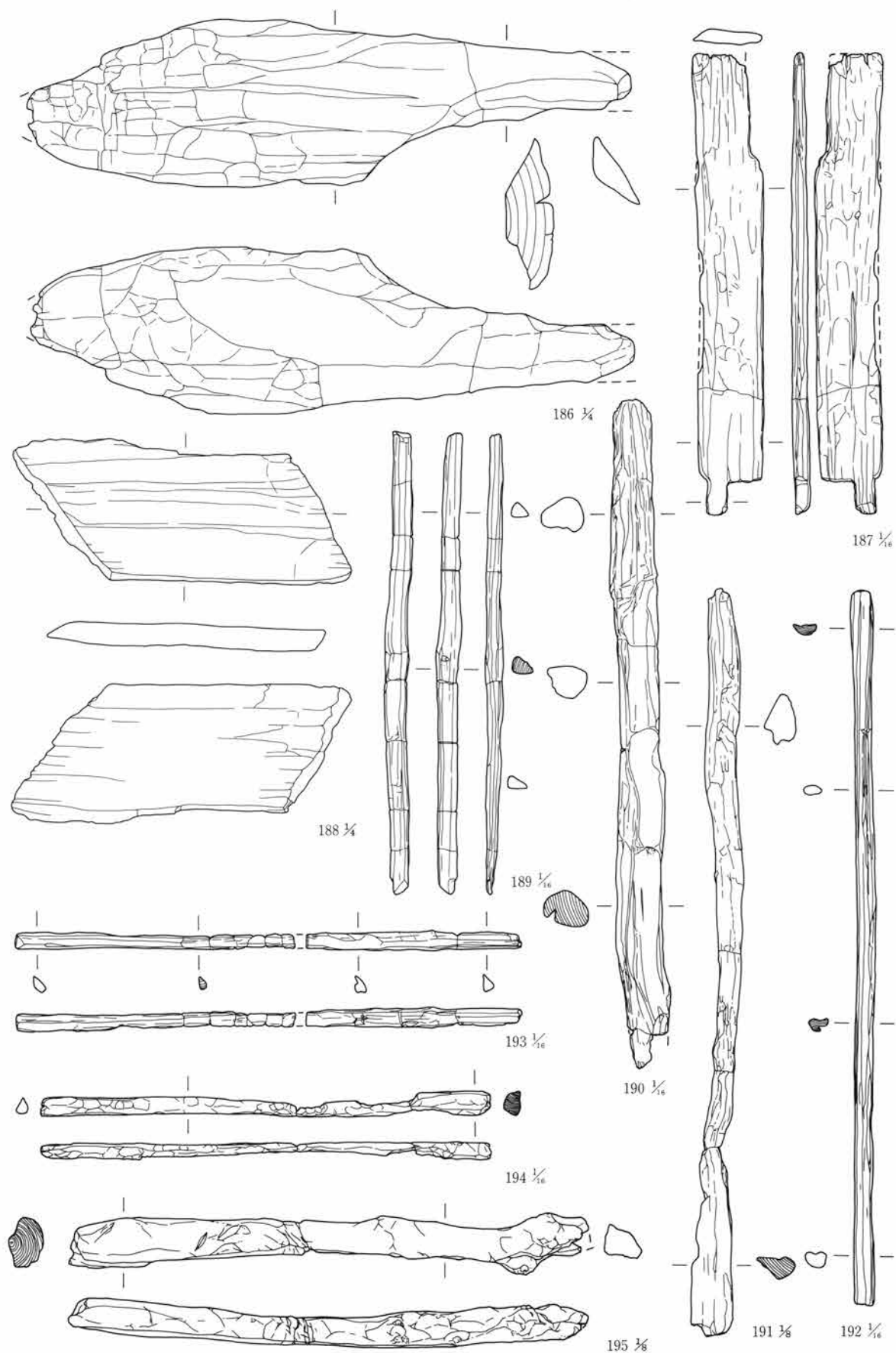
第28图 出土木器(28)



第29图 出土木器(29)

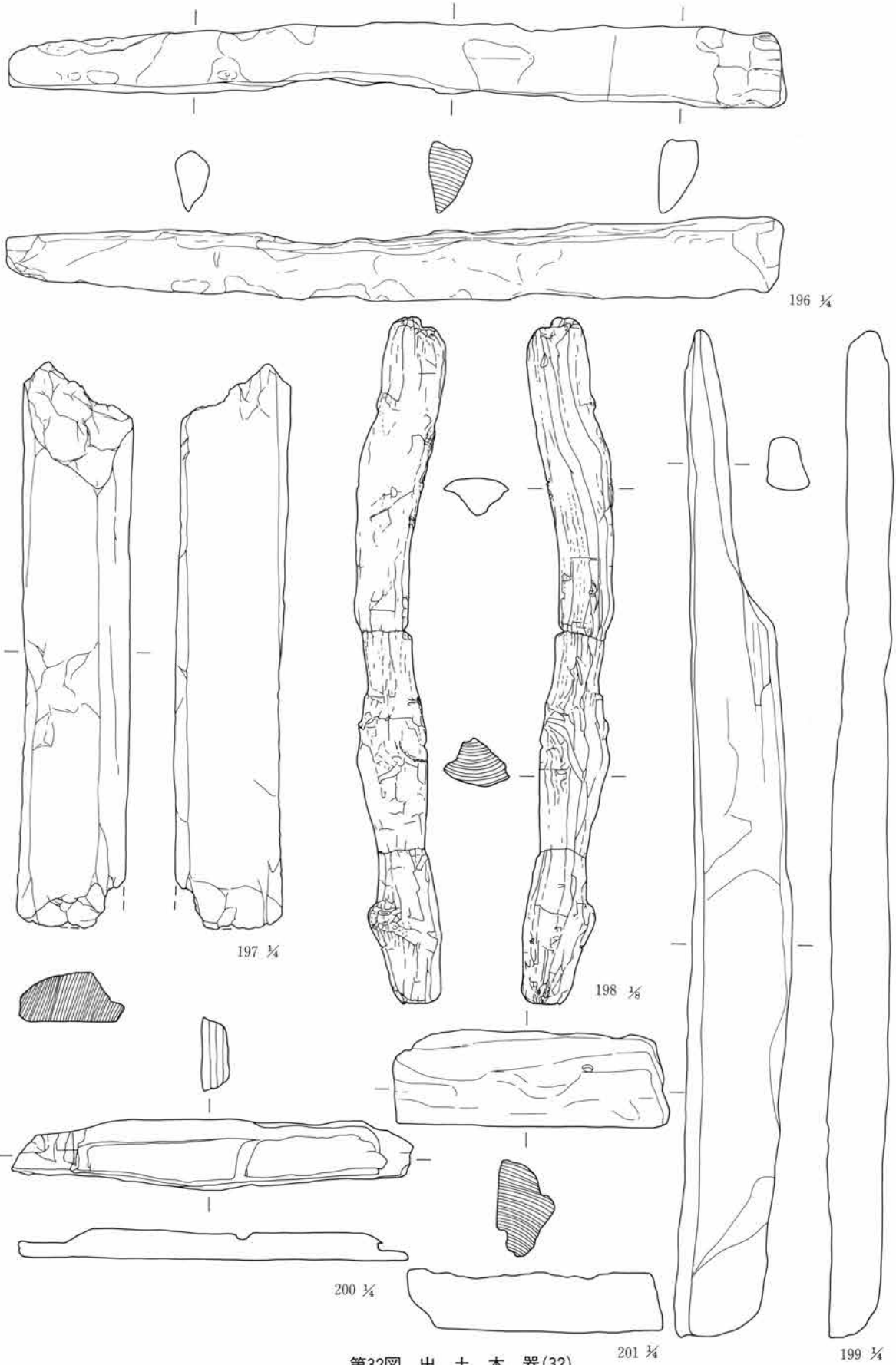


第30图 出土木器(30)

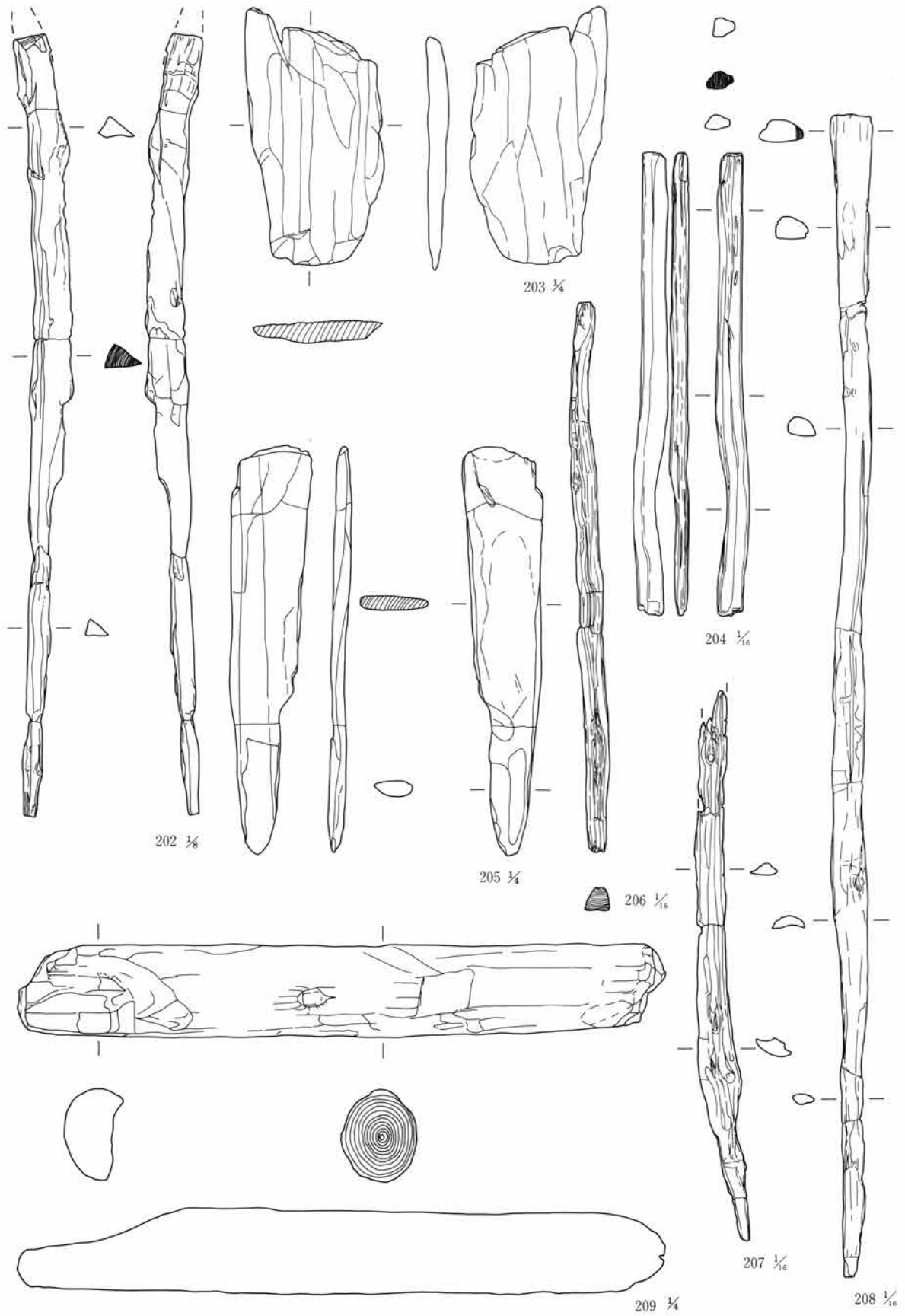


第31图 出土木器(31)

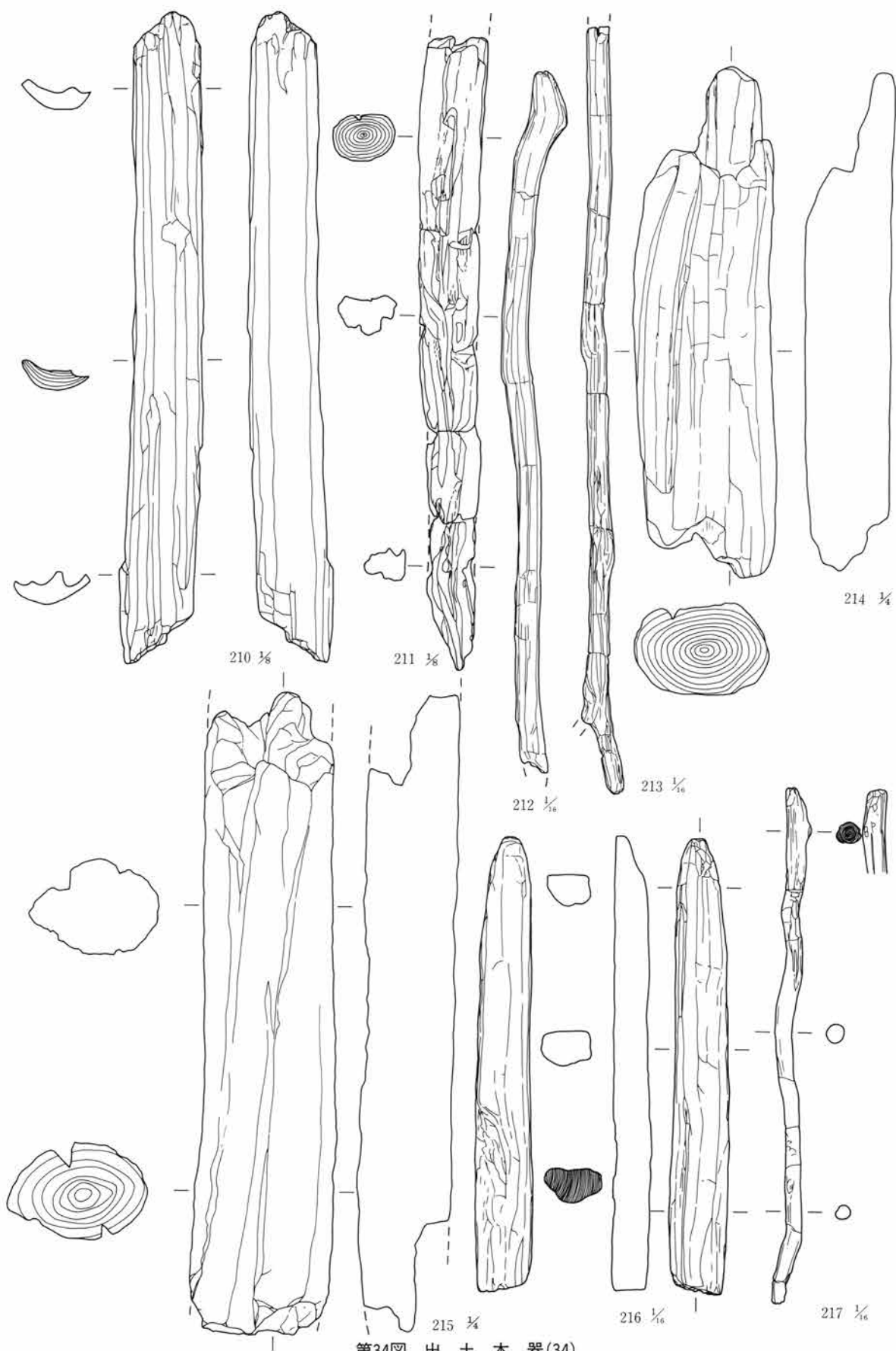
第1章 出土木器



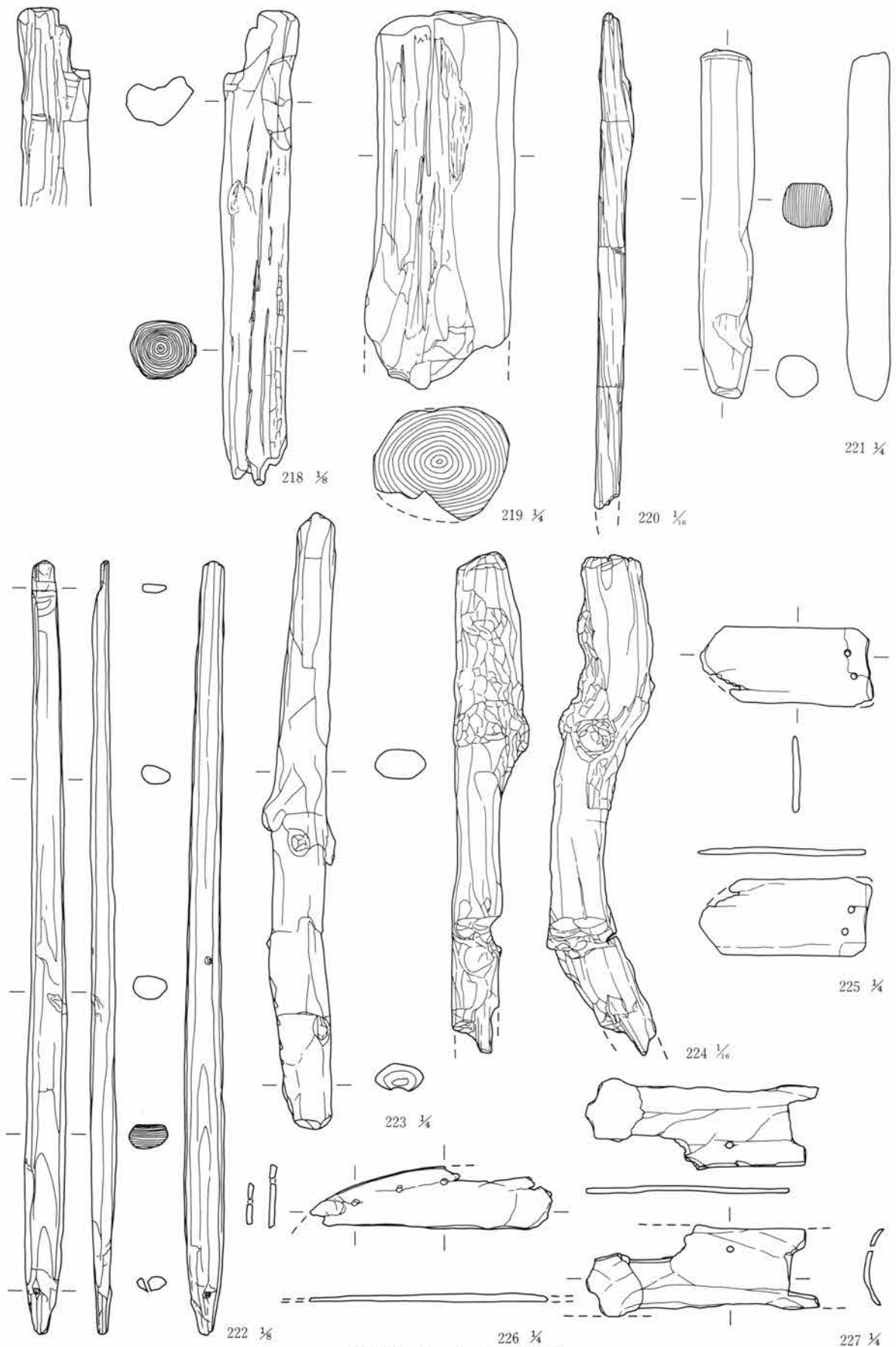
第32图 出土木器(32)



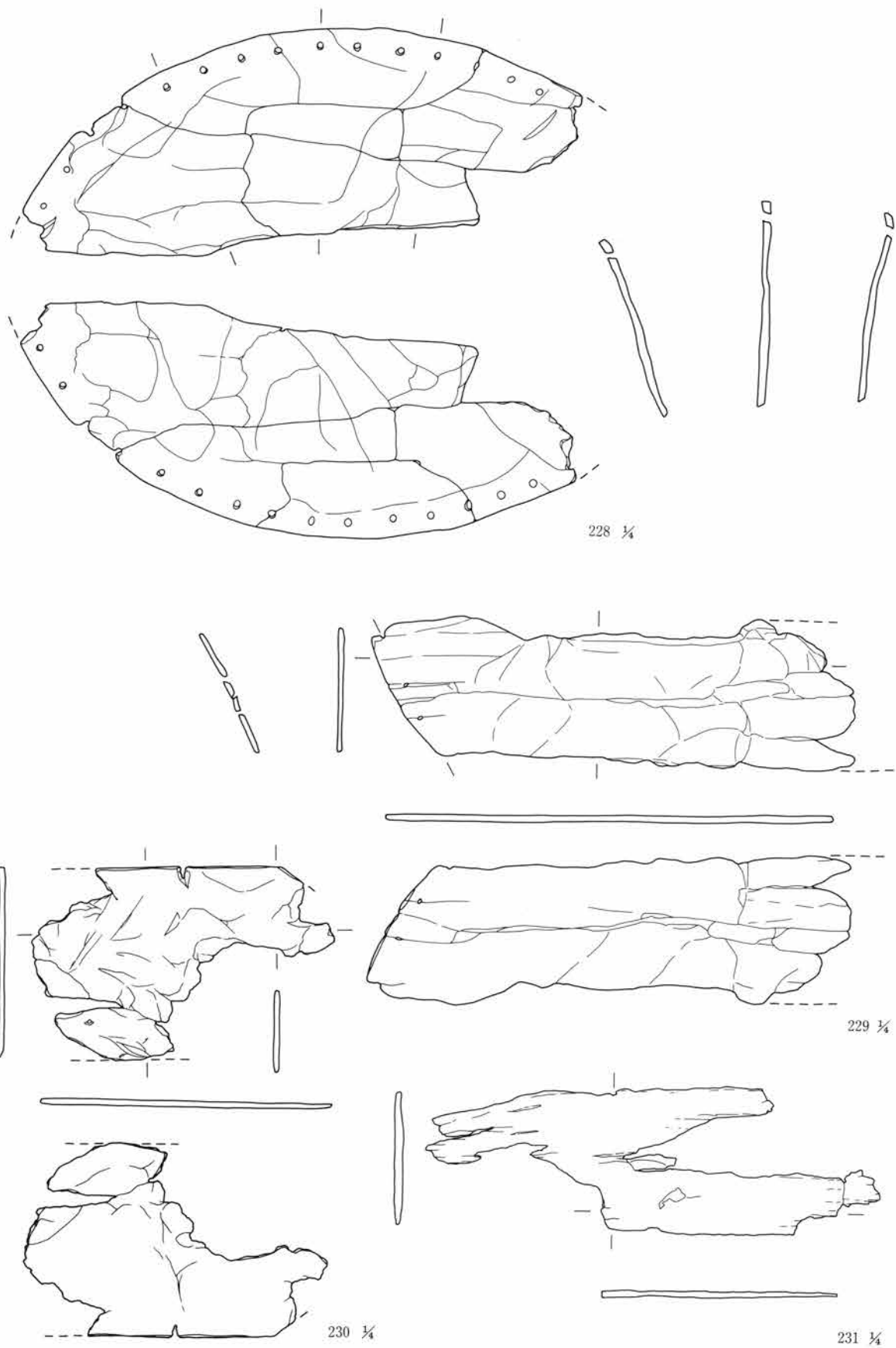
第33图 出土木器(33)



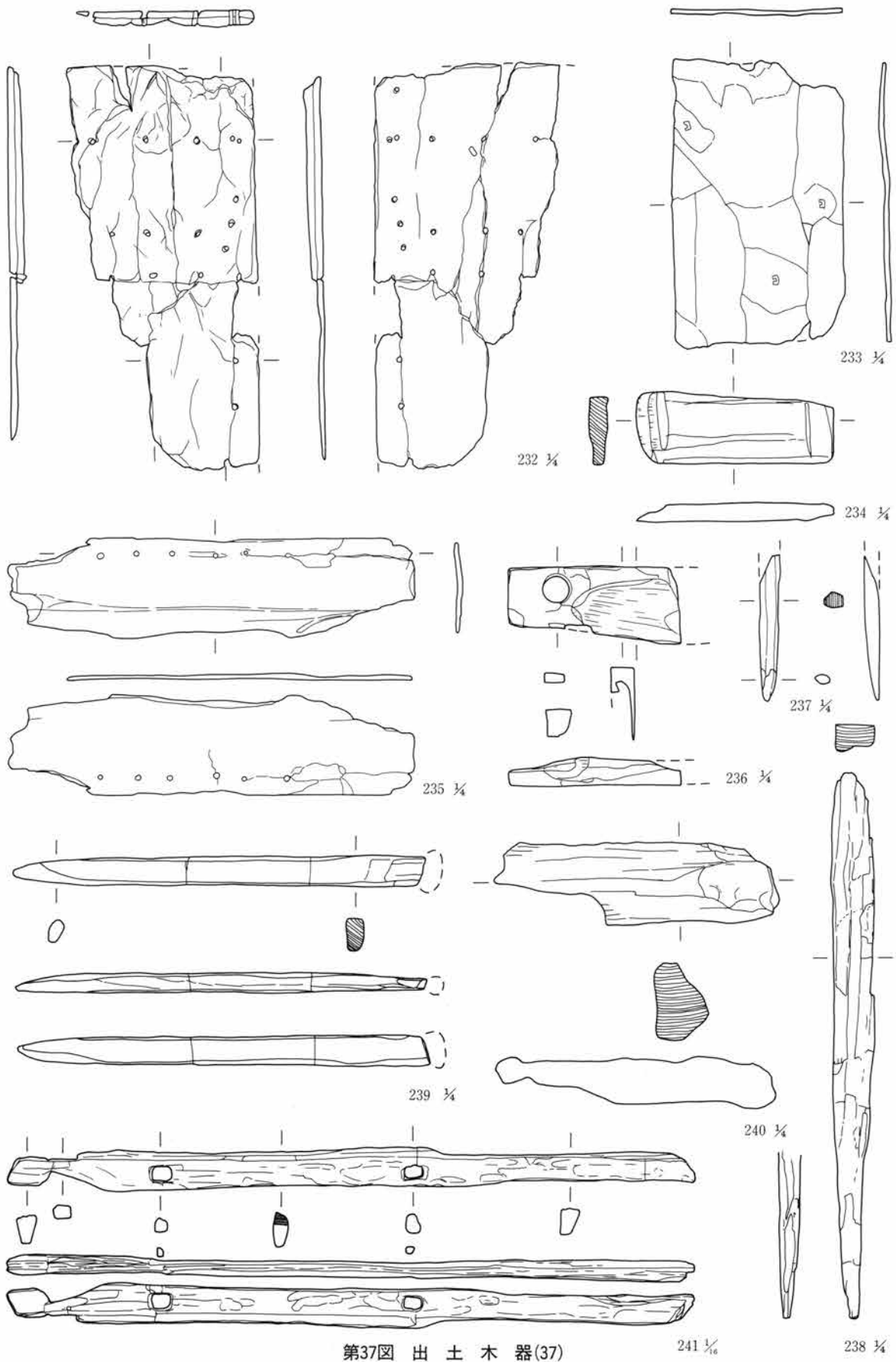
第34图 出土木器(34)



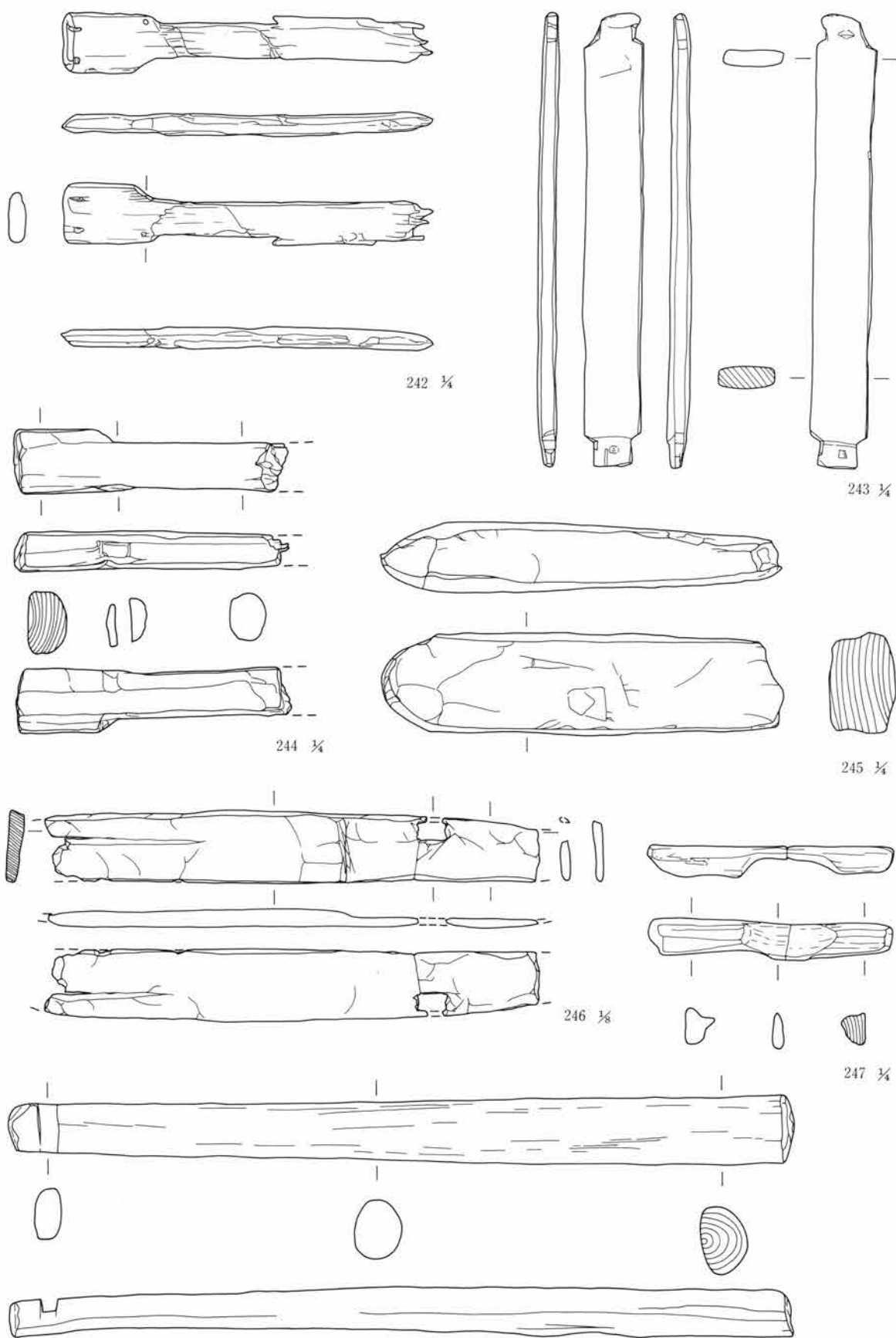
第35图 出土木器(35)



第36图 出土木器(36)

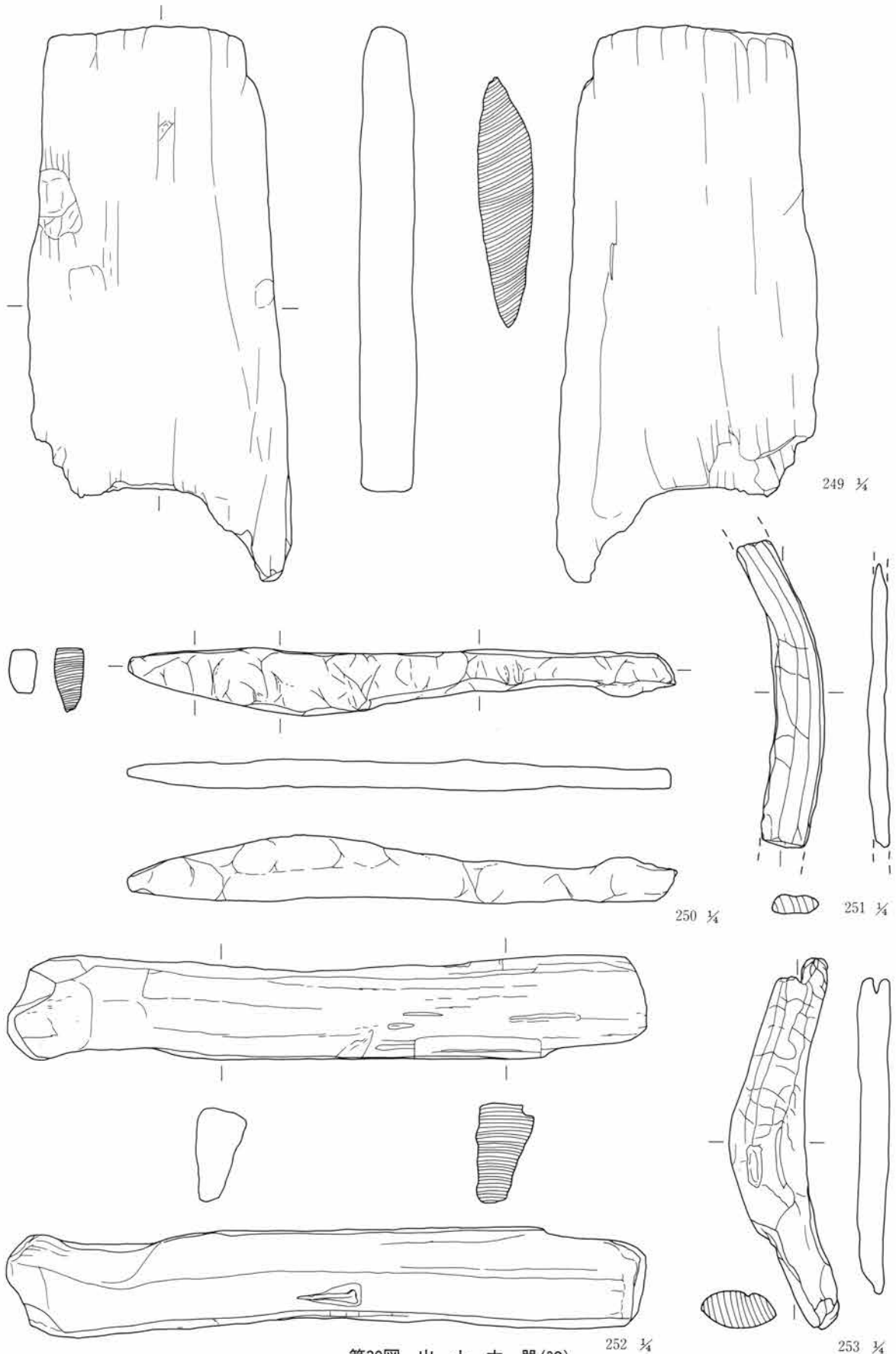


第37图 出土木器(37)

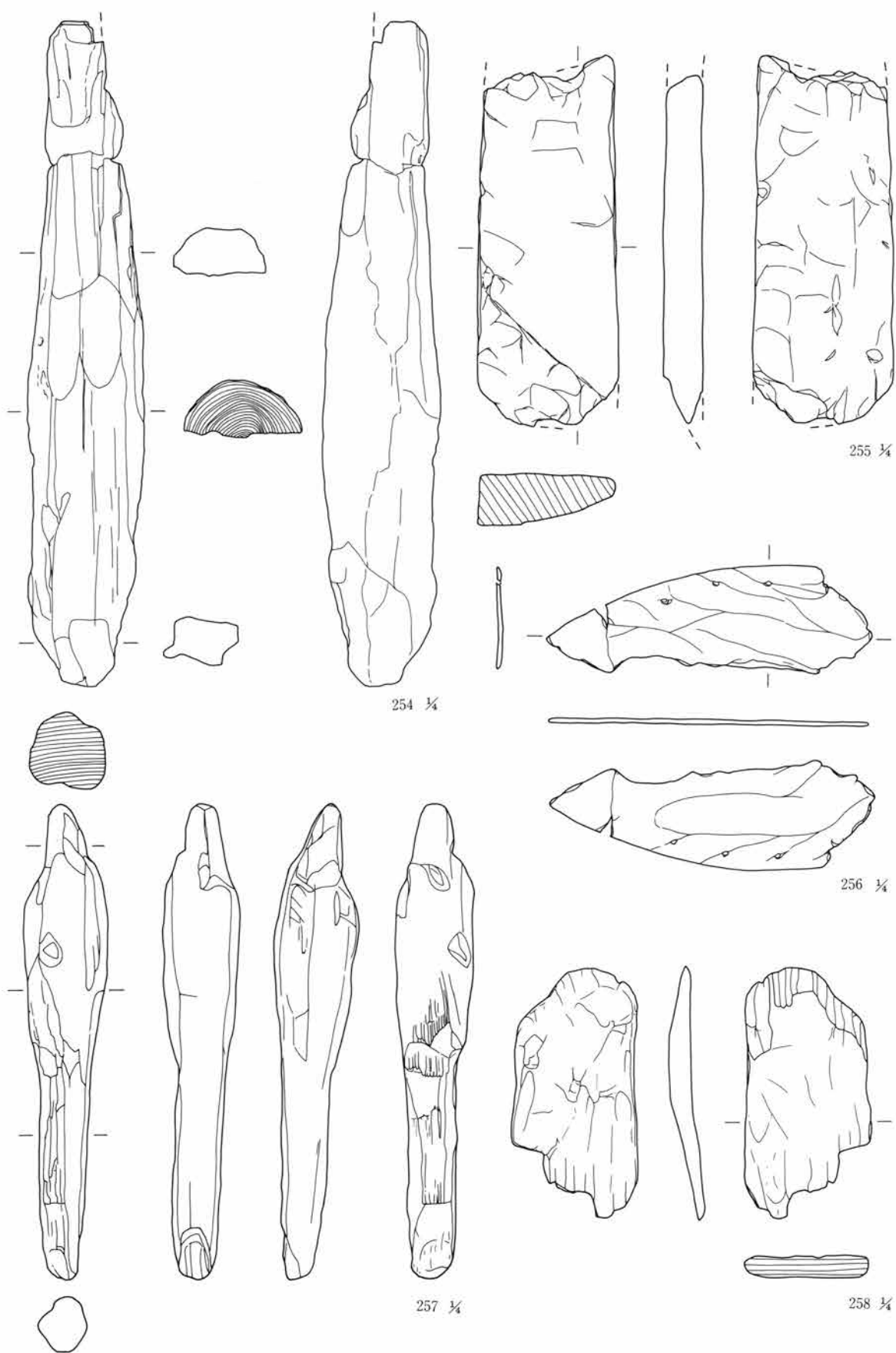


第38図 出土木器(38)

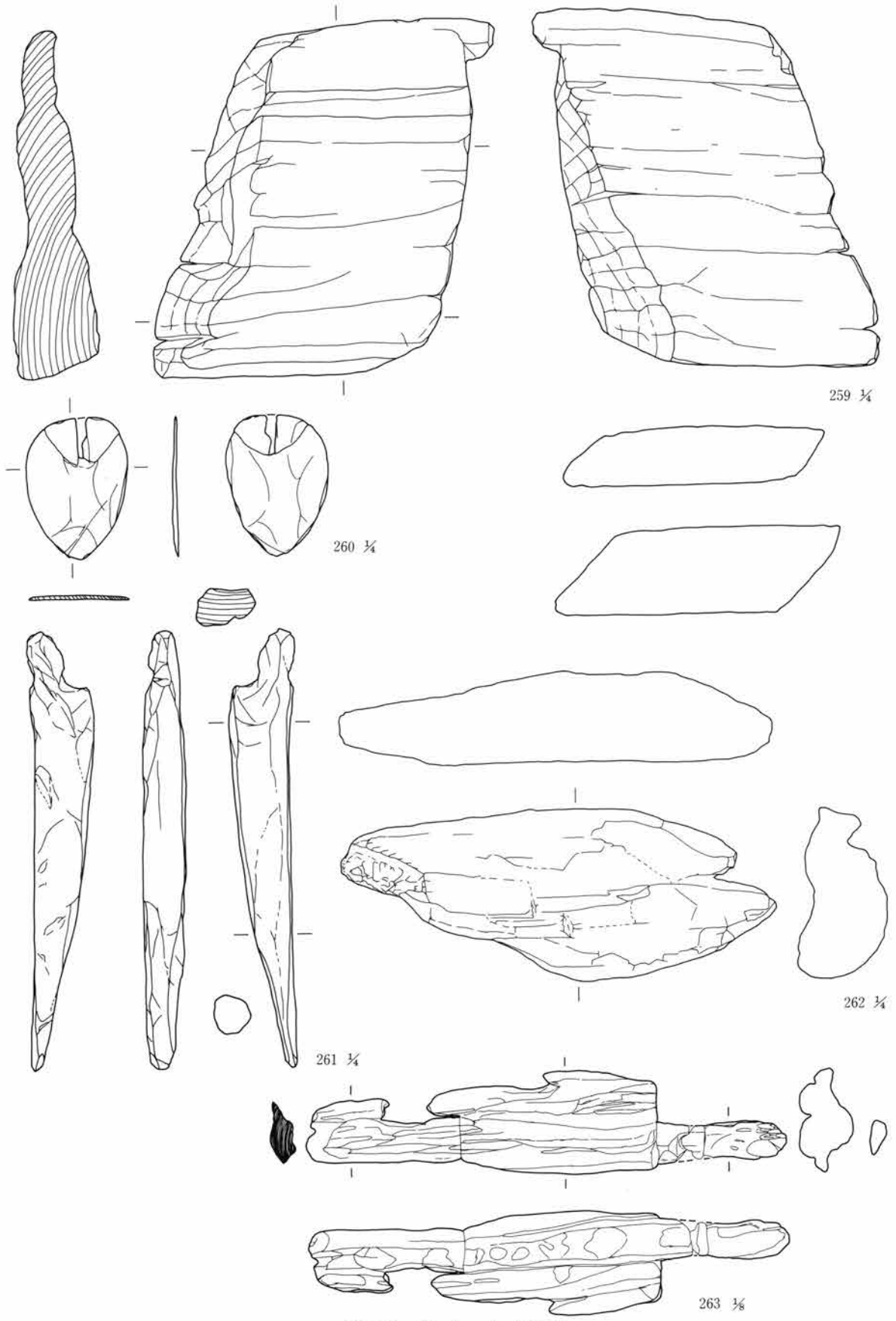
248 ¼



第39图 出土木器(39)

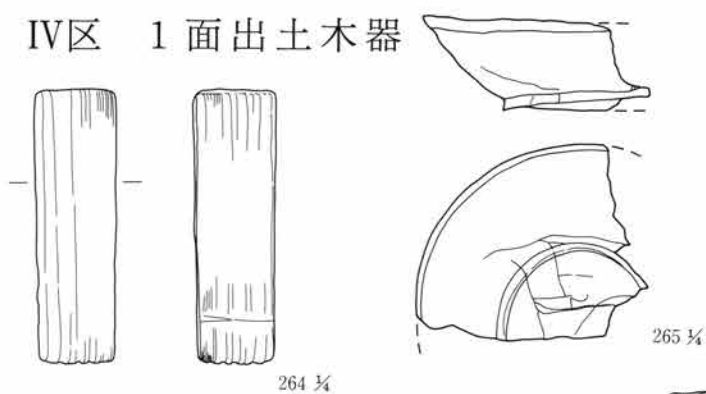


第40图 出土木器(40)

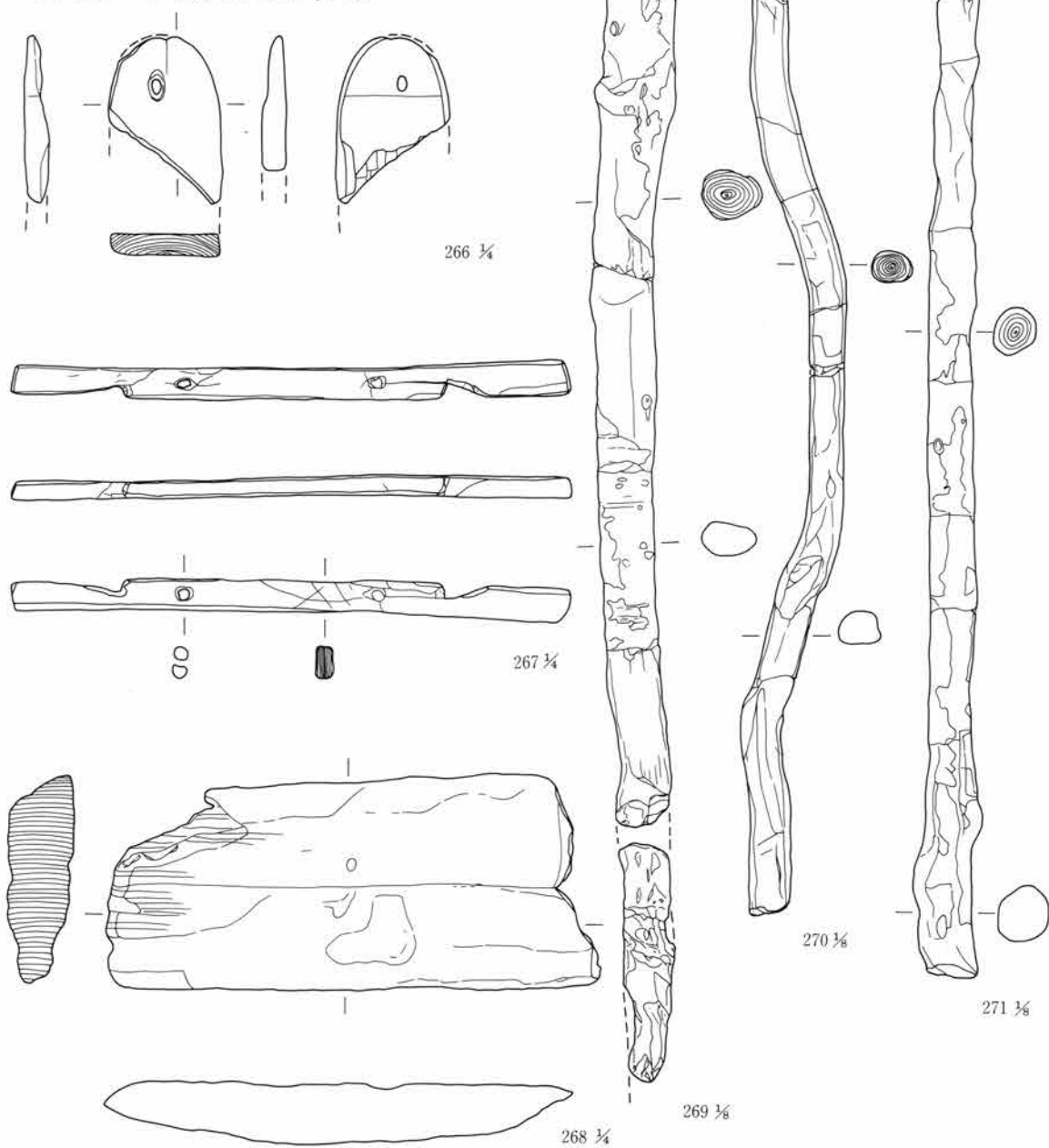


第41图 出土木器(41)

IV区 1面出土木器

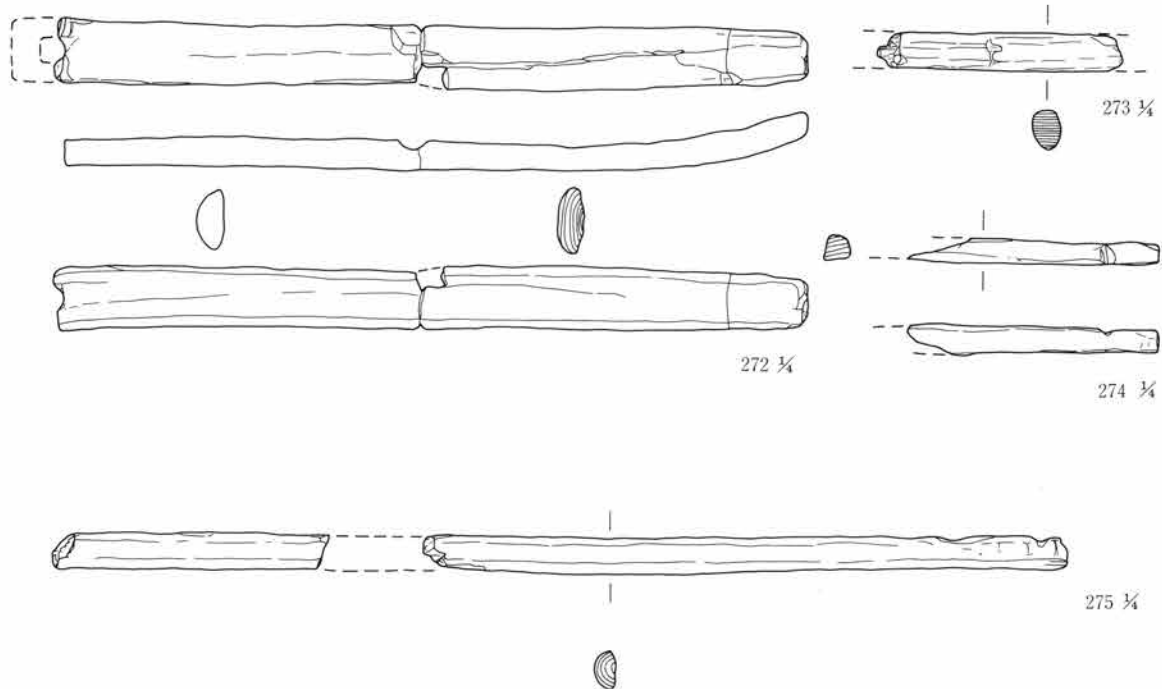


IV区 2面出土木器

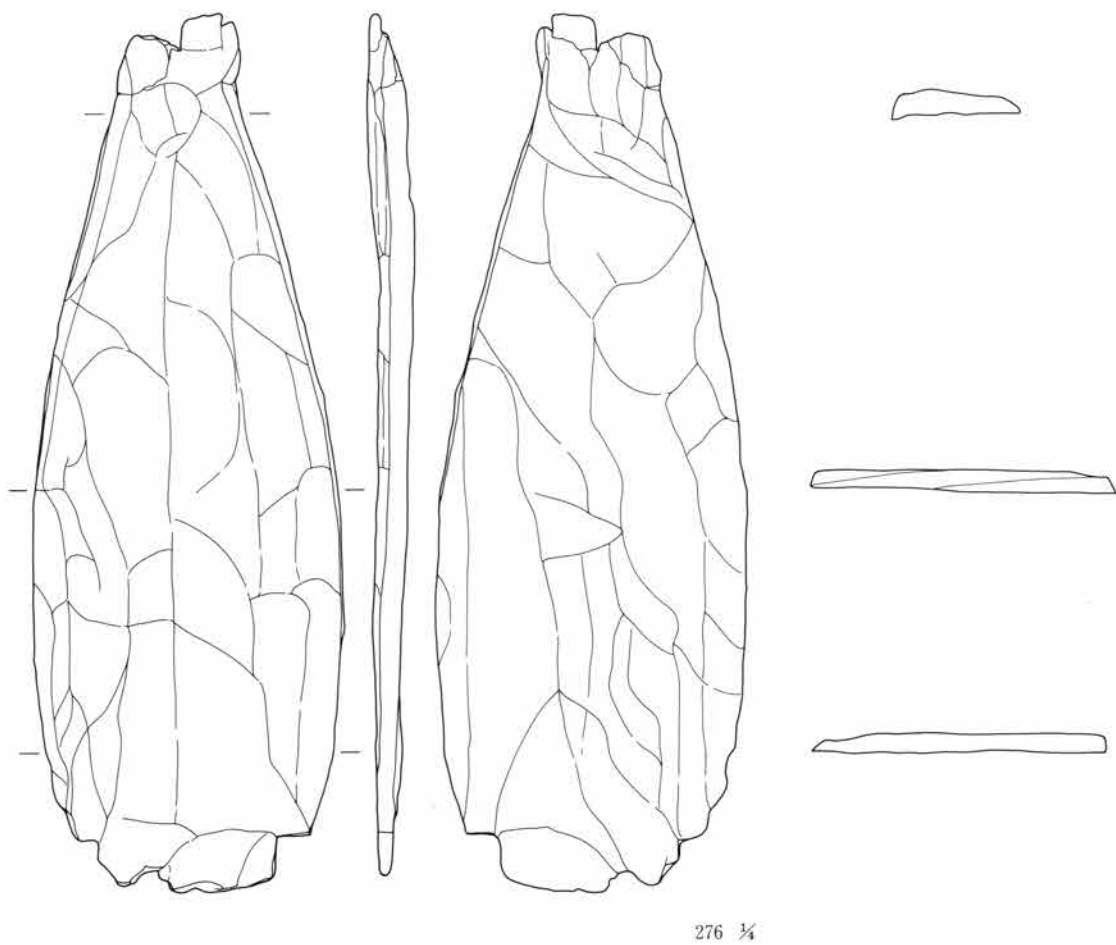


第42图 出土木器(43)

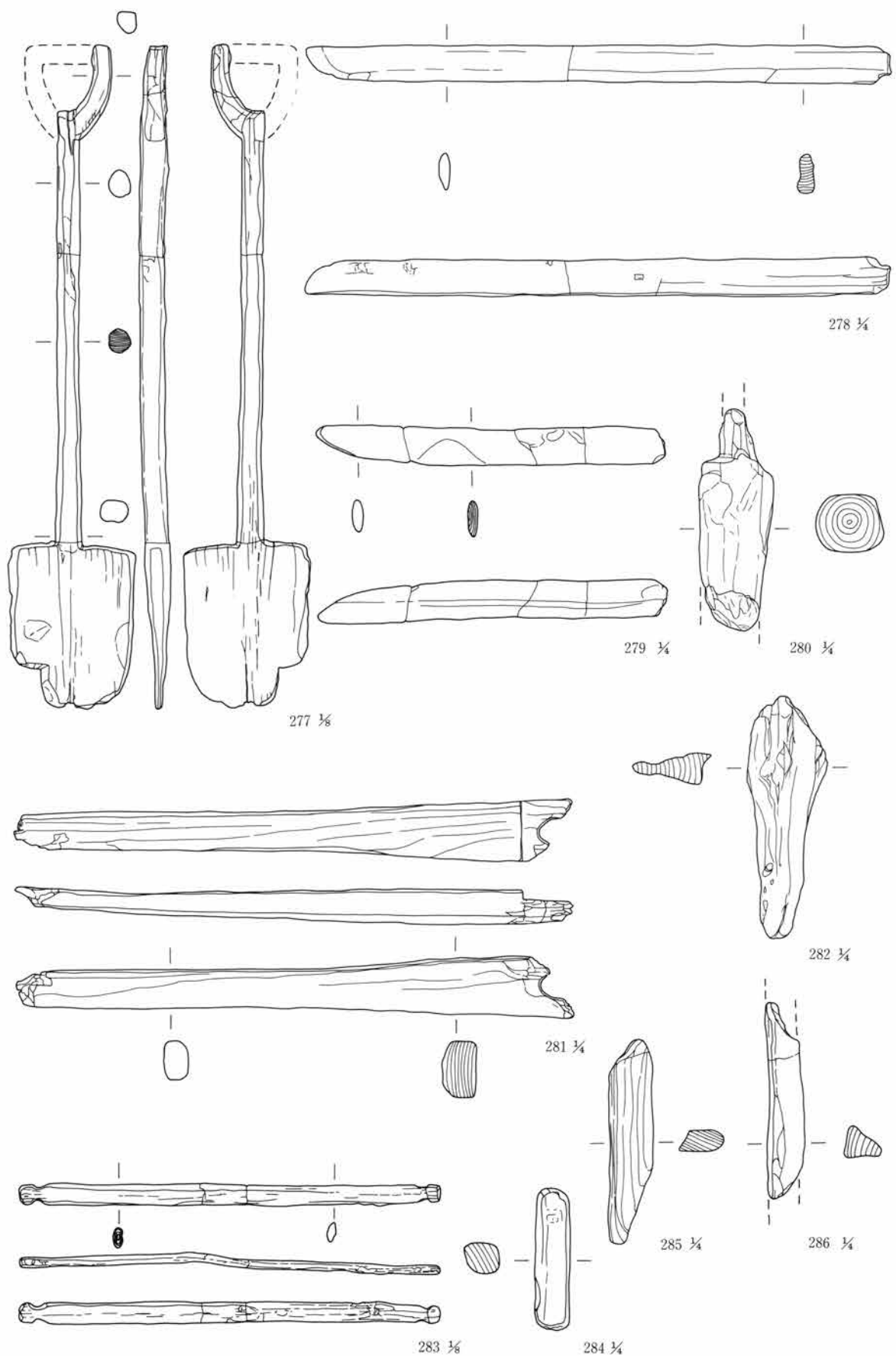
第1章 出土木器



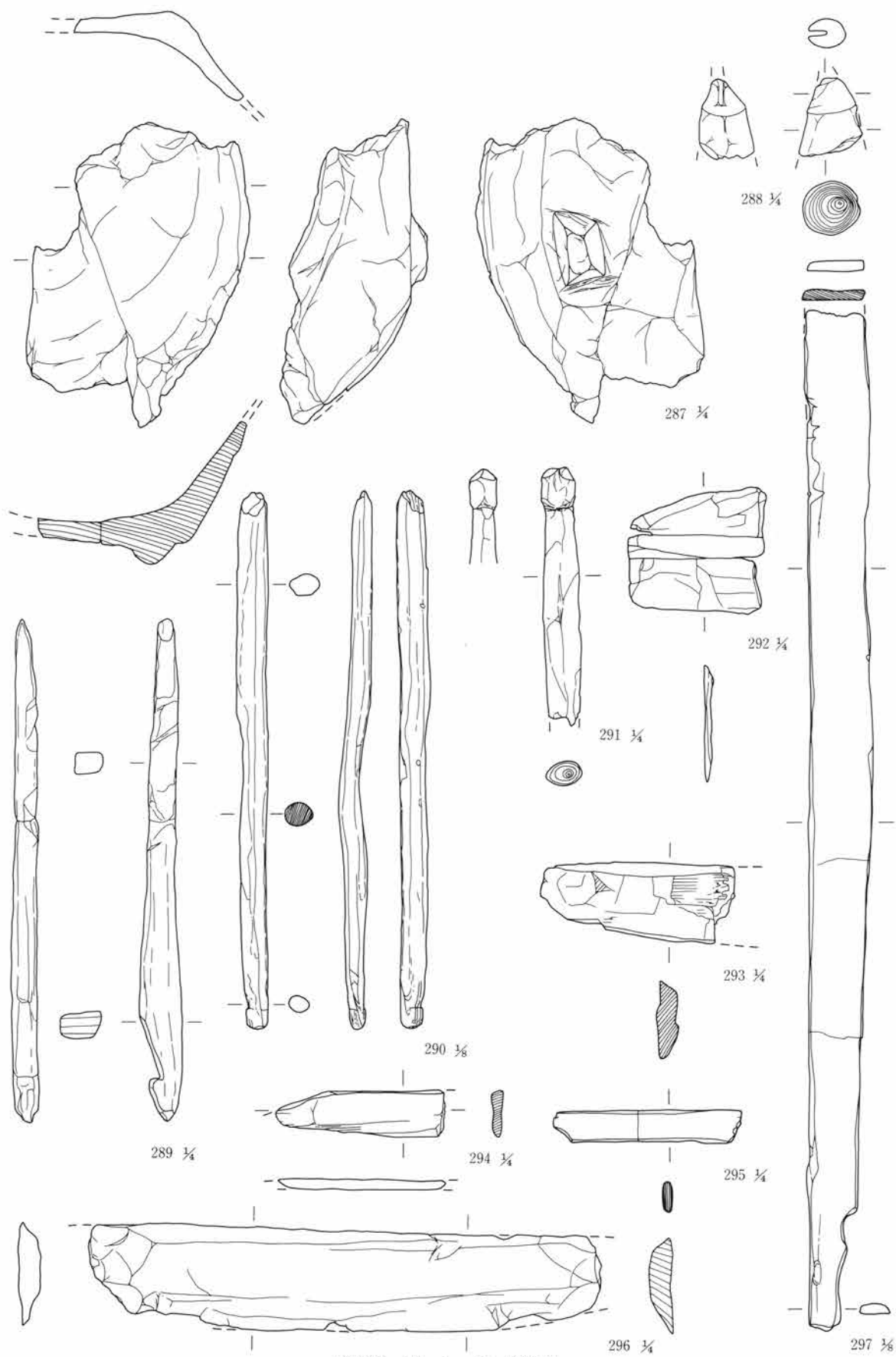
IV区 3面出土木器



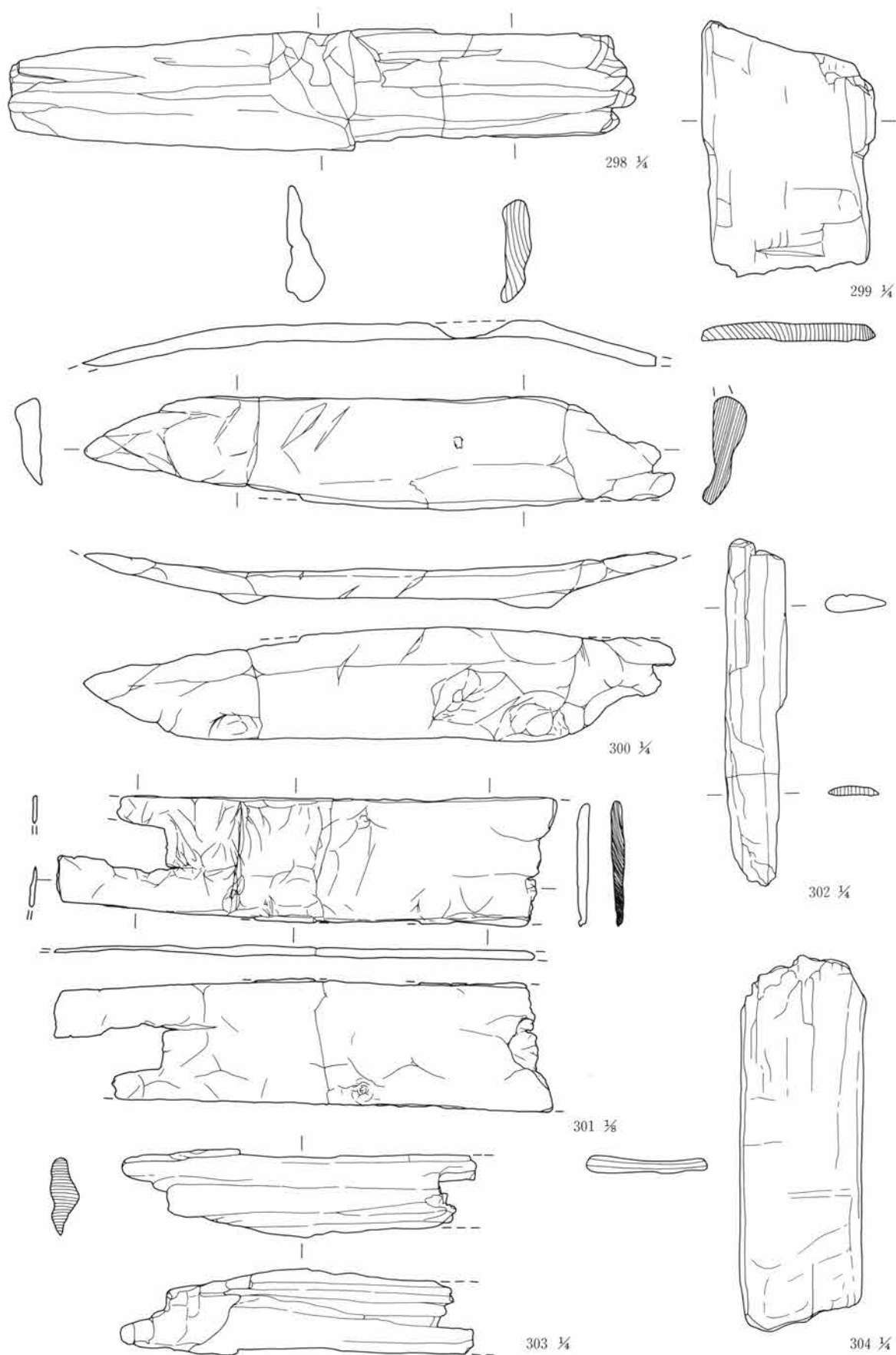
第43图 出土木器(43)



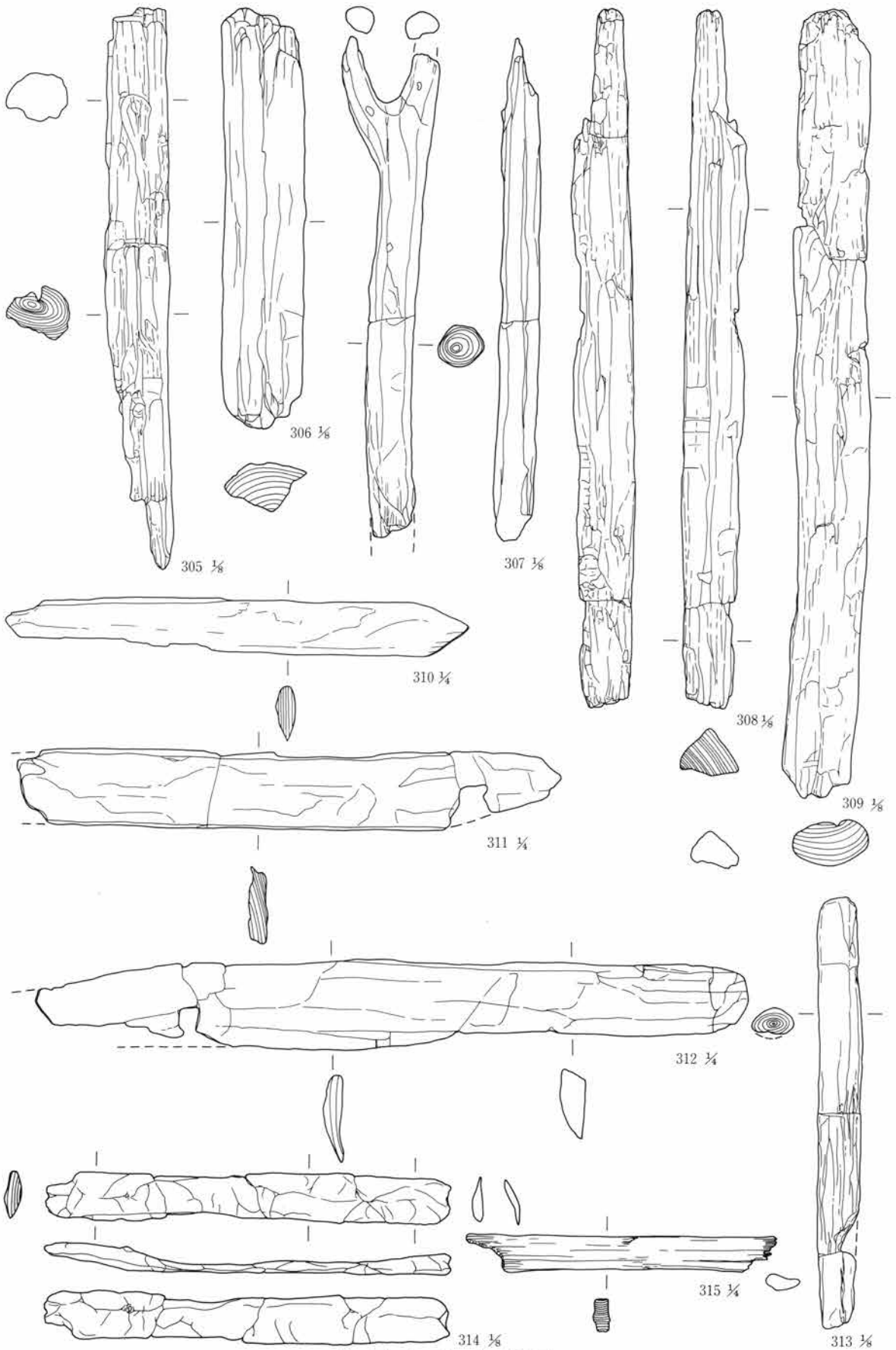
第44图 出土木器(44)



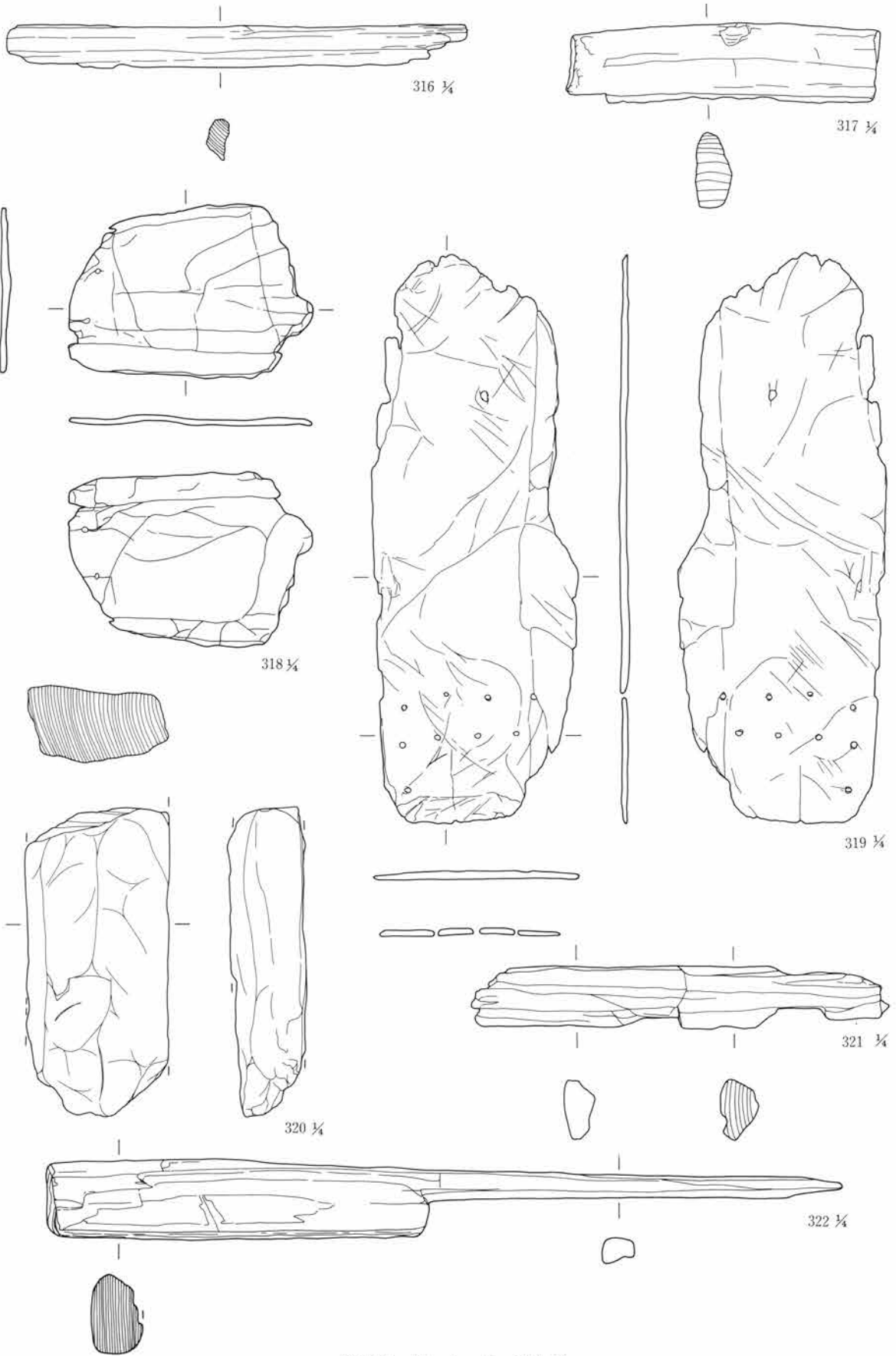
第45图 出土木器(45)



第46图 出土木器(46)



第47图 出土木器(47)



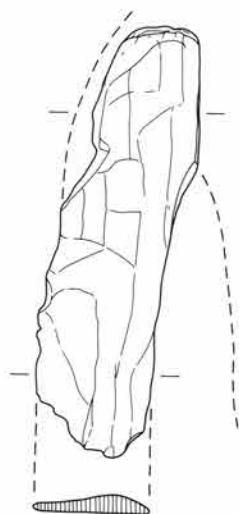
第48图 出土木器(48)



323 ¼



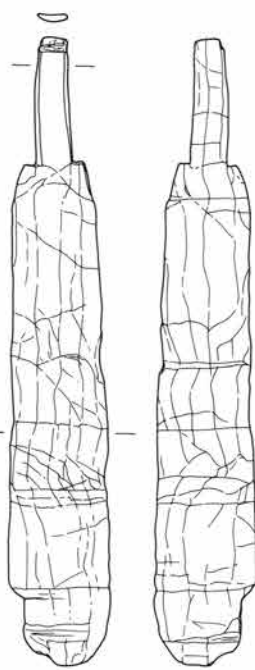
IV区 4面出土木器



326 ¼



324 ¼



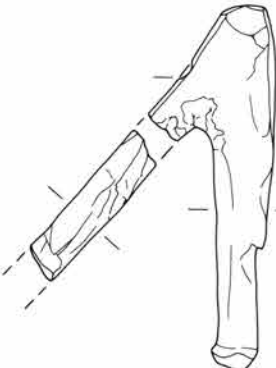
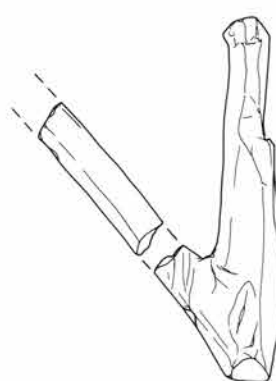
327 ¼



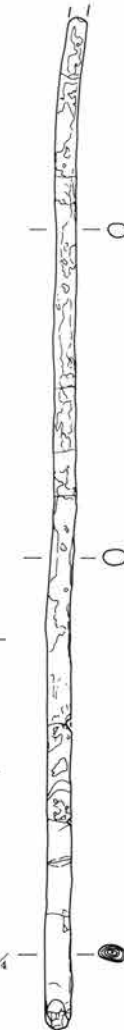
328 ¼



325 ¼



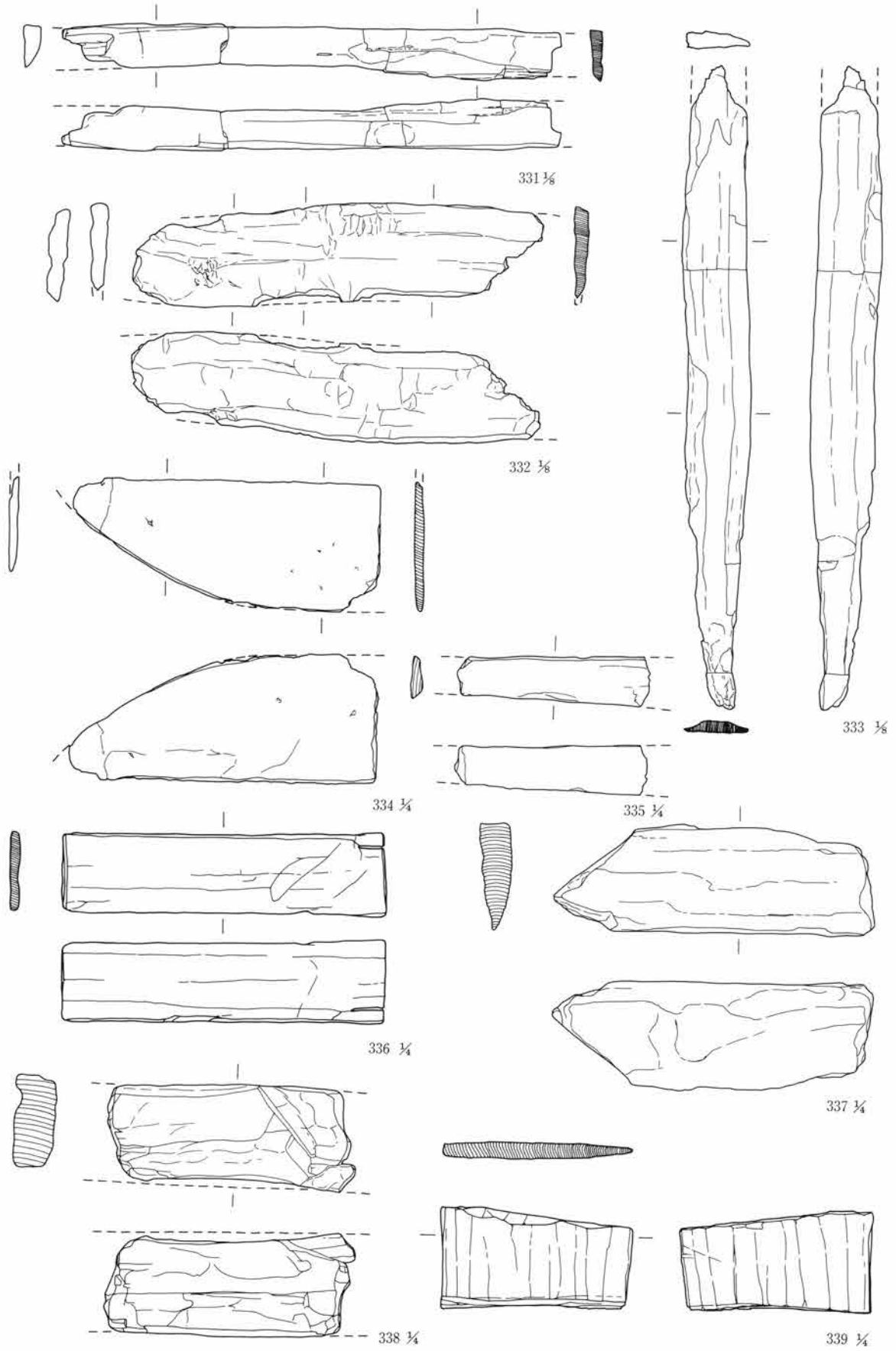
329 ¼



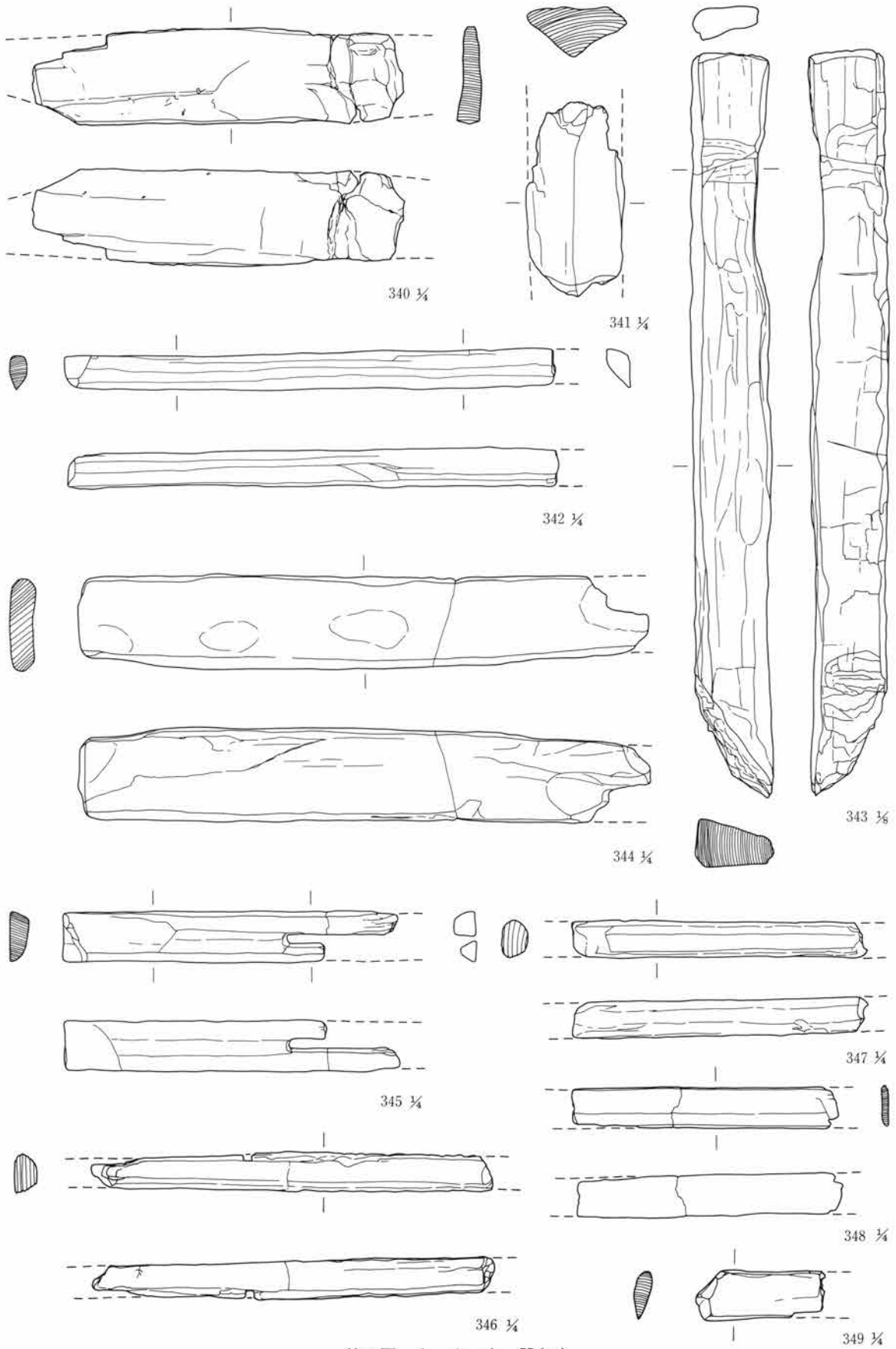
330 ¼

第49图 出土木器(49)

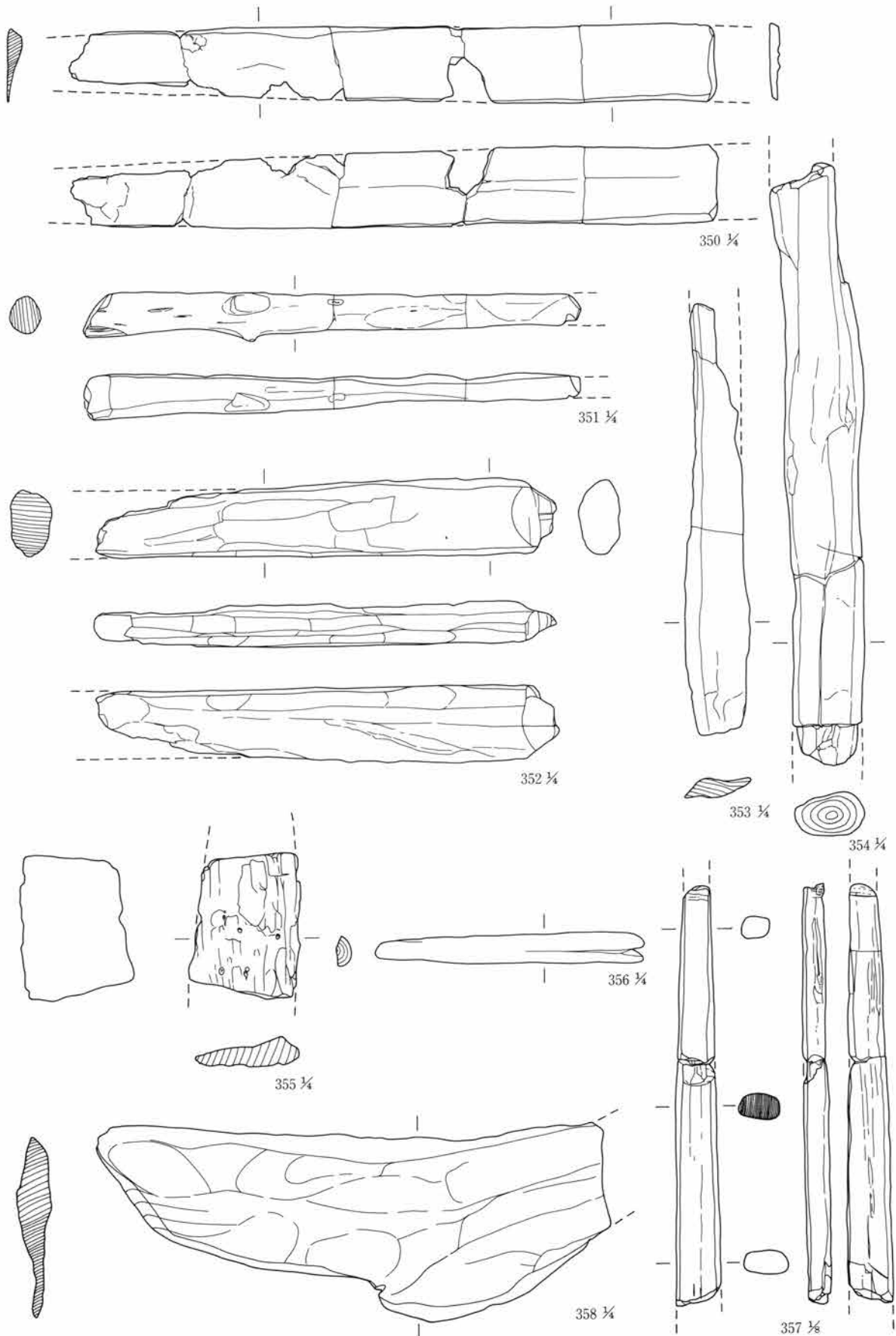
第1章 出土木器



第50图 出土木器(50)

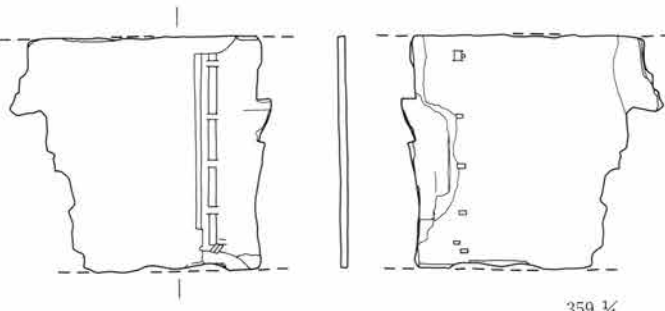


第51图 出土木器(51)



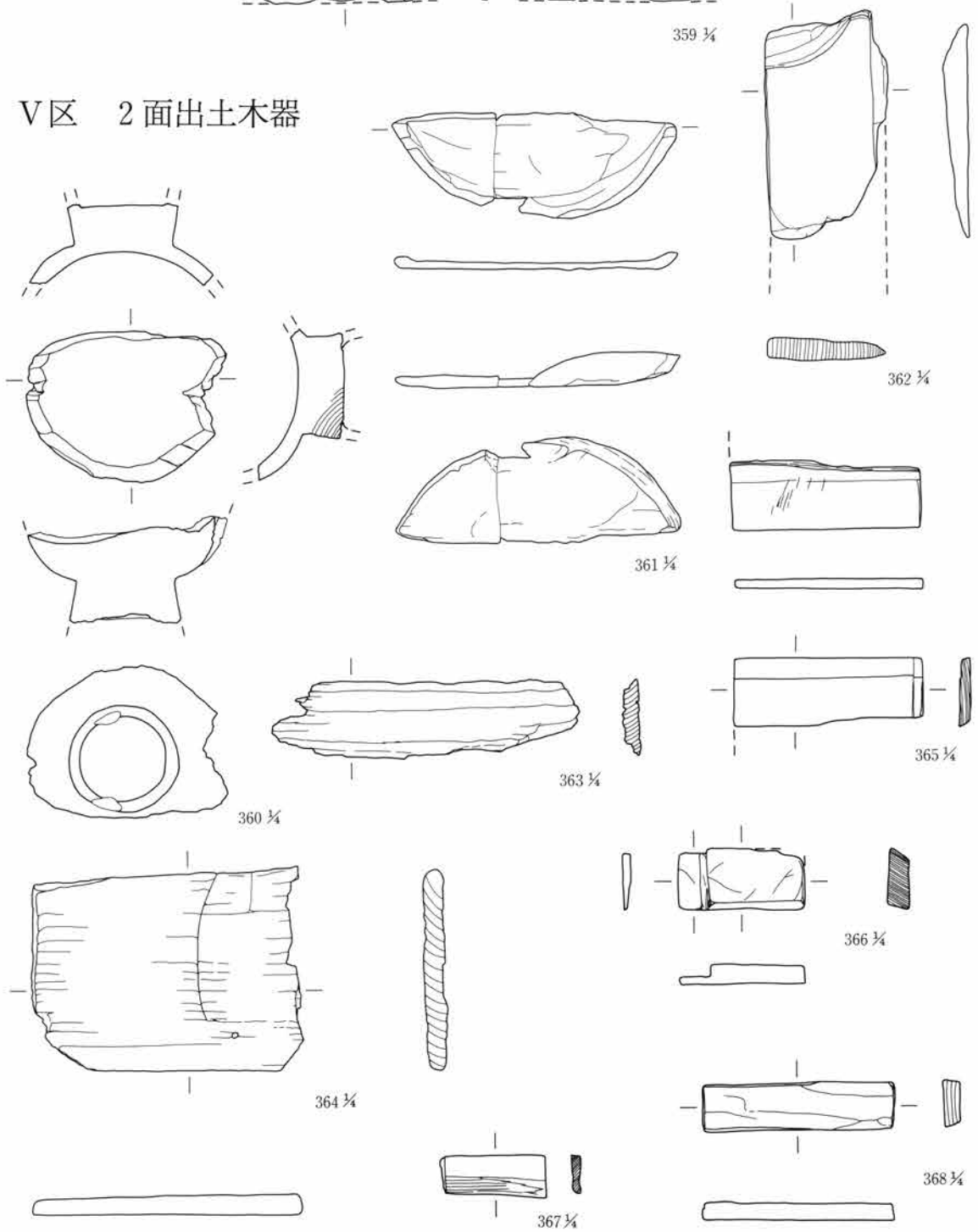
第52図 出土木器(52)

V区 1面
出土木器

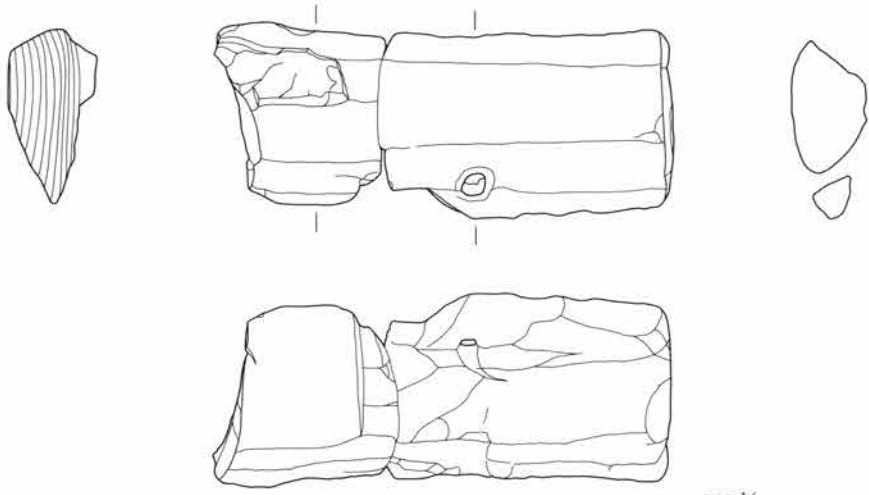


359 ¼

V区 2面出土木器

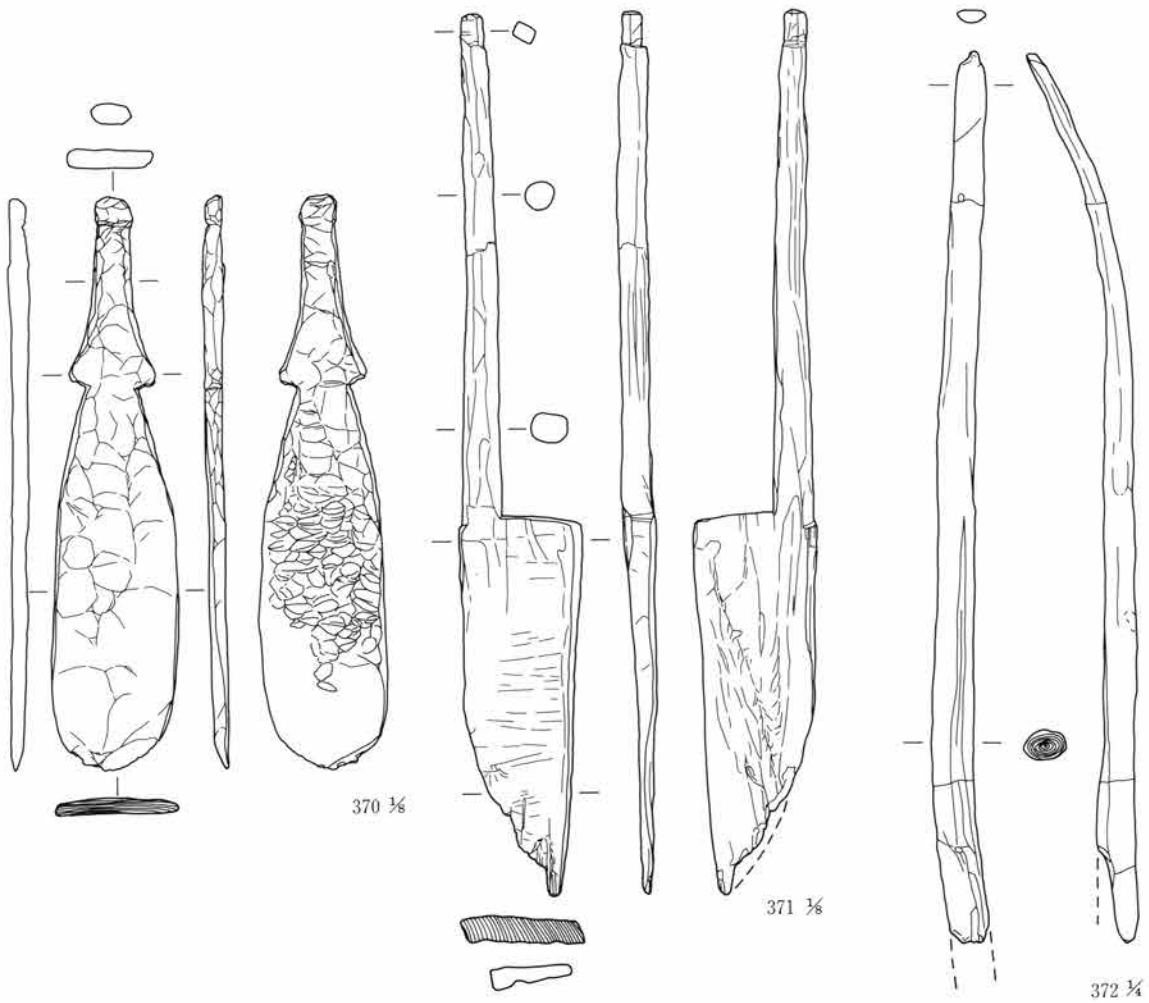


第53图 出土木器(53)

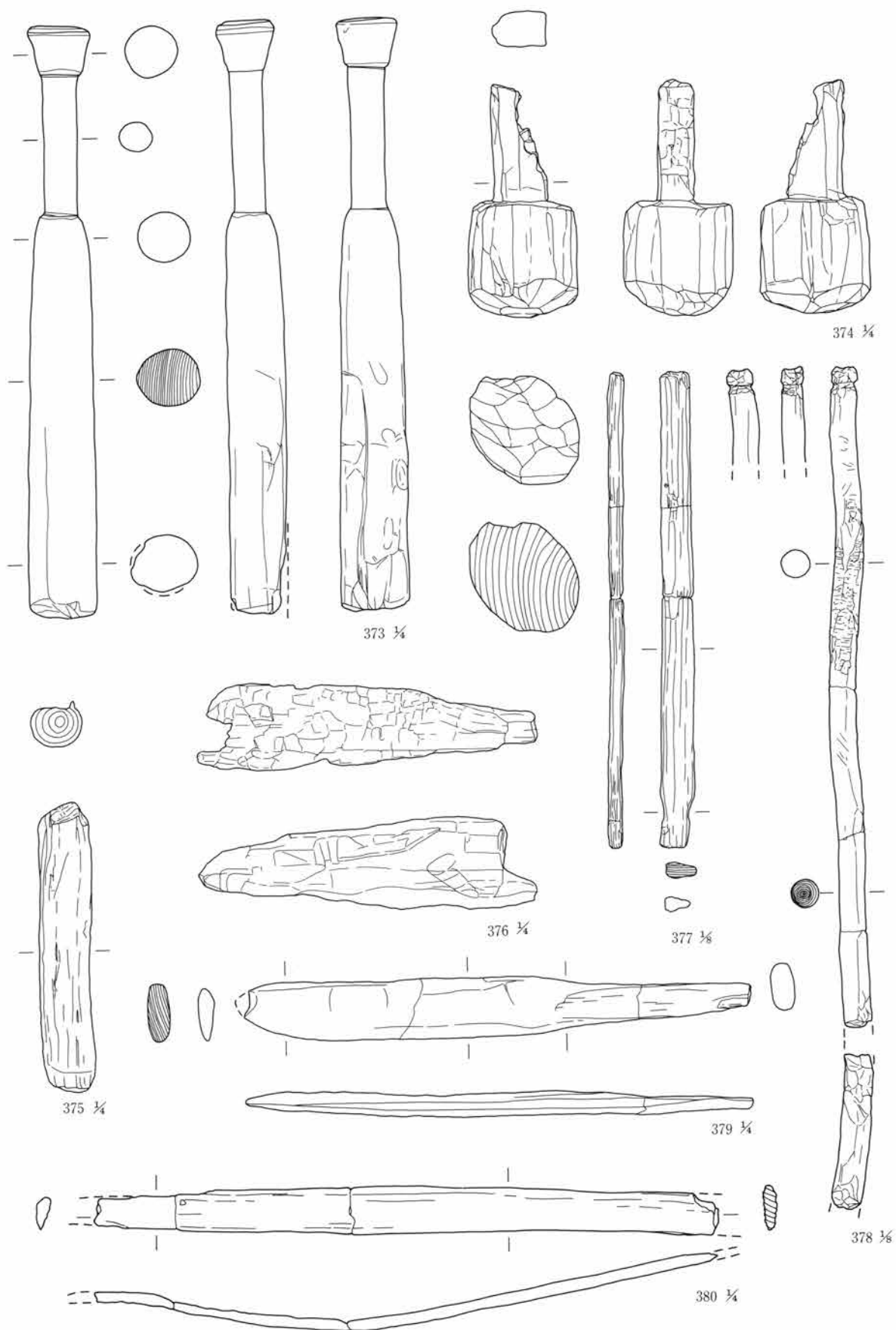


369 ¼

V区 3面出土木器

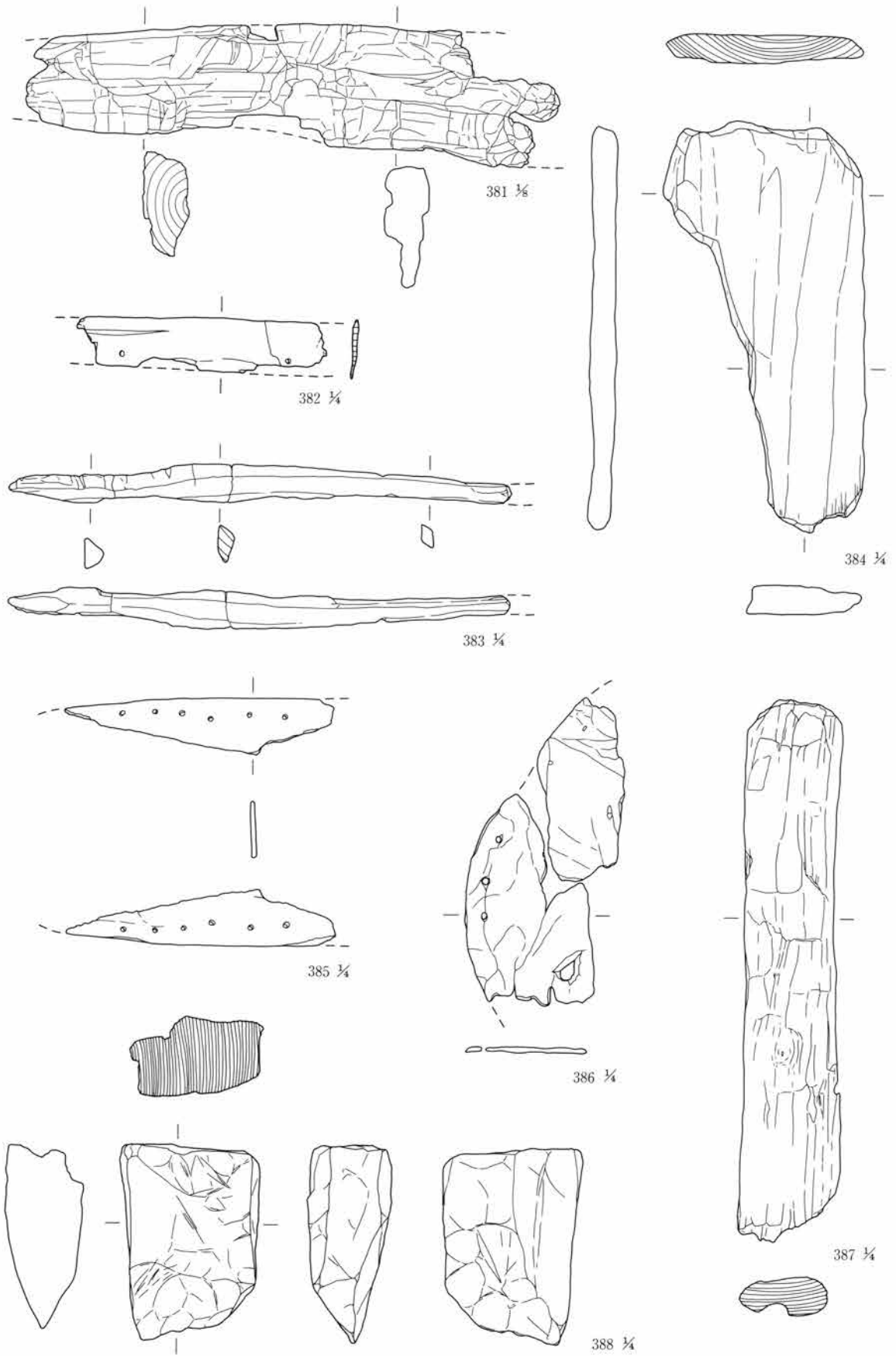


第54图 出土木器(54)



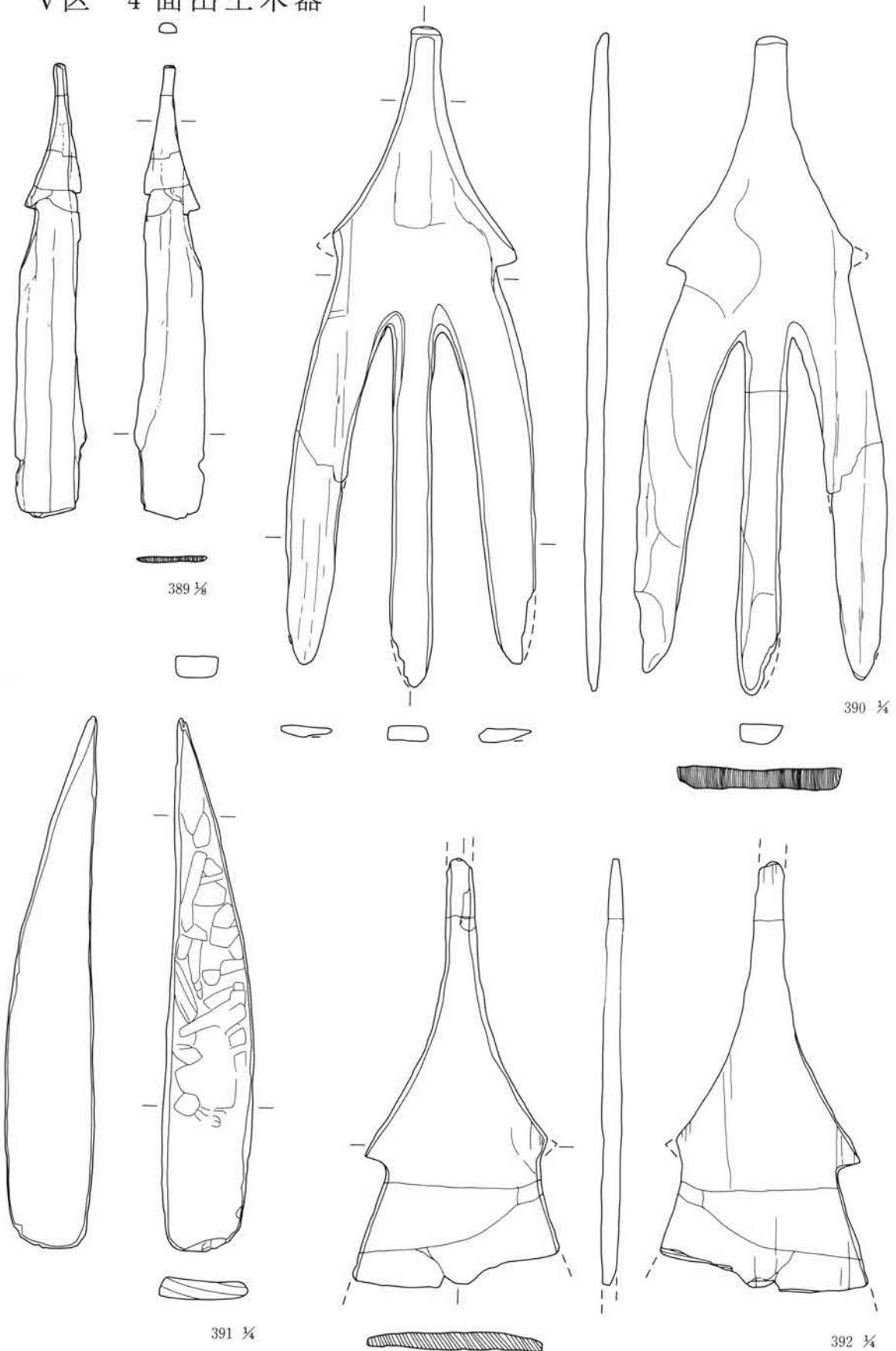
第55图 出土木器(55)

第1章 出土木器

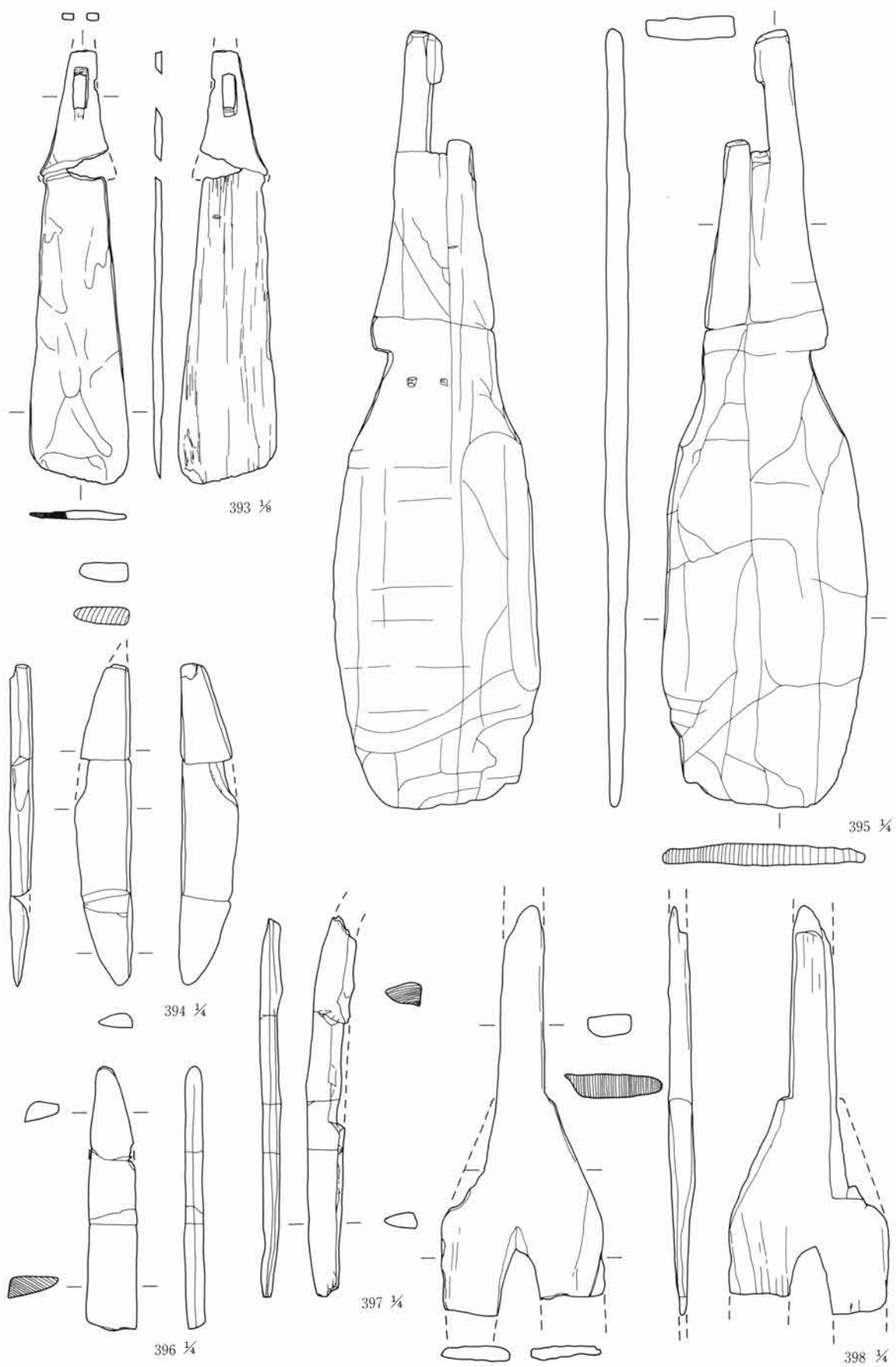


第56图 出土木器(56)

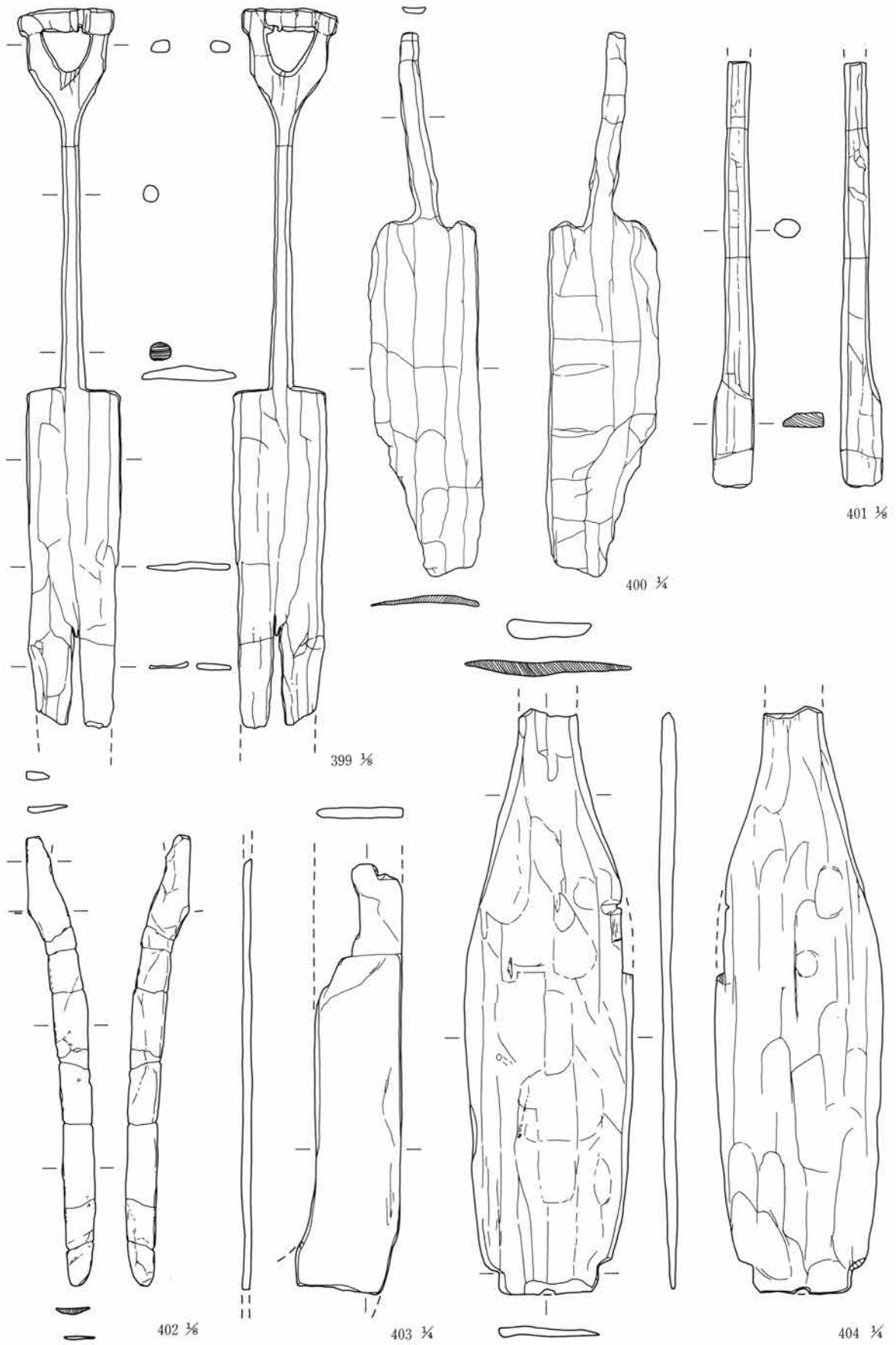
V区 4面出土木器



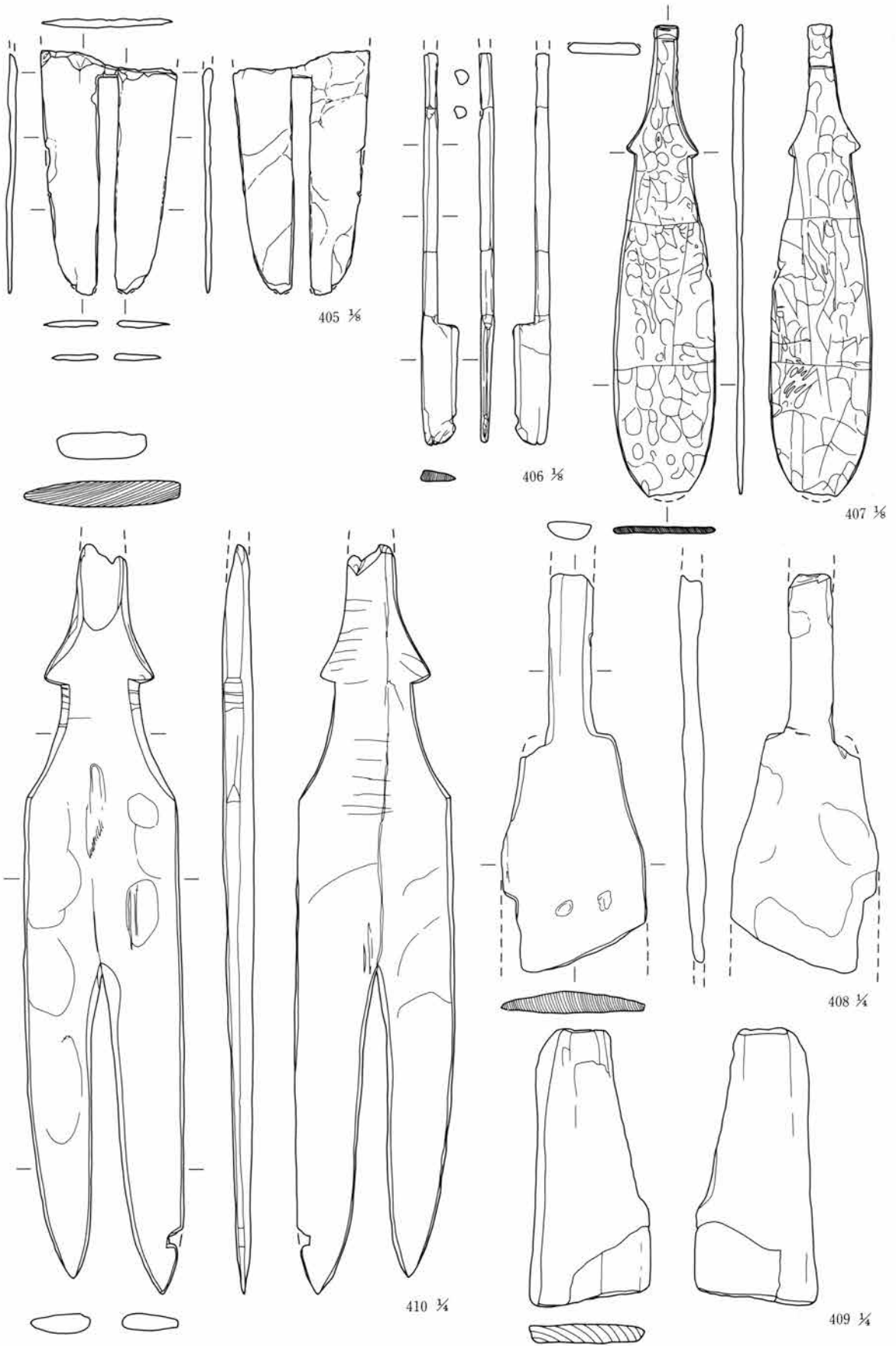
第57图 出土木器(57)



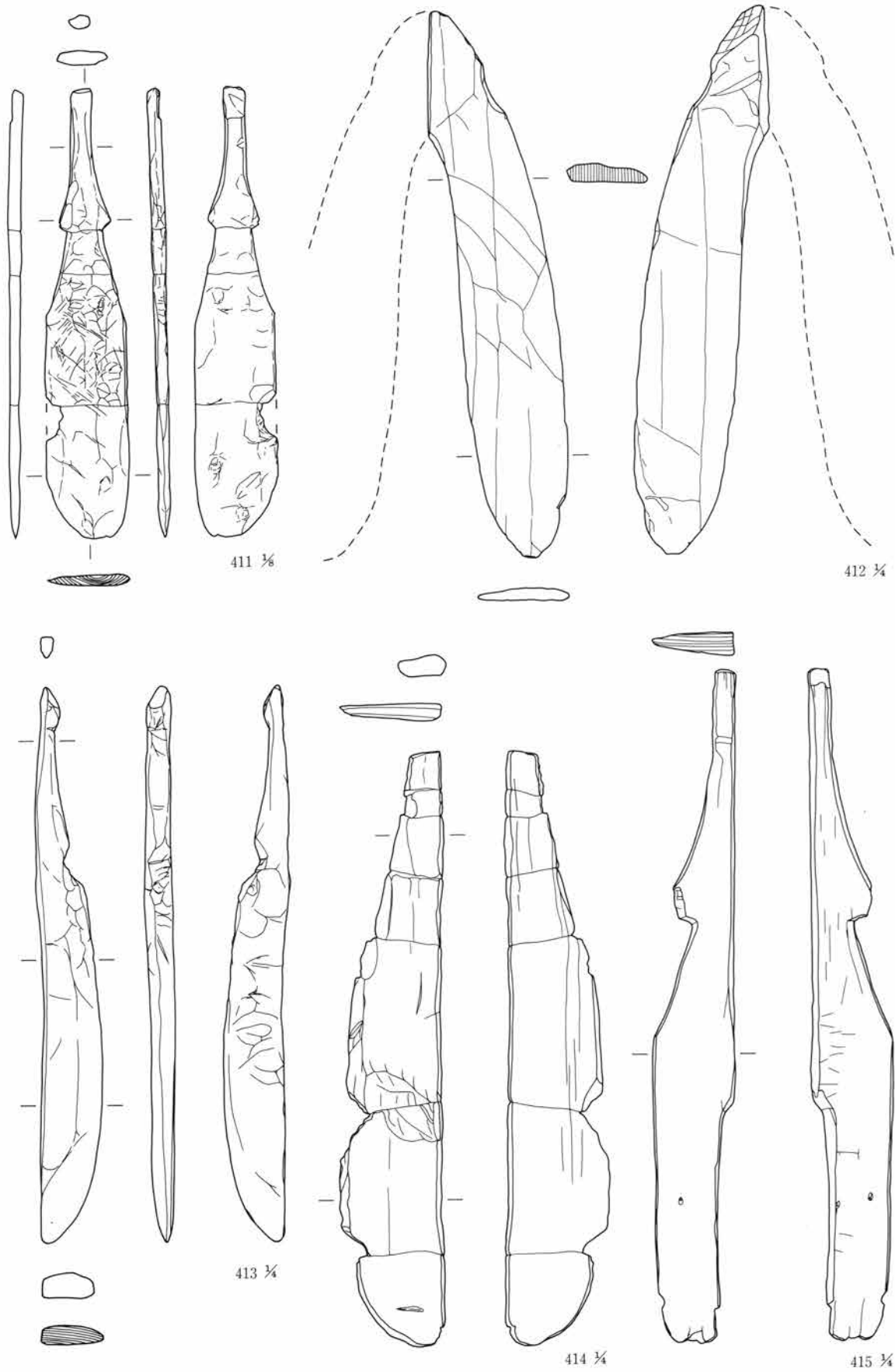
第58図 出土木器(58)



第59图 出土木器(59)

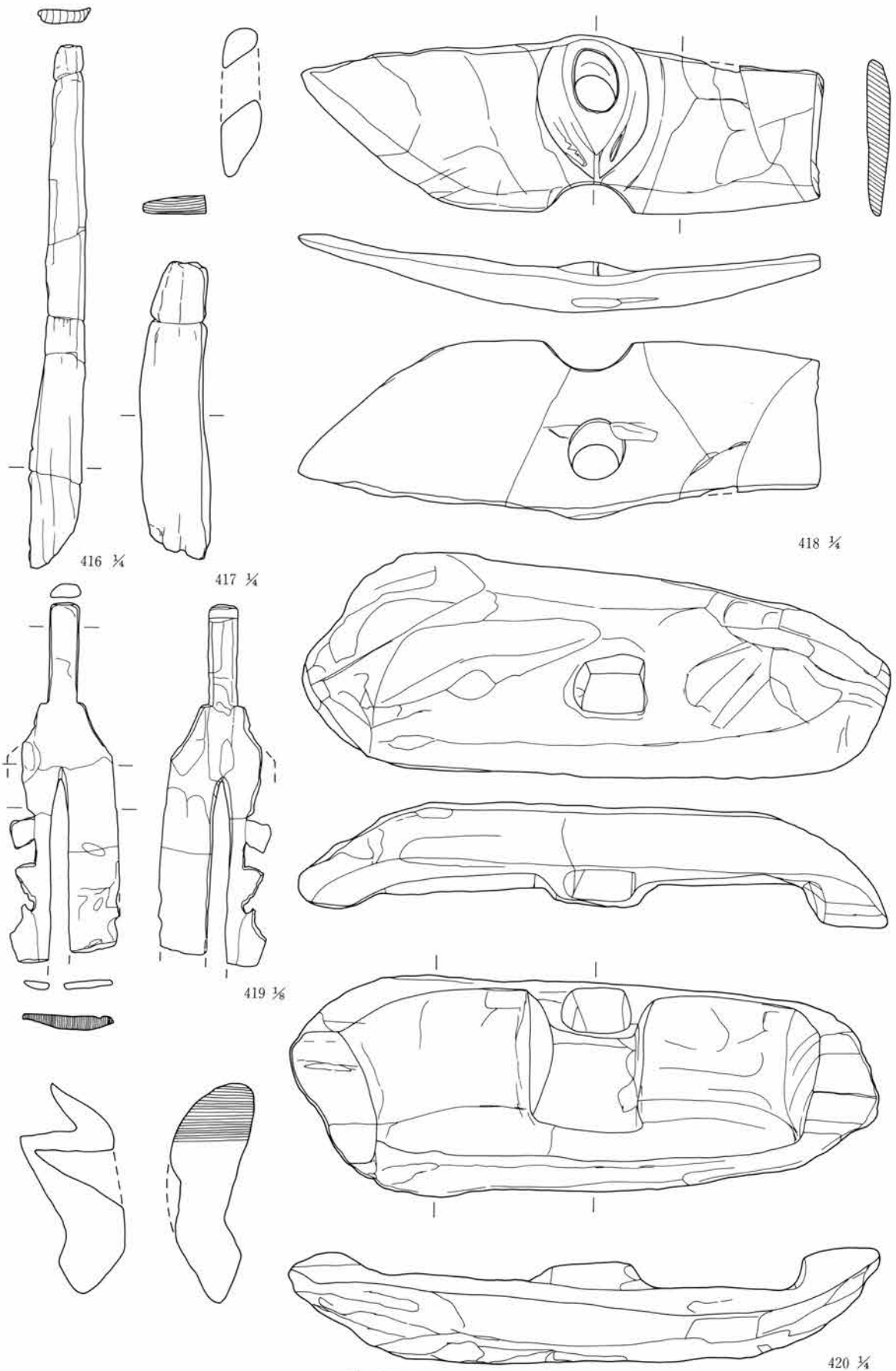


第60图 出土木器(60)

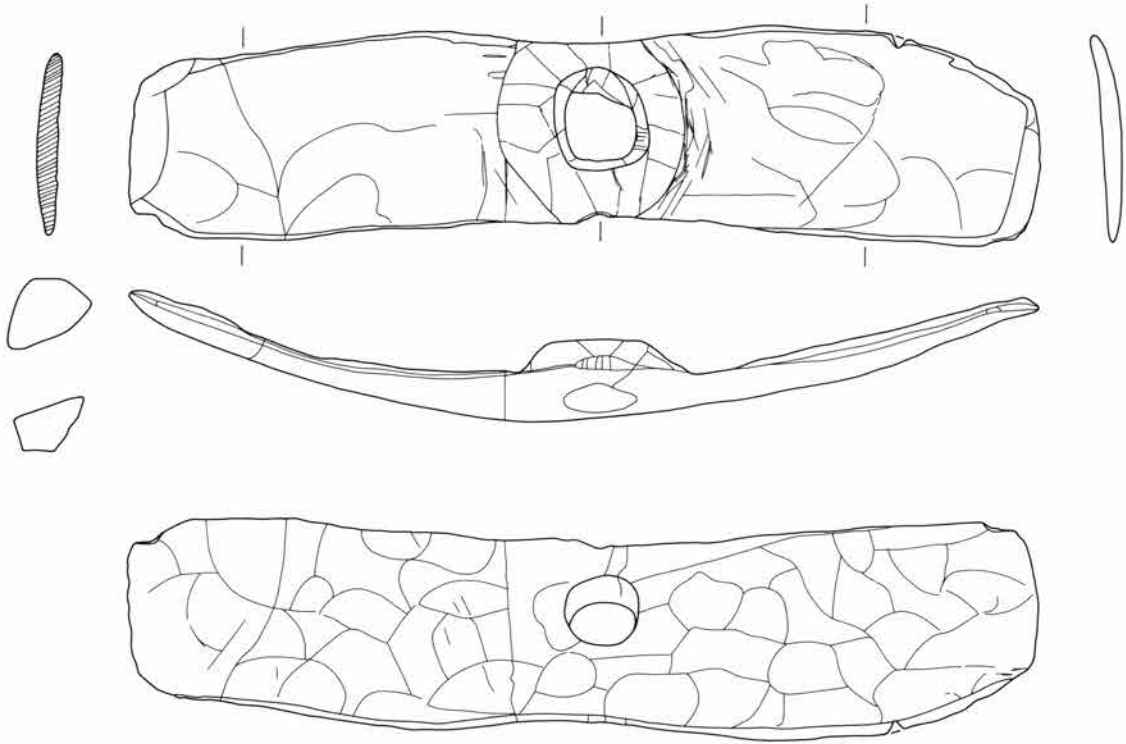


第61图 出土木器(61)

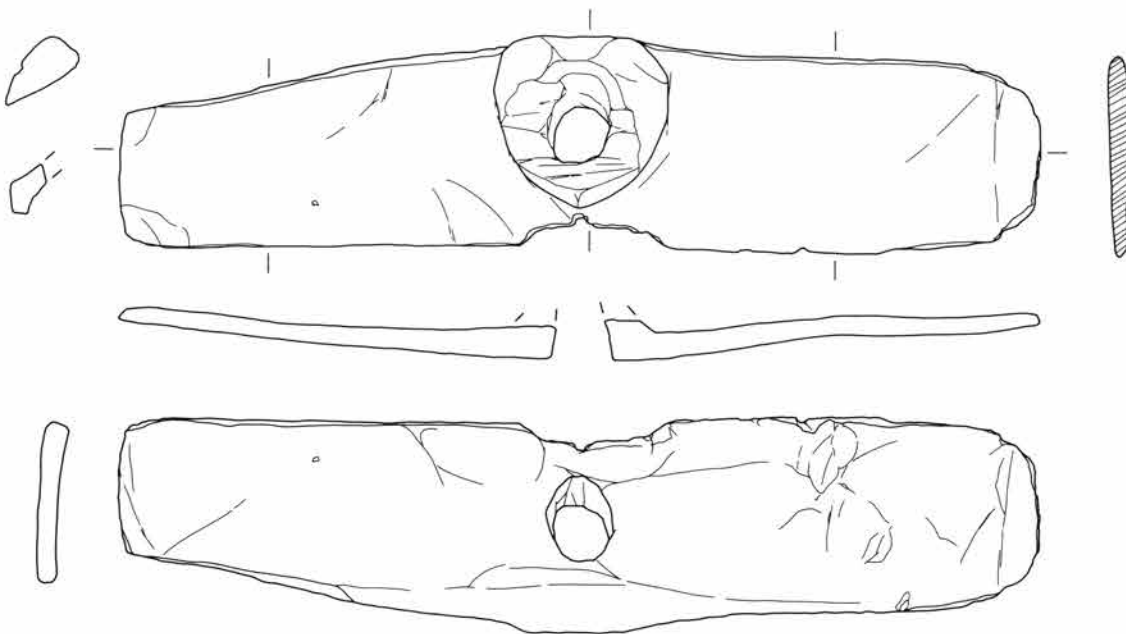
第1章 出土木器



第62图 出土木器(62)

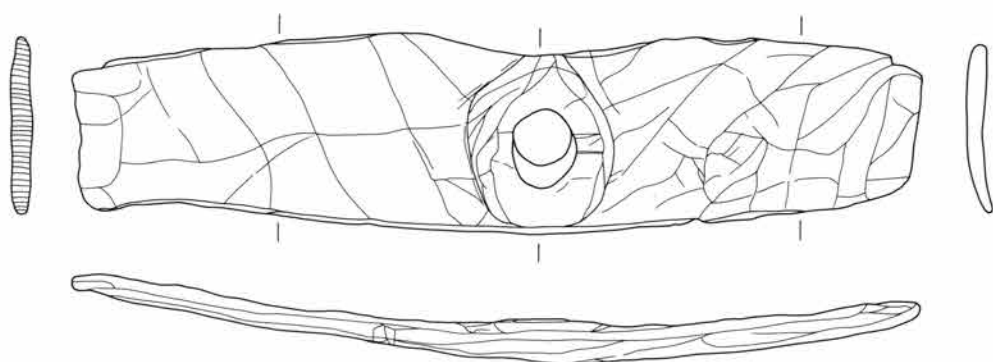


421 ¼

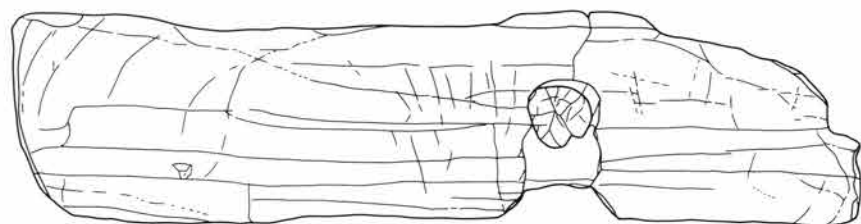
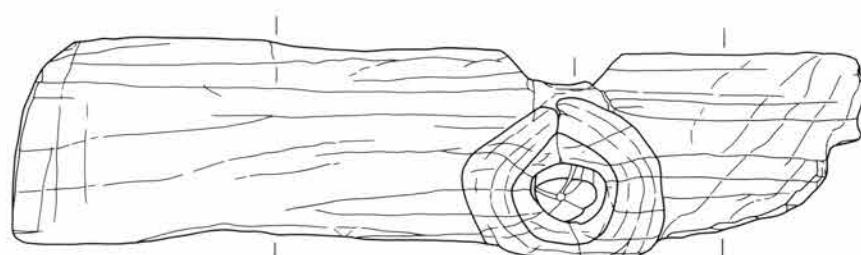
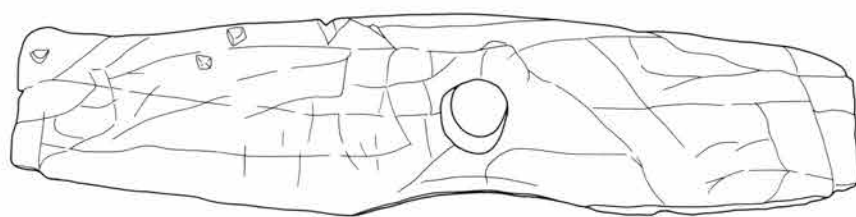


422 ¼

第63図 出土木器(63)

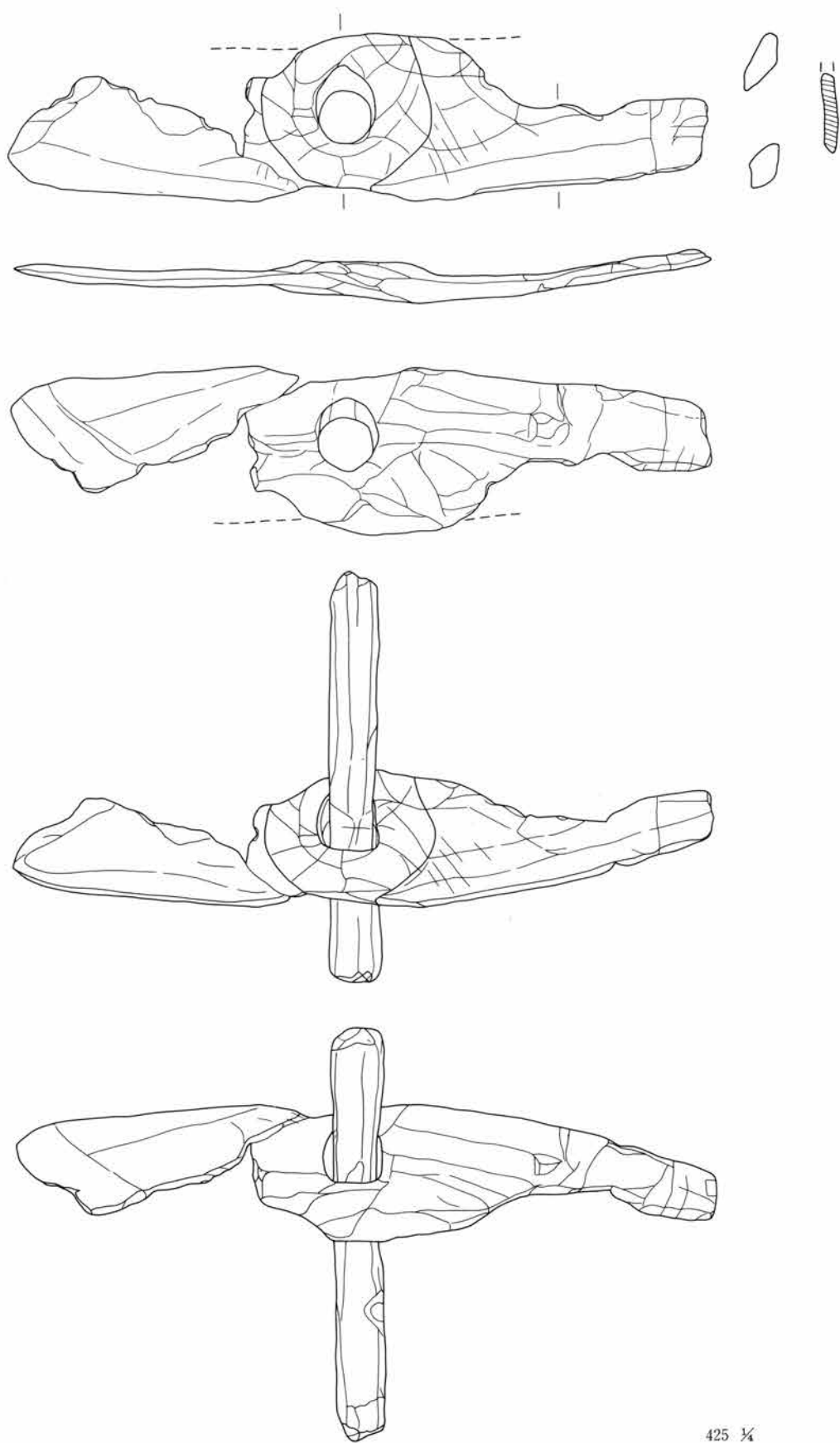


423 ¼



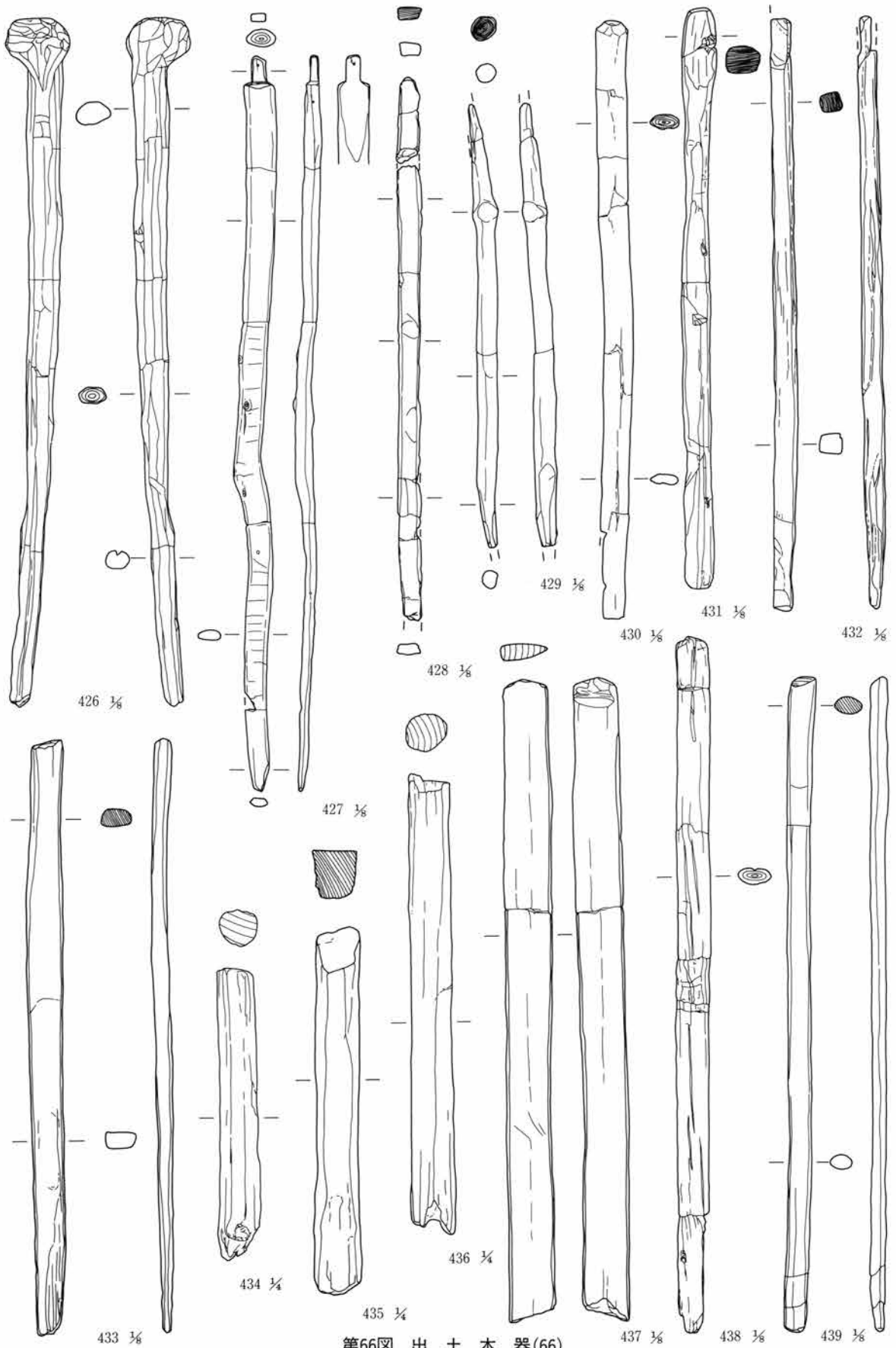
424 ¼

第64图 出土木器(64)

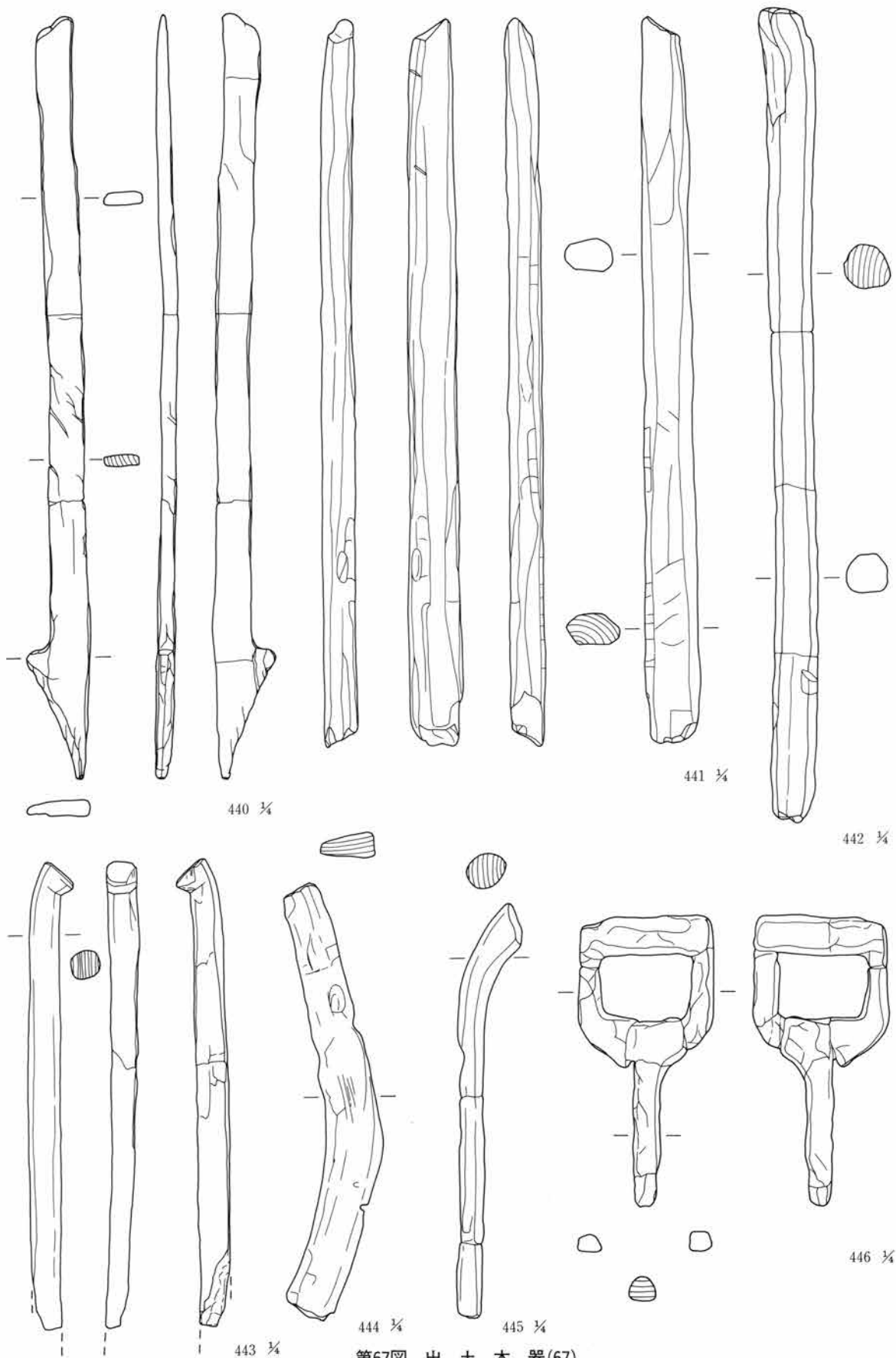


第65图 出土木器(65)

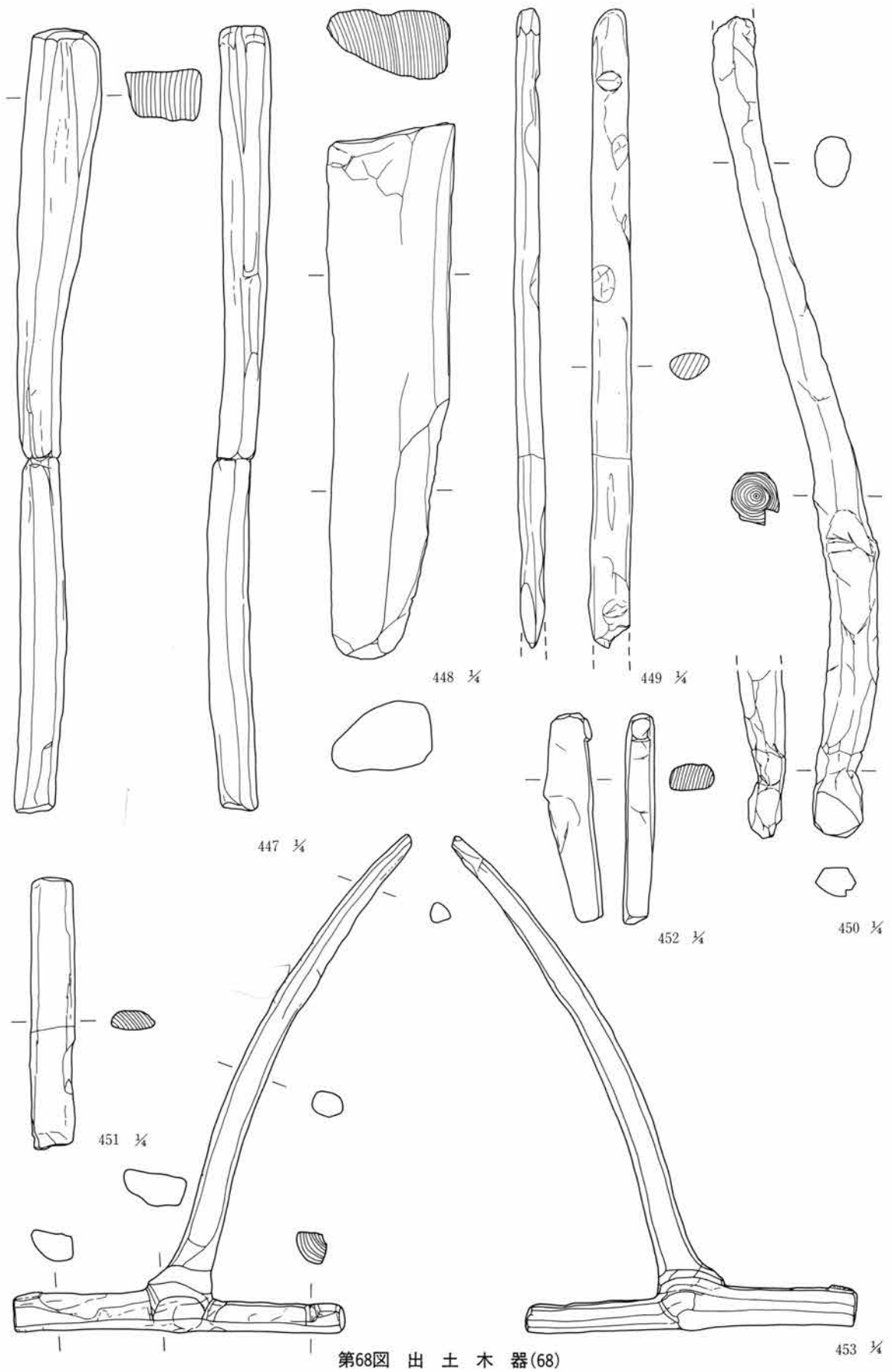
425 ¼



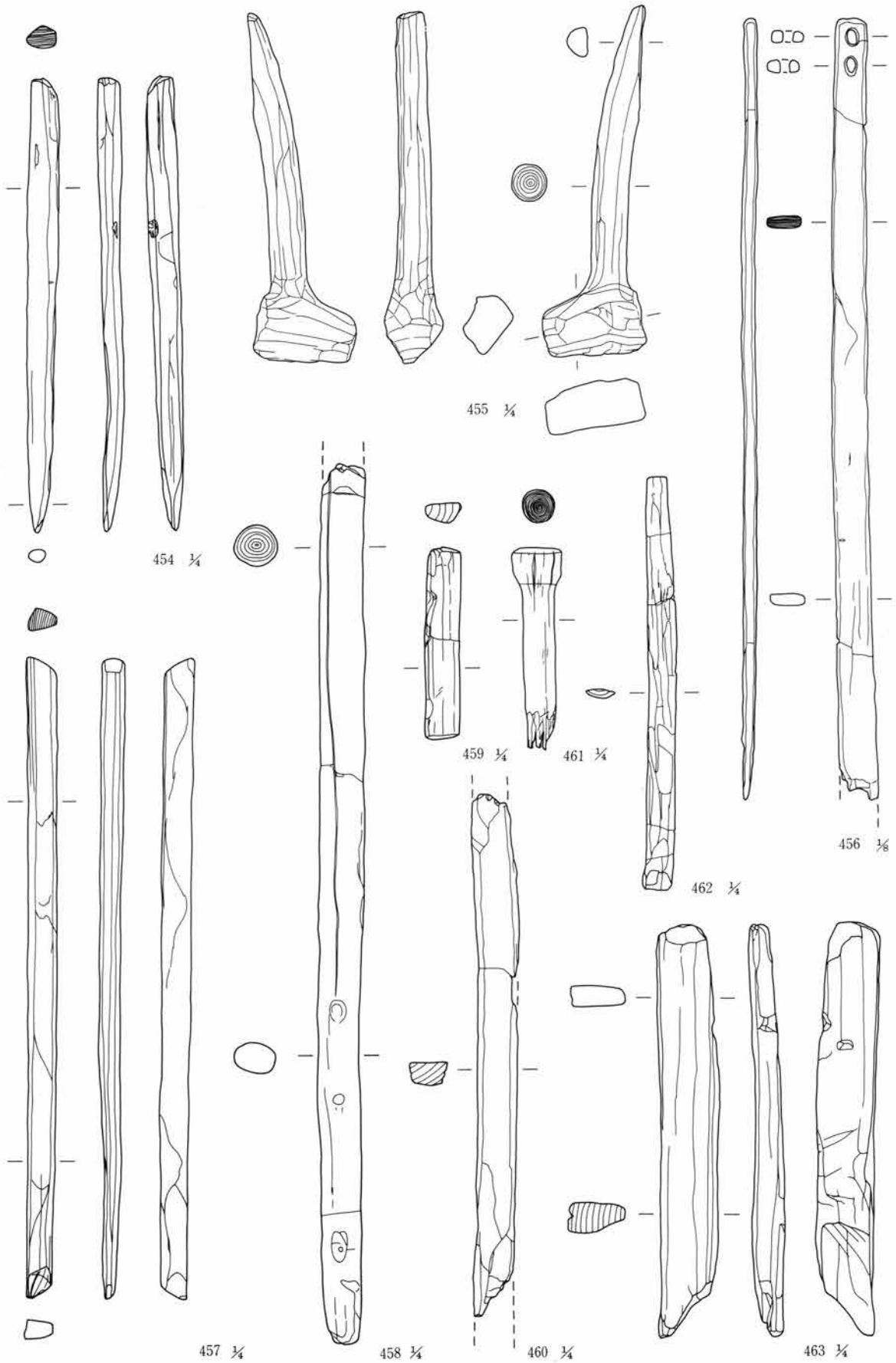
第66图 出土木器(66)



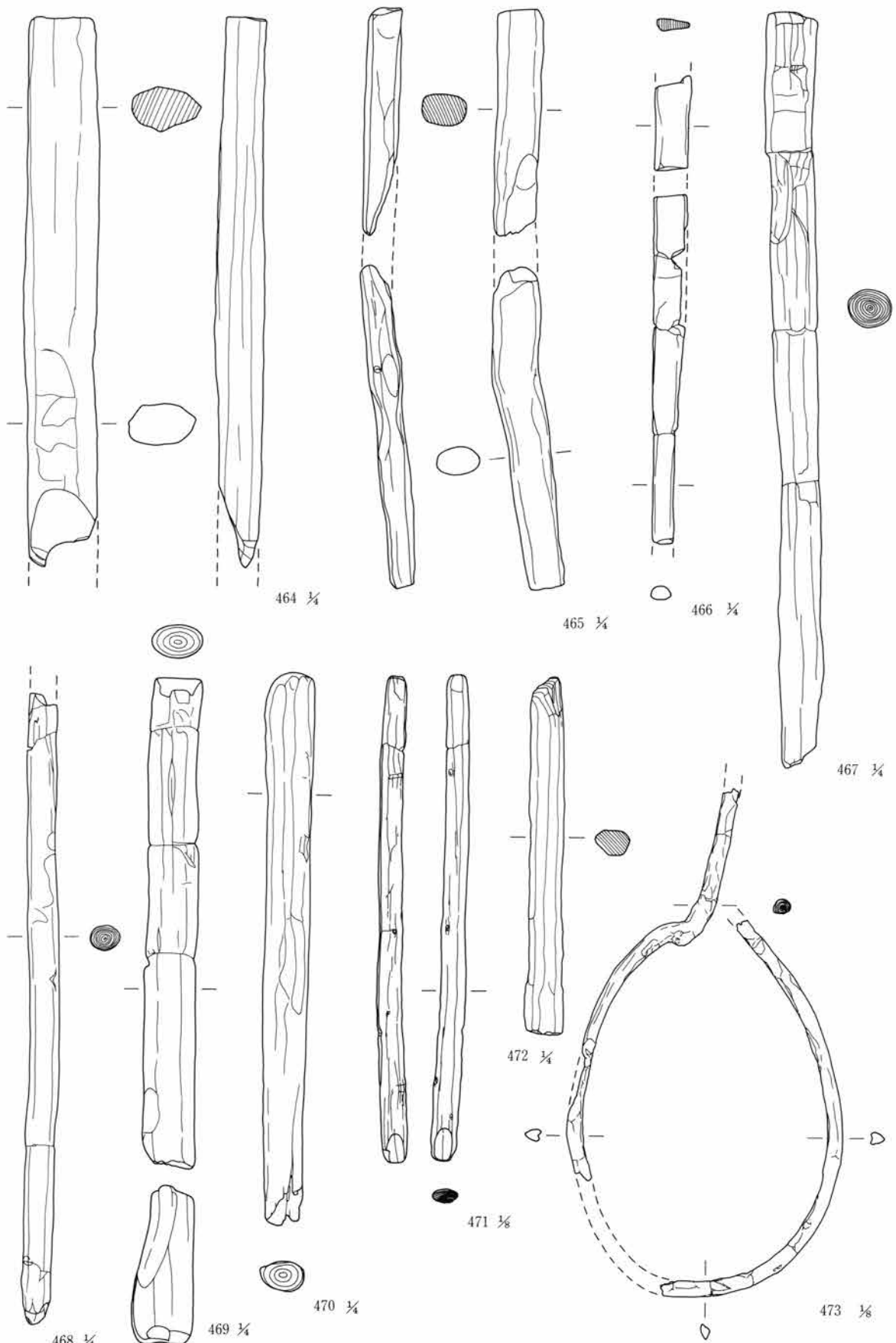
第67图 出土木器(67)



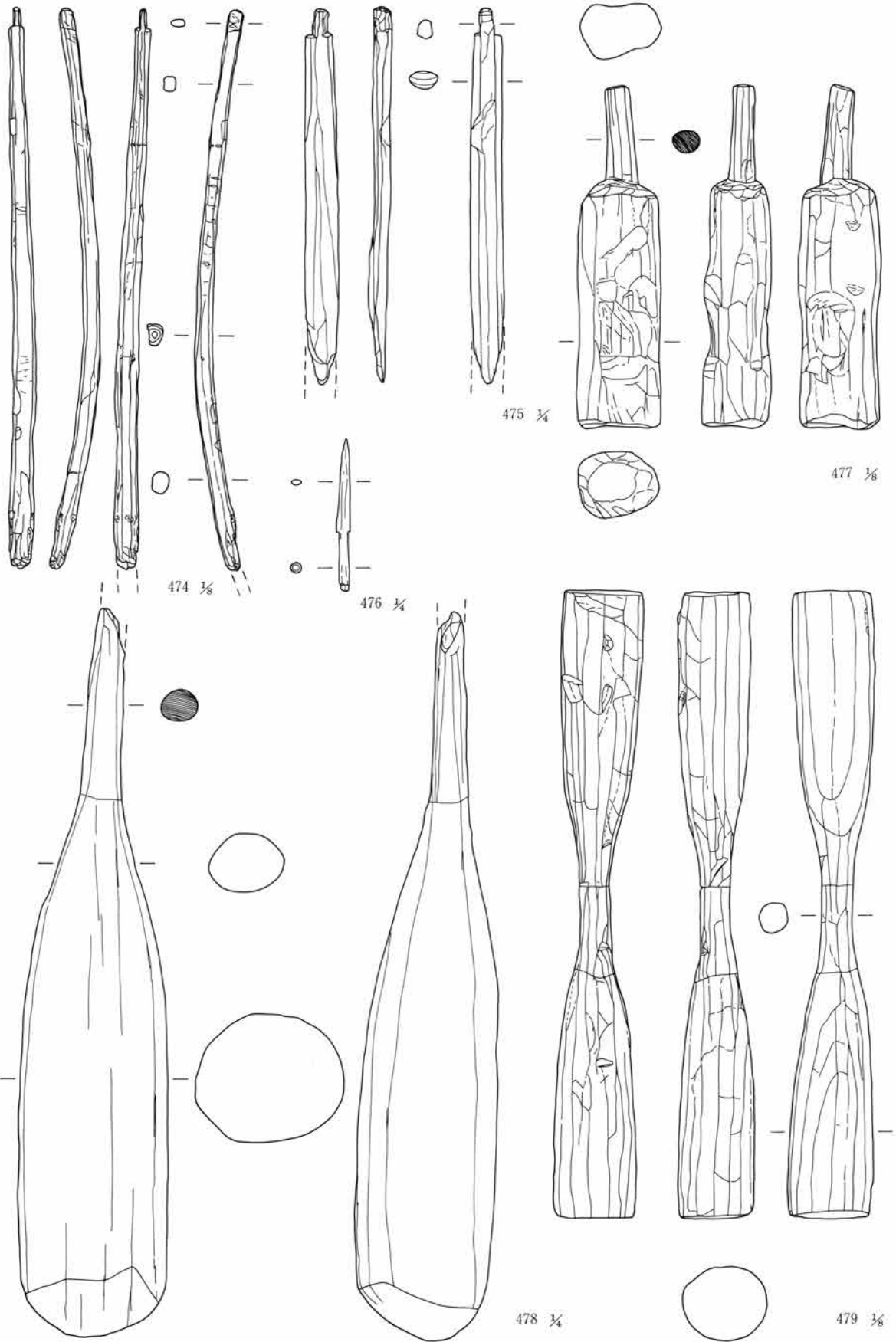
第68图 出土木器(68)



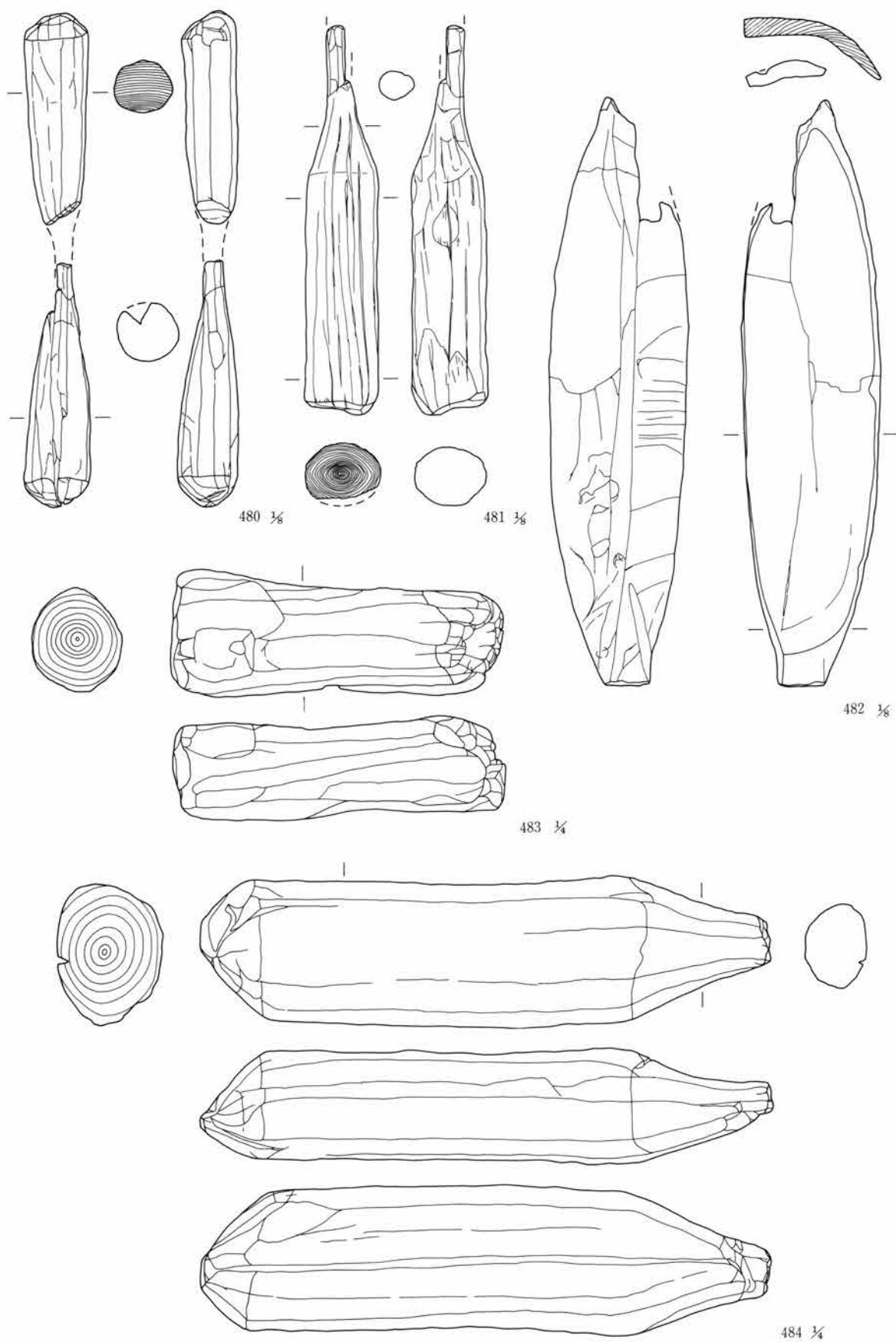
第69图 出土木器(69)



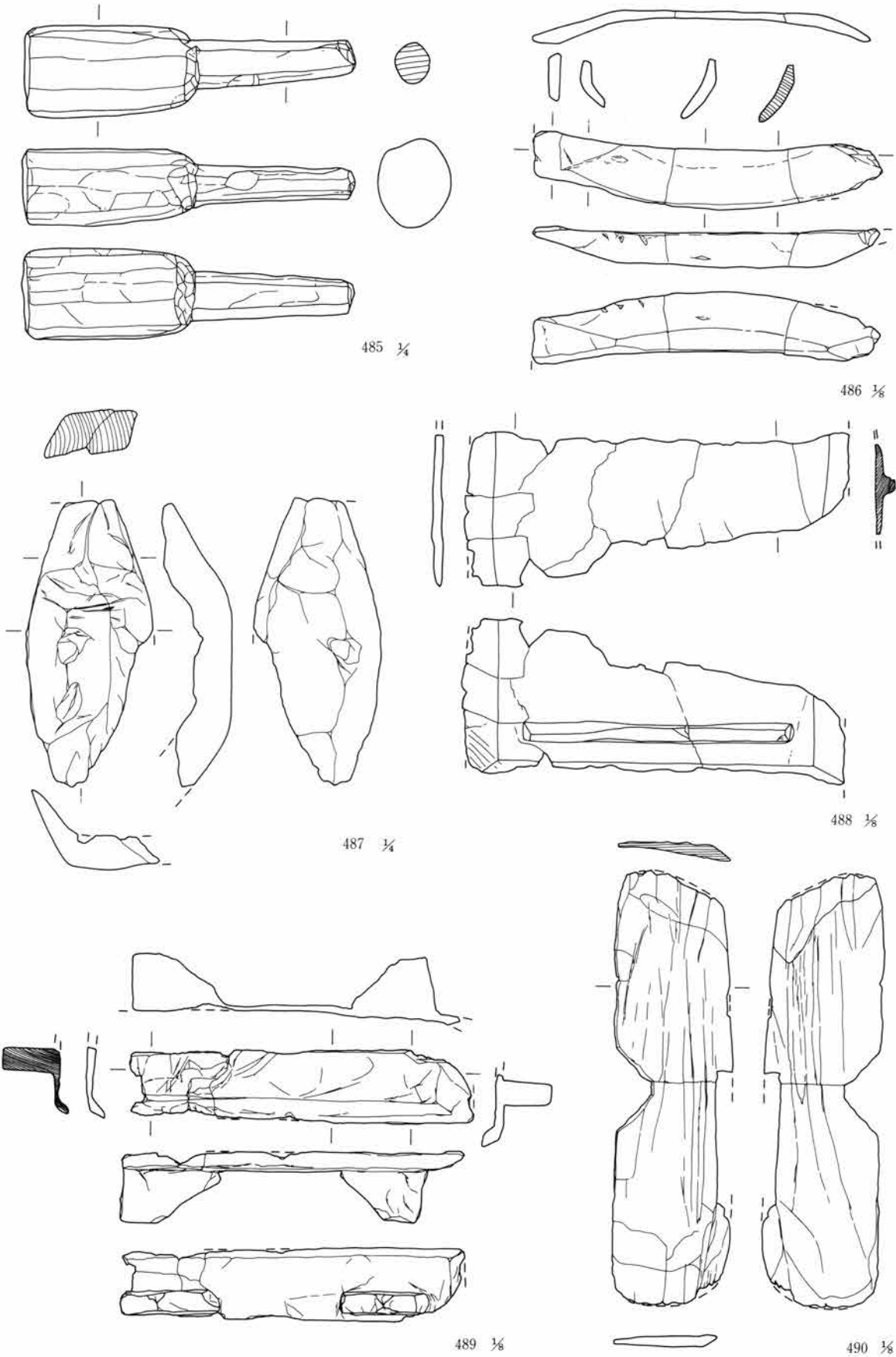
第70图 出土木器(70)



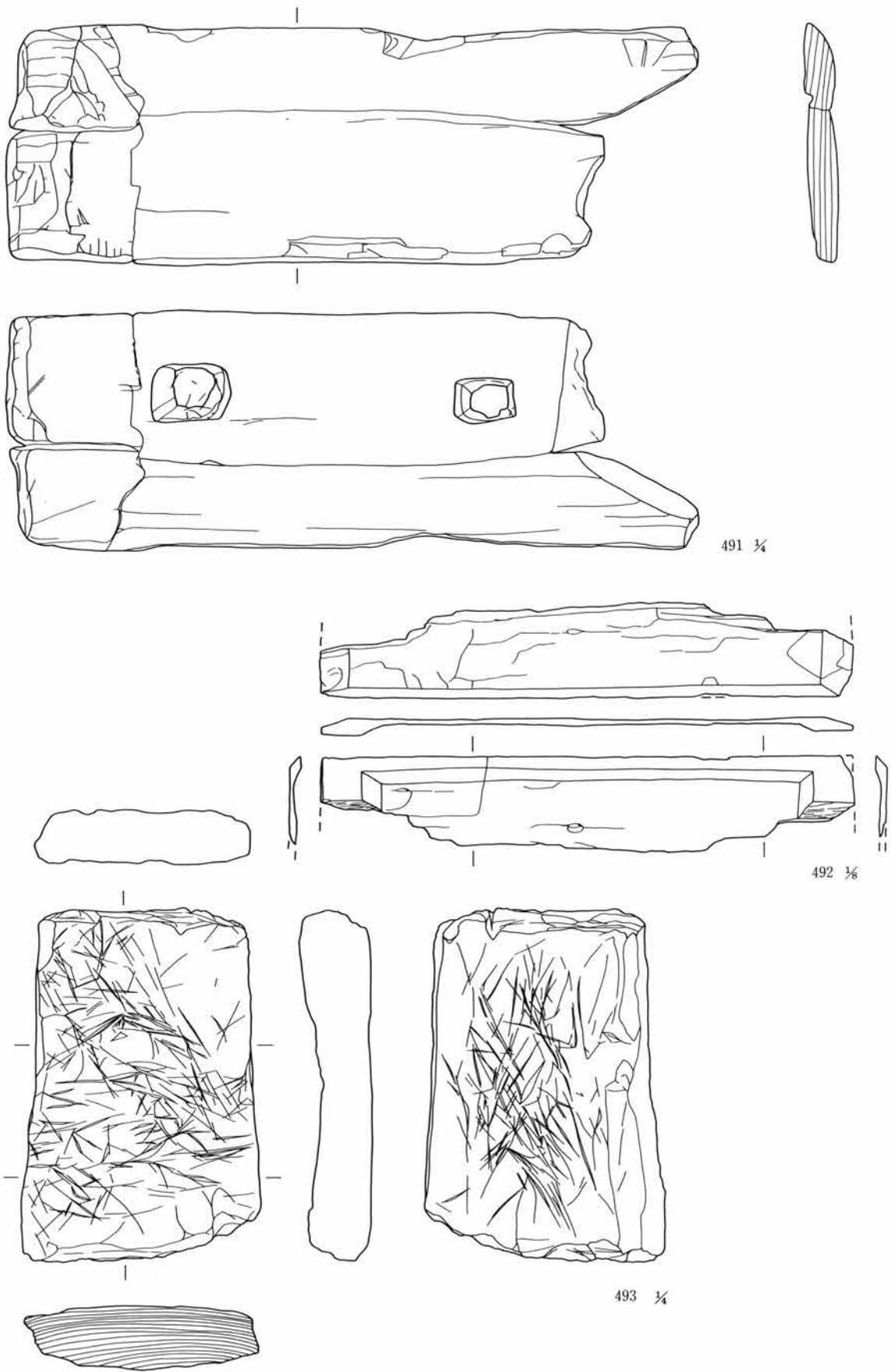
第71图 出土木器(71)



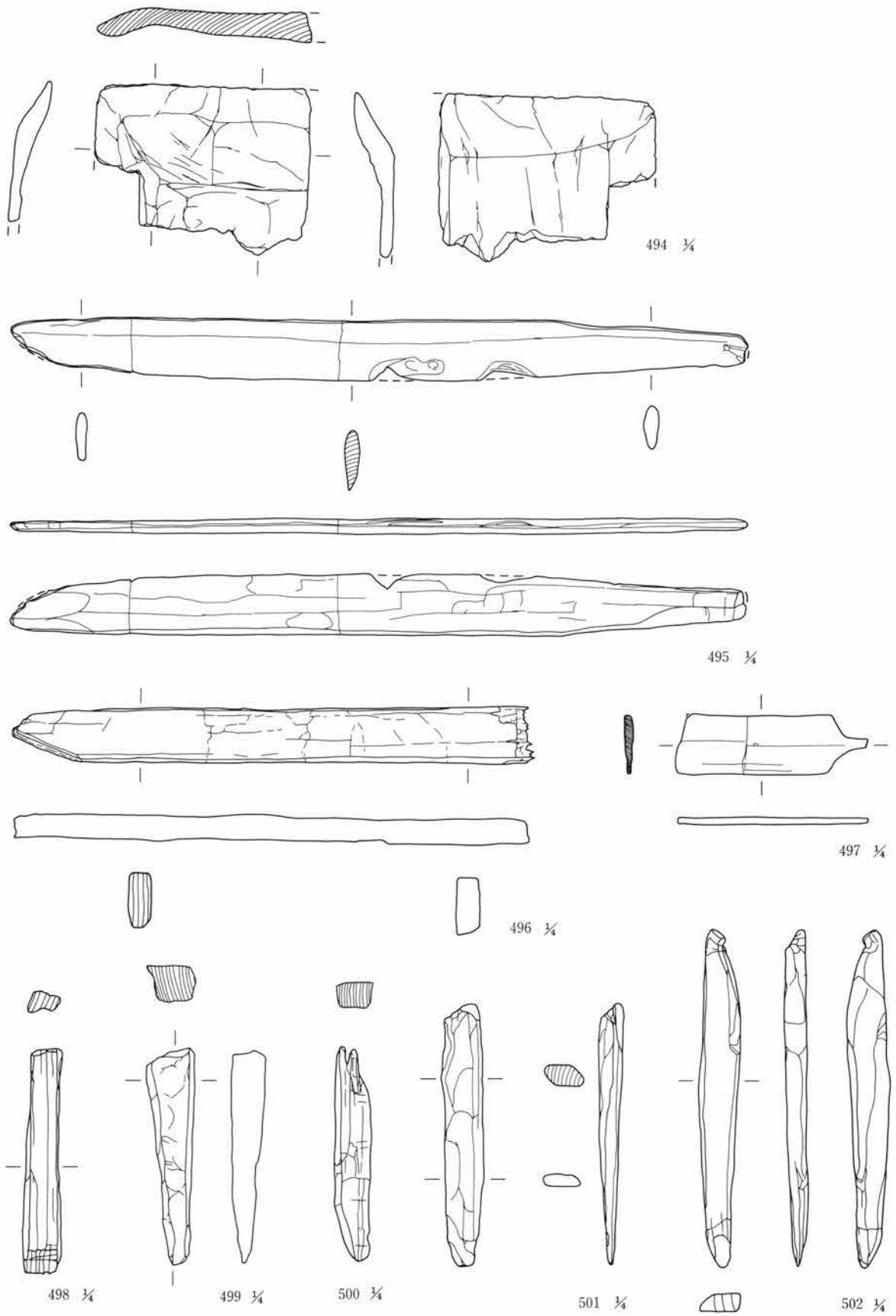
第72図 出土木器(72)



第73图 出土木器(73)

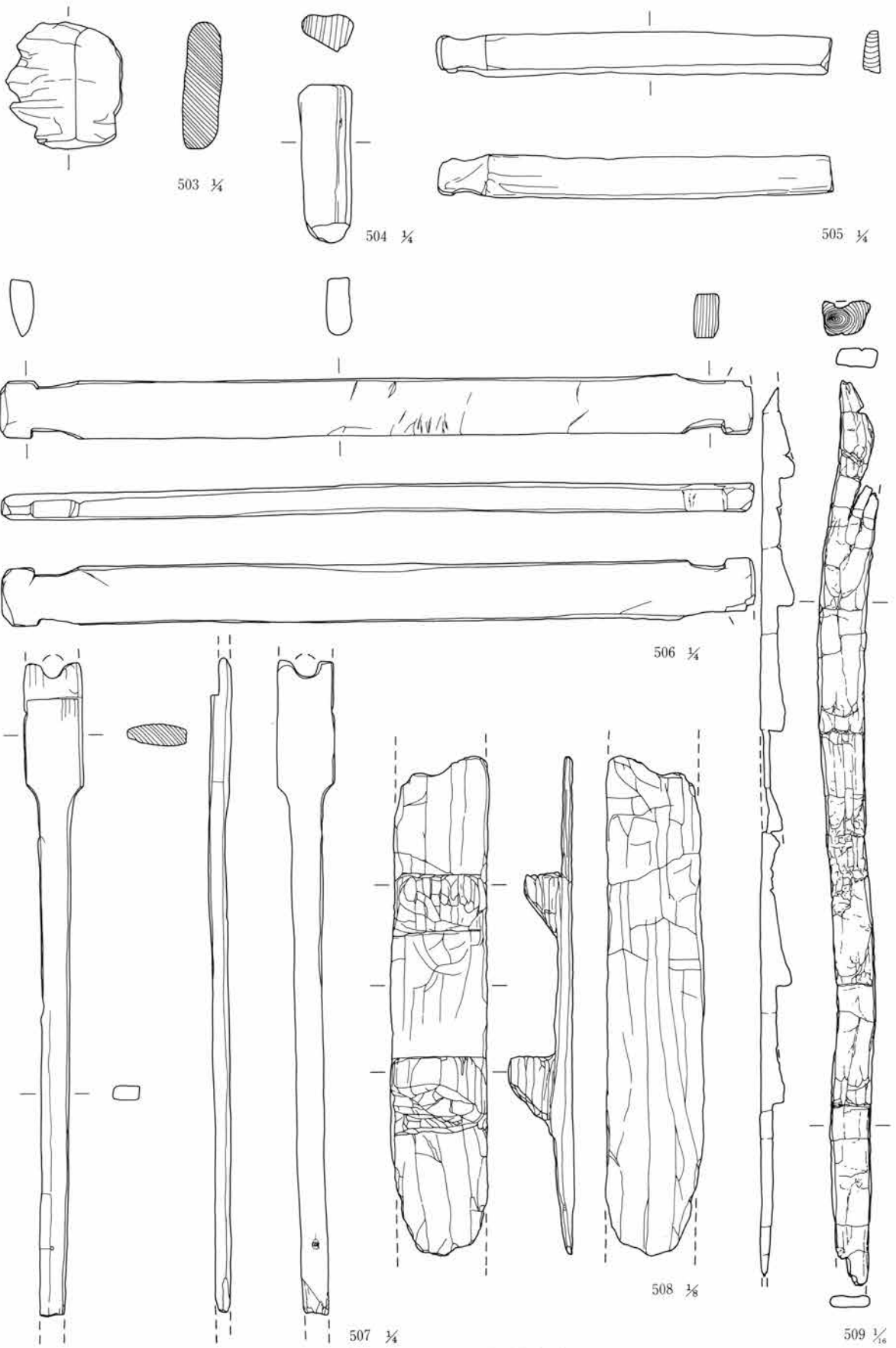


第74图 出土木器(74)

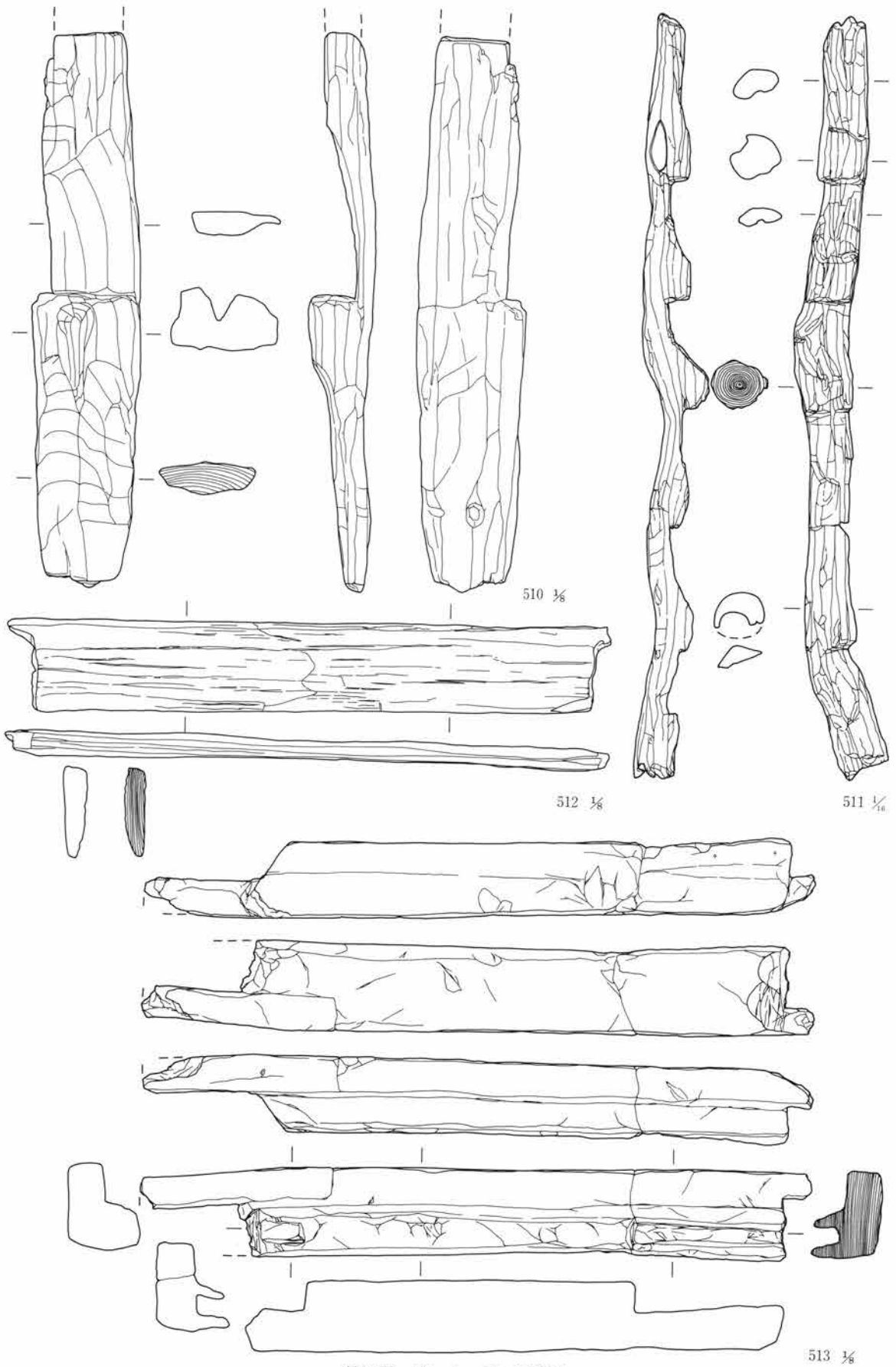


第75图 出土木器(75)

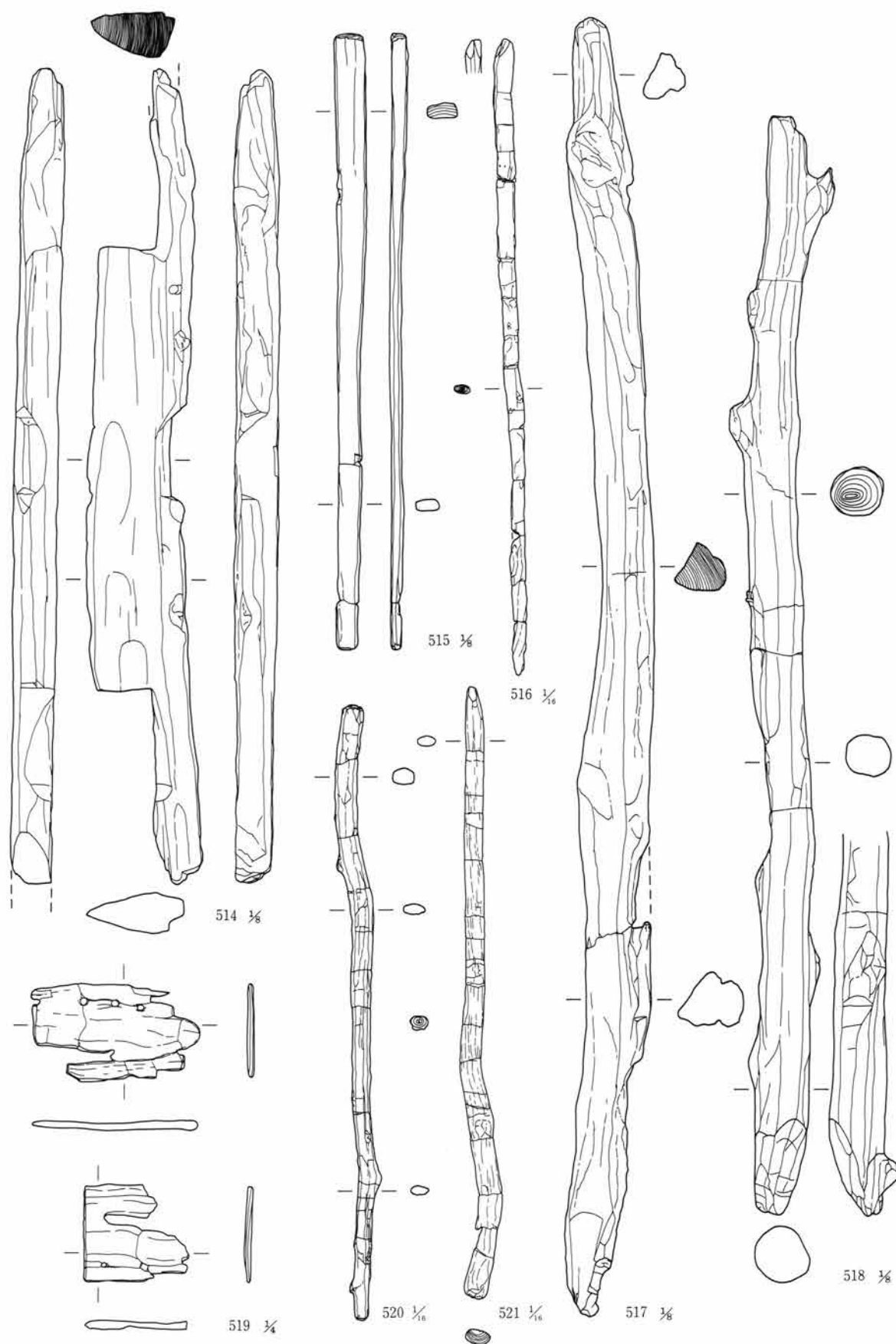
第1章 出土木器



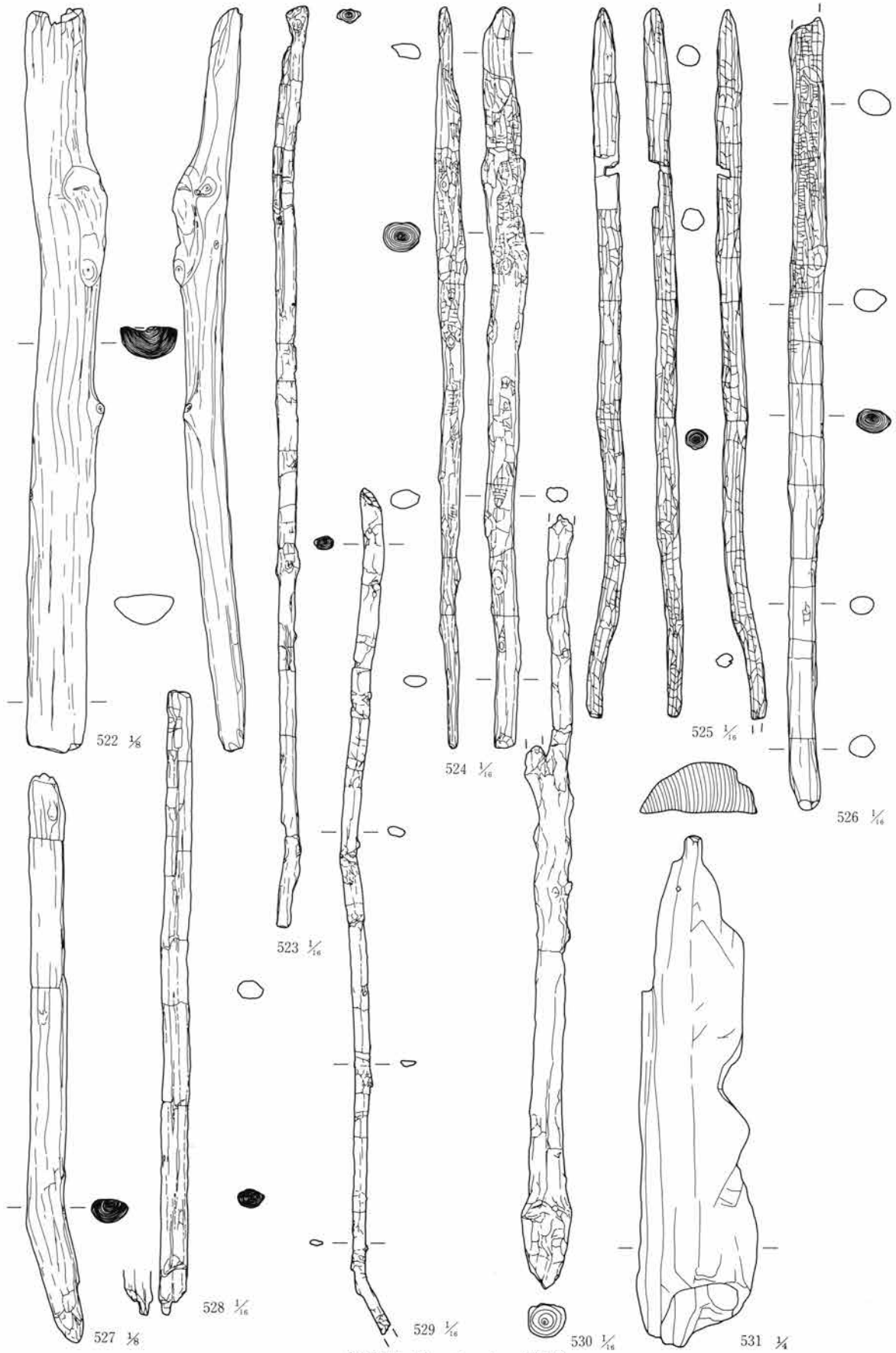
第76图 出土木器(76)



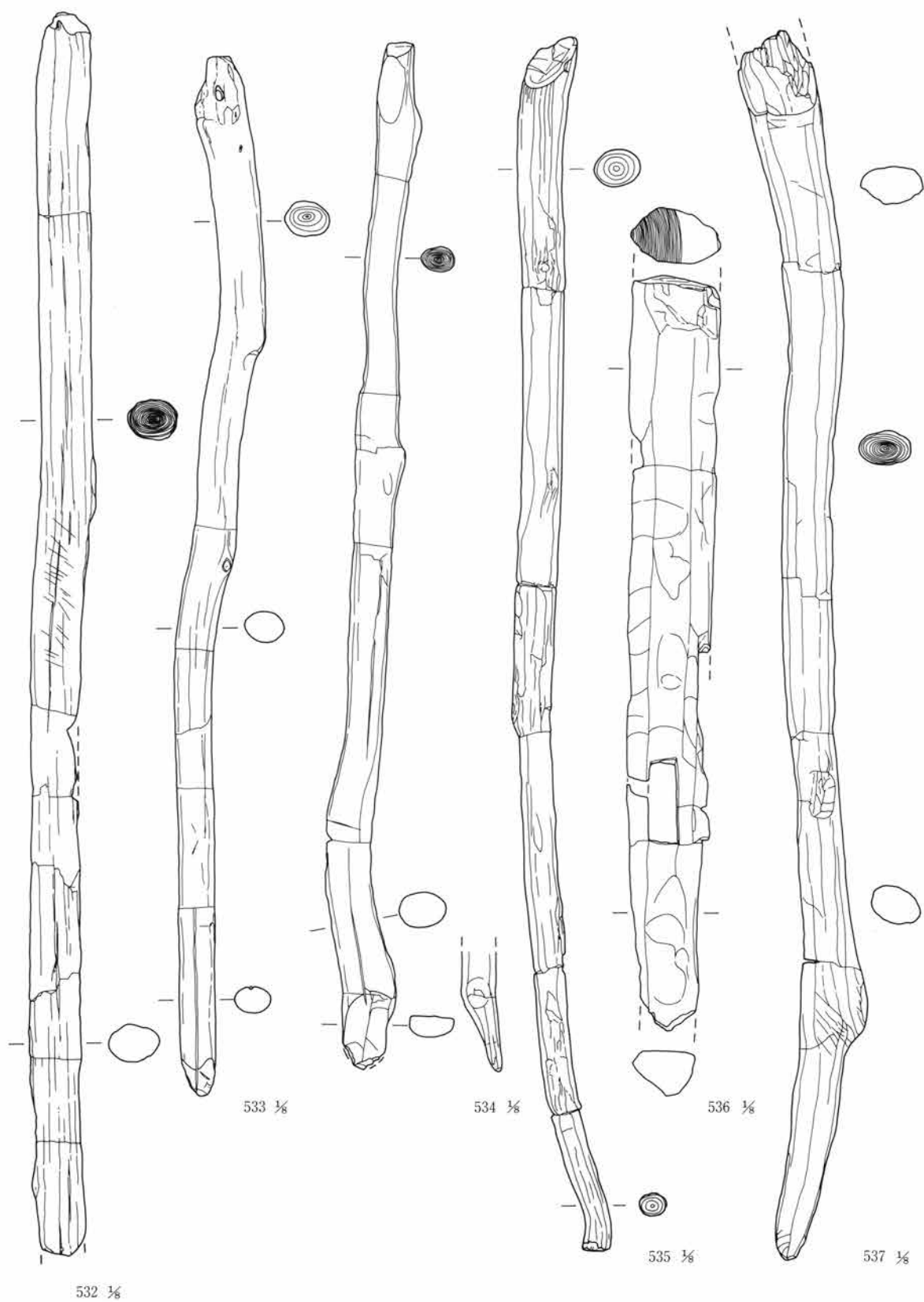
第77图 出土木器(77)



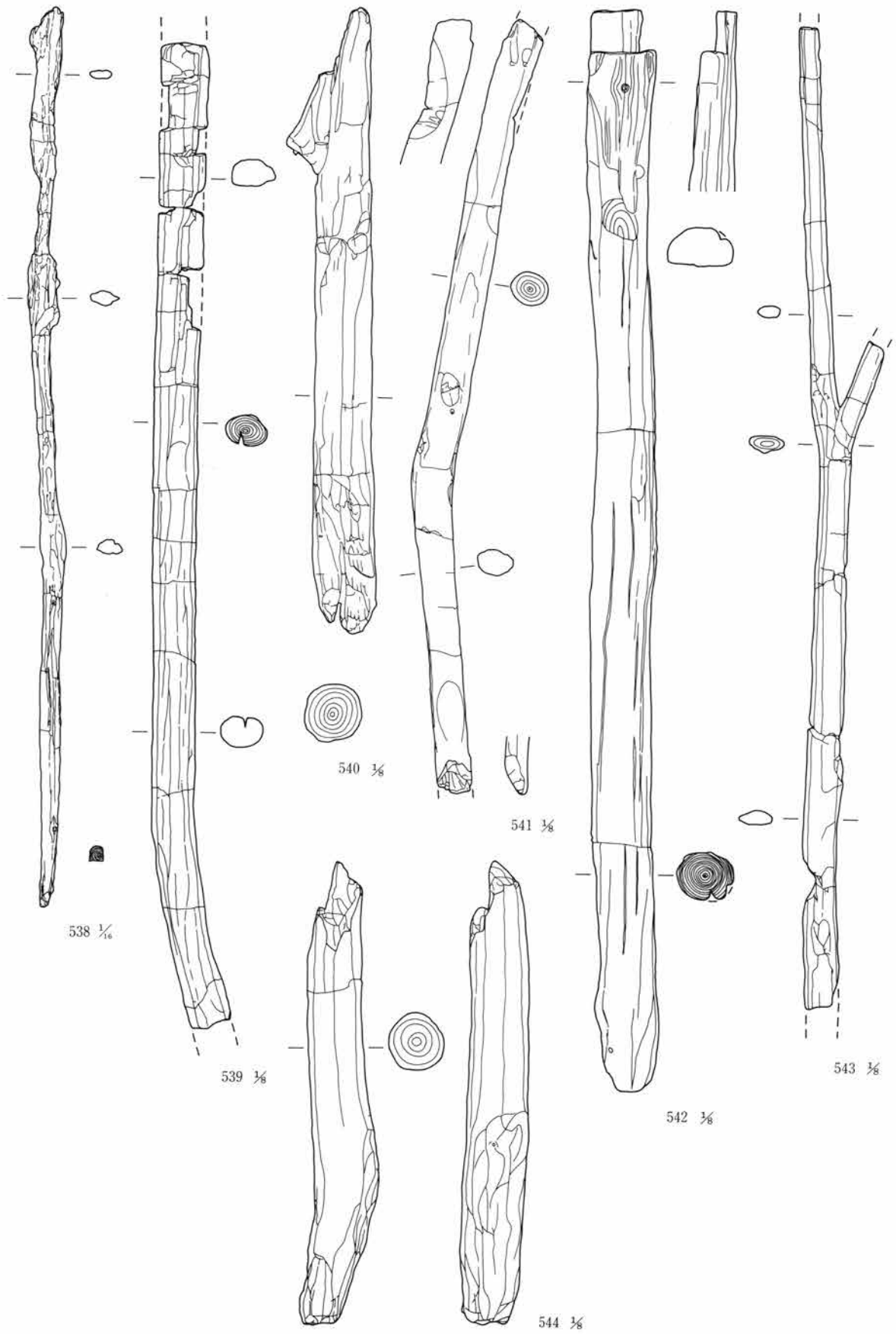
第78图 出土木器(78)



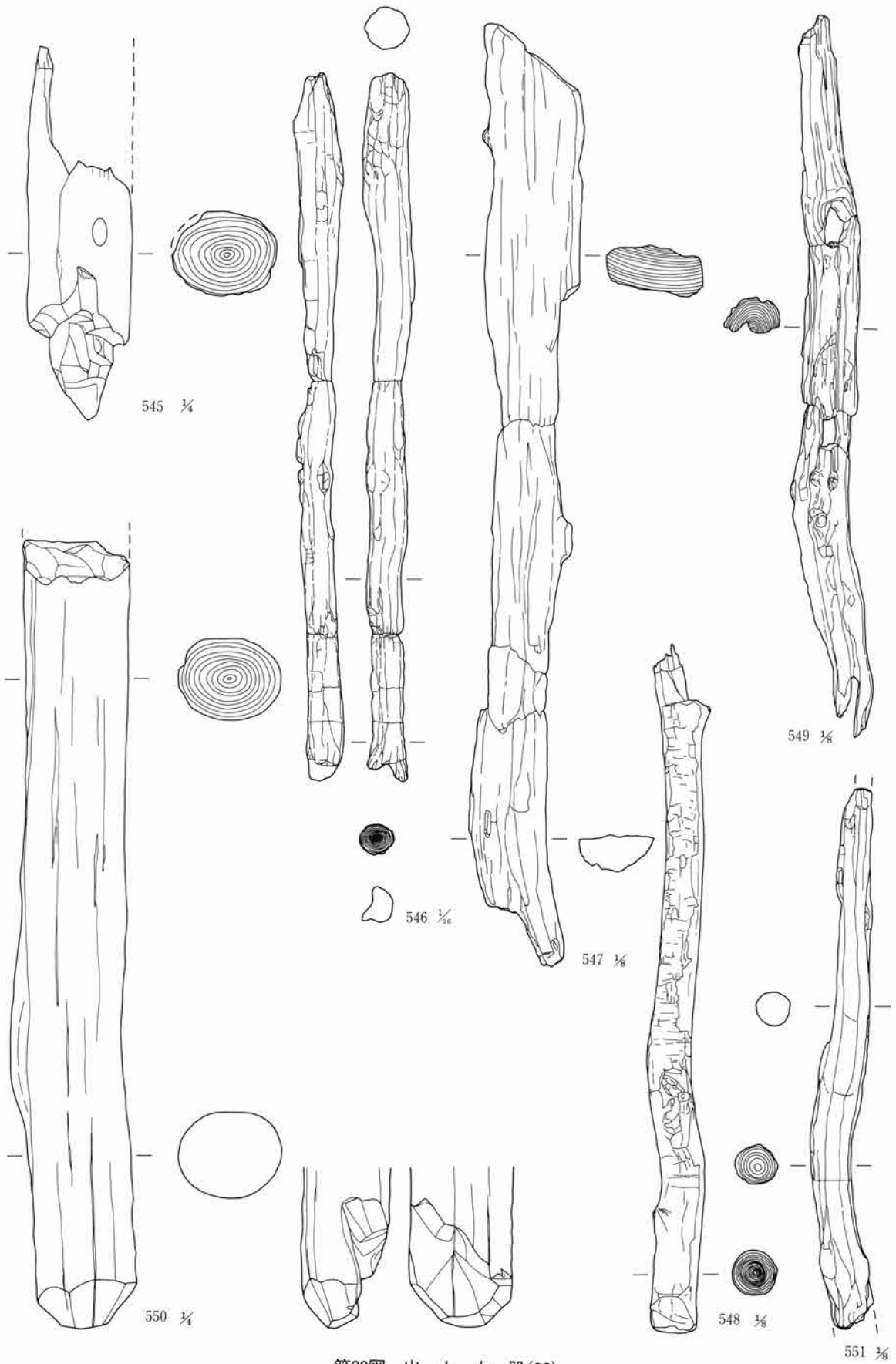
第79图 出土木器(79)



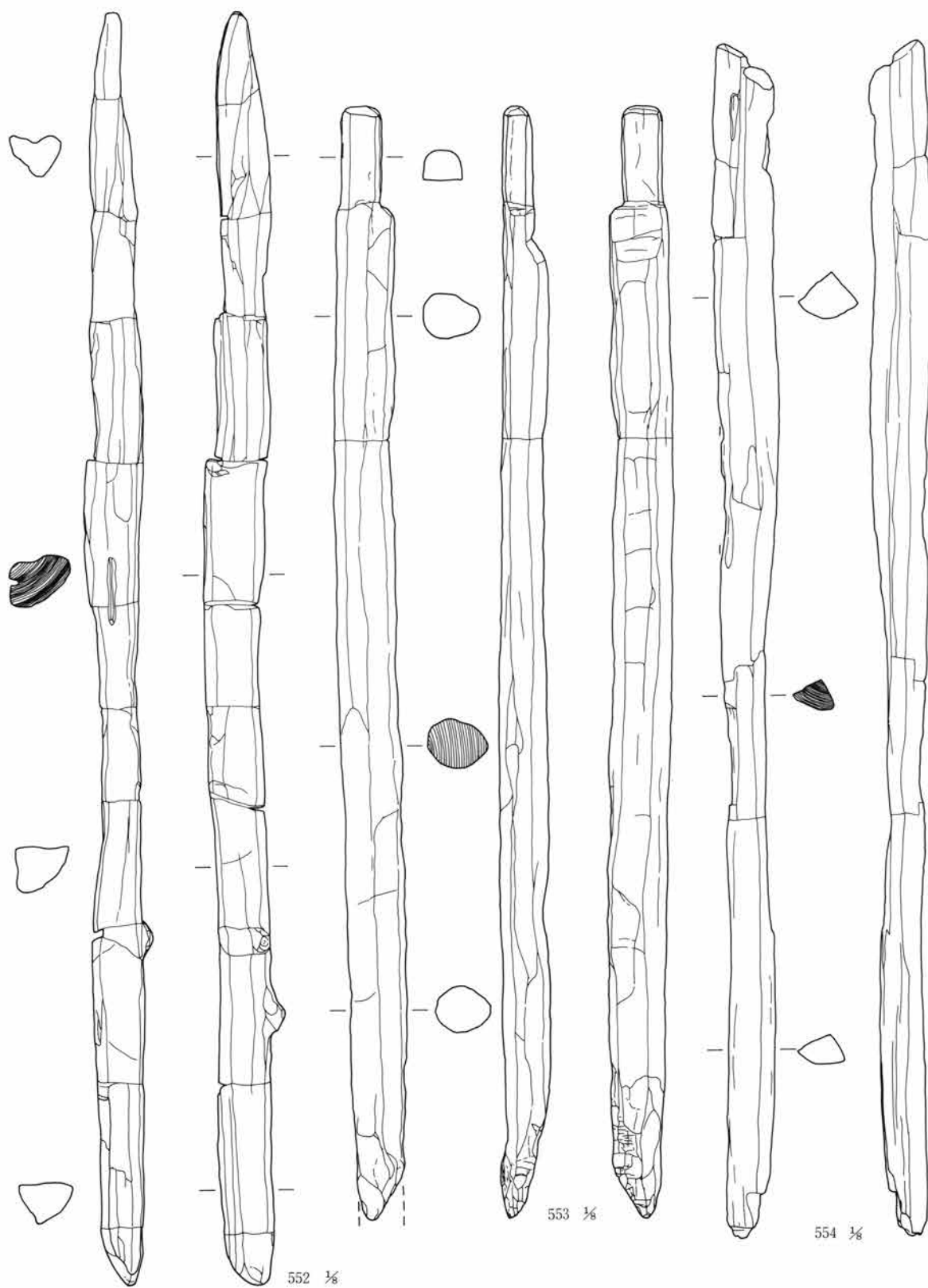
第80图 出土木器(80)



第81图 出土木器(81)

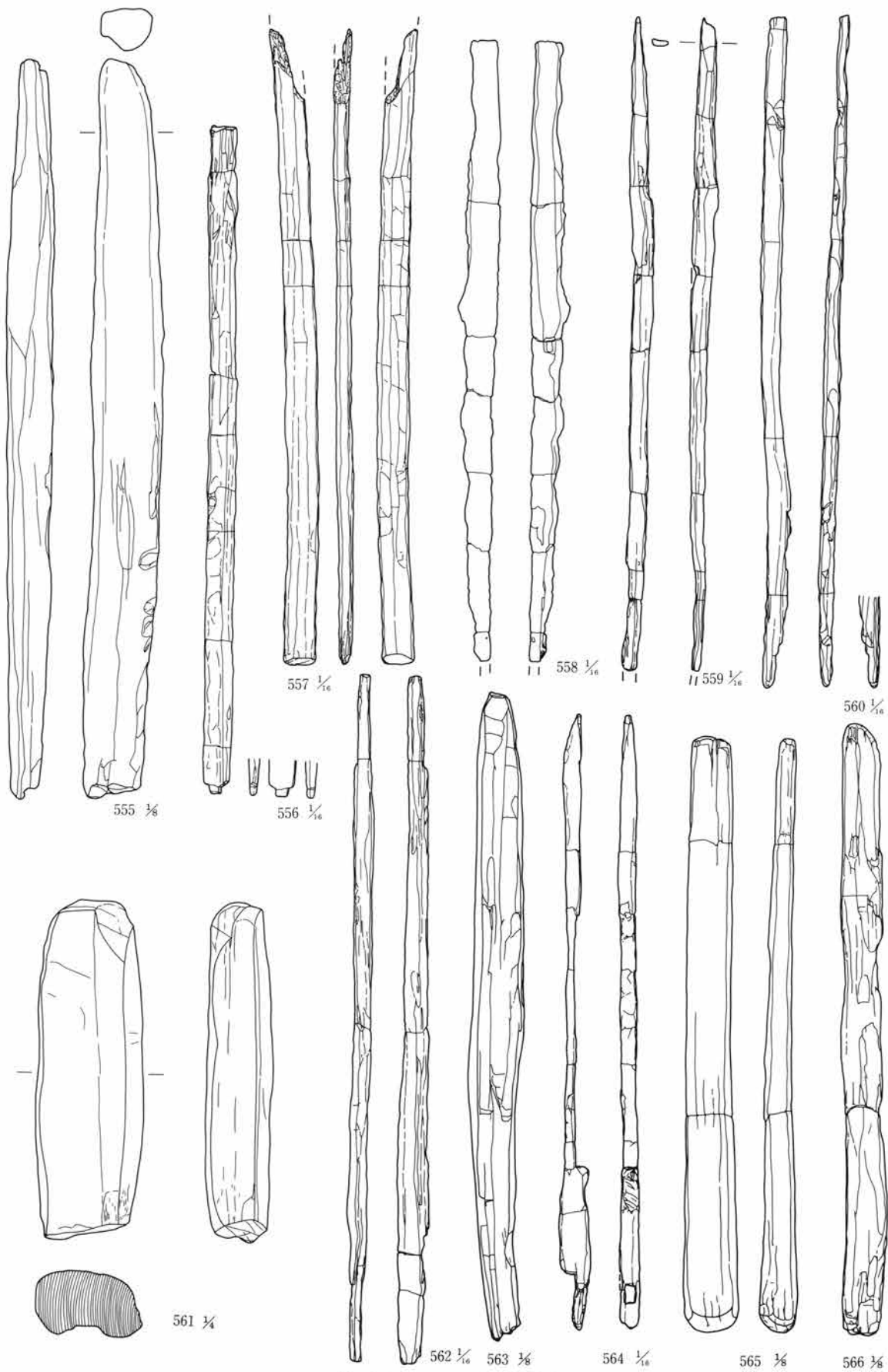


第82图 出土木器(82)

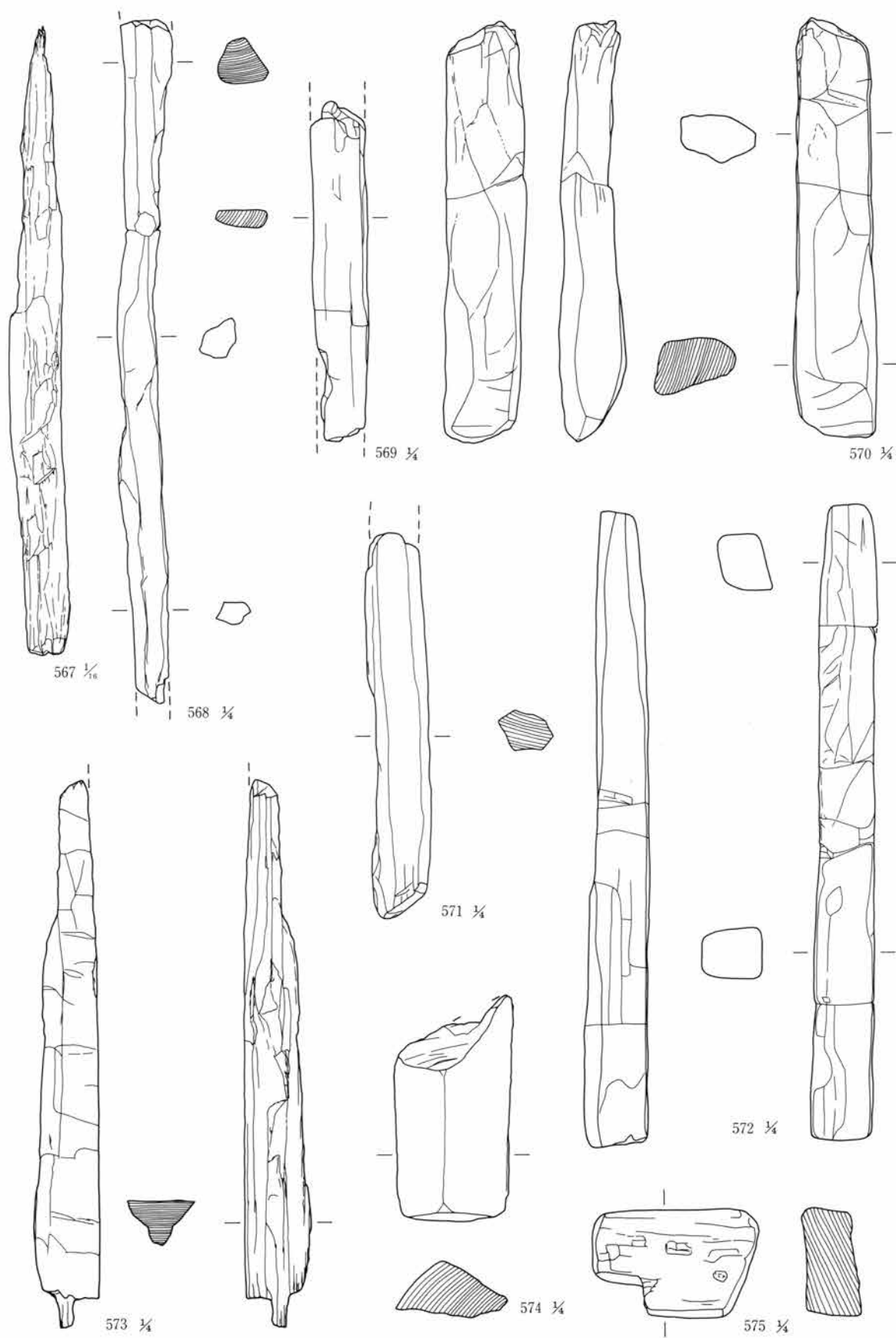


第83图 出土木器(83)

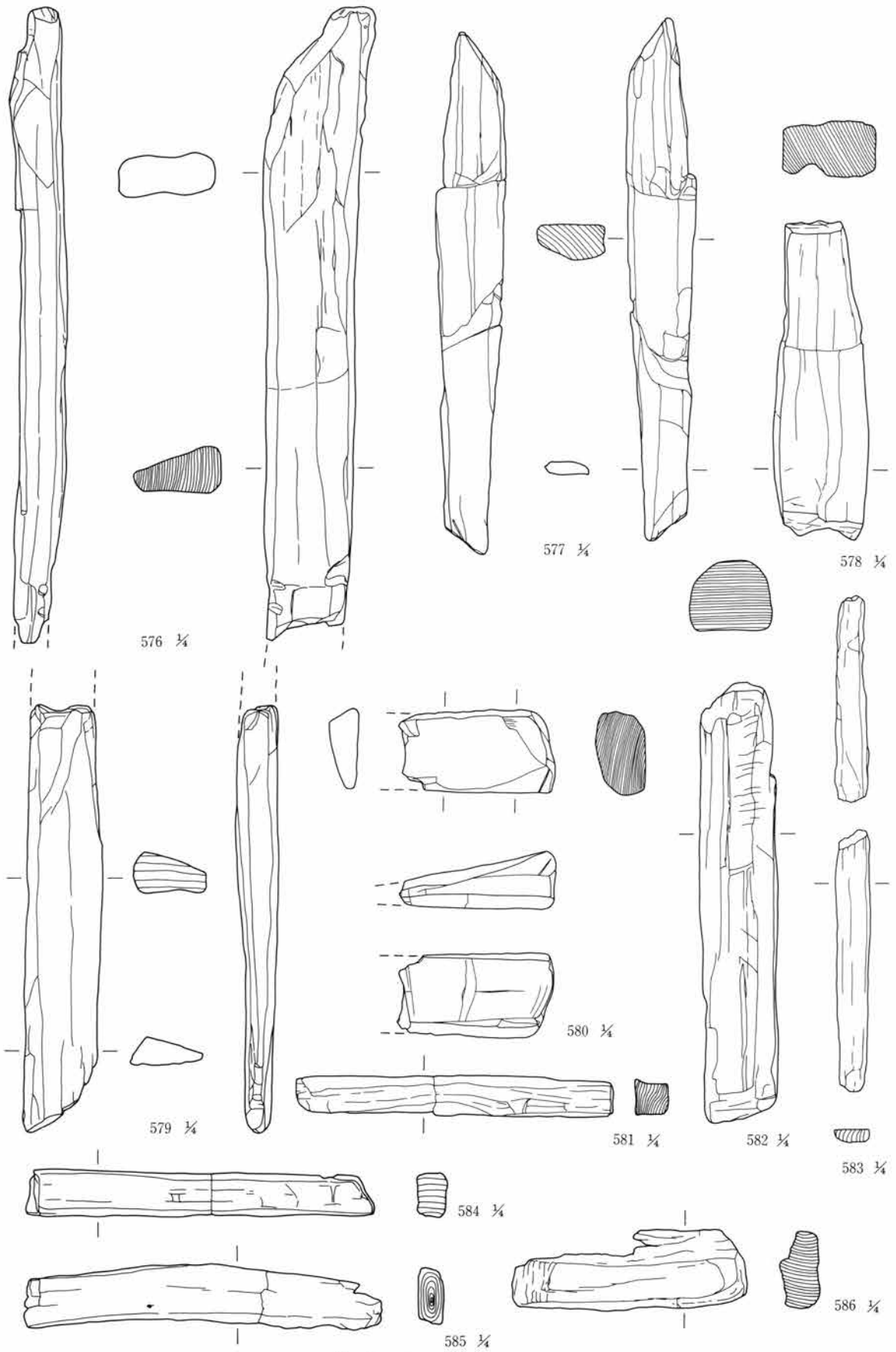
第1章 出土木器



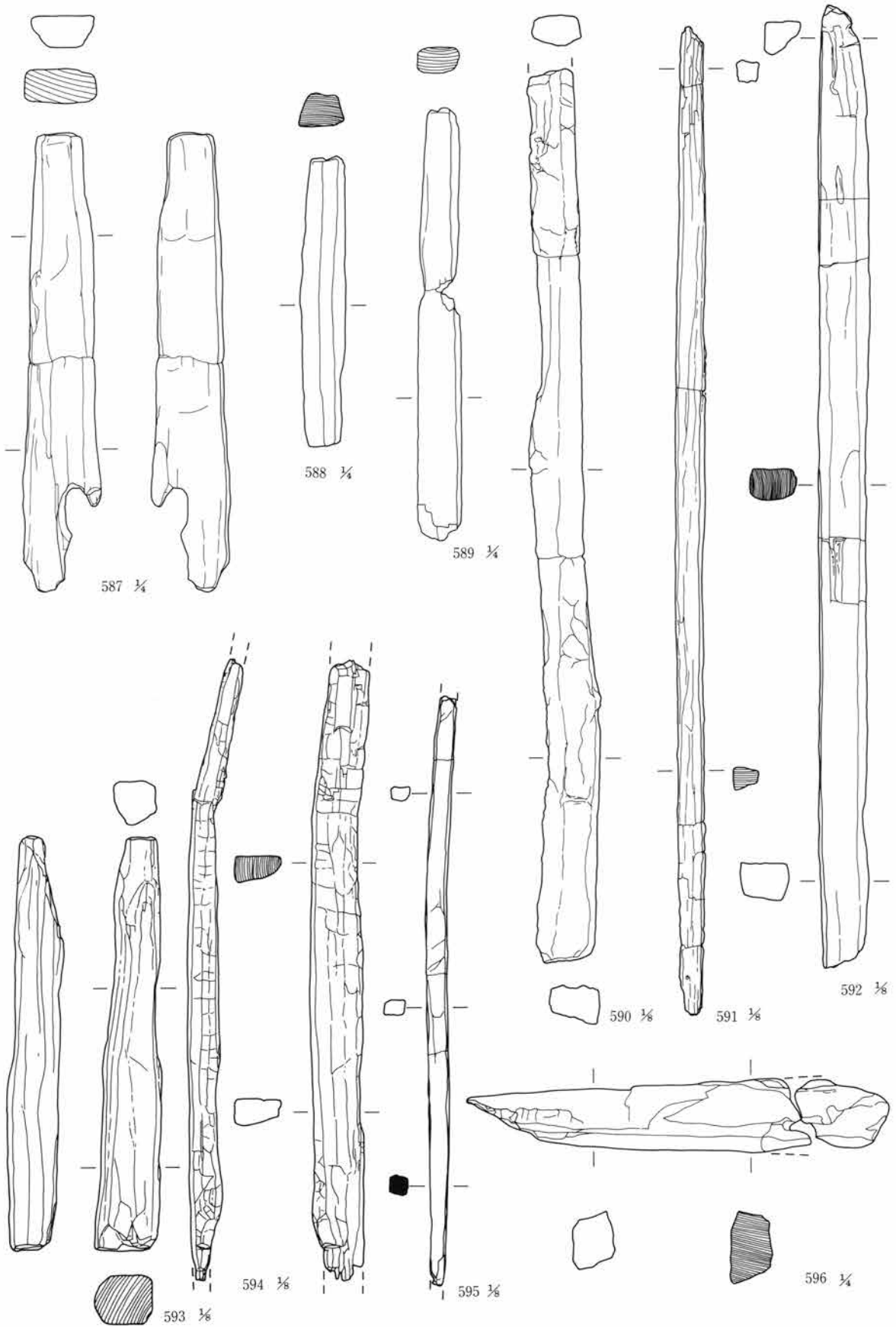
第84图 出土木器(84)



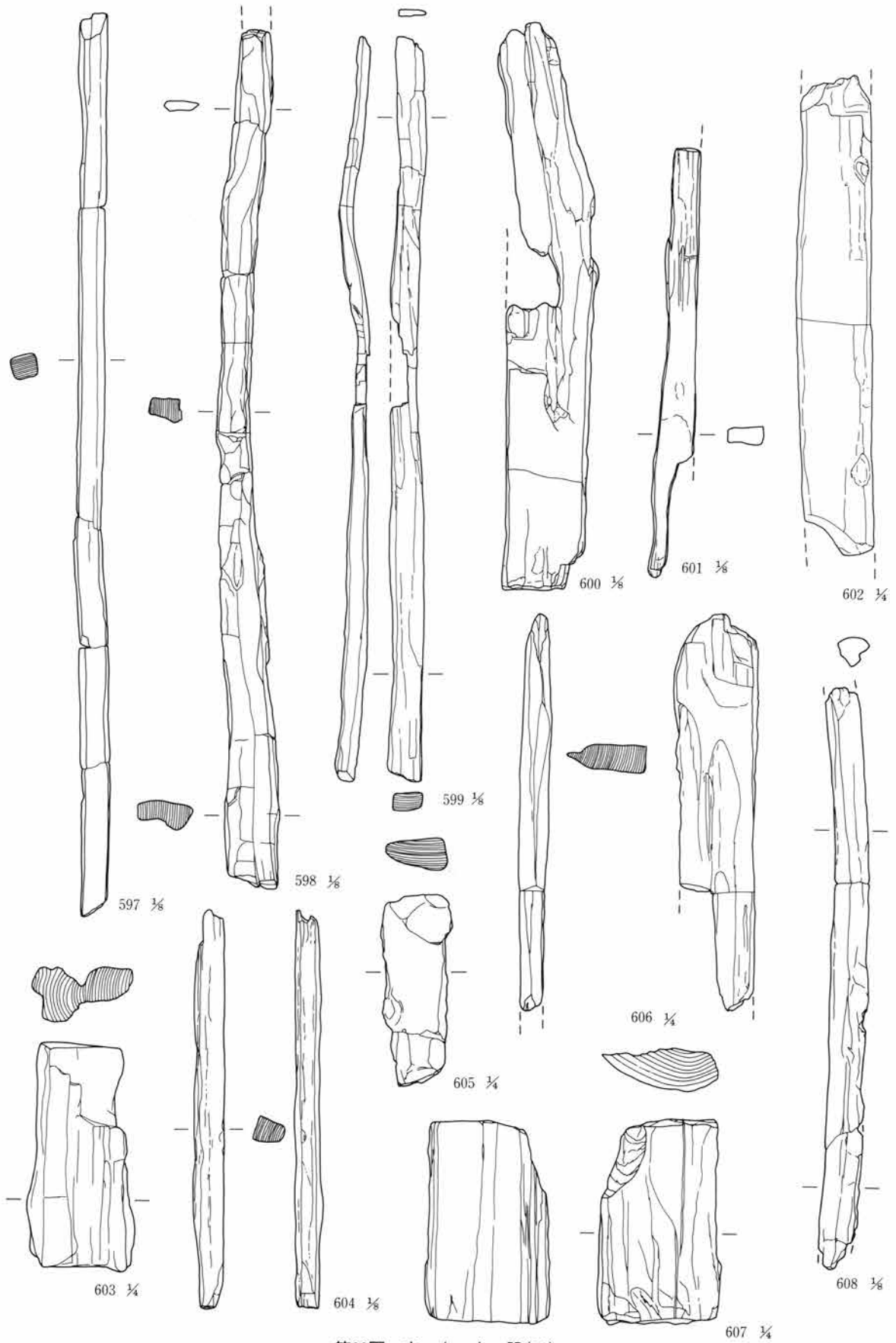
第85图 出土木器(85)



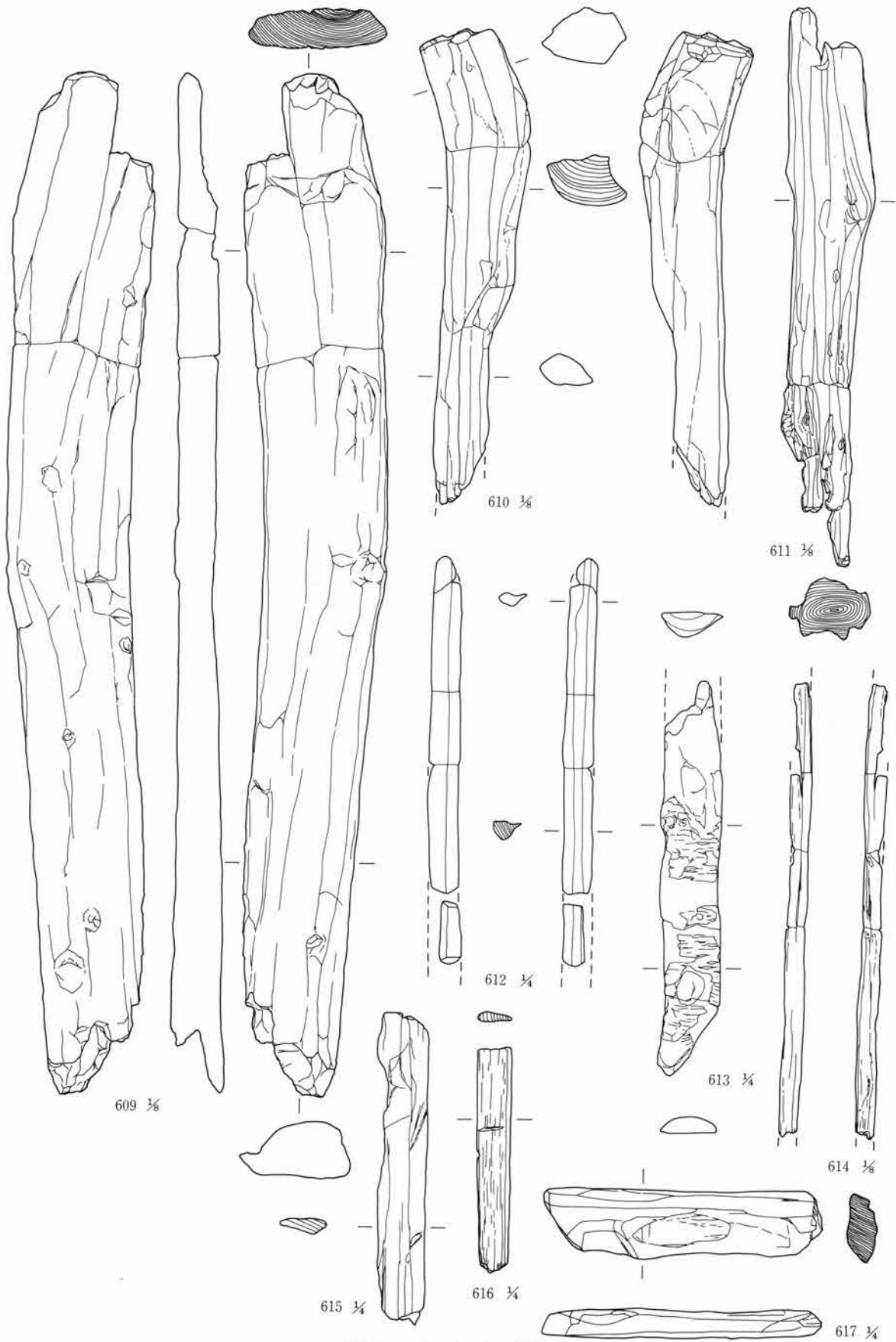
第86图 出土木器(86)



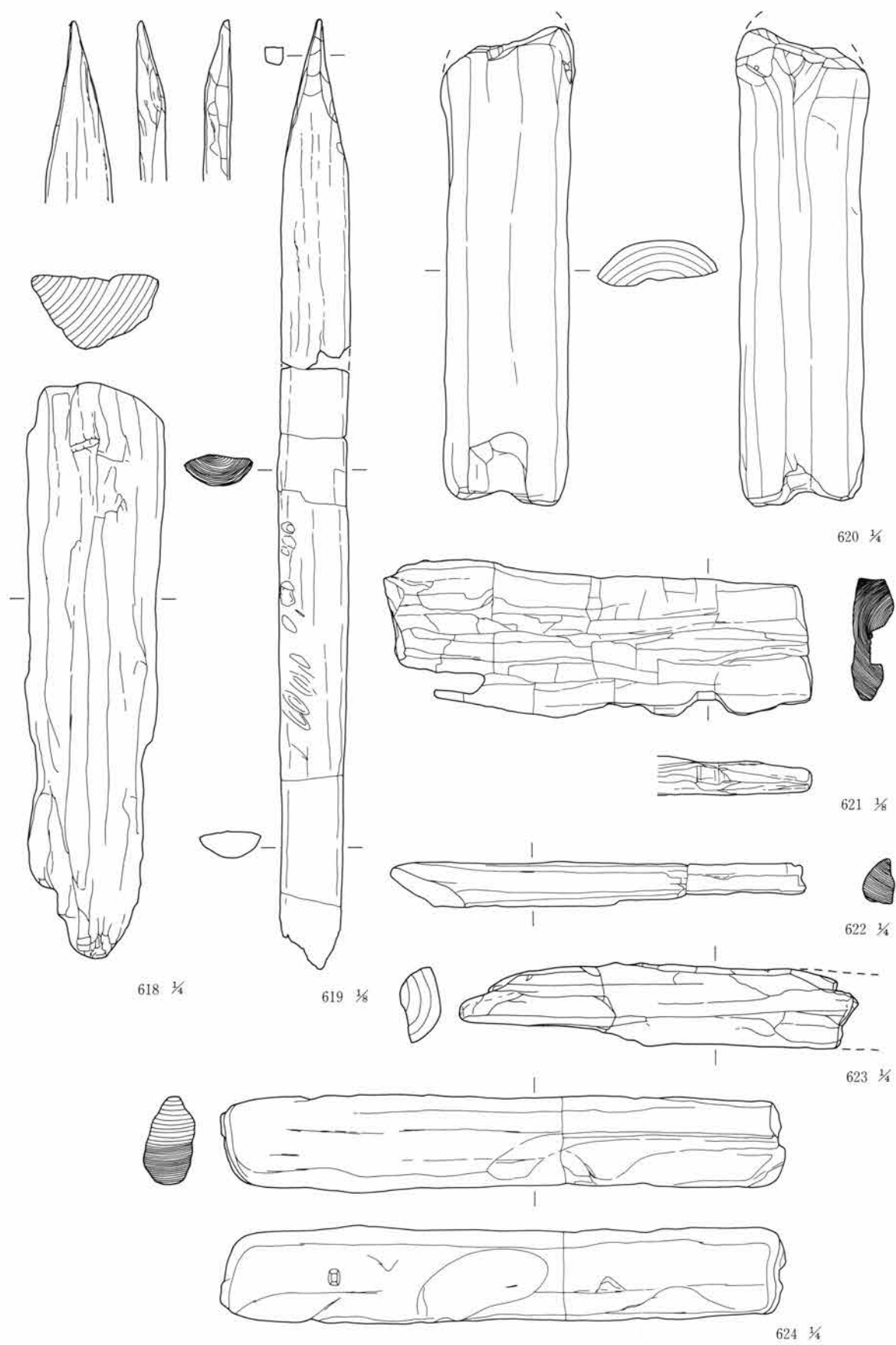
第87图 出土木器(87)



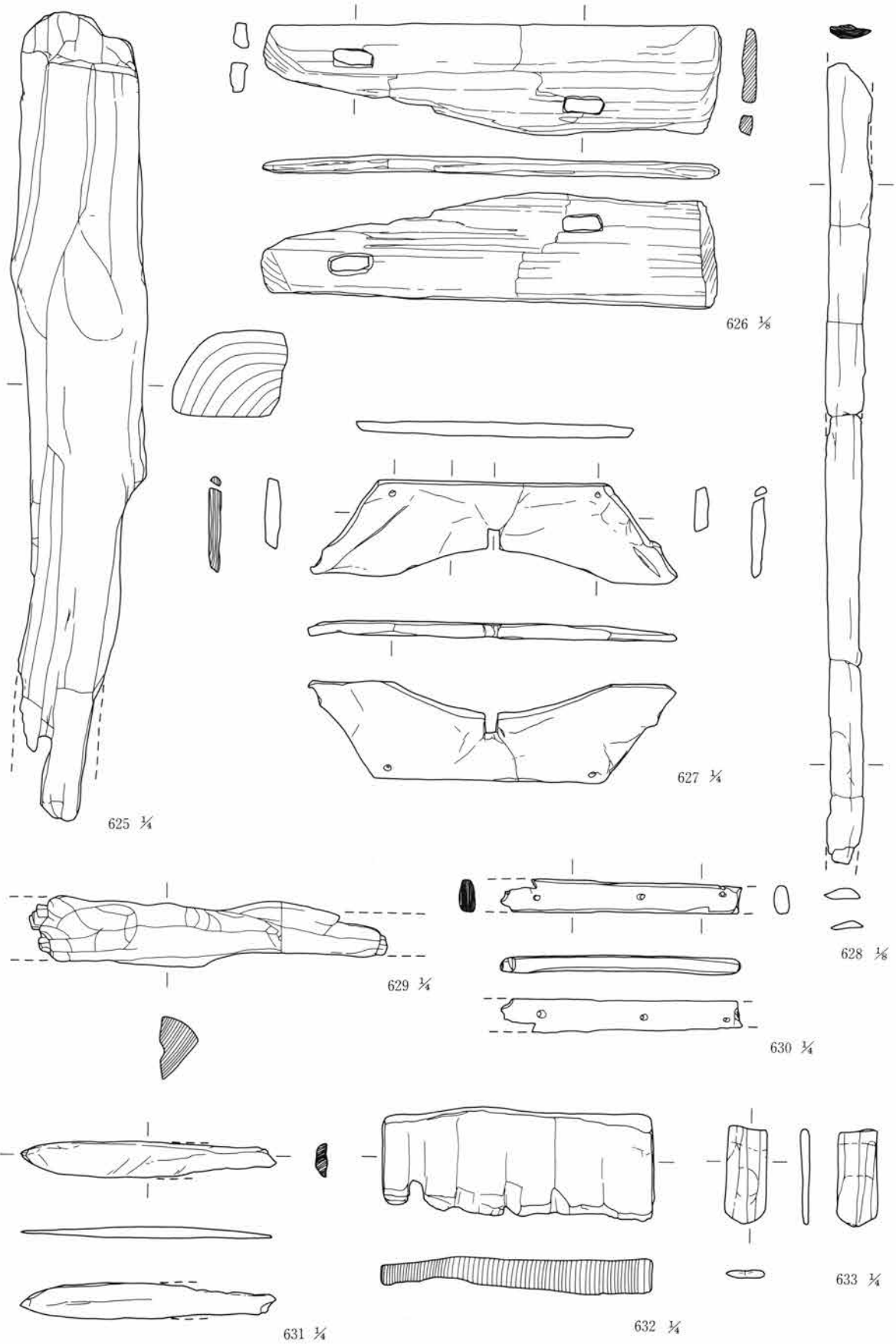
第88图 出土木器(88)



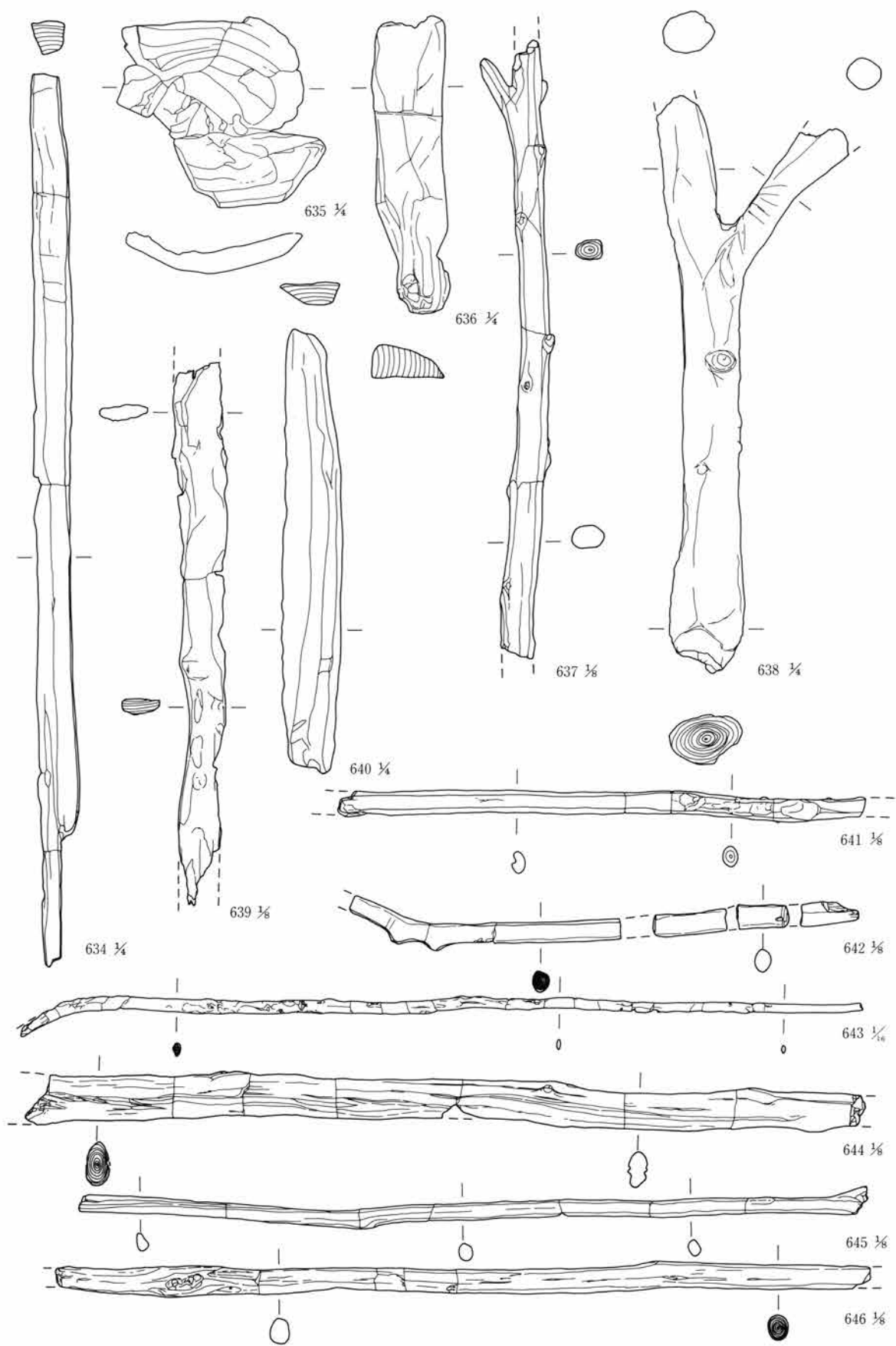
第89图 出土木器(89)



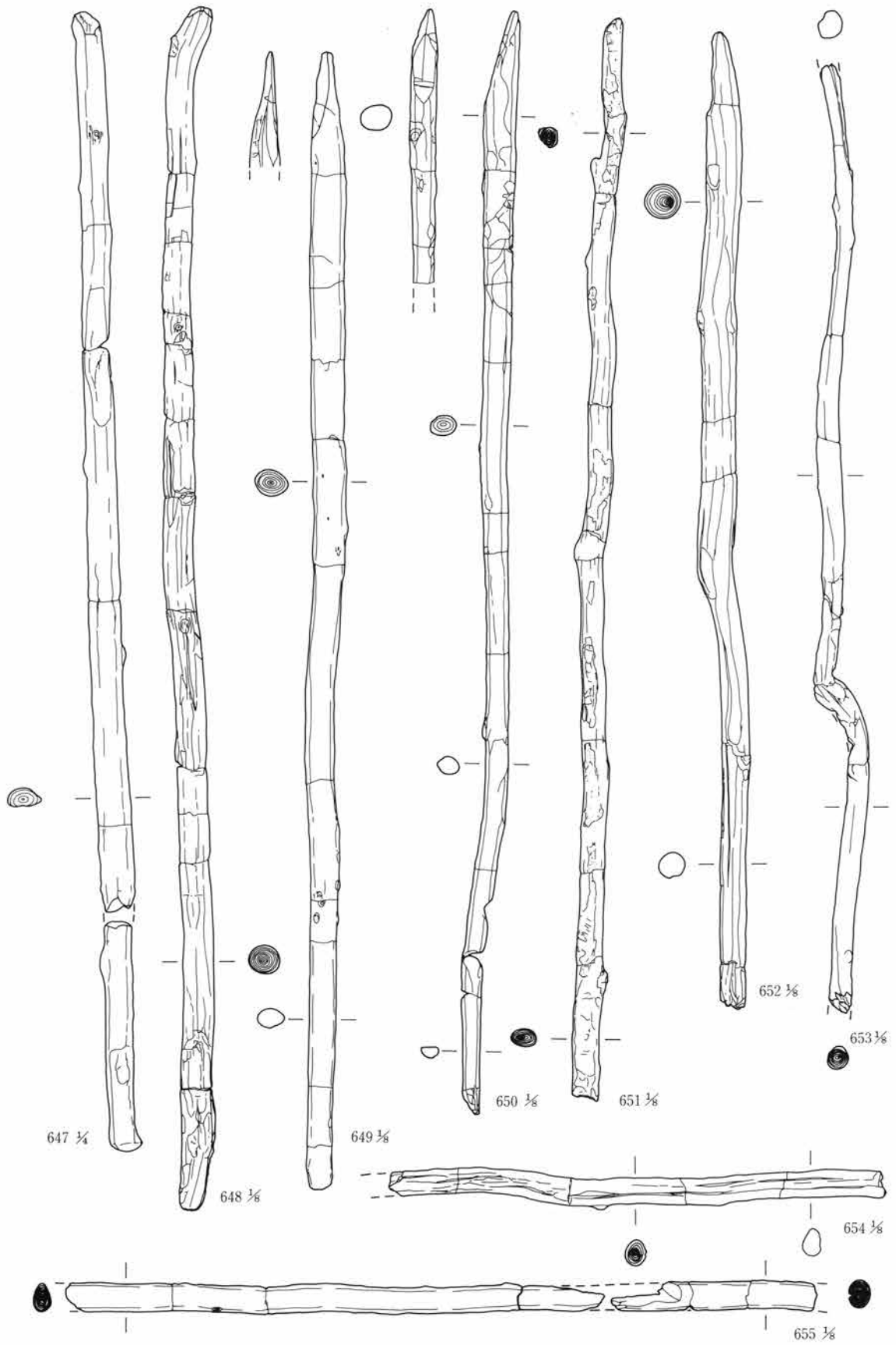
第90图 出土木器(90)



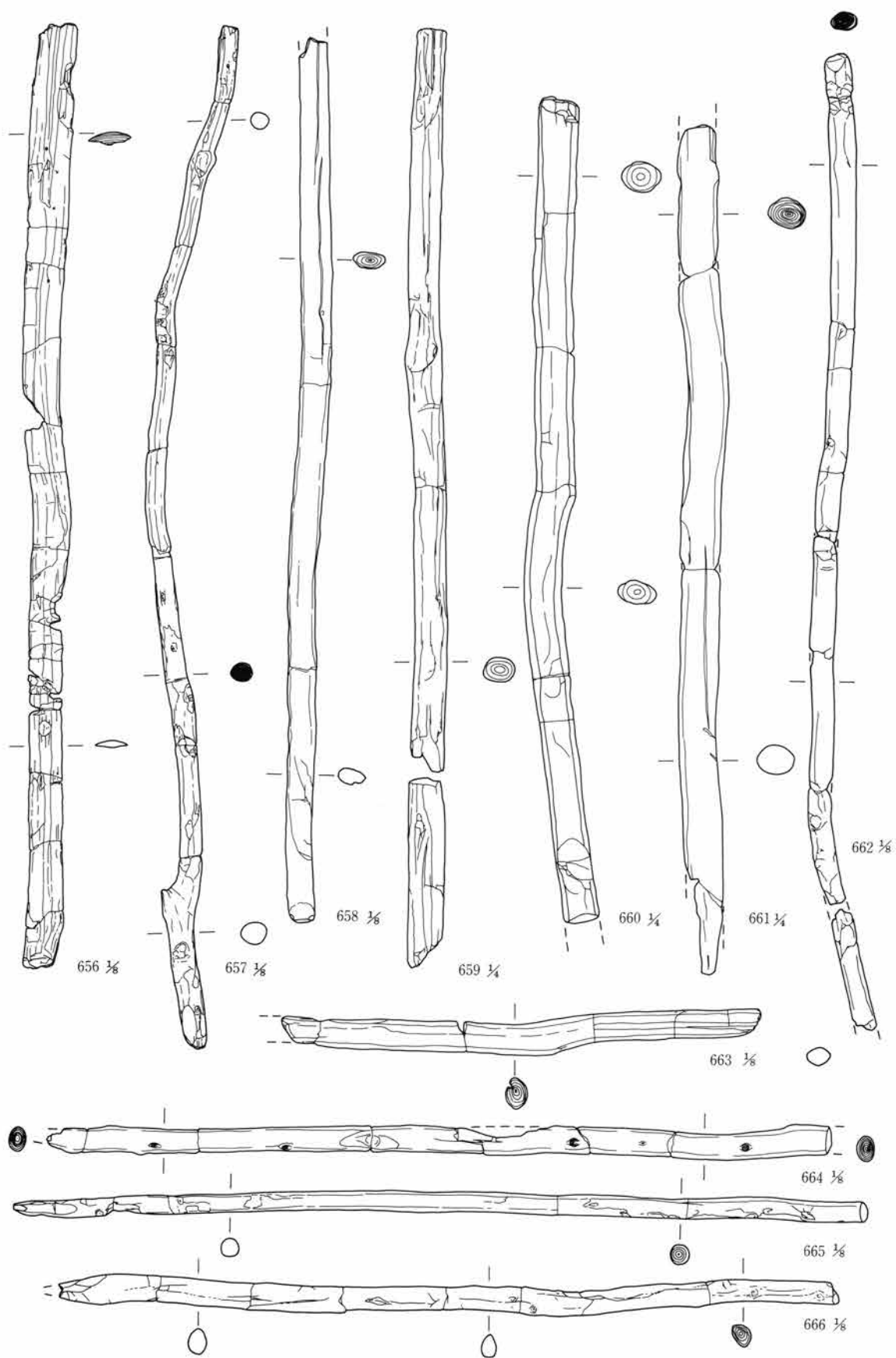
第91图 出土木器(91)



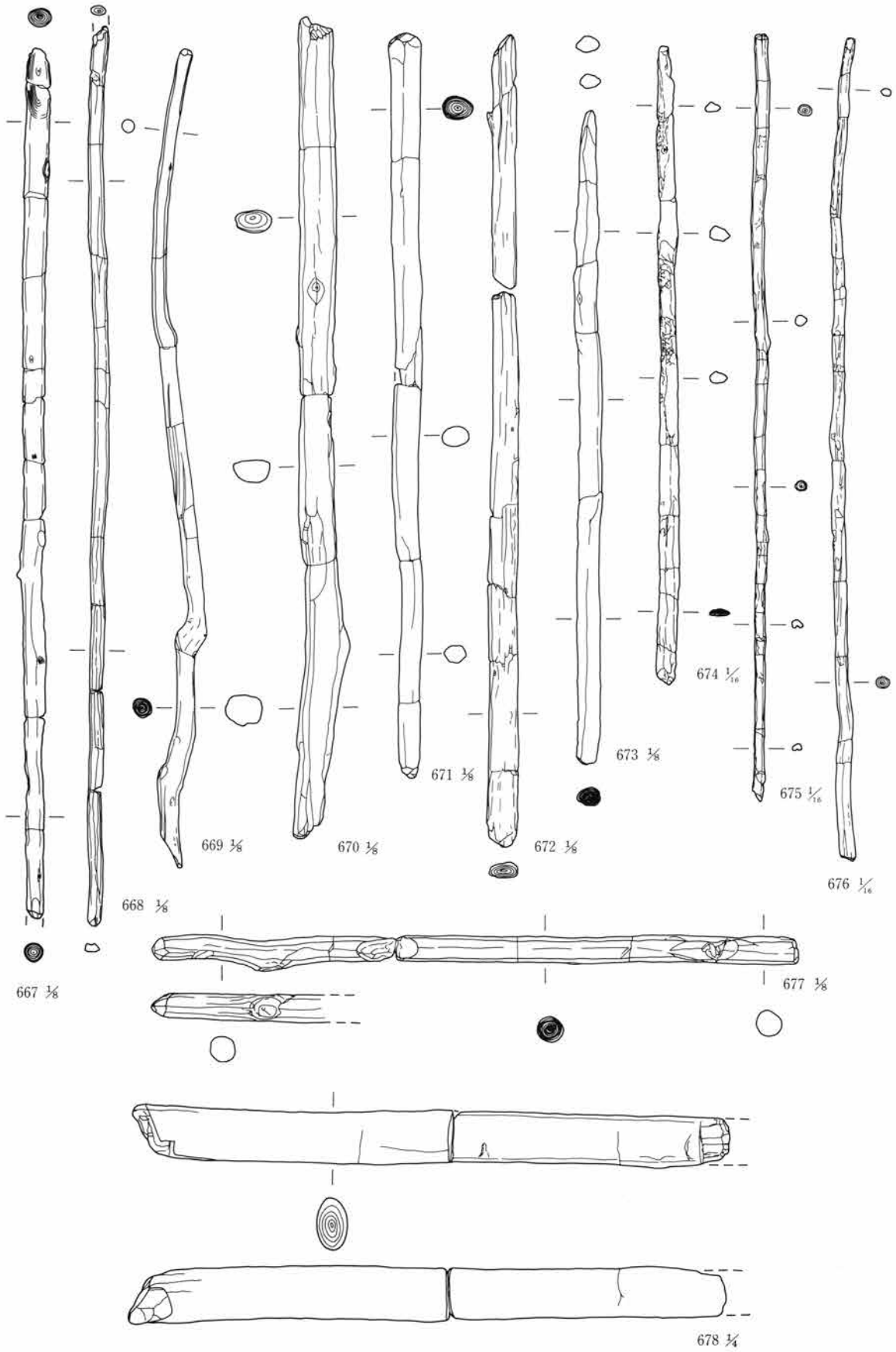
第92图 出土木器(92)



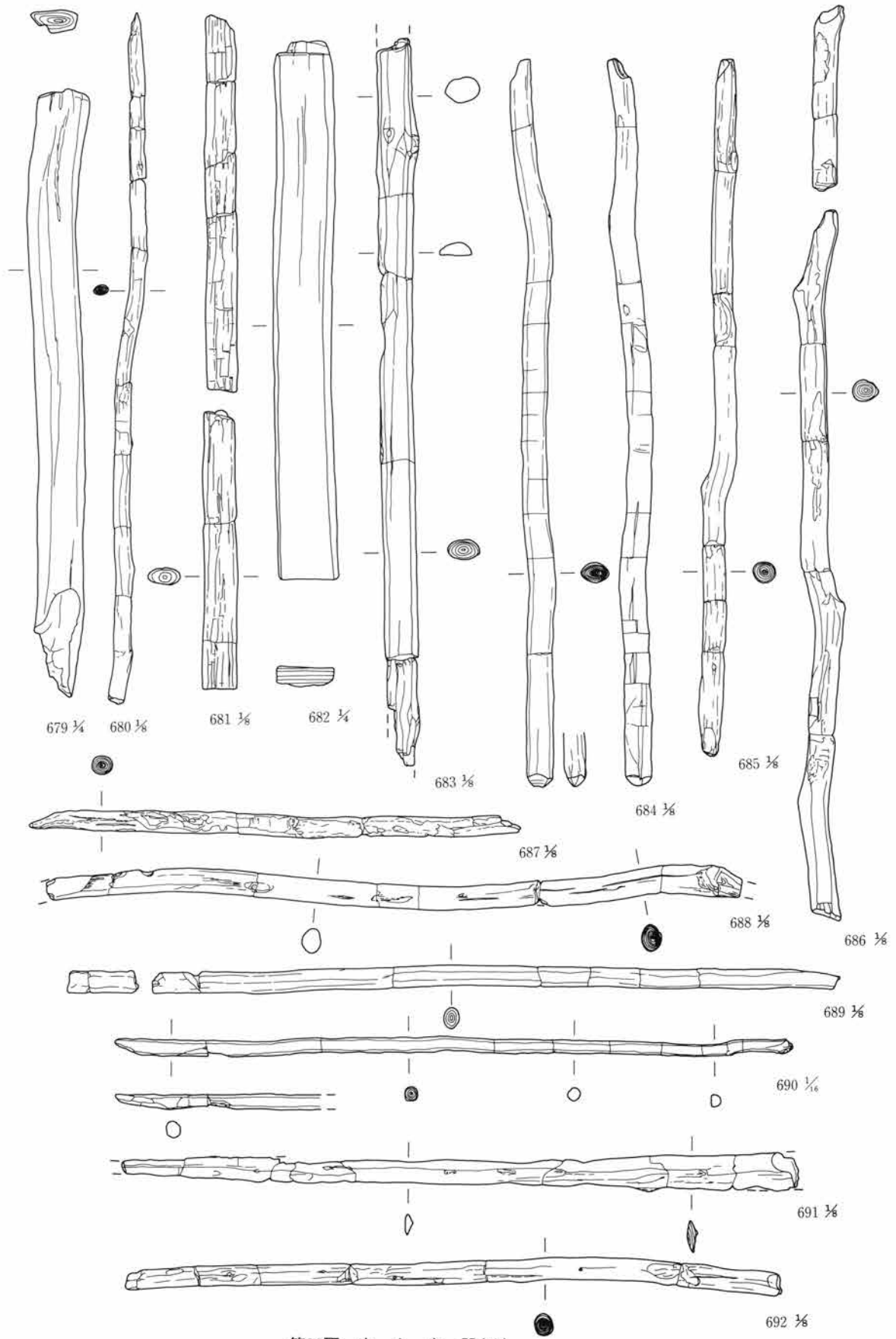
第93图 出土木器(93)



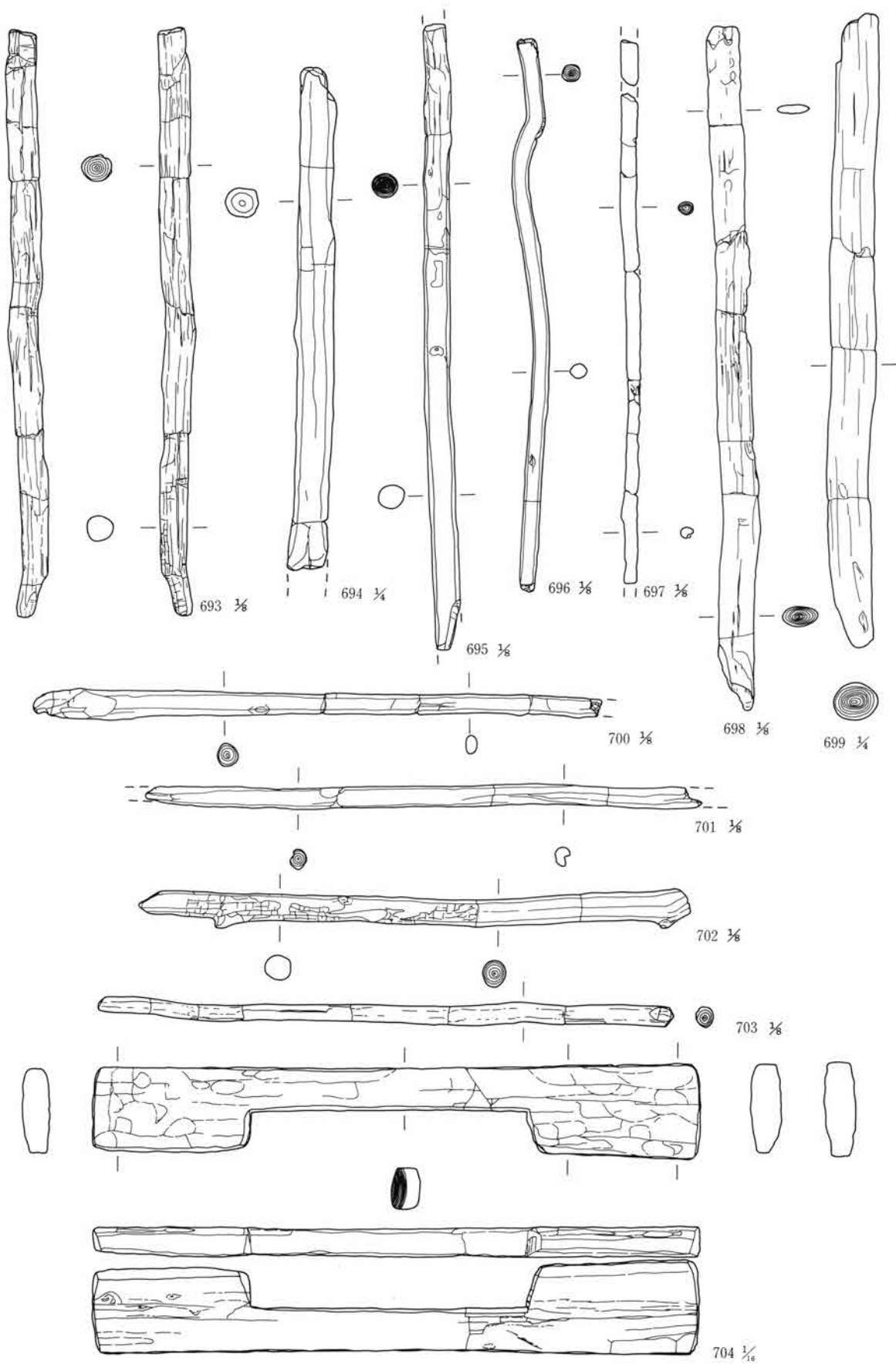
第94图 出土木器(94)



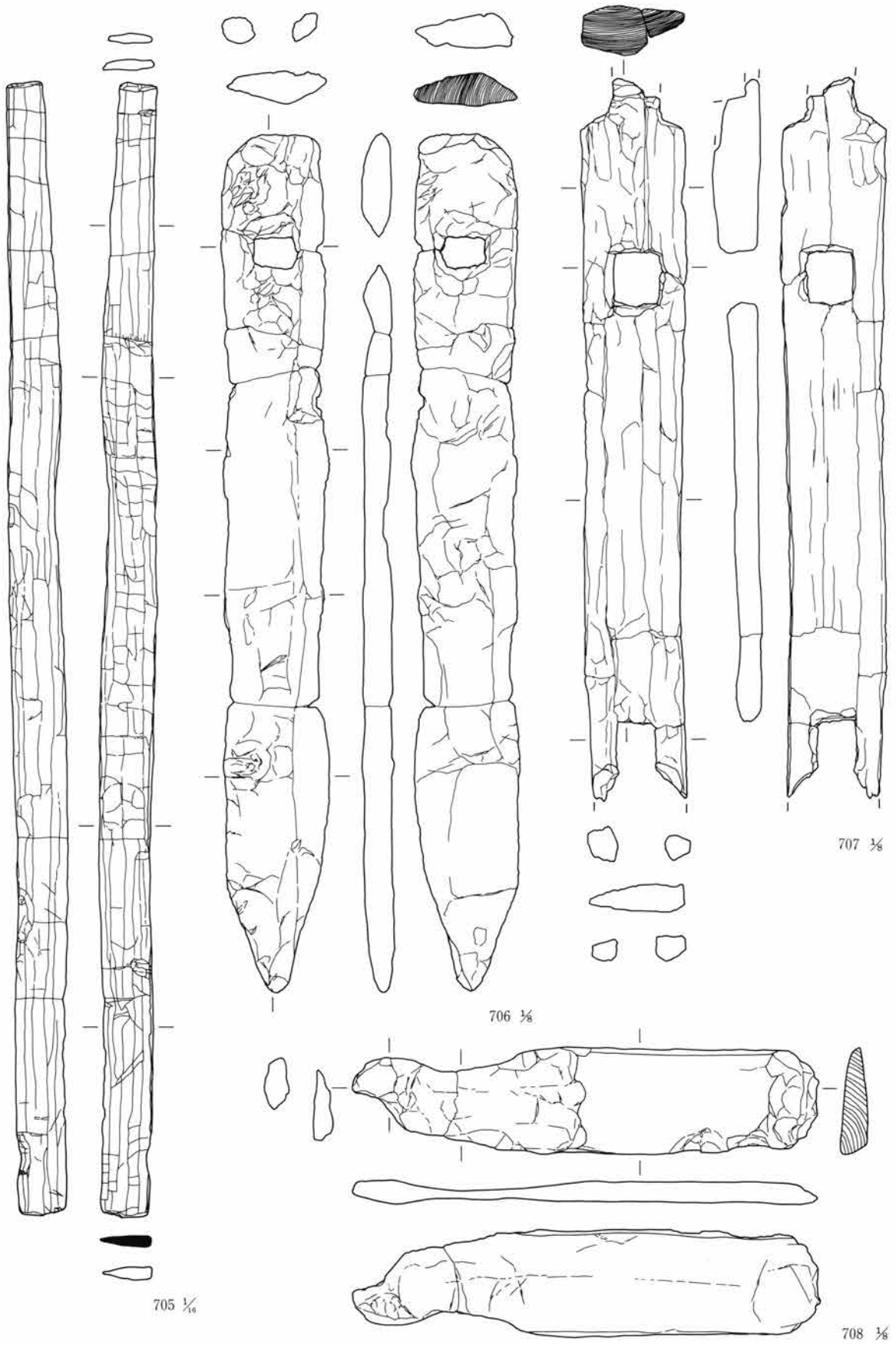
第95图 出土木器(95)



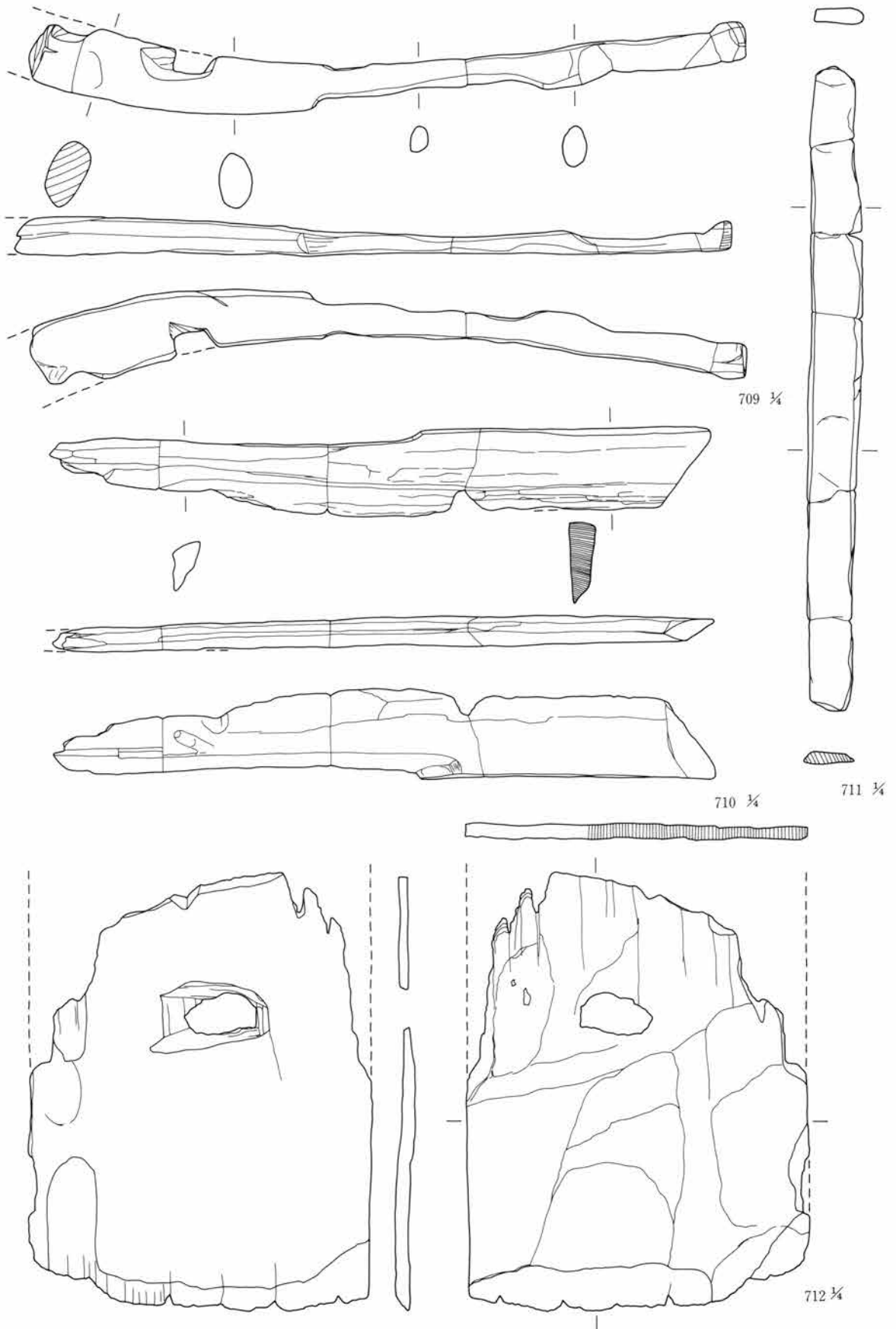
第96图 出土木器(96)



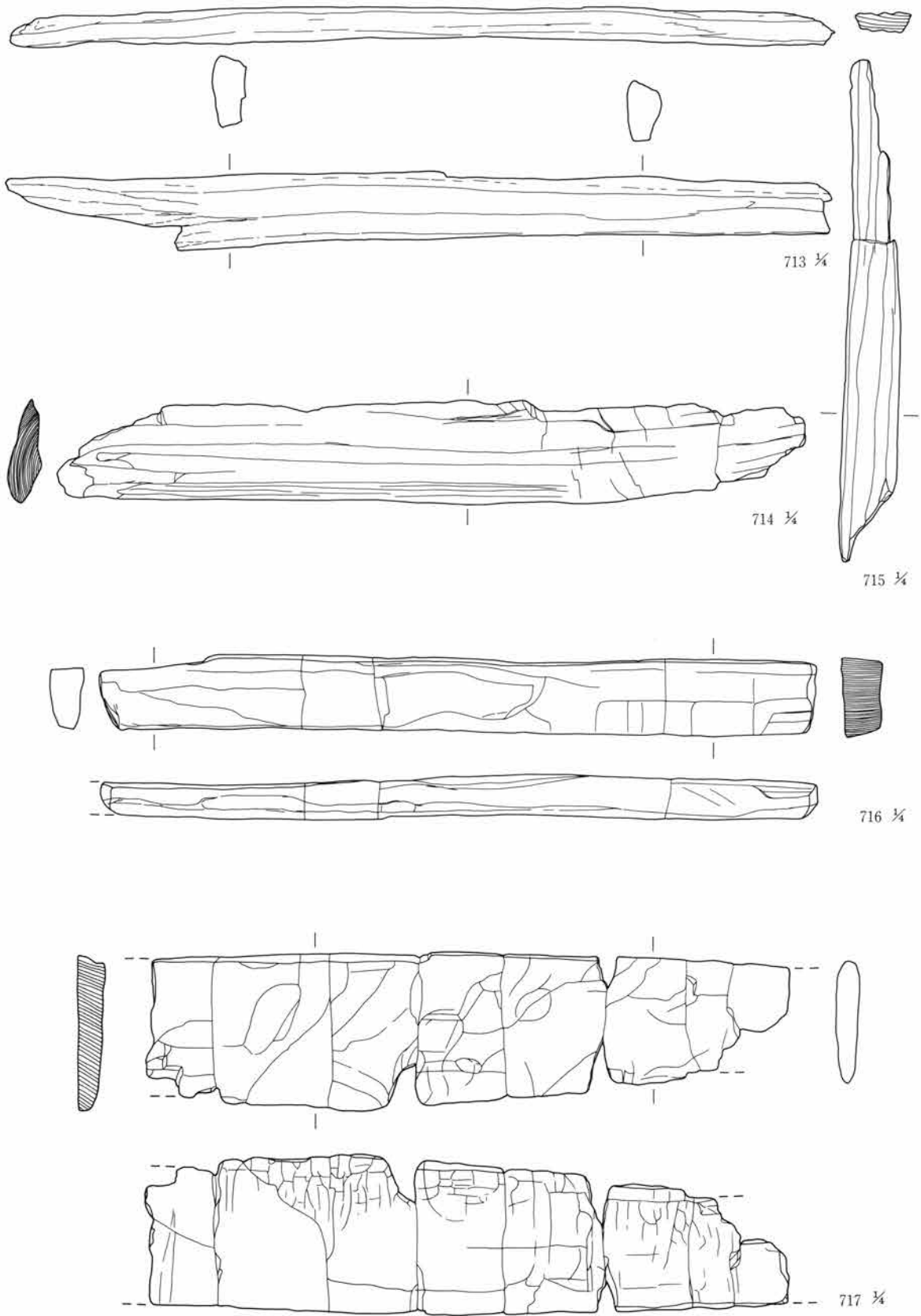
第97图 出土木器(97)



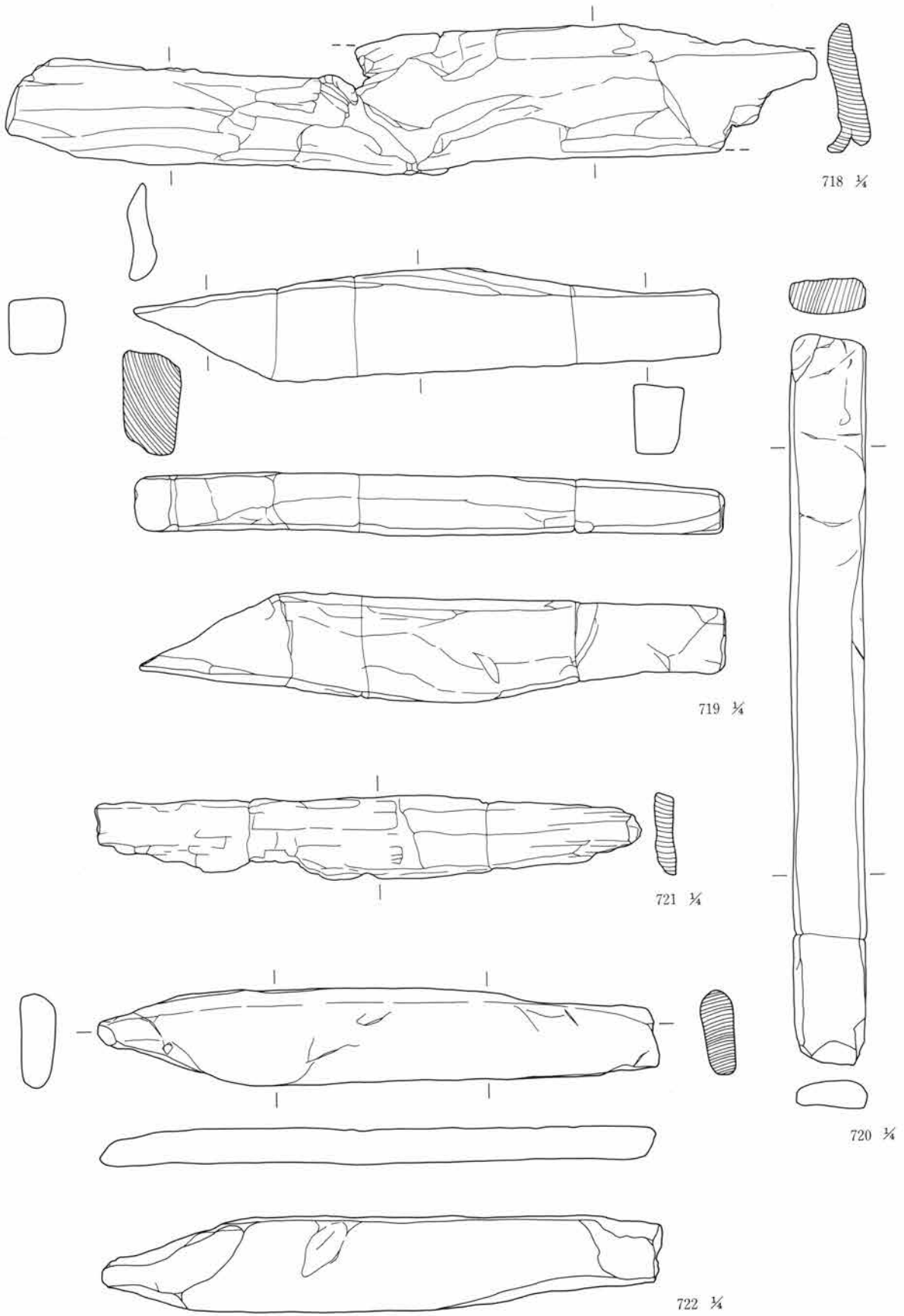
第98图 出土木器(98)



第99图 出土木器(99)

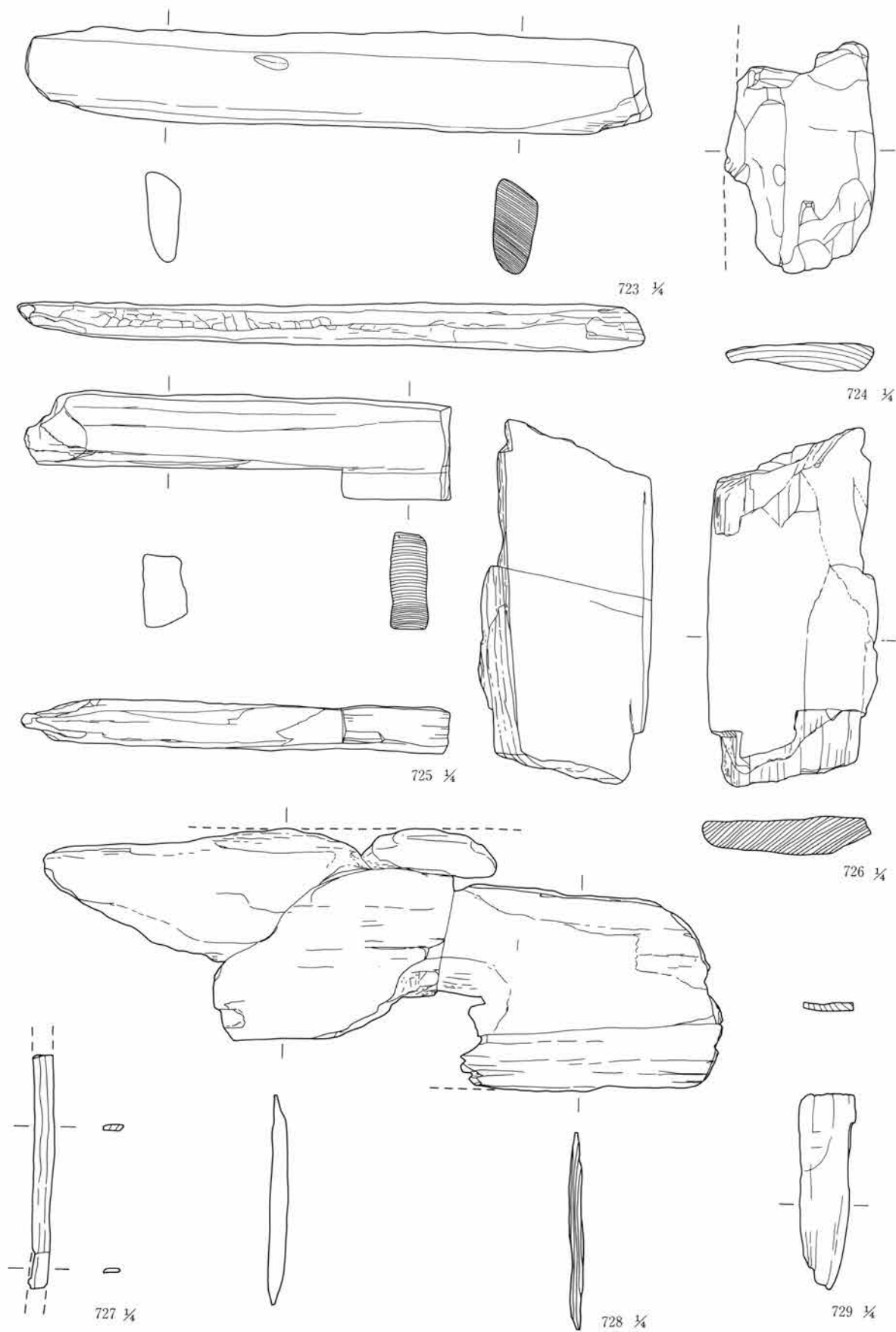


第100图 出土木器(100)

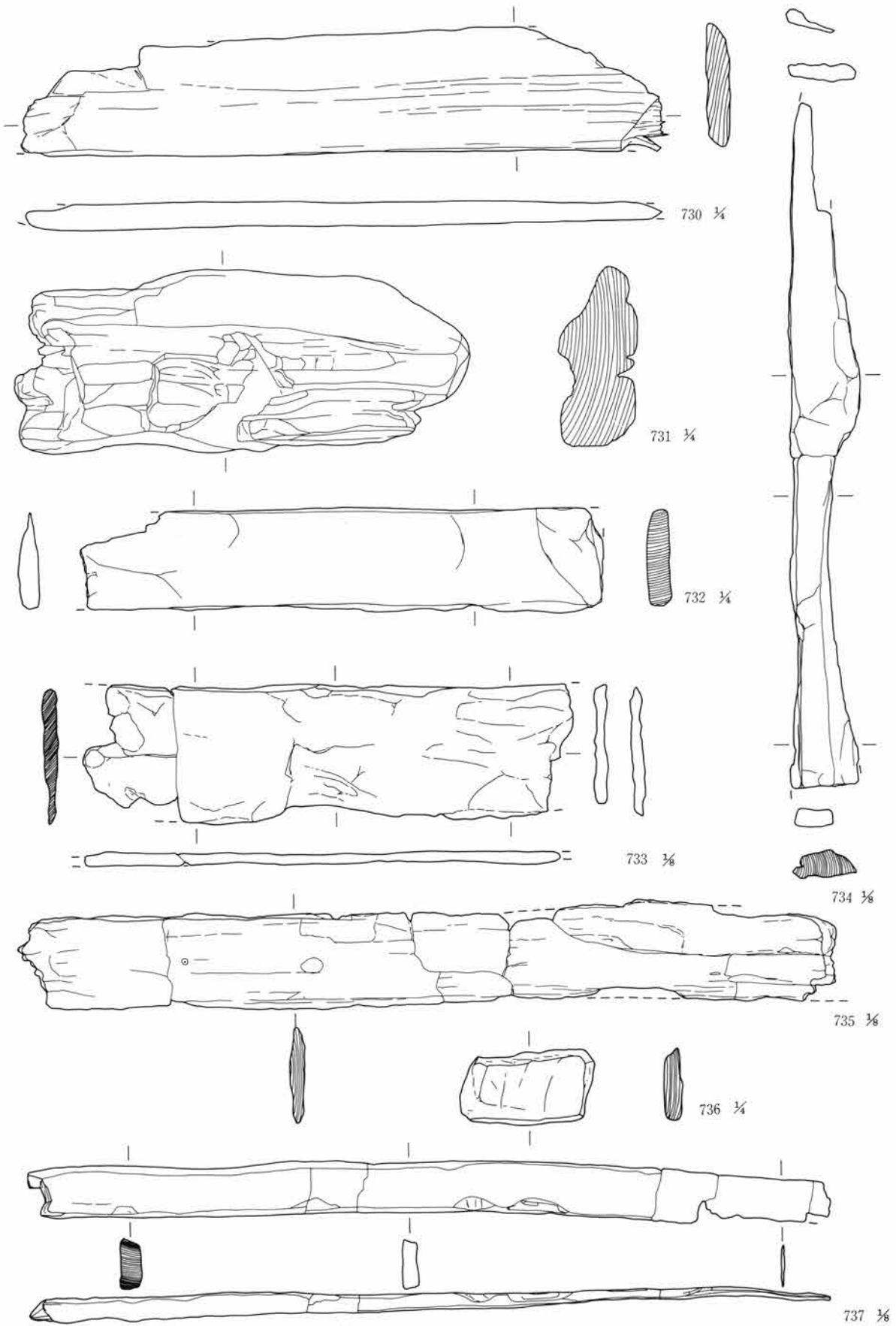


第101图 出土木器(101)

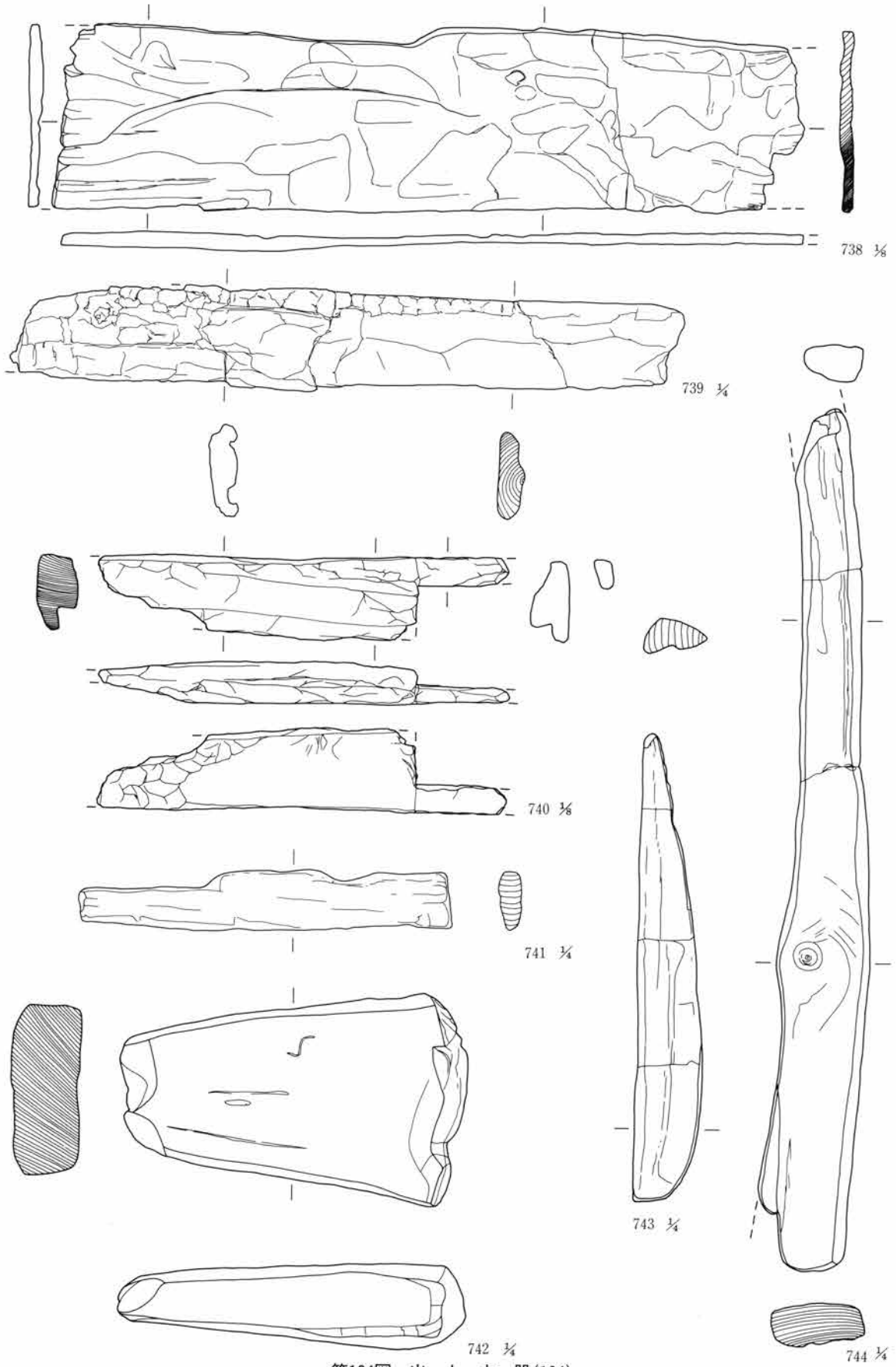
第1章 出土木器



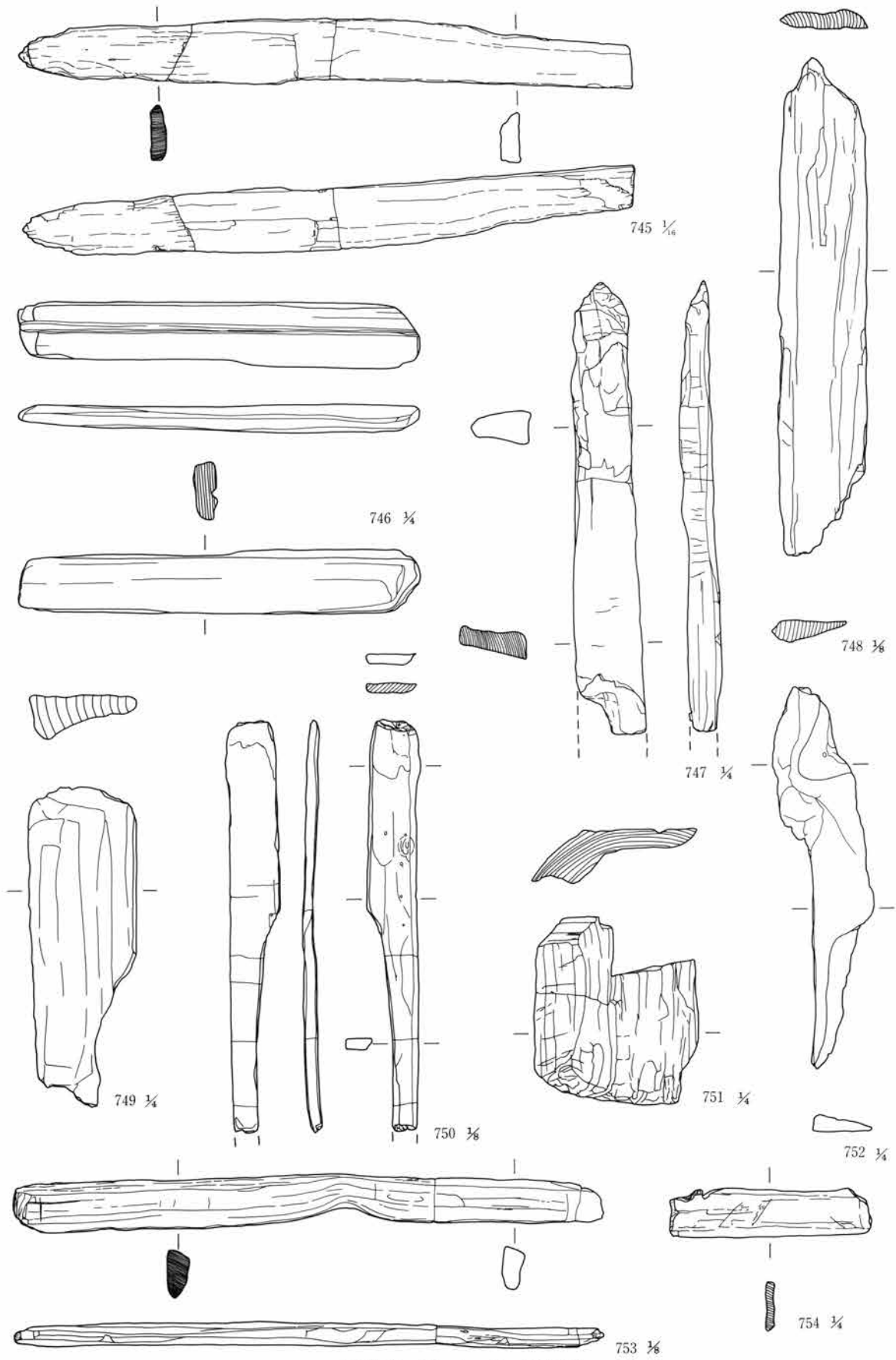
第102图 出土木器(102)



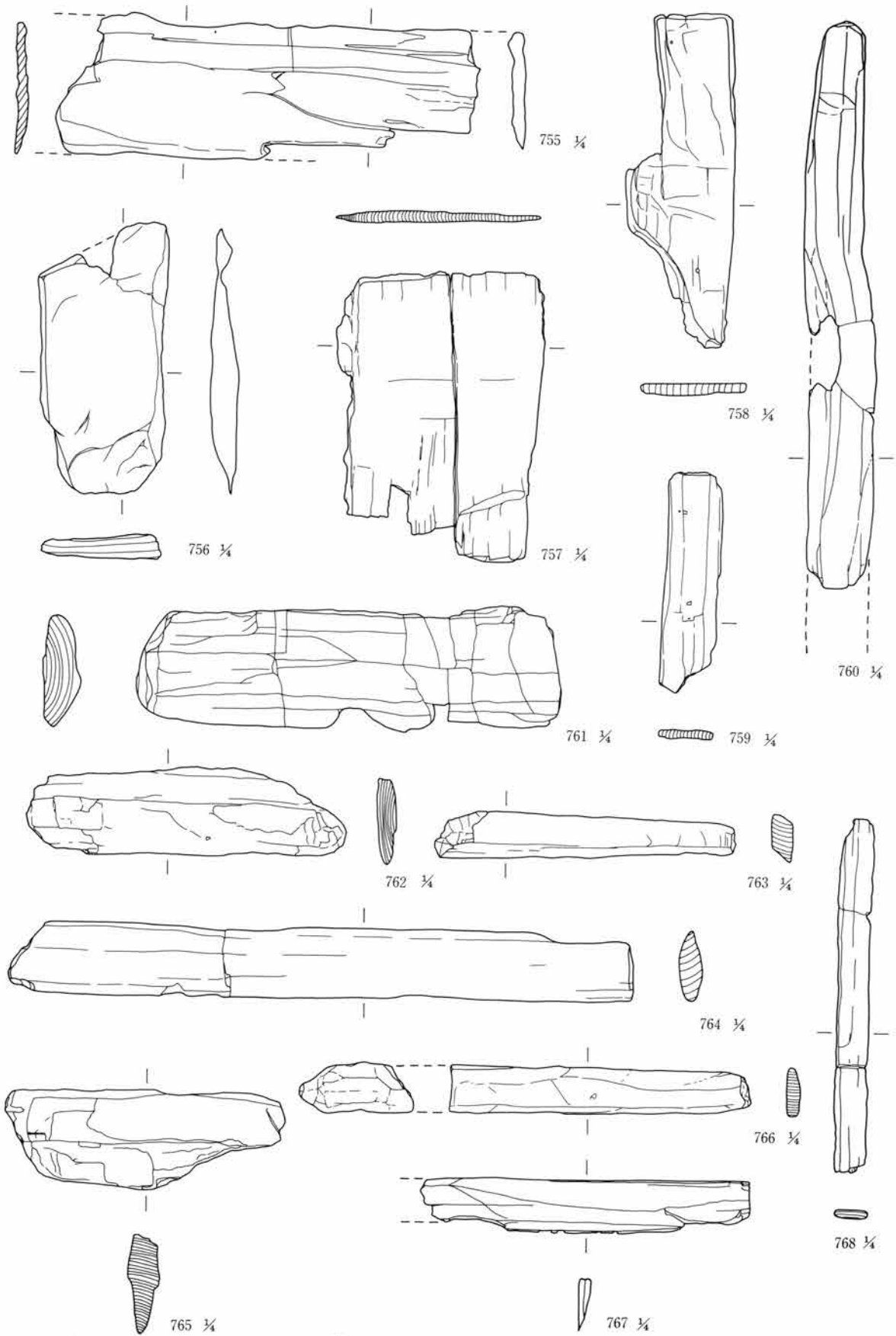
第103图 出土木器(103)



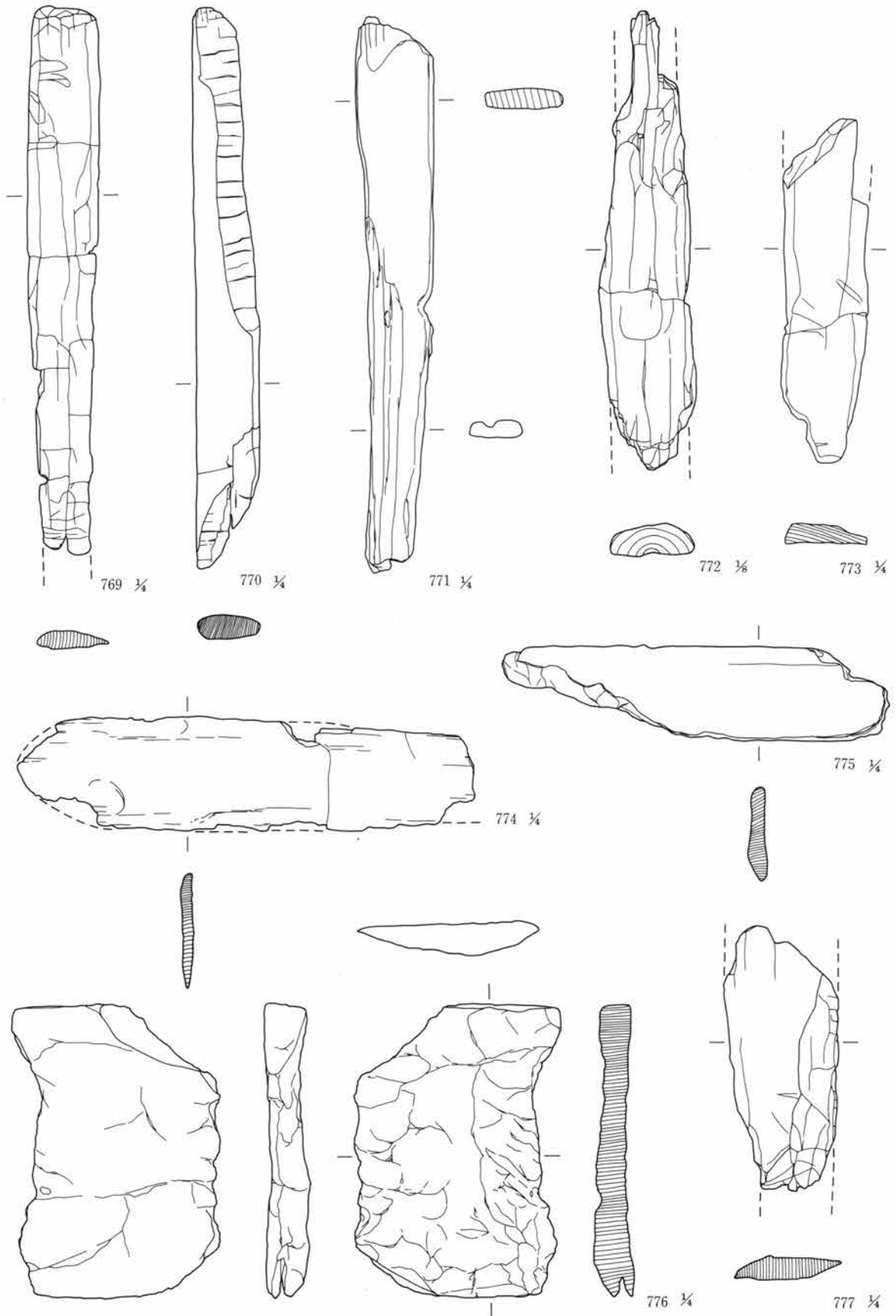
第104图 出土木器(104)



第105图 出土木器(105)

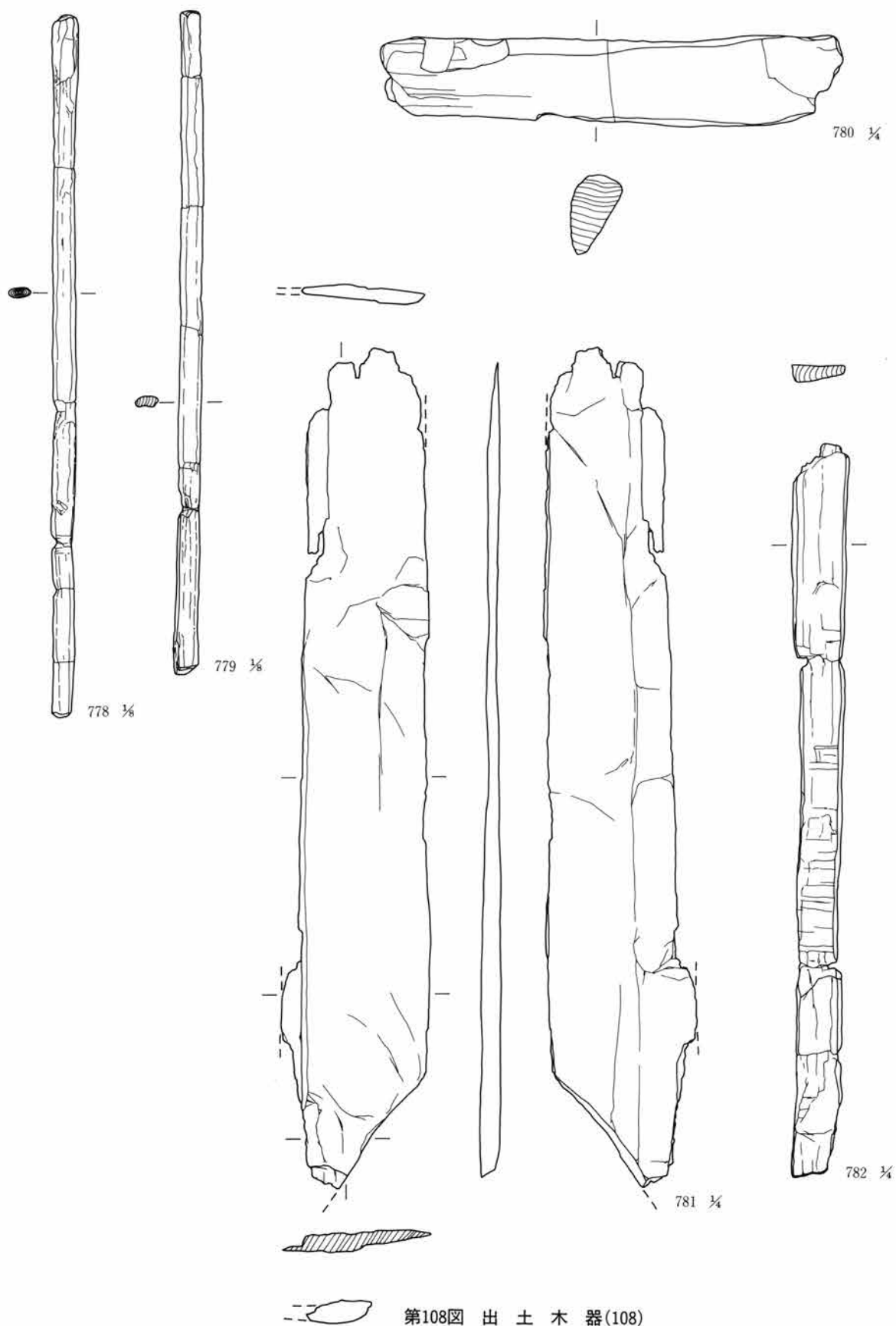


第106图 出土木器(106)



第107图 出土木器(107)

V区 5面出土木器



第108图 出土木器(108)

第2章 木器観察表

II区1面

番号	器種	出土位置	長さ×幅×厚さ(cm)	木取り種	遺存状態	加工形状の特徴
1	漆碗	II区1面 5号溝	器高2.7 口径9.5 高台 径5.5 器厚0.4 高台高 0.5+	柁目芯抜き	胴下半～底 部破片	轆轤整形。胴下半丸みを持ちやや深い。高台は器厚 と同じ厚みで下方に直線状に下がり端部欠損。内面 朱漆。外面黒漆。底部外面円弧内に笹籠胆の紋。 下地、仕上げ、漆共に上質。
2	漆碗	II区1面 4号溝	器高6.0+ 口径9.8+ 底径7.1 高台高3.0 器 厚0.7～1.0	柁目芯抜き	高台部～胴 部下半一部 残存	轆轤整形。胴部丸みを持ちやや深い。高台はハの字 に開き厚く木取りされ、端部は丸い。内外面黒漆。
3	漆碗	II区1面 2号溝	器高7.8? 口径12.0? 高台径? 器厚0.6～0.7 高台高0.6+	柁目芯抜き	口縁部～高 台部破片	轆轤整形。高台部丸みを持ち下方外に下がり、端部 欠損。内面朱漆。外面黒漆。
4	漆碗	II区1面 4号溝	器高4.0+ 口径12.0+ 底径6.0 高台高0.6+ 器高0.5～1.0	柁目芯抜き	口縁部欠損 全体的に摩 耗している	轆轤整形。胴部丸みを持ちやや深い。高台の開きは 弱く下方へ下がる。内外面黒漆。
5	丸棒	II区1面 4号溝	7.0×1.0	柁目	一部残存	片端部分割、逆端部折れ。10の桶の穴に入った状態 で検出。
6	桶	II区1面 4号井戸	径20.0×20.0×厚0.9	分割材 (柁目)		底板。円形。完形で残存。表裏両面状に平坦に加工。
7	桶・櫛	II区1面 4号井戸	径20.0×20.0×厚0.8(桶) 長6.8 (櫛)	底板(柁目)	一部残存	底板残存。表裏両面平坦に加工。 櫛一部残存 (……ASEIYO) 残存
8	曲物底板	II区1面 2号溝	26.1+×3.0×0.5	柁目	端部欠損	長方形をなし上端は斜めに削られ両側縁は直線をな し周縁は丸い。乙孔一對の綴じ目穴が3ヶ所にあり 桜の樹皮が通されている。中央部に長方形の凹みが ある。
9	曲物底板	II区1面 2号溝	36.1×12.7×0.7	柁目	完形	長楕円形をなし側縁と上下端部は直線的で角は丸く 削られ、周縁は丸みを持つ。外縁に3ヶ所、上下部 に1ヶ所づつ桜の皮による綴じ目穴がある。
10	桶	II区1面 4号井戸	28.0×5.7×1.7	平板		手桶の側板材。一枚だけ長く、端部に穴があり、穴 の中に小さな削りの入る丸棒が入った状態で出土し た。この丸棒にも小さな穴が認められた。
11	曲物底板	II区1面 2号溝	26.1+×3.0+×0.4	柁目	一部側縁部 残存、破片	全体形状不明。側縁部は直線で縁部は丸みを帯る。 綴じ目穴が3ヶ所に見られる。側縁部の一部が焼け ている。
12	板材	II区1面 10号井戸	23.5×2.5×1.0	分割材	一部欠損	断面四角形。表裏平坦に加工している。細端面も平 坦に加工。片側は欠損しており、残存端部に穴があ る。
13	桶	II区1面 4号井戸	37.5×4.5×0.9	平板	一部欠損	桶の側板。端板は一方向より削り、内外面加工。
14	用途不明	II区1面 4号溝	10.5×4.2×2.6	柁目	完形	両端部は鋸で切断。1側面に鋸痕があるが全面鉋仕 上。中央やや上位に小溝が全周し、溝の上位両側面 に径0.8の木釘穴が1孔づつある。中央下位には長さ 1.7、幅1.2、深さ0.5の組穴がある。
15	曲物底蓋	II区1面 2号溝	18.5+×8.5+0.3～0.7	柁目	端部一部残 存	全体形状不明。側面と上端は直線的に削られ、角部 は弧をなし、端部は丸く仕上げられている。側縁に 沿って3ヶ所に綴じ目穴があり、一部に桜の樹皮が綴 じられ残存している。
16	薄細板	II区1面 10号井戸	26.5×23.0×0.6	平板	一部欠損	断面四角形できれいに平坦面を持つ。両端ははずに 横断面L状に削り目が入る。片側には削りのL部の 先端に目釘穴が残る。
17	楔	II区1面 4号溝	12.0×8.6×2.9	柁目	完形	板材を転用。先端部は片刃状に仕上げられ、上端部 には組み穴の段が残り、端部は二段に切断されてい る。
18	建築材	II区1面 10号井戸	93.0×15.0×14.0	丸木	片側欠損	丸木状。片側は欠損。反対の端部は一部のみ平坦に 削りが入る。外面は粗く削りが入る。
19	建築材	II区1面 10号井戸	105.0×9.5×10.0	丸木	片側欠損	丸木。ほぼまっすぐで、片面は平坦面をなし、削ら れている。外面はきれいに加工されている。

第2章 木器観察表

II区3・4面

番号	器種	出土位置	長さ×幅×厚さ(cm)	木取り種	遺存状態	加工形状の特徴
20	三股鋏	II区3・4面 13号溝	16.1+×10.8×1.1	柾目	固定部上端と刃部先端欠損	固定部と鋏身とも裏面は平坦に表面は丸みを持って作られている小型の製品である。固定部から鋏身移行に小さい段を持ち、鋏右外縁は丸みを持って、左外縁は直線的となっている。鋏身から股部にかけてしだいに幅狭となり、股部は三角形に直線的に切り込まれ鋸歯状を呈する。
21	容器?	II区3・4面 13号溝	23.4+×16.7+×3.0	横木くりぬき	約1/4残存	長円形をなす大皿状の容器の破片と考えられ、表裏面とも磨耗著しい。底部は緩やかな丸みを持ち、内面も皿状に浅く凹んでいる。
22	板 (二股鋏)	II区4面 11号溝	18.5+×4.6+×0.9+	柾目	小破片	磨耗著しく形状不明。薄板状を呈すが二股鋏の先端の破片の可能性もある。
23	飾り弓	II区3面 C直上	18.8×2.3×2.5	丸木	片側欠損	一木状、片側は欠損、残存端部には桜の樹皮のひもを巻きつけ痕残る。樹皮の外側はやや太さが細くなる。丸木、外面に黒漆。
24	杭	II区3・4面 12号溝	16.5+×7.0×5.5	芯棒	完形	断面は楕円形で、先端部は多方向から細かく削られ鈍角である。また、上端部は直角に切断されている。
25	曲物	II区3面 8号井戸	11.2×5.5×0.5		一部残存	底板と、外周部一部残存。底板両面ともに平坦に加工、胴部曲線に一部残存。内外面きれいに加工。
26	曲物	〃	13.8×6.8×0.5		〃	25と同一個体の可能性が高い。内外面同じ様に加工。端部に接合用樹皮残存。
27	角棒	II区3・4面 13号溝	30.2×3.9×2.4	柾目	側面一部欠損	断面長方形で4側面共平滑に仕上げられ、両端部は直角に切断されている。
28	杭	II区4面 13号溝	73.4×5.8×4.0	分割材	先端部欠損	断面台形で、側面は磨耗が著しいが、一部に工具施しが見える。上端部は直角に切断されている。
29	板	II区3・4面 13号溝	24.3+×6.8×0.5	柾目	両端部欠損	薄板材。表面はやや磨耗し、裏面は平滑な仕上げとなっている。両側面は磨耗している。
30	杭 (建築材転用)	II区4面 11号溝	73.0×8.9×5.0	分割材 (柾目)	一部欠損	建築材転用。両端部平坦に削られる。凹凸あり。中央部四角形の孤納穴?がある。
31	板	II区3・4面 3号溝	20.5+×6.0×0.9	柾目	両端部欠損 破片	分割材で工具痕は見られない。表面は磨耗が著しく平らとなっている。両側面は斜めに丸く仕上げられている。
32	板状舟?	II区4面 13号溝	69.0×3.5×4.0	分割材 (柾目)	一部欠損	平板状。片側曲線状に削り、表裏両面削り、加工痕がある。共に平坦状をなす。
33	角材	II区4面 11号溝	157.5×4.7×4.8	分割材 (柾目)	一部欠損	断面四角形に四面平坦に削り、部分的に太い細いがあり、加工痕も全面にわたっていない。両端部にははすにない片半分だけL状に削りが施され、建築部材の可能性はある。
34	板状	II区4面 11号溝	50.5×11.5×2.5	分割材 (柾目)	一部欠損	平板材。端部片側は削り、断面は凹凸状をなす。表裏は、片面は平らに加工され、片面には一部平坦に加工されるが他は凹面のままである。
35	杭 (建築材転用)	II区4面 11号溝	52.0×7.5×5.3	分割材 (柾目)	一部欠損	建築材の転用。先端部四方を削られ鋭角をなす。組み合わせ状に加工痕あり。

III区1面

番号	器種	出土位置	長さ×幅×厚さ(cm)	木取り種	遺存状態	加工形状の特徴
36	桶の底	III区1面	25.5×24.0×2.0	柾目	一部欠損	表裏両面平坦に調整。縁は角を丸く調整。

III区3・4面(FB下水田面)

番号	器種	出土位置	長さ×幅×厚さ(cm)	木取り種	遺存状態	加工形状の特徴
37	飾り弓 黒漆塗り	III区FA 水田下	93.6×径3.0	3分割	一部残存	断面楕円形に調整し、外面漆塗り、外面に斜格子状に刷毛目状の模様。
38	弓	III区FA 水田下	83.5×2.0×1.0	6分割 柾目	一部欠損	断面楕円形に外周調整。片端部折れ、逆端部先端に柄。

第2章 木器観察表

番号	器種	出土位置	長さ×幅×厚さ(cm)	木取り種	遺存状態	加工形状の特徴
39	弓?	Ⅲ区FA 水田下	22.3×1.1×0.6		一部欠損	外周平滑に削り調整。片端部折れ、逆端部出柄状に斜めに削り出す。
40	丸棒弓?	Ⅲ区FA 水田下	80.0×2.4×0.5	柾目	一部残存	一部残存外周に削り痕あり、片端部は折れ、逆端部えぐり入る。
41	弓	Ⅲ区FA 水田下	36.2×2.5×1.8	丸木	一部残存	内側部を削り曲線状に調整。左先端部裂け、右先端部は柄、握り部には外側から目渡穴。
42	弓	Ⅲ区FA 水田下	41.1×2.2×0.9	三分割	一部残存	断面レンズ状に外周を調整。片側先端部折れ、片側先端部細くなり出柄。
43	弓	Ⅲ区FA 水田下	36.5×2.0×1.1	4分割 柾目	一部残存	断面楕円形に外周平滑に調整。片端部折れ、逆端部先端鈍角に削り出す。
44	弓?	Ⅲ区FA 水田下	30.9×2.0×0.6	柾目	一部残存	表裏平坦に薄く調整。片端部折れ、逆端部相欠き状に片面方向より入る。組板材の可能性もある。
45	矢	Ⅲ区FA 水田下	26.7×1.0	柾目	先端部残存	やや歪み外周平滑に調整。片端部折れ、先端部多方向から丁寧な削り調整。
46	舟型容器 盆	Ⅲ区FA 水田下	15.5×3.4×1.5	2分割	一部残存	曲線状に平滑に削り調整。縁部は丸く調整、内側に削り痕残る。
47	舟型容器	Ⅲ区FA 水田下	112.8×21.2×7.2	5分割+1 柾目	一部欠損	平坦な板を上面から削りを入れ、滑らかに調整。両端部は裏面側一方向からの削り調整。
48	舟型容器	Ⅲ区FA 水田下	68.0×18.3×5.0	2分割 横木	一部残存	舟型を呈する。中央部は薄く縁はやや厚い。滑らかに調整。把手部は突起状に角をとり調整。
49	舟型容器	Ⅲ区FA 水田下	31.0×22.7×2.2	5分割 柾目	一部欠損	底部に向かい低く表裏両面滑らかに調整。両把手部は直線状に表裏両面から短く削り調整。縁は丸く調整。
50	舟型容器	Ⅲ区FA 水田下	34.0×16.0×4.0	分割材 柾目	一部欠損	中央部に向かい低く削り調整。両端部把手状に削り調整。端部は外へ向かい薄く反る。縁は角をもたず削り調整。
51	舟型容器	Ⅲ区FA 水田下	35.5×21.5×4.3	横木材	底部欠損	舟型状に中心部に傾斜し、面はきれいに調整。両端部は把手状に断面三角形に調整。
52	皿	Ⅲ区FA 水田下	26.2×17.5×2.9	分割材 柾目	一部残存	楕円形状。中央に向かい低く平滑に削り、縁は楕円形状に調整。裏面突起が残る。
53	鎌二股?	Ⅲ区FA 水田下	39.6×5.6×0.8	2分割	一部残存	薄く表裏両面平坦に調整。細長楕円形に調整。細端部折れ。逆端部先端内面方向からの削り調整。
54	二股鎌	Ⅲ区FA 水田下	45.0×7.0×1.2	柾目	鎌先端残存	表裏両面平坦に調整。弱く曲線を描き整形。外周端部削り調整。
55	なすび型 鎌	Ⅲ区FA 水田下	43.3×8.3×1.9	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。外形は曲線を描き先端部表裏両面より短く削り調整。縁部は丸く調整してある。
56	二股鎌	Ⅲ区FA 水田下	12.5×5.5×0.8	分割材 柾目	先端部残存	先端部曲線状に加工。断面薄く表裏平坦に加工。
57	なすび型 鎌	Ⅲ区FA 水田下	32.7×4.8×1.2	分割材 柾目	片歯残存	先端曲線状に調整。表裏両面薄く平坦に調整。
58	なすび型 鎌先	Ⅲ区FA 水田下	51.5×13.7×1.8	柾目	一部欠損	なすび型を呈す。表裏平坦に調整。先端部表裏両面から短く削り。縁は角を丸く調整。基部折れ。
59	鎌	Ⅲ区FA 水田下	27.2×7.4×1.2	分割材 柾目	欠残存	基から先端へ向け曲線をもち調整。基部には外側へ向かい傾斜し穴貫通する。柄の装着の穴。
60	なすび型 鎌	Ⅲ区FA 水田下	32.9×4.8×1.2	6分割 柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。左側部に柄穴。目釘穴。柄穴の下側は欠損している。
61	二股鎌	Ⅲ区FA 水田下	37.8×7.0×0.7	柾目	一部残存	薄く表裏両面平坦に調整。先端部丸く片面側から削り調整。基部斜めに片面側から削り調整。
62	鎌	Ⅲ区FA 水田下	34.5×6.9×1.2	分割材 柾目	一部残存	二股鎌の片歯と思われ、先端は曲線状に加工され基部内側も曲線をなす。厚みは薄く表裏両面ともに平坦に加工されている。
63	二股鎌 片面	Ⅲ区FA 水田下	46.0×6.3×1.2	分割材 柾目	片面残存	曲線に成形。調整。表裏平坦に調整。
64	鎌?	Ⅲ区FA 水田下	52.2×6.8×1.7	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。基部欠損。先端部一方向よりの削り調整。
65	なすび型 鎌	Ⅲ区FA 水田下	50.8×5.2×1.6	柾目	一部残存	表裏両面凹凸面を持ち削り調整。両端部短く両面からの削り調整。
66	二股鎌 片面	Ⅲ区FA 水田下	57.6×6.1×1.0	分割材 柾目	片面残存	表裏平坦に調整。曲線状に整形、二股鎌の片面。

第2章 木器観察表

番号	器種	出土位置	長さ×幅×厚さ(cm)	木取り種	遺存状態	加工形状の特徴
67	横鋏	Ⅲ区F A 水田下	46.3×11.4	2分割 柁目	一部欠損	表裏両面平坦に調整。両端部は表裏両面側から短く削り調整。中央部片面側に突起部を持ち貫穴装着部と思われる。縁部は角を丸く調整。
68	横鋏	Ⅲ区F A 水田下	41.3×5.6×0.9	5分割 柁目	約1/2残存	表裏両面平坦に調整。両端部表裏両面から短く削り調整。中央部装着穴と思われる穴半分は割れている。
69	横鋏柄付	Ⅲ区F A 水田下	25.2×10.0×2.5	柁目	一部残存	表裏両端凹凸を持ち調整。中央部に突起がありその中央に貫穴。貫穴に柄がささって検出。
70	横鋏	Ⅲ区F A 水田下	53.5×10.5×3.3	2分割 柁目	一部欠損	表裏両面やや凹凸を持ち削り調整。両端部は表裏両面から短く削り調整。中央部に斜め方向の装着用の貫穴。
71	鋤	Ⅲ区F A 水田下	68.1×13.8×3.2	柁目	先端部欠損	長方形を呈し片木口側に柄。表裏両面は平坦に調整。先端部欠損。縁は角をとり調整、柄部先端丸く調整。
72	なすび型 鋤	Ⅲ区F A 水田下	53.0×13.0×1.5	4分割 柁目	一部欠損	なすび型を呈し、表裏平坦に調整。縁部丸く調整。先端部両方向より短い削り。
73	鋤	Ⅲ区F A 水田下	38.2×11.8×1.2	分割材 柁目	一部残存	先端部曲線状に加工、断面薄く表裏平坦に加工。
74	なすび型 鋤	Ⅲ区F A 水田下	45.0×9.0×1.0	12分割 柁目	一部残存	なすび型を呈する。表裏両面平坦に削り調整。基部細く丸く調整。先端部表裏両面から短く削り、縁は角を丸く調整。
75	なすび型 鋤	Ⅲ区F A 水田下	43.0×5.5×1.0	2分割 柁目	一部残存	なすび型を呈する。表裏両面平坦に削り調整。先端部一部欠損。表裏両面から短く削り、基部片面側からの削り。
76	なすび型 鋤先	Ⅲ区F A 水田下	59.5×14.2×2.1	柁目	一部欠損	なすび型を呈する。表裏両面削り調整。基部丸く調整。先端部表裏両方向から短く削り調整。縁部丸く調整。
77	鋤?	Ⅲ区F A 水田下	63.5×6.6×2.1	柁目	一部残存	表裏両面平坦に調整。基部は断面平坦に分割調整。先端部表裏両面からの短い削り調整。外縁は角を取り調整。
78	なすび型 鋤	Ⅲ区F A 水田下	48.5×14.0×1.5	柁目	一部欠損	なすび型を呈し、表裏両面削り調整。削り痕明瞭。先端部表裏両面から短く削り調整。基部分割断面調整。
79	なすび型 鋤	Ⅲ区F A 水田下	52.8×13.6×2.0	柁目	ほぼ完形	なすび状を呈し、表裏両面削り痕が明瞭に残る。縁部は丸く調整。
80	鋤	Ⅲ区F A 水田下	39.0×5.0×2.0(径3.0)	分割材	一部欠損	先端部表裏平坦に加工。棒状の部分は丸く加工。端部は二方向より削り。
81	鋤先	Ⅲ区F A 水田下	56.4×4.7×1.1	2分割 柁目	一部残存	縁辺部一部残る。縁部丸く調整。先端部短く両面から調整。
82	なすび型 鋤	Ⅲ区F A 水田下	53.9×7.9×1.7	柁目	一部残存	なすび型に整形。表裏両面平坦に整形。基部端部は断面を平坦に分割調整。先端部表裏両面からの短い削り。他周辺端部は丸く調整。
83 No1021	二股鋤	Ⅲ区F A 水田下	101.7×9.8×3.0	柁目	一部欠損	鋤部部分的に欠損している。柄の基は握り用に丸く削り残す。柄は断面円形に外周を調整。鋤部との境は直角状に調整。鋤先端部ややとがりぎみに表裏両面からの削り調整。
84	鋤	Ⅲ区F A 水田下	69.0×9.3×1.5	柁目	一部欠損	表裏両面平坦に調整。先端部表裏両面から短く削り調整。縁丸く調整。基部やや鋭角的に調整。
85	鋤	Ⅲ区F A 水田下	94.3×11.7×3.5	4分割 柁目	鋤部先端欠損	現代のスコップの握り部と同様のカマボコ状の貫穴柄部は角周平滑に調整。柄先端装着に係わると思われる四角形の貫穴。
86	梯子	Ⅲ区F A 水田下	151.8×18.2×9.8	2分割 柁目	一部欠損	表裏両面平坦に粗く調整。左右端部近くに長円形の貫穴。両端部折れ。
87	梯子	Ⅲ区F A 水田下	97.0×13.0×6.5	2分割 柁目	一部欠損	2分割し、断面カマボコ状。平坦面に三段階に平坦面を削り込んである。片端部は折れ。逆端部平坦に分割調整。
88	杵?	Ⅲ区F A 水田下	32.2×9.6×7.3	2分割	一部残存	外周粗く削り調整。細端部に向かい多方向の削り。両端部折れ。
89	杵	Ⅲ区F A 水田下	35.5×8.2×5.0	丸木	一部残存	内側半截状に欠損している。左先端部外側多方向からの削り。柄部は断面円形に調整。右先端部外側多方向より中央部凸面状に削り。柄部と杵の間は緩やかに調整。

第2章 木器観察表

番号	器種	出土位置	長さ×幅×厚さ(cm)	木取り種	遺存状態	加工形状の特徴
90	砧	Ⅲ区FA 水田下	34.4	2分割	一部残存	外周柄部は平滑に調整。砧部は多方向よりの粗い削り。柄と砧部はほぼ直角に近く削り、先端部は多方向からの削り。
91	砧	Ⅲ区FA 水田下	31.0×径10.1	分割材 榎目	完形	槌部断面やや楕円形を呈し、先端部の断面は大きく握り部は断面円形となり、先端部はやや太くなり、丸く磨耗している。
92	柄?	Ⅲ区FA 水田下	17.0×4.2×2.0	2分割 丸木		断面は楕円形に周囲調整。
93	砧	Ⅲ区FA 水田下	20.1×6.2×4.9	2分割 榎目	一部欠損	先端部平坦に調整。アタリ痕。柄部との境斜めに削り削り痕残る。握部細く断面円形に削り。
94	柄	Ⅲ区FA 水田下	24.5×2.0×1.3	分割材	一部残存	断面不定円形に外周を調整。片端部折れ。逆端部出柄状に突起を削り出す。
95	柄	Ⅲ区FA 水田下	16.5×径2.5	3分割	一部残存	断面円形に外周調整。端部握状に太く調整、逆端部折れ。
96	柄	Ⅲ区FA 水田下	21.5×4.3×3.6	榎目	一部残存	一端部の断面丸く残し中央に向かい太くなるように調整。断面は丸い。
97	柄	Ⅲ区FA 水田下	51.8×2.8×1.6	4分割 榎目	一部欠損	断面ほぼ円形に外周を調整。片端部円形に角を調整。逆端部折れ。
98	柄?	Ⅲ区FA 水田下	34.6×径3.5	丸木	一部残存	やや曲線状で左側は折れ、右端部の上面は削りが入らず、全体は断面楕円形に周囲を削り出している。
99	丸棒 柄	Ⅲ区FA 水田下	60.0×径2.7	3分割 榎目	一部残存	断面円形に外周調整。両端部断面平坦に分割。
100	柄	Ⅲ区FA 水田下	73.0×3.7×2.8	3分割 榎目	一部欠損	断面楕円形に外周を調整。片端部斜めに削り。逆端部断面平坦に分割。端部円形に残し内側細く削り調整。
101	柄	Ⅲ区FA 水田下	67.3×6.2×3.3	2分割 榎目	一部残存	断面四角形に外面調整。片端部一方向面残し、太く残す。外断面は平坦に調整。
102	柄?	Ⅲ区FA 水田下	52.3×2.5×1.5	3分割 榎目	一部残存	断面楕円形に外周調整。片端部折れ、逆端部多方向からの削り調整、棒中心部を残し、両端部に削り調整が入る。
103	柄	Ⅲ区FA 水田下	31.3×2.8×2.0	3分割	一部残存	外周は平滑に調整。片先端は折れ、片先端は分割される。先端部アタリやや細くなる。
104	柄?	Ⅲ区FA 水田下	71.5×2.5×2.3	4分割 榎目	一部残存	断面円形に外周を調整。両端部平坦に分割。
105	柄	Ⅲ区FA 水田下	8.6×2.8×2.5	榎目	一部残存	端部丸く太く残し削り調整。中央部に向かい太くなる。
106	柄	Ⅲ区FA 水田下	26.5×2.6×1.5	榎目		断面楕円形に外周を削り調整。両端は折れ。
107	柄	Ⅲ区FA 水田下	37.8×3.2×2.0	分割材 榎目	一部欠損	断面円形に外周平滑に調整。片端部握り状に肥厚する。逆端部装着部?、太くなり断面は平坦に調整。
108	柄	Ⅲ区FA 水田下	33.0×3.3×2.0	三分割	一部残存	周囲平滑に調整、右端部は折れ、左先端は僅かに細くなり、やや曲線を描き整形。先端部は片側裂け。
109	柄?	Ⅲ区FA 水田下	51.7×2.9×1.6	榎目	一部残存	断面半円形で一面のみ平坦に削り調整。一ヶ所に貫穴。両端分割。
110	鎌の柄	Ⅲ区FA 水田下	41.9×3.3×2.2	丸木	左端部折れ	外面平坦に調整。右端部鎌の移植部、先端部にアタリ有り。
111	鎌の柄	Ⅲ区FA 水田下	46.1×2.2×1.6	榎目	一部残存	断面円形に滑かに調整。取付部は斜方向に平坦に調整。握り部は丸く削り残す。握り部細い部分に長四角形の貫穴。
112	柄	Ⅲ区FA 水田下	48.2×3.3×3.0	分割材 榎目	一部残存	断面円形に外周平滑に調整。両端部分割。
113	柄	Ⅲ区FA 水田下	15.0×8.0×3.0	榎目	一部残存	外面削り調整。三端部先端折れ。
114	柄付木器 組物	Ⅲ区FA 水田下	33.7×3.9×1.0	分割材 榎目	一部欠損	平板両面平坦に調整。両端に柄、柄先端は広がる。
115	柄	Ⅲ区FA 水田下	20.5×5.8×3.2	榎目	一部残存	外面凹凸を持ち粗い調整。太端部突起状に基を細く削り調整。
116	組物?	Ⅲ区FA 水田下	92.3×12.6×5.6	8分割 榎目	一部残存	表裏平坦に調整。片端部折れ、逆端部は片面からえぐりが入り、脚状を呈する。
117	組物?	Ⅲ区FA 水田下	38.0×5.2×1.4	榎目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部折れ、逆端部断面平坦に分割。中央部はくい込み。

第2章 木器観察表

番号	器種	出土位置	長さ×幅×厚さ(cm)	木取り種	遺存状態	加工形状の特徴
118	栓?	Ⅲ区FA 水田下	10.9×1.9×1.2	榎目	一部欠損	外周は滑らかに調整。太端部は丸く調整。細端部も角をとって調整してある。
119	楔状 木製品	Ⅲ区FA 水田下	24.6×3.2×2.7	分割材 榎目	ほぼ完形	先端部は表裏二方向より削り、逆端部は丸く加工され磨耗している。
120	組物	Ⅲ区FA 水田下	30.4×4.2×1.2	分割材	一部欠損	表裏平坦に調整。上下木端に目渡穴、左木口は一方より削り、目釘穴4ヶ所有、穴の中にフジツルを確認。
121	刀型 木製品	Ⅲ区FA 水田下	36.0×1.7×0.9	分割材	先端部欠損	刀状に先端部に向かい弱く曲線を描く。基部には台形のくい込み、外周は平滑に調整。
122	楔型 木製品	Ⅲ区FA 水田下	12.0×12.3×3.2	2分割 榎目	一部欠損	表裏凹凸多く調整。細端部は断面平坦に切断、太端部表裏両面から削り。
123	建築部材?	Ⅲ区FA 水田下	30.0×4.0×3.2		一部欠損	面をもたず外周調整。曲線を描く曲線の内周側先端部は浅く曲線に添い削り、中央部には突起、基部も内側から削り端部に凸部を持つ。
124	建築材?	Ⅲ区FA 水田下	40.6×10.0×4.5	榎目	一部残存	断面カマボコ状に調整し、凸面部にくい込みが入る。両端部ともに断面平坦に分割。
125	建築材?	Ⅲ区FA 水田下	51.6×3.7×1.5	2分割 榎目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片木口は太く残り両木端側からの削り。中央部斜方向に貫穴。太木口側は大きな貫穴の中央部から折れ。
126	建築材	Ⅲ区FA 水田下	107.7×14.0×5.7	5分割 榎目	一部欠損	割材。削り痕残る。両端部分割。
127	建築材	Ⅲ区FA 水田下	78.3×13.3×4.5	榎目	一部欠損	表裏両面ほぼ平坦に調整。両端部は断面平坦に分割調整。太端部には表裏両面から削り痕の入る柄穴。
128	建築材?	Ⅲ区FA 水田下	85.3×9.0×4.5	4分割 榎目	一部残存	みかん割り状に分割し、表面は凹凸多く粗い調整。細端部分割。逆端部先端調整。
129	建築材	Ⅲ区FA 水田下	76.7×11.3×4.5	榎目	一部残存	太端部断面四角形に表裏両面調整。四角形のえぐり痕有り。逆端部折れ。
130	建築材?	Ⅲ区FA 水田下	61.4×6.8×3.8	榎目	一部欠損	表裏両面平坦に調整。片端部断面平坦に角をとり調整。逆端部柄穴、穴部で折れ。断面は長方形で角を丸く調整。
131	建築材	Ⅲ区FA 水田下	86.0×10.5×6.5	2分割 榎目	一部残存	断面円形に外面調整。片端部折れ。逆端部断面平坦に分割。
132	建築材?	Ⅲ区FA 水田下	57.5×9.2×37.0	榎目	一部欠損	表裏両面平坦に調整。片木口相欠き。逆木口平面かまぼこ状にえぐり入る。
133	建築材?	Ⅲ区FA 水田下	59.2×9.0×7.0	2分割 榎目	一部欠損	角面分割後あまり調整みられず片端部は折れ、逆端部一方向に向かい削り。
134	建築材?	Ⅲ区FA 水田下	41.3×10.5×1.2	榎目	一部欠損	表裏平坦に粗く調整。太端部は表裏両方向よりの削り。細端部は削り。中央部に柄穴状の貫穴。
135	六角棒	Ⅲ区FA 水田下	77.0×径6.5	榎目	一部欠損	六面をもち各面平坦に調整。片端部相欠き状に削り入る。逆端部多方向からの削り。
136	角棒	Ⅲ区FA 水田下	61.0×5.3×3.0	榎目	一部残存	断面円形に各面平坦に調整。片端部折れ。逆端部一方向よりの削り。
137	建築材	Ⅲ区FA 水田下	65.0×11.5×5.8	2分割 榎目	一部残存	断面ほぼ円形に外周を調整。両端部は分断。
138	棒状	Ⅲ区FA 水田下	96.2×6.0×1.8	6分割 榎目	一部残存	断面不定形で外周には削り痕残る。両端部平坦に分割調整。
139	丸棒	Ⅲ区FA 水田下	33.6×2.8×1.6	4分割 榎目	一部欠損	断面楕円形に調整。片端部丸く調整。逆端部反対二方向から削り。
140	丸棒	Ⅲ区FA 水田下	23.8×2.3×1.5	榎目	一部残存	断面楕円形状に外面調整。片端部折れ。逆端部反対二方向からの削り調整。
141	丸棒状	Ⅲ区FA 水田下	16.4×4.2×2.3	榎目	一部残存	表裏粗く調整。片側面端部に削り、逆端部分割。
142	角棒	Ⅲ区FA 水田下	17.6×2.5×1.1	2分割 榎目	一部残存	断面四角形に四辺平坦に削り調整。
143	細棒	Ⅲ区FA 水田下	30.6×1.5×1.0	3分割 榎目	一部残存	断面三角形の角棒。両端部断面平坦に調整。片端部近くにくい込み。
144	角棒	Ⅲ区FA 水田下	26.5×4.0×3.0	榎目	一部残存	一面のみ平坦に調整。平坦面より浅く相欠き。
145	角棒	Ⅲ区FA 水田下	38.3×2.1×1.0	5分割 榎目	一部残存	断面四角形状に調整。片端部折れ。逆端部細く削り調整。

第2章 木器観察表

番号	器種	出土位置	長さ×幅×厚さ(cm)	木取り種	遺存状態	加工形状の特徴
146	細角棒	Ⅲ区FA 水田下	25.6×2.2×1.2	柾目	一部残存	断面長方形に各面を平坦に調整。両端部は分割。
147	板材?	Ⅲ区FA 水田下	12.6×3.5×0.9	分割材 柾目	一部残存	裏面平坦に調整。表面断面カマボコ状で、表面側なめらかに調整、左側は折れ、左先端部は表面側から一方向の削り。
148	割板材	Ⅲ区FA 水田下	10.5×6.2×2.3	分割材 柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端折れ、木端は凸面状に残る。
149	角棒	Ⅲ区FA 水田下	56.0×4.5×3.5	柾目	一部残存	角状の部分長く残存。平坦面削り調整、両端部折れ。
150	角棒	Ⅲ区FA 水田下	52.0×2.2×1.6	柾目	一部残存	断面四角形に各面平坦に調整。両端部断面平らに分割。
151	板材	Ⅲ区FA 水田下	14.3×5.3×1.6	分割材 柾目	一部欠損	表裏は平らに調整。木端は平らに面取りはない左木口は分断、右木口両側から鈍角に削り。
152	板	Ⅲ区FA 水田下	15.3×4.4×1.3	分割材 柾目	一部残存	片面、一方向より削り、表裏両面はともに凹凸がある。
153	板	Ⅲ区FA 水田下	80.7×22.0×1.8	3分割 柾目	一部残存	長方形で角は直角に近くきれいに調整。両端部は断面平坦に調整。
154	板状	Ⅲ区FA 水田下	59.0×15.2×2.2	3分割 柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部折れ、逆端部断面平坦に分割。
155	薄板	Ⅲ区FA 水田下	25.0×4.6×0.4	4分割	一部残存	表裏剥落著しい。両端部直線状にきれいに切断。
156	加工材 板状	Ⅲ区FA 水田下	20.0×4.1×2.0	分割 柾目	一部残存	表裏平坦に調整。木端は断面平行四辺形に平坦に調整。右端は裂け、左側は柄状に突起。
157	薄板	Ⅲ区FA 水田下	23.2×3.3×1.0	柾目	一部残存	表裏両面より平坦に調整。両端部は木口面平坦に分割調整。
158	板状	Ⅲ区FA 水田下	30.5×7.2×2.2	柾目	一部欠損	表裏両面平坦に調整。片端部断面平坦に分割、片端部両方向一方向が大きく両木端側から削り。
159	板	Ⅲ区FA 水田下	16.8×4.0×1.0	分割材 柾目	両端部欠損	表裏両面薄く平坦に調整。両端部裂け。
160	角板状	Ⅲ区FA 水田下	12.2×3.6×1.9	分割材 柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端折れ、逆端部断面平坦に分割、木口面から四角形に目渡穴。
161	薄板	Ⅲ区FA 水田下	23.5×4.8×1.8	分割材 柾目	一部欠損	断面レンズ状に調整。左端部は分断。右端部中央部円形状に切り込みが入れてある。切り込み部の裏面は平坦に平らに削り。
162	板	Ⅲ区FA 水田下	47.8×5.8×1.4	柾目	一部欠損	表裏両面平坦に調整。両木口分割。
163	板状	Ⅲ区FA 水田下	18.5×11.9×1.1	柾目	一部残存	表裏平坦に調整。片端部折れ、逆端部短く両方向より削り。
164	板状	Ⅲ区FA 水田下	33.0×4.2×2.0	分割材 柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
165	薄板	Ⅲ区FA 水田下	20.1×4.8×1.0	柾目	一部残存	表裏両面平坦に削り調整。削り痕残る。両端部断面平坦に分割調整。
166	板状	Ⅲ区FA 水田下	48.5×6.5×1.0	柾目	一部欠損	表裏両面平坦に調整。片端部斜めに一方向よりの短い削り。逆端部同一方向の削り。
167	板	Ⅲ区FA 水田下	12.0×12.1×1.9	分割材 横木板	一部残存	表裏平坦に調整。左端部は表側より一方向からの削り、左端部は裏側から一方向よりの削り。
168	板棒状	Ⅲ区FA 水田下	46.7×4.0×2.0	2分割 柾目	一部残存	断面不定形に削り調整。片端部分断、逆端部平坦に分割。
169	板状	Ⅲ区FA 水田下	48.0×6.5×1.2	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部は折れ。
170	薄細板	Ⅲ区FA 水田下	33.7×0.5×0.6	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
171	板材	Ⅲ区FA 水田下	63.3×10.8×3.8	分割材 柾目	一部欠損	表裏両面平坦に調整。片側木端にくい込み2ヶ所有り。
172	板	Ⅲ区FA 水田下	18.0×13.8×2.3	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部ともに表裏両面方向からの削り。
173	角板状	Ⅲ区FA 水田下	32.3×5.7×2.4	柾目	一部欠損	外面凹凸面を持ち調整。片端部分割。逆断面片方向よりの削り。
174	角組板	Ⅲ区FA 水田下	30.4×3.2×1.0	柾目	一部欠損	表面平坦で、裏面はやや凸面を持ち調整。片端部は裂け。逆端部は平坦に分割してある。

第2章 木器観察表

番号	器種	出土位置	長さ×幅×厚さ(cm)	木取り種	遺存状態	加工形状の特徴
175	板状	Ⅲ区FA 水田下	14.5×10.4×2.8	柾目	一部欠損	表裏両面平坦に調整。片端部三角形を呈し、断面平坦に調整。逆端部断面平坦に調整。片面方向よりの削り。
176	板状	Ⅲ区FA 水田下	28.6×4.0×1.5	5分割 板材	一部欠損	表裏平滑に調整。左右端部相欠き。片側出納部欠損。
177	細板	Ⅲ区FA 水田下	68.5×3.6×1.1	柾目	一部欠損	断面レンズ状に外周を平滑に調整。片端部分割、逆端部一方向より削り。
178	薄板	Ⅲ区FA 水田下	29.5×4.5×0.4	柾目	一部欠損	表裏両面平坦に薄く調整。右側先端部面取り細かく削り。
179	板状	Ⅲ区FA 水田下	101.0×13.4×1.0	18分割 柾目	一部残存	表裏両端部剥落著しく、表裏面一部削り調整痕残る。
180	板材 (釘穴有)	Ⅲ区FA 水田下	34.7×9.2×2.8	柾目	一部残存	表裏両面凹凸があり調整。右端部裏面より削り。左端部分断。上面木端側切り込み、切り込み左側に目釘穴。
181	板材?	Ⅲ区FA 水田下	30.9×2.5×0.9	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部折れ、逆端部斜方向に断面平坦に分割。
182	板	Ⅲ区FA 水田下	44.5×7.8×1.8	分割材 柾目	一部残存	全体均等な厚みで表裏両面平坦に加工、両端部は平らに切断してある。
183	薄板	Ⅲ区FA 水田下	12.0×4.0×0.9	柾目	一部残存	表裏平坦に調整。両端部折れ。
184	板?	Ⅲ区FA 水田下	37.3×6.7×1.9	4分割		表裏平坦に調整。太端部はやや斜めに断面平坦に一方向より削り。細端部握り状に丸く調整。
185	板材	Ⅲ区FA 水田下	27.0×4.5×1.6	分割材 柾目	一部残存	断面レンズ状に周囲より削り調整。右端部裂け。左端部は表裏両面より削り。
186	板状	Ⅲ区FA 水田下	42.3×10.3×3.4	2分割 柾目		表裏凹凸を持って粗い調整。太端部片方向よりの削り。火を受けて焼けている。細端部折れ。
187	板材	Ⅲ区FA 水田下	127.3×17.8×4.5	2分割 柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部断面平坦に調整。片端部柄状に折れ、逆端部えぐり痕有り。
188	割板材	Ⅲ区FA 水田下	19.4×8.7×1.4	柾目	一部欠損	表裏両面平坦に調整。平行四辺形状に両端部分割断面平坦に調整。
189	建築材	Ⅲ区FA 水田下	127.0×5.7×4.9	6分割 柾目	一部残存	断面不定形に部分的に面を持つ。片端部折れ。逆端部一方向からの削り。
190	建築材?	Ⅲ区FA 水田下	187.5×11.2	6分割 柾目	一部残存	断面不定形に外面調整。両端部折れ。
191	割材	Ⅲ区FA 水田下	104.1×5.0×4.5	5分割 柾目	一部残存	割材。所々に削り痕残る。両端部断面平坦に分割調整。
192	割材	Ⅲ区FA 水田下	199.5×6.2×3.0	柾目	一部欠損	断面四角形に外面を調整。両端部は分割。
193	割材	Ⅲ区FA 水田下	141.7×5.5×3.0	8分割 柾目	一部残存	断面不定三角形に面を平坦に調整。両端部は分割。
194	割材	Ⅲ区FA 水田下	125.1×6.8×4.6	2分割 柾目	一部残存	断面不定形に外面調整。片端部折れ。逆端部断面平坦に分割調整。
195	割材	Ⅲ区FA 水田下	72.9×7.5×5.9	2分割 柾目	一部残存	断面不定形で外周に削り調整。片端部は分割。逆端部平坦に分割。
196	割材	Ⅲ区FA 水田下	54.3×4.7×3.0	柾目	一部欠損	分割面を削り、削り痕残る。太端部表裏両面からの削り調整。細端部片面方向からの削り。
197	割材 (建築材)	Ⅲ区FA 水田下	39.2×7.6×4.0	分割材 柾目	一部欠損	裏面は平坦に調整。他3面は凹凸があり、左端部は折れ、右端部は表側から一方向の削り。
198	割材	Ⅲ区FA 水田下	94.4×9.1×6.5	3分割 柾目	一部残存	不定形に断面角を持ち分割してある。平坦部は凹凸を持ち、両端部は分割。
199	割材	Ⅲ区FA 水田下	69.2×7.0×4.2	分割材 柾目	一部残存	板材状、太端部は分断され、細端部折れ。太端部側断面四角状に調整。細くなる部分はいく込み状になり組物の可能性あり。太端部にはアタリ痕がみられる。
200	割材	Ⅲ区FA 水田下	28.0×5.0×2.0	分割材 柾目		板状。表面は凹凸面を持ち、裏面は平坦に調整。両先端部に削り。
201	割材	Ⅲ区FA 水田下	19.4×6.6×4.0	分割材 柾目		両端部削り。外面は不定形の削り。
202	割材	Ⅲ区FA 水田下	109.4×5.4×3.1	3分割 柾目		断面三角形に各面平らに調整。両端部分割。
203	割板	Ⅲ区FA 水田下	16.2×9.0×1.5	分割材 柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。左右の木口は裂けたように分断される。

第2章 木器観察表

番号	器種	出土位置	長さ×幅×厚さ(cm)	木取り種	遺存状態	加工形状の特徴
204	角材	Ⅲ区FA 水田下	129.1×7.4×4.1	柾目	一部欠損	断面長方形で四面平坦に調整。片端部折れ。逆端部断面平坦に分割調整。
205	加工製品	Ⅲ区FA 水田下	28.6×4.8×1.0	4分割 柾目	一部残存	外面周囲から削り調整。左先端部上面から削り。先端部は細く尖る。
206	柱	Ⅲ区FA 水田下	151.4×6.8×6.5	柾目	一部残存	断面不定形で部分的に面を作り調整。両端部は折れ。
207	柱?	Ⅲ区FA 水田下	152.7×9.8×5.4	3分割 柾目	一部残存	断面不定形の分割材。部分的に削り。片端部は折れ。逆端部一部平坦に分割調整面残存。
208	柱	Ⅲ区FA 水田下	325.6×11.8×6.0	4分割他3片 柾目	一部残存	表裏両面凹凸を持つ。片端部は裂け。逆端部柄。
209	加工材	Ⅲ区FA 水田下	45.7×6.5×5.3	分割材 柾目	一部欠損	断面楕円形に外面調整。左端部一方向よりの削り。
210	半截柱	Ⅲ区FA 水田下	91.0×9.4×4.0	19分割	一部残存	半截した状態で凹凸を持ち粗く調整。両端部は折れ
211	柱?	Ⅲ区FA 水田下	88.7×径8.6	2分割 柾目		外面調整殆んど見られない。両端部は断面平坦に調整。
212	柱	Ⅲ区FA 水田下	197.7×径7.5	5分割 柾目	一部残存	断面楕円形に外面調整。片端部は折れ。逆細端部は一方向より削り調整。
213	二股丸柱	Ⅲ区FA 水田下	216.5×径5.5	11分割他7本 柾目	一部残存	断面不定形に外面削り痕残る。片端部は折れ。逆端部二股に分かれるが両先端部は欠損。
214	柱?	Ⅲ区FA 水田下	35.9×9.5×6.2	柾目	一部残存	断面円形。外面は粗い調整。片端部折れ。逆端部片方向よりの相欠き、出柄状に突起。
215	柱?	Ⅲ区FA 水田下	45.0×径9.8	丸木	一部欠損	ほぼまっすぐな丸木材。外面削り調整。左右端反対側を相欠き状に調整。
216	柱?	Ⅲ区FA 水田下	126.0×14.5×9.5	柾目	一部残存	断面楕円形に外面調整。片端部断面平坦に分割。逆端部多方向から粗い削り。
217	柱?	Ⅲ区FA 水田下	143.7×径4.0	4分割 柾目	一部残存	断面楕円形に外面調整。片端部折れ。逆端部一方向からの削り。
218	柱?	Ⅲ区FA 水田下	66.7×径9.2	柾目	一部残存	断面楕円形に外面調整。片端部近くアタリ状に凹む。
219	丸柱	Ⅲ区FA 水田下	36.7×径9.6	柾目	一部残存	外面凹凸面を持ち粗く調整。片端部折れ。逆端部断面ほぼ平坦に粗い削り。
220	柱?	Ⅲ区FA 水田下	137.2×径7.0	柾目	一部欠損	断面楕円形に外面調整。片端部折れ。逆端部先端細く削り。
221	杭?	Ⅲ区FA 水田下	24.6×径3.5	分割材 柾目	一部欠損	断面楕円形に外周調整。先端部多方向より短かく削り。逆端部断面平らに分割。
222	堰の杭	Ⅲ区FA 水田下	108.5×4.7×3.4	柾目	一部欠損	断面レンズ状に外面調整。両先端部表裏両方向からの削り調整。細くなる。
223	杭	Ⅲ区FA 水田下	43.0×3.5×1.6	丸木	一部欠損	周囲削り調整。右端部多方向から削り。右側半分に裂けたように欠損。右側半部は焼けている。
224	堰の丸太	Ⅲ区FA 水田下	140.5×径15.0	柾目	一部残存	曲がっている。片端部に分割痕。
225	樹皮製品	Ⅲ区FA 水田下	11.8×5.3×0.4		一部残存	片端部三角形に調整。逆端部四角形状に調整。釘穴二ヶ所。
226	樹皮製品	Ⅲ区FA 水田下	17.2×4.4×0.6		一部残存	半円形を呈し、円周部に目釘穴。端部削り。
227	樹皮製品	Ⅲ区FA 水田下	14.3×5.2×0.3		一部残存	一ヶ所に釘穴。
228	樹皮馬具?	Ⅲ区FA 水田下	38.5×14.0×0.5	2分割	一部残存	楕円形状を呈する。周辺部にほぼ等間隔で目釘穴がある。
229	樹皮製品	Ⅲ区FA 水田下	33.5×8.5×0.5			片端部直線状に裁断。釘穴4ヶ所残る。
230	樹皮製品	Ⅲ区FA 水田下	20.9×13.2×0.5	3分割	一部残存	一辺直線状に切断。
231	樹皮	Ⅲ区FA 水田下	31.5×10.0×5.5		一部残存	両端部残存部直線状に切断。
232	樹皮製品	Ⅲ区FA 水田下	28.1×13.2×1.2		一部残存	二辺直線状に直角部を持つ。釘穴が17ヶ所あり、木釘が打ってある。
233	樹皮製品	Ⅲ区FA 水田下	19.5×12.0×0.3			四角形状。両端部切断。片方向からの削り。

第2章 木器観察表

番号	器種	出土位置	長さ×幅×厚さ(cm)	木取り種	遺存状態	加工形状の特徴
234	用途不明 木製品	Ⅲ区F A 水田下	13.7×4.6×1.2	分割材 榫目	一部欠損	表裏両端平坦。両木口片側から鋭角に削り。
235	樹皮製品	Ⅲ区F A 水田下	28.5×6.2×0.3		一部残存	切断面は不明釘穴が6ヶ所認められる。
236	用途不明 木製品	Ⅲ区F A 水田下	12.0×4.9	榫目	一部残存	板状。片端部折れ。逆端部径1.8cmの貫穴。貫穴部の端部は断面平坦に分割調整。
237	用途不明 木製品	Ⅲ区F A 水田下	10.2×1.3×1.0	榫目	一部残存	断面丸く、外周でいねいに調整。先端部削り後でいねいに調整。逆端部折れ。
238	用途不明 木製品	Ⅲ区F A 水田下	37.9×2.8×1.9	分割材 榫目	一部残存	板材状。片面のみ平坦に加工。反対面は凹凸が多い。太い端部丸状に削り加工。
239	用途不明 木製品	Ⅲ区F A 水田下	28.9×2.2×1.2	4分割	一部欠損	周囲削り調整。左側先端部反った状態で削り調整。左側端部は反り方向と90度ずれ平坦に調整。
240	用途不明 木製品	Ⅲ区F A 水田下	20.0×5.3×3.5	榫目	一部残存	外面不定形に削り整形。片端部折れ。削り部は焼けている。逆端部多方向より短く削り。
241	用途不明 木製品	Ⅲ区F A 水田下	193.7×9.3×4.2	3分割 榫目	一部残存	表裏両面平坦に調整。柄穴2ヶ所。片端部は折れ、えぐりが入る。逆端部は片木端側からえぐりが入り逆木端側から斜めに大きく削りが入る。端部は断面平坦に調整。
242	用途不明 木製品	Ⅲ区F A 水田下	25.8×4.2×1.2	3分割 榫目	一部残存	板状。表裏平坦に調整。平坦面に向かい上下側にくい込みが入る。先端部両角部に目釘穴。片先端部は欠損裂け状態。
243	用途不明 木製品	Ⅲ区F A 水田下	31.3×3.9×1.5	分割材 榫目	ほぼ完形	平板状に加工。表裏両面ともに平坦に削り加工。両端は角を削りたんざく状に四角に突起している。片側突起端部中央には貫通していないが両側から穴がある。
244	用途不明 木製品	Ⅲ区F A 水田下	19.0×3.3×2.5	榫目	一部残存	外面削り調整。片端部折れ。逆端部太く、周囲を細く削り、細い部分に柄穴状に貫穴。
245	用途不明 木製品	Ⅲ区F A 水田下	27.8×6.9×4.8	分割材	一部残存	表裏両木端は凹凸があり粗い調整。左木口は裂け。右木端側は四方向よりやや鈍角の削り。
246	用途不明 木製品	Ⅲ区F A 水田下	68.6×10.0×2.4	3分割 榫目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部折れ。逆端部断面平坦に分割調整。端部近くに長方形の柄穴。穴から端部側は薄く段を持ち平坦に調整。
247	用途不明 木製品	Ⅲ区F A 水田下	17.0×1.4×2.0	榫目	一部残存	断面不定形。両端部分割。中央にくい込み有り。
248	用途不明 目渡穴付	Ⅲ区F A 水田下	54.5×4.5×3.1	分割材	先端部折れ	外面平坦に調整。片側端部は折れ。反対側端部に目渡穴。
249	用途不明 木製品	Ⅲ区F A 水田下	38.5×17.4×3.8	榫目	一部残存	断面半円形状に分割。片端部断面平坦に分割調整。逆端部折れ。
250	用途不明 木製品	Ⅲ区F A 水田下	38.5×4.4×2.2	分割材 榫目	一部欠損	平板状に表裏平坦に調整。形状不定形。片先端部は木端片側からの削り。
251	用途不明 木製品	Ⅲ区F A 水田下	21.5×3.3	分割材 榫目	一部欠損	断面レンズ状に外面平滑に調整。左端分割。右端は曲線状に曲がり先端細くなり片面方向よりの削り。
252	用途不明 木製品	Ⅲ区F A 水田下	44.9×7.0×3.8	分割材	一部欠損	表裏両端を平坦に調整。両木口分割。片木端に火を受け焼けている。
253	用途不明 木製品	Ⅲ区F A 水田下	25.7×5.0×2.0	榫目	一部欠損	丸木状に断面不定円形で曲線状に削り。中央部は細長四角の目渡穴。左端部は二方向より削り。
254	用途不明 木製品	Ⅲ区F A 水田下	46.0×8.2×4.0	3分割 榫目	一部残存	半截してあり、削り痕明瞭に残る。太端部一方向よりの削り。細端部分割。
255	用途不明 木製品	Ⅲ区F A 水田下	25.6×9.7×3.5	分割材 榫目	一部残存	表裏平坦に調整。左右端部分断。片面に斜方向の相欠状に鋭利な削り。
256	用途不明 木製品	Ⅲ区F A 水田下	22.5×7.0×0.3	分割材	一部残存	残存部曲線状にきれいに調整。表裏両面平坦に調整。上面線に計5ヶ所の目釘穴。
257	用途不明 木製品	Ⅲ区F A 水田下	32.9×5.2×5.2	分割材 榫目	一部欠損	外面不定形に削り調整。右側半部は細く削り調整。
258	用途不明 木製品	Ⅲ区F A 水田下	17.3×8.6×1.5	榫目	一部残存	表裏両面平坦に削り調整。左端部三角形状に調整。片面広く鋭角状に削り。逆面短く先端部に向い削り。
259	用途不明 木製品	Ⅲ区F A 水田下	24.5×20.0×6.0	2分割 榫目	一部残存	表裏両面凹凸多い。両端部は各々別方向から斜めに削り調整。
260	用途不明 木製品	Ⅲ区F A 水田下	10.0×7.2×0.3	4分割 榫目	一部残存	薄く曲線を持ち滑らかに調整。

第2章 木器観察表

番号	器種	出土位置	長さ×幅×厚さ(cm)	木取り種	遺存状態	加工形状の特徴
261	用途不明 木製品	Ⅲ区FA 水田下	31.0×4.4×3.0	分割材 柾目	一部欠損	曲線状に不定形をなす。片端部一方よりの削りで先端部尖がる。片端部は太く相欠きが入る。
262	用途不明	Ⅲ区FA 水田下	30.9×12.0×5.0	柾目	一部残存	全面に火を受け焼けている。
263	用途不明 木製品	Ⅲ区FA 水田下	65.3×14.5×7.5	5分割 柾目	一部残存	分割した状態で外周あまり調整をしてない。中央部を残し両端部柄状に細く丸く調整してある。

IV区1面

番号	器種	出土位置	長さ×幅×厚さ(cm)	木取り種	遺存状態	加工形状の特徴
264	桶の側板	IV区1面 1号井戸	14.6×4.4×1.0	柾目	一部欠損	全体的に長辺形に直行し曲線を描く。表裏両面平坦に調整。両端部分割。

IV区2面

番号	器種	出土位置	長さ×幅×厚さ(cm)	木取り種	遺存状態	加工形状の特徴
265	漆碗	IV区2面	径12.3×高4.8			有芯轆轤削り出し。外面底部を除き漆塗り。口縁部外面に段を持ちハの字に開く。高台断面四角で下を向き低い。
266	下駄	IV区2面	9.8×6.5×1.4	柾目	一部残存	片面は平坦に、逆面は先端部が薄くなるように調整。カーブを描く先端部に鼻緒の穴と思われる貫穴。
267	機織具	IV区2面	32.7×1.7×1.1	柾目	一部欠損	表裏両面平坦に調整。柄穴2ヶ所にある。穴の両外側と中央側は木端面から直角に木口側へ向かう。斜めにえぐり入る。両端部は断面平坦に分割調整。
268	板状	IV区2面	29.0×厚3.5	柾目	一部残存	表裏両面凹凸を持ち調整。両端部分割。
269	加工木	IV区2面	135.5×径7.0	柾目	一部残存	断面楕円形を呈し、凹凸面を持つ。太端部は分割。細端部は折れ。
270	加工木	IV区2面	152.0×径4.0	柾目	一部欠損	断面円形状を呈し、歪んだ棒状。片端部断面平坦に分割調整。
271	加工木	IV区2面	155.9×径6.6	柾目	一部残存	断面円形で外面凹凸が多い。両端部は分割。
272	板状	IV区2面	40.5×3.0×1.5	柾目	一部欠損	断面半円形を呈し、断面平坦に調整。両端部断面平坦に分割調整。片端部やや先端が反っている。逆端部柄穴。中央部に四角形状のえぐり。
273	加工木	IV区2面	13.0×径2.0	柾目	一部残存	断面円形を呈し、外面調整。両端部折れ。
274	加工木	IV区2面	13.3×1.3×1.6	柾目	一部残存	断面多角形状を呈し、各々の面平坦に調整。片端部分割。片端部折れ。
275	加工木	IV区2面	49.2×2.0×1.1	柾目	一部残存	断面半円形で平坦面を調整。片端部分割。端部近くに溝状に削り入る。

IV区3面

番号	器種	出土位置	長さ×幅×厚さ(cm)	木取り種	遺存状態	加工形状の特徴
276	なすび型 鋤	IV区3面 18号溝	46.5×16.7×1.2	柾目	一部欠損	なすび型を呈する。表裏両面平坦に調整。先端部表裏面から削り。縁は丸く調整。基部細く削り調整。
277	着柄鋤	IV区3面 18号溝	91.3×17.7×3.5	柾目	一部欠損	鋤部表裏両面先端部に向かい薄く削り調整。柄断面丸く外面調整。握部三角形に孔を作り断面丸く調整。半分欠損。
278	刀型	IV区3面 18号溝	41.1×2.6×1.1	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部折れ。逆端部折れ。逆端部刃の先状に削り調整。
279	刀型	IV区3面 表採	24.6×2.6×0.6	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。先端部刃の先状に削り調整。基部折れ。
280	木製品	IV区3面 表採	15.5×4.5	柾目	一部残存	断面楕円形を呈す。片端部折れ。逆端部相欠き入る。
281	機織具	IV区3面 18号溝	39.0×4.0×2.2	柾目	一部残存	表裏両面ていねいに平坦に調整。太端部柄穴状に半円残り折れ。平坦面側から相欠き。細端部削り。
282	栓	IV区3面 18号溝	16.8×5.5×2.1	柾目	一部欠損	外面凹凸を持ち調整。太端部折れ。細端部削り調整。
283	機織具	IV区3面 18号溝	59.0×2.8×1.3	柾目	ほぼ完形	断面レンズ状に外面平滑に調整。両端部両木端側からえぐり、丸く調整。
284	栓	IV区3面 18号溝	9.9×2.0×2.4	柾目	一部欠損	断面丸く外面調整。両端部丸く調整。

第2章 木器観察表

番号	器種	出土位置	長さ×幅×厚さ(cm)	木取り種	遺存状態	加工形状の特徴
285	栓	IV区3面 18号溝	14.1×3.1×1.5	榎目	一部欠損	断面長方形に角を取り調整。細端部細く尖がらせている。
286	栓	IV区3面 18号溝	13.7×2.6×2.0	榎目	一部残存	断面楕円形に外面調整。片端部折れ。逆端部一方向から削り。
287	盆?	IV区3面 18号溝	21.2×15.0×10.5	榎目	一部残存	楕円形を呈すると思われ、やや深い。内外面滑らかに調整。底部外側に脚部1ヶ所の突起。口縁部縁部に四角形状、握手状に内側から斜め外方へ削り調整。
288	柄	IV区3面 18号溝	5.5×4.0×3.8	榎目	一部残存	断面円形に外面調整。片端部折れ。逆端部多方向からの削り。先端丸く調整。
289	柄	IV区3面 18号溝	35.0×2.8×2.0	榎目	一部欠損	断面四角形を呈し各面平坦に調整。細端部四面から細く削り、先端部付近に2条のえぐり入る。基部は曲線状のえぐり。端部先端二方向より削り。断面尖がる。
290	柄	IV区3面 U-47G	74.8×径3.2	榎目	一部残存	断面円形に外面調整。先端部折れ。基部握り。一方向浅く、他方向から深くえぐり入り、端部丸く調整。
291	柄	IV区3面 表採	18.0×2.5×2.0	榎目	一部残存	断面楕円形に外面調整。片端部折れ。逆端部握り部多方向からえぐり、端部丸く調整。
292	薄板	IV区3面 18号溝	9.4×8.0×0.5	榎目	一部残存	表裏両面平坦に調整。削り痕、両木口は片面折れ。逆端部片方向から削り。
293	板材	IV区3面 18号溝	13.5×5.2×0.5	榎目	一部残存	片面は平坦に調整。逆面凹凸が多い。両端部折れ。片側先端部炭化。
294	薄板	IV区3面 18号溝	11.8×3.2×0.8	榎目	一部残存	表裏両面平坦に調整。太端部折れ。逆端部細く削り調整。
295	薄板	IV区3面 18号溝	13.0×2.1×0.7	榎目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部折れ。逆端部片面一方向より削り。
296	板材	IV区3面 18号溝	36.0×7.1×1.6	榎目	一部残存	表裏両面凹凸面を持ち片端部折れ。逆端部分割。
297	薄板	IV区3面 18号溝	140.0×8.5×1.5	榎目	一部残存	表裏面平坦に調整。両木口折れ。
298	板材	IV区3面 18号溝	43.5×8.0×2.6	榎目	一部残存	表裏両面凹凸を持ち調整。両端部折れ。
299	薄板	IV区3面 18号溝	17.8×12.0×1.2	榎目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
300	盆	IV区3面 18号溝	41.3×7.8×3.8	榎目	一部残存	曲線状に薄く調整。表裏両面平滑に調整。縁丸く調整。
301	板	IV区3面 18号溝	69.5×17.8×1.8	榎目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部分割調整。逆端部えぐり状に裂け。
302	薄板	IV区3面 18号溝	24.0×4.1×1.0	榎目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
303	薄板	IV区3面 18号溝	24.5×5.5×2.0	榎目	一部残存	表裏両面凹凸を持ち調整。片面折れ。逆端部片面側一方向からの削り。削り面焼けている。
304	薄板	IV区3面 18号溝	26.0×8.5×0.9	榎目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片木口折れ。逆木口片面側一方向から削り。
305	丸柱	IV区3面 R-47G	78.5×8.8×7.2	榎目	一部残存	外面凹凸多い。両端部は折れ。
306	柱材	IV区3面 18号溝	59.0×11.5×6.8	榎目	一部残存	割材。断面三角形形状に凹凸を持つ。両端部折れ。
307	柱材	IV区3面 18号溝	68.0×径6.4	榎目	一部残存	断面楕円形で外面凹凸を持つ。先端部二股部残す。三端部折れ。
308	柱材	IV区3面 18号溝	96.8×8.0×6.5	榎目 みかん割	一部残存	みかん割り状に外面調整。両端部分割。
309	柱材	IV区3面 18号溝	110.9×10.6×6.1	榎目	一部残存	断面不定円形状を呈し、外面凹凸を持ち調整。両端部折れ。
310	薄板	IV区3面 U-47G	32.8×3.8×1.3	榎目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部折れ。逆端部両木端側から斜めに削り。
311	薄板	IV区3面 18号溝	38.3×5.3×1.2	榎目	一部残存	表裏面平坦に調整。両端部折れ。
312	薄板	IV区3面 18号溝	50.0×6.0×2.7	榎目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部折れ。逆端部表裏両面から削り調整。
313	割材	IV区3面 18号溝	60.4×径(3.7×5.8)	榎目	一部残存	断面不定形に調整。片端部断面レンズ状に外面から削り。逆端部折れ。

第2章 木器観察表

番号	器種	出土位置	長さ×幅×厚さ(cm)	木取り種	遺存状態	加工形状の特徴
314	板	IV区3面 18号溝	57.1×6.6×3.2	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部折れ。逆端部表裏両面から削り調整。
315	割材	IV区3面 18号溝	21.9×2.3×1.0	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部折れ。逆端部柄穴状の中心から折れ。曲線部焼けている。
316	割材	IV区3面 18号溝	32.3×2.8×1.4	柾目	一部残存	角材状に調整。縦に裂けた状態。両端部折れ。
317	割材	IV区3面 18号溝	22.2×5.2×2.5	柾目	一部欠損	表裏片面平坦に調整。逆面ゆるやかに凹面を呈す。両木口は分割。
318	樹皮製品	IV区3面 18号溝	17.0×11.5×0.5	柾目	一部残存	縁部に2ヶ所の釘穴。
319	樹皮製品	IV区3面 18号溝	39.6×14.3×0.6	柾目	一部残存	片端部側直線状に切断。釘穴が7ヶ所ある。
320	角材(柱)	IV区3面	21.4×10.0×5.4	柾目	一部残存	断面四角形を呈し、表裏凹凸多く調整。両端部折れ。
321	角材	IV区3面 18号溝	29.0×4.0×2.5	柾目	一部残存	断面不定形で平坦面がある。両端部折れ。
322	角材	IV区3面 18号溝	55.5×5.3×3.6	柾目	一部残存	断面長方形を呈し、各面平坦に調整。太端部断面平坦に分割。細端部裂け。
323	角材	IV区3面 表探	12.4×5.0×3.0	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部折れ。逆端部分割。
324	角材	IV区3面 O-54G	19.4×2.1×1.0	柾目	一部残存	断面長方形を呈し、各面平坦に調整。片端部折れ。逆端部中央に柄穴中心で折れ。
325	角杭	IV区3面 18号溝	59.7×2.5×2.7	柾目	一部欠損	断面不定形の角状に削り調整。細端部折れ。太端部外面一方向よりの削り。

IV区4面

番号	器種	出土位置	長さ×幅×厚さ(cm)	木取り種	遺存状態	加工形状の特徴
326	股鋤?	IV区4面 L-58G	27.1×8.0×1.1	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部折れ。逆端部折れ。一部削り面残る。
327	鋤	IV区4面 L-58G	66.5×10.1×0.5	柾目	一部欠損	表裏両面薄く削り調整。先端部表裏両面から短く削り、基部細部削り調整。
328	鋤?	IV区4面 L-59G	23.0×6.2×1.0	柾目	一部欠損	表裏両面平坦に調整。削り痕。縁部・端部は欠損。
329	柄	IV区4面 M-56G	19.5×3.1×径2.1	柾目	一部残存	二股を呈し、断面はほぼ楕円形状に外面を調整。端部は折れ。
330	榿木	IV区4面 M-58G	107.5×径2.9	柾目	一部残存	断面円形に、外面滑らかに調整。先端部折れ。逆端部分割調整。
331	板材	IV区4面 L-59G	69.7×7.1×2.5	柾目	一部残存	表裏両面凹凸を持ち調整。両端部折れ。
332	板材	IV区4面 M-56G	57.5×13.5×2.7	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部折れ。逆端部折れ。一部削り面残る。
333	板材	IV区4面 L-59G	89.5×9.0×2.4	柾目	一部残存	分割し片面はほぼ平坦。断面は凸面状を呈す。両端部折れ。
334	板材	IV区4面 C下旧河道	21.6×9.0×0.6	柾目	一部残存	半円形状を呈し、表裏両面平坦に調整。曲線面は削り調整。両直線部は折れ。
335	板材	IV区4面 L-58G	13.5×3.5×0.8	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
336	板材	IV区4面 M-58G	22.1×5.5×0.7	柾目	一部欠損	表裏両面平坦に調整。薄い板材。両木口面は平坦に分割調整。
337	板材	IV区4面 L-58G	22.5×7.2×2.2	柾目	一部残存	表裏両面凹凸を持ち調整。平らな木口側は折れ、逆木口は斜め一方向より断面平坦に削り。
338	板材	IV区4面 K-59G	17.5×6.5×2.5	柾目	一部残存	表裏両面凹凸を持ち調整。片面に斜めに溝状にえぐり、両端部折れ。
339	板材	IV区4面 L-58G	7.0×13.4×1.1	柾目	一部残存	縦長の分割調整。表裏両面平坦に削り調整。片端部断面平坦に分割調整。片面の角を取るように長い面に浴い削り一方向。逆端部同様で同一面側の角を数回にわたり削り。
340	板材	IV区4面 K-59G	26.0×6.6×1.8	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。片端部側に溝状にえぐり入る。

第2章 木器観察表

番号	器種	出土位置	長さ×幅×厚さ(cm)	木取り種	遺存状態	加工形状の特徴
341	角材	IV区4面 M-58G	13.5×6.8×3.3	榎目	一部残存	断面三角状を呈し、2面平坦に調整。両端部折れ。全体的に炭火している。
342	割材 (刀型)	IV区4面 L-58G	34.1×2.3×1.2	榎目	一部残存	断面レンズ状を呈し、外面調整。中央肥厚部は平坦に調整。先端部は刀の先状に短く削り。逆端部折れ。
343	角材	IV区4面 K-58G	102.7×10.8×6.6	榎目	一部残存	断面長方形状に各面平坦に調整。片端部折れ。逆端部断面平坦に分割。片面側からえぐり入る。
344	加工木	IV区4面 L-59G	39.8×6.3×1.7	榎目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部折れ。逆端部断面平坦に分割調整。
345	加工木	IV区4面 L-58G	23.2×3.5×1.2	榎目	一部残存	表裏平面平坦に調整。片端部断面平坦に分割調整。逆端部四角形状の柄穴。穴部から先折れ。
346	加工木	IV区4面	28.0×2.6×1.5	榎目	一部残存	断面長方形状を呈し、各面平坦に調整。両端部折れ。
347	加工木	IV区4面 L-58G	20.6×2.5×1.9	榎目	一部残存	断面四角形状を呈し、各面平坦に調整。両端部折れ。
348	加工木	IV区4面 L-58G	18.5×2.8×0.4	榎目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
349	加工木	IV区4面 L-59G	9.0×3.4×1.3	榎目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部折れ。逆端部二～三方向からの削り。
350	加工木	IV区4面 L-59G	45.9×5.4×1.1	榎目	一部残存	表裏両面に調整。片端部折れ。逆端部分割。
351	加工木	IV区4面 L-59G	35.3×3.0×2.3	榎目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。太端部分割。細端部折れ。
352	加工木	IV区4面 L-58G	32.8×5.3×2.9	榎目	一部残存	表裏凹凸を持ち調整。片端部折れ。逆端部表裏両面から削り。
353	割材	IV区4面 L-58G	30.5×4.6×1.3	榎目	一部残存	表裏両面凹凸を持ち調整。両端部分割。
354	加工材	IV区4面 L-58G	22.5×5.0×3.0	榎目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面凹凸を持ち調整。片端部折れ。逆端部分割。
355	割材	IV区4面 C下旧河道	10.2×7.5×2.0	榎目	一部残存	表裏両面凹凸多く調整。両端部は折れ。
356	加工木	IV区4面 L-60G	19.0×2.0×1.2	榎目	一部残存	棒状に外面を調整。片端部は折れ。逆端部先端細く調整。
357	加工木	IV区4面 M-58G	59.1×6.2×3.7	榎目	一部残存	断面長方形を呈し、各面角を調整。両端部は折れ。
358	用途不明 木製品	IV区4面 C下旧河道	36.4×13.0×2.5	榎目	一部欠損	平坦面なく外面を調整。片端部は断面平坦に分割調整。逆端部斜めに削り調整。

V区1面

番号	器種	出土位置	長さ×幅×厚さ(cm)	木取り種	遺存状態	加工形状の特徴
359	曲物	V区1面 5号井戸	14.0×12.3×0.4	榎目	一部残存	曲物合わせ部残存。縦方向に組紐状に残っている。

V区2面

番号	器種	出土位置	長さ×幅×厚さ(cm)	木取り種	遺存状態	加工形状の特徴
360	漆椀	V区2面 川-3	9.5×12.7×高6.7	有芯	一部残存	饅頭整形。高台高く口縁上部欠損。外面漆塗り。
361	皿	V区2面 川-2	18.0×18.0×0.5	榎目	一部残存	内外面平滑に調整。縁部短く外方に向かい立ち上がる。端部は丸く調整している。
362	板	V区2面 川-2	13.5×7.6×1.4	榎目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部一方向から裂けた状態で炭化している。逆端部は表裏両面から削り。
363	板状	V区2面 川-2	19.4×4.3×1.0	榎目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。片端部は炭化している。
364	板状	V区2面 川-3	17.0×12.5×1.3	榎目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部木口分割調整。逆端部折れ。
365	板状	V区2面 川-2	11.8×4.3×0.6	榎目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部分割状。
366	板状	V区2面 川-2	7.9×3.8×1.3	榎目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部折れ。逆端部断面直角にえぐり入る。

第2章 木器観察表

番号	器種	出土位置	長さ×幅×厚さ(cm)	木取り種	遺存状態	加工形状の特徴
367	板状	V区2面 川-2	6.7×2.4×0.4	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部分割。
368	板状	V区2面 川-2	12.0×2.9×1.0	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部分割状。
369	割材	V区2面 川-2	24.3×9.6×4.0	柾目	一部残存	みかん割り状に断面三角形を呈す。片端部は折れ。逆端部も折れているが部分的に削り痕残る。

V区3面

番号	器種	出土位置	長さ×幅×厚さ(cm)	木取り種	遺存状態	加工形状の特徴
370	なすび型 鋤	V区3面	61.0×13.3×2.4	柾目	一部欠損	表裏両面平坦に調整。先端部表裏両面から短く削り。縁部丸く調整。基部、三方向からえぐりが入る。
371	鋤	V区3面	94.3×13.2×2.7	柾目	一部残存	鋤部表裏平坦に調整。先端部は表裏両面から短く削り。縁部丸く調整。柄部断面丸く調整。先端部折れ。
372	弓	V区3面	42.5×径22.5	柾目	一部残存	断面円形状に外面調整。細端部細く削り調整。逆端部折れ。外面漆塗り。
373	砧	V区3面	41.8×径4.4 柄径3.6×3.6	柾目	一部欠損	榫部長く断面円形に外面調整。先端部折れ。基部細く断面丸く調整。端部外側に向かい斜めに太く、断面丸く調整。断面は平坦に調整。
374	砧	V区3面	16.5×径7.7	柾目	一部欠損	榫部円形に削り、先端部多方向から削り。柄部断面楕円形に調整。先端部裂け。
375	柄?	V区3面	20.5×3.6×2.8	柾目(丸木)	一部欠損	断面円形に外面調整。片端部折れ。逆端部分割。
376	建築材	V区3面	24.2×5.6×5.7	柾目	一部残存	外面不定形凹凸がある。面端部折れ。外面焼けている。
377	柄	V区3面	67.3×4.3×2.2	柾目	一部残存	断面薄いかまぼこ状に外面調整。片端部折れ。逆端部えぐり入り、握り部を作る。
378	柄	V区3面	113.8×径4.2	柾目	一部残存	断面は楕円形に外面調整。両端部折れ。
379	用途不明 木製品	V区3面	36.0×4.2×1.6	柾目	一部残存	部分的木片が残り、目釘穴6ヶ所。木片の長辺側は分割調整。
380	割材	V区3面	44.2×3.3×0.9	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
381	板	V区3面	73.8×16.6×6.0	柾目	一部残存	表裏両面凹凸を持つ。両端部折れ。
382	薄板	V区3面	17.3×3.7	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
383	用途不明 木製品	V区3面	34.5×2.5×1.2	柾目	一部残存	断面不定形に外面平坦に削り調整。両端部折れ。
384	板	V区3面	28.2×13.8×1.9	柾目	一部残存	表裏両面凹凸を持つ。両端部折れ。両端部上辺割山部炭化している。
385	用途不明 木製品	V区3面	18.5×3.8×0.3	柾目	一部残存	部分的木片が残り、目釘穴6ヶ所。木片の長辺側は分割調整。
386	樹皮製品	V区3面	21.2×8.5×0.5		一部残存	円形状を呈すると思われ、曲線部は調整している。6ヶ所に釘穴。
387	板	V区3面	37.3×5.0×2.6	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
388	杭?	V区3面	13.4×9.6×5.8	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部折れ。逆端部表裏両面側からの削り。
389	なすび型 鋤	V区4面	62.0×19.5×0.7	柾目	一部欠損	なすび形を呈し、鋤先端部は欠損。表裏平坦に削り調整。縁丸く調整。基部断面やや楕円形状を呈し、端部折れ。
390	三股鋤	V区4面	44.9×12.5×1.5	柾目	一部残存	表裏両面平坦に削り調整。先端部表裏両面からの削り調整。縁部丸く調整。基部断面長方形で角を取り調整。端部折れ。
391	二股鋤	V区4面	36.7×6.1×1.4	柾目	一部欠損	表裏両面平坦に調整。削り痕残る。先端部、縁部角を取り調整。基部は削り調整。
392	なすび型 鋤	V区4面	29.5×14.5×1.3	柾目	一部残存	なすび形を呈し、先端半分欠損。表裏両面平坦に削り調整。縁部丸く調整。基部断面楕円形を呈し、先端部折れ。
393	鋤	V区4面	59.8×13.6×1.0	柾目	一部欠損	表裏両面平坦に削り調整。先端部表面から削り調整。縁部丸く調整。基部細くなり端部分割。基部長方形状で斜め方向に穴。
394	二股鋤	V区4面	22.2×3.8×1.3	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。先端部表裏両面から短く削り。縁部丸く調整。基部折れ。

第2章 木器観察表

番号	器種	出土位置	長さ×幅×厚さ(cm)	木取り種	遺存状態	加工形状の特徴
395	なすび型鋤	V区4面	53.0×14.0×1.3	榎目	一部欠損	なすび形を呈し、鋤部表裏両面平坦に削り調整。先端部表裏両面から短い削り調整。縁丸く調整。基部断面楕円形に外面調整。
396	二股鋤	V区4面	18.2×3.4×1.5	榎目	一部残存	鋤部一部残り、先端部欠損。表裏両面平坦に調整。縁部丸く調整。
397	二股鋤	V区4面	26.2×2.5×1.6	榎目	一部残存	表裏両面平坦に調整。先端部表裏両面より削り調整。縁部丸く調整。
398	二股鋤	V区4面	28.3×11.0×1.5	榎目	一部残存	表裏両面平坦に調整。縁部丸く調整。鋤先端半部欠損。基部平坦で先端折れ。
399	角柄鋤	V区4面	100.5×13.0×2.0 径2.5	榎目	一部欠損	鋤部表裏両面平坦に調整。先端部表裏両面からの削り調整。柄部は断面楕円形を呈すが削り面が入り、やや角状を呈す。握り部断面四角形で角を取り調整。
400	鋤	V区4面	38.0×7.5×0.9	榎目	一部残存	表裏内面平坦に削り調整。縁部丸く調整。基部細く削り調整。端部折れ。
401	一本鋤	V区4面	59.0×5.5×2.2	榎目	一部残存	鋤部両面平坦に調整。先端半部欠損。柄部断面丸く調整。先端部折れ。
402	二股鋤	V区4面	63.0×5.5×1.1	榎目	一部残存	表裏両面平坦に削り調整。先端部表裏両面より削り調整。縁部削り調整。基部折れ。
403	二股鋤	V区4面	30.2×6.0×0.7	榎目	一部残存	表裏両面平坦に削り調整。縁部丸く調整。他欠損。
404	鋤	V区4面	41.0×1.9×1.3	榎目	一部欠損	表裏両面平坦に調整。先端部表裏両面から削り調整。縁部丸く調整。基部折れ。
405	二股鋤	V区4面	33.8×19.0×1.3	榎目	一部欠損	表裏両面平坦に削り調整。先端部表裏両面からの削り調整。縁部は丸く調整。基部は折れ。二股に分かれる中央部はほぼ平行である。
406	鋤	V区4面	54.9×5.1×2.0	榎目	一部残存	鋤部表裏平坦に削り調整。先端部表裏両面から削り調整。縁部丸く調整。柄部断面楕円形を呈し外面調整。端部折れ。
407	なすび型鋤	V区4面	65.5×14.3×1.4	榎目	一部欠損	表裏両面平坦に調整。先端部表裏両面から短く削り調整。縁部丸く調整。基部端部を残し細く削り。
408	鋤	V区4面	27.7×10.0×1.5	榎目	一部欠損	鋤部表裏両面平坦に調整。先端半部欠損。縁部丸く調整。柄部断面レンズ状で角を取り調整。端部折れ。
409	二股鋤	V区4面	19.4×8.0×1.3	榎目	一部残存	表裏両面平坦に削り調整。細先端部表裏両面から短く削り調整。縁部丸く調整。
410	二股鋤	V区4面	51.5×11.0×1.8	榎目	一部欠損	なすび形の中央をえぐり取った形状を呈す。鋤部表裏両面平坦に調整。先端部表裏両面から短く削り。縁丸く調整。基部折れ。
411	なすび型鋤	V区4面	61.4×11.5×1.9	榎目	一部欠損	なすび形を呈す。先端部表裏両側から短く削り。縁部丸く調整。基部角を取り調整。
412	二股鋤	V区4面	37.6×5.5×1.2	榎目	一部残存	表裏平坦に調整。先端部表裏両面から短い削り調整。縁部丸く調整。基部折れ。
413	二股鋤	V区4面	38.0×4.2×1.0	榎目	一部残存	表裏両面平坦に調整。先端部断面鋭角にきれいに削り調整。縁部丸く調整。基部楕円形状に残しえぐり入る。
414	なすび型鋤	V区4面	40.7×7.0×1.0	榎目	一部欠損	表裏両面平坦に調整。片側は直線状で逆側は曲線を描く。先端部表裏両面から短く削り。縁部は丸く調整。基部折れ。
415	二股鋤	V区4面	46.1×5.6×1.5	榎目	一部欠損	表裏両面平坦に削り調整。先端部折れ。縁丸く調整。基部折れ。
416	二股鋤	V区4面	36.3×3.6×0.9	榎目	一部残存	縁一部残存。縁丸く調整。先端、基部折れ。
417	二股鋤	V区4面	20.6×4.4×1.3	榎目	一部残存	表裏両面平坦に調整。縁部丸く調整。両端部折れ。鋤のへりの一部のみ残存。
418	横鋤	V区4面	36.3×10.8×1.6	榎目	一部残存	表裏両面細かな削り調整。縁部丸く調整。内側に内湾する。中央部内面に突起があり、突起中央に向かい斜方向の穴。穴の上に台形状のえぐり入る。
419	二股鋤	V区4面	59.6×10.6×1.9	榎目	一部欠損	表裏両面平坦に調整。先端部折れ。基部角を取り長方形に調整。端部折れ。
420	横鋤か	V区4面	40.5×15.2×5.8	榎目	一部欠損	鋤にしてはかなり厚手。両端部内側は削り残し、中央に向かい曲線状に削り。内側中央に突起があり、斜方向に四角形の穴があく。

第2章 木器観察表

番号	器種	出土位置	長さ×幅×厚さ(cm)	木取り種	遺存状態	加工形状の特徴
421	横鋏	V区4面	48.8×10.8×3.9	榎目	一部欠損	表裏両面平坦に削り調整。両端部表裏両面から削り調整。縁部丸く調整。中央内側に突起。中心面に斜めの穴。
422	横鋏	V区4面	48.2×11.0×1.1	榎目	一部欠損	表裏両面細かく平坦に調整。内側に向かい内湾している。縁部丸く調整。内側に突起があり、突起中央に柄の装着用に斜方向に穴があく。
423	横鋏	V区4面	45.3×9.5×2.0	榎目	一部欠損	表裏両面平坦に薄く削り調整。内側へ内湾する両端部は表裏両面から短い削り。内側中央部に突起があり斜め方向の円形の穴があく。
424	横鋏	V区4面	45.5×10.0×1.0	榎目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片側は欠損。残存端部表裏両面から軽く削り調整。中央部丸く突起。中央に柄装着用の穴。
425	横鋏	V区4面	45.2×10.4×2.0	榎目	一部欠損	鋏先部、表裏平坦に調整。中央部のみ残存。中央に貫穴。穴の周囲は突起している。柄部断面楕円形に外面調整。両端部折れ。柄の一部と穴の一部にアタリ痕。
426	柄	V区4面	96.5×4.8×3.3	榎目	一部残存	断面不定形で外面凹凸多い。細端部折れ。逆端部はやや太くなり握り状に太く残るが、削り痕は不明。
427	柄(弓?)	V区4面	103.2×4.0×2.5	榎目	一部欠損	断面長方形を呈し、角を丸く外面調整。片端部削り調整。逆端部出柄状に両側から削り調整。柄先端部に釘穴。
428	柄	V区4面	76.0×3.3×2.0	榎目	一部残存	みかん割り状の断面三角形を呈し、外面各面平坦に調整。両端部折れ。
429	柄	V区4面	62.1×径3.7	榎目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。片端部丸く調整。逆端部折れ。
430	柄	V区4面	83.9×4.5×2.0	榎目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。先端部丸く調整。逆端部折れ。
431	柄	V区4面	81.5×4.8×3.7	榎目	一部欠損	断面四角形状を呈し、角を丸く調整。片側端部はえぐり状に削り丸く調整している。逆端部は折れ。
432	柄	V区4面	83.5×3.3×3.0	榎目	一部残存	断面四角形状を呈し、角を取り外面調整。片端部一方向から斜めに分割。逆端部折れ。
433	柄	V区4面	83.1×4.2×2.5	榎目	一部残存	断面長方形を呈し、角を取り外面調整。片端部分割。逆端部折れ。
434	柄	V区4面	20.5×2.7×2.5	榎目	一部残存	断面円形に外面調整。両端部折れ。
435	柄	V区4面	25.6×3.0×3.3	榎目	一部残存	断面四角形の角材。各面平坦に調整。片端部一方向から斜めに平らに削り。逆端部折れ。
436	柄	V区4面	32.4×2.8×2.6	榎目	一部残存	断面レンズ状で角を取り調整。両端部折れ。
437	柄	V区4面	90.0×6.5×2.3	榎目	一部残存	板状で表裏両面平坦に調整。片端部折れ。逆端部削り。縁にえぐり入る。
438	柄	V区4面	97.8×4.5×2.2	榎目	一部残存	断面レンズ状で角を取り外面調整。片端部丸く調整。逆端部折れ。
439	柄	V区4面	91.8×径3.8	榎目	一部欠損	断面楕円形を呈し、外面調整。両端部分割。
440	柄	V区4面	52.5×2.4×1.0	榎目	一部残存	断面平板状を呈し、角を取り丸く調整。両端部折れ。
441	柄	V区4面	50.5×3.7×2.2	榎目	一部残存	断面不定形に角を持ち外面調整。両端部折れ。
442	柄	V区4面	56.0×径3.1	榎目	一部残存	断面ほぼ円形に外面調整。片端部折れ。逆端部丸く調整。
443	鎌の柄	V区4面	32.4×径2.2	榎目	一部残存	断面不定円形に外面調整。片端部折れ。逆端部握り状に片方向から三角形状に削り調整。
444	柄	V区4面	30.5×3.7×1.7	榎目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。カーブしている。両端部折れ。
445	柄	V区4面	28.8×2.8×2.4	榎目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。端部曲がり分割。逆端部折れ。
446	柄	V区4面	20.0×9.5×1.4	榎目	一部残存	柄握り部残存。四角形の穴。握り部は断面やや長方形に角を丸く調整。柄部は断面楕円形状に調整。
447	柄	V区4面	54.5×5.2×3.4	榎目	一部残存	断面不定形を呈し、外面調整。太端部丸く調整。逆端部折れ。
448	柄	V区4面	37.2×8.8×4.9	榎目	一部残存	みかん割り状の断面の割材。外面調整。片端部折れ。逆端部斜めの方向に分割。削り、分割面火を受けて焼けている。

第2章 木器観察表

番号	器種	出土位置	長さ×幅×厚さ(cm)	木取り種	遺存状態	加工形状の特徴
449	柄	V区4面	44.4×径2.7	榎目	一部残存	断面楕円形に外面調整。片端部先端を丸く削り調整。逆端部折れ。
450	柄	V区4面	56.8×径3.8	榎目	一部残存	断面ほぼ円形を呈し、外面調整。片端部折れ。逆端部削り痕。
451	柄	V区4面	18.9×3.3×1.3	榎目	一部残存	断面レンズ状で角を取り外面調整。片端部丸く調整。逆端部折れ。
452	柄	V区4面	14.6×3.5×2.0	榎目	一部残存	断面不定形の角状を呈し外面調整。片端部折れ。逆端部一面からえぐり入れ丸く削り調整。
453	柄	V区4面	41.5×径2.0	榎目	一部残存	断面楕円形に外面調整。先端は横に開く。両端部折れ。柄側先端折れ。
454	柄	V区4面	31.5×2.1×1.6	榎目	一部残存	断面楕円形に外面調整。細端部は長方向からの削り調整。太端部折れ。
455	柄	V区4面	24.2×径2.5×5.0 先端幅7.0	榎目	一部欠損	断面円形に外面調整。細端部は両側二方向から削り調整。太端部は断面円形に外面調整。両端部平坦に調整。
456	柄	V区4面	107.0×4.7×1.7	榎目	一部欠損	断面長方形状を呈し、外面角を取り調整。片端部2ヶ所に貫穴。逆端部折れ。
457	柄	V区4面	44.5×1.9×1.6	榎目	一部残存	断面楕円形状に角を丸く外面調整。片端部太刀の先状に削り調整。逆端部折れ。
458	柄	V区4面	60.7×径2.8	榎目	一部残存	断面円形に外面調整。片端部折れ。逆端部一方より削り調整。
459	柄	V区4面	13.4×2.4×1.5	榎目	一部残存	断面四角形で角を丸く外面調整。両端部折れ。
460	柄	V区4面	36.2×2.6×1.6	榎目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面凹凸多い。両端部折れ。
461	柄	V区4面	14.0×2.2×2.1	榎目	一部残存	断面円形に外面調整。柄の端部は円形に丸く強くしてある。端部外面は平坦に調整。逆端部折れ。
462	柄	V区4面	27.7×2.0×0.7	榎目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部分割。逆端部一方よりの削り。
463	柄	V区4面	28.5×4.0×2.0	榎目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部分割。逆端部折れ。
464	柄	V区4面	38.3×径4.8	榎目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。片端部分割。逆端部折れ。
465	柄	V区4面	40.4×径3.1	榎目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。片端部分割。逆端部折れ。
466	柄	V区4面	32.5×2.5×1.0	榎目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。片端部丸く分割調整。逆端部折れ。
467	柄	V区4面	52.6×3.1×2.5	榎目	一部残存	断面楕円形に外面調整。片端部折れ。逆端部近くえぐり入り細くなる。
468	柄	V区4面	43.9×径2.1	榎目	一部残存	断面形を呈し、外面調整。片端部折れ。逆端部削り調整。
469	柄	V区4面	45.1×3.5×2.3	榎目	一部残存	断面楕円形で外面調整。両端部分割。
470	柄	V区4面	38.5×径3.5	榎目	一部残存	断面レンズ状で角を取り外面調整。片端部丸く削り調整。逆端部折れ。
471	柄	V区4面	67.8×3.5×2.0	榎目	一部欠損	断面レンズ状で角を丸く外面調整。両端部片方向からの削り調整。
472	柄	V区4面	24.9×2.4×1.8	榎目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。片端部は削り痕残る分割。逆端部折れ。
473	ラケット型木製品	V区4面	70.2×38.4×2.2	榎目	一部欠損	断面楕円形状に円形になる。全周する可能性があるが接統点は欠損。基部先端。
474	丸木弓	V区4面	78.0×2.2×3.0	榎目	一部残存	断面四角形状に角を取り外面調整。しなっている。片端部折れ。逆端先端部は左右両側から出納状に調整。
475	丸木弓	V区4面	26.0×2.0×1.2	榎目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。片端部折れ。逆端部出納状に削り調整。
476	矢先	V区4面	10.6×0.7×0.7	榎目	一部残存	柄に段を持ち先端に向かい細く調整。先端部は尖る。基部出納状に段を持ち、先端部折れ。
477	砧	V区4面	47.5×11.3×7.5	榎目	一部欠損	穂部断面円形で外面削り痕残る。先端部は中央部がややへこむ。柄は断面円形で外面調整。先端部折れ。
478	竪杵	V区4面	51.7×径10.3	榎目	一部欠損	断面円形を呈し、外面調整。先端部はやや凸面状を呈す。柄部は断面円形状を呈し外面調整。
479	竪杵	V区4面	87.0×径11.5	榎目	ほぼ完形	中央部断面丸く外へ向かい外面滑らかに調整。外面削り調整。両端平らに調整。

第2章 木器観察表

番号	器種	出土位置	長さ×幅×厚さ(cm)	木取り種	遺存状態	加工形状の特徴
480	竪杵	V区4面	68.0×径8.0	柾目	一部欠損	断面円形で両端部に向かい太くなる。両端部凸面状を呈す。中央握り部欠損。
481	竪杵	V区4面	53.0×径10.5	柾目	一部欠損	断面丸く外面調整。先端部ほぼ平坦に調整。基部細く断面丸く調整。基部先端折れ。
482	艘	V区4面	81.3×19.0×2.3	柾目	一部欠損	深さ3cmで曲線となり握手は下へ下がる。内外面削り調整。握手部削り調整。
483	砧	V区4面	23.2×7.2	柾目	槌部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。先端部平坦に調整。柄部欠損。両端部火を受け焼けている。
484	砧	V区4面	40.0×9.7×7.4	柾目	一部欠損	断面楕円形に外面調整。先端部ややゆがみ調整。基部細く削り調整。先端部折れ。
485	砧	V区4面	23.0×径6.2	柾目	完形	槌部先端が太く基に向かいやや細くなる。断面円形に外面削り調整。先端部は平坦に調整。柄は断面円形を呈し外面調整。基端部多方向からの削り調整。
486	盆	V区4面	48.0×8.2×5.4	柾目	一部残存	内外面滑らかに調整。外側底部平らに調整し、端部斜めに立ち上がる。端部は分割調整。内側は中央部に向かい低く調整。
487	盆	V区4面	19.7×8.6×4.6	柾目	一部残存	平面形は曲線状に外面を調整。端部は折れ。
488	盆	V区4面	53.0×21.1×1.5	柾目	一部残存	表裏両面平坦に削り調整。内側方形状に平らに削り込んでいる。両端部分割。削り調整。裏面長辺方向に片側だけ断面四角形状の脚台がある。
489	盆	V区4面	47.7×10.2×9.7	柾目	一部残存	長方形の長辺側一部残り、内面方形状に平に削り調整。裏面両側に同形で変形の四方形の足が付く。
490	盆	V区4面	59.5×15.5×1.7	柾目	一部欠損	ほぼ平坦で中央部やや盛り上がる。これを境に左右2ヶ所に分かれる。表裏両面削り調整。両端部握手状に分割。削り調整。
491	盆	V区4面	47.5×16.0×1.7	柾目	一部残存	内外面滑らかに調整。内面中央に向かい低く調整。端部は直線状に分割調整。端部厚く削り残して作る。外面脚と思われる突起が2ヶ所。端部丸く調整している。
492	盆	V区4面	73.2×12.8×1.7	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。表面方形状に平坦に削り。両端部把手部は斜方向に向かい分割。
493	台	V区4面	24.0×16.0×5.0	柾目	一部欠損	厚く表裏凹凸多い。両端部分割。
494	盆	V区4面	11.5×15.1×3.0	柾目	一部残存	盆の把手部残り。内側に向かい低く削り調整。3面の縁丸く調整。
495	刀型	V区4面	51.7×4.2×1.1	柾目	一部残存	断面刀の刃状を呈し、表裏両面平坦に調整。細端部刀の先状に削り調整。基部折れ。
496	特殊木器	V区4面	36.5×3.7×1.5	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部折れ。逆端部は両木端側から斜め中心に向かい削り。
497	特殊木製品	V区4面	13.4×4.0×5.0	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部出柄。逆端部折れ。
498	楔	V区4面	15.5×2.3×1.5	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部片面方向よりに削り。逆端部折れ。
499	楔	V区4面	15.1×3.4×2.5	柾目	一部欠損	断面台形で先端部に向かい細く調整。台形長辺部は平坦に調整。
500	楔	V区4面	15.0×2.5×1.8	柾目	一部残存	断面不定形を呈し、角を取り調整。片端部折れ。逆端部削り調整。
501	楔	V区4面	18.2×3.0×15.0	柾目	一部欠損	断面レンズ状に外面削り。先端部両面から削り調整薄くなる。逆端部折れ。
502	楔	V区4面	23.5×2.7×1.3	柾目	一部欠損	表裏両端平坦に調整。細端部削り調整。太端部折れ。
503	楔	V区4面	8.3×8.8×2.6	柾目	一部残存	表面端部に斜め方向に分割。表面調整不明。逆端部折れ。
504	楔	V区4面	11.0×3.5×2.5	柾目	一部残存	断面不定形で面取りしている。先端部削り調整。逆端部折れ。
505	機織具	V区4面	27.7×3.0×1.1	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部折れ。逆端部両端側から短くえぐり、表裏両面側から当たり状に凹む。端部は平端に調整。全体的に平滑に面を調整。
506	機織具	V区4面	52.9×4.2×2.1	柾目	一部欠損	表裏両面平滑に調整。両端部共に上下木端側からえぐり入り、端部平坦に調整。
507	機織具	V区4面	45.6×4.1×1.5	柾目	一部欠損	表裏両面平坦に調整。片端部折れ。両木端側からえぐり入り、端部は断面直角に削り入る。先端部は円形の柄穴中央部で折れ。

第2章 木器観察表

番号	器種	出土位置	長さ×幅×厚さ(cm)	木取り種	遺存状態	加工形状の特徴
508	梯子	V区4面	69.5×13.5×9.0	榎目	一部残存	梯子2段部分残る。突起部上方平坦で下方は曲線状に削り入る。両端部折れ。縦方向に割れている。
509	梯子	V区4面	253.3×13.3×9.5	榎目	一部欠損	表面6ヶ所に渡り下に平坦面を作り上からえぐり入る。裏面平坦に削り調整。両端部は折れ。
510	梯子	V区4面	76.0×15.0×9.0	榎目	一部残存	板状の形を呈し、外面凹凸が多い。やや曲線状で片面側からえぐり。片端部は分割。逆端部折れ。
511	梯子	V区4面	212.0×11.5×5.0 径15.0	榎目	一部欠損	表面5ヶ所にえぐり昇降の平面を片側に作る。上端部折れ。下端部分割。裏面は粗い調整。凹凸あり。
512	扉板	V区4面	84.6×12.4×3.0	榎目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部相欠きが入ると思われる。両端部折れ。
513	扉板	V区4面	93.2×12.3×10.5	榎目	一部残存	断面L字形に外面各面平坦に調整。一部溝状にえぐり入る。両端部折れ。
514	扉板	V区4面	112.4×13.8×6.3	榎目	一部残存	表裏両面平坦に調整。中央部を残し両端部と同じ木端部から相欠き。両端部の先端部は折れ。
515	丸柱	V区4面	84.5×4.0×2.0	榎目	一部欠損	断面四角形で角を丸く外面調整。両端部丸く削り調整。
516	丸柱	V区4面	180.0×径4.5	榎目	一部欠損	断面不定円形に外面調整。細端部折れ。太端部斜め方向の削り痕残る。
517	柱材	V区4面	179.8×9.9×7.3	榎目(割材)	一部残存	断面不定形の割材。太端部は削り痕残る。細端部折れ。
518	柱材	V区4面	151.0×径7.1	榎目	一部欠損	断面不定円形に外面調整。細端部折れ。太端部折れ。一部削り痕状。
519	樹皮製品	V区4面	①11.7×6.5×0.5 ②7.2×6.6×0.5		一部残存	①1ヶ所直角を持ち切断。縁部片面側から削り。釘穴2ヶ所。 ②1ヶ所直角を持ち切断。縁部片面側から削り。釘穴3ヶ所。
520	丸柱材	V区4面	170.5×5.0×4.0	榎目	一部欠損	断面不定形を呈し、やや歪んでいる。太端部折れ。細端部分割。
521	丸柱	V区4面	170.3×6.6×4.4	榎目	一部欠損	断面楕円形に外面調整。太端部丸く調整。細端部先端細く削り調整。
522	丸柱	V区4面	103.5×10.3×4.5	榎目	一部残存	丸木の2分割状で外面凹凸多い。片端部分割。逆端部折れ。
523	丸柱材	V区4面	256.1×6.1×4.1	榎目	一部欠損	断面不定円形で凹凸多い。細端部削り痕。太端部折れ。えぐり入る。
524	丸柱	V区4面	206.3×径10.0	榎目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。両端部折れ。
525	丸柱	V区4面	198.5×径7.2	榎目	一部残存	断面不定円形に外面調整。片端部削り出している。逆端部折れ。
526	丸柱	V区4面	221.0×径9.0	榎目	一部残存	断面不定円形で外面凹凸多い。両端部折れ。片端部は火を受けて焼けている。
527	丸柱	V区4面	79.3×5.2×3.2	榎目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。両端部折れ。両端部共に火を受けて焼けている。
528	丸柱	V区4面	173.4×径7.2	榎目	一部残存	断面円形に外面調整。両端部折れ。
529	丸柱	V区4面	236.3×径5.5	榎目	一部残存	断面円形で外面凹凸多い。細端部折れ。太端部方向より削り。
530	丸柱	V区4面	216.2×径4.0	榎目	一部残存	断面不定円形を呈し、外面太端部側を主に調整。太端部は丸く削り調整。逆端部折れ。
531	丸柱	V区4面	35.6×8.1×3.5	榎目	一部残存	縦に2分割し、断面半円形を呈し外面調整。両端部折れ。
532	丸柱	V区4面	167.6×径7.7	榎目	一部残存	断面円形に外面調整。両端部折れ。
533	丸柱	V区4面	140.0×6.0	榎目	一部残存	断面円形状に外面凹凸多い。両端部折れ。
534	丸柱	V区4面	137.9×径6.5	榎目	一部残存	断面不定形の円形を呈し、外面調整。両端部折れ。
535	丸柱	V区4面	163.9×6.2×5.2	榎目	一部残存	断面楕円形状にやや曲線状を描き、外面調整。片端部斜方向に分割。逆端部折れ。
536	柱?	V区4面	101.3×12.3×2.4	榎目	一部残存	断面半円形で2つ割状の材。外面調整。中央付近に長方形の穴。片端部折れ。逆端部分割。
537	丸柱	V区4面	165.3×径8.2	榎目	一部残存	断面不定円形で凹凸多い。太端部折れ。細端部削り。
538	丸柱	V区4面	253.9×8.0×4.1	榎目	一部残存	断面不定円形で凹凸多い。細端部先端削り痕。太端部折れ。
539	丸柱	V区4面	136.5×径5.7	榎目	一部残存	断面楕円形に外面調整。両端部折れ。
540	柱材	V区4面	87.8×7.8×8.0	榎目	一部残存	断面円形に外面凹凸多い。片端部折れ。逆端部多方向より削り。

第2章 木器観察表

番号	器種	出土位置	長さ×幅×厚さ(cm)	木取り種	遺存状態	加工形状の特徴
541	丸柱	V区4面	108.2×径5.3	柾目	一部欠損	断面ほぼ円形に外面調整。両端部折れ。片端部側えぐり入る。
542	丸柱	V区4面	150.0×径8.0	柾目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面凹凸多い。両端部折れ。
543	柱材	V区4面	13.6×5.0×2.3	柾目	一部欠損	断面不定円形に外面調整。中央部は二股に残る。両端部折れ。
544	丸柱	V区4面	64.5×径7.6	柾目	一部残存	断面楕円形を呈し凹凸多い。両端部折れ。
545	丸柱	V区4面	25.8×径6.2	柾目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面凹凸多い。両端部折れ。
546	丸柱	V区4面	196.5×径12.2	柾目	一部残存	断面不定楕円形に凹凸多い。両端部折れ。
547	丸柱	V区4面	129.3×13.0×6.0	柾目	一部残存	断面四角形を呈し、外面調整。片端部分割。逆端部折れ。
548	丸柱	V区4面	95.0×6.0×6.1	柾目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。両端部折れ。
549	丸柱	V区4面	99.6×7.6×5.0	柾目	一部残存	断面不定形で外面凹凸多い。両端部折れ。
550	丸柱	V区4面	54.5×径7.1	柾目	一部残存	断面楕円形を呈し外面凹凸多い。片端部削り調整。逆端部折れ。
551	丸柱	V区4面	74.5×径6.0	柾目	一部残存	断面不定円形で凹凸多い。やや歪んでいる。両端部折れ。
552	角柱	V区4面	170.0×8.0×7.0	柾目	一部欠損	みかん割り状のまま外面凹凸多い。両端部削り調整。
553	角柱	V区4面	147.0×8.0×6.5	柾目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。片端部相欠き状に削り入る。逆端部折れ。
554	角柱	V区4面	158.6×2.8×6.1	柾目	一部残存	断面四角形を呈し、外側各面平坦に調整。両端部折れ。
555	角柱	V区4面	101.3×9.9×6.2	柾目	一部残存	断面不定形の角材。外面調整。両端部分割。細端部一部炭化している。
556	角柱	V区4面	185.6×7.9×5.4	柾目	一部残存	断面不定四角形を呈し、各面平坦に調整。片端部折れ。逆端部出柄状に削り調整。
557	角柱	V区4面	176.5×8.5×3.5	柾目	一部残存	断面長方形を呈し、角を取り外面調整。片端部分割。逆端部折れ。
558	角柱	V区4面	171.3×10.6×4.2	柾目	一部残存	断面長方形状を呈し、外面調整。片端部分割。逆端部折れ。
559	角柱	V区4面	181.1×6.7×5.8	柾目	一部残存	断面長方形状で角を取り調整。各面平坦に調整。太端部折れ。細端部削り。
560	角柱	V区4面	186.9×5.1×4.1	柾目	一部残存	断面不定形の角状に調整。両端部折れ。
561	角柱材	V区4面	23.5×4.4×7.4	柾目	一部残存	断面四角形状に外面凹凸多い。片端部折れ。逆端部分割。
562	角柱	V区4面	190.3×8.3×4.9	柾目(割材)	一部残存	角は丸く凹凸多く調整。両端部分割。
563	角柱	V区4面	88.8×7.5×5.4	柾目	一部残存	断面不定四角形に外側各面平坦に調整。片端部一面から斜めに一方方向の分割調整。逆端部折れ。
564	角柱	V区4面	169.7×5.3×8.2	柾目	一部残存	断面不定角形で角がある。外面調整。片端部折れ。逆端部太く削り残しており、端部四角形に穴。
565	角柱	V区4面	82.2×7.4×5.1	柾目	一部残存	断面長方形を呈し、角を丸く外面調整。太端部分割。角を丸く削り調整。逆端部折れ。
566	角柱	V区4面	84.6×5.5×3.7	柾目	一部残存	断面四角形を呈し、角を取り外面調整。片端部分割。逆端部折れ。
567	割柱	V区4面	174.5×11.8×5.1	柾目	一部残存	断面四角形状に各面平坦に調整。太端部斜めに削り。細端部折れ。
568	角材	V区4面	47.5×3.4×3.3	柾目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。両端部折れ。
569	角材	V区4面	23.5×3.5×1.5	柾目	一部残存	みかん割り状の角材。各面平坦に調整。両端部折れ。
570	角材	V区4面	29.1×5.6×4.5	柾目	一部残存	みかん割り状。断面三角形形状を呈し、表裏両面平坦に調整。片端部表裏両面側から数ヶ所に削り調整。
571	角材	V区4面	26.0×3.7×3.7	柾目	一部残存	断面四角形を呈し、角を取り丸く外面調整。両端部折れ。
572	角材	V区4面	44.0×4.0×4.4	柾目	一部残存	断面四角形で各面平坦に調整。両端部分割。
573	角材	V区4面	37.7×4.6×3.0	柾目	一部残存	断面みかん割状の角材。太端部折れ。細端部削り調整。
574	角材	V区4面	15.7×8.1×3.4	柾目	一部残存	みかん割状の断面三角形を呈し、各面平坦に調整。片端部平坦に分割。逆端部斜めに分割。
575	角材	V区4面	11.5×7.6×3.7	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。片木端部に断面直角状にえぐり入る。
576	角材	V区4面	43.9×6.9×3.2	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
577	角材	V区4面	36.2×4.7×2.5	柾目	一部残存	断面不定形で外面調整。片端部斜方向の分割。逆端部折れ。

第2章 木器観察表

番号	器種	出土位置	長さ×幅×厚さ(cm)	木取り種	遺存状態	加工形状の特徴
578	角材	V区4面	22.3×6.5×4.0	榎目	一部残存	断面四角形状を呈し、外面調整。両端部折れ。
579	角材	V区4面	29.5×5.0×2.8	榎目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
580	角材	V区4面	10.9×5.7×3.5	榎目	一部残存	みかん割り状に断面三角形を呈し、片端部両面から削り調整。逆端部折れ。削り痕残る。
581	角材	V区4面	22.2×2.5×2.3	榎目	一部残存	断面不定形な四角形を呈し、各面平坦に調整。両端部折れ。
582	角材	V区4面	30.5×5.7×4.0	榎目	一部残存	断面四角形で角を取り外面調整。片端部分割。逆端部折れ。
583	角材	V区4面	32.4×2.4×0.9	榎目	一部欠損	断面レンズ状に角丸く外面調整。中央部欠損するが両端部表裏二方向からの削り調整。
584	角材	V区4面	24.3×3.1×2.2	榎目	一部残存	断面長方形を呈し、角を取り外面調整。両端部折れ。
585	角材	V区4面	25.0×3.8×1.8	榎目	一部残存	断面長方形で角を取り外面調整。表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
586	角材	V区4面	16.3×5.3×2.5	榎目	一部残存	断面不定角形を呈し、外面凹凸少ない。両端部折れ。片端部火を受け焼けている。
587	角材	V区4面	32.2×5.0×2.4	榎目	一部残存	表裏両面平坦に調整。太端部折れ。細端部分割。
588	角材	V区4面	20.4×3.2×2.4	榎目	一部残存	断面四角形に各面平坦に調整。両端部折れ。
589	角材	V区4面	30.3×3.0×1.8	榎目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
590	角材(柱)	V区4面	123.8×8.2×5.2	榎目	一部残存	みかん割り状に断面不定三角形形状を呈する。片端部折れ。逆端部分割。
591	角材	V区4面	137.4×3.5×3.2	榎目	一部残存	断面不定四角形状で各面平坦に調整。両端部折れ。
592	角材	V区4面	133.5×7.0×5.1	榎目	一部残存	断面四角形状で角を丸く調整。各面平坦に調整。両端部折れ。
593	角材	V区4面	57.5×8.2×6.8	榎目	一部残存	断面不定形状を呈し、外面調整。両端部折れ。
594	角材	V区4面	87.0×6.5×3.7	榎目	一部残存	断面長方形で角を取り外面調整。両端部折れ。
595	角材	V区4面	82.5×3.0×2.8	榎目	一部残存	断面不定円形に外面調整。両端部折れ。
596	角材	V区4面	29.6×5.0×3.0	榎目	一部残存	やや湾曲して、外面全体に火を受け焼けている。
597	角材	V区4面	125.0×3.7×3.1	榎目	一部残存	断面四角形状を呈し、外面各面平坦に調整。片端部斜方向の分割。逆端部折れ。
598	角材	V区4面	119.0×7.5×3.5	榎目	一部残存	断面四角形を呈し、角を取り外面調整。両端部折れ。
599	角材	V区4面	104.3×4.6×2.5	榎目	一部残存	断面四角形状に各面平坦に調整。片端部折れ。逆端部分割。
600	角材	V区4面	19.0×11.2×4.1	榎目	一部残存	断面四角形状で外面凹凸多い。両端部折れ。
601	角材	V区4面	60.0×4.4×3.0	榎目	一部残存	断面長方形を呈し、外面調整。凹凸多い。両端部折れ。
602	角材	V区4面	33.6×5.1×3.0	榎目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
603	割材	V区4面	16.0×7.1×3.7	榎目	一部残存	みかん割り状の断面三角状を呈し、外面凹凸多い。両端部分割。
604	角材	V区4面	55.7×4.0×3.3	榎目	一部残存	断面四角形を呈し、外面調整。片端部分割。両端部折れ。
605	割材	V区4面	13.5×5.0×2.2	榎目	一部残存	みかん割り状の断面三角形状を呈し、表裏両面平坦に調整。片端部斜め方向の分割。逆端部折れ。
606	割材	V区4面	27.8×5.9×2.0	榎目	一部残存	表裏両面凹凸多い。両端部折れ。
607	割材	V区4面	14.2×8.7×3.0	榎目	一部残存	断面レンズ状を呈し、表裏両面弱く凸面を呈し調整。レンズの両角部を縦に切り落とした様な器形。両端部分割。
608	角材	V区4面	81.5×5.5×5.0	榎目	一部残存	断面不定形の角材。各面は平坦に調整。両端部折れ。
609	角材	V区4面	142.1×19.6×7.7	榎目	一部残存	丸木を2分割状で断面半円形を呈し、外面凹凸多い。両端部折れ。
610	割材	V区4面	65.5×11.0×7.0	榎目	一部残存	不定形に平坦面を作る。両端部折れ。
611	割材	V区4面	77.0×11.3×7.2	榎目	一部残存	外面凹凸多い。両端部折れ。
612	割材	V区4面	27.8×1.9×1.3	榎目	一部残存	断面不定形を呈し外面調整。両端部折れ。
613	割材	V区4面	27.5×4.2×1.8	榎目	一部残存	2分割割り材。断面半円形を呈し外面調整。両端部折れ。
614	割材	V区4面	63.4×2.9×1.3	榎目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。両端部折れ。
615	割材	V区4面	21.8×3.4×1.0	榎目	一部残存	断面角形を呈し、外面調整。両端部折れ。
616	割材	V区4面	15.7×2.3×0.6	榎目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
617	割材	V区4面	19.5×4.9×2.1	榎目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部一方向から削り調整。逆端部折れ。
618	割材	V区4面	40.0×9.0×5.0	榎目	一部残存	断面不定形を呈す。細端部折れ。太端部一方向よりの分割。

第2章 木器観察表

番号	器種	出土位置	長さ×幅×厚さ(cm)	木取り種	遺存状態	加工形状の特徴
619	割杭	V区4面	130.6×9.7×4.2	柾目	一部残存	断面半円形の割材。両端部は裂け。
620	割材	V区4面	33.0×8.4×3.1	柾目	一部残存	断面半円形を呈し、外面調整。丸木の外面を残した割り材状。両端部折れ。
621	分割材	V区4面	60.0×20.0×5.5	柾目	一部残存	外面調整不明。両端部分割。
622	割材	V区4面	29.0×3.0×2.2	柾目	一部残存	みかん割り状割材。外面平坦に調整。両端部折れ。
623	割材	V区4面	27.9×5.3×2.7	柾目	一部残存	断面不定楕円形を呈し、凹凸多い。両端部折れ。
624	割材	V区4面	39.5×6.1×3.4	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部折れ。逆端部表裏両面から削り調整。
625	割材	V区4面	56.0×8.0×6.0	柾目	一部残存	みかん割り状の断面三角形を呈し、外面凹凸多い。両端部折れ。
626	建築材	V区4面	64.8×14.7×2.0	柾目	一部欠損	表裏両面平坦に調整。両木口分割。2ヶ所に長方形の枿穴。
627	割材	V区4面	25.7×6.2×1.0	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部斜めに分割。
628	割材	V区4面	110.5×6.2×2.0	柾目	一部残存	断面半円形を呈し、外面調整。丸木の縁部を分割した状態である。両端部折れ。
629	割材	V区4面	25.0×4.2×2.5	柾目	一部残存	断面不定形の角材。各面は平坦に調整。両端部折れ。
630	加工材	V区4面	16.8×2.2×1.1	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。目釘穴3ヶ所。両端部折れ。
631	加工材	V区4面	17.9×2.5×0.9	柾目	一部欠損	表裏両面平坦に調整。片端部平面三角形に削り調整。逆端部折れ。
632	加工材	V区4面	19.0×7.5×2.5	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。柾目に直行して短い。片端部片側から斜めに数回の分割。逆端部に4ヶ所、えぐり状に削り入る。
633	加工材	V区4面	6.5×2.7×0.6	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部折れ。逆端部表裏両面側から短く削り。
634	加工材	V区4面	61.7×2.3×2.3	柾目	一部残存	断面不定形の角状を呈し、各面を平坦に調整。両端部折れ。
635	加工材	V区4面	12.6×12.4×1.4	柾目	一部残存	表裏面調整。周囲は裂け。
636	加工材	V区4面	20.7×5.0×2.3	柾目	一部残存	両端部折れ。一方向からの削りが強く数ヶ所に入る。
637	二股材	V区4面	85.7×3.6×2.8	柾目	一部残存	断面ほぼ円形に凹凸多い。先端二股に分かれる。両端部折れ。
638	二股木	V区4面	40.2×径5.2	柾目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。途中で二股に分かれる。三端部折れ。片側先端部火を受け焼けている。
639	加工材	V区4面	75.6×6.7×2.0	柾目	一部残存	表裏両面凹凸多い。歪んでいる。両端部折れ。
640	加工材	V区4面	30.9×4.1×1.6	柾目	一部残存	断面カマボコ状を呈し、外面調整。両端部折れ。
641	榿木	V区4面	73.5×径2.9	柾目(丸木)	一部残存	断面ほぼ円形を呈し、外面調整。両端部折れ。
642	榿木	V区4面	71.0×径2.9	柾目	一部残存	断面楕円形。外面調整。両端部折れ。
643	榿木	V区4面	235.0×径3.6	柾目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。両端部折れ。
644	榿木	V区4面	116.2×径6.2	柾目	一部残存	断面長方形で角を丸く調整する。表裏面平坦に調整する。両端部折れ。
645	榿木	V区4面	110.0×径2.4	柾目	一部残存	断面円形を呈し、外面調整。両端部折れ。
646	榿木	V区4面	127.0×径3.4	柾目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。両端部折れ。
647	榿木	V区4面	77.8×2.3×0.7	柾目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。片端部折れ。逆端部丸く調整。
648	榿木	V区4面	163.3×4.3×3.8	柾目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。両端部折れ。
649	榿木	V区4面	154.4×径4.6	柾目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。両端部分割。
650	榿木	V区4面	149.8×径3.5	柾目	一部残存	断面ほぼ円形。外面調整。両端部共斜方向に分割。
651	榿木	V区4面	146.9×3.5×2.5	柾目	一部残存	断面ほぼ円形。外面調整。両端部折れ。
652	榿木	V区4面	132.8×5.0×4.8	柾目	一部残存	断面ほぼ円形。外面調整。片端部折れ。逆端部細かく削り調整。
653	榿木	V区4面	128.8×径4.0	柾目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。歪んでいる。両端部折れ。
654	榿木	V区4面	68.2×径3.5	柾目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面凹凸多い。両端部折れ。
655	榿木	V区4面	102.3×径3.8	柾目	一部残存	断面ほぼ円形を呈し、外面調整。片端部分割。逆端部折れ。
656	榿木	V区4面	127.8×5.8×1.8	柾目	一部残存	平らな板状に、表裏調整。両端部折れ。
657	榿木	V区4面	138.6×3.0×2.6	柾目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。両端部折れ。
658	榿木	V区4面	120.0×径4.4	柾目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。片端部折れ。逆端部削り調整。
659	榿木	V区4面	62.9×2.1×1.7	柾目	一部残存	断面不定円形に外面調整。両端部折れ。
660	榿木	V区4面	56.0×2.5×1.6	柾目	一部残存	断面楕円形。外面調整。両端部折れ。

第2章 木器観察表

番号	器種	出土位置	長さ×幅×厚さ(cm)	木取り種	遺存状態	加工形状の特徴
661	榧木	V区4面	57.5×径2.5	榎目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。両端部折れ。
662	榧木	V区4面	132.8×径3.6	榎目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。両端部折れ。
663	榧木	V区4面	65.7×4.3×3.0	榎目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。両端部折れ。
664	榧木	V区4面	107.5×4.2×2.7 径3.4	榎目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。片端部折れ。逆端部分割。
665	榧木	V区4面	116.7×径2.7	榎目(丸木)	一部欠損	断面円形に外面調整。太端部角を取るよう短かく削り、細端部削りがこまかく尖っている。
666	榧木?	V区4面	107.1×径3.9	榎目	一部残存	断面ほぼ円形に外面調整。両端部折れ。
667	榧木	V区4面	119.0×3.4	榎目	一部欠損	断面円形に外面調整。やや湾曲する。片端部一方向より斜めに分割。逆端部丸く削り調整。
668	榧木	V区4面	122.0×径2.0	榎目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。両端部折れ。
669	榧木	V区4面	102.8×径2.6	榎目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面凹凸多い。歪み多い。片端部斜方向から分割。逆端部丸く削り調整。
670	榧木	V区4面	112.0×5.0×3.0	榎目	一部欠損	断面楕円形を呈し、外面調整。片端部折れ。逆端部削り調整。部分的に炭化。
671	榧木	V区4面	102.5×径4.5	榎目	一部欠損	断面円形に外面調整。両端部分割。
672	榧木	V区4面	111.2×3.8×2.2	榎目	一部残存	断面円形に外面調整。両端部折れ。
673	榧木	V区4面	89.5×3.2	榎目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。両端部折れ。
674	榧木	V区4面	176.8×5.6×4.2	榎目	一部残存	断面不定円形。外面凹凸多い。両端部折れ。一部炭化している。
675	榧木	V区4面	200.0×3.6×3.2	榎目	一部残存	断面楕円形に外面調整。片端部丸く調整。逆端部折れ。
676	榧木	V区4面	207.0×径3.7	榎目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。両端部折れ。
677	榧木	V区4面	89.5×径3.5	榎目	一部欠損	断面円形。外面調整。太端部角を取るよう削り、細端部一方向より斜めに削る。
678	榧木	V区4面	41.5×径3.5	榎目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。両端部折れ。
679	榧木	V区4面	42.6×3.3×1.6	榎目	一部残存	表裏両面を平坦に調整。片端部削り調整。逆端部折れ。
680	榧木	V区4面	97.6×2.2×1.5	榎目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。両端部折れ。
681	榧木	V区4面	94.0×4.7×2.5	榎目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。片端部折れ。逆端部分割。
682	榧木	V区4面	37.8×4.0×1.3	榎目	一部残存	板状を呈し、表裏両面板状に調整。片端部分割。逆端部折れ。
683	榧木	V区4面	101.7×4.5×2.7	榎目	一部残存	断面半円形状に外面調整。両端部折れ。
684	榧木	V区4面	102.0×径3.8	榎目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。片端部多方向より削り調整。逆端部折れ。
685	榧木	V区4面	97.8×3.2×2.8	榎目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。両端部折れ。
686	榧木	V区4面	127.6×3.5×3.0	榎目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。やや歪んでいる。両端部折れ。
687	榧木	V区4面	69.4×2.5×2.9	榎目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。片端部斜方向に分割。逆端部折れ。
688	榧木	V区4面	96.8×径3.2	榎目	一部残存	断面ほぼ円形を呈し、外面調整。両端部折れ。
689	榧木	V区4面	105.5×2.8×2.1	榎目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。両端部折れ。
690	榧木	V区4面	191.5×径4.0	榎目	一部残存	断面円形に外面調整。両端部折れ。
691	榧木	V区4面	90.3×4.6×1.5	榎目	一部残存	平らな板状に外面調整。両端部折れ。
692	榧木	V区4面	92.3×3.0×2.7	榎目	一部残存	断面円形状を呈し、外面調整。片端部削り調整。逆端部折れ。
693	榧木	V区4面	81.2×4.1×3.1	榎目	一部残存	断面不定円形状を呈し、外面調整。両端部折れ。部分的に炭化している。
694	榧木	V区4面	34.5×径2.2	榎目	一部残存	断面長方形。角を取り外面調整。両端部折れ。
695	榧木	V区4面	86.3×径3.5	榎目	一部残存	断面ほぼ円形調整。両端部折れ。
696	榧木	V区4面	76.0×径2.4	榎目	一部残存	断面ほぼ円形を呈し、外面調整。歪んでいる。両端部折れ。
697	榧木	V区4面	75.2×径2.4	榎目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。両端部折れ。
698	榧木	V区4面	94.6×径4.9	榎目	一部残存	断面レンズ状を呈し、角を取り外面調整。両端部折れ。
699	榧木	V区4面	43.8×3.0×2.6	榎目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。両端部折れ。
700	榧木	V区4面	78.5×3.1×2.7	榎目		断面長方形で角を取り丸く外面調整。両端部折れ。
701	榧木	V区4面	77.0×径2.8	榎目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。両端部折れ。
702	榧木	V区4面	75.6×径3.5	榎目	一部残存	断面不定円形に外面凹凸を持ち調整。両端部折れ。

第2章 木器観察表

番号	器種	出土位置	長さ×幅×厚さ(cm)	木取り種	遺存状態	加工形状の特徴
703	榿木	V区4面	79.7×2.7×2.4	榿目	一部残存	断面円形状を呈し、外面調整。両端部折れ。
704	用途不明木製品	V区4面	168.0×25.6×8.1	榿目	一部欠損	表裏両面平坦に調整。両端部分割。削り調整。片木端側四角形状のえぐり入る。
705	板	V区4面	314.5×13.5×3.5	榿目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
706	板	V区4面	118.0×14.6×4.7	榿目	一部欠損	表裏両面平坦に調整。細端部三角形に削り。逆端部分割。端部近くに四角形の穴があく。
707	板	V区4面	99.5×14.5×6.5	榿目	一部残存	表裏両面平坦に調整。2ヶ所に四角形の穴。片側の穴は中央で折れ、逆側端部も折れ。
708	板	V区4面	65.1×14.7×3.8	榿目	一部残存	表裏両面平坦に調整。先端部一方向から複数回の削り、削り痕残る。細端部は片面側からえぐり入り焼けている。端部折れ。
709	板	V区4面	50.5×4.8×2.5	榿目	一部残存	断面楕円形を呈し、歪み大きい。細端部折れ。中央部からやや太くなる。太端部側にえぐり入る。
710	板	V区4面	46.5×5.6×1.8	榿目	一部残存	みかん割材に断面三角形を呈し、外面凹凸多い。細端部折れ。太端部斜方向に分割。
711	板	V区4面	45.2×3.5×1.1	榿目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
712	板	V区4面	30.4×23.9×1.2	榿目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部分割。片端部付近中央に穴。
713	板	V区4面	56.0×4.8×2.2	榿目	一部残存	表裏両面凹凸多い。両端部折れ。
714	板	V区4面	61.0×7.0×2.3	榿目	一部残存	表裏両面平坦に調整。凹凸多い。両端部折れ。
715	板	V区4面	34.0×3.7×1.2	榿目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
716	板	V区4面	48.7×5.2×2.8	榿目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
717	板	V区4面	43.3×10.5×1.8	榿目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
718	板	V区4面	57.0×9.0×2.0	榿目	一部残存	表裏両面凹凸多い。両端部折れ。
719	板	V区4面	41.0×7.1×4.0	榿目	一部残存	表裏両面凹凸多い。片端部折れ。逆端部斜めに分割調整。
720	板	V区4面	51.3×5.3×2.5	榿目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
721	板	V区4面	38.5×5.8×1.4	榿目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
722	板	V区4面	39.7×6.7×2.4	榿目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部先端細く削り。逆端部折れ。
723	板	V区4面	44.4×6.6×3.1	榿目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部折れ。逆端部表裏両側から削り調整。部分的に炭化している。
724	板	V区4面	6.1×10.5×2.0	榿目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部周辺折れ。
725	板	V区4面	30.4×7.0×2.6	榿目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
726	板	V区4面	25.5×11.9×2.5	榿目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
727	板	V区4面	16.5×1.4×0.4	榿目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
728	板	V区4面	48.1×14.6×1.3	榿目	一部残存	表裏両面凹凸多い。両端部折れ。
729	板	V区4面	13.8×3.4×0.6	榿目	一部残存	やや湾曲して、外面全体火を受け焼けている。
730	板	V区4面	46.2×8.8×1.8	榿目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
731	板	V区4面	32.7×12.8×5.5	榿目	一部残存	断面レンズ状で、外面凹凸多い。両端部折れ。
732	板	V区4面	37.4×7.5×1.7	榿目	一部欠損	表裏両面平坦に調整。両端部分割。
733	板	V区4面	70.3×19.2×2.2	榿目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
734	板	V区4面	96.4×9.5×4.0	榿目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部分割。逆端部折れ。
735	板材	V区4面	115.5×13.5×2.1	榿目	一部残存	表裏両面凹凸多い。両端部折れ。
736	板	V区4面	9.7×5.1×1.4	榿目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
737	板	V区4面	114.4×7.1×3.1	榿目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
738	板	V区4面	104.3×25.4×1.9	榿目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
739	板	V区4面	46.9×7.1×2.0	榿目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
740	板	V区4面	57.0×11.3×5.7	榿目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両木口折れ。
741	板	V区4面	26.0×4.0×1.6	榿目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部折れ。逆端部分割。
742	板	V区4面	24.2×14.7×5.9	榿目	一部欠損	平面三角形を呈し、細端部に向かいやや薄くなる。表裏両面平坦に調整。両端部分割後多方向から削り。
743	板	V区4面	32.5×4.3×2.1	榿目	一部残存	みかん割り状で断面平らに三角形を呈する。表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
744	板	V区4面	59.4×6.4×2.9	榿目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
745	板材	V区4面	170.8×14.7×4.6	榿目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片木口折れ。逆木口面分割。
746	板材	V区4面	28.0×4.0×1.6	榿目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部片面側から分割。逆端部折れ。
747	板	V区4面	31.3×4.7×2.3	榿目	一部残存	表裏両面凹凸多い。片端部折れ。逆端部粗く分割。火を受けて焼けている。

第2章 木器観察表

番号	器種	出土位置	長さ×幅×厚さ(cm)	木取り種	遺存状態	加工形状の特徴
748	板材	V区4面	69.0×12.0×2.3	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
749	板	V区4面	22.2×7.5×3.0	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
750	板	V区4面	57.2×7.2×1.4	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
751	板	V区4面	13.0×11.5×3.5	柾目	一部残存	表裏両面凹凸が多い。片端部分割。逆端部折れ。
752	板	V区4面	26.5×5.4×1.5	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。部分的に火を受け焼けている。
753	板	V区4面	82.4×6.6×3.1	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部分割。中央部歪んでいる。
754	板材	V区4面	14.0×3.2×0.5	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
755	板	V区4面	29.8×14.1×0.9	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部分割。逆端部折れ。
756	板	V区4面	19.0×9.3×2.0	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
757	板	V区4面	20.3×14.5×0.7	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部分割。逆端部分割。
758	板	V区4面	23.4×7.4×0.8	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
759	板	V区4面	15.5×3.8×0.6	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
760	板	V区4面	39.6×4.5×1.0	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部分割。逆端部折れ。
761	板	V区4面	29.7×7.8×2.6	柾目	一部残存	片面分割した状態のまま、片面平坦に調整。断面低いカマボコ状を呈する。片端部分割。逆端部凸面側から削り調整。
762	板	V区4面	22.6×6.0×1.4	柾目	一部残存	表裏両面凹凸が多い。両端部折れ。
763	板	V区4面	21.2×3.3×1.5	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部折れ。逆端部削り。
764	板	V区4面	43.9×4.9×1.6	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
765	板	V区4面	19.8×6.9×2.3	柾目	一部残存	表裏両面凹凸を持って調整。両端部折れ。
766	板材	V区4面	29.0×3.4×1.0	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
767	板材	V区4面	23.0×3.6×0.8	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
768	板	V区4面	24.8×2.3×0.7	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
769	板	V区4面	38.3×5.0×1.8	柾目	一部残存	表裏平坦に調整。片端部折れ。逆端部表裏からの削り調整。
770	板	V区4面	39.2×4.4×1.4	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。片端部と片木端側にえぐり状に欠けており、火を受け焼けている。
771	板	V区4面	38.9×5.5×1.4	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
772	板	V区4面	63.5×11.5×4.0	柾目	一部残存	表裏両面調整。凹凸多い。両端部折れ。
773	板材	V区4面	24.1×5.7×1.3	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
774	板	V区4面	32.1×2.9×0.8	柾目	一部残存	表裏両面凹凸多い。両端部折れ。
775	板	V区4面	27.1×6.5×1.3	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
776	板	V区4面	10.4×12.0×3.0	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
777	木炭	V区4面	18.2×7.0×1.5	柾目	一部残存	表裏両面凹凸多い。両端部折れ。火を受けて焼けている。
778	柄	V区5面	92.8×3.1×1.4	柾目	一部残存	断面楕円形を呈し、外面調整。片端部分割。片端部折れ。
779	柄	V区5面	98.4×3.0×1.5	柾目	一部欠損	断面楕円形を呈し、外面調整。両端部分割。角を丸く調整。
780	角材	V区5面	32.3×6.2×3.0	柾目	一部残存	断面長方形を呈し角を取り、外面調整。両端部折れ。
781	板材	V区5面	58.2×10.3×1.6	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。
782	板	V区5面	51.0×3.7×1.1	柾目	一部残存	表裏両面平坦に調整。両端部折れ。

第3章 理科学分析

元総社寺田遺跡出土材の樹種同定と周辺植生

藤根 久・鈴木 茂 (パレオ・ラボ)

1. はじめに

元総社寺田遺跡は、前橋市元総社寺田地内に所在する台地・低地遺跡である。このうち低地部は、牛池川沿いの左岸であり、堆積物中には浅間火山や榛名二ツ岳から噴出したテフラ群とともに多量の木製品が出土している。こうした木製品の確認面（文化層）はこれらテフラ群によって画されていることから、明確な時代を示している。各面（文化層）の概要は、第1面はAs-B軽石（浅間火山噴出テフラ）より上層の中・近世遺構面、第2面はAs-B軽石下面および軽石砂礫層の奈良～平安時代、第3面はHr-FA火山灰（榛名二ツ岳噴出テフラ）下面の古墳時代後期、第4面はHr-FA火山灰とAs-C軽石（浅間火山噴出テフラ）との間層の古墳時代後期、第5面はAs-C軽石下面の古墳時代前期、第6面はAs-C軽石下層の黒色土および灰白色シルト質土で縄文～弥生時代である。なお、第3・4面は第3面および第4面の一括である。

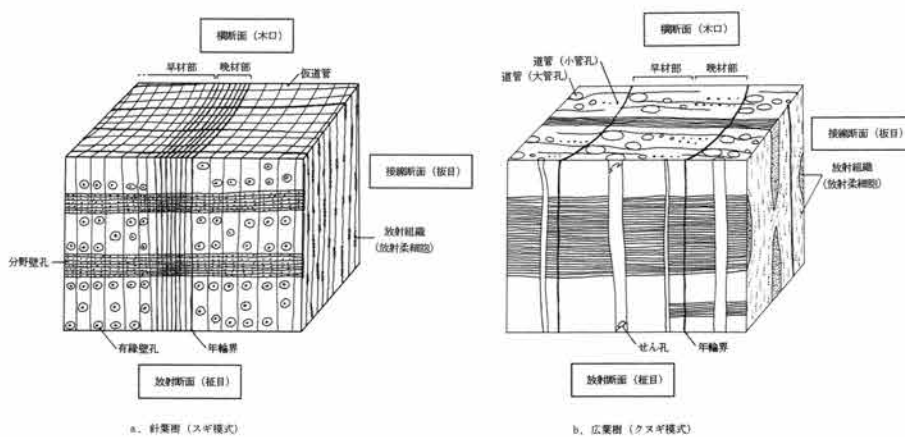
出土した木製品（あるいは木材）は、実測試料と参考試料に分類され、明かな木製品については実測試料、加工の程度が低いかまたは自然木と思われる木材は参考試料として扱われている。

ここでは、こうした実測試料あるいは参考試料について、その樹種の同定を行い、各時代における木製品とその樹種の関係から、木製品に対する樹種利用状況について検討する。また、木製品の樹種と周辺の植生との関係を明らかにする目的で、II区C地点の3面から5面に相当する堆積物について、花粉化石の検討も行った。なお、樹種は藤根、花粉化石は鈴木がそれぞれ担当した。

2. 木材の樹種同定

a. 樹種の記載と結果

ここで樹種の検討を行った試料は、実測試料として1215点、参考試料として726点の合計1941点についてで



第3章 理科学分析

ある。これらは、群馬県埋蔵文化財調査事業団において、プレパラートの作成が行われた。樹種の同定は、これら標本を光学顕微鏡下40～400倍の倍率で観察を行い、現生標本との比較により行う。以下に、標本の記載及び同定の根拠を述べ、表1～23にその結果を示す。なお、プレパラートは、(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団に保管してある。

カヤ *Torreya nucifera* (Linn) Sieb. et Zucc. イチイ科 図版1 a～1 c.

仮道管および放射柔細胞からなる針葉樹で、早材部から晩材部への移行は緩やかである(横断面)。放射組織は、柔細胞からなり単列で1～5細胞高である(接線断面)。分野壁孔はヒノキ型で4個見られる。仮道管の内壁には、2本のらせん肥厚が対になって分布する(放射・接線断面)。

以上の形質から、イチイ科カヤ属のカヤの材と同定される。カヤは、本州の宮城県以南の暖帯から温帯にかけて分布する樹高25m、直径90cmに達する常緑針葉樹である。

モミ属 *Abies* マツ科 図版2 a～2 c.

仮道管および放射柔細胞からなる針葉樹材で、早材部から晩材部への移行は比較的緩やかである。また、早材部仮道管は大きく薄壁で、晩材部仮道管は厚壁で偏平でかつ狭い(横断面)。放射組織は、柔細胞からなり単列で2～26細胞高である(接線断面)。その分野壁孔はトウヒ型で1分野に1～2個存在する。また、放射組織の壁は厚く、じゅず状末端壁を有する(放射断面)。

以上の形質から、マツ科のモミ属の材と同定される。モミ属の樹木には、亜高山帯に分布するシラビソ(*A. veichii*) やオオシラビソ(*A. mariesii*)、暖帯から温帯にかけて分布するモミ(*A. firma*) などがある。いずれも樹高30m、幹径1mに達する常緑針葉樹である。

カラマツ属 *Larix* マツ属 図版3 a～3 c.

放射仮道管、垂直および水平樹脂道、これを取り囲むエピセリウム細胞からなる針葉樹で、早材部から晩材部への移行はやや急で、年輪界は明瞭である(横断面)。早材部仮道管の放射壁には有縁壁孔が2列に並ぶ(放射断面)。エピセリウム細胞以外は、放射仮道管を含め2～20細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、マツ科のカラマツ属の材と同定される。カラマツ属の樹木には、本州の亜高山帯に分布するカラマツ(*L. leptolepis*)、グイマツ(*L. gmelinii*)がある。いずれも樹高30m、幹径1mに達する落葉針葉樹である。

トウヒ属 *Picea* マツ科 図版4 a～4 c.

放射仮道管、垂直および水平樹脂道、これを取り囲むエピセリウム細胞からなる針葉樹で、早材部から晩材部への移行は緩やかである(横断面)。エピセリウム細胞以外は、放射仮道管を含め単列で2～20細胞高である(接線断面)。分野壁孔は、トウヒ型で1分野に3～6個ある(放射断面)。

以上の形質から、マツ科のトウヒ属の材と同定される。トウヒ属の樹木には、エゾマツ(*P. jezoensis*) やその変種のトウヒ(*P. jezoensis* var. *hondoensis*) などがある。亜高山帯を中心に分布する樹高30mに達する常緑針葉樹である。

アカマツ *Pinus densiflora* Sieb. et Zucc. マツ科 図版 5 a ~ 5 c.

放射仮道管、垂直および水平樹脂道、これを取り囲むエピセリウム細胞からなる針葉樹材で、早材部から晩材部への移行は急である(横断面)。放射組織のうち、柔細胞の分野壁孔は窓状であり、放射仮道管の内壁は内側に向かって鋸歯状に著しく突出している(放射断面)。放射組織は、エピセリウム細胞以外は、放射仮道管も含め単列で2~10細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、マツ科マツ属のアカマツの材と同定される。アカマツは、暖帯および温帯下部に分布する樹高30~35m、幹径60~80cmに達する常緑針葉樹である。

マツ属単維管束亜属 *Pinus* Subgen. *Haploxylon* マツ科 図版 6 a ~ 6 c.

放射仮道管、垂直および水平樹脂道、これを取り囲むエピセリウム細胞からなる針葉樹で、早材部から晩材部への移行は緩やかである(横断面)。分野壁孔は窓状で、放射仮道管の内壁は平滑である(放射断面)。エピセリウム細胞以外は、放射仮道管を含め単列で2~20細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、マツ科マツ属単維管束亜属の材と同定される。マツ属単維管束亜属は、五葉松類で北海道から九州にかけて広く見られるヒメコマツ (*P. parviflora*) とチョウセンゴヨウ (*P. koraiensis*) がある。いずれも樹高は約30m、幹径1m前後に達する常緑針葉樹である。

ツガ属 *Tsuga* マツ科 図版 7 a ~ 7 c.

仮道管、樹脂細胞および放射柔細胞、放射仮道管からなる針葉樹材で、早材部から晩材部への移行はやや急である(横断面)。分野壁孔は、ヒノキ型あるいはスギ型で、1分野に2~4個見られる(放射断面)。放射組織は、柔細胞からなり、単列で2~12細胞高からなる(接線断面)。

以上の形質から、マツ科のツガ属の材と同定される。ツガ属の樹木には、ツガ (*T. sieboldii*) や亜高山帯に分布するコマツガ (*T. diversifolia*) がある。いずれも樹高30m、幹径1mに達する常緑針葉樹である。

マツ属 *Pinus* マツ科 図版ナシ

放射仮道管、垂直および水平樹脂道、これを取り囲むエピセリウム細胞からなる針葉樹で、早材部から晩材部への移行は緩やかである。分野壁孔は窓状である。エピセリウム細胞以外は、放射仮道管を含め単列で2~20細胞高である。

以上の形質から、マツ科マツ属の材と同定される。マツ属は、二葉松類と五葉松類に区別することができるが、本試料は、保存が良くないため区別できない。マツ属の樹木には、暖帯の沿岸沿いに見られる二葉松のクロマツ (*P. thunbergii*)、本州の暖帯から温帯にかけて見られる二葉松のアカマツ (*P. densiflora*) あるいは北海道から九州にかけて広く見られる五葉松のヒメコマツ (*P. parviflora*) などがある。樹高は約30m、幹径1m前後の針葉樹である。

スギ *Cryptomeria japonica* (Linn. fil.) D. Don スギ科 図版 8 a ~ 8 c.

仮道管、樹脂細胞および放射柔細胞からなる針葉樹材で、早材部から晩材部への移行は緩やかである(横断面)。分野壁孔は、水平方向に長軸をもった典型的なスギ型で、1分野に2個見られる(放射断面)。放射組織は、柔細胞からなり、単列で2~12細胞高からなる(接線断面)。

以上の形質から、スギ科スギ属のスギの材と同定される。スギは東北から九州にかけて温帯から暖帯にか

第3章 理科学分析

けて分布する常緑針葉樹である。

コウヤマキ *Sciadopitys verticillata* (Thunb) Sieb. et Zucc. コウヤマキ科 図版9 a~9 c.

仮道管および放射柔細胞からなる針葉樹で、早材部から晩材部の移行は比較的ゆるやかである（横断面）。分野壁孔は、窓状である（放射断面）。放射組織は、柔細胞からなり2~8細胞高である（接線断面）。

以上の形質から、コウヤマキ科コウヤマキ属のコウヤマキの材と同定される。コウヤマキは、本州（福島県以南）、四国、九州の暖帯上部あるいは温帯に分布し、一科一属一種の日本特産の樹高40m、幹径1mに達する常緑針葉樹である。

ヒノキ属 *Chamaecyparis* ヒノキ科 図版10 a~10 3.

仮道管、樹脂細胞および放射柔細胞からなる針葉樹で、早材部から晩材部への移行は緩やかである（横断面）。分野壁孔は、ヒノキ型で、1分野に1~2個見られる（放射断面）。放射組織は、柔細胞からなり、2~9細胞高である（接線断面）。

以上の形質から、ヒノキ科のヒノキ属の材と同定される。ヒノキ属の樹木には、ヒノキ (*C. Obtusa*) とサワラ (*C. pisifera*) があり、ヒノキは本州、四国、九州の温帯に分布する樹高40m、幹径2mに達する常緑針葉樹で、サワラは、本州、九州の温帯に分布する樹高30m、幹径1mに達する常緑針葉樹である。

ネズコ *Thuja standishii* (Gord.) Carr. ヒノキ科 図版11 a~11 c.

仮道管、樹脂細胞および放射柔細胞からなる針葉樹で、早材部から晩材部への移行は緩やかで、柔細胞は年輪と平行して散在する（横断面）。分野壁孔は、小型のスギ型で1分野に2~6個見られる（放射断面）。放射組織は、柔細胞からなり、1~17細胞高である（接線断面）。

以上の形質から、ヒノキ科ネズコ属のネズコの材と同定される。ネズコは、温帯に分布する樹高30m、幹径1mの常緑針葉樹である。

アスナロ *Thujopsis dolabrata* Sieb. et Zucc. ヒノキ科 図版12 a~12 c.

仮道管、樹脂細胞および放射柔細胞からなる針葉樹で、早材部から晩材部への移行はやや緩やかで、樹脂細胞は晩材部に遍在する（横断面）。分野壁孔は、ヒノキ型で1分野に2~4個見られる（放射断面）。放射組織は、柔細胞からなり、1~12細胞高である（接線断面）。

以上の形質から、ヒノキ科アスナロ属のアスナロの材と同定される。アスナロは温帯を中心に分布する樹高30m、幹径80cmに達する常緑針葉樹である。

オニグルミ *Juglans ailanthifolia* Carr. クルミ科 図版13 a~13 c.

大型の管孔がやや径を減じながら単独または放射方向に2~4個複合して散在する散孔材である（横断面）。道管のせん孔は単一である（放射断面）。放射組織は、異性に近い同性で、1~5細胞幅、3~36細胞高である（接線断面）。

以上の形質から、クルミ科クルミ属のオニグルミの材と同定される。オニグルミは全国の暖帯から温帯にかけて分布する樹高25m、幹径1mに達する落葉広葉樹である。

サワグルミ *Pterocarya rhoifolia* Sieb. et Zucc. クルミ科 図版14 a ~ 14 c.

丸い大型の管孔が単独あるいは2~3個放射方向に複合し、年輪に向かって径を減じて散在する散孔材である(横断面)。道管のせん孔は単一である(放射断面)。放射組織は、同性1~2細胞幅、3~14細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、クルミ科サワグルミ属のサワグルミの材と同定される。サワグルミは、温帯に分布する樹高30m、幹径1mに達する落葉広葉樹である。

ヤナギ属 *Salix* ヤナギ科 図版15 a ~ 15 c.

中型の管孔が単独あるいは放射方向に2~3個複合して散在する散孔材である(横断面)。道管のせん孔は単一である。道管と放射組織との壁孔は、蜂巢状を呈している(放射断面)。放射組織は異性単列、3~32細胞高である。また、末端細胞は長く伸び平伏細胞からなる(接線断面)。

以上の形質から、ヤナギ科のヤナギ属の材と同定される。ヤナギ属の樹木には、日本において約40種程度あり、高木から低木までその大きさはさまざまである。ヤナギ属の樹木は、陽光の水湿地に生育する落葉広葉樹である。

ハンノキ節 *Alnus* sect. *Gymnothyrsus* カバノキ科 図版16 a ~ 16 c.

中型の管孔が放射方向または塊状に2~4個複合して散在する散孔材である(横断面)。道管のせん孔は、20本程度の横棒からなる階段状である(放射断面)。放射組織は同性で、単列もしくは2細胞幅、3~28細胞高で、集合放射組織も見られる(接線断面)。

以上の形質から、カバノキ科ハンノキ属のハンノキ節の材と同定される。ハンノキ節の材には、平野部の水湿地に生育するハンノキ (*A. japonica*)、平野部から山地の斜面にかけて生育するヤマハンノキ (*A. hirsuta*)、そして山地に生育するヤシヤブシ (*A. firma*) などがある。ハンノキ節の樹木は、いずれも樹高20m、幹径50cmに達する落葉広葉樹である。

アサダ *Ostrya japonica* Sarg. 図版17 a ~ 17 c.

丸みを帯びた小~中型の道管が放射方向に2~5個複合した散孔材である。木部柔組織は1細胞幅で接線状に配列している(横断面)。道管のせん孔は単一で、内壁には微細ならせん肥厚が見られる(放射断面)。放射組織は、ほぼ同性1~3細胞幅、4~46細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、カバノキ科アサダ属のアサダの材と同定される。アサダは全国の温暖に分布する標高20mに達する落葉広葉樹である。

イヌシデ節 *Carpinus* sect. *Eucarpinus* カバノキ科 図版18 a ~ 18 c.

やや小型の丸の管孔が単独あるいは放射方向に2~3個複合し散在する散孔材である(横断面)。道管のせん孔は単一で、内壁にはわずかにらせん肥厚が認められる(放射断面)。放射組織は、異性で1~3細胞幅、3~47細胞高であり、両端細胞はやや大きい(接線断面)。

以上の形質から、カバノキ科クマシデ属のイヌシデ節の材と同定される。イヌシデ節には、イヌシデ (*C. tschonoskii*) 及びアカシデ (*C. laxiflora*) があり、暖帯から温帯にかけて分布する樹高15m、幹径60cmに達する落葉広葉樹である。

第3章 理科学分析

カバノキ属 *Betula* カバノキ科 図版19 a~19 c.

やや丸い中型の道管が単独あるいは2~3個放射方向に複合してほぼ均一に散在する散孔材である(横断面)。道管のせん孔は15~21本の横棒からなる階段状である(放射断面)。放射組織は同性で1~3細胞幅、1~22細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、カバノキ科のカバノキ属の材と同定される。カバノキ属の樹木には、樹高25m、幹径1mに達するウダイカンバ (*B. maximowicziana*) や亜高山帯上部に広く分布するダケカンバ (*B. ermanii*)、山地帯の二次林に多いシラカンバ (*B. platyphylla* var. *japonica*) など10種類ほどある(落葉広葉樹)。

クリ *Castanea crenata* Sieb. et Zucc. ブナ科 図版20 a~20 c.

年輪のはじめに大型の管孔が1~3列並び、そこから除々に径を減じた小管孔が火炎状に配列する環孔材である。大管孔の内腔にチロースの見られるものもある。また、軸柔組織は短接線状に配列する(横断面)。道管のせん孔は単一である(放射断面)。放射組織は、単列同性であり、時に2細胞幅で、2~17細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、ブナ科クリ属のクリの材と同定される。クリは全国の暖帯から温帯にかけて分布する樹高20m、幹径1mに達する落葉広葉樹である。

クヌギ節 *Quercus* sect. *Aegilops* ブナ科 図版21 a~21 c.

年輪のはじめに大型の管孔が1~2列並び、そこからやや急に径を減じたやや厚壁の丸い小管孔が放射方向に配列する環孔材である(横断面)。道管のせん孔は単一で、時としてチロースが見られる(放射断面)。放射組織は、単列同性のもの集合放射組織のものがある(接線断面)。

以上の形質から、ブナ科コナラ属のクヌギ節の材と同定される。クヌギ節の樹木には関東地方に普通に見られるクヌギ (*Q. acutissima*) と、東海・北陸以西に主として分布するアベマキ (*Q. variabilis*) がある。いずれの樹木も樹高15m、幹径60cmに達する落葉広葉樹である。

コナラ節 *Quercus* sect. *Prinus* ブナ科 図版22 a~22 c.

年輪のはじめに大型の管孔が1列に並び、そこから径を減じた小管孔がやや火炎状に配列する環孔材である(横断面)。大管孔の内腔には、チロースがあり著しい。また、木部柔組織は短接線状に配列する。道管のせん孔は単一である(放射断面)。放射組織は、単列同性のもの集合放射組織からなる(接線断面)。

以上の形質から、ブナ科コナラ属のコナラ節の材と同定される。コナラ節の樹木にはコナラ (*Q. serrata*) やミズナラ (*Q. mongolica* var. *grosseserrata*)、カシワ (*Q. dentata*)、ナラガシワ (*Q. aliena*) などがあるが、現在のところこれらを識別するには至っていない。いずれの樹木も温帯から暖帯にかけて広く分布する樹高20m、幹径1mを超える落葉広葉樹である。

コナラ亜属 *Quercus* subgen. *Lepidobalanus* ブナ科 図版ナシ

年輪のはじめに大型の管孔が並ぶ環孔材である。道管のせん孔は単一である。放射組織は、単列同性のもの集合放射組織からなる。

以上の形質から、ブナ科コナラ属のコナラ亜属の材と同定される。コナラ亜属は、コナラ節(コナラ属コナラ節の記載参照)とクヌギ節(コナラ属クヌギ節の記載参照)からなり、晩材部道管の配列により識別さ

れるが、本標本は、材組織の保存が悪いため、明瞭ではない。

アカガシ亜属 *Quercus* subgen. *Cyclobalanopsis* ブナ科 図版23 a～23 c.

大型の管孔が放射方向に配列する放射孔材である(横断面)。道管のせん孔は単一で、チロースが見られる(放射・接線断面)。放射組織は、単列同性のものと集合放射組織のものがある(接線断面)。

以上の形質から、ブナ科コナラ属のアカガシ亜属の材と同定される。アカガシ亜属の樹木には関東に分布するアカガシ (*Q. acuta*) やアラカシ (*Q. glauca*) やシラカシ (*Q. myrsinaefolia*) をはじめ8種類ほどある。アカガシ亜属の樹木は、樹高20m、幹径1mに達する常緑広葉樹である。

ブナ属 *Fagus* ブナ科 図版24 a～24 c.

丸い小型の管孔がややまばらに散在する散孔材である(横断面)。道管のせん孔は単一あるいは数本の横棒からなる階段状で、道管内部にはチロースが見られる(放射断面)。放射組織は同性で、細胞幅の広い複合放射組織からなる(接線断面)。

以上の形質から、ブナ科のブナ属の材と同定される。日本に分布するブナ属の樹木には、温帯に生育するブナ (*F. crenata*) と中間温帯に分布するイヌブナ (*F. japonica*) の2種類があるが、材組織からは識別できない。いずれも樹高25mに達する落葉広葉樹で、ブナは日本の温帯林の主要構成要素である。

ムクノキ *Aphananthe aspera* (Thunb.) Planch. ニレ科 図版25 a～25 c.

厚壁で中型の管孔が単独あるいは放射方向に2～5個複合して散在する散孔材である。木部柔組織は、早材部で連合翼状ないし帯状である(横断面)。道管のせん孔は単一である(放射断面)。放射組織は、異性1～3細胞幅、2～22細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、ニレ科ムクノキ属のムクノキの材と同定される。ムクノキは、関東地方以西の暖帯から亜熱帯にかけて分布する樹高20m、幹径1mに達する落葉広葉樹である。

エノキ属 *Celtis* ニレ科 図版26 a～26 c.

年輪のはじめに大型の管孔が1～2列並び、そこから径を減じた小管孔が早材部では多数集合して斜め方向に配列する環孔材である(横断面)。道管のせん孔は単一で、小管孔の内壁にはらせん肥厚が見られる(放射断面)。放射組織は、異性1～8細胞幅、3～46細胞高で、鞘細胞をもつ(接線断面)。

以上の形質から、ニレ科のエノキ属の材と同定される。エノキ属の樹木には、本州以南の暖帯から亜熱帯に分布するエノキ (*C. sinensis*) や、温帯に分布するエゾエノキ (*C. jessoensis*) などがある。エノキは樹高20m、幹径1mに達する落葉広葉樹である。

ケヤキ *Zelkova serrata* (Thunb.) Makino ニレ科 図版27 a～27 c.

年輪のはじめに大型の管孔が単独ないし2列に並び、早材部では小管孔が2～8程度集合して接線方向ないしはやや斜めに配列する環孔材である(横断面)。道管のせん孔は単一で、小管孔の内壁にはらせん肥厚が明瞭に認められる(放射断面)。放射組織は、異性1～7細胞幅、2～70細胞高からなる(接線断面)。

以上の形質から、ニレ科ケヤキ属のケヤキの材と同定される。ケヤキは暖帯から温帯にかけて分布する樹高35m、幹径2mに達する落葉広葉樹である。

第3章 理科学分析

ヤマグワ *Morus bombycis* Koidz. クワ科 図版28 a～28 c.

年輪のはじめに大型の管孔が数列並び、そこから径を減じた小管孔が早材部で接線方向に数個複合して散在する環孔材で、また木部柔組織は周囲状である(横断面)。道管のせん孔は単一で、小道管の内壁にはらせん肥厚が見られる(放射断面)。放射組織は、異性1～5細胞幅、2～56細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、クワ科クワ属のヤマグワの材と同定される。ヤマグワは、温帯から亜熱帯にかけ広く分布する樹高12m、幹径60cmの落葉広葉樹である。

クワ属 *Morus* クワ科 図版29 a～29 c.

年輪のはじめに大型の管孔が3列並び、そこから径を減じた小管孔が早材部で接線方向に数個複合してやや斜め方向に連続して散在する管孔材である(横断面)。道管のせん孔は単一である(放射断面)。放射組織は、異性1～5細胞幅、2～37細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、クワ科のクワ属の材と同定される。クワ属の材は、材組織から同定されるヤマグワを除いてケグワ(*M. cathayana*)などがあり、樹高15mに達する落葉広葉樹である。

イタピカズラ類 *Ficus* クワ科 図版30 a～30 c.

大型の管孔が年輪に向かって径を減じながら、単独あるいは2個放射方向に複合して散在する散孔材で、軸柔細胞が帯状で顕著である(横断面)。道管のせん孔は単一である(放射断面)。放射組織は、同性2～5細胞幅で背は非常に高い(接線断面)。

以上の形質から、クワ科のイチジク属のうちのイタピカズラの仲間と同定される。イタピカズラ類には、林内に生える常緑藤本のイタピカズラ(*F. nipponica*)やヒメイタビ(*F. thunbergii*)などがある。

フサザクラ *Euptelea polyandra* Sieb. et Zucc. フサザクラ科 図版31 a～31 c.

薄壁で中型の管孔が単独あるいは2～4個放射方向に塊状あるいは斜めに複合して散在する散孔材である。また、軸柔細胞は周囲状である(横断面)。道管のせん孔は54本の横棒からなる階段状である(放射断面)。放射組織は、異性1～8細胞幅、1～64細胞高で、大半の細胞は幅が広い(接線断面)。

以上の形質から、フサザクラ科フサザクラ属のフサザクラの材と同定される。フサザクラは、暖帯から温帯の谷筋に多く分布する樹高5m程度の落葉広葉樹である。

モクレン属 *Magnolia* モクレン科 図版32 a～32 c.

小型の管孔が単独または放射方向に2～4個複合して散在する散孔材である(横断面)。道管のせん孔は単一である(放射断面)。放射組織は、異性で1～2細胞幅、5～18細胞高であり、両端部では軸方向にやや長く伸びている(接線断面)。

以上の形質から、モクレン科のモクレン属の材と同定される。モクレン属の樹木には、ハウノキ(*M. obovata*)やコブシ(*M. kobus*)などがあり、温帯から暖帯にかけて広く分布する樹高10～20mに達する落葉広葉樹である。

クスノキ科 *Lauraceae* クスノキ科 図版33 a～33 c.

中型で角張った管孔が単独あるいは2～3個放射方向に複合して散在する散孔材で、軸柔細胞は周囲状で

ある(横断面)。道管のせん孔は単一あるいは数本の横棒からなる階段状である(放射断面)。放射組織は、異性1~2細胞幅、2~40細胞高で、大型の結晶細胞が見られる(接線断面)。

以上の形質から、クスノキ科の材と同定される。クスノキ科の樹木には、常緑広葉樹のクスノキ(*C. camphora*)やヤブニッケイ(*C. japonicum*)あるいはクロモジ(*L. umbellata*)などがある。

クロモジ属 *Lindera* クスノキ科 図版34 a~34 c.

厚壁で中型の管孔が単独または2~4個放射方向に複合して散在する散孔材である(横断面)。道管のせん孔は単一あるいは14本程度の横棒からなる階段状である(放射断面)。放射組織は、異性1~2細胞幅、3~42細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、クスノキ科のクロモジ属の材と同定される。クロモジ属の樹木には、樹高6m程度のクロモジ(*L. umbellata*)やシロモジ(*L. triloba*)など本州以南の暖帯から温帯にかけて分布する落葉広葉樹である。

カツラ *Cercidiphyllum japonicum* Sieb. et Zucc. カツラ科 図版35 a~35 c.

中型で角張った管孔が密に分布する散孔材である(横断面)。道管のせん孔は13本程度の横棒からなる階段状である(放射断面)。放射組織は、異性1~2細胞幅、4~14細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、カツラ科カツラ属のカツラの材と同定される。カツラは、全国の温帯から暖帯にかけて分布する樹高20m、幹径60cmの落葉広葉樹で、日本特産の樹木である。

マタタビ属 *Actinidia* マタタビ科 図版36 a~36 c.

年輪の始めに大型の管孔が並び、晩材部では径を減じた管孔が散在する環孔材である(横断面)。道管のせん孔は単一である(放射断面)。放射組織は、異性1~5細胞幅、10~60細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、マタタビ科のマタタビ属の材と同定される。マタタビ属の樹木には、サルナシ(*A. arguta*)やマタタビ(*A. polygama*)などがあり、全国の暖帯から温帯にかけて分布するつる植物である。

ヤブツバキ *Camellia japonica* Linn ツバキ科 図版37 a~37 c.

年輪のはじめに小型の管孔がやや密に並び、晩材部にかけては小型で角張った管孔が散在する環孔性の散孔材である。また、木部柔組織は散在状である(横断面)。道管のせん孔は、19本程度の横棒からなる階段状せん孔である(放射断面)。放射組織は、異性で1~2細胞幅、1~26細胞高で、単列部の細胞は大きく時に大型結晶が認められる(接線断面)。

以上の形質から、ツバキ科ツバキ属のヤブツバキの材と同定される。ヤブツバキの樹木は、屋久島や沖縄に分布する変種のヤクシマツバキ(*C. japonica* var. *macrocarpa* Masamune)を除き、一般的にツバキと呼ばれているものである。このヤブツバキは、全国の暖帯に広く分布する樹高10m、幹径30cmの常緑広葉樹である。

ナツツバキ属 *Stewartia* ツバキ科 図版38 a~38 c.

中型の管孔がほぼ単独で散在する散孔材である(横断面)。道管のせん孔は、17本の横棒からなる階段状である(放射断面)。放射組織は、異性1~4細胞幅、2~48細胞高である(接線断面)。

第3章 理科学分析

以上の形質から、ツバキ科のナツツバキ属の材と同定される。ナツツバキ属の樹木には、ナツツバキ (*S. pseudo-camellia*) とヒメシヤラ (*S. monadelpha*) などがある。いずれの樹木も本州以南の暖帯から温帯にかけて分布する樹高15mに達する落葉広葉樹である。

サカキ *Cleyera japonica* Thunb. pro emend. Sieb. et Zucc. ツバキ科 図版39a~39c.

角張った管孔がほぼ単独に散在する散孔材である(横断面)。道管のせん孔は、37本以上の横棒からなる階段状である(放射断面)。放射組織は異性単列、1~17細胞高からなり、数細胞は大きくかつ長く伸びる方形である(接線断面)。

以上の形質から、ツバキ科サカキ属のサカキの材と同定される。サカキは、関東地方以西の暖帯に分布する樹高10m、幹径30cmの常緑広葉樹である。

ヒサカキ *Eurya japonica* thunb. ツバキ科 図版40a~40c.

小型の管孔が単独ないし2~4個放射方向に複合して散在する散孔材である(横断面)。道管のせん孔は階段状である(放射断面)。放射組織は、異性1~3細胞幅、1~42細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、ツバキ科ヒサカキ属のヒサカキの材と同定される。ヒサカキは、本州以南の暖帯から温帯にかけて分布する樹高10mに達する常緑広葉樹である。

ウツギ属 *Deutzia* ユキノシタ科 図版41a~41c.

角張った小型の管孔が均一に分布する散孔材で、放射組織が広く特徴的である(横断面)。道管のせん孔は、10本程度の横棒からなる階段状である(放射断面)。放射組織は、異性で1~3細胞幅で、細胞高は非常に高い(接線断面)。

以上の形質から、ユキノシタ科のウツギ属の材と同定される。ウツギ属の樹木には、ウツギ (*D. crenata*) やソメウツギ (*D. gracilis*) などがあり、おもに暖帯から温帯にかけて分布する落葉低木である。

モモ *Prunus persica* Batschバラ科 図版42a~42c.

年輪のはじめにやや大型の管孔が1~3列ほど並び、そこから径を減じた小管孔が2~4個放射方向あるいはやや斜めに複合して散在する環孔性散孔材である(横断面)。道管のせん孔は単一で、その内壁には明瞭ならせん肥厚が認められる(接線・放射断面)。放射組織は異性で、1~4細胞幅、4~45細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、バラ科サクラ属のモモの材と同定される。モモは中国北部原産であるが、日本には有史以前に渡来し、鑑賞用あるいは果樹として栽培され、一部野生状態で生えている。本種が日本に自生するという考えもある。

ヤマザクラ *Prunus jamasakura* Sieb. ex Koidz. バラ科 図版43a~43c.

年輪のはじめにやや小型の管孔が並び、数個放射方向に複合して散在する散孔材である。道管は外側に向かって減少する傾向がみられる(横断面)。道管のせん孔は単一で、その内壁にはらせん肥厚がある(放射断面)。放射組織は、同性に近い異性で1~5細胞幅、2~35細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、バラ科サクラ属のヤマザクラの材と同定される。ヤマザクラは、暖帯から亜熱帯にかけ

て分布する樹高25mに達する落葉広葉樹である。

サクラ属 Prunus バラ科 図版44 a～44 c.

年輪のはじめにやや小型の管孔が並び、数個放射方向に複合して散在する散孔材である。道管は外側に向かって減少する傾向がみられる(横断面)。道管のせん孔は単一で、その内壁にはらせん肥厚がある。道管の内部にはガム状物質が詰まっている(放射断面)。放射組織は、同性に近い異性で、1～5細胞幅、2～37細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、バラ科のサクラ属の材と同定される。サクラ属の樹木には、暖帯から亜熱帯にかけて分布する樹高25mに達するヤマザクラ (*P. jamasakura*) など数種類ある。

バラ属 Rosa バラ科 図版45 a～45 c.

年輪のはじめに丸い管孔が2列ほど並び、そこから径を減じて散在する環孔材である(横断面)。道管のせん孔は単一である(放射断面)。放射組織は異性で、1～13細胞幅、1～52細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、バラ科のバラ属の材と同定される。バラ属の樹木には、蔓性のノイバラ (*R. multiflora*) から落葉低木のヤマイバラ (*R. sambucina*) までその種類は多い。

ナナカマド属 Sorbus バラ科 図版46 a～46 c.

小型の管孔がほぼ単独で散在する散孔材である(横断面)。道管のせん孔は単一で、内壁にはらせん肥厚が見られる(放射断面)。放射組織は、同性1～3細胞幅、3～43細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、バラ科のナナカマド属の材と同定される。ナナカマド属の樹木には、ナナカマド (*S. commixta*) やアズキナシ (*S. alnifolia*) などがあり、全国の温帯から暖帯にかけて分布する樹高15m、幹径30cmに達する落葉広葉樹である。

ネムノキ Albizia julibrissin Durazz. マメ科 図版47 a～47 c.

年輪のはじめに丸い大型の管孔が3列並び、そこから径を減じた管孔が単独または数個複合して散在する環孔材である。また、木部柔組織は周囲状である(横断面)。道管のせん孔は単一である(放射断面)。放射組織は、同性で1～3細胞幅、3～15細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、マメ科ネムノキ属のネムノキの材と同定される。ネムノキは、暖帯から熱帯にかけて分布する樹高10mに達する落葉広葉樹である。

フジ Wisteria floribunda (willd.) DC. マメ科 図版77 a～77 c.

年輪のはじめに大型の管孔が1列並び、晩材部で小型の管孔が塊状に集合する。また木部柔組織は周囲状で(横断面)、木部柔組織は、接線断面において層階状を呈する。道管のせん孔は単一で、内壁にはらせん肥厚がある(放射断面)。放射組織は、異性1～4細胞幅、3～28細胞高で、不完全な周囲状を示す。

以上の形質から、マメ科フジ属のフジの材と同定される。フジは、本州以南の暖帯から温帯にかけて分布する落葉の籐本である。

アカメガシワ *Mallotus japonicus* (Thunb.) Muell.-Arg. トウダイグサ科 図版48 a～48 c.

年輪の始めにやや大きく厚壁の管孔があり、そこから順次径を減じ、晩材部では比較的厚壁の小道管が2～6個放射方向に複合して散在する環孔材である(横断面)。道管のせん孔は単一である(放射断面)。放射組織は、異性で単列まれに2細胞幅、2～20細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、トウダイグサ科アカメガシワ属のアカメガシワの材と同定される。アカメガシワは東北地方以南の暖帯の陽光地に普通にみられる樹高10m、幹径30cm程度になる落葉広葉樹である。

コクサギ *Orixa japonica* Thunb. ミカン科 図版49 a～49 c.

小型の管孔が集合して雲紋状を呈する散孔材である(横断面)。道管のせん孔は単一で、かすかにらせん肥厚が認められる(放射断面)。放射組織は、異性1～2細胞幅、3～30細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、ミカン科コクサギ属のコクサギの材と同定される。コクサギは本州以南の暖帯から温帯にかけて分布する落葉広葉樹(低木)である。

キハダ *Phellodendron amurense* Rupr. ミカン科 図版50 a～50 c.

年輪のはじめに大型の管孔が並び、そこから径を減じた管孔が数個複合して斜め接線方向に連続して散在する環孔材である(横断面)。道管のせん孔は単一で、内壁にはらせん肥厚が認められる(放射断面)。放射組織は、同性1～3細胞幅、4～25細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、ミカン科キハダ属のキハダの材と同定される。キハダは、温帯に分布する樹高20m、幹径1mに達する落葉広葉樹である。

ニガキ *Picrasma quassioides* (D. Don) Benn. ニガキ科 図版51 a～51 c.

年輪のはじめに大型の管孔が数列並び、そこから径を減じた小管孔が数個複合して散在する環孔材で、柔細胞は連合翼状である(横断面)。道管のせん孔は単一である(放射断面)。放射組織は、同性1～4細胞幅、3～19細胞高である。

以上の形質から、ニガキ科ニガキ属のニガキの材と同定される。ニガキは、暖帯から温帯にかけて分布する樹高15m、幹径40cmに達する落葉広葉樹である。

ヤマウルシ *Rhus trichocarpa* Miq. ウルシ科 図版52 a～52 c.

年輪のはじめに大型の環孔が並び、そこから径を減じた管孔が放射方向に数個複合して散在する環孔材である(横断面)。道管のせん孔は単一で、小管孔の内壁にはらせん肥厚が認められる(放射断面)。放射組織は、異性1～2細胞幅、2～18細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、ウルシ科ウルシ属のヤマウルシの材と同定される。ヤマウルシは、暖帯から温帯にかけて分布する樹高8m、幹径10cm程度の落葉広葉樹である。

ヌルデ *Rhus javanica* Linn. ウルシ科 図版53 a～53 c.

年輪のはじめに大型の管孔が1～2程度並び、晩材部では小型の管孔が単独または2～4個程度放射方向あるいは塊状に散在する環孔材である(横断面)。道管のせん孔は単一で、内壁にはらせん肥厚が見られる(放射断面)。放射組織は、異性1～4細胞幅、3～28細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、ウルシ科ウルシ属のヌルデの材と同定される。ヌルデは、温帯から亜熱帯にかけて分布する樹高7mに達する落葉広葉樹である。

カエデ属 *Acer* カエデ科 図版54 a～54 c.

中型の管孔が単独あるいは放射方向に2～5複合して散在する散孔材で、木部柔細胞は帯状または雲紋状を呈する(横断面)。道管のせん孔は単一で、内壁にはらせん肥厚が認められる(放射断面)。放射組織は、同性1～6細胞幅、1～37細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、カエデ科のカエデ属の材と同定される。カエデ属の樹木は、全国の暖帯から亜寒帯まで広く、その種類も20種以上と多い。

ムクロジ *Sapindus mukorossi* Gaertn. ムクロジ科 図版55 a～55 c.

年輪のはじめに大型の管孔が並び、早材部には2～3個複合した小管孔が散在する環孔材である(横断面)。道管のせん孔は単一、小管孔の内壁には肥厚がある(放射断面)。木部柔組織は連合翼状に分布し、放射組織は、同性1～4細胞幅、3～55細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、ムクロジ科ムクロジ属のムクロジの材と同定される。ムクロジは関東地方以西の暖帯から亜熱帯に分布する樹高15m、幹径40cm程度になる落葉広葉樹である。

トチノキ *Aesculus turbinata* Blume. トチノキ科 図版56 a～56 c.

小型の管孔が単独または2～4個程度放射方向に複合し、やや密に散在する散孔材である(横断面)。道管のせん孔は、単一である。内壁にはらせん肥厚が見られる(放射断面)。放射組織は、同性単列まれに1～2細胞幅で、3～21細胞高である。また、この樹種を最も特徴づけるリップルマーク(規則的な層階状配列)を示している(接線断面)。

以上の形質から、トチノキ科トチノキ属のトチノキと同定される。トチノキの樹木は、樹高30m、幹径2mに達する北海道から九州まで分布する落葉広葉樹である。

アワブキ *Meliosma myriantha* Sieb. et Zucc. アワブキ科 図版57 a～57 c.

中型の管孔が単独ないし2～3個放射方向に複合して散在する散孔材である(横断面)。道管のせん孔は単一である(放射断面)。放射組織は、異性1～4細胞幅、2～100細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、アワブキ科アワブキ属のアワブキの材と同定される。アワブキは、本州以西の暖帯から温帯にかけて分布する樹高10m、幹径25cmに達する落葉広葉樹である。

ニシキギ属 *Euonymus* ニシキギ科 図版58 a～58 c.

小型で丸い管孔がほぼ単独で均一に散在する散孔材である(横断面)。道管のせん孔は単一で、内壁にはらせん肥厚が見られる(放射断面および接線断面)。放射組織は、異性単列、2～15細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、ニシキギ科のニシキギ属の材と同定される。ニシキギ属の樹木には、樹高15mに達する落葉高木のマユミ(*E. sieboldianus*)あるいは常緑低木のマサキ(*E. japonicus*)など18種類ほどあり、暖帯から温帯にかけて分布する。

第3章 理科学分析

ミツバウツギ *Staphylea bumalda* (Thunb.) DC. ミツバウツギ科 図版59 a～59 c.

やや小型で角張った管孔が単独で散在する散孔材である(横断面)。道管のせん孔は、31本程度の横棒からなる階段状である(放射断面)。放射組織は、異性1～6細胞幅、1～44細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、ミツバウツギ科ミツバウツギ属のミツバウツギの材と同定される。ミツバウツギは、暖帯から温帯にかけて分布する樹高3mほどの落葉広葉樹である。

ケンボナシ属 *Hovenia* クロウメドキ科 図版60 a～60 c.

年輪のはじめに大型の管孔が1列程度並び、晩材部では小型の管孔が塊状あるいは放射方向に複合して散在する環孔材である(横断面)。道管のせん孔は、単一である(放射断面)。放射組織は、異性1～3細胞幅、3～56細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、クロウメドキ科のケンボナシ属の材と同定される。ケンボナシ属の樹木には、ケンボナシ(*H. dulcis*)やケケンボナシ(*H. tomentella*)があり、いずれも樹高25m、幹径1mに達する落葉広葉樹で、ケンボナシが全国の温帯に、ケケンボナシが本州西部や四国などに分布する。

グミ属 *Elaeagnus* グミ科 図版61 a～61 c.

年輪のはじめに中型の管孔が1列並び、そこから径を減じた小管孔が単独で散在する環孔材である(横断面)。道管のせん孔は単一で、内壁にはらせん肥厚が認められる(放射断面)。放射組織は、同性1～13細胞幅、2～55細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、グミ科のグミ属の材と同定される。グミ属の樹木には、アキグミ(*E. umbellata*)やマメグミ(*E. montana*)などがあり、いずれも樹高3mほどの落葉広葉樹である。

ミズキ属 *Cornus* ミズキ科 図版62 a～62 c.

小型で丸い管孔が単独あるいは2個程度複合して散在する散孔材である(横断面)。道管のせん孔は多数の横棒からなる階段状である(放射断面)。放射組織は、異性1～4細胞幅、4～33細胞高で、単列部は背が高い(接線断面)。

以上の形質から、ミズキ科のミズキ属の材と同定される。ミズキ属の樹木には、ミズキ(*C. controversa*)やクマノミズキ(*C. brachypoda*)などがあり、暖帯から温帯にかけて分布する樹高15m、幹径40cmに達する落葉広葉樹である。

ウコギ属 *Acanthopanax* ウコギ科 図版63 a～63 c.

小型の管孔が接線方向からななめ接線方向に複合して散在する散孔材である(横断面)。道管のせん孔は単一である(放射断面)。放射組織は異性で、2～6細胞幅、4～36細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、ウコギ科のウコギ属の材と同定される。ウコギ属の樹木には、落葉高木のコシアブラ(*A. sciadophylloides*)を除く、樹高2～5mの落葉低木のヤマウコギ(*A. spinosus*)や樹高1mの落葉低木のオカウコギ(*A. nipponicus*)などがある。

ハリギリ *Kalopanax pictus* (Thunb.) Nakai ウコギ科 図版64 a～64 c.

年輪のはじめに大型の管孔が並び、以後径を減じた管孔が接線方向に帯状に配列する環孔材である(横断

面)。道管のせん孔は単一である(放射断面)。放射組織は、異性1~5細胞幅、3~34細胞高である(接線断面)。

以上の形質からウコギ科ハリギリ属のハリギリの材と同定される。ハリギリは温帯から暖帯にかけて分布する樹高25m、幹径1mに達する落葉広葉樹である。

カキノキ属 *Diospyros* カキノキ科 図版65 a~65 c.

中型の丸い管孔が単独または放射方向に2個複合して散在する散孔材である(横断面)。道管のせん孔は単一である(放射断面)。放射組織は、異性で1~2細胞幅、4~18細胞高であり、高さのほぼ等しい層階状に規則的に配列する(接線断面)。

以上の形質から、カキノキ科のカキノキ属の材と同定される。カキノキ属の樹木には、暖帯に自生するトキワガキ (*D. morrisiana*) あるいは本州から九州にかけて栽培されているカキ (*D. kaki*) などがあり、小高木から高木までである。

エゴノキ属 *Styrax* エゴノキ科 図版66 a~66 c.

小型の管孔が放射方向に2~5個複合し、早材部ではやや径を減じて放射方向に2~5個複合して散在する散孔材である(横断面)。道管のせん孔は10本程度の太い横棒からなる階段状である(放射断面)。放射組織は、異性1~3細胞幅、2~40細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、エゴノキ科のエゴノキ属の材と同定される。エゴノキ属の樹木は、本州以南の温帯から暖帯に分布するエゴノキ (*S. japonica*) や全国の温帯に分布するハクウンボク (*S. obassia*) あるいは関東以西の温帯に分布するコハクウンボク (*S. shirasawana*) などがある。

トネリコ属 *Fraxinus* モクセイ科 図版67 a~67 c.

年輪のはじめに大型の管孔が1~3個並び、以後径を減じた管孔がやや塊状に分布する環孔材である。また、木部柔細胞は周囲状もしくは連合翼状である(横断面)。道管のせん孔は単一である(放射断面)。放射組織は、同性1~3細胞幅、3~41細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、モクセイ科のトネリコ属の材と同定される。トネリコ属の樹木には、トネリコ (*F. japonica*) やシオジ (*F. spaethiana*) あるいはヤチダモ (*F. mandshurica*) などがあり、全国の温帯に分布する。

イボタノキ属 *Ligustrum* モクセイ科 図版68 a~68 c.

小型の管孔が年輪の始めにやや密に並び、以後径をやや減じて数個放射方向に複合して散在する散孔材である(横断面)。道管のせん孔は単一で、内壁にはらせん肥厚が見られる(放射断面)。放射組織は、異性で1~3細胞幅、4~29細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、モクセイ科のイボタノキ属の材と同定される。イボタノキ属の樹木には、温帯から暖帯にかけて分布する落葉広葉樹のイボタノキ (*L. obtusifolium*) や暖帯に分布する常緑広葉樹のネズミモチ (*L. japonicum*) などがある。

第3章 理科学分析

サワフタギ *Symplocos chinensis* (Lour.) Druce var. *leucocarpa* (Nakai) Ohwi ハイノキ科 図版69 a～69 c.

小型の管孔がほぼ単独で均一に散在する散孔材である(横断面)。道管のせん孔は、68本程度の横棒からなる階段状せん孔である(放射断面)。放射組織は、異性1～2細胞幅、3～36細胞高で、単列部は背が高く、交互状である(接線断面)。

以上の形質から、ハイノキ科ハイノキ属のサワフタギの材と同定される。サワフタギは、全国の温帯から暖帯にかけて分布する落葉広葉樹の低木である。

ムラサキシキブ属 *Callicarpa* クマツヅラ科 図版70 a～70 c.

やや大型の丸く厚壁の管孔が単独もしくは2～5個複合して散在する散孔材である(横断面)。道管のせん孔は単一である(放射断面)。放射組織は、異性1～3細胞幅、3～53細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、クマツヅラ科のムラサキシキブ属の材と同定される。ムラサキシキブ属の樹木には、ムラサキシキブ(*C. japonica*) やヤブムラサキ(*C. mollis*) などがあり、いずれも樹高3m程度の本州、四国、九州に分布する落葉広葉樹である。

キリ *Paulownia tomentosa* (Thunb.) Steud. ゴマノハグサ科 図版71 a～71 c.

年輪の初めに大型で丸い管孔が単独あるいは2個放射方向に複合し、晩材部では丸い小型～中型の管孔が周囲状柔細胞に囲まれて散在する環孔材である(横断面)。道管のせん孔は単一である(放射断面)。放射組織は、異性1～2細胞幅、4～17細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、ゴマノハグサ科キリ属のキリの材と同定される。キリは、東北・関東地方北部においてよく生育する樹高10mほどの落葉広葉樹である。キリは中国中部原産などと考えられている。

ニワトコ *Sambucus sieboldiana* Blume ex. Graebn スイカズラ科 図版72 a～72 c.

小型の管孔が年輪のはじめにやや密に並び、以後接線方向に2～3個複合して散在する散孔材である(横断面)。道管のせん孔は単一である(放射断面)。放射組織は、異性1～4細胞幅、4～35細胞高である(接線断面)。

以上の形質から、スイカズラ科ニワトコ属のニワトコの材と同定される。ニワトコは樹高5m程度の全国の温帯から暖帯にかけて分布する落葉広葉樹である。

ガマズミ属 *Viburnum* スイカズラ科 図版73 a～73 c.

やや小型の管孔がほぼ単独で散在する散孔材である(横断面)。道管のせん孔は、多数の横棒からなる階段状せん孔からなる(放射断面)。放射組織は、異性1～4細胞高、5～27細胞高からなり、端部あるいは単列部は背が高い(接線断面)。

以上の形質から、スイカズラ科のガマズミ属の材と同定される。ガマズミ属の樹木には、落葉広葉樹で樹高5m程度のガマズミ(*V. dilatatum*) や樹高2～6mのヤブデマリ(*V. plicatum*) などがあり、本州～九州の暖帯から温帯に分布する。

散孔材 A 図版74 a ~ 74 c.

中型の管孔が単独あるいは2~3個放射方向に複合して散在する散孔材で、軸柔細胞は周囲状である(横断面)。道管のせん孔は単一である(放射断面)。放射組織は、同性1~3細胞幅、5~27細胞高である(接線断面)。

散孔材 B 図版75 a ~ 75 c.

中型の管孔が単独あるいは2~3個放射方向に複合して散在する散孔材で、軸柔細胞は周囲状である(横断面)。道管のせん孔は単一である(放射断面)。放射組織は、異性1~3細胞幅、3~28細胞高である(接線断面)。

草本類 図版76 a ~ 76 c.

中型の管孔が単独あるいは2~3個放射方向に複合して散在する散孔材と思われる(横断面)。道管のせん孔は単一である(放射断面)。放射組織は、異性1~2細胞幅、背は非常に高い(接線断面)。

b. 木製品とその樹種利用

同定される樹種の分類群は、実測試料が70分類群、参考試料が64分類群で、実測および参考試料を合わせて78分類群に及ぶ(表24)。なお、樹木以外に草本類の茎(参考試料)や樹皮(実測試料)が検出されている。木製品および木材が最も多く出土する面は、第3・4面および第4面で、全体の85%強に達し、実測試料の場合においても85%強に達する。

全体を通して見ると、実測試料では、最も多く出現する樹種はコナラ属クヌギ節で約22.4%で、次いでクリが約9.7%、コナラ属コナラ節が約8.6%、ヤナギ属が約6.4%、針葉樹のモミ属およびカバノキ属がいずれも約5.5%、ケヤキが約4.3%、カエデ属が約3.5%、ブナ属が約2.6%で検出されている。これ以外では、スギ、イヌシデ節、トチノキ、モモなどが比較的高率で出現している。一方参考試料では、ヤナギ属が最も多く約11.3%で、次いでコナラ属クヌギ節が約10.5%、コナラ属コナラ節が約8.7%、カエデ属が約6.9%、クリが約6.2%、ケヤキが約5.9%、ヤマグワが約5.1%、針葉樹のモミ属が約4.4%などが高率で検出されている。

針葉樹が占める割合を各面別に見ると、実測試料では1面がスギなど62.5%、2面がモミ属など26.0%、3面がモミ属など26.5%、3・4面がモミ属など9.2%、4面がモミ属など9.8%である。参考試料では1面がスギなど28.6%、2面がマツ属など26.3%、3面がモミ属など13.0%、3・4面がモミ属、スギ、ヒノキ属など9.1%である。一方、常緑広葉樹が占める割合を見ると、実測試料では3面がアカガシ亜属、ヤブツバキからなり4.8%、3・4面がアカガシ亜属、ヤブツバキ、サカキおよびヒサカキからなり4.7%、4面がアカガシ亜属、サカキ、ヒサカキからなり2.7%である。参考試料では、3面がアカガシ亜属で4.3%、3・4面がアカガシ亜属、サカキ、ヒサカキからなり6.3%、4面がアカガシ亜属のみで2.4%である。

各面ごとに木製品とその樹種について見ると、第1面では点数が24点と少ないが、桶としてズキ、曲物としてネズコ、漆椀としてクヌギ節の樹木などが利用されている。また、漆椀としてブナ属も検出されている。第2面においても点数が41点と少ないが、板類として針葉樹のモミ属やクヌギ節、杭類としてハンノキ節・クリ・コナラ節・カエデ属などが利用されている。第3面では、杭類としてヤナギ属・クリ・クヌギ節・アカガシ亜属など、柱材などの建築用材として針葉樹のモミ属・スギあるいはクリ・クヌギ節など、鋤類とし

第3章 理科学分析

てカバノキ属など利用されている。また、弓材として針葉樹のカヤが利用されている。第3・4面では、杭類としてクヌギ節・ヤナギ属・カエデ属など、柱材など建築用材としてクヌギ節・クリ・コナラ節・ケヤキ・ハンノキ節など、棒類としてクヌギ節・コナラ節・クリ・アカガシ亜属・ヤナギ属・トチノキなど、鋳類や鋤類としてカバノキ属・クヌギ節など、柄類としてヤナギ属・クリ・アカガシ亜属・トネリコ属などが利用されている。また、弓材では複数の樹種が検出され、カヤ・スギ・クヌギ節・ムクノキ・ウツギ属・モモが利用されている。さらに、舟ではクリとケヤキが利用されている。第4面では、杭類としてクヌギ節・ヤナギ属・コナラ節・針葉樹のモミ属など、柱類などの建築用材としてクヌギ節・コナラ節・クリ・ヤナギ属・クリ・ケヤキ・カエデ属・ブナ属など、たる木としてイヌシデ節・カエデ属・コクサギ・ヤナギ属など、鋳類や鋤類としてカバノキ属・クヌギ節・アカガシ亜属など、柄類としてクリ・クヌギ節・モミ属・コナラ節・アカガシ亜属などが利用されている。また槌としてコナラ節・カバノキ属・アカガシ亜属・モモ、旗織具としてモミ属とイヌシデ節がそれぞれ利用されている。第5面では板類や柄類あるいは杭類などでクヌギ節の樹木が多く見られる。

3. 3面～5面相当層の花化石

a. 試料と方法

花粉化石の検討を行ったC地点の8試料はプラント・オパール分析の試料と同一である。C地点の層相を見ると、試料1（1層）には榛名二ツ岳渋川テフラ（Hr-FA、6世紀初頭）が、試料5（5層）には浅間Cテフラ（As-C、4世紀中葉）が挟材している。

この8試料について次のような手順にしたがって花粉分析を行った。

試料（乾重約1g）を遠沈管にとり、10%水酸化カリウム溶液を加え20分間湯煎する。水洗後、0.5mm目の篩にて植物遺体などを取り除き、傾斜法を用いて粗粒砂などを除去する。次に46%フッ化水素酸溶液を加え30分間放置する。水洗後、重液処理（臭化亜鉛溶液：比重2.1を加え遠心分離）を行い、浮遊物を回収して水洗する。この回収したものについて酢酸処理を行い、続けてアセトリシス処理（無水酢酸9：1濃硫酸の割合の混酸を加え3分間湯煎）を行う。水洗後、残渣にグリセリンを滴下し保存用とする。検鏡はこの残渣より適宜プレパラートを作成して行い、その際サフランにて染色を施した。また花粉化石の単体標本を適宜作成し、各々にPLC. SS 番号を付し、形態観察用および保存用とした。

b. 結果

検出された花粉・胞子の分類群数は樹木花粉31、草本花粉28、形態分類を含むシダ植物胞子3の計62である。これら花粉・シダ植物胞子の一覧を表1に、またそれらの分布を図2に示す。ただし、試料1および6-2については樹木花粉の検出数が少なく分布図としては示せなかった。なお、分布図における樹木花粉は樹木花粉総数を基数に、草本花粉・シダ植物胞子は全花粉・胞子総数を基数として百分率で示してある。また、表および図においてハイフンで結んだ分類群はそれら分類群間の区別が困難なものを示し、クワ科・マメ科の花粉は樹木起源と草本起源のものがあるが、それぞれに分けることが困難なため便宜的に草本花粉に一括して入れてある。

検鏡の結果、樹木花粉では落葉広葉樹のコナラ属コナラ亜属が最も多く35%前後の出現率を示している。その他ではクマシデ属-アサダ属やニレ属-ケヤキ属が5%前後得られており、低率ではあるがサワグルミ属-クルミ属、ハンノキ属、カバノキ属、ブナ属、クリ属、トチノキ属などがほぼ連続して検出されている。

表1 元総社寺田遺跡II区C地点の産出花粉化石一覧表

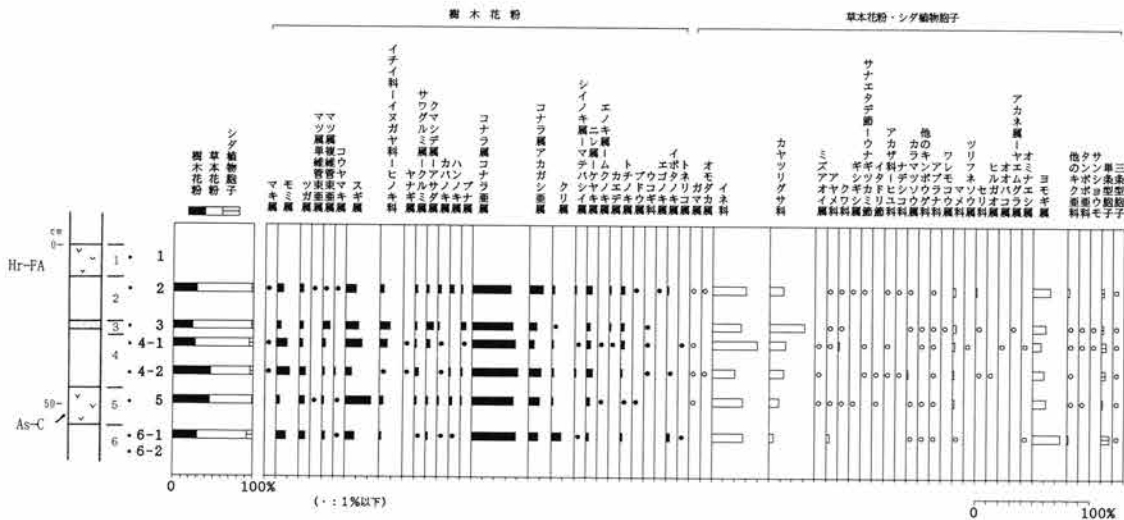
和名	学名	1	2	3	4-1	4-2	5	6-1	6-2
樹木									
マキ属	<i>Podocarpus</i>	—	1	—	1	1	—	—	—
モミ属	<i>Abies</i>	2	12	8	19	24	7	9	1
ツガ属	<i>Tsuga</i>	1	7	7	6	12	11	6	2
トウヒ属	<i>Picea</i>	—	—	—	2	—	—	—	—
マツ属単維管束亜属	<i>Pinus</i> subgen. <i>Haploxyylon</i>	—	1	—	—	—	1	—	—
マツ属複維管束亜属	<i>Pinus</i> subgen. <i>Diploxyylon</i>	—	1	13	6	4	4	3	—
マツ属(不明)	<i>Pinus</i> (Unknown)	—	—	—	1	3	3	1	—
コウヤマキ属	<i>Sciadopitys</i>	1	2	—	—	3	1	1	1
スギ属	<i>Cryptomeria</i>	4	19	23	29	12	51	9	—
イチイ科—イヌガヤ科—ヒノキ科	T.-C.	1	7	17	13	2	7	2	—
ヤナギ属	<i>Salix</i>	1	—	—	2	1	—	—	—
ヤマモモ属	<i>Myrica</i>	—	1	—	—	—	—	—	—
サワグルミ属—クルミ属	<i>Pterocarya-Juglans</i>	1	5	4	3	7	4	1	—
クマシデ属—アサダ属	<i>Carkinus-Ostrya</i>	3	5	13	7	—	4	2	—
カバノキ属	<i>Betula</i>	2	6	3	1	1	3	1	—
ハンノキ属	<i>Alnus</i>	—	8	—	—	3	6	1	—
ブナ属	<i>Fagus</i>	—	3	9	1	3	3	—	—
コナラ属コナラ亜属	<i>Quercus</i> subgen. <i>Lepidobalanus</i>	6	72	72	77	84	83	41	15
コナラ属アカガシ亜属	<i>Quercus</i> subgen. <i>Cyclobalanopsis</i>	2	26	14	9	22	22	9	3
クリ属	<i>Castanea</i>	1	5	1	3	4	3	9	2
シイノキ属—マテバシイ属	<i>Castanopsis-Pasania</i>	—	3	—	2	3	—	1	—
ニレ属—ケヤキ属	<i>Ulmus-Zelkova</i>	7	11	7	8	12	8	3	2
エノキ属—ムクノキ属	<i>Celtis-Aphananthe</i>	11	—	—	1	—	2	—	—
サンショウ属	<i>Zanthoxylum</i>	1	—	—	—	—	—	—	—
カエデ属	<i>Acer</i>	—	3	3	2	—	—	—	—
トチノキ属	<i>Aesculus</i>	—	7	6	7	3	2	2	—
ブドウ属	<i>Vitis</i>	—	2	—	—	—	1	—	—
ウコギ科	Araliaceae	—	—	1	1	2	—	—	—
エゴノキ属	<i>Styrax</i>	—	1	—	—	—	—	—	—
イボタノキ属	<i>Ligustrum</i>	—	3	—	—	2	—	3	—
トネリコ属	<i>Fraxinus</i>	—	—	—	1	—	—	1	—
カマズミ属	<i>Viburnum</i>	—	—	—	—	—	1	—	—
草木									
ガマ属	<i>Typha</i>	—	5	—	4	2	1	—	—
オモダカ属	<i>Sagittaria</i>	—	5	—	—	1	—	—	—
イネ科	Gramineae	41	211	211	289	88	132	93	18
カヤツリグサ科	Cyperaceae	6	89	254	104	56	42	13	1
ミズアオイ属	<i>Monochoria</i>	—	—	—	1	1	2	—	—
アヤメ科	Iridaceae	—	2	1	1	—	3	9	11
クワ科	Moraceae	5	3	8	9	—	3	—	—
ギシギシ属	<i>Rumex</i>	—	2	—	—	—	3	—	—
サナエタデ節—ウナギツカミ節	<i>Polygonum</i> sect. <i>Persicaria-Echinocaulon</i>	1	6	—	2	2	—	—	—
イタドリ節	<i>Polygonum</i> sect. <i>Reynoutria</i>	—	—	—	—	1	1	—	—
ソバ属	<i>Fagopyrum</i>	1	—	—	—	—	—	—	—
アカザ科—ヒユ科	Chenopodiaceae-Amaranthaceae	23	5	—	1	2	—	—	1
ナデシコ科	Caryophyllaceae	1	1	—	—	1	—	—	—
カラマツソウ属	<i>Thalictrum</i>	—	3	5	—	5	3	1	—
他のキンボウゲ科	other Ranunculaceae	1	—	1	1	—	1	1	—
アブラナ科	Cruciferae	1	2	1	1	2	2	2	1
ワレモコウ属	<i>Sanguisorba</i>	—	—	1	—	—	—	—	—
マメ科	Leguminosae	2	17	25	16	6	8	3	4
ツリフネソウ属	<i>Impatiens</i>	—	—	—	1	—	—	—	—
セリ科	Umbelliferae	—	9	4	—	4	—	—	—
ヒルガオ属	<i>Calystegia</i>	—	—	—	—	1	—	—	—
オオバコ属	<i>Plantago</i>	—	—	—	1	—	—	—	—
アカネ属—ヤエムグラ属	<i>Rubia-Galium</i>	—	—	1	—	—	—	—	—
オミナエシ属	<i>Patrinia</i>	—	—	—	2	—	—	1	1
ツリガネニンジン属—ホタルブクロ属	<i>Adenophora-Campanula</i>	—	1	—	—	—	—	—	—
ヨモギ属	<i>Artemisia</i>	10	109	94	54	44	56	83	41
他のキク亜科	other Tubuliflorae	1	15	3	6	4	2	5	5
タンポポ亜科	Liguliflorae	1	—	2	1	—	2	—	1
シダ植物									
サンショウモ	<i>Salvinia natans</i>	—	—	1	1	—	—	—	—
単条型孢子	Monolete Spore	1	16	16	32	16	6	25	14
三条型孢子	Trilete spore	—	1	1	4	1	2	3	—
樹木花粉	Arboreal pollen	44	211	201	202	208	227	105	26
草本花粉	Nonarboreal pollen	94	485	611	494	220	261	211	84
シダ植物孢子	Spores	1	17	18	37	17	8	28	14
花粉・孢子総数	Total Pollen & Spores	139	713	830	733	446	496	344	124
不明花粉	Unknown pollen	13	33	36	46	38	34	56	12

T.-C. は Taxaceae-Cephalotaxaceae-Cupressaceae を示す

第3章 理科学分析

常緑広葉樹類ではコナラ属アカガシ亜属が10%前後と比較的高い出現率を示しており、シイノキ属—マテバシイ属も若干検出されている。針葉樹類ではスギ属が10%前後と最も多く検出されており、試料5では出現率22%を示している。モミ属も多く、5%前後得られており、試料4—2では10%を越えている。その他ではツガ属やマツ属複雑管束亜属(アカマツやクロマツなどのニヨウマツ類)、イチイ科—イヌガヤ科—ヒノキ科(以後ヒノキ類と略す)も5%前後検出されている。

一方草本類ではイネ科が25%前後と高い出現率を示しており、試料4—1では40%近くに達している。カヤツリグサ科は上位に向かい増加する傾向を示しており、試料3(出現率31%)でピークをつくっている。ヨモギ属は10%前後得られ、上部および下部で出現率が高くなっており、試料6—1では24%に達している。その他ではカラマツソウ属やアブラナ科、マメ科などが連続して検出されている。またガマ属やオモダカ属、ミズアオイ属、アヤメ科といった水生植物が産出しており、試料1ではソバ属が1点ではあるが得られている。



第2図 元総社寺田遺跡II区3地点の主要花粉化石分析
(樹木花粉は樹木花粉総数、草本花粉・胞子は花粉・胞子総数を基数として百分率で算出した)

c. 花粉化石から見た遺跡周辺の古植生

全体を通してコナラ亜属が最優占しており、少なくとも4世紀中葉から6世紀初頭にかけての遺跡周辺丘陵・台地部ではこのコナラ亜属を主体にクマシデ属—アサダ属やニレ属—ケヤキ属などの落葉広葉樹林がその林分を広げていた。また沢筋や丘陵・台地斜面部ではサワグルミ属—クルミ属やトチノキ属がみられたであろう。これらに加え、スギ属やモミ属、ツガ属、ニヨウマツ類、ヒノキ類といった針葉樹類がその生育地を広げていた。一方アカガシ亜属を主体とした常緑広葉樹林も一部には成立していたと予想される。

群馬県館林市の花粉分析結果をみると、約2,300年前~12世紀末はコナラ亜属やクマシデ・アサダ属、アカガシ亜属が卓越する時期であった(辻ほか 1986)。また本遺跡に近い高崎市の日高遺跡におけるこの時期はやはりコナラ亜属が最優占しており、これにスギ属やモミ属、ツガ属あるいはアカガシ亜属の存在も予想される(徳永 1982)。このように4世紀から6世紀にかけての群馬県南部の平野部ではコナラ亜属を主体とした落葉広葉樹林が優勢であり、スギ属などの針葉樹類も生育地を広げ、照葉樹林要素であるアカガシ亜属も

一部にみられたのであろう。

試料4-1においてイネ科が39%と高い出現率を示しており、その中にはイネ属の形態を有するものも観察される。また同試料よりミズアオイ属花粉が得られており、オモダカ属を加えこれらが試料5より上位(試料3を除く)で検出されている。このオモダカ属やミズアオイ属は普通の湿地に生育するが、現在の水田にも水田雑草としてよく見られる植物群である。またプラント・オパール分析結果をみると、4層の2試料から量的には少ないようであるがイネのプラント・オパールが得られており、試料1、2からも得られている。またヨシ属も多く検出されている。これらのことからC地点付近では2および4層(4世紀中葉以降)において水田稲作が営われていたことが考えられ、それ以前はヨシやアヤメ類が生育する湿地が広がり、こうした湿地は水田化後も遺跡周辺にかなり残存していたものと思われる。なお試料1よりソバ属が検出されており6世紀においてソバの栽培が予想される。

4. 古墳時代前期および後期における木製品の樹種と周辺植生

古墳時代前期や後期では、多くの木製品においてクヌギ節やクリあるいはコナラ節の材を利用していることが分るが、新保遺跡IIにおいても同様の結果が示されている(鈴木・能城、1988)。ただし、元総社寺田遺跡の場合、クヌギ節の割合は10%程度低く、クヌギ節以外の樹木の占める割合が高い。また杭類としてヤナギ属、欵類や鋤類としてカバノキ属、杭類や板類としてモミ属やケヤキ、さらに板類や杭類にブナ属がそれぞれ比較的多く利用されているという特徴が見られる。またこれら樹木の中には寒冷的要素を示すカバノキ属やブナ属も含まれている。このような遺跡間における樹種利用の違いは、周辺植生の違いや各遺跡の交易の違いなどの要因が考えられる。

花粉化石の検討では、樹木花粉中コナラ亜属(クヌギ節とコナラ節からなる)が最も多く、スギ属、アカガシ亜属、モミ属、イチイ科—イヌガヤ科—ヒノキ科、クマシデ属—アサダ属、ニレ属—ケヤキ属が比較的多く、他にサワグルミ属—クルミ属、カバノキ属、ハンノキ属、ブナ属、クリ属、トチノキ属などが検出されている。一方、木製品ではコナラ亜属のうちのクヌギ節が最も多く、コナラ節も比較的多い。この他クリ、ヤナギ属、モミ属、カバノキ属、ケヤキ、カエデ属、アカガシ亜属が多く、スギ、ヒノキ属、ハンノキ節(ハンノキ属)、イヌシデ節(クマシデ属)、エノキ属、ヤマグワ、モモ、アワブキ、トネリコ属なども比較的多い。また、先にも述べたように寒冷的要素を示すカバノキ属やブナ属も見られ、1点ではあるがトウヒ属も検出される。現在、カバノキ属やトウヒ属の樹木は標高1000m前後から亜高山帯下部(標高1700~2500m)にかけて分布する。また、ブナ属の樹木は、谷川連峰や利根川源流域一帯あるいは尾瀬が原周辺に分布している(環境庁、1981; 環境庁、1987)。カバノキ属やブナ属は欵類や鋤類などに用いられていることから、樹種選択性が高く持ち込まれていることが考えられる。他の多くの樹種は、遺跡周辺において生育する樹木であり、各木製品ごとに樹種を選択して利用している。

引用文献

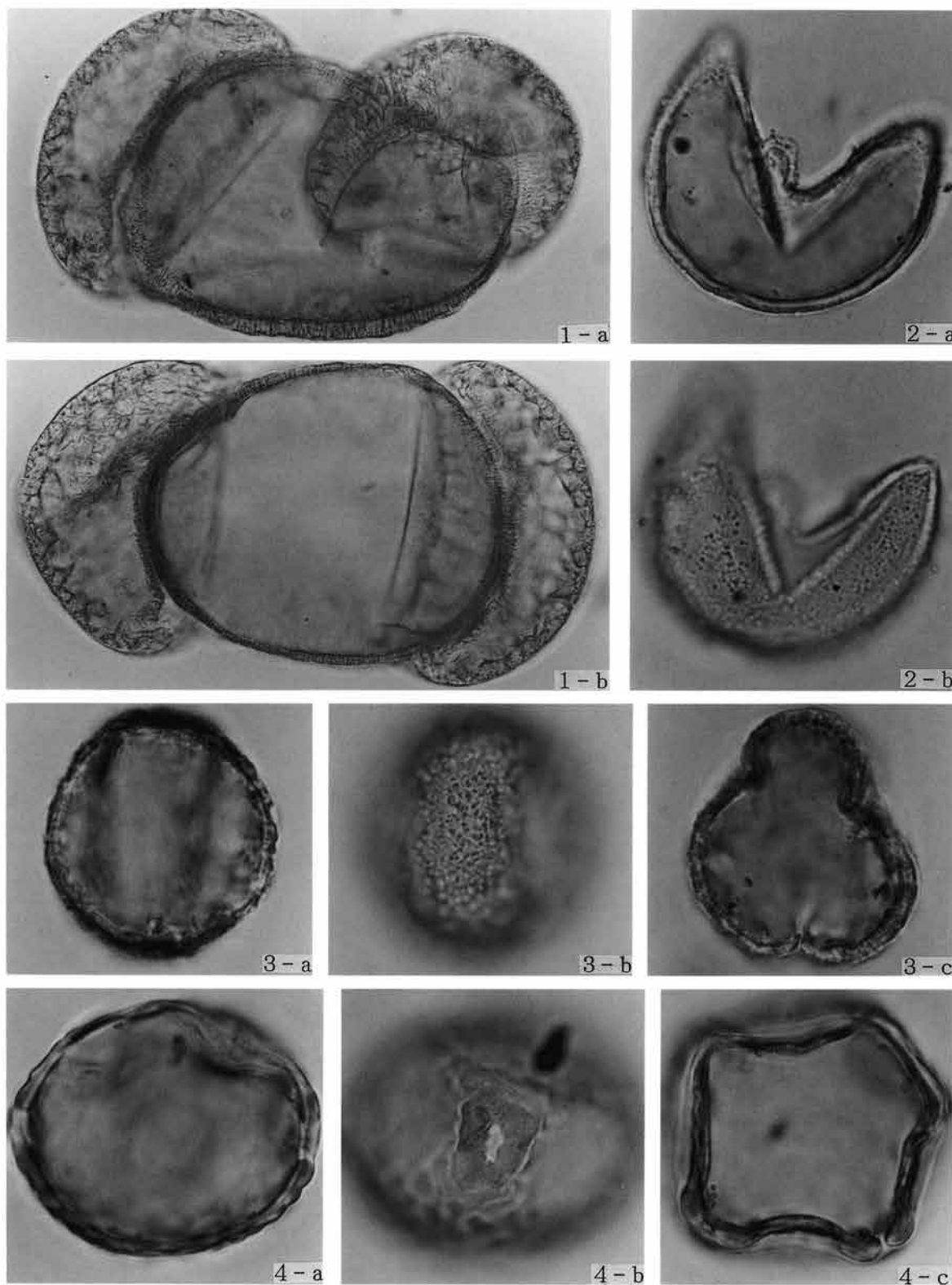
環境庁(1981): 群馬県現存植生図

環境庁(1987): 群馬県現存植生図

鈴木三男・能城修一(1988): 新保遺跡出土自然木の樹種とそれによる古環境復元。群馬県教育委員会・(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団。『新保遺跡II・弥生、古墳時代集落編—関越自動車道(新潟線)地域埋蔵文化財発掘調査報告書第18集—』, 435-453。

辻 誠一郎・南木睦彦・小杉正人(1986): 茂林寺沼及び低地湿原調査報告書 第2集 館林の池沼群と環境の変遷史。館林市教育委員会, 110P。

徳永重元(1982): 日高遺跡の花粉分析。日高遺跡—関越自動車道(新潟線)地域埋蔵文化財発掘調査報告 書第5集一, 群馬県教育委員会・(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団, P.349-356。

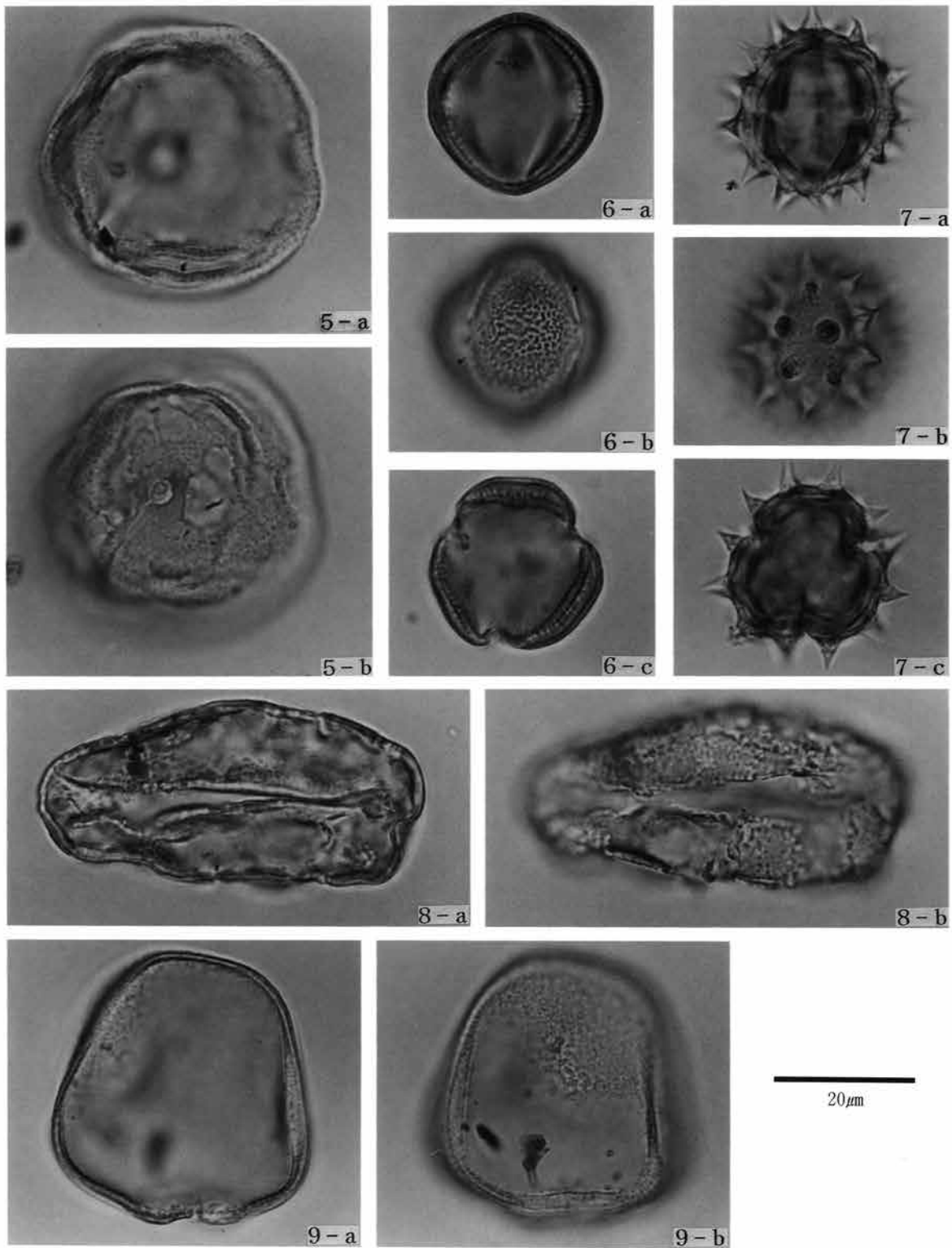


図版1 元総社寺田遺跡II区の花粉化石

- 1 : モミ属 PLC. SS 1235 試料5
- 2 : スギ属 PLC. SS 1242 試料5
- 3 : コナラ属コナラ亜属 PLC. SS 1239 試料3
- 4 : ニレ属一ケヤキ属 PLC. SS 1237 試料3

bar : 50 μ m

2 ~ 4 : 20 μ m



図版2 元総社寺田遺跡II区の花粉化石
 5：イネ科 PLC. SS 1241 試料3
 6：ヨモギ属 PLC. SS 1240 試料3
 7：キク亜科 PLC. SS 1243 試料5
 8：ミズアオイ属 PLC. SS 1236 試料5
 9：カヤツリグサ科 PLC. SS 1238 試料3

第3章 理科学分析

表1. 元総社寺田遺跡出土材の樹種 (実測No.1)

No.	図版	出土層位	製品名	樹種	No.	図版	出土層位	製品名	樹種
1		I区3面		コナラ節	51		II区4面	角杭	クヌギ節
2		〃		ヤブツバキ	52		〃	〃	〃
3					53		〃	〃	コナラ節
4	15	II区1面	曲物	ネズコ	54	28	〃	〃	〃
5	8	〃	〃	〃	55		〃	〃	クヌギ節
6	11	〃	〃	〃	56		〃	〃	〃
7		〃	〃	〃	57		〃	〃	コナラ節
8	14	〃	不明	ヒノキ属	58		〃	〃	クヌギ節
9	4	〃	漆碗	クリ	59		〃	〃	コナラ節
10	2	〃	〃	〃	60		〃	〃	クヌギ節
11		〃	杭	エゴノキ属	61		〃	〃	〃
12	17	〃	楔	クヌギ節	62		〃	〃	〃
13	1	II区トレンチ	漆碗	モクレン属	63		〃	〃	〃
14	3	II区1面	〃	ブナ属	64		〃	〃	〃
15		II区2面	角棒(柄?)	カバノキ属	65		〃	柱材	〃
16		〃	板	コナラ節	66		〃	杭(板状)	〃
17		II区4面	木端	クヌギ節	67		〃	角杭	〃
18		〃	角杭	コナラ節	68		〃	〃	コナラ節
19		〃	〃	クヌギ節	69	35	〃	杭(建築材転用)	〃
20		〃	丸杭	ヤマグワ	70	30	〃	〃	クヌギ節
21		〃	杭	コナラ節	71		〃	角杭	コナラ節
22	31	II区II区3・4面	板	〃	72		〃	〃	クヌギ節
23	29	〃	〃	クヌギ節	73		〃	板杭	〃
24		II区4面	杭	〃	74		〃	角杭	〃
25		II区3・4面	〃	カエデ属	75		〃	〃	〃
26		〃	角杭	クヌギ節	76		〃	〃	〃
27		II区4面	〃	〃	77		〃	〃	〃
28	22	〃	二股鋏	コナラ節	78	32	〃	板状舟?	ケヤキ
29		〃	角杭	クヌギ節	79		〃	角杭	クヌギ節
30		〃	杭	〃	80		〃	〃	〃
31		〃	丸杭	ヤナギ属	81		〃	丸杭	サクラ属
32		〃	〃	〃	82	34	〃	板?	コナラ節
33		〃	角杭	モミ属	83		〃	割杭	クヌギ節
34	24	II区3・4面	杭	カバノキ属	84		〃	角杭	〃
35	27	〃	角棒	クヌギ節	85		〃	〃	〃
36		II区4面	杭	〃	86		〃	杭	ムクロジ
37		II区3面	板	ブナ属	87		II区3・4面	板	クヌギ節
38	20	II区3・4面	三股鋏	クヌギ節	88		II区4面	丸杭	ヤナギ属
39	21	〃	容器?	ケヤキ	89	33	〃	角材	コナラ節
40		II区4面	角杭	コナラ節	90		II区3面	杭	クヌギ節
41		〃	〃	クヌギ節	91	23	〃	飾り弓	カヤリ
42		〃	丸杭	コナラ節	92	18	II区1面	建築材	クリ
43		II区1面	角杭	クヌギ節	93	19	〃	丸柱?	スギ
44		II区4面	〃	〃	94		〃	棒	クリ
45		〃	板	〃	95	16	〃	板	ヒノキ属
46		〃	角杭	〃	96	12	〃	〃	モミ属
47		〃	〃	〃	97	26	II区3面	曲物	トウヒ属
48		〃	〃	コナラ節	98	25	〃	〃	アカマツ
49		〃	〃	クヌギ節	99		II区1面	桶	スギ
50		〃	〃	〃	100	6	〃	〃	〃

表2. 元総社寺田遺跡出土材の樹種 (実測No.2)

No.	図版	出土層位	製品名	樹種	No.	図版	出土層位	製品名	樹種
1	7	II区1面	桶	スギ	51		III区3・4面	杭?	モミ属
2	10	〃	桶	〃	52		〃	板	クヌギ節
3	5	〃	〃	クリ	53		〃		クリ
4	13	〃	〃	スギ	54		〃		クヌギ節
5					55	256	〃		樹皮
6	36	III区1面	桶	スギ	56	59	〃	鋏	クヌギ節
7		〃	〃	〃	57	156	〃	加工材	〃
8		III区2面		ブナ属	58	147	〃		マツ属
9	119	III区3・4面	楔	クリ	59		〃	杭?	クヌギ節
10	56	〃	二股鋏	〃	60		〃		ハリギリ
11	152	〃	板	〃	61		〃		コナラ節
12		〃	棒状木製品	アワブキ	62	98	〃		ヤナギ属
13	91	〃	横槌	クヌギ節	63		〃	杭	〃
14		〃	杭	〃	64	151	〃	板材	クリ
15		〃	板	〃	65	52	〃	皿	ケヤキ
16	73	〃	鋤	カバノキ属	66	148	〃	割材(板)	〃
17	238	〃		カヤ	67	203	〃	〃	クリ
18	243	〃		ヒノキ属	68		〃		クヌギ節
18	80	〃	鋤	カバノキ属	69	108	〃	柄?	アワブキ
20	62	〃	二股鋏	クヌギ節	70	245	〃		サクラ属
21	182	〃	板	ケヤキ	71	167	〃	板	ケヤキ
22	120	〃		ヒノキ属	72	197	〃	割材の建築材	クリ
23	110	〃	鎌の柄	クリ	73	161	〃	薄板	モミ属
24	248	〃		モミ属	74		〃		クリ
25		〃		ヤブツバキ	75		〃		〃
26	114	〃		ヒノキ属	76	92	〃	柄	ヤナギ属
27	66	〃	二股鋏	カバノキ属	77		〃	〃	トチノキ
28	63	〃	〃	〃	78	60	〃	なすび型鋏	カバノキ属
29		〃	割材?	ヤマグワ	79	89	〃	杵	ヤブツバキ
30		〃	杭	アワブキ	80	41	〃	弓	カヤ
31	51	〃	舟?	クリ	81	178	〃	薄板(柾目)	カバノキ属
32		〃	丸棒	アカガシ亜属	82	180	〃	板材(釘穴有)	ケヤキ
33	201	〃	割材	アサダ	83	239	〃		アサダ
34	119	〃	〃	クヌギ節	84	223	〃	杭	ヤナギ属
35	200	〃	〃	モミ属	85	159	〃	板	モミ属
36		〃	丸棒	〃	86	205	〃		ケヤキ
37		〃	杭	ヤナギ属	87		〃	杭	ブナ属
38		〃	杭?	クヌギ節	88	185	〃	板材	ヒノキ属
39		〃		クリ	89		〃	杭	エゴノキ属
40		〃		オニグルミ	90		〃	〃	クヌギ節
41	171	〃		クヌギ節	91	209	〃	加工材	エノキ属
42		〃	棒	ヤマグワ	92	215	〃	柱?	イヌシデ節
43		〃		クヌギ節	93	251	〃		ケヤキ
44		〃	杭	アワブキ	94		〃		カバノキ属
45		〃	〃	コナラ節	95		〃		サクラ属
46		〃		クリ	96		〃		サカキ
47		〃		コナラ節	97	255	〃		ヤブツバキ
48		〃		クリ	98	42	〃	弓	ウツギ属
49	57	〃	なすび型鋏	クヌギ節	99	121	〃	刃形木製品	ヒノキ属
50		〃	加工木	コナラ節	100	103	〃	柄	ケヤキ

第3章 理科学分析

表3. 元総社寺田遺跡出土材の樹種 (実測No.3)

No.	図版	出土層位	製品名	樹種	No.	図版	出土層位	製品名	樹種
1		III区3・4面		マツ属	51		III区3・4面		ヒノキ属
2	50	〃	舟型容器	エノキ属	52		〃	丸棒	モクレン属
3		〃		モミ属	53	113	〃	柄	トネリコ属
4		〃	丸杭	クスギ節	54	214	〃	柱?	クスギ節
5	90	〃	砧	〃	55		〃	角棒	コナラ節
6		〃		オニグルミ	56		〃	〃	〃
7	242	〃		ヒノキ属	57		〃	角杭	ヤマグワ
8	250	〃		クスギ節	58		〃	板	トチノキ
9		〃		コナラ節	59	93	〃	砧	カバノキ属
10		〃		トネリコ属	60	164	〃	板	ク
11		〃	丸杭	カエデ属	61	175	〃	〃	〃
12	234	〃		ヤマグワ	62		〃	〃	ケヤキ
13		〃		カツラ	63	160	〃	角板	コナラ節
14	112	〃	柄	クスギ節	64		〃	杭	ブナ属
15	107	〃	〃	ク	65		〃		クスギ節
16	261	〃		〃	66	165	〃	板	ク
17	258	〃		〃	67		〃	角杭	クスギ節
18	253	〃		ムクノキ	68	43	〃	弓	モ
19	158	〃	板状	ク	69		〃	丸杭	コナラ節
20		〃	棒	マツ属単管束亜属	70		〃	細角杭	カバノキ属
21		〃	丸杭	カエデ属	71	170	〃	板	モミ属
22		〃	杭	ヤナギ属	72	188	〃	割板材	ク
23		〃	丸杭	クスギ節	73		〃		〃
24		〃	棒	コナラ節	74	144	〃	角材	コナラ節
25		〃	杭	クスギ節	75	44	〃	弓	スギ?
26		〃		モクレン属	76	122	〃	楔型木製品	クスギ節
27		〃		カバノキ属	77		〃	角杭	ク
28		〃		ヤカギ属	78		〃	板	クスギ節
29	236	〃		アカガシ亜属	79		〃		クロモジ属
30	117	〃	組物?	トチノキ	80		〃	板	アカガシ亜属
31	181	〃	板材?	ク	81		〃	〃	ク
32	94	〃	柄	マタタビ属	82	143	〃	断面三角丸棒	クスギ節
33	163	〃	板	クスギ節	83	123	〃	建築部材?	カエデ属
34	240	〃		〃	84		〃	板	ク
35	244	〃		モミ属	85		〃	〃	クスギ節
36		〃	杭	クスギ節	86	141	〃	丸棒	トチノキ
37		〃	棒	コナラ節	87		〃	丸杭	ヤマグワ
38		〃		〃	88		〃	板	クスギ節
39	111	〃	鎌の柄	ヤマグワ	89		〃	〃	カヤ
40	54	〃	二股鋏	クスギ節	90		〃	〃	ハンノキ節
41	172	〃	板	モミ属	91	45	〃	矢	アワブキ
42		〃	丸杭?	ヤナギ属	92	183	〃	板	モミ属
43	142	〃	角棒	トチノキ	93	145	〃	角棒	アカガシ亜属
44		〃	杭	カエデ属	94		〃		ク
45	106	〃	柄	アカガシ亜属	95		〃	丸杭	イヌシデ節
46	134	〃	建築材?	ク	96		〃	板	ケヤキ
47	105	〃	柄	クロモジ属	97		〃	〃	クスギ節
48		〃	板	ク	98		〃		カバノキ属
49		〃	棒	〃	99		〃		ク
50	174	〃	板	モミ属	100		〃	板	クスギ節

表4. 元総社寺田遺跡出土材の樹種 (実測No.4)

No.	図版	出土層位	製品名	樹種	No.	図版	出土層位	製品名	樹種
1	115	Ⅲ区3・4面	柄	トネリコ属	51	211	Ⅲ区3・4面	柱 ?	カエデ属
2		〃	角 棒	ク リ	52		〃		クヌギ節
3	140	〃	棒	クヌギ節	53		〃	薄 板 状	カバノキ属
4		〃	〃	〃	54		〃	丸 棒	ヤナギ属
5		〃	角 棒	ク リ	55		〃	〃	カエデ属
6		〃	角 杭	マツ属単維管束亜属	56		〃	板 状	ク リ
7		〃	板	カエデ属	57	109	〃	柄 ?	サカキ
8		〃	角 棒	クヌギ節	58		〃	板 状	ク リ
9	53	〃	二 股 鋏	カバノキ属	59		〃		ケヤキ
10	61	〃	〃	クヌギ節	60		〃	板 状	クヌギ節
11	184	〃	板?	モ ミ 属	61	99	〃	丸 棒 柄	サワグルミ
12		〃		クヌギ節	62		〃	棒 状	ケヤキ
13	155	〃	板	〃	63		〃	板 状	コナラ節
14		〃	棒	モ ミ 属	64	101	〃	柄	カエデ属
15	173	〃	板	クヌギ節	65	100	〃	〃	モ モ
16	124	〃	建 築 材	ヤナギ属	66		〃		ヤマグワ
17		〃	半 載 棒	ムラサキシキブ属	67		〃	丸 棒 状	トネリコ属
18	68	〃	横 鋏	カバノキ属	68	98	〃	柄	アカガシ亜属
19	221	〃	杭?(割材)	コナラ節	69	130	〃	建 築 材	イボタノキ属
20		〃		カバノキ属	70	149	〃	角 棒	クヌギ節
21	46	〃	舟型容器	ク リ	71		〃	細 丸 棒	ケヤキ
22		〃	丸棒杭?	ヤナギ属	72		〃	棒 状	ク リ
23		〃	板	クヌギ節	73		〃	板 状	ブナ属
24	237	〃		カバノキ属	74	72	〃	なすぎ型鋏	カバノキ属
25	65	〃	なすぎ型鋏	〃	75	78	〃	〃	〃
26	166	〃	板	ク リ	76		〃	太い丸棒	トネリコ属
27	131	〃	建 築 材	ブナ属	77	132	〃	建築材?	クヌギ節
28		〃	丸 棒	ハンノキ節	78		〃	細長丸棒	ヤナギ属
29	157	〃	薄 板	クヌギ節	79	186	〃	板 状	カエデ属
30	95	〃	柄	モ モ	80	83	〃	二 股 鋏	クヌギ節
31	218	〃	柱 ?	ハンノキ節	81	198	〃	割 材	トチノキ
32		〃		ガマズミ属	82		〃	丸 太 棒	ヤナギ属
33		〃	杭 丸 棒	ハンノキ節	83	104	〃	柄?	〃
34		〃		コナラ節	84		〃	〃	アカガシ亜属
35	216	〃	柱?(建築材)	ケヤキ	85		〃	板 状	ク リ
36	55	〃	なすぎ型鋏	カバノキ属	86		〃	角 棒 状	クヌギ節
37	37	〃	飾り弓(黒漆塗)	クヌギ節	87	177	〃	細 板	コナラ節
38	79	〃	なすぎ型鋏	カバノキ属	88	118	〃		ク リ
39		〃		モ ミ 属	89		〃		〃
40		〃		ク リ	90	247	〃		〃
41		〃	角 棒 状	マツ属単維管束亜属	91		〃	薄 板 状	カバノキ属
42		〃	割 材	クヌギ節	92	38	〃	弓	ムクノキ
43		〃		ク リ	93	40	〃		コナラ節
44		〃	曲がり棒	イボタノキ属	94		〃	丸 杭 ?	カエデ属
45		〃		エノキ属	95		〃	〃	カバノキ属
46		〃	杭?	アワブキ	96	195	〃	割 材	クヌギ節
47	96	〃	柄	カバノキ属	97	168	〃	板 棒 状	カバノキ属
48		〃		ク リ	98	137	〃	建 築 材	ヤナギ属
49	81	〃	鋏 先	〃	99		〃	半 載 丸 棒	アカガシ亜属
50		〃		コナラ節	100		〃	板 状	コナラ節

第3章 理科学分析

表5. 元総社寺田遺跡出土材の樹種 (実測No5)

No	図版	出土層位	製品名	樹種	No	図版	出土層位	製品名	樹種
1	254	III区3・4面		ク リ	51		III区3・4面	丸棒状	ヤナギ属
2		〃	丸棒状	ヤマグワ	52	87	〃	梯子	アカマツ
3		〃		エノキ属	53	249	〃		ムクロジ
4		〃		カツラ	54		〃	丸棒状	カエデ属
5		〃		カバノキ属	55		〃	半載丸棒	アカガシ亜属
6		〃		散孔材A	56	169	〃	板状	モミ属
7	154	〃	板状	トチノキ	57		〃	丸棒	クヌギ節
8	252	〃	割板	クヌギ節	58	263	〃		カエデ属
9		〃	角杭?	〃	59	196	〃	割材	クヌギ節
10		〃	杭	ネズコ	60	191	〃	〃	コナラ節
11	64	〃	鋏?	カバノキ属	61		〃		カエデ属
12	77	〃	鋏?	〃	62	126	〃	建築材	ハンノキ節
13	136	〃	角棒	クヌギ節	63	49	〃	舟形容器	ケヤキ
14	82	〃	なすび型鋏	カバノキ属	64		〃	角杭?	クヌギ節
15	39	〃	弓?	アワブキ	65		〃	丸棒	ムクノキ
16	219	〃	柱?	クヌギ節	66		〃	〃	トチノキ
17	75	〃	なすび型鋏	カバノキ属	67	207	〃	建築材柱?	ヤナギ属
18	71	〃	鋏	ク リ	68		〃	板状	クヌギ節
19		〃	丸棒	オニグルミ	69		〃	丸棒	ヤナギ属
20	67	〃	横鋏	クヌギ節	70	47	〃	舟	トチノキ
21		〃	細棒状	ムラサキシキブ属	71		〃	棒状	クヌギ節
22		〃	丸杭	モミ属	72		〃	丸棒	カバノキ属
23	58	〃	なすび型鋏先	カバノキ属	73	127	〃	建築材	クヌギ節
24		〃		コナラ節	74	150	〃	角棒	〃
25	125	〃	建築材?	モミ属	75	76	〃	なすび型鋏先	カバノキ属
26		〃	丸杭	コクサギ	76		〃	建築材	トネリコ属
27		〃	杭?	モモ	77	210	〃	半載柱	カヤ
28		〃		クヌギ節	78		〃	丸棒	コクサギ
29	133	〃	建築材	〃	79		〃	角棒状	クヌギ節
30	85	〃	鋏	カバノキ属	80	246	〃	板状	ク リ
31		〃		コナラ節	81	84	〃	鋏	クヌギ節
32		〃	半載	モクレン属	82	259	〃	厚板状	ク リ
33	128	〃	建築材	ハンノキ節	83	220	〃	太丸棒柱?	アワブキ
34	116	〃	組物?	ケヤキ	84	204	〃	角材	オニグルミ
35		〃	棒状	モミ属	85		〃	丸棒	ヤナギ属
36		〃	丸棒	アカガシ亜属	86	217	〃	柱?	トネリコ属
37		〃	半載棒	〃	87		〃	割板状	コナラ節
38		〃	柱?	コナラ節	88		〃	丸棒	ハンノキ節
39	136	〃	六角棒	〃	89	206	〃	割材柱	コナラ節
40		〃	棒状	ヤナギ属	90	189	〃	建築材	クヌギ節
41	179	〃	板状	トチノキ	91	193	〃	割材棒	〃
42		〃	半載丸棒	アカガシ亜属	92		〃	丸棒	ヤマグワ
43	102	〃	棒状	〃	93	187	〃	幅広板状	トネリコ属
44		〃		コナラ節	94	146	〃	角棒割材	クヌギ節
45		〃	棒状	サクラ属	95	212	〃	柱	カエデ属
46		〃	杭	ク リ	96	192	〃	建築材割材	コナラ節
47	138	〃	割材棒状	アカガシ亜属	97	241	〃	建築材	クヌギ節
48		〃	割板材	ク リ	98		〃	焼けた丸棒	ムクロジ
49		〃	丸棒	ヤナギ属	99		〃	枝落した丸棒	カエデ属
50		〃	棒状	エノキ属	100	48	〃	舟	ケヤキ

表6. 元総社寺田遺跡出土材の樹種 (実測No.6)

No.	図版	出土層位	製品名	樹種	No.	図版	出土層位	製品名	樹種
1		III区3・4面		クヌギ節	51		IV区3面	杭	ク　　リ
2	194	〃	建築材	コナラ節	52	299	〃	薄　　板	〃
3	153	〃	板	ケヤキ	53	322	〃	角　　材	モミ属
4	190	〃	建築材	ヤナギ属	54	296	〃	薄　　板	モ　　モ
5		〃	割材の棒	ク　　リ	55	309	〃	柱　　材	モミ属
6		〃	皮付き棒	トチノキ	56	321	〃	角　　材	クヌギ節
7	213	〃	双股の丸柱	コナラ節	57	287	〃	盆	トチノキ
8	208	〃	柱	〃	58		〃	杭	モクレン属
9	69	〃	横鉞の柄付	サクラ属	59	293	〃	板材(焼けている)	ス　　ギ？
10		〃	丸　　棒	トチノキ	60		〃	角　　棒	カバノキ属
11		〃	割　　材	クヌギ節	61	298	〃	板　　材	ク　　リ
12		〃		サクラ属	62	306	〃	柱　　材	カエデ属
13	86	〃	梯　　子	モ　　モ	63	285	〃	栓	モミ属
14		〃	丸　　棒	クヌギ節	64		〃	杭	グミ属
15		〃	割材杭	ヒサカキ	65		〃	〃	ヤナギ属
16		〃	割角材	コナラ節	66		〃	角　　杭	モミ属
17		〃	割角杭	クヌギ節	67		〃	杭	
18	224	〃	せきの丸太	〃	68	317	〃	割　　材	クヌギ節
19		〃	割板状	〃	69	292	〃	薄　　板	ケヤキ
20	222	〃	せきの杭	モミ属	70	289	〃	柄	カバノキ属
21	202	〃	割　　材	クヌギ節	71	303	〃	薄　　板	マツ属 <small>幹葉末部</small>
22					72		〃	杭	ヤナギ属
23	265	IV区2面	漆　　碗	トチノキ	73		〃	木　　端	アカマツ
24	272	〃	板　　状	イタビカズラ類	74		〃	薄　　板	
25		〃	杭	モミ属	75		〃	杭	クヌギ節
26	268	〃	板　　状	ク　　リ	76	307	〃	柱　　材	ヤマグワ
27		〃	棒状杭	ヤマグワ	77	313	〃	木製品	不　　明
28		〃	杭	コナラ節	78	325	〃	角　　杭	ク　　リ
29	270	〃	加工木	サワフタギ	79		〃	丸　　棒	不　　明
30		〃	杭	アワブキ	80		〃	杭	ヤナギ属
31	269	〃	加工木	モ　　モ	81		〃	〃	ヒノキ属
32		〃	杭	クヌギ節	82		〃	〃	ヤナギ属
33		〃	〃	カエデ属	83	276	〃	なすび型鋤	
34		〃	〃	コナラ節	84		〃	薄　　板	
35		〃	〃	ク　　リ	85	314	〃	板	トチノキ
36		〃	〃	エノキ属	86		〃	杭	トネリコ属
37	271	〃	加工木	モ　　モ	87	277	〃	着柄鋤	カバノキ属
38		〃	杭	ハンノキ節	88	284	〃	栓	クヌギ節
39		〃	〃	〃	89	281	〃	旗織具	ス　　ギ
40		〃	三本足付台		90	302	〃	薄　　板	クヌギ節
41		〃	杭	カエデ属	91	286	〃	栓	コナラ節
42		〃	加工木	トネリコ属	92	312	〃	薄　　板	ク　　リ
43	267	〃	旗織具	コウヤマキ	93	308	〃	柱　　材	ケヤキ
44	266	〃	下　　駄	ムクロジ	94		〃	杭	サクラ属
45	274	〃	加工木	モミ属	95	283	〃	旗織具	エゴノキ属
46	275	〃	〃	ヒノキ属	96	300	〃	盆	ク　　リ
47	273	〃	〃	〃	97	295	〃	薄　　板	ヒノキ属
48		〃	杭	ク　　リ	98	316	〃	割　　材	モミ属
49	320	IV区3面	角材(柱)	エノキ属	99		〃	丸　　棒	クヌギ節
50		〃	丸　　柱	クヌギ節	100	315	〃	焼けている割材	ス　　ギ

第3章 理科学分析

表7. 元総社寺田遺跡出土材の樹種 (実測No.7)

No.	図版	出土層位	製品名	樹種	No.	図版	出土層位	製品名	樹種
1	294	IV区3面	薄板	モミ属					
2	304	〃	〃	クリ					
3		〃	杭	カエデ属?					
4		〃	〃	アカガシ亜属					
5		〃	〃	アサダ					
6		〃	柄	モモ					
7	278	〃	刃型	モミ属					
8		〃	柄	ヤブツバキ					
9	311	〃	薄板	クリ					
10		〃	杭	ヤナギ属					
11	290	〃	柄	モミ属					
12	310	〃	薄板	〃					
13		〃	杭	クリ					
14	305	〃	柱(丸柱)	モミ属					
15	319	〃	樹皮製品	樹皮					
16		〃	杭	ヤマザクラ					
17		〃	〃	ヤマグワ					
18		〃	角棒	ケヤキ					
19		〃	杭	アカガシ亜属					
20		〃	〃	コナラ節					
21	301	〃	板	クリ					
22	324	〃	角材(製品)	スギ					
23	291	〃	柄	モモ					
24	280	〃	木製品	コナラ節					
25	323	〃	角材	ヤマザクラ					
26	279	〃	刃型	ムラサキシギ属					
27	264	〃	桶の側板	ヒノキ属					

表8. 元総社寺田遺跡出土材の樹種(実測No.8)

No	図版	出土層位	製品名	樹種	No	図版	出土層位	製品名	樹種
1		V区4面	丸杭	コナラ節	51	599	V区4面	角材	クヌギ節
2		〃	〃	ムクロジ	52	401	〃	一本鋤	〃
3		〃	〃	ミツバウツギ	53		〃	割杭	コナラ節
4	419	〃	二股鋤	ウツギ属	54	611	〃	〃	〃
5	408	〃	鋤	クヌギ節	55	434	〃	柄	モミ属
6	766	〃	板材	〃	56		〃	丸杭	クヌギ節
7	538	〃	丸柱	〃	57		〃	〃	〃
8		〃	丸杭	ヤナギ属	58		〃	丸棒	〃
9		〃	角杭	クヌギ節	59		〃	丸杭	〃
10		〃	〃	〃	60	741	〃	角材	〃
11		〃	〃	〃	61	774	〃	板材	コナラ節
12		〃	〃	〃	62		〃	角杭	〃
13		〃	半割杭	ハンノキ節	63		〃	丸杭	クヌギ節
14	551	〃	丸柱	コナラ節	64	639	〃	加工材	コナラ節
15	541	〃	〃	ヤナギ属	65		〃	割杭	ヤナギ属
16	517	〃	柱材(割材)	クヌギ節	66		〃	丸杭	〃
17	630	〃	加工材	ヒノキ属	67		〃	割杭	〃
18	510	〃	板材	モミ属	68		〃	丸杭	〃
19	591	〃	角材	クヌギ節	69	754	〃	板材	クヌギ節
20		〃	丸杭	ヤナギ属	70		〃	丸杭	〃
21		〃	炭化材	コナラ節	71	637	〃	二股材	〃
22		〃	丸杭	クヌギ節	72		〃	丸杭	〃
23		〃	角杭	〃	73		〃	角杭	クヌギ節
24	537	〃	丸柱	ケンボナシ属	74		〃	〃	クヌギ節
25	755	〃	板材	ヤナギ属	75		〃	〃	〃
26	523	〃	柱材(丸柱)	〃	76	610	〃	割材	クヌギ節
27	576	〃	角材	コナラ節	77		〃	角杭	クヌギ節
28		〃	丸杭	ケンボナシ属	78		〃	丸杭	ウコギ属
29	412	〃	二股鋤	クヌギ節	79		〃	割杭	モミ属
30	562	〃	角柱	〃	80	608	〃	角材	クヌギ節
31	520	〃	柱材(丸柱)	トチノキ	81	738	〃	板材	クヌギ節
32	518	〃	〃	コナラ節	82		〃	丸杭	コナラ節
33	516	〃	〃	ヤナギ属	83	546	〃	丸柱	クヌギ節
34		〃	割杭	コナラ節	84	600	〃	角材	〃
35		〃	丸杭	ヤナギ属	85		〃	割材	〃
36	737	〃	板材	クヌギ節	86		〃	炭化材	モミ属
37		〃	〃	〃	87	446	〃	柄	アカガシ亜属
38	543	〃	柱材	ヤナギ属	88		〃	角杭	コナラ節
39	624	〃	割材	クヌギ節	89	732	〃	板材	〃
40	590	〃	柱材(角材)	〃	90	389	〃	なすび型鋤	クヌギ節
41	592	〃	角材	〃	91		〃	割杭	ケヤキ
42		〃	角杭	ネズコ	92	583	〃	角材	モミ属
43		〃	丸杭	カエデ属	93		〃	角杭	コナラ節
44	745	〃	板材	クヌギ節	94	589	〃	角棒	モミ属
45		〃	角杭	コナラ節	95	499	〃	楔	クヌギ節
46	735	〃	板材	モクレン属?	96		〃	丸棒	〃
47	559	〃	角杭	クヌギ節	97		〃	角杭	〃
48	633	〃	加工材	ミツバウツギ	98		〃	焼けている丸杭	ヤナギ属
49		〃	丸杭	ヤナギ属	99	395	〃	なすび型鋤	クヌギ節
50	602	〃	〃	コナラ節	100	773	〃	板材	ケヤキ

第3章 理科学分析

表9. 元総社寺田遺跡出土材の樹種 (実測No.9)

No	図版	出土層位	製品名	樹種	No	図版	出土層位	製品名	樹種
1	748	V区4面	板材	クヌギ節	51	575	V区4面	角材	コナラ節
2	618	〃	割材	〃	52	454	〃	柄	ヒノキ属
3	476	〃	矢先	モミ属	53		〃	丸杭	イヌシデ節
4	507	〃	旗織具	〃	54	449	〃	柄	ミズキ属
5	410	〃	二股鋤	カバノキ属	55	567	〃	割柱	カツラ
6	431	〃	柄	アカマツ	56	411	〃	なすび型鋤	カバノキ属
7		〃	丸杭	ヤナギ属	57	717	〃	板	ケヤキ
8		〃	〃	カエデ属	58	414	〃	なすび型鋤	カバノキ属
9	739	〃	板	〃	59	762	〃	板	カエデ属
10		〃	〃	〃	60	502	〃	楔	カバノキ属
11		〃	〃	モミ属	61	407	〃	なすび型鋤	〃
12	442	〃	柄	ミズキ属	62	528	〃	丸柱	ハンノキ節
13	430	〃	〃	ヤマグワ?	63	705	〃	板	クヌギ節
14	767	〃	丸木弓	モミ属	64	704	〃	せき板	コナラ節
15	675	〃	たる木	イヌシデ節	65		〃	木端	アカマツ
16	491	〃	盆	ケヤキ	66	642	〃	たる木	カエデ属
17	479	〃	縦杵	クヌギ節	67	690	〃	〃	〃
18		〃	板	ヤナギ属	68	619	〃	割柱	ク
19		〃	角杭	ハンノキ節	69	672	〃	たる木	ケンボナシ属
20	521	〃	丸柱	カバノキ属	70	677	〃	〃	トネリコ属
21	761	〃	板	ク	71	435	〃	柄	ク
22	415	〃	二股鋤	カバノキ属	72	665	〃	たる木	ムラサキシキブ属
23		〃	丸杭	コクサギ	73		〃	丸杭	ヤナギ属
24		〃	角杭	クヌギ節	74		〃	〃	ク
25		〃	丸杭	ヤナギ属	75	765	〃	板	クヌギ節
26	720	〃	板	ケヤキ	76	532	〃	丸柱	アワブキ
72		〃	丸杭	ハンノキ節	77	486	〃	盆	ク
28	441	〃	柄	ムクロジ	78		〃	丸杭	ムクロジ
29	544	〃	丸柱	クヌギ節	79	719	〃	板	エノキ属
30	533	〃	〃	ヤナギ属	80	413	〃	二股鋤	カバノキ属
31	740	〃	板	クヌギ節	81	560	〃	角柱	クヌギ節
32	462	〃	丸杭	アカガシ亜属	82	525	〃	丸柱	カバノキ属
33	709	〃	柄	ク	83	702	〃	たる木	カエデ属
34	509	〃	梯子	〃	84	563	〃	角柱	クヌギ節
35		〃	丸杭	コナラ節	85	768	〃	板	ク
36	425	〃	横鋏	アカガシ亜属	86	721	〃	〃	ヤナギ属
37		〃	〃	サクラ属	87	572	〃	角材	ケヤキ
38	555	〃	角柱	ク	88	469	〃	柄	アカガシ亜属
39	461	〃	柄	カヤ	89	650	〃	たる木	オニグルミ
40	391	〃	二股鋤	カバノキ属	90	455	〃	柄	モミ属
41	671	〃	たる木	ウツギ属	91	727	〃	板	ク
42	771	〃	板	スギ	92		〃	丸杭	コクサギ
43	716	〃	〃	クヌギ節	93	656	〃	たる木	アカメガシワ
44	498	〃	楔	マツ属	94		〃	丸杭	イヌシデ節
45	588	〃	角材	クヌギ節	95	526	〃	丸柱	〃
46		〃	丸杭	ムクロジ	96	474	〃	丸木弓	カヤ
47	666	〃	たる木	ムクサギ	97	723	〃	板	クヌギ節
48	695	〃	〃	コナラ節	98	396	〃	二股鋤	カバノキ属
49		〃	丸杭	〃	99		〃	丸木杭	コナラ節
50		〃	〃	ヤナギ属	100		〃	丸杭	イヌシデ節

表10. 元総社寺田遺跡出土材の樹種 (実測No10)

No.	図版	出土層位	製品名	樹種	No.	図版	出土層位	製品名	樹種
1	621	V区4面	板	ブナ属	51	409	V区4面	二股鋤	カバノキ属
2	539	〃	丸柱	カエデ属	52	595	〃	角材	ヒノキ属
3	573	〃	角材	ヒノキ属	53	751	〃	板	トチノキ
4		〃	割杭	モミ属	54	627	〃	特殊木製品	ネズコ
5		〃	板	ケヤキ	55	552	〃	角柱	ケヤキ
6	394	〃	二股鋤	カバノキ属	56	657	〃	たる木	〃
7		〃	二股木	エゴノキ属	57	513	〃	扉材	〃
8	424	〃	横鋤	アカガシ亜属	58	495	〃	刀型	アカガシ亜属
9		〃	丸杭	ヤナギ属	59		〃	丸杭	〃
10	731	〃	板	クリ	60	634	〃	加工材	クリ
11	471	〃	柄	モミ属	61	420	〃	横鋤	ケヤキ
12		〃	割材	クヌギ節	62	423	〃	〃	クヌギ節
13	713	〃	板	スギ	63	706	〃	板	クリ
14	493	〃	台	〃	64	487	〃	No408 盆	〃
15	653	〃	たる木	ニシキギ属	65	581	〃	角材	クヌギ節
16	674	〃	〃	ハリギリ	66	724	〃	板	クリ
17	651	〃	〃	ナツツバキ属	67	427	〃	柄	ヤナギ属
18	477	〃	横槌	コナラ節	68	693	〃	たる木	イヌシデ節
19	695	〃	たる木	サワフタギ	69	580	〃	角材	クヌギ節
20	418	〃	横鋤	クヌギ節	70	750	〃	板	ヤナギ属
21		〃	丸杭	ヤナギ属	71	500	〃	楔	エノキ属
22	467	〃	柄	クリ	72	623	〃	割材	ヤナギ属
23		〃	丸杭	ヤナギ属	73	459	〃	柄	ケンボナシ属
24	683	〃	たる木	ミズキ属	74	670	〃	たる木	アワブキ
25	473	〃	ラケット型木製品	バラ属	75		〃	丸杭	ヤナギ属
26	463	〃	柄	クリ	76	658	〃	たる木	ヤマグワ
27	744	〃	板	ケヤキ	77		〃	丸杭	コナラ節
28	458	〃	柄	クスノキ科	78	468	〃	柄	アカガシ亜属
29	475	〃	丸木弓	カヤ	79		〃	丸杭	グミ属
30	684	〃	たる木	イヌシデ節	80	556	〃	角柱	クリ
31		〃	柄	ムラサキシキブ属	81	769	〃	板	クヌギ節
32	501	〃	楔	アワブキ	82	643	〃	たる木	ヤナギ属
33	641	〃	たる木	ヤナギ属	83		〃	角杭	クヌギ節
34	443	〃	鎌の柄	クヌギ節	84	763	〃	板	カバノキ属
35	505	〃	旗織具	ケンボナシ属	85	708	〃	〃	エゴノキ属
36	504	〃	楔	クリ	86	669	〃	たる木	ムラサキシキブ属
37		〃	角柱	グミ属	87	679	〃	〃	不明
38	422	〃	横鋤	クヌギ節	88	470	〃	柄	サクラ属
39	645	〃	たる木	ムラサキシキブ属	89	622	〃	割材	ヒノキ属
40	676	〃	〃	五	90	707	〃	板	クヌギ節
41	506	〃	旗織具	イヌシデ節	91	632	〃	加工材	〃
42		〃	丸杭	クスノキ科	92	667	〃	たる木	コクサギ
43		〃	割杭	ムラサキシキブ属	93	421	〃	横鋤	クヌギ節
44		〃	丸杭	エノキ属	94	747	〃	板	カエデ属
45	535	〃	丸柱	ムクロジ	95		〃	丸杭	ムラサキシキブ属
46	426	〃	柄	コナラ節	96	451	〃	柄	不明
47	710	〃	板	クヌギ節	97	569	〃	角材	クリ
48	644	〃	丸柱	不明	98	457	〃	柄	モミ属
49	485	〃	横槌	カバノキ属	99	654	〃	たる木	コクサギ
50	753	〃	板	コナラ節	100		〃	角材	クリ

第3章 理科学分析

表11. 元総社寺田遺跡出土材の樹種 (実測No.11)

No.	図版	出土層位	製品名	樹種	No.	図版	出土層位	製品名	樹種
1		V区4面	板	オニグルミ	51	417	V区4面	二股鋤	カバノキ属
2		〃	〃	ク　　リ	52	524	〃	丸　　柱	ヤナギ属
3	648	〃	た　る　木	ヤマグワ	53	565	〃	角　　柱	ムクロジ
4	515	〃	柄	ク　　リ	54	497	〃	特殊木製品	ス　　ギ
5	764	〃	板	キ　ハ　ダ	55		〃	丸　　柱	ヤナギ属
6	770	〃	柄	ケ　ヤ　キ	56		〃	〃	〃
7		〃	丸　　杭	ヤナギ属	57		〃	〃	エゴノキ属
8		〃	〃	ヤマグワ	58	689	〃	た　る　木	コクサギ
9		〃	〃	ヤナギ属	59	447	〃	柄	ク　　リ
10	574	〃	角　　材	カエデ属	60		〃	杭	ケ　ヤ　キ
11	456	〃	柄	ク　　リ	61	700	〃	た　る　木	ヤナギ属
12	585	〃	角　　材	イヌシデ節	62		〃	丸　　杭	ヤマグワ
13	661	〃	た　る　木	イボタノキ属	63	743	〃	板	クヌギ節
14	703	〃	〃	イヌシデ節	64	736	〃	〃	トチノキ
15	522	〃	丸　　柱	ケ　ヤ　キ	65	694	〃	た　る　木	クヌギ節
16	756	〃	板	トチノキ	66	647	〃	〃	モ　　モ
17	484	〃	横　　槌	アカガシ亜属	67	404	〃	鋤	カバノキ属
18	775	〃	板	クヌギ節	68		〃		イヌシデ節
19	557	〃	角　　柱	〃	69	722	〃	板	ク　　リ
20	628	〃	割　　材	キ　ハ　ダ	70	511	〃	梯　　子	ヤマグワ
21	399	〃	角柄鋤	カバノキ属	71	530	〃	丸　　柱	モ　　モ
22	514	〃	扉　　材	クヌギ節	72	481	〃	縦　　杵	アカガシ亜属
23	428	〃	柄	ク　　リ	73	620	〃	割　　材	ブ　　ナ　属
24	607	〃	割　　材	アカマツ	74	616	〃	〃	ス　　ギ
25	629	〃	角　　材	コナラ節	75	579	〃	角　　材	ブ　　ナ　属
26	433	〃	柄	ケ　ヤ　キ	76		〃	丸　　柱	ナナカマド属
27	680	〃	た　る　木	〃	77	631	〃	加　工　材	カ　　ヤ
28	553	〃	角　　柱	クヌギ節	78	570	〃	角　　材	ケ　ヤ　キ
29		〃	丸　　杭	イヌシデ節	79	550	〃	丸　　柱	ア　サ　ダ
30		〃	二　股　木	モ　　モ	80	450	〃	柄	ア　ワ　ブ　キ
31	692	〃	た　る　木	エゴノキ属	81	714	〃	板	ケ　ヤ　キ
32	696	〃	〃	トネリコ属	82	564	〃	角　　柱	ムラサキシキブ属
33	685	〃	〃	カエデ属	83	482	〃	艘	ク　　リ
34	655	〃	〃	ブ　　ナ　属	84	429	〃	柄	トネリコ属
35	512	〃	扉　　板	アスナロ	85		〃	丸　　杭	カバノキ属
36	448	〃	柄	ク　　リ	86	584	〃	角　　材	コナラ節
37	662	〃	た　る　木	ムクロジ	87		〃	丸　　杭	エゴノキ属
38	752	〃	板	クヌギ節	88	772	〃	板	クヌギ節
39	664	〃	た　る　木	ハンノキ属	89		〃	丸　　杭	〃
40		〃	丸　　杭	カエデ属	90	776	〃	板	〃
41	534	〃	丸　　柱	ハンノキ節	91	646	〃	た　る　木	アカガシ亜属
42	686	〃	た　る　木	イヌシデ節	92	663	〃	〃	イヌシデ節
43	452	〃	鋤	ケ　ヤ　キ	93	478	〃	縦　　杵	カバノキ属
44	397	〃	二　股　鋤	カバノキ属	94	649	〃	た　る　木	ヤナギ属
45	609	〃	板	クヌギ節	95	760	〃	板	エノキ属
46	742	〃	〃	ケンボナシ属	96	777	〃	木　　端	クヌギ節
47	673	〃	た　る　木	ケ　ヤ　キ	97	536	〃	柱　　?	〃
48	625	〃	割　　材	ハンノキ節	98		〃	た　る　木	不　　明
49	617	〃	〃	コナラ節	99	439	〃	柄	カエデ属
50	688	〃	た　る　木	イヌシデ節	100	728	〃	板	ヤナギ属

表12. 元総社寺田遺跡出土材の樹種 (実測No.12)

No.	図版	出土層位	製品名	樹種	No.	図版	出土層位	製品名	樹種
1	699	V区4面	たる木	エゴノキ属	51	749	V区4面	板	ヤマグワ
2		〃	板	スギ	52	390	〃	三股鋤(鋳)	クヌギ節
3	613	〃	割柱	モモ	53	593	〃	角材	〃
4	653	〃	たる木	ウツギ属	54	531	〃	丸柱	〃
5	438	〃	柄	サカキ	55	472	〃	柄	スギ
6	542	〃	丸柱	クリ	56	712	〃	板	クヌギ節
7	668	〃	たる木	コクサギ	57	612	〃	割材	コナラ節
8	698	〃	〃	イヌシデ節	58	568	〃	角材	クヌギ節
9	636	〃	加工材	モミ属	59	615	〃	割材	モミ属
10	660	〃	たる木	カエデ属	60	582	〃	角材	コナラ節
11	480	〃	縦杵	クヌギ節	61	545	〃	丸柱	〃
12		〃	丸杭	モモ	62		〃	杭?	〃
13	437	〃	柄	クヌギ節	63	492	〃	盆	トチノキ
14	527	〃	丸柱	アカメガシワ	64	503	〃	楔	〃
15	678	〃	たる木	カエデ属	65	483	〃	横槌	モモ
16	681	〃	〃	ハンノキ節	66		〃	角杭(炭化)	モミ属
17	548	〃	丸柱	ヤマグワ	67	403	〃	二股鋤	クヌギ節
18	444	〃	柄	クヌギ節	68		〃	丸杭	〃
19	596	〃	角材	エノキ属	69	687	〃	たる木	カエデ属
20	416	〃	二股鋤	クリ	70	571	〃	角材	モミ属
21	729	〃	板	エノキ属	71	594	〃	〃	〃
22	554	〃	角柱	コナラ節	72	691	〃	たる木	ヤナギ属
23	597	〃	角材	クヌギ節	73	715	〃	板	スギ
24	601	〃	〃	コナラ節	74		〃	杭	エノキ属
25	405	〃	二股鋤	クヌギ節	75	640	〃	加工材	クリ
26	733	〃	板	ケヤキ	76		〃	角材	コナラ節
27	603	〃	割材	クヌギ節	77	558	〃	角柱	クヌギ節
28	549	〃	丸柱	ヤナギ属	78	604	〃	角材	コナラ節
29	464	〃	柄	クリ	79	547	〃	丸柱	クヌギ節
30	757	〃	板	クヌギ節	80	402	〃	二股鋤	〃
31	453	〃	柄	カヤ	81		〃	丸杭	ヤナギ属
32	578	〃	角材	クヌギ節	82		〃	角杭	コナラ節
33	577	〃	〃	クリ	83	406	〃	鋤	クヌギ節
34	490	〃	盆	トチノキ	84	566	〃	角柱	コナラ節
35	638	〃	二股木	ヤナギ属	85	392	〃	なすび型鋤	クヌギ節
36	393	〃	鋤	クヌギ節	86		〃	丸杭	ウツギ属
37	586	〃	角材	〃	87		〃	〃	カエデ属
38	746	〃	板材	モミ属	88		〃	〃	モミ属
39	488	〃	盆	トチノキ	89	445	〃	柄	コナラ節
40	489	〃	〃	ケヤキ	90	605	〃	割材	クヌギ節
41	697	〃	たる木	イヌシデ節	91	606	〃	〃	〃
42	398	〃	二股鋤	クヌギ節	92		〃	〃	〃
43	432	〃	柄	〃	93	494	〃	盆	トチノキ
44	701	〃	たる木	アカガシ亜属	94	466	〃	柄	コナラ節
45	614	〃	割材	コナラ節	95	460	〃	〃	モミ属
46	718	〃	板	クヌギ節	96		〃	角杭	クヌギ節
47		〃	〃	コナラ節	97	508	〃	梯子	〃
48	758	〃	〃	クヌギ節	98	440	〃	柄	〃
49		〃	たる木	モモ	99	682	〃	板	ヒノキ属
50	711	〃	板	クヌギ節	100	465	〃	柄	クリ

第3章 理科学分析

表13. 元総社寺田遺跡出土材の樹種（実測No.13）

No.	図版	出土層位	製品名	樹種	No.	図版	出土層位	製品名	樹種
1	759	V区4面	板	クヌギ節					
2	725	〃	〃	ケヤキ					
3	778	V区5面	柄	クヌギ節					
4	779	〃	〃	〃					
5		〃	杭	〃					
6	781	〃	板材	〃					
7		〃	杭	〃					
8	780	〃	角材	〃					
9		〃		〃					
10		〃	杭	コナラ節					
11		〃	〃	クヌギ節					
12		〃	〃	〃					
13		〃		〃					
14		〃		ケンボナシ属					
15	782	〃	板	ケヤキ					
16		〃		クヌギ節					
17		〃		〃					
18	400	V区4面	鋤	〃					
19	360	V区2面	漆椀	ク					

表14. 元総社寺田遺跡出土材の樹種 (実測No仮7)

No	図版	出土層位	製品名	樹種	No	図版	出土層位	製品名	樹種
1		IV 区		ク リ	51		V 区 4 面		カエデ属
2		〃		カラマツ属	52		〃	柄	イヌシデ節
3		〃		ク リ	53		〃	杭	エノキ属
4		〃		〃	54		〃	〃	アカガシ亜属
5					55		〃	〃	コナラ節
6					56		〃		クヌギ節
7					57		〃		ツガ属
8					58	381	〃	板	ヤナギ属
9					59		〃	棒	クヌギ節
10					60		〃	板	カバノキ属
11					61		〃	杭	グミ属
12					62		〃		ウツギ属
13					63		〃	棒	アカガシ亜属
14					64		〃		〃
15					65		〃		ヤナギ属
16					66	370	〃	なすび型鋤	ウツギ属
17					67		〃		〃
18					68		〃		マツ属単維管束亜属
19					69		〃		ケヤキ
20					70		〃	木片	アカマツ
21					71		〃		ヒサカキ
22					72	372	〃	弓	ニシキギ属
23					73	382	〃	製品	ケンボナシ属
24					74		〃		カエデ属
25					75		〃		ミツバウツギ
26					76		〃		クヌギ節
27					77		〃		ケンボナシ属
28		IV 区		エノキ属	78	383	〃	製品	カバノキ属
29					79		〃		コナラ節
30	362	V 区 2 面	板	クヌギ節	80	374	〃	横槌	〃
31	361	〃	皿	ケヤキ	81	373	〃	砧	カバノキ属
32		〃	板	クヌギ節	82	375	〃	柄?	カエデ属
33		〃	〃	〃	83		〃	なすび型鋤	カバノキ属
34		〃	棒状	ケンボナシ属	84	376	〃	建築材	ケヤキ
35	364	〃	板状	アカマツ	85	359	〃	曲物	スギ
36	365	〃	〃	モミ属	86	626	〃	建築材	モミ属
37	368	〃	〃	〃	87	726	〃	板	〃
38	366	〃	〃	〃	88	730	〃	〃	〃
39	367	〃	〃	〃	89	496	〃	特殊木器	スギ
40	363	〃	〃	スギ	90	561	〃	角柱	クヌギ節
41	369	〃	〃	クヌギ節	91	587	〃	角材	カツラ
42	371	V 区 4 面	鋤	カバノキ属	92		〃	柄	モミ属
43	388	〃	杭?	ク リ	93	540	〃	丸柱	ケヤキ
44		〃	柄	モミ属	94		〃	割杭	モミ属
45	384	〃	板	ケヤキ	95		〃	丸杭	ヤナギ属
46	387	〃	〃	カエデ属?	96		〃	〃	クヌギ節
47	380	〃	割材	モミ属	97		〃	〃	ヤナギ属
48	379	〃	製品	カバノキ属	98	529	〃	〃	〃
49		〃	杭	ク リ	99		〃	〃	〃
50		〃		〃	100		〃	〃	ク リ

第3章 理科学分析

表15. 元総社寺田遺跡出土材の樹種 (参考No.1)

No.	図版	出土層位	樹種	備考	No.	図版	出土層位	樹種	備考
1	3	I区3面	カバノキ属		51	139	II区4面	ヤマグワ	
2	8	〃	モミ属		52	140	〃	クヌギ節	
3		トレンチ	〃	コナラ節	53	141	II区3面	モミ属	
4					54	142	II区4面	コナラ節	
5	3	II区1面	トチノキ		55	144	〃	〃	
6	11	II区2面	カバノキ属		56	145	〃	カエデ属	
7	14	〃	スギ		57	150	〃	コナラ節	
8	18	II区3・4面	コナラ節		58	151	II区3・4面	クヌギ節	
9	19	〃	〃		59	152	II区4面	〃	
10	22	II区4面	ヤナギ属		60	153	〃	〃	
11	23	II区3面	クヌギ節		61	154	〃	〃	
12	24	II区3・4面	ミズキ属		62	156	II区3・4面	アサダ	
13	26	〃	スギ		63	157	II区1面	クリ	
14	28	〃	コナラ節		64	160	〃	スギ	
15	29	〃	イボタノキ属		65	161	〃	クリ	
16	31	〃	アサダ		66	175	II区3・4面	〃	
17	32	〃	ハリギリ		67	176	II区5面	コナラ節	
18	35	〃	コナラ節		68	177	〃	クヌギ節	
19	36	〃	オニグルミ		69				
20	44	〃	モミ属		70	井戸	III区1面	スギ	
21	45	〃	コナラ節		71	1	III区2面	サクラ属	
22	49	〃	〃		72	2	〃	マツ属	
23	51	II区4面	クヌギ節		73	3	〃	〃	
24	52	〃	〃		74	5	〃	エゴノキ属	
25	54	〃	コナラ節		75	6	〃	ヤナギ属	
26	57	II区3・4面	〃		76	7	〃	〃	
27	62	〃	〃		77	9	〃	コナラ節	
28	63	〃	〃		78	10	〃	カエデ属	
29	66	〃	〃		79	11	〃	ヤマグワ	
30	67	II区4面	〃		80	12	〃	カエデ属	
31	69	〃	ヤナギ属		81	13	〃	ヤマグワ	
32	70	〃	散孔材B		82	14	〃	〃	
33	71	II区3・4面	コナラ節		83	15	〃	サクラ属	
34	72	〃	〃		84	580	〃	ヤナギ属	
35	74	〃	〃		85	6	III区3・4面	アカガシ亜属	
36	84	II区4面	ヤナギ属		86	16	〃	クヌギ節	
37	85	II区1面	エノキ属		87	17	〃	ヤマグワ	
38	88	II区3・4面	クヌギ節		88	25	〃	フサザクラ	
39	93	〃	カエデ属		89	26	〃	ナナカマド属	
40	101	〃	コナラ節		90	29	〃	モモ	
41	105	II区4面	〃		91	30	〃	ヤナギ属	
42	110	〃	ハンノキ節		92	34	〃	アカガシ亜属	
43	116	II区1面	ヤナギ属		93	36	〃	モミ属	
44	118	II区4面	クヌギ節		94	37	〃	カエデ属	
45	123	II区3・4面	ケヤキ		95	42	〃	アカガシ亜属	
46	126	II区4面	ヤナギ属		96	44	〃	コナラ節	
47	128	〃	ウコギ属		97	47	〃	草本類	
48	129	II区3・4面	アサダ		98	48	〃	クヌギ節	
49	133	II区4面	〃		99	49	〃	〃	
50	137	II区3面	カヤ		100	50	〃	アカガシ亜属	

表16. 元総社寺田遺跡出土材の樹種 (参考No.2)

No.	図版	出土層位	樹種	備考	No.	図版	出土層位	樹種	備考
1	51	III区3・4面	クヌギ節		51	131	III区3・4面	エゴノキ属	
2	52	〃	〃		52	133	〃	ムクロジ	
3	55	〃	アカガシ亜属		53	136	〃	コクサギ	
4	57	〃	エゴノキ属		54	137	〃	ハンノキ節	
5	59	〃	モモ		55	138	〃	サクラ属	
6	60	〃	コナラ節		56	139	〃	スギ	
7	61	〃	モモ		57	141	〃	ムクノキ	
8	63	〃	クヌギ節		58	142	〃	ヤマザクラ	
9	64	〃	草本類		59	143	〃	ヤナギ属	
10	65	〃	ナナカマド属		60	144	〃	〃	
11	67	〃	ヤマグワ		61	146	〃	モモ	
12	68	〃	アカガシ亜属		62	147	〃	ヤマグワ	
13	70	〃	草本類		63	148	〃	エノキ属	
14	71	〃	モミ属		64	149	〃	クリ	
15	72	〃	草本類		65	150	〃	コナラ節	
16	75	〃	エゴノキ属		66	151	〃	サクラ属	
17	76	〃	カエデ属		67	154	〃	ムクノキ	
18	77	〃	ヤナギ属		68	155	〃	コナラ節	
19	78	〃	エゴノキ属		69	156	〃	サクラ属	
20	80	〃	カエデ属		70	157	〃	ブナ属	
21	81	〃	グミ属		71	158	〃	カバノキ属	
22	82	〃	カエデ属		72	159	〃	クリ	
23	83	〃	カバノキ属		73	160	〃	モモ	
24	85	〃	カエデ属		74	161	〃	グミ属	
25	86	〃	コナラ節		75	162	〃	ケヤキ	
26	88	〃	ムクノキ		76	164	〃	草本類	
27	89	〃	クヌギ節		77	166	〃	クリ	
28	90	〃	〃		78	168	〃	マツ属	
29	94	〃	ハンノキ節		79	169	〃	ヤナギ属	
30	96	〃	クヌギ節		80	171	〃	〃	
31	98	〃	ヤマグワ		81	174	〃	クヌギ節	
32	99	〃	〃		82	175	〃	〃	
33	102	〃	クリ		83	176	〃	ヤマグワ	
34	103	〃	クヌギ節		84	178	〃	モミ属	
35	104	〃	不明		85	180	〃	クヌギ節	
36	105	〃	イヌシデ節		86	182	〃	〃	
37	107	〃	カツラ		87	183	〃	モミ属	
38	108	〃	クリ		88	184	〃	ヤマグワ	
39	109	〃	ヤマグワ		89	185	〃	カエデ属	
40	110	〃	ウコギ属		90	186	〃	エゴノキ属	
41	111	〃	カエデ属		91	187	〃	アワブキ	
42	113	〃	アカガシ亜属		92	189	〃	サクラ属	
43	114	〃	エゴノキ属		93	190	〃	クヌギ節	
44	115	〃	グミ属		94	191	〃	ヤナギ属	
45	116	〃	カエデ属		95	192	〃	カヤ	
46	121	〃	ヤマグワ		96	194	〃	草本類	
47	122	〃	カエデ属		97	195	〃	ケンボナシ属	
48	128	〃	ハンノキ節		98	197	〃	ヤナギ属	
49	129	〃	ムクロジ		99	198	〃	カエデ属	
50	130	〃	イヌシデ節		100	205	〃	ヤナギ属	

第3章 理科学分析

表17. 元総社寺田遺跡出土材の樹種 (参考No.3)

No.	図版	出土層位	樹種	備考	No.	図版	出土層位	樹種	備考
1	206	III区3・4面	ヤナギ属		51	279	III区3・4面	ヤマグワ	
2	207	〃	〃		52	280	〃	カキノキ属	
3	208	〃	〃		53	281	〃	ヤナギ属	
4	209	〃	草本類		54	282	〃	ハンノキ節	
5	510	〃	〃		55	283	〃	ガワズミ属	
6	212	〃	ヤナギ属		56	284	〃	コナラ節	
7	213	〃	〃		57	285	〃	イヌシデ節	
8	214	〃	コナラ節		58	286	〃	モミ属	
9	218	〃	モミ属		59	287	〃	〃	
10	219	〃	ケヤキ		60	288	〃	エゴノキ属	
11	220	〃	草本類		61	292	〃	ヤマグワ	
12	221	〃	カツラ		62	293	〃	ヒノキ属	
13	222	〃	ヤマグワ		63	294	〃	ヤナギ属?	
14	224	〃	ミズキ属		64	295	〃	モミ属	
15	226	〃	クヌギ節		65	299	〃	ク　　リ	
16	230	〃	イヌシデ節		66	302	〃	ヤナギ属	
17	231	〃	ク　　リ		67	303	〃	〃	
18	233	〃	アワブキ		68	306	〃	モミ属	
19	235	〃	ヒサカキ		69	307	〃	ヤナギ属	
20	237	〃	コナラ節		70	308	〃	ムクロジ	
21	239	〃	エゴノキ属		71	309	〃	イヌシデ節	
22	240	〃	ヤナギ属		72	310	〃	クヌギ節	
23	241	〃	ス　　ギ		73	314	〃	ク　　リ	
24	242	〃	ク　　リ		74	315	〃	ヤマグワ	
25	243	〃	ヤナギ属		75	316	〃	ケヤキ	
26	244	〃	ケヤキ		76	317	〃	カエデ属	
27	246	〃	ヤナギ属		77	320	〃	ケンボナシ属	
28	247	〃	カツラ		78	323	〃	ハンノキ節	
29	248	〃	ヤナギ属		79	324	〃	ク　　リ	
30	250	〃	クヌギ節		80	325	〃	ハンノキ節	
31	251	〃	カエデ属		81	326	〃	ク　　リ?	
32	252	〃	エゴノキ属		82	328	〃	クヌギ節	
33	254	〃	ハンノキ節		83	329	〃	ハンノキ節	
34	255	〃	ヤナギ属		84	330	〃	ヤマグワ	
35	258	〃	ケヤキ		85	331	〃	トチノキ	
36	259	〃	ヤナギ属		86	332	〃	ムクノキ	
37	260	〃	ク　　リ		87	334	〃	エゴノキ属?	
38	261	〃	ハンノキ節		88	335	〃	ケヤキ	
39	262	〃	クヌギ節		89	337	〃	クヌギ節	
40	263	〃	カエデ属		90	339	〃	〃	
41	264	〃	モミ属		91	340	〃	ヤマグワ	
42	265	〃	ヤナギ属		92	342	〃	ク　　リ	
43	266	〃	コナラ節		93	346	〃	ヤナギ属	
44	267	〃	ヤナギ属		94	347	〃	コナラ節	
45	270	〃	ク　　リ		95	348	〃	アカガシ亜属	
46	272	〃	ハンノキ節		96	349	〃	カ　　ヤ	
47	274	〃	アカガシ亜属		97	353	〃	ケヤキ	
48	276	〃	サクラ属		98	354	〃	クヌギ節	
49	277	〃	ムクノキ		99	355	〃	エゴノキ属	
50	278	〃	カバノキ属		100	356	〃	オニグルミ	

表18. 元総社寺田遺跡出土材の樹種 (参考No.4)

No.	図版	出土層位	樹種	備考	No.	図版	出土層位	樹種	備考
1	357	III区3・4面	ク　　リ		51	435	III区3・4面	ク　　リ	
2	358	〃	エゴノキ属		52	436	〃	クヌギ節	
3	359	〃	モ　ミ　属		53	438	〃	ヤナギ属	
4	363	〃	ムクノキ		54	439	〃	ス　　ギ	
5	365	〃	ク　　リ		55	443	〃	クヌギ節	
6	368	〃	ウコギ属		56	444	〃	モ　ミ　属	
7	369	〃	カエデ属		57	447	〃	ヤナギ属	
8	370	〃	エノキ属		58	448	〃	ケンボナシ属	
9	371	〃	カエデ属		59	449	〃	ク　　リ	
10	373	〃	ヤナギ属		60	452	〃	草　本　類	
11	374	〃	ムクロジ		61	453	〃	カエデ属	
12	375	〃	クヌギ節		62	454	〃	マツ属単維管束亜属	
13	376	〃	ク　　リ		63	455	〃	カエデ属	
14	378	〃	アカガシ亜属		64	457	〃	クヌギ節	
15	379	〃	サクラ属		65	458	〃	〃	
16	382	〃	ヤマグワ		66	459	〃	ク　　リ	
17	384	〃	アカガシ亜属		67	460	〃	カエデ属	
18	386	〃	モ　ミ　属		68	461	〃	モ　　モ	
19	387	〃	アカガシ亜属		69	463	〃	ケ　ヤ　キ	
20	389	〃	カ　　ヤ		70	465	〃	カエデ属	
21	390	〃	コナラ節		71	466	〃	エノキ属	
22	394	〃	バ　　ラ　属		72	470	〃	カ　　ヤ	
23	395	〃	カエデ属		73	471	〃	クヌギ節	
24	396	〃	ヤナギ属		74	472	〃	コナラ節	
25	397	〃	ケ　ヤ　キ		75	473	〃	モ　ミ　属	
26	398	〃	サ　カ　キ		76	474	〃	カ　　ツ　ラ	
27	399	〃	モ　　モ		77	476	〃	ヒノキ属	
28	400	〃	カ　　ヤ		78	478	〃	ヤナギ属	
29	401	〃	クヌギ節		79	479	〃	モ　　モ	
30	402	〃	ムラサキシキブ属		80	480	〃	クヌギ節	
31	403	〃	ク　　リ		81	482	〃	ヒノキ属	
32	404	〃	カバノキ属		82	483	〃	ケンボナシ属	
33	405	〃	モクレン属		83	486	〃	クヌギ節	
34	406	〃	クヌギ節		84	487	〃	マツ属単維管束亜属	
35	408	〃	〃		85	488	〃	カエデ属	
36	409	〃	〃		86	489	〃	アカガシ亜属	
37	411	〃	ブ　　ナ　属		87	493	〃	フ　　ジ	
38	415	〃	ク　　リ		88	495	〃	ケンボナシ属	
39	416	〃	〃		89	496	〃	カエデ属	
40	417	〃	クヌギ節		90	497	〃	ク　　ワ　属	
41	419	〃	〃		91	498	〃	ク　　リ	
42	420	〃	カエデ属		92	499	〃	ケ　ヤ　キ	
43	422	〃	ク　　リ		93	502	〃	モ　ミ　属	
44	423	〃	クヌギ節		94	508	〃	コナラ節	
45	424	〃	アワブキ		95	510	〃	モ　ミ　属	
46	425	〃	クヌギ節		96	511	〃	ムラサキシキブ属	
47	430	〃	カエデ属		97	512	〃	ヤマグワ	
48	431	〃	ヤナギ属		98	514	〃	アカガシ亜属	
49	433	〃	ク　　リ		99	515	〃	クヌギ節	
50	434	〃	モ　ミ　属		100	516	〃	ケ　ヤ　キ	

第3章 理科学分析

表19. 元総社寺田遺跡出土材の樹種 (参考No.5)

No.	図版	出土層位	樹種	備考	No.	図版	出土層位	樹種	備考
1	517	Ⅲ区3・4面	草本類		51	611	Ⅲ区3・4面	モミ属	
2	518	〃	ク　　リ		52	614	〃	アワブキ	
3	519	〃	ハンノキ節		53	615	〃	アカガシ亜属	
4	520	〃	ク　　リ		54	619	〃	サクラ属	
5	521	〃	クヌギ節		55	620	〃	トネリコ属	
6	522	〃	サワフタギ属		56	622	〃	モミ属	
7	524	〃	ヤマグワ		57	623	〃	ヌル　　デ	
8	525	〃	ケヤキ		58	624	〃	モミ属	
9	526	〃	草本類		59	625	〃	コナラ節	
10	528	〃	ヤナギ属		60	627	〃	ヤナギ属	
11	529	〃	モ　　モ		61	628	〃	サクラ属	
12	530	〃	ケンボナシ属		62	629	〃	カエデ属	
13	531	〃	ヒノキ属		63	630	〃	クヌギ節	
14	536	〃	ヤマグワ		64	632	〃	ヤナギ属	
15	537	〃	カエデ属		65	633	〃	ウツギ属	
16	538	〃	クヌギ節		66	634	〃	ヤナギ属	
17	539	〃	ケヤキ		67	635	〃	ケヤキ	
18	542	〃	クヌギ節		68	636	〃	ニワトコ	
19	543	〃	ク　　リ		69	640	〃	アワブキ	
20	544	〃	クヌギ節		70	642	〃	エゴノキ属	
21	548	〃	イヌシデ節		71	644	〃	ク　　リ	
22	553	〃	ス　　ギ		72	645	〃	グミ属	
23	555	〃	トチノキ		73	646	〃	ハンノキ節	
24	559	〃	草本類		74	647	〃	クスノキ科	
25	560	〃	クヌギ節		75	650	〃	ヤマグワ	
26	561	〃	ス　　ギ		76	651	〃	マツ属単管束亜属	
27	562	〃	イヌシデ節		77	653	〃	クヌギ節	
28	563	〃	アワブキ		78	654	〃	〃	
29	566	〃	ヤマグワ		79	655	〃	ヤナギ属	
30	567	〃	コナラ節		80	656	〃	ケヤキ	
31	569	〃	トネリコ属		81	657	〃	モミ属	
32	570	〃	ヤナギ属		82	659	〃	草本類	
33	572	〃	コナラ節		83	663	〃	モミ属	
34	573	〃	〃		84	664	〃	ニワトコ	
35	578	〃	ヒノキ属		85	666	〃	コナラ節	
36	580	〃	ク　　リ		86	668	〃	ヤマウルシ	
37	581	〃	ケンボナシ属		87	675	〃	モミ属	
38	586	〃	トネリコ属		88	676	〃	アカガシ亜属	
39	589	〃	コナラ節		89	678	〃	〃	
40	590	〃	ク　　リ		90	681	〃	コナラ節	
41	592	〃	コナラ節		91	682	〃	エゴノキ属	
42	593	〃	草本類		92	686	〃	ヤマグワ	
43	594	〃	ク　　リ		93	687	〃	イヌシデ節	
44	595	〃	〃		94	690	〃	ヒノキ属	
45	596	〃	ス　　ギ		95	691	〃	アカガシ亜属	
46	602	〃	カエデ属		96	693	〃	ヒノキ属	
47	604	〃	モミ属		97	695	〃	ヤナギ属	
48	605	〃	クヌギ節		98	702	〃	〃	
49	606	〃	〃		99	704	〃	クヌギ節	
50	607	〃	トチノキ		100	707	〃	ネムノキ	

表20. 元総社寺田遺跡出土材の樹種 (参考No.6)

No.	図版	出土層位	樹種	備考	No.	図版	出土層位	樹種	備考
1	708	Ⅲ区3・4面	ヤナギ属		51	832	Ⅲ区3・4面	ヤナギ属	
2	711	〃	〃		52	835	〃	カヤ	
3	713	〃	クヌギ節		53	838	〃	ヤナギ属	
4	717	〃	イヌシデ節		54	839	〃	コクサギ	
5	718	〃	ケヤキ		55	843	〃	カエデ属	
6	726	〃	アカガシ亜属		56	844	〃	ヤナギ属	
7	728	〃	〃		57	858	〃	カエデ属	
8	729	〃	エゴノキ属		58	861	〃	クリ	
9	732	〃	カエデ属		59	862	〃	ムクノキ	
10	733	〃	クヌギ節		60	864	〃	ヤナギ属	
11	736	〃	ネムノキ		61	865	〃	ケヤキ	
12	739	〃	ヤナギ属		62	867	〃	ウツギ属	
13	740	〃	イヌシデ節		63	869	〃	ヤマグワ	
14	743	〃	ヤナギ属		64	872	〃	ヤナギ属	
15	746	〃	ニガキ		65	873	〃	草本類	
16	752	〃	ケヤキ		66	876	〃	〃	
17	753	〃	草本類		67	884	〃	コナラ節	
18	756	〃	アカガシ亜属		68	887	〃	アカガシ亜属	
19	758	〃	〃		69	888	〃	〃	
20	760	〃	クヌギ節		70	891	〃	ヤナギ属	
21	767	〃	ケヤキ		71	892	〃	ムクノキ	
22	768	〃	〃		72	893	〃	不明	
23	769	〃	モモ		73	894	〃	ヤナギ属	
24	770	〃	モミ属		74	895	〃	コナラ節	
25	771	〃	〃		75	896	〃	ヤナギ属	
26	772	〃	バラ属		76	897	〃	アワブキ	
27	773	〃	ヤナギ属		77	900	〃	コナラ節	
28	776	〃	ヌルデ		78	903	〃	ヤナギ属	
29	777	〃	クヌギ節		79	906	〃	ニシキギ属	
30	780	〃	〃		80	908	〃	ヤナギ属	
31	781	〃	ヤマグワ		81	910	〃	ヤマグワ	
32	782	〃	ネムノキ		82	911	〃	ヤナギ属	
33	790	〃	ブナ属		83	916	〃	モモ	
34	791	〃	アカガシ亜属		84	921	〃	クリ	
35	792	〃	モミ属		85	927	〃	ムクロジ	
36	793	〃	アカガシ亜属		86	928	〃	クリ	
37	797	〃	モモ		87	931	〃	ウコギ属	
38	804	〃	ムクノキ		88	933	〃	アカガシ亜属	
39	807	〃	フサザクラ		89	938	〃	ヤマグワ	
40	808	〃	カエデ属		90	941	〃	ヤナギ属	
41	809	〃	ヤナギ属		91	942	〃	ヤマグワ	
42	810	〃	コナラ節		92	946	〃	アカガシ亜属	
43	812	〃	〃		93	947	〃	ヤナギ属	
44	813	〃	アカガシ亜属		94	948	〃	〃	
45	815	〃	カバノキ属		95	960	〃	アカガシ亜属	
46	817	〃	クヌギ節		96	966	〃	クヌギ節	
47	818	〃	ケンボナシ属		97	969	〃	コナラ節	
48	823	〃	ヤナギ属		98	970	〃	ガマズミ属	
49	824	〃	ヤナギ属		99	973	〃	ヤナギ属	
50	830	〃	カエデ属		100	976	〃	ケンボナシ属	

第3章 理科学分析

表21. 元総社寺田遺跡出土材の樹種 (参考No.7)

No	図版	出土層位	樹種	備考	No	図版	出土層位	樹種	備考
1	977	Ⅲ区3・4面	ケヤキ		51	23	Ⅲ区下層サンブ	コナラ節	
2	978	〃	トネリコ属		52	34	〃	ケヤキ	
3	979	〃	コナラ節		53	25	〃	〃	
4	980	〃	クヌギ節		54	26	〃	トネリコ属	
5	981	〃	ヒサカキ		55	27	〃	ムクノキ	
6	982	〃	コナラ節		56	28	〃	ケヤキ	
7	989	〃	ヤマザクラ		57	29	〃	〃	
8	991	〃	アカガシ亜属		58	30	〃	〃	
9	992	〃	フジ		59	31	〃	〃	
10	993	〃	ムクノキ		60	32	〃	トチノキ	
11	994	〃	ヤマグワ		61	33	〃	ケヤキ	
12	995	〃	コナラ節		62	34	〃	コナラ節	
13	996	〃	ヒサカキ		63	35	〃	エゴノキ属	
14	998	〃	ヤマグワ		64	36	〃	ヤマグワ	
15	1000	〃	コナラ節		65	37	〃	カエデ属	
16	1001	〃	ウツギ属		66	38	〃	〃	
17	1002	〃	バラ属		67	39	〃	〃	
18	1003	〃	ヤマグワ		68				
19	1004	〃	ケヤキ		69	5	Ⅳ区2面	カヤ	
20	1005	〃	コナラ節		70	(19)	〃		
21	1006	〃	エノキ属		71	27	〃	ヒノキ属	
22	1007	〃	〃		72	32	〃	ケヤキ	
23	1008	〃	ヒサカキ		73	39	Ⅳ区3面	アカマツ	
24	1010	〃	クリ		74	41	〃	ヤナギ属	
25	1011	〃	ハリギリ		75	48	〃	アカガシ亜属	
26	1013	〃	ケヤキ		76	51	〃	コナラ節	
27	1014	〃	ウツギ属		77	52	〃	オニグルミ	
28					78	53	〃	ヤナギ属	
29	1	Ⅲ区下層サンブ	トネリオ属		79	54	〃	クリ	
30	2	〃	〃		80	57	〃	サクラ属	
31	3	〃	カエデ属		81	58	〃	クヌギ節	
32	4	〃	〃		82	59	〃	コナラ節	
33	5	〃	エノキ属		83	60	〃	〃	
34	6	〃	カエデ属		84	63	〃	クリ	
35	7	〃	エノキ属		85	72	〃	サクラ属	
36	8	〃	ケヤキ		86	73	〃	クリ	
37	9	〃	コナラ節		87	76	〃	ヤナギ属	
38	10	〃	コクサギ		88	82	〃	クヌギ節	
39	11	〃	カエデ属		89	86	〃	ヤナギ属	
40	12	〃	〃		90	88	〃	モミ属	
41	13	〃	ケヤキ		91	89	〃	クヌギ節	
42	14	〃	〃		92	94	〃	ヤナギ属	
43	15	〃	カエデ属		93	95	〃	〃	
44	16	〃	ケヤキ		94	97	〃	〃	
45	17	〃	カエデ属		95	104	〃	イヌシデ節	
46	18	〃	ケヤキ		96	107	〃	カエデ属	
47	19	〃	〃		97	108	〃	不明	
48	20	〃	〃		98	110	〃	トネリコ属	
49	21	〃	〃		99	111	〃	カエデ属	
50	22	〃	〃		100	113	〃	アカガシ亜属	

表24. 面別出土木材とその樹種

樹種	実								測		参								考		総合計(%)
	1面	2面	3面	3・4面	4面	5面	不明	合計(%)	1面	2面	3面	3・4面	4面	5面	不明	合計(%)	総合計(%)				
カヤ			1	4	5			10	0.8			1	1	6			8	1.1	18	0.9	
モミ	1	6	10	20	30			67	5.5				4	28			32	4.4	99	5.1	
カラマツ								1	0.1										1	0.1	
トウヒ			1					1	0.1										1	0.1	
アカマツ		1	2	1	4			8	0.7			1					1	0.1	9	0.5	
マツ				1	3	1		5	0.4				3				3	0.4	8	0.4	
ツガ					1			1	0.1										1	0.1	
マツ					2	1		3	0.2			2		1			3	0.4	6	0.3	
スギ	8	1	4	1	10			24	2.0	2	1		7			10	1.4	34	1.8		
コウヤマキ		1						1	0.1										1	0.1	
ヒノキ	2	2	3	7	6			20	1.6			1		7			8	1.1	28	1.4	
ネズ	4			1	2			7	0.6										7	0.4	
アスナロ					1			1	0.1										1	0.1	
オニグルミ				4	2			6	0.5				1	2			3	0.4	9	0.5	
サワグルミ				1				1	0.1										1	0.1	
ヤナギ				5	22	51		78	6.4	1	3	8	65	5			82	11.3	160	8.2	
ハンノキ		2			7	8		17	1.4				12	1			13	1.8	30	1.5	
アサダ			1	2	1			4	0.3				3	1			4	0.6	8	0.4	
イヌシデ					2	18		20	1.6				1	8			9	1.2	29	1.5	
カバノキ		1	4	35	27			67	5.5		1	1	5	1			8	1.1	75	3.9	
クマノリ	5	4	10	54	42		3	118	9.7	2		4	39			45	6.2	163	8.4		
クヌギ	2	5	8	85	161	12		273	22.5			4	61	10	1		76	10.5	349	18.0	
コナラ		3	4	34	62	1		104	8.6		1	4	46	8	1	3	63	8.7	167	8.6	
コナラ														1			1	0.1	1	0.1	
アカガシ			2	14	15			31	2.6			2	31	1			34	4.7	65	3.3	
ブナ	1	1	1	4	4			11	0.9			1	3				4	0.6	15	0.8	
ムクノキ				3				3	0.2				10			1	11	1.5	14	0.7	
エノキ		1	1	6	8		1	17	1.4	1			5	1		2	9	1.2	26	1.3	
ケヤキ		1	3	19	29	1		53	4.4		1		24	2		16	43	5.9	96	4.9	
ヤマグワ		1	2	9	9			21	1.7		3	2	30	1		1	37	5.1	58	3.0	
クワ													1				1	0.1	1	0.1	
イタビ		1						1	0.1										1	0.1	
フサザク													2				2	0.3	2	0.1	
モクレン			1	3	1		1	6	0.5				1				1	0.1	7	0.4	
クスノキ					2			2	0.2				1				1	0.1	3	0.2	
クロモジ				2				2	0.2										2	0.1	
カツラ				2	2			4	0.3				4				4	0.6	8	0.4	
マタタビ				1				1	0.1										1	0.1	
ヤブツバキ			2	3				5	0.4										5	0.3	
ナツツバキ					1			1	0.1										1	0.1	
サカキ				2	1			3	0.2				1				1	0.1	4	0.2	
ヒサカキ				1	1			2	0.2				4				4	0.6	6	0.3	
ウツギ				1	7			8	0.7				4				4	0.6	12	0.6	
モザク		2	3	5	8			18	1.5			1	12	1			14	1.9	32	1.6	
ヤマザク			2					2	0.2			1	2				3	0.4	5	0.3	
サクラ			1	5	3			9	0.7		2	2	8				12	1.7	21	1.1	
バラ					1			1	0.1				3				3	0.4	4	0.2	
ネムノキ													3				3	0.4	3	0.2	
フジ													1				1	0.1	1	0.1	
ナカマド					1			1	0.1				2				2	0.3	3	0.2	
アカメ					2			2	0.2					1			1	0.1	3	0.2	
コクサギ				2	7			9	0.7				2			1	3	0.4	12	0.6	
キハダ					2			2	0.2										2	0.1	
ニガキ													1				1	0.1	1	0.1	
ヤマウルシ													1				1	0.1	1	0.1	
ヌルデ													2				2	0.3	2	0.1	
カエデ		2	2	16	22			42	3.5		2	3	33	2		10	50	6.9	92	4.7	
ムクロジ		1		2	8			11	0.9				5				5	0.7	16	0.8	
トチノキ		1	2	12	9			24	2.0	1			3	1		1	6	0.8	30	1.5	
アワブキ		1		8	4			13	1.1				7				7	1.0	20	1.0	
ニシキギ					2			2	0.2				1				1	0.1	3	0.2	
ミツバツギ					3			3	0.2										3	0.2	
ケンボナシ		1			8	1		10	0.8				9	1			10	1.4	20	1.0	
グミ			1		3			4	0.3				4				4	0.6	8	0.4	
ミズキ					3			3	0.2				2				2	0.3	5	0.3	
ウコギ					1			1	0.1				3	1			4	0.6	5	0.3	
ハリギ				1	1			2	0.2				2				2	0.3	4	0.2	
カキノキ													1				1	0.1	1	0.1	
エゴノキ	1		1	1	6			9	0.7		1	1	15	2		1	20	2.8	29	1.5	
トネリコ		1	1	8	3			13	1.1			2	4			3	9	1.2	22	1.1	
イボタノキ				2	1			3	0.2				3				3	0.4	6	0.3	
イサワフタギ		1			1			2	0.2				1				1	0.1	3	0.2	
ムラサキシキブ			1	2	7			10	0.8				2				2	0.3	12	0.6	
キリ					1			1	0.1										1	0.1	
ニワトコ													2				2	0.3	2	0.1	
ガマズミ				1				1	0.1				2				2	0.3	3	0.2	
散孔材				1				1	0.1										1	0.1	
散孔材													1				1	0.1	1	0.1	
草木			1	1				2	0.2				1	17			18	2.5	18	0.9	
樹皮																			2	0.1	
不明			2		4			6	0.5				1	4			5	0.7	11	0.6	
合計	24	41	83	422	624	15	6	1,215	100.0	7	19	46	571	42	2	39	726	100.0	1,941	101.0	

第3章 理科学分析

表25. 出土製品とその樹種 (1面・2面)

建築材、加工：加工材、旗織：旗織具

	1													2												
	杭類	建築	柱類	板類	棒類	曲物	楔	桶	漆碗	桶	不明	計	杭類	板類	棒類	加工	旗織	下駄	漆碗	皿	不明	計				
カ											1	1														
モ														1	4		1									
カ	ラ	マ	ツ																				6			
ト	ウ	ヒ																								
ア	カ	マ	ツ											1									1			
マ	ツ	属单维管束	东亚属																							
マ		ツ																								
ス				1				6		1		8		1									1			
コ	ウ	ヤ	マ																			1				
ヒ	ノ	キ			1						1	2				2										
ネ		ズ				4						4											2			
ア	ス	ナ	口																							
オ	ニ	グ	ル	ミ																						
サ	ワ	グ	ル	ミ																						
ヤ	ナ	ギ																								
ハ	ン	ノ	キ																							
ア	サ	サ	ダ										2										2			
イ	ヌ	シ	デ																							
イ	カ	バ	ノ	キ												1							1			
ク																										
ク	ヌ	ギ	節			1			1	2		5	2	1		1				1			4			
ク	ナ	ラ	節									2	1	3								1	5			
コ	ナ	ラ	亜										2	1									3			
ア	カ	ガ	シ	亜																						
ブ		ナ																								
ム	ク	ノ	キ																							
エ	ノ	キ																								
ケ	ヤ																									
ヤ	マ	グ																								
ク	ワ																									
イ	タ	ビ	カ	ズ	ラ																					
フ	サ	ザ	ク	ラ												1							1			
モ	ク	レ	ン																							
ク	ス	ノ	キ																							
ク	ロ	モ	ジ																							
カ		ツ																								
マ	タ	タ	タ	ビ																						
ヤ	ブ	ツ	バ	キ																						
ナ	ツ	ツ	バ	キ																						
サ		カ																								
ヒ	サ	カ	キ																							
ウ	ツ	ギ																								
モ																										
ヤ	マ	ザ	ク	ラ												2							2			
サ	ク	ラ																								
バ		ラ																								
ナ	ナ	カ	マ	ド																						
ア	カ	メ	ガ	シ	ワ																					
コ	ク	サ	ギ																							
キ		ハ																								
ニ		ガ																								
ヤ	マ	ウ	ル	シ																						
ヌ		ル																								
カ	エ	デ																								
ム	ク	ロ	ジ																							
ト	チ	ノ	キ																							
ア	ワ	ブ	キ																							
ニ	シ	キ	ギ									1											1			
ミ	ツ	バ	ウ	ツ																						
ケ	ン	ボ	ナ	シ																						
グ		ミ																					1			
ミ	ズ	キ																								
ウ		コ	ギ																							
ハ		リ	ギ																							
カ	キ	ノ	キ																							
エ	ゴ	ノ	キ																							
ト	ネ	リ	コ																							
イ	ボ	タ	ノ	キ																						
イ	サ	ワ	フ	タ	ギ																					
ム	ラ	サ	キ	シ	キ	ブ																				
キ																										
ニ	ワ	ト																								
ガ	マ	ズ	ミ																							
散	孔	材																								
散	孔	材																								
草		木																								
樹																										
不																										
合	計																									

表26. 出土木製品とその樹種 (3面)

旗織：旗織具、木製：木製品、他：その他

	杭類	柱類	角材	板類	割材	棒類	鋤類	柄類	曲物	旗織	栓	盆	桶	刃型	弓	木製	他	不明	計				
カ															1				1				
モ	ミ							1			1			1					10				
カ	ラ	マ	ツ																				
ト	ウ	ヒ	風						1										1				
ア	カ	マ	ツ						1							1			2				
マ	ツ	属	単	管	東	亜	属												1				
ツ	ガ																						
マ	ツ																						
ス				1	1	1				1									4				
コ	ウ	ヤ	マ																				
ヒ	ノ	キ	属		1								1						3				
ネ	ズ		コ																				
ア	ス	ナ	ロ																				
オ	ニ	グ	ル	ミ																			
サ	ワ	グ	ル	ミ																			
ヤ	ナ	ギ	属																4				
ハ	ン	ノ	キ	節																			
ア		サ	ダ																1				
イ	ヌ	シ	デ	節																			
カ	バ	ノ	キ	属			1	2	1										4				
ク				リ									1						10				
ク	ヌ	ギ	ラ	節								1						1	9				
コ	ナ			節								1				1			4				
コ	ナ	ラ	亜	属															2				
ア	カ	ガ	シ	亜	属														2				
ブ		ナ		属		1													1				
ム	ク	ノ	キ	属																			
エ	ノ	キ	属													1			1				
ケ	ヤ		キ	属		1		1											1				
ヤ	マ	グ	ワ	属															2				
ク	ワ			属																			
イ	タ	ビ	カ	ズ	ラ	属																	
フ	サ	ザ	ク	ラ	属																		
モ	ク	レ	ン	属															1				
ク	ス	ノ	キ	科																			
ク	ロ	モ	ジ	属																			
カ				ラ																			
マ	タ	タ	ビ	属																			
ヤ	ブ	ツ	バ	属				1										1	2				
ナ	ツ	ツ	バ	属																			
サ	カ		キ	属																			
ヒ	サ	カ	キ	属																			
ウ	ツ	ギ	属																				
モ				モ		1			2										3				
ヤ	マ	ザ	ク	ラ		1													2				
サ	ク	ラ	属																2				
バ		ラ	属																				
ナ	ナ	カ	マ	ド	属																		
ア	カ	メ	ガ	シ	ワ																		
コ	ク	サ	ギ																				
キ	ハ	ガ	ダ																				
ニ	ガ		キ																				
ヤ	マ	ウ	ル	シ																			
ヌ	ル		デ																				
カ	エ	デ	属				1												2				
ム	ク	ロ	ジ																				
ト	チ	ノ	キ			1							1						2				
ア	ワ	ブ	属																				
ニ	シ	キ	ギ	属																			
ミ	ツ	バ	ウ	属																			
ケ	ン	ボ	ナ	属																			
グ		ミ	属																1				
ミ	ズ	キ	属																				
ウ	コ	ギ	属																				
ハ	リ	ギ	属																				
カ	キ	ノ	キ	属																			
エ	ゴ	ノ	キ	属							1								1				
ト	ネ	リ	コ	属															1				
イ	ボ	タ	ノ	キ	属																		
サ	ワ	フ	タ	ギ	属																		
ム	ラ	サ	キ	シ	属									1					1				
キ				リ																			
ニ	ワ	ト	コ																				
ガ	マ	ズ	ミ	属																			
散	孔	材	A																				
散	孔	材	B																				
草		木	類																				
樹			皮																				
不			明																				
合			計																				
				23	6	4	16	3	4	2	5	2	2	2	3	2	1	2	1	3	1	3	83

第3章 理科学分析

表27. 出土木製品とその樹種 (3面・4面)

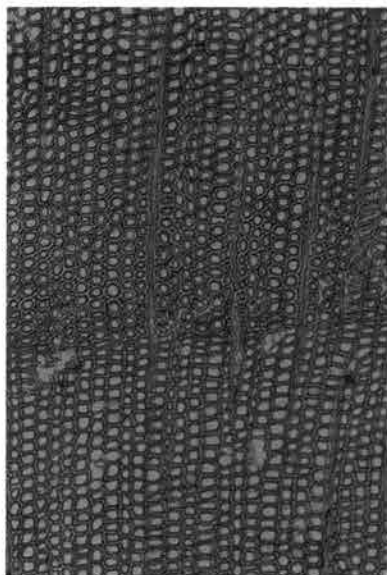
建築：建築材、加工：加工材、他：その他

	杭類	建築	柱類	角材	板類	割材	棒類	加工	楔	梯子	鋏類	鋤類	柄類	槌	容器	杵	弓	舟	他	不明	計	
カヤ			1		1												1			1	4	
モミ	属	3			7	1	2													7	20	
カラマツ	属																					
トウヒ	属																					
アカマツ	属									1											1	
マツ	属	1					2														3	
ツガ	属																					
マツ	属																			2	2	
スギ	属																1				1	
コウヤマキ	属																					
ヒノキ	属																		1	6	7	
ネズ	属	1																			1	
アシナ	属																					
オニグルミ	属			1			1													2	4	
サワグルミ	属																				1	
ヤナギ	属	6	3	1	1		7						1								22	
ハンノキ	属	1	2	1	1		2														7	
アサ	属					1															2	
イヌシデ	属	1		1																	2	
カバノキ	属	3			3		2					13	6						1	7	35	
クリ	属	2			13	4	6					1	1	2				1		23	54	
クヌギ	属	13	5	2	18	7	14	1	1			7	2	1	1		1		1	11	85	
コナラ	属	3	1	4	2	6	2	5	1												10	34
コナラ	属																					
アカガシ	属	1			2		8						2							1	14	
ブナ	属	2	1		1																4	
ムクノ	属						1										1			1	3	
エノキ	属				1		1								1					3	6	
ケヤキ	属		1		6	1	2						1		2			1		5	19	
ヤマブ	属	2				1	3						1							2	9	
クワ	属																					
イタビカズラ	属																					
フサザク	属																					
モクレン	属						2													1	3	
クスノキ	属																					
クロモジ	属												1								1	2
カマツ	属																				2	2
マタタビ	属												1									1
ヤブツバキ	属															1					2	3
ナツツバキ	属																					
サカ	属												1								1	2
ヒサカ	属	1																				1
ウツギ	属																1					1
モ	属	1								1							1				2	5
ヤマザク	属																					
サクラ	属				1						1										3	5
バラ	属																					
ナカマド	属																					
アカメガシ	属																					
コクサ	属	1					1															2
キハ	属																					
ニガ	属																					
ヤマウル	属																					
ヌル	属																					
カエデ	属	5		2	2		3						1								3	16
ムク	属						1														1	2
トチ	属				3	1	5						1					1			1	12
アワ	属	3		1			1						1								1	8
ニシ	属																					
シキ	属																					
ミツ	属																					
ケン	属																					
グミ	属																					
ミズ	属																					
ウコ	属																					
ハリ	属																				1	1
カキノ	属																					
エゴ	属	1																				1
トネ	属		1	1	1			2					2								1	8
イボ	属	1				1															2	
サワ	属																					
ムラ	属							2														2
キサ	属																					
キ	属																					
ニワ	属																					
ガ	属																					
散孔	材																				1	1
散孔	材																				1	1
散木	材																					
草	類																					
樹	皮																				1	1
不	明																					
合	計	51	14	15	3	67	18	74	2	1	2	22	9	18	1	4	1	6	3	4	107	422

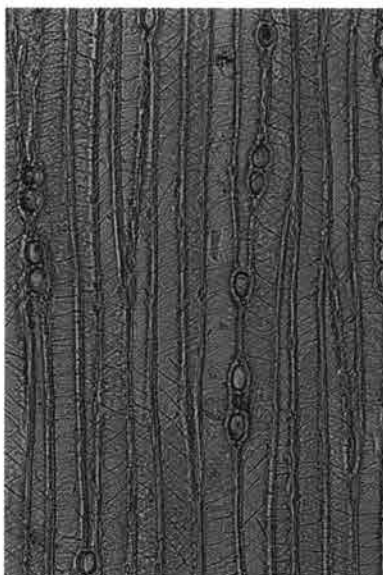
表28. 出土木製品とその樹種 (4面)

建築：建築材、加工：加工材、たる：たる木、旗織：旗織具、他：その他

	杭類	建築	柱類	角材	板類	扉材	たる	器材	樽類	加工	椽	椽子	兼類	鋤類	柄類	榑	杵	曲物	旗織	盆	刀型	弓	矢	舟	他	不明	計		
カ										1					2							2					5		
モ																							1					30	
カ																													
ト																													
ア																													
マ																													
ツ																													
マ																													
ス																													
コ																													
ヒ																													
ネ																													
ア																													
オ																													
サ																													
ヤ																													
ハ																													
ア																													
イ																													
カ																													
カ																													
ク																													
ク																													
コ																													
コ																													
ア																													
ブ																													
ム																													
エ																													
ケ																													
ヤ																													
ク																													
イ																													
フ																													
モ																													
ク																													
カ																													
マ																													
ヤ																													
ナ																													
サ																													
ヒ																													
ウ																													
モ																													
ヤ																													
サ																													
バ																													
ナ																													
ア																													
コ																													
キ																													
ニ																													
ヤ																													
ヌ																													
カ																													
ム																													
ト																													
ア																													
ニ																													
ミ																													
ケ																													
グ																													
ミ																													
ウ																													
ハ																													
カ																													
エ																													
ト																													
イ																													
サ																													
ム																													
キ																													
ニ																													
ガ																													
散																													
散																													
草																													
樹																													
不																													
合																													



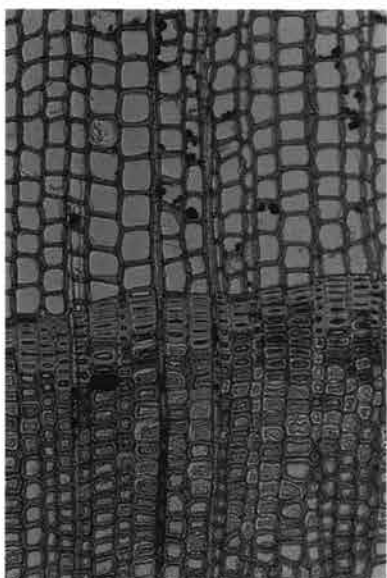
1a.カヤ(横断面) 実測1-91 bar:0.2mm



1b.同(接線断面) bar:0.1mm



1c.同(放射断面) bar:0.1mm



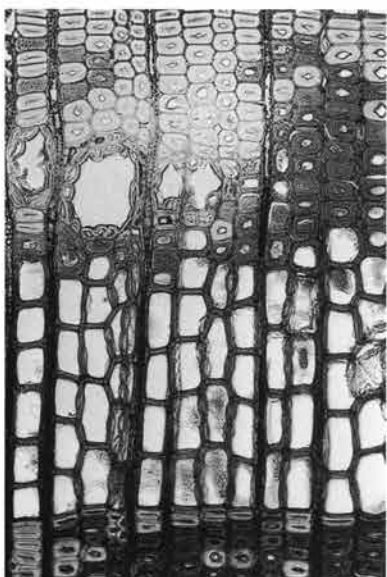
2a.モミ属(横断面) 実測1-33 bar:0.2mm



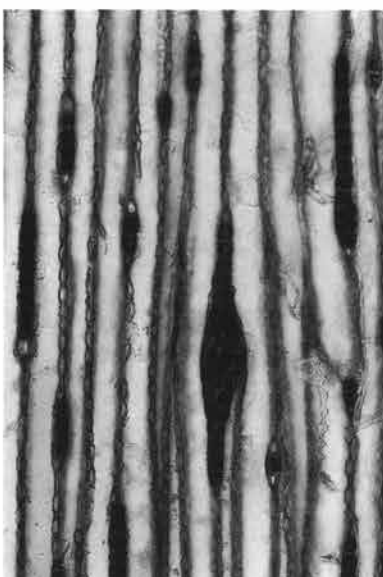
2b.同(接線断面) bar:0.2mm



2c.同(放射断面) bar:0.1mm



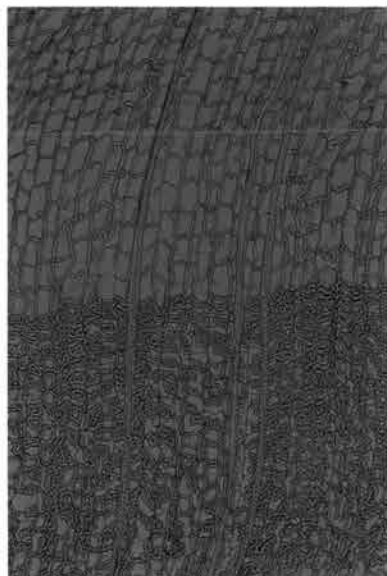
3a.カラマツ属(横断面) 実測仮7-2 bar:0.2mm



3b.同(接線断面) bar:0.2mm



3c.同(放射断面) bar:0.05mm



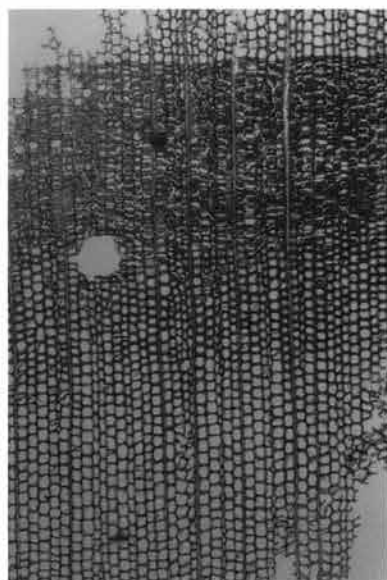
4a. トウヒ属(横断面) 実測1-97 bar:0.2mm



4b. 同(接線断面) bar:0.2mm



4c. 同(放射断面) bar:0.1mm



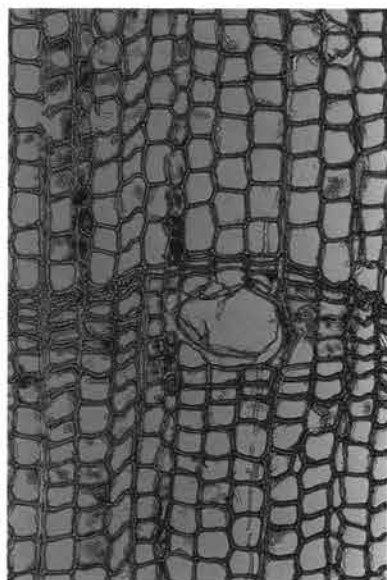
5a. アカマツ(横断面) 実測1-98 bar:0.5mm



5b. 同(接線断面) bar:0.2mm



5c. 同(放射断面) bar:0.1mm



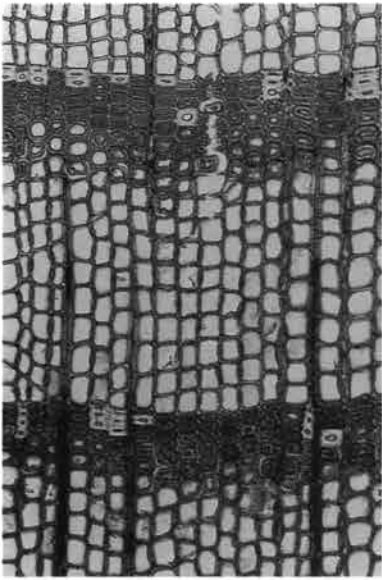
6a. マツ属単維管束亜属(横断面)
実測3-20 bar:0.2mm



6b. 同(接線断面) bar:0.2mm



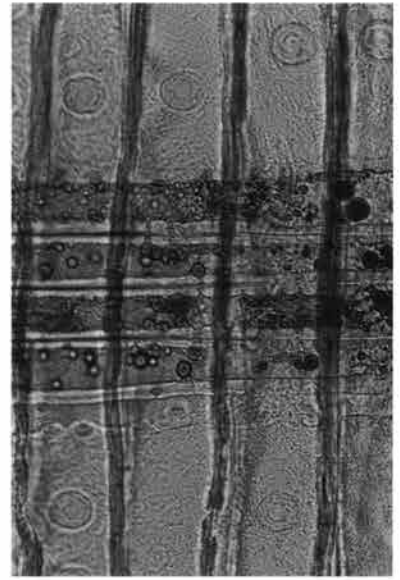
6c. 同(放射断面) bar:0.1mm



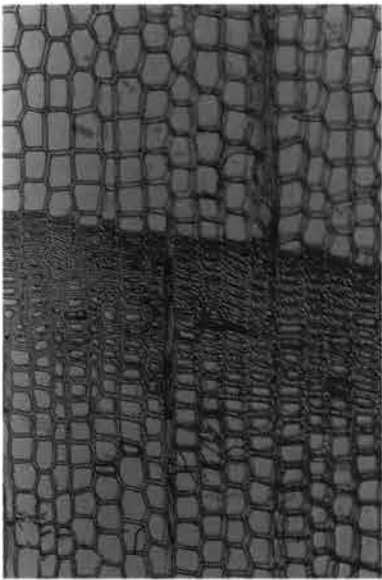
7a.ツガ属(横断面)実測仮7-57 bar:0.2mm



7b.同(接線断面) bar:0.2mm



7c.同(放射断面) bar:0.05mm



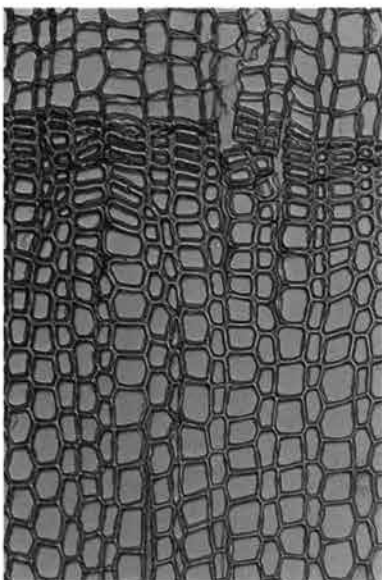
8a.スギ(横断面) 実測1-99 bar:0.2mm



8b.同(接線断面) bar:0.2mm



8c.同(放射断面) bar:0.1mm



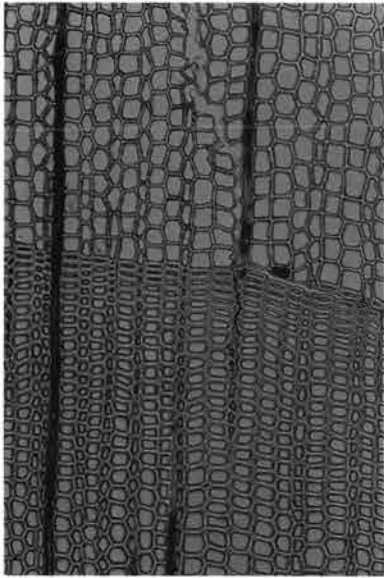
9a.コウヤマキ(横断面) 実測6-43 bar:0.2mm



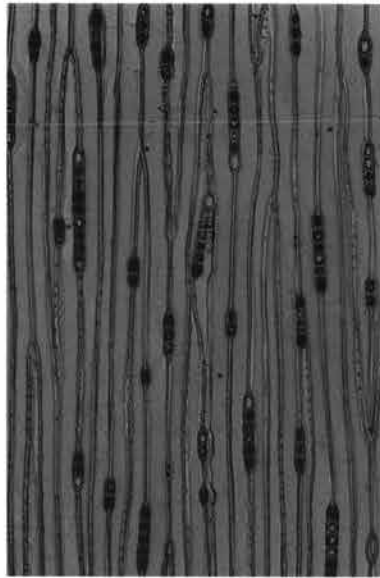
9b.同(接線断面) bar:0.2mm



9c.同(放射断面) bra:0.1mm



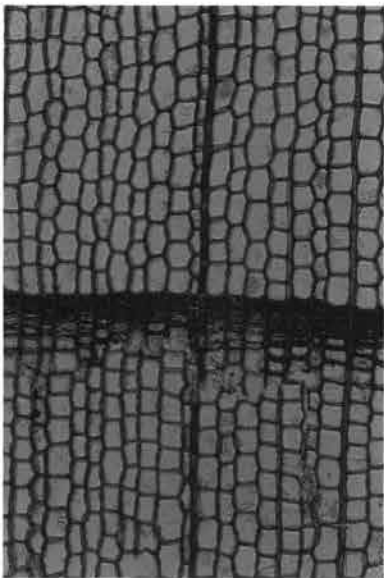
10a.ヒノキ属(横断面)実測1-95 bar:0.2mm



10b.同(接線断面) bar:0.2mm



10c.同(放射断面) bar:0.1mm



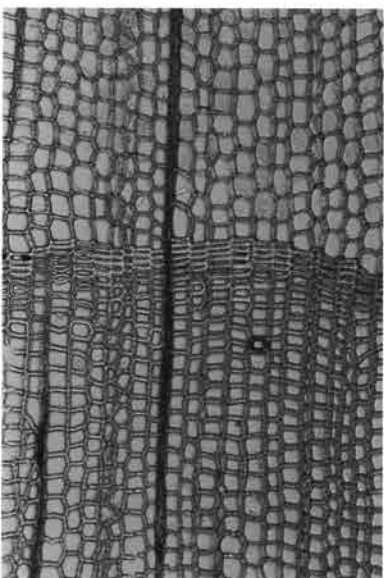
11a.ネズコ(横断面) 実測1-6 bar:0.2mm



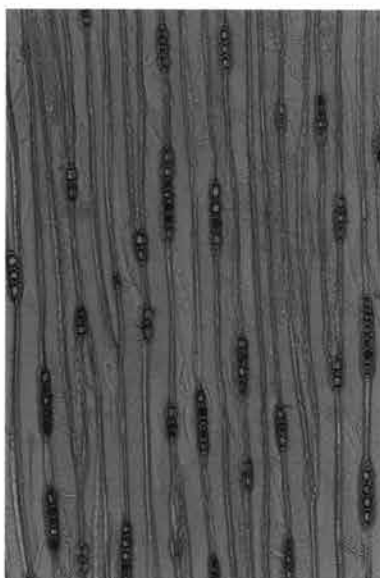
11b.同(接線断面) bar:0.2mm



11c.同(放射断面) bar:0.1mm



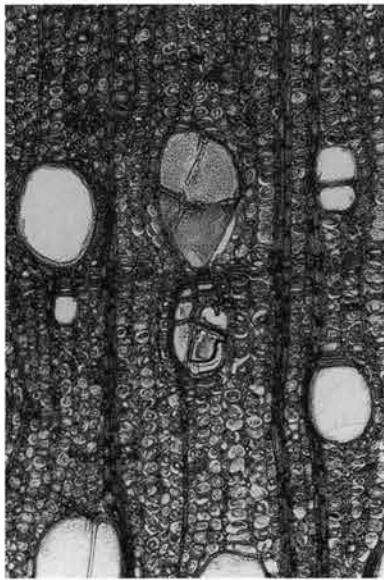
12a.アスナロ(横断面) 実測11-35 bar:0.2mm



12b.同(接線断面) bar:0.2mm



12c.同(放射断面) bar:0.1mm



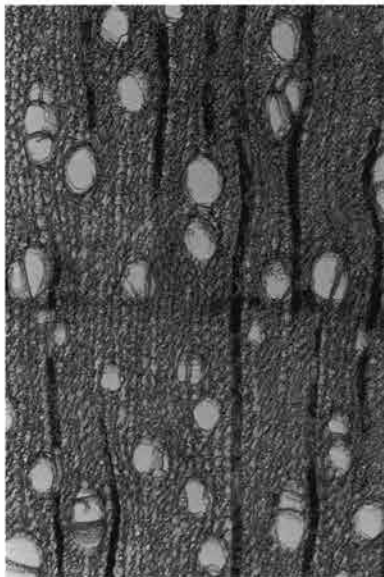
13a.オニグルミ(横断面) 実測3-6 bar:0.2mm



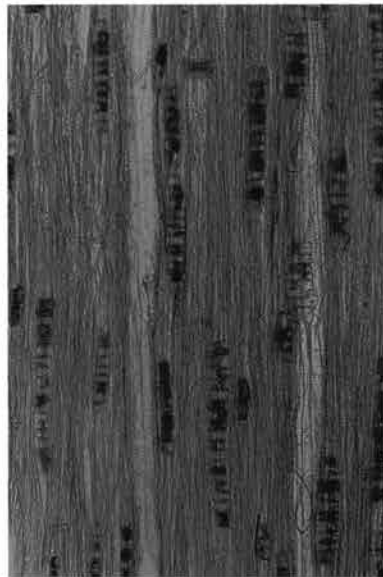
13b.同(接線断面) bar:0.2mm



13c.同(放射断面) bar:0.2mm



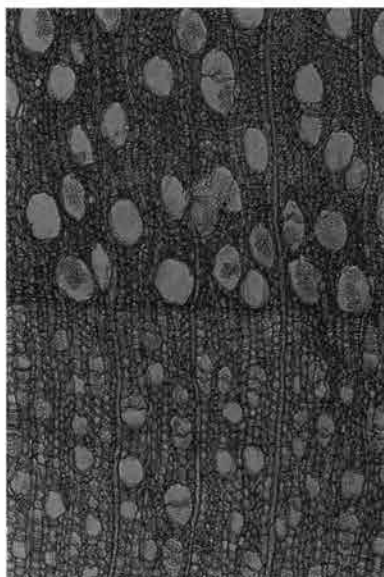
14a.サワグルミ(横断面) 実測4-61 bar:0.2mm



14b.同(接線断面) bar:0.2mm



14c.同(放射断面) bar:0.2mm



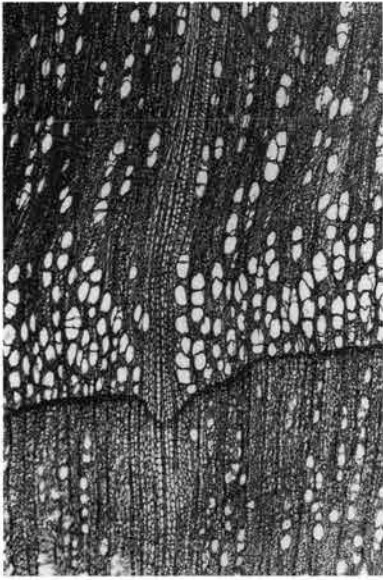
15a.ヤナギ属(横断面) 実測1-88 bar:0.2mm



15b.同(接線断面) bar:0.2mm



15c.同(放射断面) bar:0.1mm



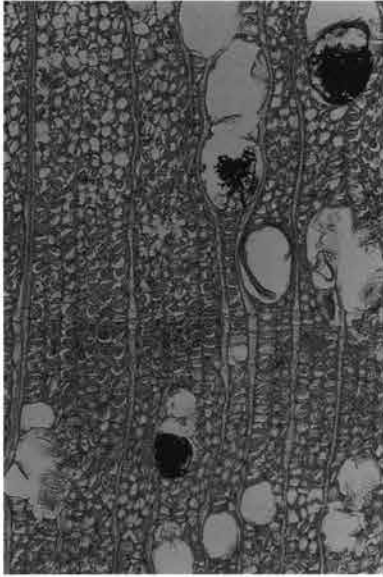
16a.ハンノキ節(横断面) 実測5-62 bar:0.5mm



16b.同(接線断面) bar:0.2mm



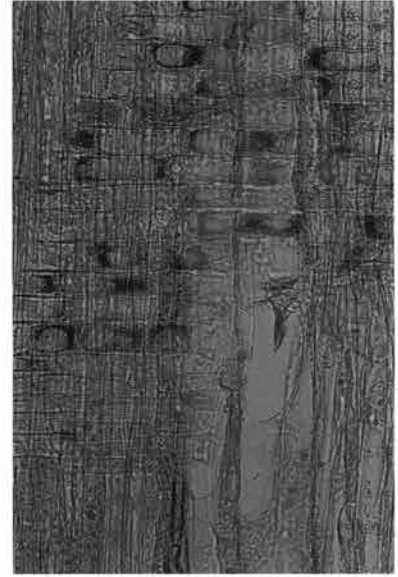
16c.同(放射断面) bar:0.1mm



17a.アサダ(横断面) 実測11-79 bar:0.2mm



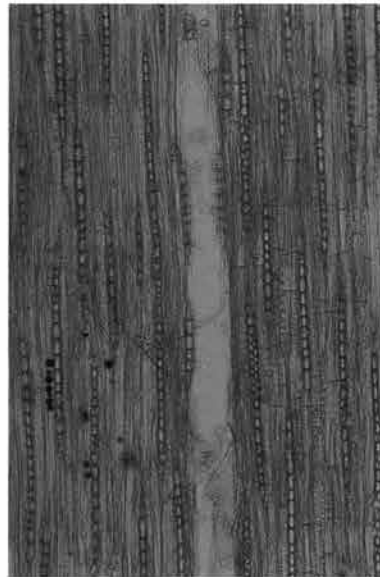
17b.同(接線断面) bar:0.2mm



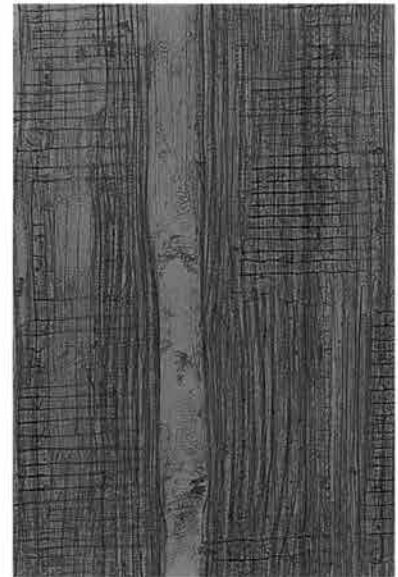
17c.同(放射断面) bar:0.1mm



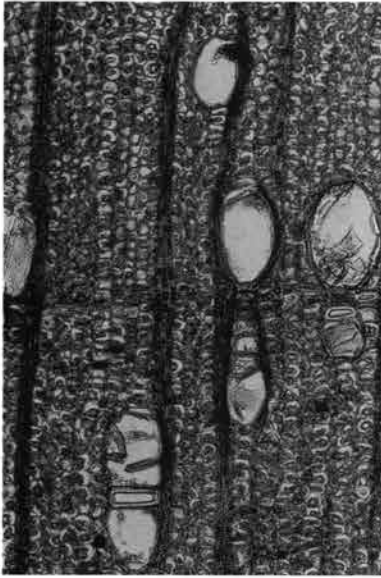
18a.イグシデ節(横断面) 実測9-94 bar:0.5mm



18b.同(接線断面) bar:0.2mm



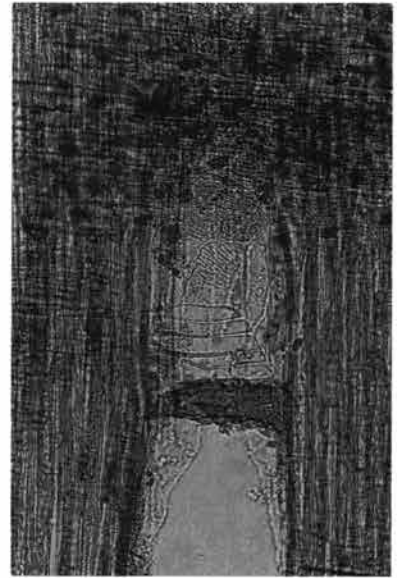
18c.同(放射断面) bar:0.2mm



19a.カバノキ属(横断面) 実測1-15 bar:0.2mm



19b.同(接線断面) bar:0.2mm



19c.同(放射断面) bar:0.1mm



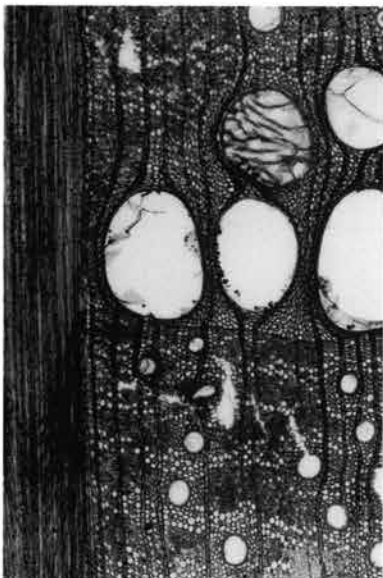
20a.クリ(横断面) 実測1-92 bar:0.5mm



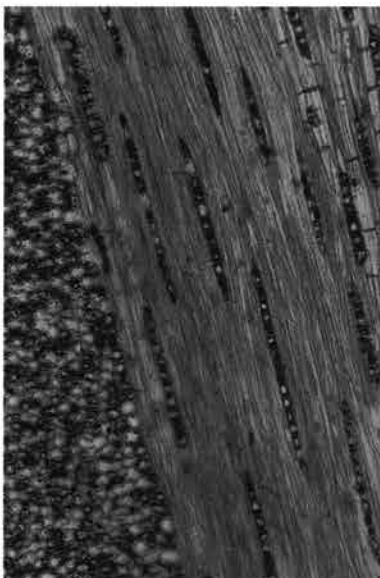
20b.同(接線断面) bar:0.2mm



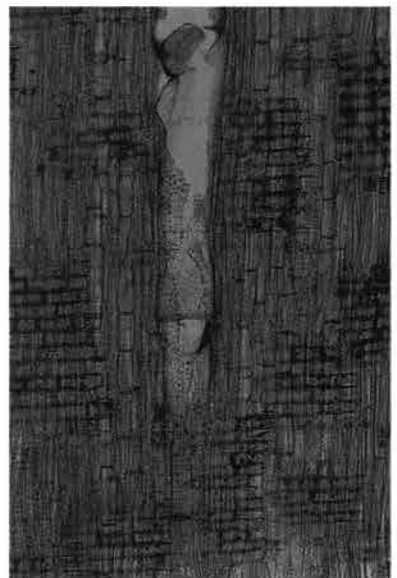
20c.同(放射断面) bar:0.5mm



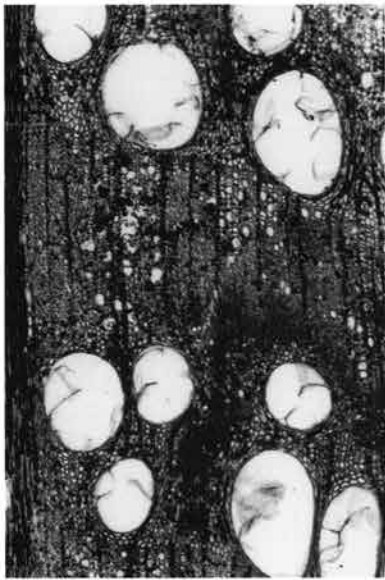
21a.クヌギ節(横断面) 実測1-17 bar:0.5mm



21b.同(接線断面) bar:0.2mm



21c.同(放射断面) bar:0.2mm



22a.コナラ節(横断面) 実測1-18 bar:0.5mm



22b.同(接線断面) bar:0.5mm



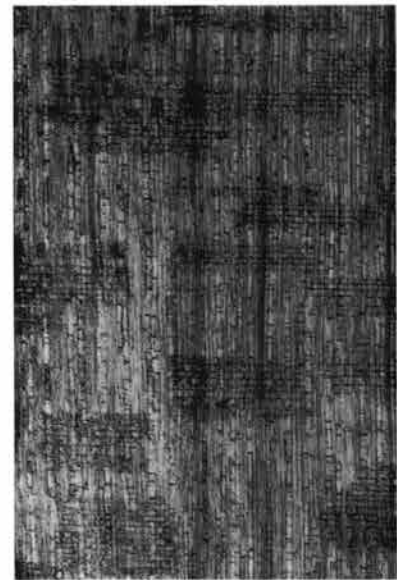
22c.同(放射断面) bar:0.2mm



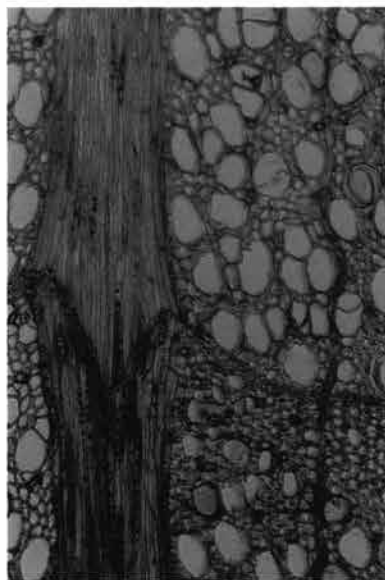
23a.アカガシ亜属(横断面) 実測3-29 bar:0.5mm



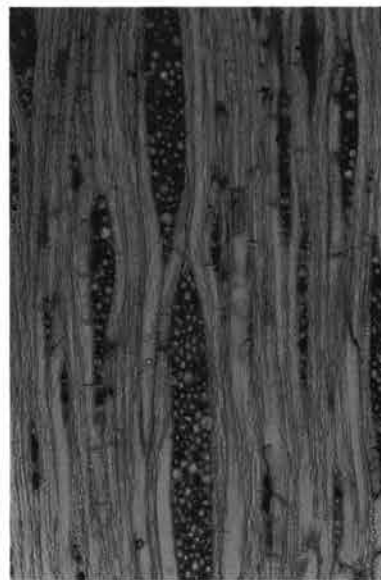
23b.同(接線断面) bar:0.2mm



23c.同(放射断面) bar:0.5mm



24a.ブナ属(横断面)実測1-37 bar:0.2mm



24b.同(接線断面) bar:0.2mm



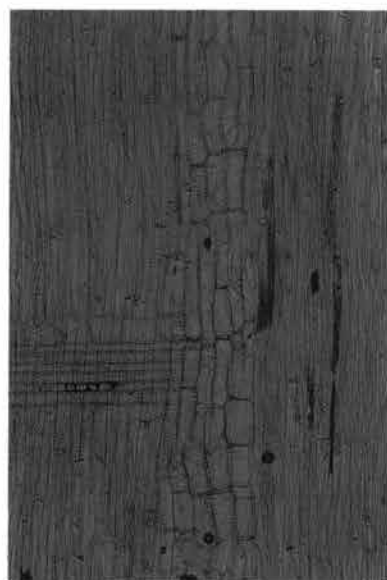
24c.同(放射断面) bar:0.1mm



25a.ムクノキ(横断面) 実測3-18 bar:0.5mm



25b.同(接線断面) bar:0.2mm



25c.同(放射断面) bar:0.2mm



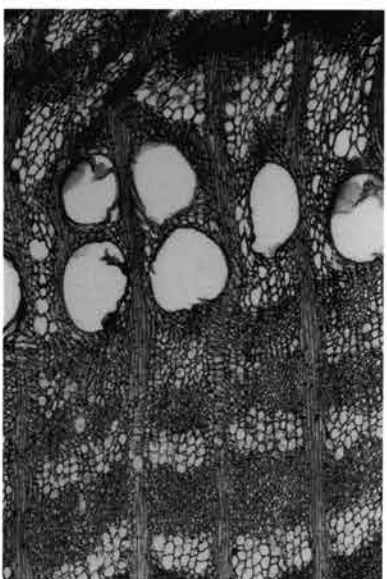
26a.エノキ属(横断面) 実測2-91 bar:0.2mm



26b.同(接線断面) bar:0.2mm



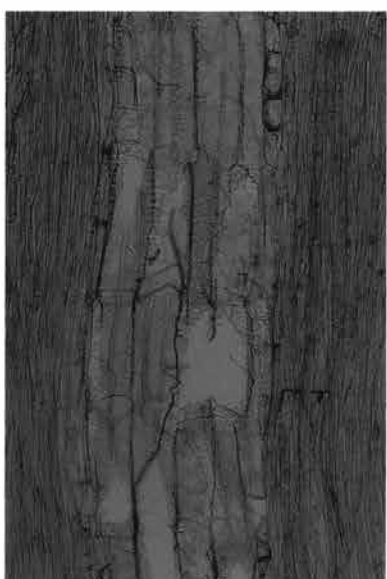
26c.同(放射断面) bar:0.2mm



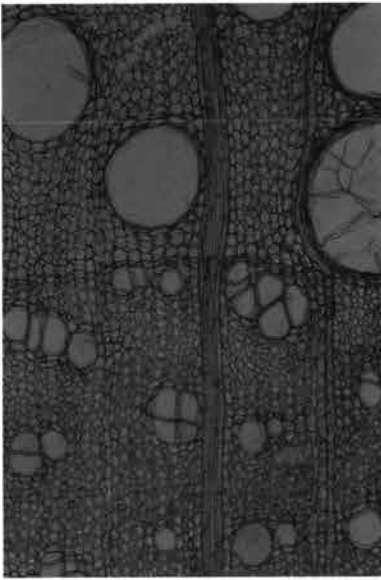
27a.ケヤキ(横断面) 実測1-39 bar:0.5mm



27b.同(接線断面) bar:0.2mm



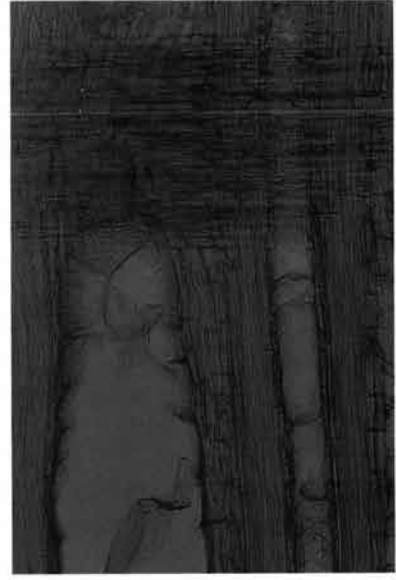
27c.同(放射断面) bar:0.2mm



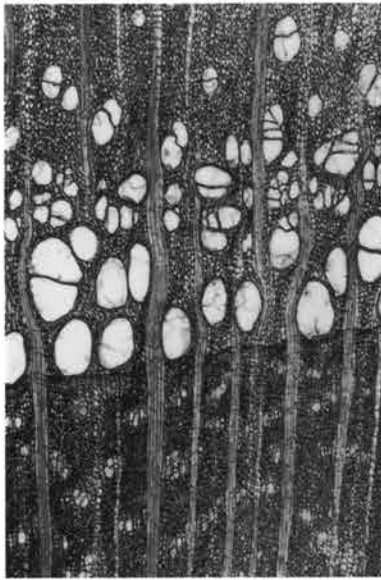
28a. ヤマガワ(横断面) 実測1-20 bar:0.2mm



28b. 同(接線断面) bar:0.2mm



28c. 同(放射断面) bar:0.2mm



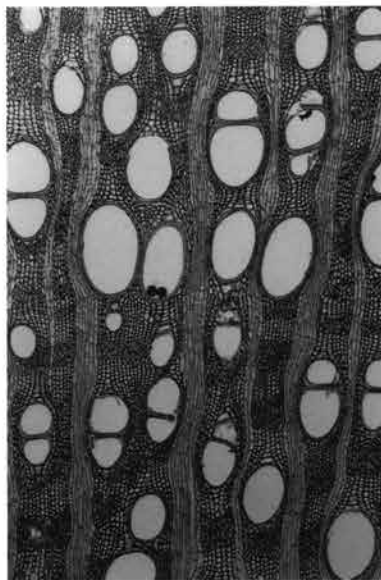
29a. クワ属(横断面) 参考4-90 bar:0.5mm



29b. 同(接線断面) bar:0.2mm



29c. 同(放射断面) bar:0.2mm



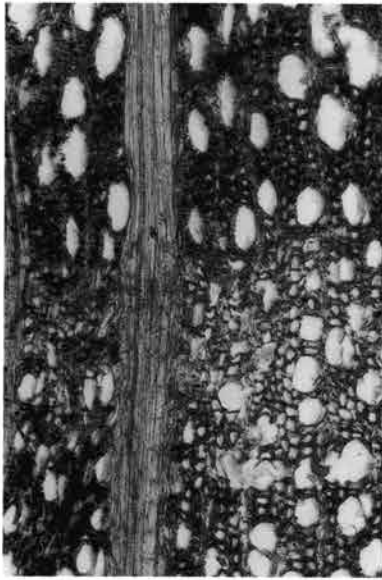
30a. イタバカズラ類(横断面) 実測6-24 bar:0.5mm



30b. 同(接線断面) bar:0.2mm



30c. 同(放射断面) bar:0.2mm



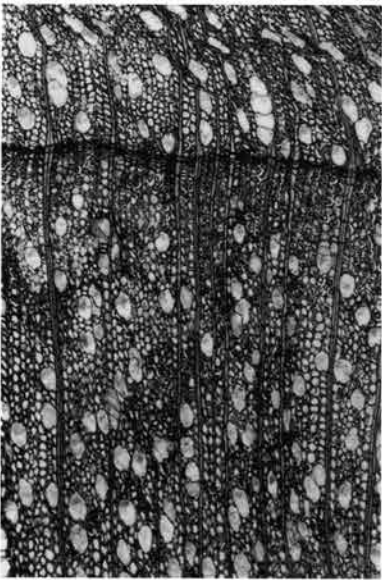
31a.フサザクラ(横断面) 参考1-88 bar:0.2mm



31b.同(接線断面) bar:0.2mm



31c.同(放射断面) bar:0.1mm



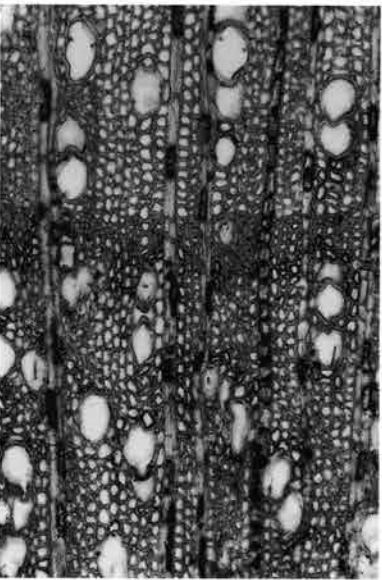
32a.モクレン属(横断面) 参考4-33 bar:0.5mm



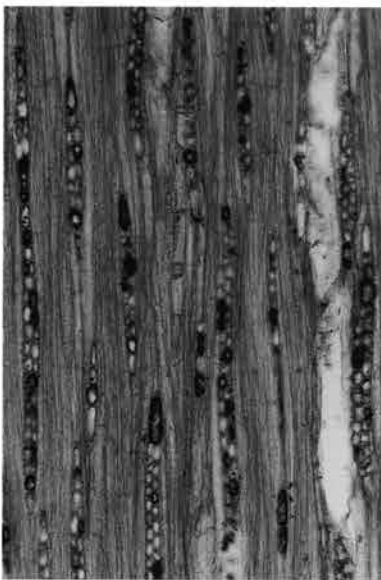
32b.同(接線断面) bar:0.2mm



32c.同(放射断面) bar:0.2mm



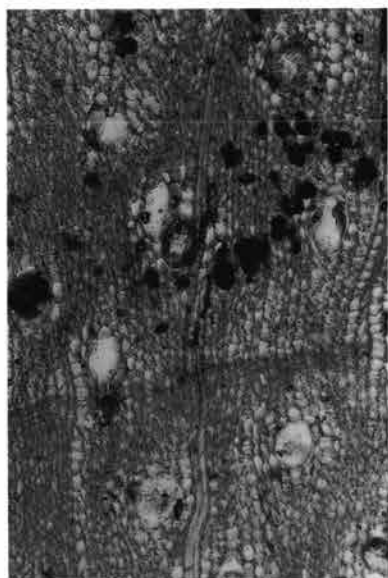
33a.クスノキ科(横断面) 実測10-28 bar:0.2mm



33b.同(接線断面) bar:0.2mm



33c.同(放射断面) bar:0.2mm



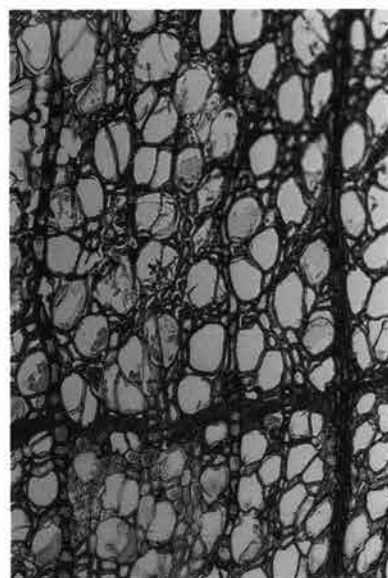
34a.クロモジ属(横断面) 実測3-47 bar:0.2mm



34b.同(接線断面) bar:0.2mm



34c.同(放射断面) bar:0.1mm



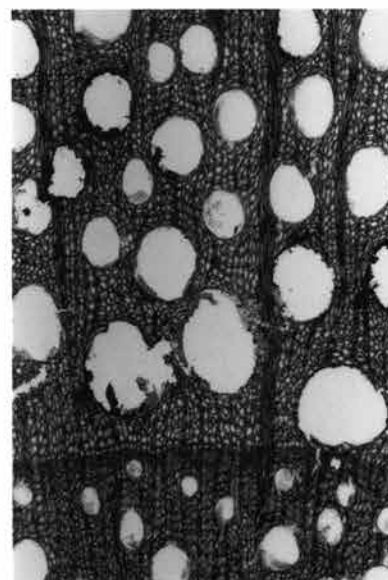
35a.カツラ(横断面) 実測3-13 bar:0.2mm



35b.同(接線断面) bar:0.2mm



35c.同(放射断面) bar:0.1mm



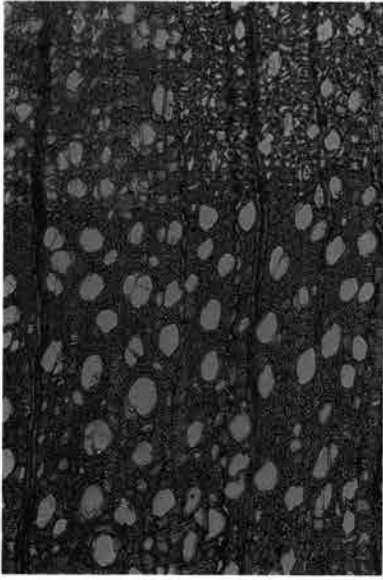
36a.マタタビ属(横断面) 実測3-32 bar:0.5mm



36b.同(接線断面) bar:0.2mm



36c.同(放射断面) bar:0.2mm



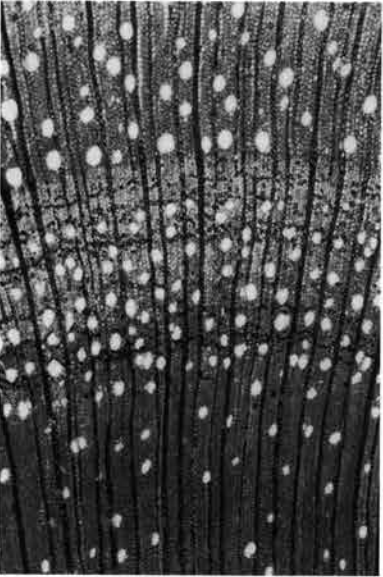
37a.ヤブツバキ(横断面) 実測2-79 bar:0.2mm



37b.同(接線断面) bar:0.2mm



37c.同(放射断面) bar:0.1mm



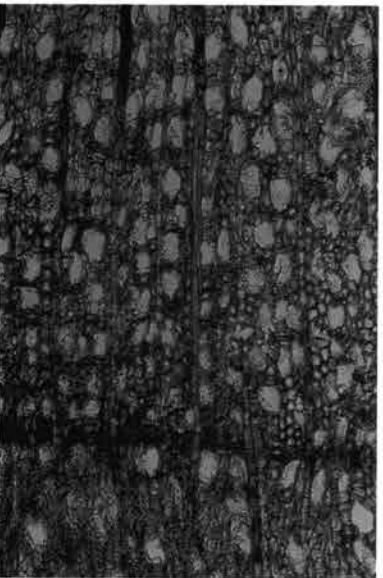
38a.ナツツバキ属(横断面) 実測10-17 bar:0.5mm



38b.同(接線断面) bar:0.2mm



38c.同(放射断面) bar:0.2mm



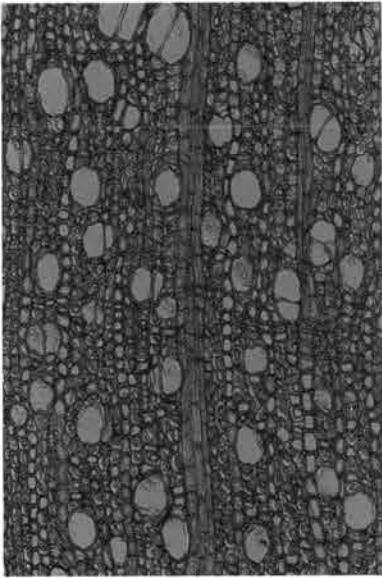
39a.サカキ(横断面) 実測2-96 bar:0.2mm



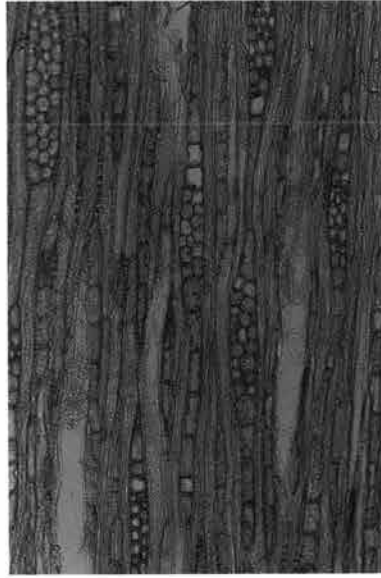
39b.同(接線断面) bar:0.2mm



39c.同(放射断面) bar:0.1mm



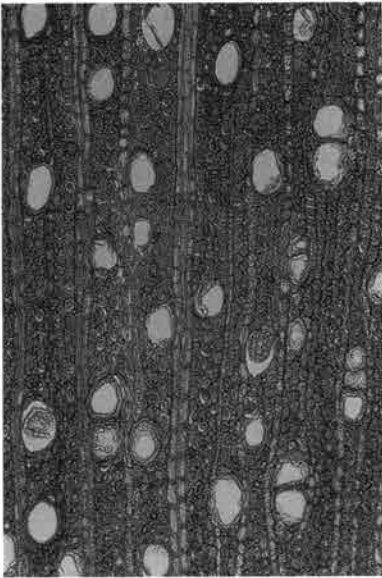
40a.ヒサカキ(横断面) 実測6-15 bar:0.2mm



40b.同(接線断面) bar:0.2mm



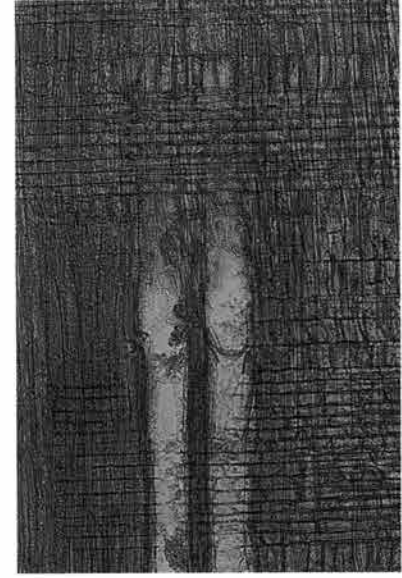
40c.同(放射断面) bar:0.2mm



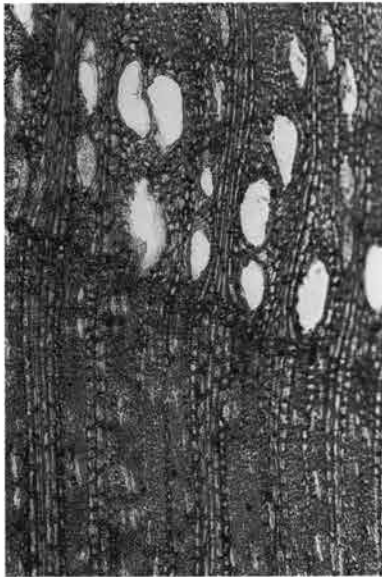
41a.ウツギ属(横断面) 実測2-98 bar:0.2mm



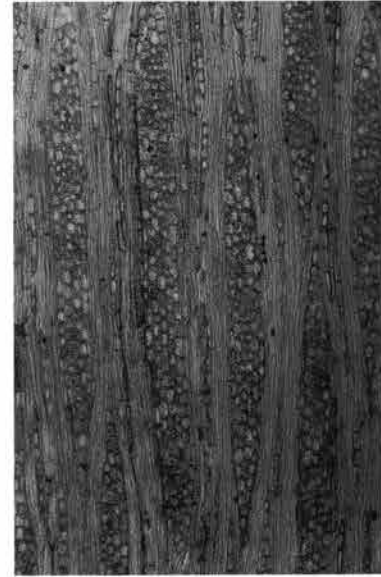
41b.同(接線断面) bar:0.2mm



41c.同(放射断面) bar:0.2mm



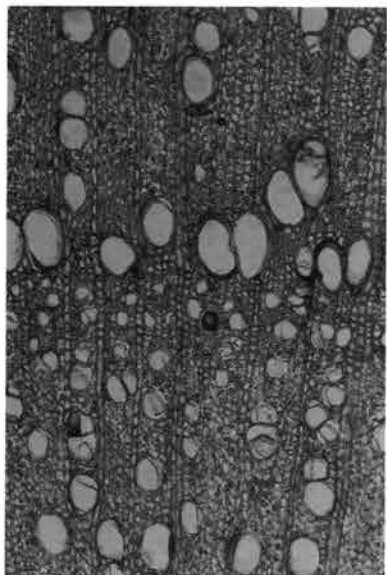
42a.モモ(横断面) 実測4-30 bar:0.2mm



42b.同(接線断面) bar:0.2mm



42c.同(放射断面) bar:0.2mm



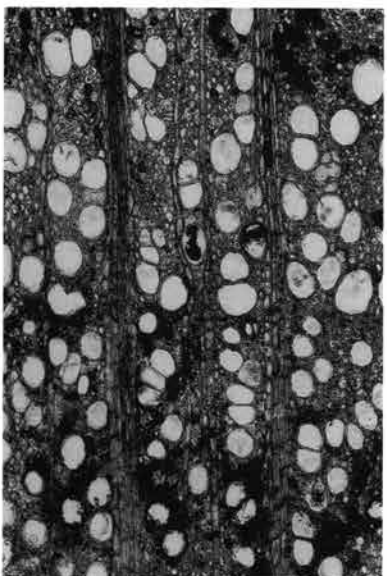
43a.ヤマザクラ(横断面) 実測7-16 bar:0.2mm



43b.同(接線断面) bar:0.2mm



43c.同(放射断面) bar:0.2mm



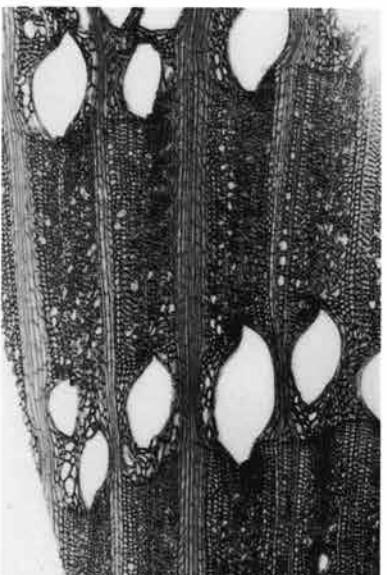
44a.サクラ属(横断面) 実測1-81 bar:0.2mm



44b.同(接線断面) bar:0.2mm



44c.同(放射断面) bar:0.1mm



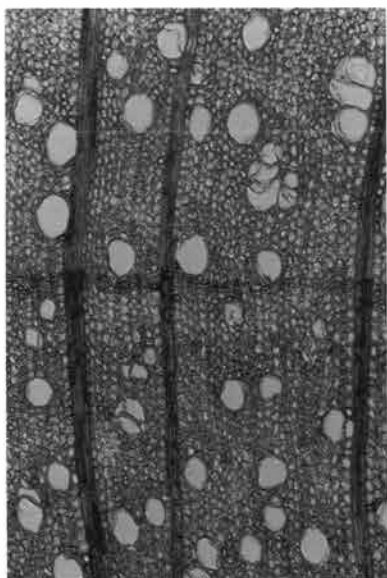
45a.バラ属(横断面)実測10-25 bar:0.5mm



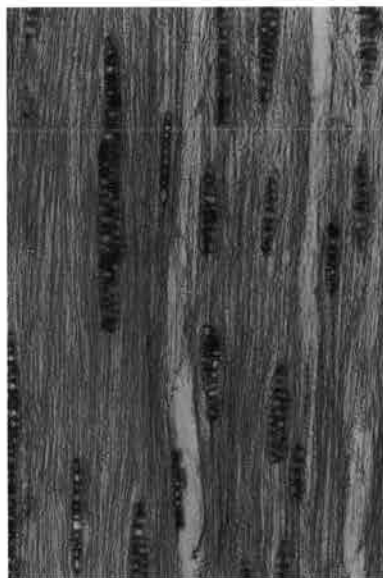
45b.同(接線断面) bar:0.2mm



45c.同(放射断面) bar:0.2mm



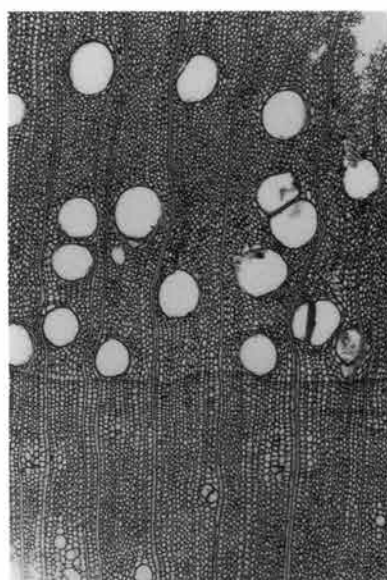
46a. ナナカマダ属(横断面) 実測11-76 bar:0.2mm



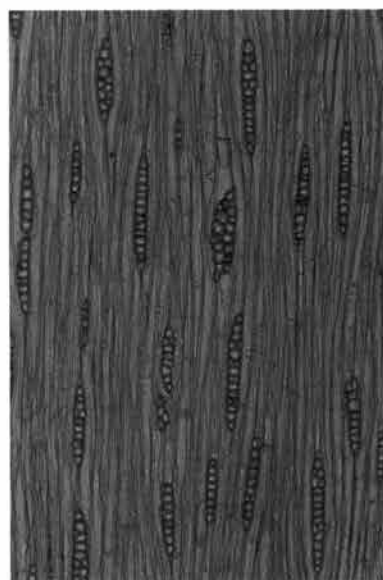
46b. 同(接線断面) bar:0.2mm



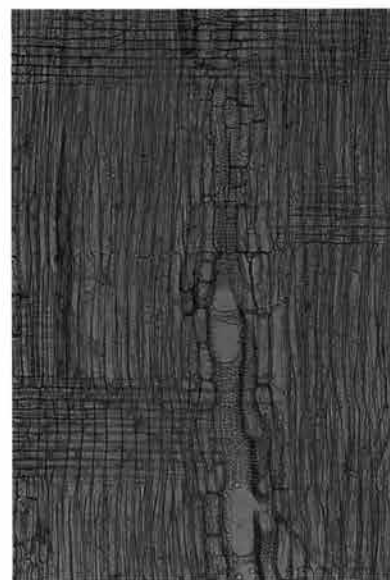
46c. 同(放射断面) bar:0.1mm



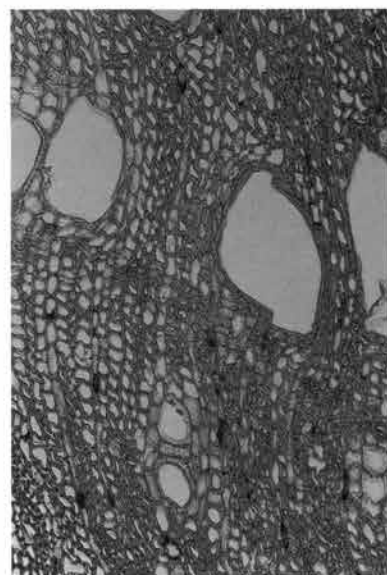
47a. ネムノキ(横断面) 参考5-100 bar:0.5mm



47b. 同(接線断面) bar:0.2mm



47c. 同(放射断面) bar:0.2mm



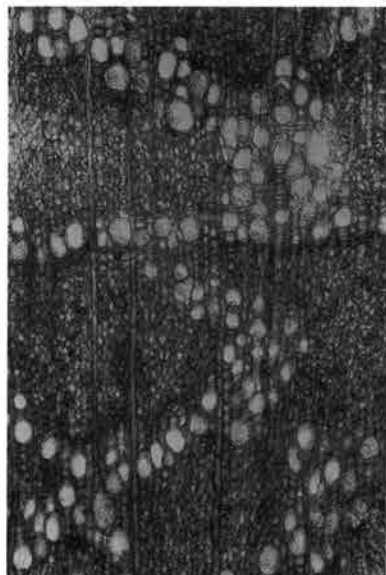
48a. アカメガシワ(横断面) 実測12-14 bar:0.2mm



48b. 同(接線断面) bar:0.2mm



48c. 同(放射断面) bar:0.2mm



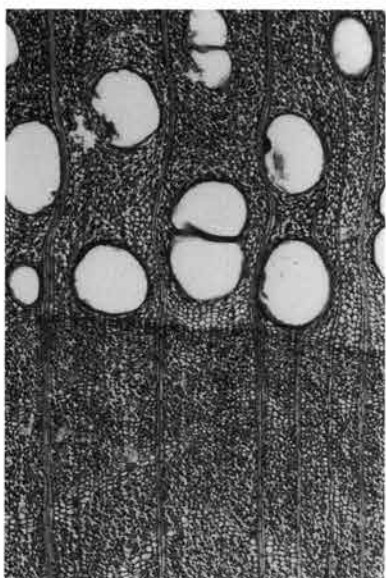
49a.コクスギ(横断面) 実測5-26 bar:0.2mm



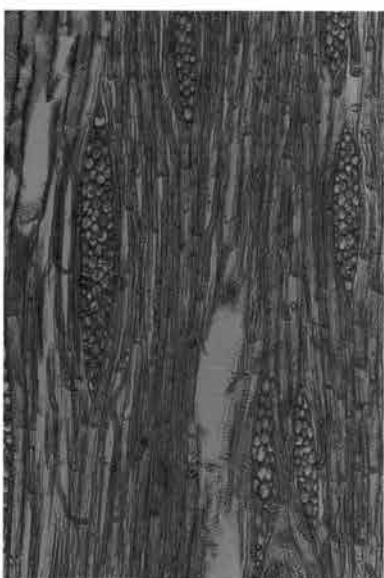
49b.同(接線断面) bar:0.2mm



49c.同(放射断面) bar:0.2mm



50a.キハダ(横断面) 実測11-5 bar:0.5mm



50b.同(接線断面) bar:0.2mm



50c.同(放射断面) bar:0.1mm



51a.ニガキ(横断面) 参考6-15 bar:0.2mm



51b.同(接線断面) bar:0.2mm



51c.同(放射断面) bar:0.1mm



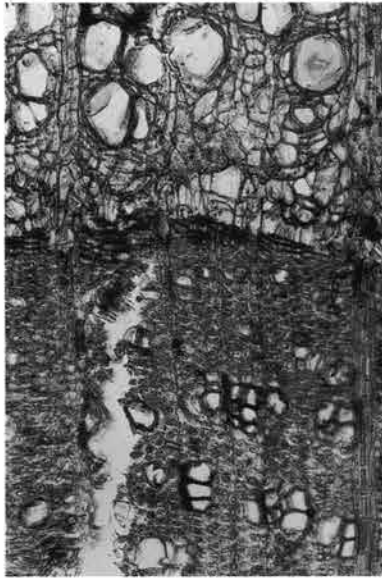
52a. ヤマウルシ(横断面) 参考5-86 bar:0.2mm



52b. 同(接線断面) bar:0.2mm



52c. 同(放射断面) bar:0.2mm



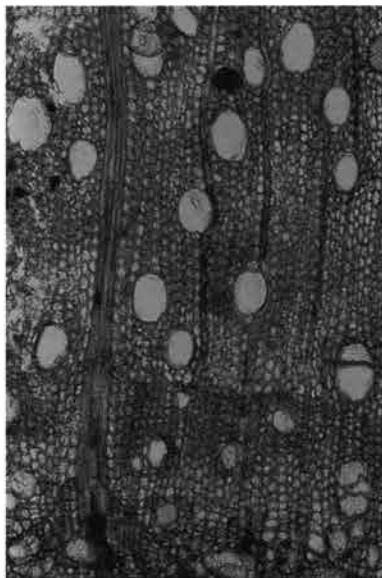
53a. ヌルダ(横断面) 参考5-57 bar:0.2mm



53b. 同(接線断面) bar:0.2mm



53c. 同(放射断面) bar:0.2mm



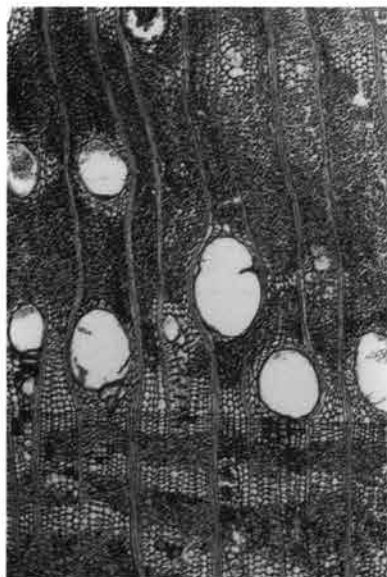
54a. カエデ属(横断面) 実測3-21 bar:0.2mm



54b. 同(接線断面) bar:0.2mm



54c. 同(放射断面) bar:0.2mm



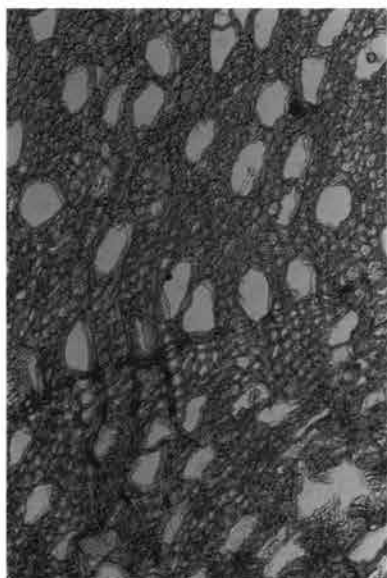
55a.ムクロジ(横断面)実測5-53 bar:0.5mm



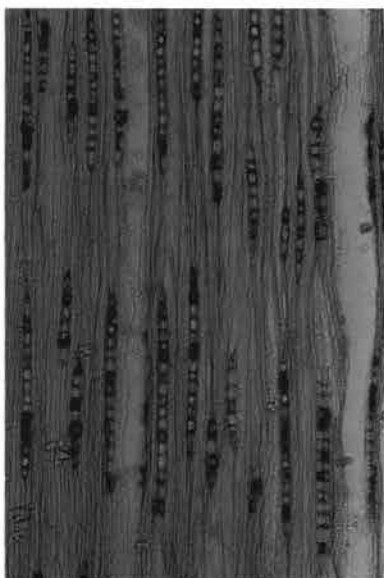
55b.同(接線断面) bar:0.2mm



55c.同(放射断面) bar:0.5mm



56a.トチノキ(横断面)実測3-30 bar:0.2mm



56b.同(接線断面) bar:0.2mm



56c.同(放射断面) bar:0.2mm



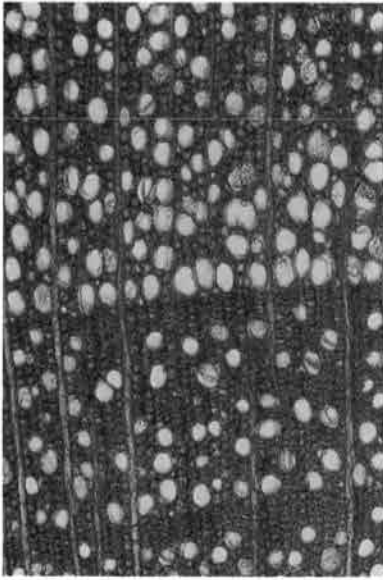
57a.アワブキ(横断面) 実測2-44 bar:0.5mm



57b.同(接線断面) bar:0.5mm



57c.同(放射断面) bar:0.1mm



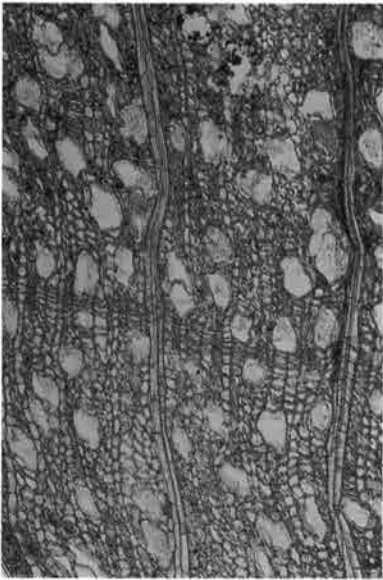
58a.ニシギギ属(横断面) 実測10-15 bar:0.2mm



58b.同(接線断面) bar:0.2mm



58c.同(放射断面) bar:0.1mm



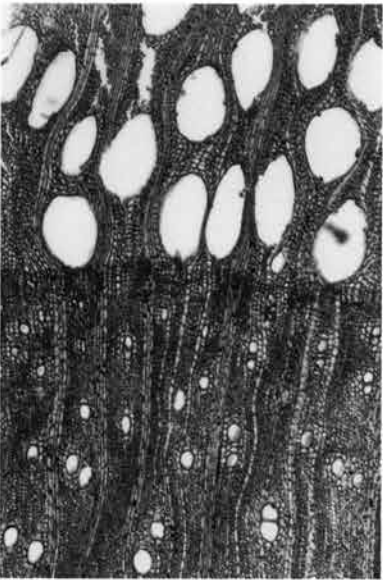
59a.ミツバウツギ(横断面) 実測8-3 bar:0.2mm



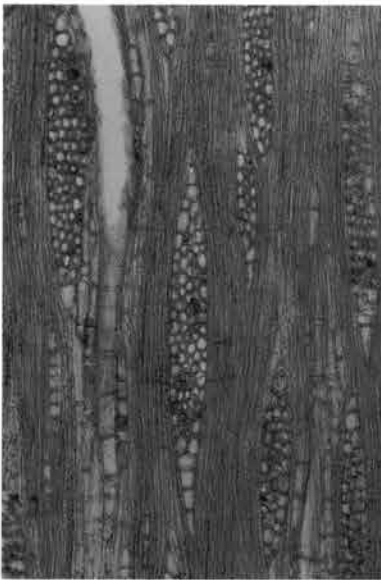
59b.同(接線断面) bar:0.2mm



59c.同(放射断面) bar:0.1mm



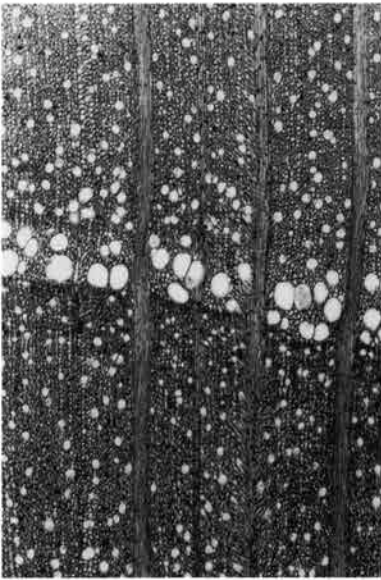
60a.ケンボナシ属(横断面) 参考6-100 bar:0.5mm



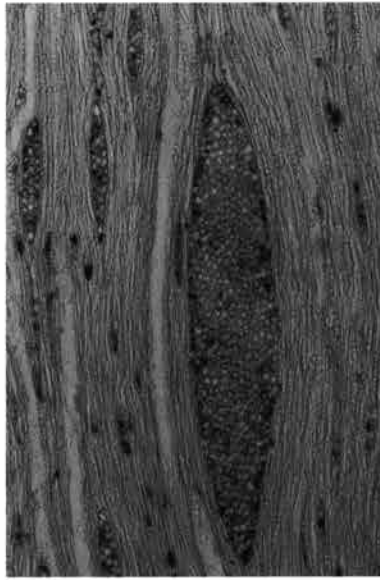
60b.同(接線断面) bar:0.2mm



60c.同(放射断面) bar:0.2mm



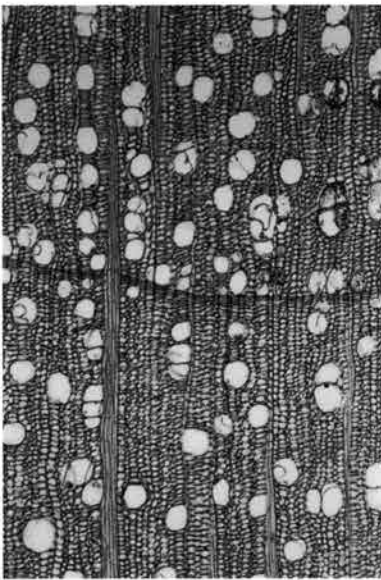
61a.グミ属(横断面) 実測6-64 bar:0.5mm



61b.同(接線断面) bar:0.2mm



61c.同(放射断面) bar:0.2mm



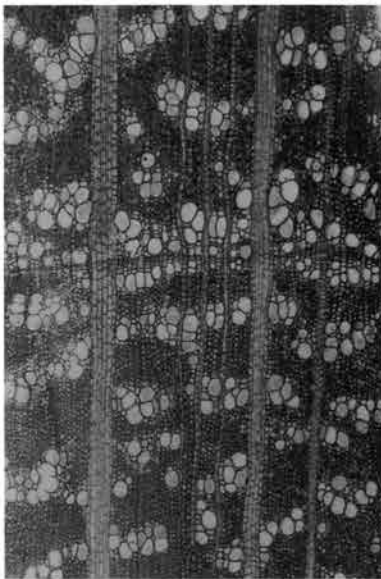
62a.ミズキ属(横断面)実測9-12 bar:0.5mm



62b.同(接線断面) bar:0.2mm



62c.同(放射断面) bar:0.2mm



63a.ウコギ属(横断面) 実測8-78 bar:0.5mm



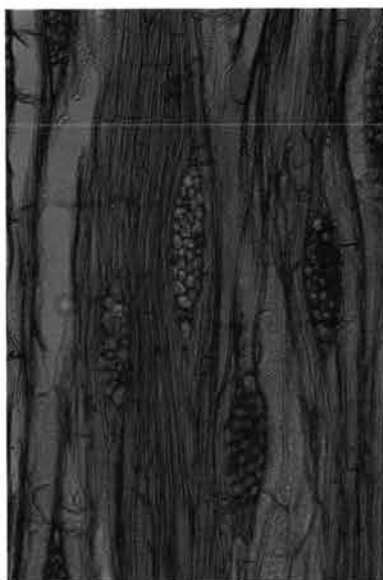
63b.同(接線断面) bar:0.5mm



63c.同(放射断面) bar:0.2mm



64a.ハリキリ(横断面) 実測2-60 bar:0.2mm



64b.同(接線断面) bar:0.2mm



64c.同(放射断面) bar:0.2mm



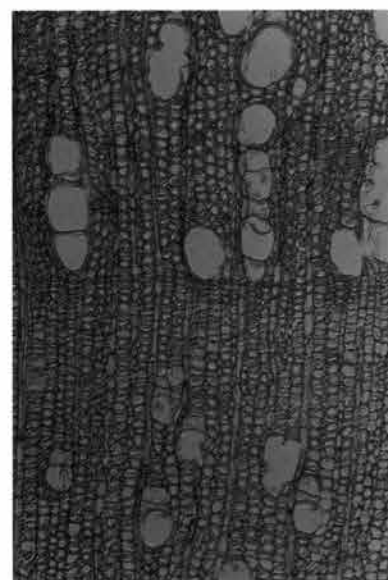
65a.カキノキ属(横断面) 参考3-52 bar:0.2mm



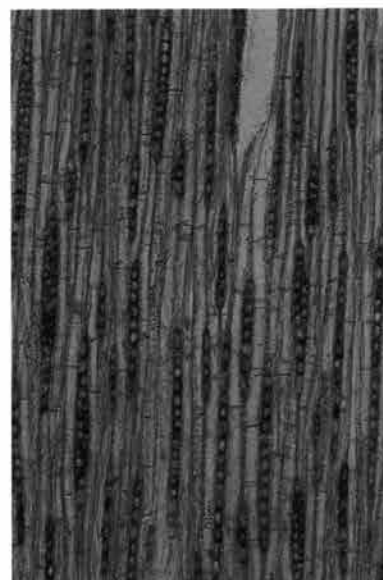
65b.同(接線断面) bar:0.2mm



65c.同(放射断面) bar:0.2mm



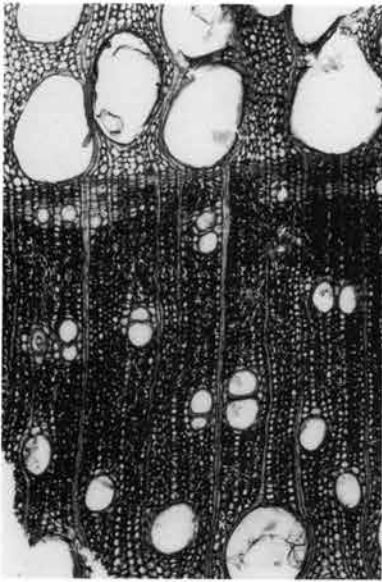
66a.エゴノキ属(横断面) 実測12-1 bar:0.2mm



66b.同(接線断面) bar:0.2mm



66c.同(放射断面) bar:0.1mm



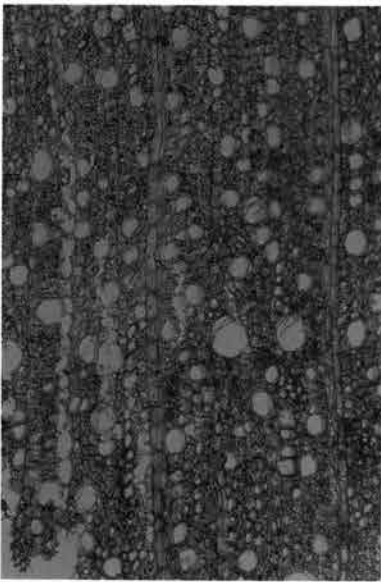
67a.トネリコ属(横断面) 実測3-10 bar:0.5mm



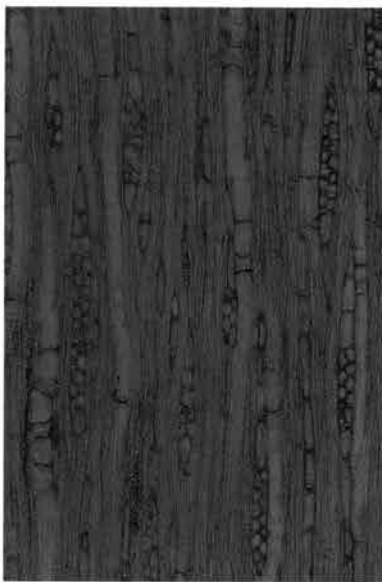
67b.同(接線断面) bar:0.2mm



67c.同(放射断面) bar:0.2mm



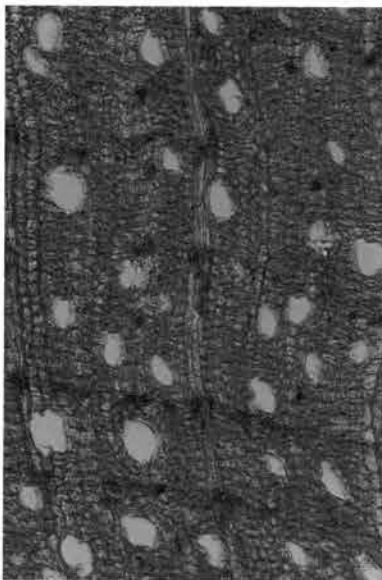
68a.イボタノキ属(横断面) 実測4-69 bar:0.2mm



68b.同(接線断面) bar:0.2mm



68c.同(放射断面) bar:0.2mm



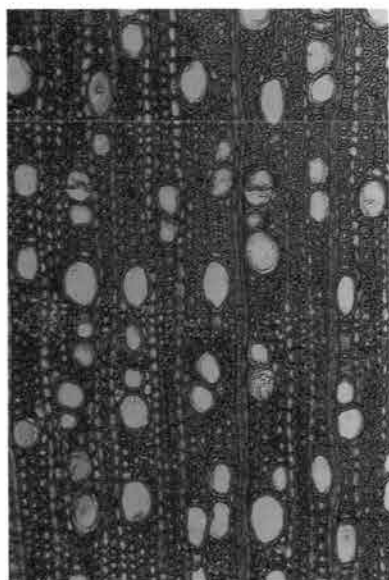
69a.サワフタギ(横断面) 実測10-19 bar:0.2mm



69b.同(接線断面) bar:0.2mm



69c.同(放射断面) bar:0.1mm



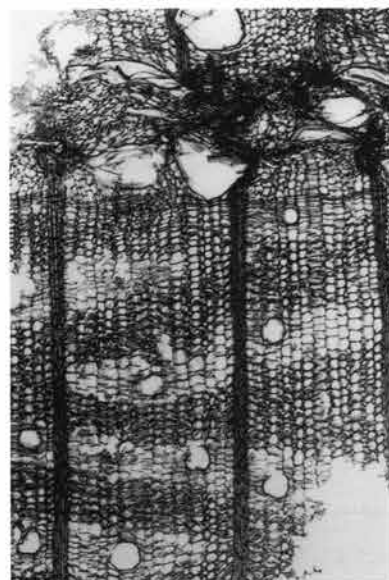
70a.ムラサキシキブ属(横断面) 実測5-21 bar:0.2mm



70b.同(接線断面) bar:0.2mm



70c.同(放射断面) bar:0.2mm



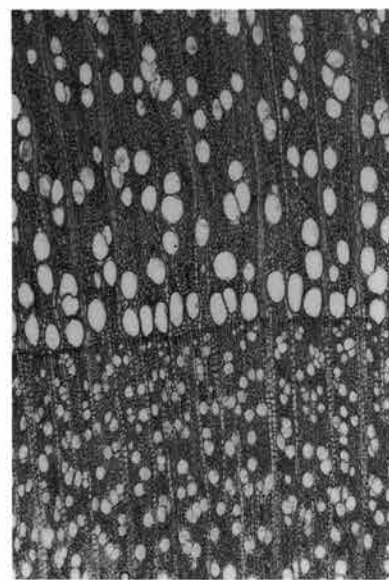
71a.キリ(横断面) 実測10-66 bar:0.5mm



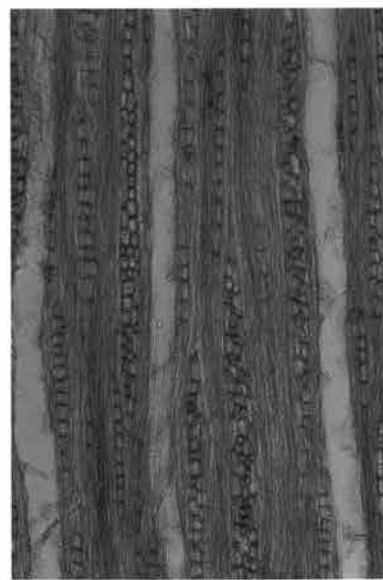
71b.同(接線断面) bar:0.2mm



71c.同(放射断面) bar:0.2mm



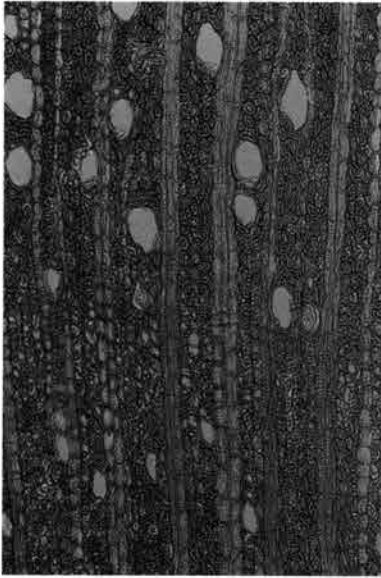
72a.ニワトコ(横断面) 参考5-68 bar:0.5mm



72b.同(接線断面) bar:0.2mm



72c.同(放射断面) bar:0.2mm



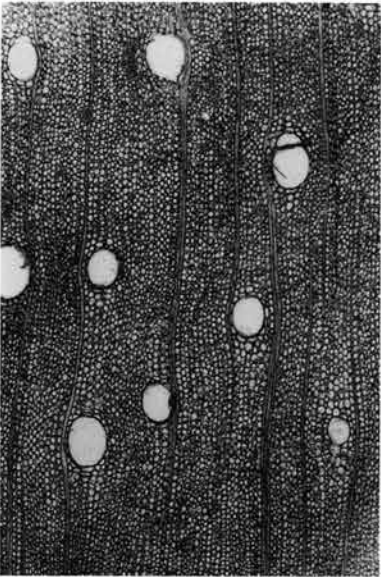
73a.ガマズミ属(横断面) 実測4-32 bar:0.2mm



73b.同(接線断面) bar:0.2mm



73c.同(放射断面) bar:0.2mm



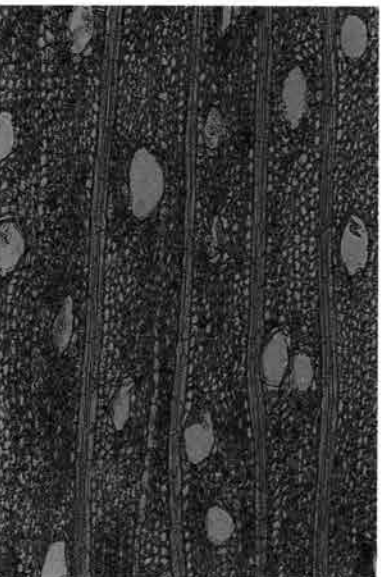
74a.散孔材A(横断面) 実測5-6 bar:0.5mm



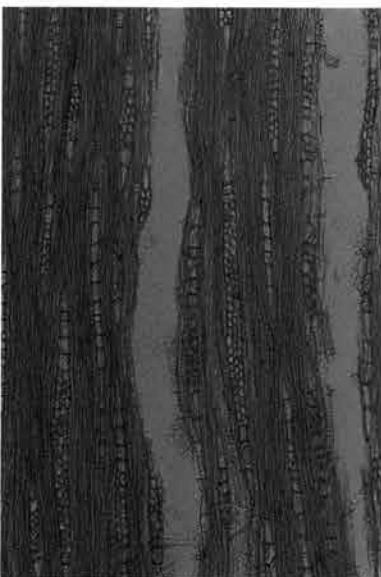
74b.同(接線断面) bar:0.2mm



74c.同(放射断面) bar:0.2mm



75a.散孔材B(横断面) 参考1-32 bar:0.2mm



75b.同(接線断面) bar:0.2mm



75c.同(放射断面) bar:0.2mm



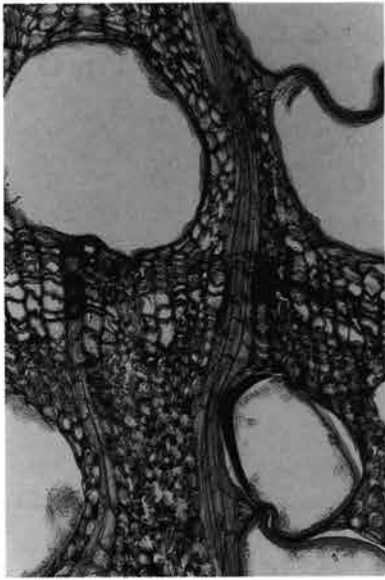
76a. 草本類(横断面) 参考2-9 bar:0.5mm



76b. 同(接線断面) bar:0.2mm



76c. 同(放射断面) bar:0.2mm



77a. フジ(横断面) 参考4-87 bar:0.2mm



77b. 同(接線断面) bar:0.2mm



77c. 同(放射断面) bar:0.2mm

写 真 图 版

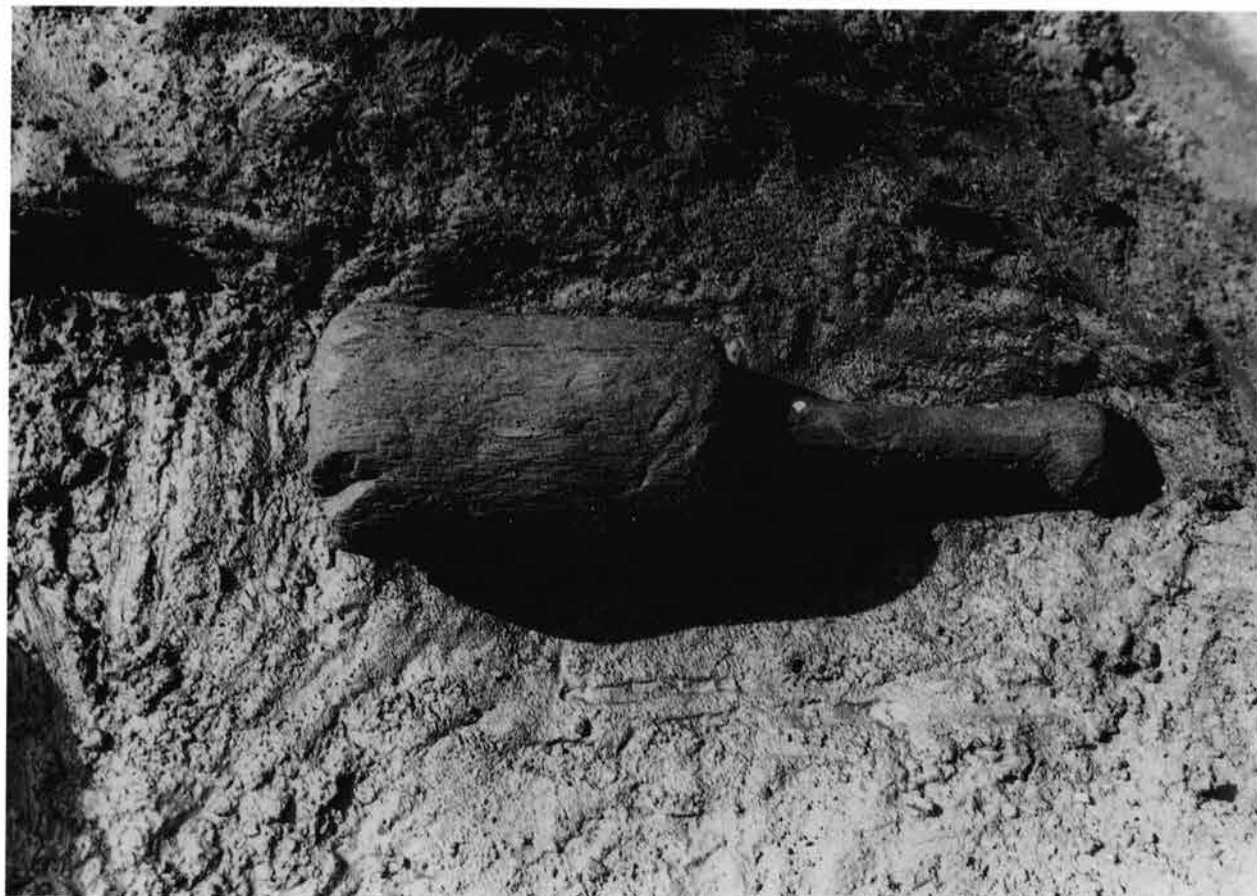


Ⅱ区1面全景



Ⅱ区1面2号溝木器出土状態近接(図版No.9)

写真図版 2



Ⅲ区 4 面本器出土状態近接 (回版No91)



Ⅲ区 F A 下水田面



Ⅲ区 4 面木器出土状態



Ⅲ区 4 面木器出土状態

写真図版 4



Ⅲ区 4面木器出土状態



同上 近接



Ⅲ区 4面木器出土状態



Ⅲ区 4面木器出土状態

写真図版 6



Ⅲ区 4面木器出土状態



Ⅲ区 4面木器出土状態



Ⅲ区 4面木器出土状態近接 (図版No.51)



Ⅳ区 2面北半部木器出土状態



IV区 2 面北半部木器出土状態



IV区 3 面北半部木器出土状態



V区4面南半部木器出土状態



V区4面南半部木器出土状態

写真図版10



V区4面南半部木器出土状態



V区4面北半部木器出土状態



V区4面木器出土状態



V区4面木器出土状態

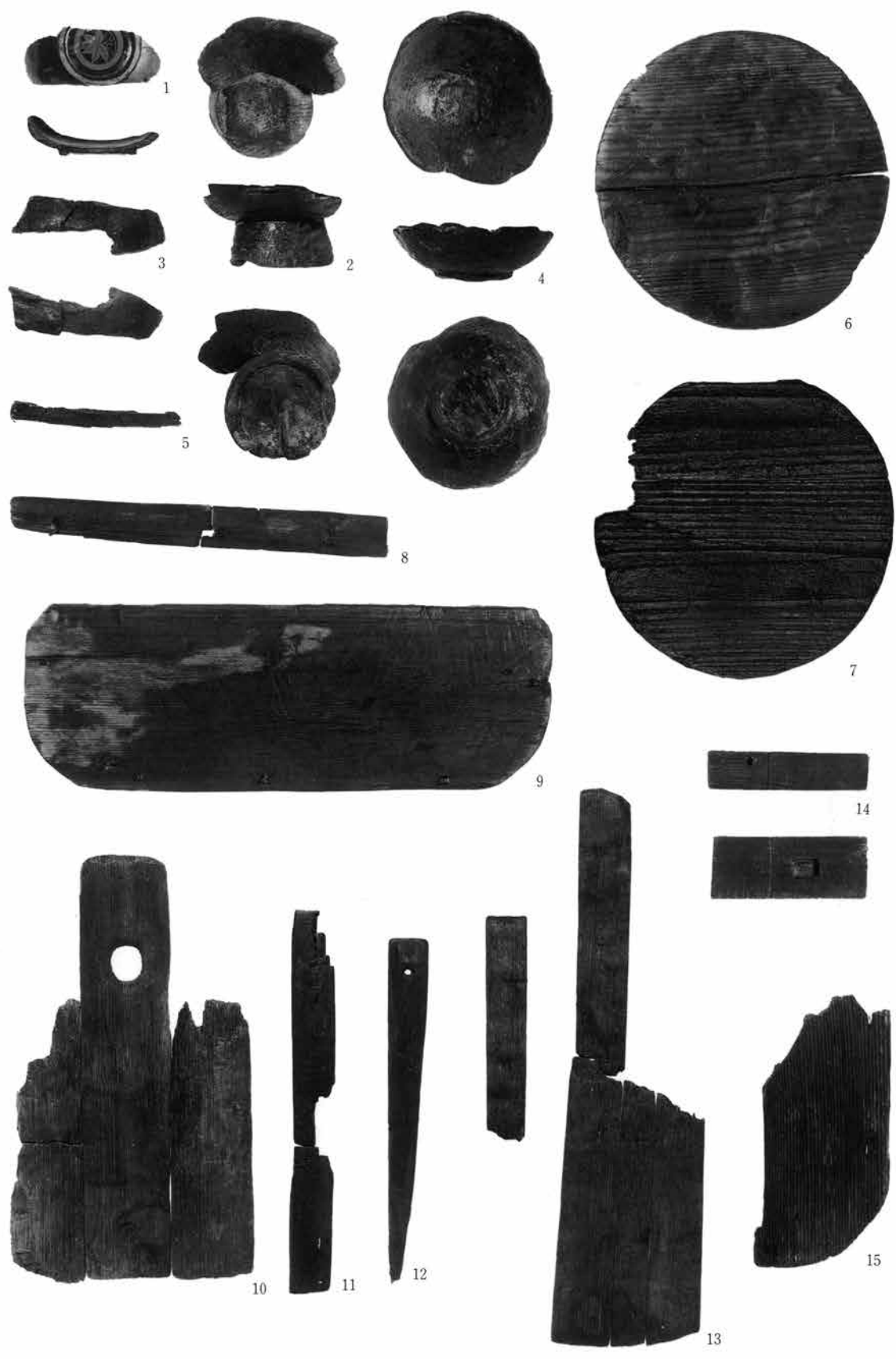
写真図版12



V区4面北半部木器出土状態

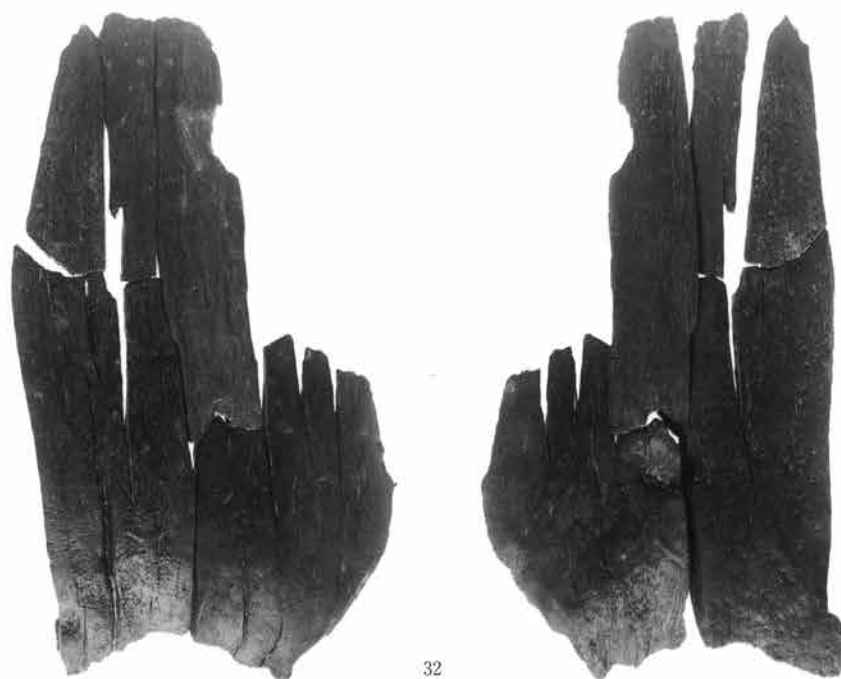


V区4面木器出土状態



写真図版14





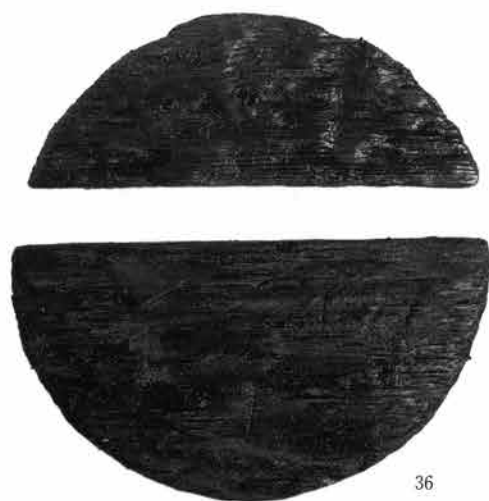
32



34



35



36



33

写真図版16





46



47



48



49







52



54



55



53



57



56



60



59



61



58



62



63

64

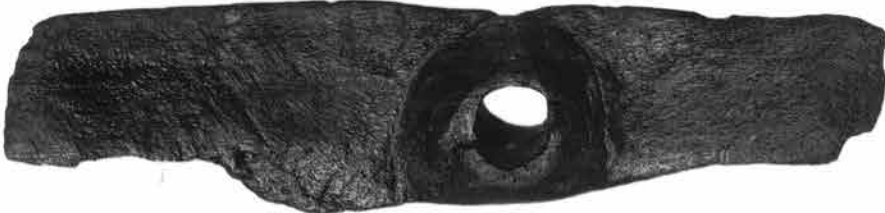
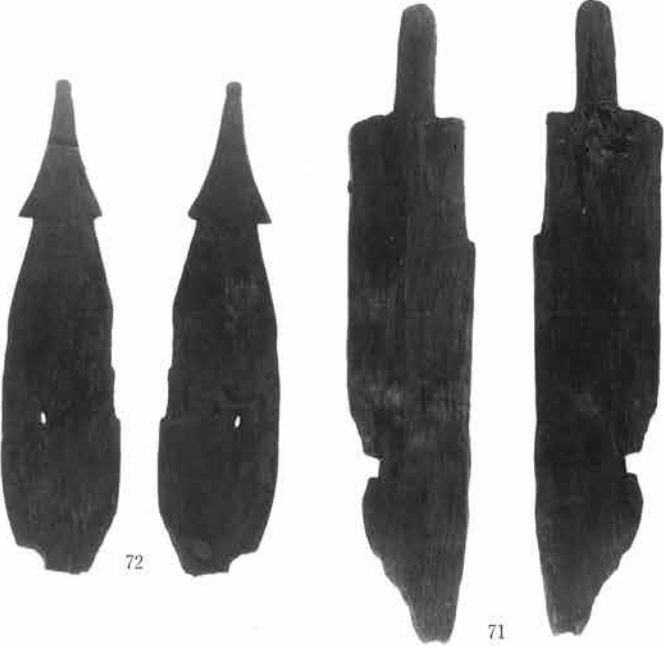


65



68







69



69

75





74

76

77



73



78



79



81



80



82



83



84



85



85



85



86



87



88



90



96



94



93



91



89



92



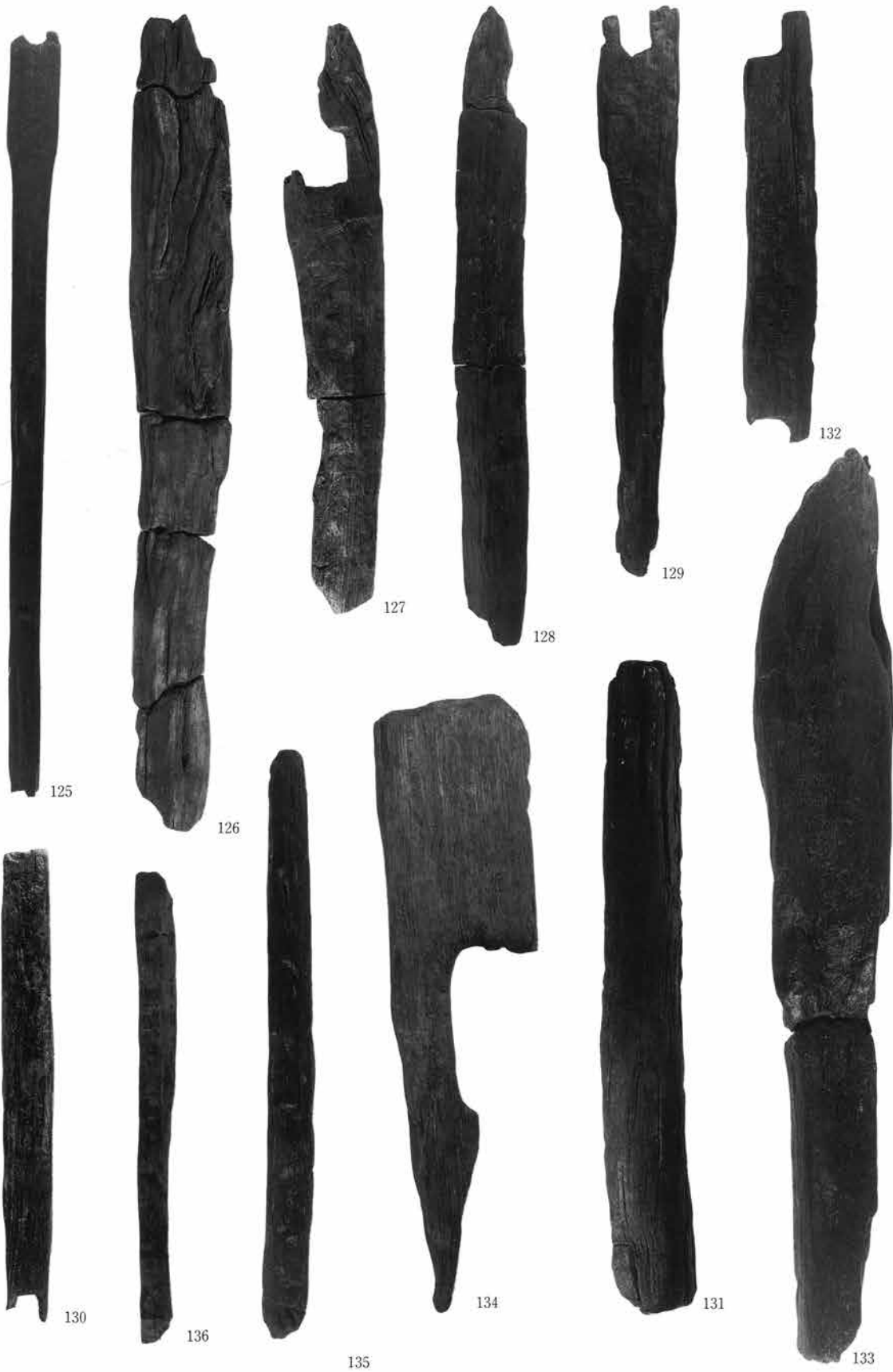
95

写真図版28





写真図版30





写真図版32



163



167



159



160



161



165



162



164



154



158



170



153



168



166



177



174



176



173



171



180



182



169



175



172



178



181

写真図版34



185



194



193



183



189



187



188



190



191



192



195



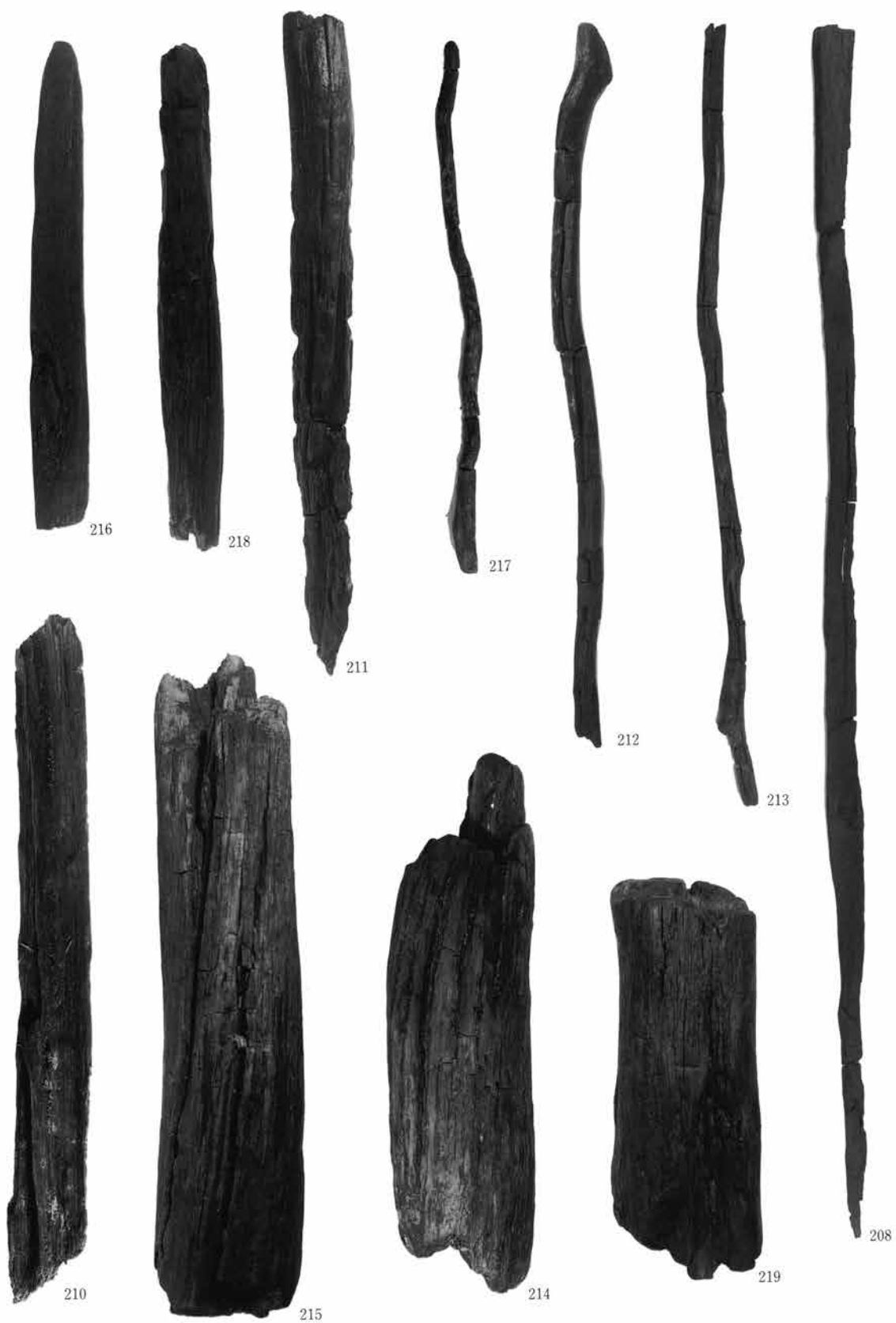
184



186



写真図版36





225



226



227



221



220



224



223



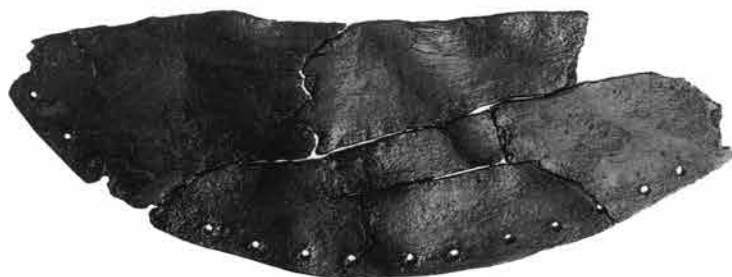
209



222



228







247



245



246



250



252



248



253



251



249

写真图版40



261



257



255



254



256



260



258



263



262



259



写真图版42



284



285



279



280



282



278



283



281



277



276





285



288



294



295



293



292



286



291



289



290



299



296



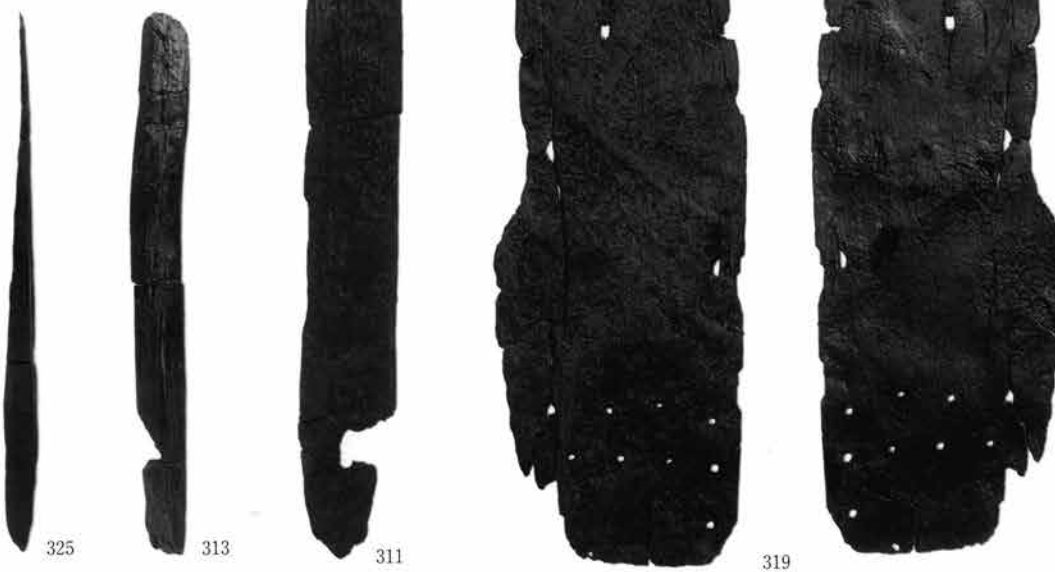
298



297

写真図版44





写真図版46



328



326



327



329



331



330



335



332



339



337



338



340



341



334



336



342



344



333



343

写真図版48



349



356



348



345



346



347



351



350



352



355



358



357



353



354



359



360



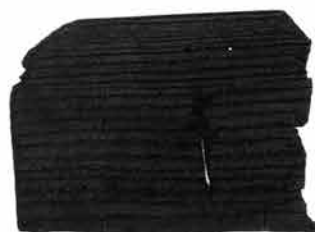
361



362



363



364



367



368



365



366



369



写真図版50





385



383



387



384



386



388



391



390





389



392



393



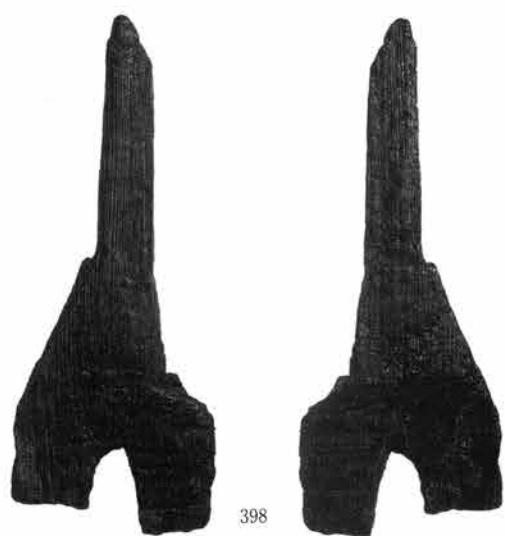
396

394

397



395



398



400



399



404

写真図版54



407



402



403



405



409



401



406



408





411



413



412



415



410





423



422



421





424



425



425



写真図版60





写真图版62





480



479



478



485



483



481



486



482



484



488



489



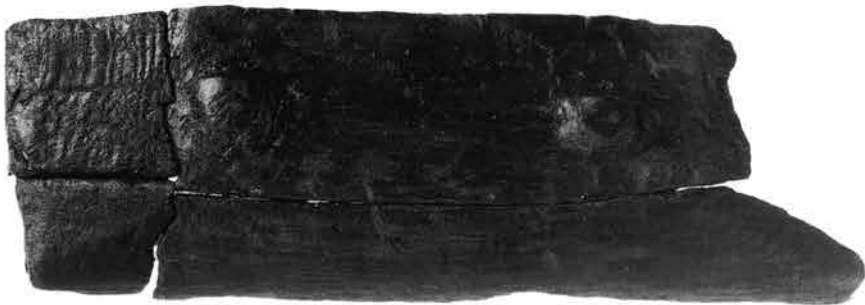
487



492



491



490



496



495



494



493



504



497



498



503



499



500



501



502



505



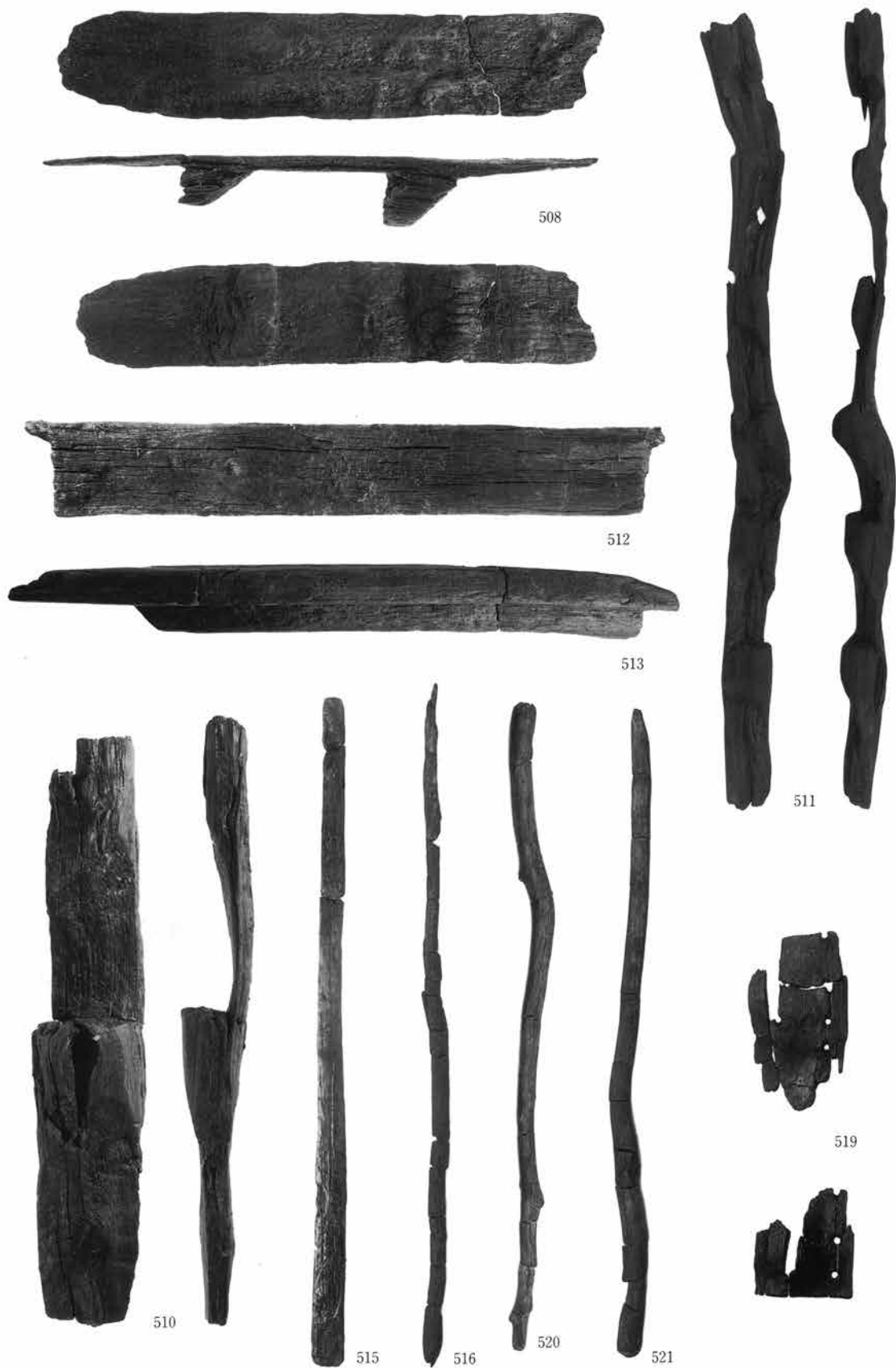
507



506



509



508

512

513

511

510

515

516

520

521

519



514

526

524

527

528

518

517





540



536



539



547



543



545



544

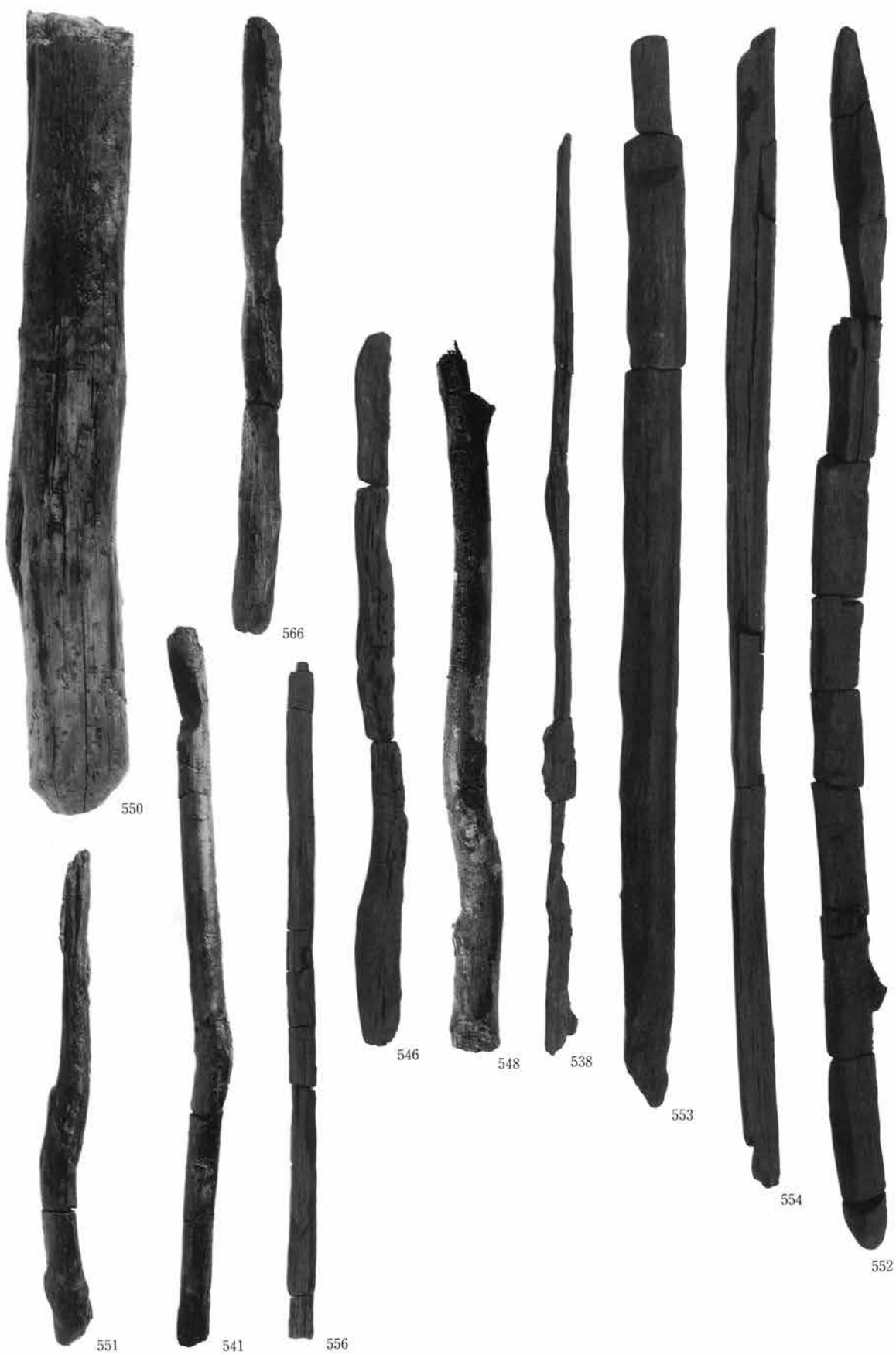


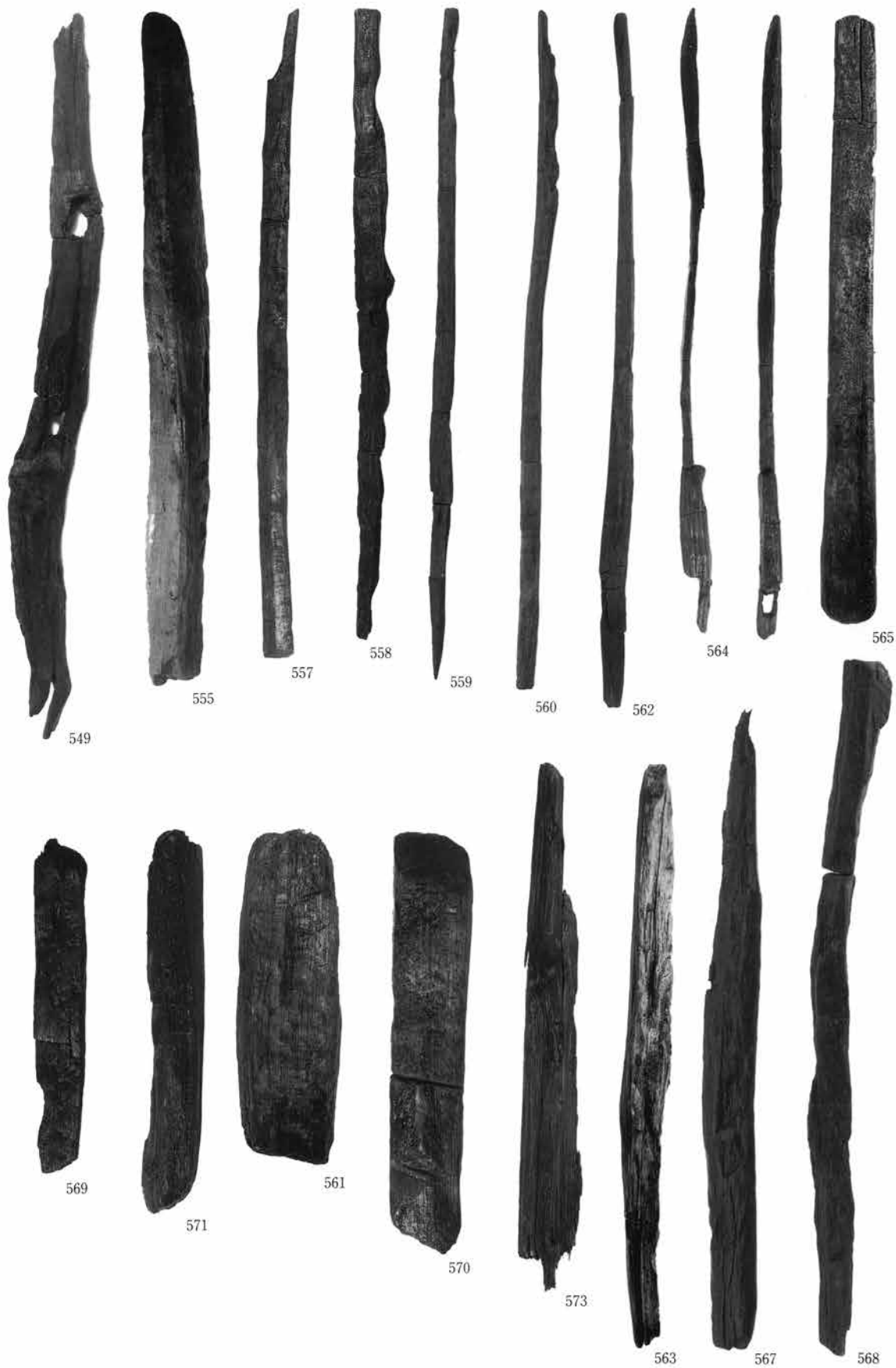
542



537

写真図版70





写真図版72





写真図版74





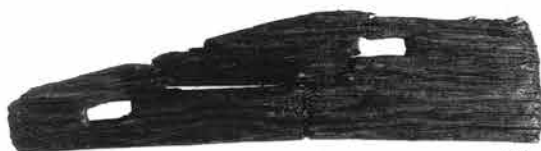
627



623



622



626



617



624



630



635



629



631



632



633



637



638



636



634



628



625

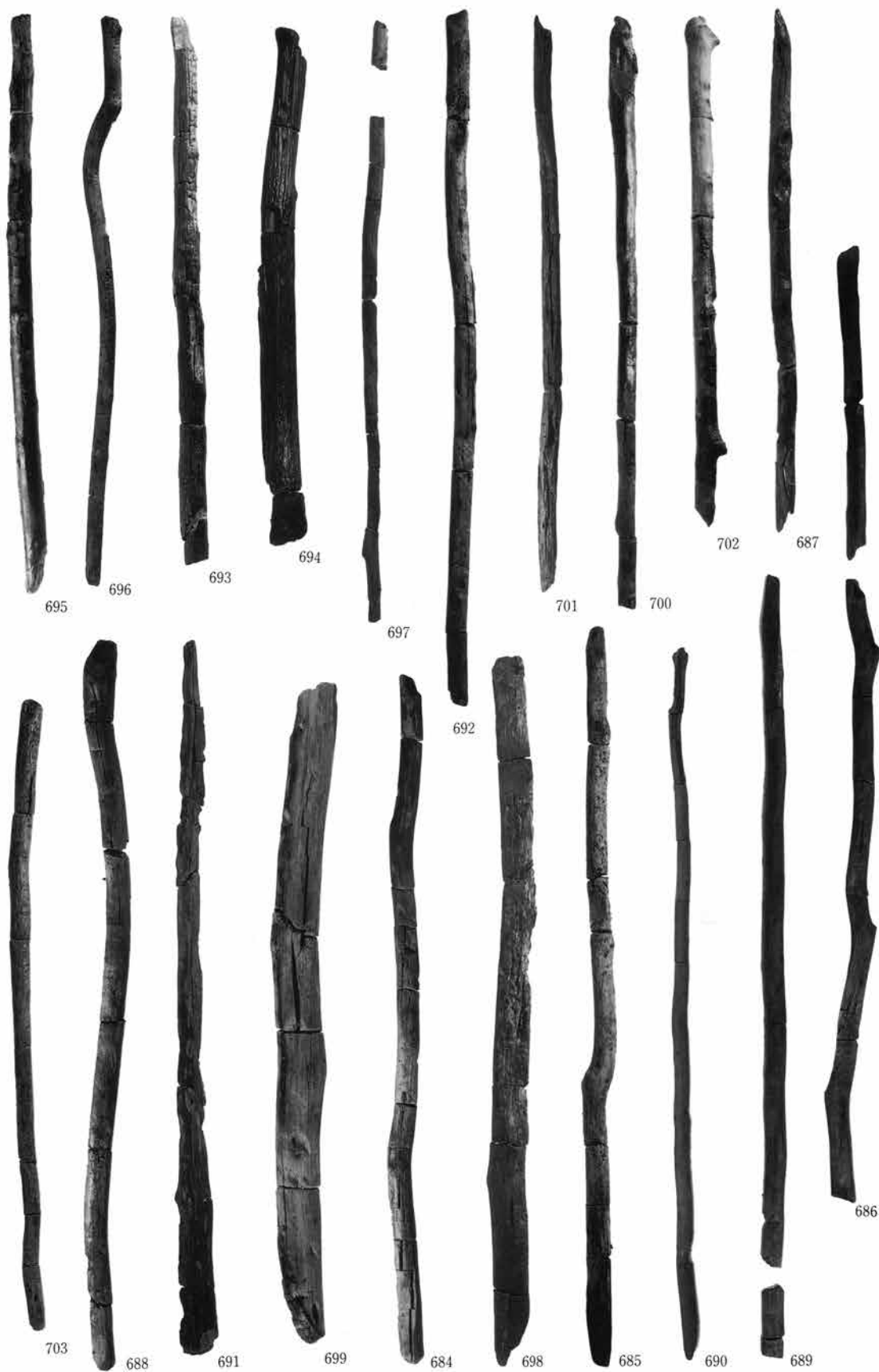
写真図版76



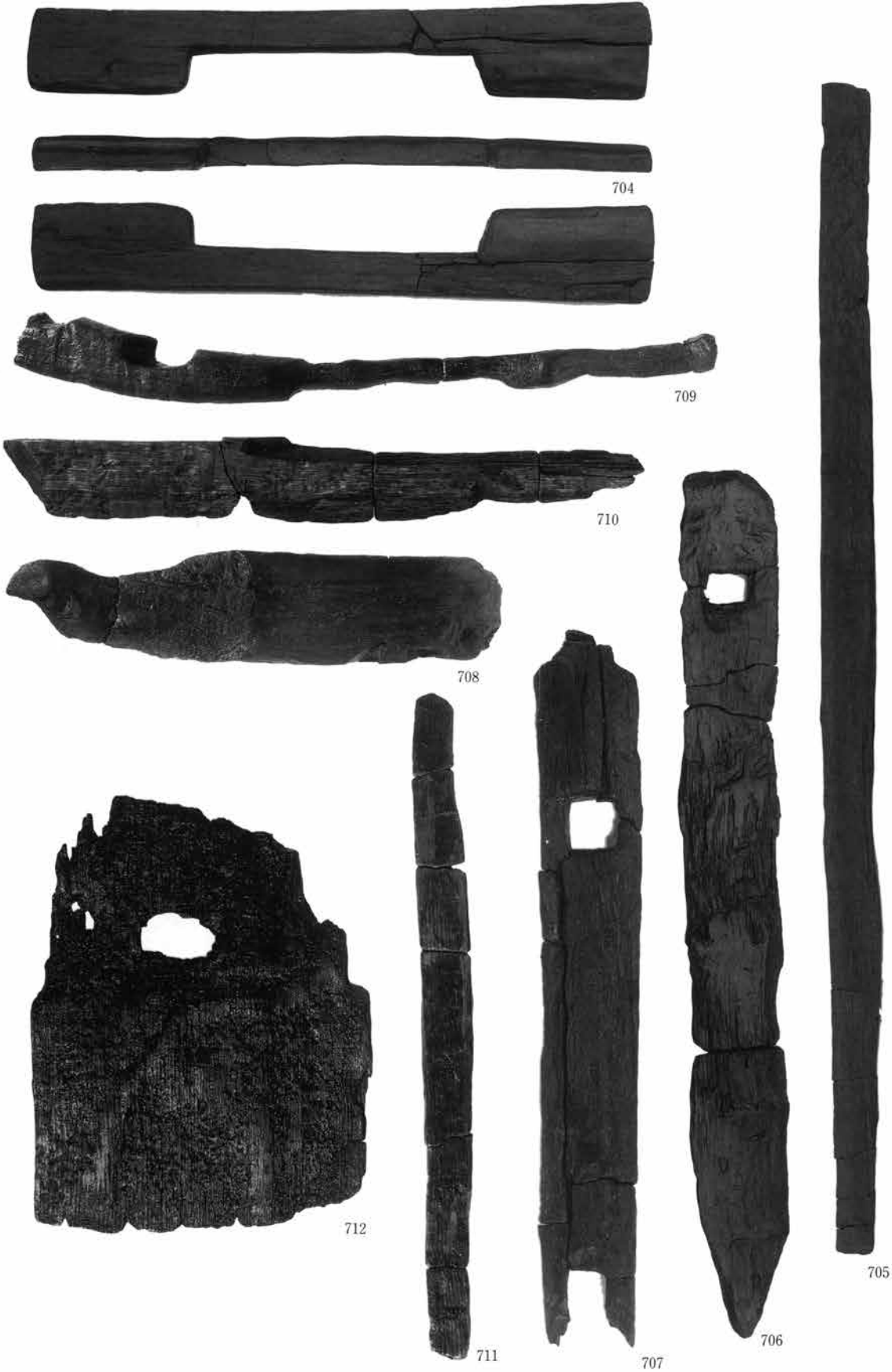


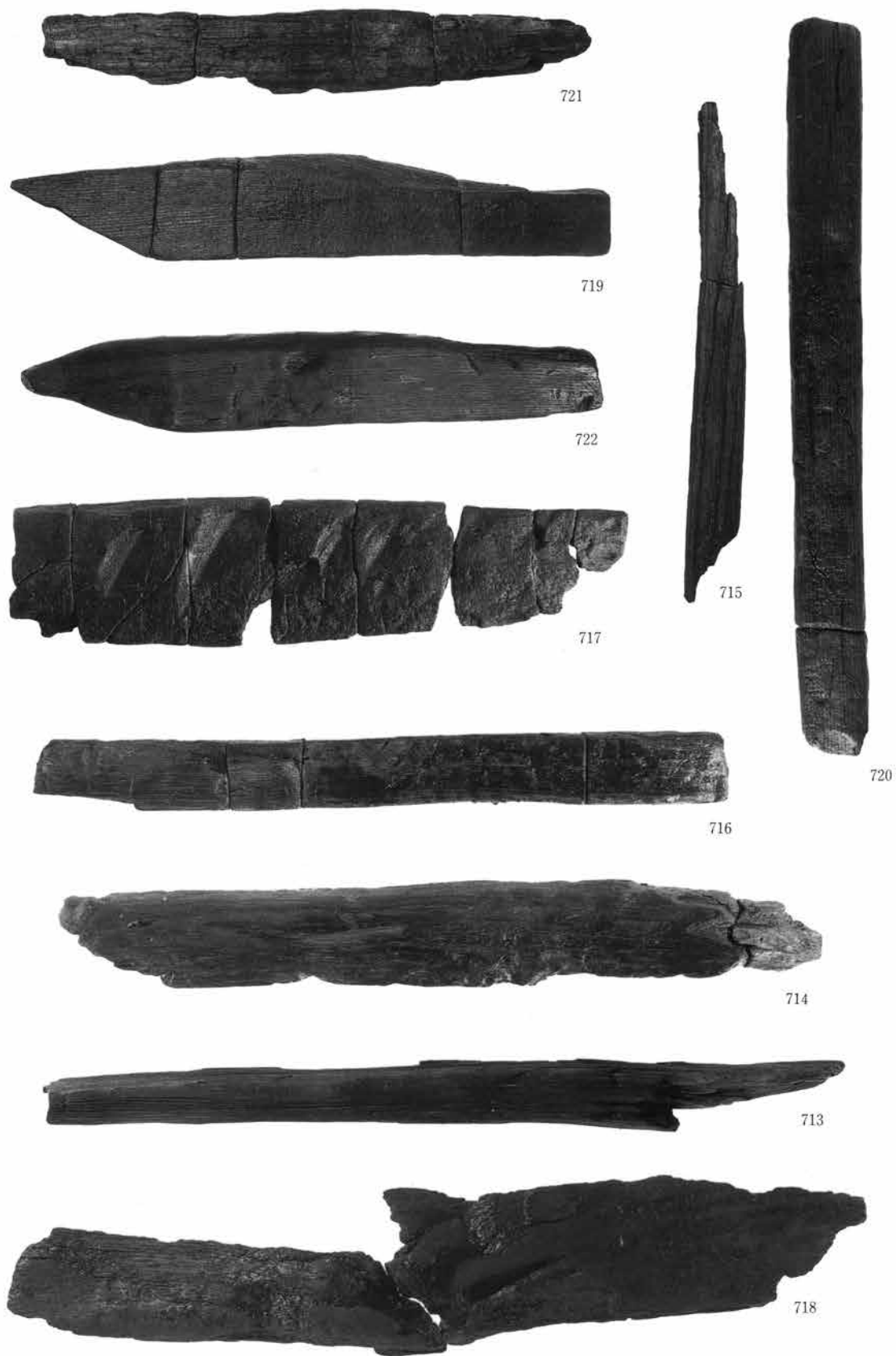
写真図版78

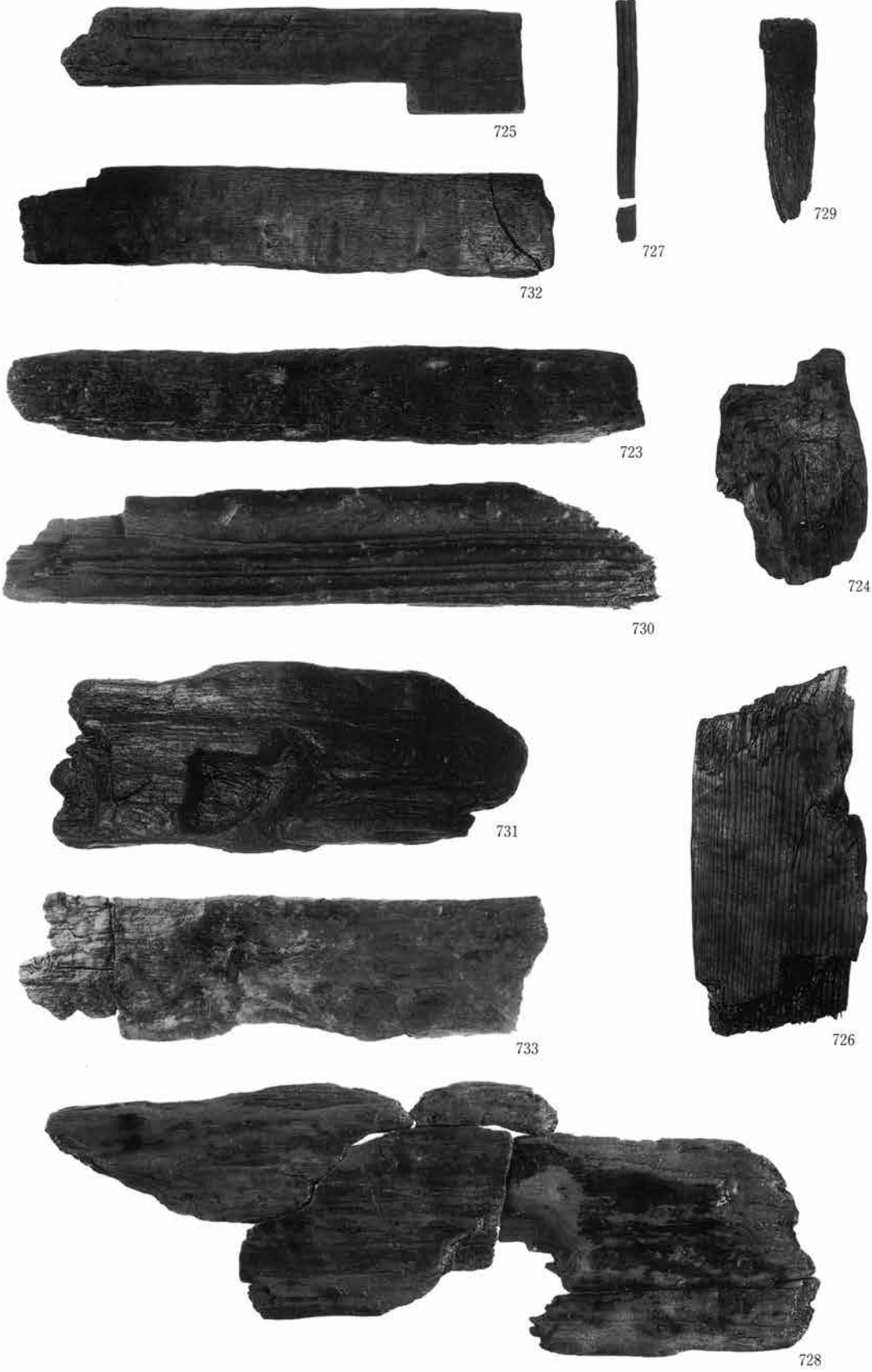




写真図版80









736



741



740



742



743



739



734



744



737



735



738





元総社寺田遺跡II
《木器編》

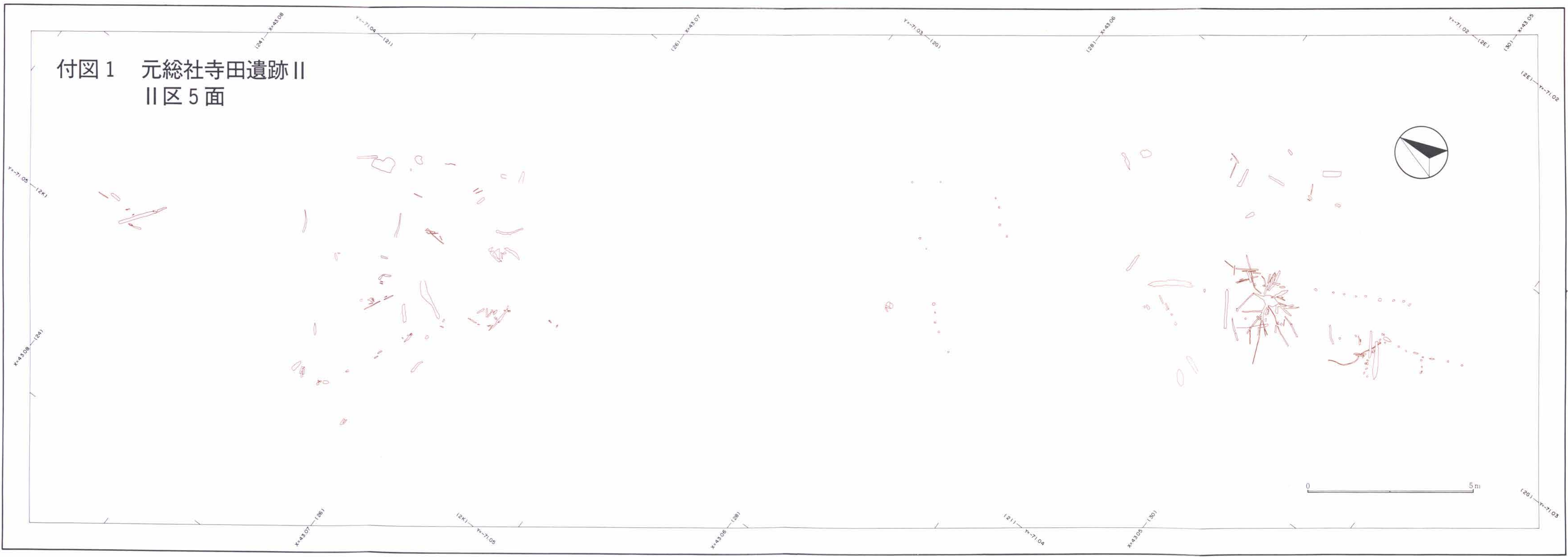
一級河川牛池川河川改修工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書第2集

平成6年3月20日 印刷
平成6年3月25日 発行

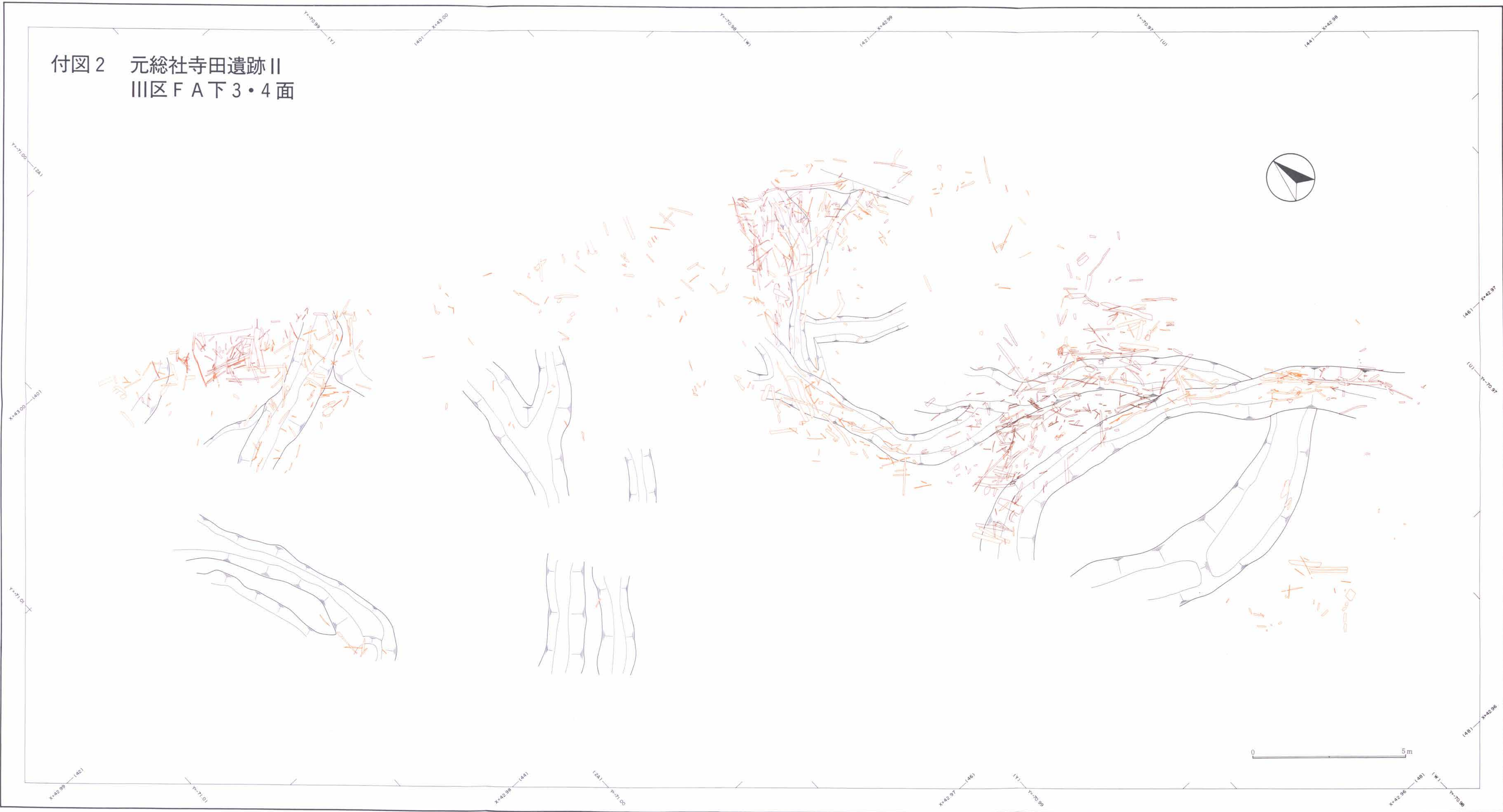
編集・発行／財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
勢多郡北橋村大字下箱田784-2
電話 (0279) 52-2511(代表)

印刷／朝日印刷工業株式会社

付図1 元総社寺田遺跡Ⅱ
Ⅱ区5面



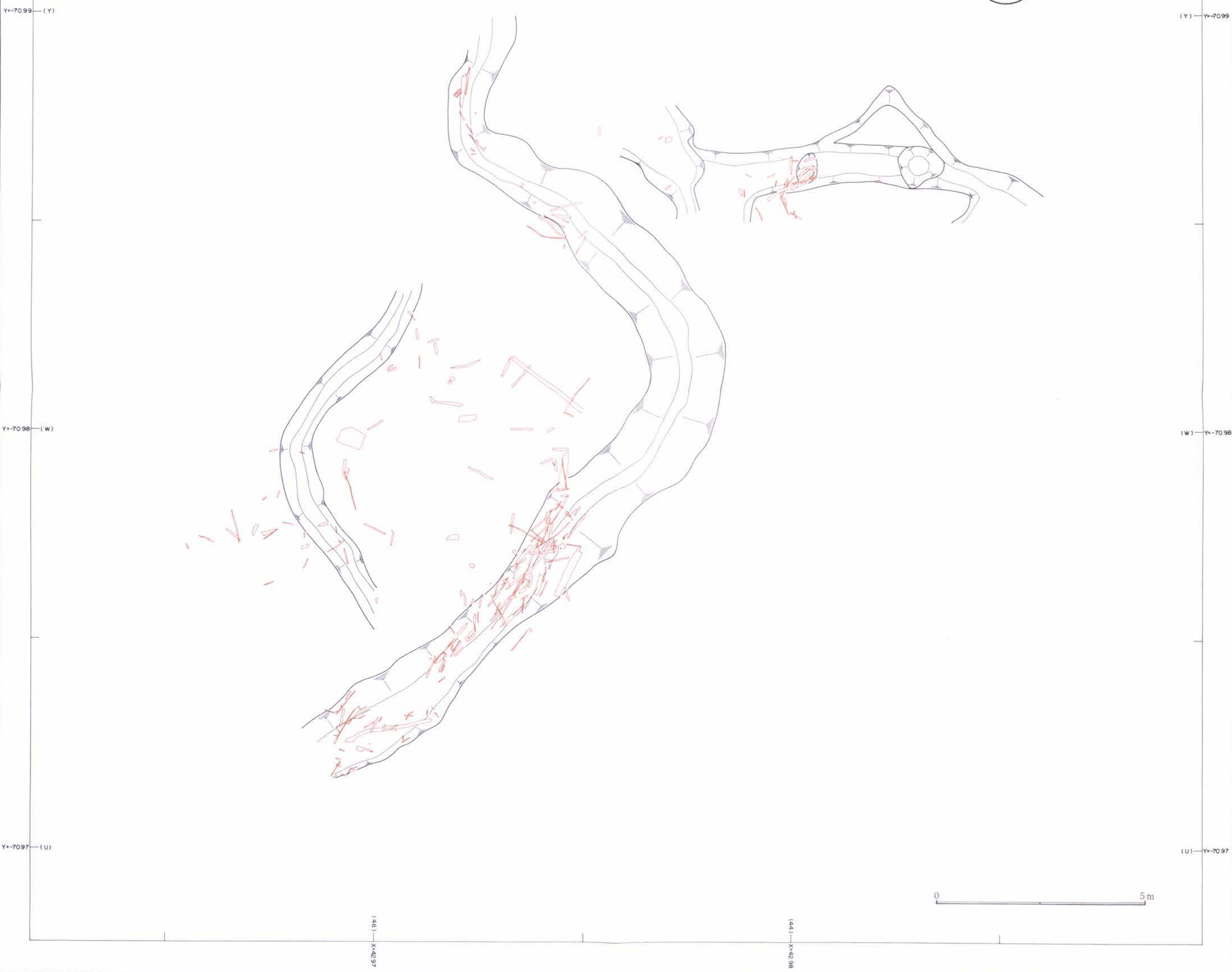
付図2 元総社寺田遺跡Ⅱ
Ⅲ区FA下3・4面



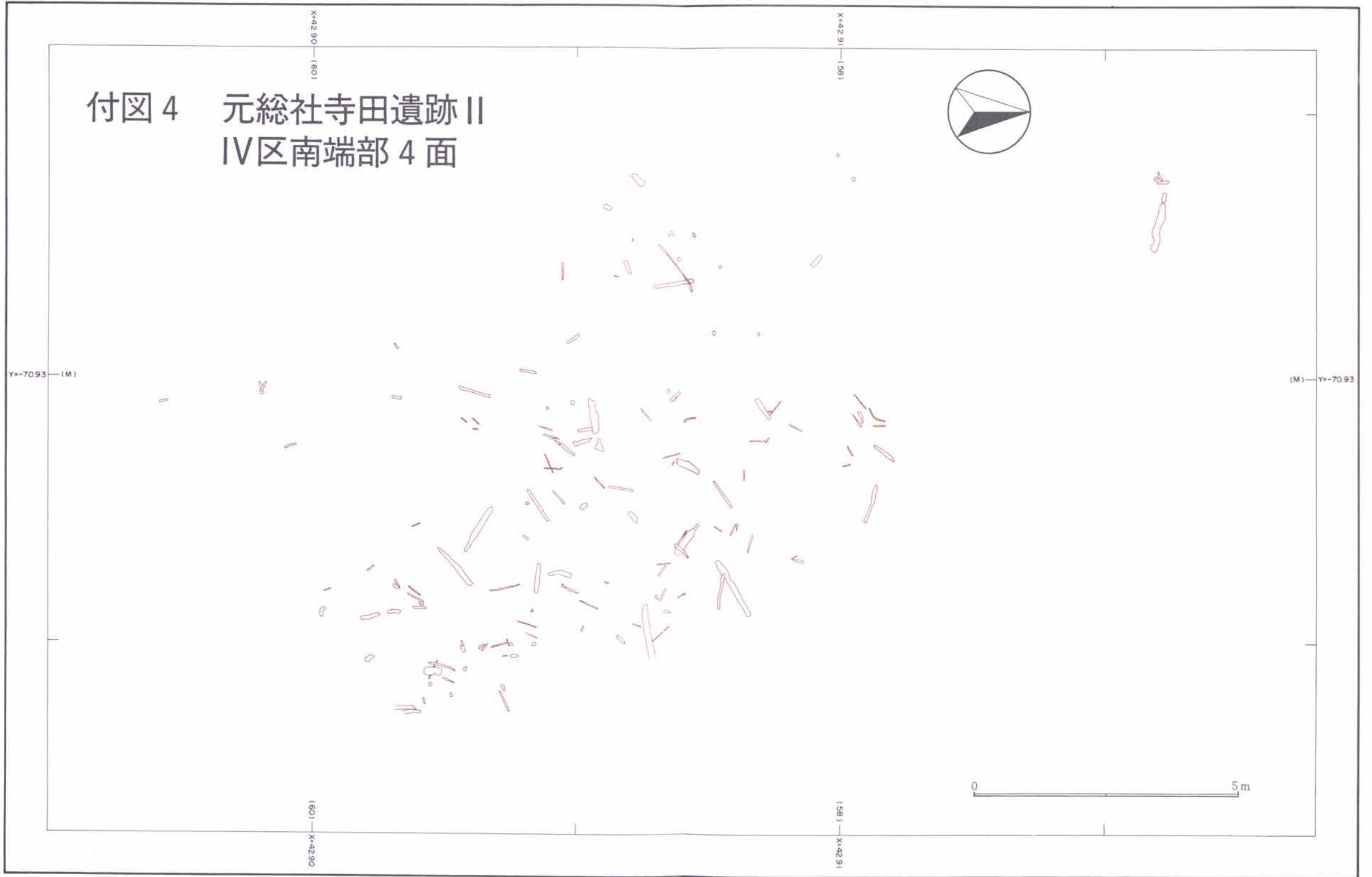
付図3 元総社寺田遺跡Ⅱ
Ⅲ区4面

X=4297—(46)

X=4298—(44)



付図4 元総社寺田遺跡Ⅱ
IV区南端部4面



付図5 元総社寺田遺跡II
V区4面

